

The Japan Foundation

平成 23 年度（2011 年度）事業実績



国際交流基金

平成 23 年度（2011 年度）事業実績



国際交流基金

平成 23 年度（2011 年度）国際交流基金 事業実績 目次

平成 23 年度（2011 年度）国際交流基金事業実績

目次	ii
注	vi
地域分類・国名表記一覧	vii
<文化芸術交流事業に必要な経費>	1
文化協力事業費	1
1. 催し等事業費	2
(1) 文化協力（主催）	2
(2) 文化協力（助成）	6
文化事業費	9
1. 人物交流事業費	10
(1) 日本文化紹介（主催）招へい	10
2. 催し等事業費	11
(1) 日本文化紹介（主催）派遣	11
(2) 日本文化紹介（助成）	24
市民青少年交流事業費	38
1. 人物交流事業費	39
(1) 受託事業（アセアン）	39
造形美術事業費	52
1. 人物交流事業費	53
(1) 受託事業（アセアン）	53
(2) 造形美術情報交流（招へい）	55
2. 催し等事業費	56
(1) 国際展	56
(2) 企画展	56
(3) 基金巡回展	59
(4) 海外展助成	68
(5) 造形美術情報交流（催し）	77
(6) 市民青少年美術交流助成	83
舞台芸術事業費	84
1. 人物交流事業費	85
(1) 舞台芸術情報交流（内田奨学金フェロシップ）	85
2. 催し等事業費	86
(1) 公演（主催）	86
(2) 公演（助成・海外公演〔舞台芸術〕）	96

(3) 公演（助成・PAJ 北米）	119
(4) 公演（助成・PAJ 欧州）	122
(5) 舞台芸術情報交流	125
(6) 公演（助成・海外公演〔市民青少年交流〕）	129

映像出版事業費	134
1. 人物交流事業費	135
(1) 映像出版情報交流（招へい）	135
2. 催し等事業費	136
(1) 日本映画上映（主催）	136
(2) 日本映画上映（助成）	146
(3) アニメ文化大使	152
(4) 映像出版情報交流（催し）	153
(5) 市民青少年映像・文芸交流助成	154
3. 文化資料事業費	155
(1) テレビ番組交流促進	155
(2) フィルムライブラリー運営（本部）	157
(3) フィルムライブラリー運営（海外）	159
(4) 国際図書展参加	160
(5) 映像出版情報交流（文化資料）	162
4. 日本研究事業費	163
(1) ドキュメンタリー制作助成	163
(2) 日本理解促進出版・翻訳（助成）	165

<日本語普及事業に必要な経費>	171
日本語事業費	171
1. 日本語企画調整費	172
(1) 海外日本語教育機関等調査	172
2. JF 講座事業費	173
(1) JF 講座運営	173
(2) 米国若手日本語講師派遣	177
3. 日本語派遣・助成費	178
(1) 受託事業（アセアン 第三期）	178
(2) 日本語専門家派遣（日本語上級専門家）	182
(3) 日本語専門家派遣（日本語専門家）	188
(4) 国内連携による日本語普及支援（派遣・助成）	194
(5) 日本語専門家派遣（日本語指導助手）	201
(6) 日本語専門家派遣（日本語シニア専門家）	203
(7) さくら中核事業（基金海外拠点）	204
(8) さくら中核事業（非基金海外拠点）	207

(9) 日本語普及活動助成	211
4. 研修事業費	220
(1) EPA 研修 (交付金)	220
(2) EPA 研修 (受託)	221
5. 日本語能力試験費	222
(1) 日本語能力試験実施	222
6. 試験制作費	223
(1) 試験問題作成・分析評価	223

附属機関日本語国際センター事業費…………… 224

1. 研修事業費	225
(1) 指導的日本語教師の養成 (日本語教育指導者)	225
(2) 指導的日本語教師の養成 (海外日本語教師上級研修)	226
(3) 海外日本語教師研修 (長期)	226
(4) 海外日本語教師研修 (短期)	228
(5) 海外日本語教師研修 (国別)	231
(6) 受託研修 (日本語国際センター)	232
(7) 受託研修 (日本語国際センター) [アセアン]	233
(8) 受託研修 (日本語国際センター) [サーク]	234
(9) 地域交流研修 (日本語国際センター)	234
(10) JF 講座現地講師訪日研修	235
2. 制作事業費	236
(1) 日本語教材・教授法等開発・普及	236
(2) 図書館運営 (日本語国際センター)	237

附属機関関西国際センター事業費…………… 238

1. 研修事業費	239
(1) 図書館運営 (関西国際センター)	239
(2) 専門日本語研修 (外交官)	240
(3) 専門日本語研修 (公務員)	243
(4) 専門日本語研修 (文化・学術専門家)	244
(5) 日本語学習者訪日研修 (各国成績優秀者)	245
(6) 日本語学習者訪日研修 (大学生) (関西国際センター)	248
(7) 日本語学習者訪日研修 (高校生) (関西国際センター)	250
(8) 李秀賢氏記念韓国青少年招へい研修	250
(9) 地域交流研修 (関西国際センター)	251
(10) 受託研修 (関西国際センター)	251
(11) 受託研修 (関西国際センター) [アセアン]	252
(12) 受託研修 (関西国際センター) [サーク]	253
(13) 国内連携による日本語普及支援 (招へい)	254
(14) E ラーニング開発事業	257

< 日本研究・知的交流事業に必要な経費 >…………… 258

日中交流センター事業費…………… 258

1. 人物交流事業費	259
(1) 受託事業 (日中交流センター)	259
(2) 中国高校生の招へい事業	260
(3) ネットワーク整備事業 (派遣・招へい)	261
2. 催し等事業費	263
(1) 中国「ふれあいの場」事業 (共同設置)	263
(2) 中国「ふれあいの場」事業 (助成)	264
3. 文化資料事業費	265
(1) ネットワーク整備事業 (ウェブサイト構築・運営)	265
4. 調査研究費	265
(1) ネットワーク整備事業 (交流担い手ネットワーク構築)	265

米州交流事業費…………… 266

1. 日本研究事業費	267
(1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [米州]	267
(2) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [米州]	268
(3) 日本研究機関支援 [米州]	268
2. 人物交流事業費	270
(1) 日本研究フェロシップ (学者・研究者 長期) [米州]	270
(2) 日本研究フェロシップ (論文執筆) [米州]	272
(3) 日本研究フェロシップ (学者・研究者 短期) [米州]	276
3. 催し等事業費	278
(1) 知的交流会議 (主催) [米州]	278
(2) 知的交流会議 (助成) [米州]	278
(3) 人材育成グラント [米州]	281

アジア・大洋州交流事業費…………… 282

1. 日本研究事業費	283
(1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [アジア・大洋州]	283
(2) 北京日本学研究中心センター派遣 (北京外国語大学)	285
(3) 北京日本学研究中心センター派遣 (北京大学)	286
(4) 北京日本学研究中心センター招へい (北京外国語大学)	287
(5) 北京日本学研究中心センター招へい (北京大学)	288
(6) 北京日本学研究中心センター研究支援 (北京外国語大学)	289
(7) 北京日本学研究中心センター研究支援 (北京大学)	289
(8) 日本研究機関支援 [アジア・大洋州]	290
(9) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [アジア・大洋州]	293
2. 人物交流事業費	295
(1) 受託事業 (アセアン)	295
(2) 日本研究フェロシップ (学者・研究者 長期) [アジア・大洋州]	305
(3) 日本研究フェロシップ (論文執筆者) [アジア・大洋州]	311

(4) 日本研究フェローシップ (学者・研究者 短期) [アジア・大洋州]	314
(5) 日本研究フェローシップ (高砂熱学工業)	316
(6) 知的リーダー交流 (招へい) [アジア・大洋州]	317
3. 催し等事業費	318
(1) 知的交流会議 (助成) [アジア・大洋州]	318
(2) 知的交流会議 (企画参画助成) [アジア・大洋州]	329
(3) 知的交流会議 (主催) [アジア・大洋州]	331
(4) 人材育成グラント [アジア・大洋州]	334
欧州・中東・アフリカ交流事業費	337
1. 日本研究事業費	338
(1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [欧州・中東・アフリカ]	338
(2) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [欧州・中東・アフリカ]	339
(3) 日本研究機関支援 [欧州・中東・アフリカ]	340
2. 人物交流事業費	342
(1) 日本研究フェローシップ (学者・研究者 長期) [欧州・中東・アフリカ]	342
(2) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [欧州・中東・アフリカ]	345
(3) 日本研究フェローシップ (学者・研究者 短期) [欧州・中東・アフリカ]	348
(4) 知的リーダー交流 (招へい) [欧州・中東・アフリカ]	350
3. 催し等事業費	353
(1) 知的交流会議 (主催) [欧州・中東・アフリカ]	353
(2) 知的交流会議 (助成) [欧州・中東・アフリカ]	355
(3) 人材育成グラント [欧州・中東・アフリカ]	361
日米センター運営管理費	363
1. ニューヨーク日米センター事業費	364
(1) ニューヨーク日米センター企画開発事業 (主催)	364
(2) 日米協会支援プログラム (助成事業)	364
(3) 知的交流小規模助成	365
(4) 教育アウトリーチ支援小規模助成	367
(5) 地域・草の根交流小規模助成	369
日米交流推進費	370
1. 人物交流事業費	371
(1) 安倍フェローシップ	371
(2) 市民交流支援 (日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI)	372
2. 催し等事業費	373
(1) 日米交流支援 (助成)	373
(2) 日米交流支援 (主催)	384

<調査研究及び情報提供事業等に必要経費>	385
情報センター事業費	385
1. 催し等事業費	386
(1) 国内連携促進	386
2. 文化資料事業費	387
(1) 広報 (情報センター)	387
(2) 年次報告	388
(3) ウェブサイト・メールマガジン	388
3. 調査研究費	389
(1) JFIC 事業	389
(2) 国際交流顕彰事業 (基金賞)	390
(3) 国際交流顕彰事業 (地球市民賞)	391
4. その他	392
(1) 後援名義の付与 (情報センター)	392
企画・評価費	401
1. 調査研究費	402
(1) 調査研究	402
(2) 事業評価 (企画評価)	403
文化事情調査費	404
1. 調査研究費	405
(1) 文化事情調査	405
国際文化交流調査研究費	406
1. 調査研究費	407
(1) 機関連携事業	407
(2) 調査研究	408
事業開発戦略室事業費	409
1. 催し等事業費	410
(1) 事業開発 (催し)	410
2. 文化資料事業費	413
(1) 事業開発 (文化資料)	413
<東日本大震災復旧・復興文化交流事業に必要な経費>	414
東日本大震災復旧・復興文化交流事業費	414
1. 催し等事業費	415
(1) 展示事業 (東日本大震災復旧・復興)	415
(2) 公演事業 (東日本大震災復旧・復興)	416
(3) 映像事業 (東日本大震災復旧・復興)	417

<在外事業に必要な経費>	418
支部	419
1. 京都支部	419
海外拠点	423
1. ローマ日本文化会館	423
2. ケルン日本文化会館	427
3. パリ日本文化会館	436
4. ソウル日本文化センター	443
5. 北京日本文化センター	454
6. ジャカルタ日本文化センター	462
7. バンコク日本文化センター	469
8. マニラ日本文化センター	474
9. クアラルンプール日本文化センター	479
10. ニューデリー日本文化センター	484
11. シドニー日本文化センター	495
12. トロント日本文化センター	502
13. ニューヨーク日本文化センター	510
14. ロサンゼルス日本文化センター	516
15. メキシコ日本文化センター	521
16. サンパウロ日本文化センター	524
17. ロンドン日本文化センター	534
18. マドリード日本文化センター	544
19. ブダペスト日本文化センター	551
20. モスクワ日本文化センター	557
21. カイロ日本文化センター	567
22. ベトナム日本文化交流センター	570
<文化交流施設等協力事業に必要な経費>	575
文化交流施設等協力事業費	575
1. 文化交流施設等協力事業費	576
(1) 人物交流特定寄附	576
(2) 日本研究特定寄附	576
(3) 日本語特定寄附	576
(4) 催し等特定寄附	577
(5) 文化交流施設等特定寄附	578
プログラム名索引（五十音順）	579

(注)

1. 期 間

- (1) 本書で扱う事業実績は、事業の実施期間が平成 23 事業年度（2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日）内のもの、および実施期間の一部がこの年度にかかっているものを対象としている。
- (2) 各事業の実施期間は次による。
 - ・人物の派遣・招へい：派遣期間または招へい期間
 - ・展覧会／公演／映画祭／会議・セミナー等の実施：実施期間（開催日、公演日、実施日）または総巡回期間
 - ・上記を除く助成事業：助成対象期間
 - ・調査：調査実施期間
 - ・出版物の刊行：発行日

2. 地域・国

- (1) 地域分類および国名表記は別表のとおり。
- (2) 各事業の実施対象国は次による。
 - ・人物の派遣：派遣先国
 - ・人物の招へい：被招へい者の所属国
 - ・展覧会／公演／映画祭等の実施
 - 海外で実施される場合：実施国
 - 国内で実施される場合：参加国またはテーマ国
 - ・リサーチ／会議／セミナー等の実施
 - 主催事業の場合：参加国またはテーマ国、対象者（機関）所在国
 - 助成事業の場合：助成対象者（機関）所在国
 - ・図書／フィルム等の寄贈・配布：寄贈・配布先国
 - ・出版物の刊行：配布先国
 - ・上記を除く助成事業：助成対象者（機関）所在国

3. 海外拠点の事業

海外拠点の経費は、年平均のレートで円換算し、小数点以下は切り捨て。

※ 2001年度より、本書で扱う事業実績額は、プロジェクトごとにまとめている。

(別表) 地域分類・国名表記一覧

(2015年6月現在)

大地域分類	小地域分類	国・地域（通称、五十音順）
アジア地域	東アジア地域	韓国、台湾、中国、日本、モンゴル
	東南アジア地域	インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス
	南アジア地域	インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ
大洋州地域	大洋州地域	オーストラリア、キリバス、クック諸島、サモア、ソロモン、ツバル、トンガ、ナウル、ニュージーランド、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル、ミクロネシア
米州地域	北米地域	カナダ、米国
	中米地域	アンティグア・バーブーダ、エルサルバドル、キューバ、グアテマラ、グレナダ、コスタリカ、ジャマイカ、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント、セントルシア、ドミニカ、ドミニカ共和国、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、ハイチ、パナマ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ホンジュラス、メキシコ
	南米地域	アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、ガイアナ、コロンビア、スリナム、チリ、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ボリビア
欧州地域	西欧地域	アイスランド、アイルランド、アンドラ、イタリア、英国、オーストリア、オランダ、キプロス、ギリシャ、サンマリノ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、バチカン、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、マルタ、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク
	東欧地域	アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、カザフスタン、キルギス、クロアチア、コソボ、ジョージア、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア、ベラルーシ、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ロシア
中東地域	中東地域	アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、トルコ、バーレーン、パレスチナ、ヨルダン、レバノン
	北アフリカ地域	アルジェリア、エジプト、スーダン、チュニジア、モロッコ、リビア
アフリカ地域	アフリカ地域	アンゴラ、ウガンダ、エチオピア、エリトリア、ガーナ、カーボヴェルデ、ガボン、カメルーン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボワール、コモロ、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、ジンバブエ、スワジランド、セーシェル、赤道ギニア、セネガル、ソマリア、タンザニア、チャド、中央アフリカ、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、ボツワナ、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ共和国、南スーダン、モーリシャス、モーリタニア、モザンビーク、リベリア、ルワンダ、レソト

文化芸術交流事業に必要な経費

文化協力事業費

1. 催し等事業費

(1) 文化協力（主催）

(2) 文化協力（助成）

文化協力事業費

1. 催し等事業費 / (1) 文化協力(主催)

海外の無形及び有形の文化財保存に協力するため、専門家の派遣・招へい、国際共同研究、専門家会議、セミナー・ワークショップ等を実施する。

合計額 41,645,776 円

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	絵画修復指導	ANTONESCU Rodica BAATAR Nyamkhuu BUTEMJ Myagmarusuren CHOGSOMJAV Erdenebileg COSTACHE Eugen Madalin LUGIC Sanjin MAGSAR Chinbat PAUNCEV Simona Sanda SEHIC Dzenan	ブカレスト市立美術館 紙作品保存部門長 モンゴル国立文化芸術大学 モンゴル画講師 モンゴル文化遺産センター 布地保存士 モンゴル国立文化芸術大学 講師 ルーマニア・アカデミー図書館 修復・保存専門官 サラエボ芸術学院 モンゴル国立文化芸術大学 モンゴル画講師 ルーマニア国立美術館 修復・保存士 トランスバール・ウェーブ 代表	モンゴル ボスニア・ヘルツェゴビナ ルーマニア	国宝修理装こう師連盟	2011.12.04 ~ 2011.12.16	国際交流基金が平成17年度から21年度にかけて保存修復専門家を海外に派遣した事業のフォローアップ。現地機関関係者を中心に指導的立場にある専門家を招へいし、日本国内の専門機関における研修、関係施設等の訪問・視察を通じ、専門技術の深化、相手国における専門知識・技術の活用・応用の促進を図る
2	【招へい】柔道指導者	BERNARD Joel CREED Lloyd Anthony LITTREAN Marc Anthony	クイーンズパーク柔道クラブ 監督 トリニダード・トバゴスポーツ省 企画官 クイーンズパーク柔道クラブ 代表	トリニダード・トバゴ共和国	講道館	2012.02.15 ~ 2012.03.17	トリニダード・トバゴの柔道普及活動を行う柔道専門家2名及び青少年問題省職員(スポーツ省行政官)1名を日本に招へいし、柔道普及技術、青少年問題対策についての研修を実施。警察署柔道教室や筑波大学附属高校の柔道の授業視察、講道館国際セミナー参加を実施

文化協力事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
3	漆工芸作品修復指導	山下 好彦	漆芸修復家	ウルグアイ ブラジル	在ウルグアイ大使館	2011.08.21 ~ 2011.08.30	フロレスタル博物館(ブラジル・サンパウロ市)所蔵の漆工芸品の修復作業・指導のための予備調査を行うとともに、南米における文化協力事業調査を実施
4	国立美術館所蔵日本関係美術品調査	江村 知子 小松 大秀	東京文化財研究所主任研究員 秋田市立千秋美術館館長	アゼルバイジャン	アゼルバイジャン国立美術館 在アゼルバイジャン大使館	2011.11.27 ~ 2011.12.06	東洋の美術品を約440点所蔵しているアゼルバイジャン最大の美術館へ日本近代工芸品の専門家及び日本絵画の専門家を派遣し、日本美術・工芸品の選別や調書作成を行うことで、日本の美術品とその他アジア諸国の美術品との区別がつかない状況にある同美術館の収蔵・展示活動に貢献
5	染織文化財の保存修復ワークショップ	横山 翠 藤巻 美恵	女子美術大学非常勤講師 女子美術大学非常勤講師	アルメニア	アルメニア歴史博物館	2011.10.23 ~ 2012.04.14	アルメニア歴史博物館の要請を受け、民族資料(第1回・10月ワークショップ)や考古遺物(第2回・4月ワークショップ)などの染織文化財の保存修復ワークショップ(講義及び実技講習)の実施とテキストの作成
6	文化遺産保存修復技術実習講習	井上 洋一 古庄 浩明 犬竹 和 杉本 和樹 青木 繁夫 井上 主税	東京国立博物館学芸企画部企画課長 駒澤大学 文学部歴史学科 非常勤講師 大正大学 歴史文化学科 非常勤講師 独立行政法人 奈良文化財研究所 契約カメラマン サイバー大学 教授 奈良県立橿原考古学研究所 調査部主任技師	ウズベキスタン	ウズベキスタン国立歴史博物館 平山郁夫国際文化のキャラバンサライ	2011.09.02 ~ 2011.10.03	文化遺産の保存修復分野の若手専門家育成のためのプロジェクト。日本の専門家6名を首都タシケントへ派遣し、学生対象の「ベーシックコース」と、若手学芸員・考古学者対象の「プロフェッショナルコース」の2コースを実施。保存修復技術の習得に必要な講義や実技を通して、即戦力となる人材を育成

文化協力事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
7	柔道指導	奥嶋 曜 下山 陽邦 高橋 寿正	山口県警察 警備部機動隊 講道館 国際部職員 秋田県警察 警備部機動隊	キルギス	キルギス柔道連盟 在キルギス大使館	2012. 02. 01 ~ 2012. 02. 12	柔道愛好家の多いキルギスに柔道専門家を派遣し、マスタークラスを開講
8	樺太時代の文化遺産調査報告書 ロシア語版作成	伊藤 雅彦 角 幸博 渡辺 一幸 八木 真爾 飯田 信男 林 文浩 疋 良一	株式会社 伊藤 北海道大学大学院工学研究科 特任教授・名誉教授 北電総合設計株式会社 株式会社 佐藤総合計画 飯田ウッドワークシステム 株式会社 梵陶石 ファインテクノ	ロシア	サハリン州文化局	2011. 04. 18 ~ 2011. 06. 10	平成21年から実施されている本事業は3年目に当たる平成23年、7名の建築専門家を現地に派遣、ユジノサハリンスクに現存する史跡・文化遺産についてそれぞれの専門的見地から実施調査を行い、その調査結果をまとめた報告書を作成
9	日本写真展協力	ファード・シャーキル ムフィード・アル・ジャザーイリー	イラク写真協会 会員/写真家 イラク文化支援協会 会員/写真家	イラク	イラク文化支援協会 在イラク大使館	2012. 02. 01 ~ 2012. 03. 30	平成22年度文化人招へいプログラムにて来日したイラク人写真家ファード・シャーキルが訪日中に撮影した写真作品群90点による写真展。22年度は首都バクダッドで開催したが、23年度は同写真展セットを地方都市(バスラ・サマーワ・エルビル)に巡回し、実施
10	柔道指導者派遣	吉鷹 幸春	桐蔭横浜大学 准教授	カタール	カタール・テコンドー・柔道協会 在カタール大使館	2011. 11. 21 ~ 2011. 12. 03	日本から柔道専門家を派遣し、アラブ柔道選手権を控えたカタール柔道ナショナルチームのコーチ及び選手に対する指導を実施。一般向けの実演も行い、同国における柔道の普及と活性化を図る
11	カマン・カレホユック考古学博物館フィールドコース	永金 宏文	株式会社ディグ 社長/展示ディレクター	トルコ	カマン・カレホユック考古学博物館 中近東文化センター・アナトリア考古学研究所	2011. 06. 25 ~ 2011. 08. 20	日本のODAで建設されたカマン・カレホユック考古学博物館において、地方の若手学芸員を対象にフィールドコースを実施。昨年度同様、展示の専門家、永金宏文を派遣

文化協力事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
12	柔道指導	鴨治 由貴	千葉県警察	ギニア	ギニア柔道連盟	2012. 01. 31 ~ 2012. 03. 02	ギニアに柔道専門家を派遣し、現地柔道家を指導。主に同国ナショナルチームの技術の底上げを図るとともに、若年層に向けて、柔道を通して日本の精神文化を紹介
13	柔道指導	佐藤 康宏	帝京大学 医療技術学部非常勤講師	ブルキナファソ	ブルキナファソ柔道連盟	2012. 01. 31 ~ 2012. 03. 05	ブルキナファソに柔道専門家を派遣し、青少年柔道家の育成にあたっている現地柔道指導者等を対象に巡回指導を実施。柔道を通じた人間・社会開発支援を行うとともに洪水により被災した柔道家を支援
14	空手指導	樹村 茂樹	大阪府空手道連盟 常任理事	ボツワナ	ボツワナ空手連盟	2012. 01. 31 ~ 2012. 02. 24	ボツワナに空手指導者を派遣し、現地の愛好家、練習生を指導。スポーツとしての競技人口増大を図るとともに、日本の精神文化としての武道を紹介

文化協力事業費

1. 催し等事業費 / (2) 文化協力(助成)

海外の無形及び有形の文化財保存に協力する日本の機関が実施するため国際共同事業に対し経費の一部を助成する。

合計額 13,181,215 円

	事業名	助成対象者 (機関・個人)	対象国	期間	事業内容
1	初心者のための柔道教則本	NPO法人柔道教育ソリダリティー	中国	2011.06.01 ~ 2012.03.31	外務省「草の根文化無償協力」によって中国南京市及び青島市に開設した日中友好柔道館で使用する初心者用の柔道教則本(中国語版)を作成。編集に当たり青少年の練習に役立つのみならず、指導者の指導方法の参考となる内容となるように工夫。また相手を敬うことを大切にする柔道の心を伝えることに留意して、文化交流の推進に寄与
2	オカリナ製作普及・指導者育成(派遣)	樹 紫苑 オフィス樹エージェンシー (いつき・しおん) 代表/音楽家/翻訳家	カンボジア	2011.07.19 ~ 2011.08.02	日本の益子焼の技術を使い、コンポンチュナンでカンボジアの伝統的製陶技術「クメール焼」を復活させ、人々の自立を支援するべく2009年から実施している技術支援の発展事業。外貨獲得のための商品としてオカリナ製作を技術指導。併せて基本的な演奏技術の指導、小学校や孤児院でのプロ演奏などを通じ、オカリナ音楽の楽しさを現地に伝える事業を実施
3	サムチュック市場建築・文化保存再生	村上 心 梶山女学園大学 教授	タイ	2011.07.29 ~ 2011.09.12	タイのサムチュックへ専門家3名と調査協力団員11名を派遣。タイの大学機関(SRIPATUM大学建築学部)と相互協力事業のための会議を実施するほか、事業対象地において現地の代表者や居住者とユネスコ登録へ向けた保存再生研修を実施。近隣類似地域(アユタヤ県ポラン・ラートチャドー)の視察調査も実施
4	バレン制作と水性木版画の制作指導	船坂 芳助 社団法人日本美術家連盟 理事	タイ	2011.10.01 ~ 2011.10.10	タイの大学美術関係の先生を対象に、木版画の摺り道具「バレン」の制作及び水性絵具での摺り、ドーサ(にじみ止めを行うこと)等、水性木版画に関する指導を実施
5	陶芸技術の指導	丸山 武 陶芸家	フィリピン	2011.08.01 ~ 2012.03.20	テラコッタ(素焼き)技術が主流の現地で、大学生・アーティストを対象に、釉薬を用いた高火度焼成の技術を伝達する事業をドゥマゲッティ市のファウンデーション大学(Foundation University)にて実施

文化協力事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
6	【派遣・招へい】ホイアン町並み保存プロジェクト2	友田 博通 昭和女子大学 国際文化研究所 教授	ベトナム	2011.04.26 ~ 2011.12.03	ホイアン遺跡は、「世界遺産」に登録されたことで観光地として急速に発展を遂げたが、遺跡保存の観点からは危機的状況にあるとユネスコから警告を受けている。ホイアン遺跡管理事務所の保存計画の見直しと能力強化のための支援を実施。更にホイアン町並み保存に関わる最高責任者等を日本に招へいし、文化財行政全般に渡る意見交換会も実施し、最終年度のまとめとするもの
7	インド・オリッサ NANTYA GRAM劇場村 NATYA CHETANAの Festivalにおける照明デザインの講義と実践	三浦 あさ子 舞台照明家	インド	2011.11.06 ~ 2011.11.18	インド・オリッサ州のニャンタグラムで開催される演劇フェスティバルの開催準備にあたり、照明デザインについての講義を現地の専門家とともに実施
8	【派遣】オーケストラ演奏技術向上及び楽器維持管理技術の習得のための育成ワークショップ	小林 恵子 洗足学園音楽大学 講師/指揮者	スリランカ	2011.10.08 ~ 2011.11.01	国内唯一のアマチュアオーケストラ・スリランカ交響楽団が、当国の西洋音楽の発展への道標となるよう、指揮者の小林恵子が指導及び指揮。更に、国内各音楽団体での演奏技術及び音楽基礎能力を向上させるワークショップを実施。また、当国には楽器のリペアマンがいないため、派遣したリペアマンが国内の各音楽団体に同行し、メンテナンス方法を伝授
9	【招へい】日本先住民民族アイヌ伝統芸能・日本古典芸能歌舞伎継承研修プロジェクト	岡本 有子 ネパールソングートに親しむ会 日本本部会長	ネパール	2011.05.16 ~ 2011.06.06	多民族国家ネパールには、102もの民族の希少な伝統文化があり、無形文化財にもなっている。しかし、近年において急速に消滅しつつあるにも関わらず、政治的・経済的背景に伴い保全活動が滞っている。そこで、保全と後継者育成のため、各芸能の精通者を招へいし、先住民民族アイヌ伝統芸能や歌舞伎等古典芸能の日本における継承活動の現状や歴史から、保全のための技術や体制、アイデア等を学ぶ研修プロジェクトを実施
10	ミクロネシア連邦ナン・マドール遺跡の保護に資する人材育成ワークショップ	石村 智 奈良国立文化財研究所 研究員	ミクロネシア	2011.08.21 ~ 2011.08.30	遺跡保護に関する講義と遺跡の状況のアクセスメントのためのフィールドワークからなるワークショップを実施。現地での遺跡保護への意識を高め、マネジメント・プラン作成を図る。講義には日本から専門家を派遣し、マネジメント・プランの重要性や遺跡保護の概要を解説。フィールドワークでは日本人専門家も現地参加者とともに遺跡アクセスメントに参加し、遺跡保存に必要な事項を全員で確認

文化協力事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
11	囲碁の普及活動	西島 昭 日本囲碁普及協会理事／指導員	キューバ	2011.09.14 ～ 2012.06.30	囲碁の普及を通じて日本・キューバの友好親善・相互理解の一層の進展を図るため、日本囲碁普及協会理事／指導員西島昭がキューバに長期滞在し主要都市にて囲碁講座の開催や実戦指導、現地の囲碁指導員を育成する事業を実施
12	マヤ文明世界複合遺産—グアテマラ・ティカル国立公園—の保存活用計画	中村 誠一 サイバー大学 世界遺産学部 教授	グアテマラ	2011.08.02 ～ 2012.02.29	世界複合遺産であるティカル国立公園に対し、文化無償協力の事業による「ティカル国立公園文化遺産保存研究センター建設計画」が2011年12月に完了。同センターへ収納される遺物の保存修復作業やデータベース化を指導するとともに、センター開所後の活動の企画立案指導を実施
13	日仏の紙に関する用語集編纂	川村 朋子 有限会社山領絵画修復工房 保存修復士	フランス	2011.09.17 ～ 2011.09.24	和紙の専門家を派遣し、現地の洋紙の専門家との技術交流・討論会を実施。フランス語圏に和紙の伝統文化を伝えるとともに、洋紙の歴史を知るための専門用語集を作成。技術・文化面での交流により、存続が危ぶまれるフランスの手漉き紙産業の活性化を図る
14	世界遺産教育の実施プロジェクト	日高 健一郎 筑波大学大学院人間総合科学研究科 世界文化遺産学専攻長・教授	ルーマニア	2011.08.01 ～ 2012.06.30	ルーマニアにおいて、世界遺産の理念と保護事例、保護手法に関する教育研修の実施。世界遺産学、建築史学、建築構造学、博物館学、観光学、自然保護論の専門家を派遣し、同国の大学院生、研究者、専門職員等が参加する講義と演習を実施。文化遺産保護意識の向上と人材交流を図るとともに、文化遺産保護国際コンソーシアムを中心とする日本の世界遺産保護国際貢献事業を紹介

文化芸術交流事業に必要な経費

文化事業費

1. 人物交流事業費

(1) 日本文化紹介（主催）招へい

2. 催し等事業費

(1) 日本文化紹介（主催）派遣

(2) 日本文化紹介（助成）

文化事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 日本文化紹介(主催)招へい

諸外国における日本文化の理解促進を目的として、基金が重点を置く分野に関する海外の専門家を個人またはグループで招へいし、関係者との意見交換や関係機関の視察を行う。

合計額 31,024,932 円

	事業名/氏名	参加者所属国	人数	期間	事業内容
1	[招へい]教員グループ	ドイツ	10	2011. 10. 21 ~ 2011. 11. 02	欧州と中東アフリカ地域の計11カ国から主に社会科、国際理解教育に携わる小学校、中学校、高校の教員及び教育関係者計52名を13日間グループで招へいし、日本文化を多角的に紹介。教員たちは、日本の文化、社会、教育等の実情を視察、関係者との意見交換を実施
		エストニア	5		
		ラトビア	5		
		リトアニア	5		
		イラン	4		
		クウェート	2		
		バーレーン	5		
		ヨルダン	4		
		アルジェリア	5		
		エジプト	4		
		チュニジア	3		
2	[招へい]AYGI Alexey	ロシア	1	2012. 03. 09 ~ 2012. 03. 19	欧州で活躍する音楽家（ヴァイオリニスト）を招へい。日本の文化芸術施設の視察、音楽関係者との意見交換・交流、日本の伝統芸能の視察等を実施

文化事業費

2. 催し等事業費 / (1) 日本文化紹介(主催)派遣

諸外国において日本文化の諸分野の専門家による講演、デモンストレーション、ワークショップ等の文化事業を実施する。

合計額 136,729,895 円

事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
1 日本のデザインを紹介する講演会	中村 好文 柏木 博	日本大学 教授/建築家 武蔵野美術大学 教授	韓国	東西大学校U-IT館 国際セミナー室	2011.11.08	柏木博(デザイン史)と中村好文(建築家/家具デザイナー)を韓国(ソウル、釜山、清州)、中国(北京)に派遣し、日本のデザインを紹介する講演会を実施。 柏木は主に戦後日本のデザインの歴史と発展についてレクチャーし、その後中村が自身の作品とものづくりの背景やコンセプトを写真を交えて紹介
			韓国	清州大学校音楽館 コンサートホール	2011.11.10	
			韓国	弘益大学校弘門館 919号	2011.11.11	
			中国	北京日本文化センター多目的ホール	2011.11.04	
			中国	中央美術学院美術館 学術報告庁	2011.11.05	
2 マンガのレクチャー	岩見 吉朗	京都精華大学講師	中国	復旦大学 同済大学	2011.09.02 ~ 2011.09.03	マンガ原作者で京都精華大学講師の岩見吉朗を派遣し、「日本マンガ、そのユニークな歴史と構造」というテーマでマンガに関するレクチャーを実施
			中国	黒龍江大学	2011.09.05	
			モンゴル	ハーン・バンク劇場	2011.09.07	
3 復旧・復興 東北学	赤坂 憲雄	学習院大学文学部教授	中国	南開大学日本研究院 北京日本学研究中心	2012.03.27 2012.03.28	「東日本大震災復旧・復興文化事業」の一環として、東北復興へのメッセージを発信し続ける赤坂憲雄(学習院大学文学部教授)を派遣し、「震災と東北、そして文化」というタイトルで講演会を実施 【東日本大震災復興支援事業】
4 アニメ ワークショップ	米正 万也	京都精華大学 非常勤講師/アニメーション作家	インドネシア	MMTC YOGYAKARTA	2012.03.02 ~ 2012.03.06	国内外で活躍するアニメーション作家の米正万也をインド及びインドネシアへ派遣し、アニメワークショップを実施。参加者と共同で短編アニメ作品を制作
			インドネシア	ジャカルタ日本文化センターホール	2012.03.08 ~ 2012.03.12	
			インド	ムンバイ大学	2012.02.21 ~ 2012.02.23	
			インド	ニューデリー日本文化センターオーデトリウム	2012.02.26 ~ 2012.02.28	

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
5	浮世絵木版画のレクチャー・ワークショップ	高橋 由貴子 石井 賢一郎 大山 奈保子 平井 恭子	高橋工房 伝統木版画版元 高橋工房 研究者 高橋工房 摺師 佐藤木版画工房 摺師	カンボジア タイ タイ ミャンマー	在カンボジア大使館 カンボジア日本人材開発センター シラパコン大学 チェンマイ大学芸術学部 大使館内アセンブリーホール	2011.08.26 ~ 2011.08.27 2011.08.17 2011.08.19 ~ 2011.08.20 2011.08.22 ~ 2011.08.23	浮世絵専門家4名を派遣し、浮世絵についてのレクチャー及び「摺り」のデモンストレーションを実施。希望者に対しては「摺り」のワークショップも実施
6	ファッションに関する講演会	國井 圭浩	株式会社ユニクロ	シンガポール	ジャパン・クリエイティブセンター(JCC)	2011.10.14 ~ 2011.11.05	シンガポールのジャパン・クリエイティブセンターで実施するファッション事業。日本側の「持続可能なファッション・デザイン」がテーマのファッション・デザイン・コンテスト優秀者をシンガポールに派遣し、一方でシンガポールの学生を日本へ招へいして、交流を図る。また、ファッションに関する講演会を実施
7	和菓子文化の紹介	吉橋 慶祐 小泉 直哉 明神 宜之	吉はし 和菓子職人 香雲堂本店 和菓子職人 旬月 神楽 和菓子職人	タイ フィリピン マレーシア	エンポリウムデパート ザ・ボディウム、CCA(Center for Culinary Arts) 日本食レストラン勘八	2012.02.11 ~ 2012.02.12 2012.02.17 ~ 2012.02.18 2012.02.14 ~ 2012.02.15	若手和菓子職人3名を現地へ派遣し、日本の季節の捉え方や茶道等と絡めながら、幅広い和菓子の歴史・文化及び技術を紹介。希望者には和菓子制作のワークショップを実施
8	日本の遊びワークショップ	阿部 花恵 岡本 弘子 坂井 恒雄	岩手県社会福祉事業団 療育センター 非常勤保育士/おもちゃコンサルタント 静岡英和学院大学 教員/おもちゃコンサルタント 日本グッドトイ委員会 おもちゃコンサルタント/東京おもちゃ美術館 おもちゃ学芸員	東ティモール	ラガ孤児院 アガペー聾唖学校 リキサ県バザールテテ中学校	2012.02.06 2012.02.08 2012.02.09	日本の伝統的なおもちゃを幾種類か持参してデモンストレーションを交え幅広く紹介。その上で、対象者の状況に合わせながら折り紙や竹とんぼなど現地で調達できる材料を用いたおもちゃ作りと遊びのワークショップを実施

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
					リキサ県バザール テテ幼稚園	2012. 02. 10	
9	和食文化の紹介	遠藤 実香	日本料理教室藤田 アシスタント	ブルネイ	オーキッド・ガー デンホテル	2011. 11. 24 ~ 2011. 11. 25	日本料理の専門家を派遣し、広く一般市民・ 有識者に対して寿司の歴史、種類、更に日本の 四季と年中行事にちなんだ料理を紹介し、 日本料理の作り方をデモンストレーションに て紹介
		郷農 潤子	日本料理教室藤田 アシスタント	ベトナム	青年文化会館(ジャ パンデーに参加)	2011. 11. 13	
		渡邊 直子	日本料理教室藤田 アシスタント	ベトナム	フォーチュナホテ ル	2011. 11. 16 ~ 2011. 11. 17	
		藤田 貴子	日本料理教室藤田 主宰	ラオス	IV-JAPAN Laos	2011. 11. 20	
				ラオス	大使公邸	2011. 11. 21	
10	国際凧揚げ大会参 加・凧のワーク ショップ	遠藤 茂樹	仙台凧の会副会長	インド	クジャラート国際 凧揚げ大会	2012. 01. 10 ~ 2012. 01. 13	宮城県(仙台・気仙沼)及び日本の凧の会の凧 専門家をインドへ派遣し、クジャラート州に て開催される国際凧揚げ大会に参加すると ともにデリー及びコルカタで凧のワークショッ プを実施
		加藤 斉克	気仙沼凧の会(田吾 作会)会員		イースタン・ゾー ン・カルチャー ル・センター	2012. 01. 14	
		吉田 恭一	気仙沼凧の会(田吾 作会)会員		ラムジャス・ス クール	2012. 01. 17	
		真砂 俊雄	仙台凧の会 会員		デリー・パブリッ ク・スクール	2012. 01. 18	
		千田 陽一	仙台凧の会 会員				
		浜 弘二	仙台凧の会 会員				
		茂出木 雅章	凧の博物館館長/日 本の凧の会 会長				
		茂出木 幸子	日本の凧の会 会員				
		矢吹 重光	仙台凧の会 会員				
		林崎 正俊	仙台凧の会 会員				

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
11	折り紙ワークショップ	山梨 明子	日本折紙協会 折紙講師	インド	AM Loreto Day School, Sealdah/PM Oxford Book Store	2012. 01. 21	日本折紙協会所属の折紙作家・講師3名をインド、スリランカへ派遣。幅広い年齢層向けにワークショップとデモンストレーションを実施すると共に、現地折り紙講師向け講習も行い、現地折紙普及活動の担い手の技術向上を図る
		青柳 祥子	日本折紙協会 折紙講師/折紙作家	インド	AM Padma Seshadri Bala Bhavan Higher Secondary School/PM Ind	2012. 01. 24	
		田中 稔憲	日本折紙協会 折紙講師/折紙作家	インド	AM Hari Shree Vidyalayam /PM ABK-AOTS Dosokai Tamilnadu Cent	2012. 01. 25	
				インド	AM ブルー・ベルズ・スクール/PM ニューデリー日本文化センター	2012. 01. 27	
				インド	ロータス・テンプル	2012. 01. 28	
				スリランカ	Sri Lanka Foundation Institute (Meeting Room)	2012. 01. 30	
		スリランカ	スリランカ大使館 会議室	2012. 01. 31			
12	越後の郷土料理ワークショップ	岩田 清美	絵本の木の実の美術館 Hachi Cafe シェフ/NPO法人越後妻有里山協働機構	オーストラリア	Canberra Institute of Technology	2012. 02. 15 ~ 2012. 02. 18	越後まつだい里山食堂のシェフ・長谷川繭ら3名を派遣し、レクチャー・デモンストレーションやワークショップを実施。越後の郷土料理を現地でも再現可能な家庭料理にアレンジして紹介
		水落 静子	古民家レストラン「うぶすなの家」シェフ		Electrolux	2012. 02. 18 ~ 2012. 02. 22	
		長谷川 繭	越後まつだい里山食堂/NPO法人越後妻有里山協働機構		Polytechnic West	2012. 02. 22 ~ 2012. 02. 26	

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
13	アニメーションに関する講演	原 恵一	アニメーション監督	カナダ	ヴァンシティ・シアター トロント日本文化センター ケベック公文書館 オタワ国際アニメーション映画祭	2011.09.18 2011.09.20 2011.09.22 2011.09.23	アニメーション監督の原恵一をカナダへ派遣し、自身の作品に関する講演を行うとともに、作品上映を実施
14	折り紙ワークショップ	山口 真 勝田 恭平 松浦 英子	おりがみはうす代表 おりがみはうすスタッフ おりがみはうすデザイナー	米国 米国 ペルー	フロリダ国際大学、ノバ大学、パルメート高校、ウェスタン高校 ジョージア工科大学紙博物館、サバナ芸術大学、エルキンズ・ポイント中学校 日秘文化センター、テレフォニカ財団センター、チョリージョス区立文化センター	2012.01.29 ~ 2012.01.31 2012.02.01 ~ 2012.02.03 2012.02.04 ~ 2012.02.08	おりがみはうす主宰の山口真、スタッフの松浦英子、勝田恭平の3名を派遣し、折り紙についてのレクチャー・デモンストレーション、ワークショップを実施
15	復旧・復興支援 劇曲の上演・公開リーディング	篠原 久美子	劇団劇作家代表/日本劇作家協会運営委員/日本演劇教育連盟会員	米国	クーパー・ユニオン ジャパン・ソサエティ ホール	2012.03.11 2012.03.12	東日本大震災から1年目の3月11日に全米各地で「震災 SHINSAI:Theaters for Japan」を開催。被災地の演劇関係者や劇場などへの支援の意味を込め、日米を代表する劇作家が執筆した震災に関する短編戯曲の公開リーディングや上演を実施。その開催にあたり、自作の戯曲が公演される篠原久美子を派遣、更に、講演も実施
16	日米桜寄贈100周年事業	古牧 和彦 中山 圭子 頼富 博貴	㈱虎屋 京都工場 工場長 ㈱虎屋 虎屋文庫研究主幹 ㈱虎屋 赤坂本店	米国	ジャパン・ソサエティ	2012.03.21 ~ 2012.03.22	虎屋の和菓子研究者1名と職人2名をニューヨークへ派遣し、日本人の季節観や桜というテーマと絡めつつ、和菓子の歴史や製法・材料・技術などを幅広く紹介（共催：ニューヨーク ジャパンソサエティ、協力：株式会社虎屋）

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
17	浮世絵木版画ワークショップ	上田 真吾 上田 京 樋口 一貴	浮世絵摺師 富士木版工房 三井記念美術館 学芸員	エルサルバドル ホンジュラス メキシコ	CANAL10、ダビッド・J・グスマン国立人類学博物館、国立芸術センター(CENAR) Centro Interactivo de Enseñanza-Chiminike カリージョ・ヒル美術館	2011.09.12 ~ 2011.09.13 2011.09.16 2011.09.09 ~ 2011.09.10	浮世絵木版画の解説者(三井記念美術館 学芸員/樋口一貴)と摺り師(富士木版工房/上田真吾、アシスタントの上田京)を派遣し、浮世絵木版画についてのレクチャー・デモンストレーション及びワークショップを行う。主に各都市で一般市民向けに事業を実施し、幅広い層に日本の伝統である浮世絵木版画を紹介
18	生け花のレクチャー・デモンストレーション	井手 芳実 勅使河原 城一	勅使河原会 師範 勅使河原会 家元	グアテマラ パナマ コロンビア	大使公邸 バルセロホテル 運河博物館 大使公邸	2011.10.18 2011.10.14 2011.10.12	華道家勅使河原城一(勅使河原会家元)を派遣し、生け花のレクチャー・デモンストレーションを実施
19	伝統衣装のレクチャー・デモンストレーション	佐藤 洋子 小暮 慶子 松本 實 中村 沙織	着付師/有限会社ウエスト企画 有限会社ウエスト企画 有限会社ウエスト企画 KIMONO STYLIST/有限会社ウエスト企画	チリ ボリビア	カトリカ大学 ガブリエラ・ミストラル・センター プロビデンスシア区文化院講堂 大使公邸 日本人会館ホール	2011.07.18 ~ 2011.07.20 2011.07.14 ~ 2011.07.16	映画等の衣装を手がけるウエスト企画の松本實等専門家4名を派遣し、日本の伝統衣装についてレクチャー及びデモンストレーションを実施

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
20	食品サンプルレクチャー・デモンストレーション	菅森 弘昌	食品模型すがもり工房	ブラジル	SENAC(商業職業訓練所) SENAC(商業職業訓練所) サレジアーナ職業学校 汎アマゾニア日伯協会 ペルナンブコ連邦大学デザイン学科 SENAC(商業職業訓練所)	2011.07.29 2011.07.30 2011.08.01 2011.08.01 2011.08.03 2011.08.05	日本の食品サンプルは、本物と見違えるほどに精巧であるとともに、プラモデルやフィギュアなどのユニークな日本のものづくり文化に通じている。レクチャー(講演)、デモンストレーション(実演)、ワークショップを通じて食品サンプル製作の技術とともに、その背景にあるものづくり・食文化について紹介し、日本文化への関心を惹起
21	日本文学についての対談	綿矢 りさ	作家	イタリア ドイツ ドイツ ドイツ	ローマ日本文化会館 ケルン日本文化会館 ベルリン文学祭 ハーバーフロント文学祭	2011.09.19 ~ 2011.09.21 2011.09.12 ~ 2011.09.15 2011.09.15 ~ 2011.09.17 2011.09.17 ~ 2011.09.19	若手女性作家の綿矢りさを派遣し、現地語翻訳者や日本文学研究者等との対談を実施
22	日本の伝統建築を解説する講演	松崎 照明	日本建築意匠研究所代表/一級建築士	英国 ドイツ ハンガリー	ロンドン日本文化センター ケルン日本文化会館 ブダペスト建築センター、ブダペスト工科大学	2012.02.28 ~ 2012.02.29 2012.02.26 ~ 2012.02.27 2012.03.01 ~ 2012.03.04	日本の山海や平地などの影響を受けて発展した伝統建築の紹介を通して、自然豊かな日本の気候風土とそこに発達した美意識、現代建築にまで通底する日本建築の美の原理を、講演形式で解説
23	郷土料理セミナー—琉球料理デモンストレーション	佐藤 優子 山本 彩香 西大 八重子	NPO法人チーズプロフェッショナル協会常務理事 琉球料理乃山本彩香 代表 管理栄養士/調理師/西大学院学院長	スウェーデン ドイツ フランス	ヤスラギ ハッセルッデン 日本食レストラン「万葉」 パリ日本文化会館	2011.11.24 ~ 2011.11.28 2011.11.20 ~ 2011.11.24 2011.11.15 ~ 2011.11.20	琉球料理専門家の山本彩香他4名を派遣し、琉球料理についてのレクチャー・デモンストレーションを実施

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
		野崎 幹	ホテルチュラ琉球調理師				
		大城 洋子	通訳・コーディネーター				
24	ロボット技術 パロのレクチャー・デモンストレーション	柴田 崇徳	産業技術総合研究所 主任研究員	ドイツ	ブランデンブルグ州経済振興公社ホール	2011.05.06	セラピー用ロボット「パロ」の開発者である、柴田崇徳（産業技術総合研究所）とテクニカルスタッフの川口幸隆を派遣し、ロボットについてのレクチャーとデモンストレーション、ワークショップを実施
		川口 幸隆	産業技術総合研究所 テクニカルスタッフ	ドイツ	Johanita病院、在独大使館	2011.05.05 ~ 2011.05.08	
				ドイツ	ダルムシュタット工科大学	2011.05.09	
				ドイツ	フランクフルト大学、フランクフルト応用科学専門大学	2011.05.10 ~ 2011.05.11	
				ポーランド	ポーランド日本情報工科大学、在ポーランド大広報文化センター、ワルシャワ市内学校、老人ホーム等	2011.05.11 ~ 2011.05.14	
				クウェート	国立Sabah病院、クウェート大学、クウェート商工会議所他	2011.05.01 ~ 2011.05.05	
25	ロボット技術のレクチャー・デモンストレーション	玉屋 庄兵衛	尾陽木偶師（からくり人形師）	ドイツ	ケルン日本文化会館	2011.10.26	からくり人形師の玉屋庄兵衛とロボット工学者の末松良一を派遣し、日本人のロボット観に影響を与えたといわれる「からくり人形」に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
		末松 良一	愛知工業大学教授	ドイツ	クンストパラスト美術館	2011.10.27	
				ポルトガル	マデイラ自治州フィンシャル市／バルタザル・ディアス市立劇場	2011.10.15	
				ルクセンブルク	Bonnevoie小学校、ルクセンブルク大学	2011.10.18 ~ 2011.10.19	

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
				チェコ	ブラハ建築財団 ホール	2011. 10. 21	
				チェコ	ピルゼン科学図書館	2011. 10. 22	
26	アニメーションに関する講演	山村 浩二	アニメーション作家	ノルウェー	シネマテーク	2011. 09. 12 ~ 2011. 09. 13	アニメーション作家の山村浩二を派遣し、同氏の作品『頭山』『年をとった鱈』他3作品を上演。作品のメイキングや日本アニメの現状等についての講演を実施
				エストニア	エストニア芸術大学、映画館Soprus	2011. 09. 07 ~ 2011. 09. 08	
				ラトビア	リガ市キノリーガホール	2011. 09. 10	
27	郷土料理セミナー 羽黒山伏「精進料理の世界」	伊藤 賢一	羽黒町観光協会事務局	フランス	パリ日本文化会館	2011. 10. 15	日本の食文化への関心が高まっている欧州地域において、食を通して一般市民・調理専門家及び有識者に対して日本文化に対する認識と共感を一層深めることを目的とし、山形・出羽地方の専門家を派遣。同地方の食文化に関するレクチャー・デモンストレーションを実施するとともに精進料理をはぐくんだ出羽三山地方の修験道文化を紹介
		伊藤 新吉	宗教法人 出羽三山神社 齋館 料理長	ハンガリー	ブダペスト商科大学	2011. 10. 19	
		吉住 登志喜	宗教法人 出羽三山神社 神職	ハンガリー	ブダペスト商科大学	2011. 10. 20	
		成瀬 正憲	羽黒町観光協会				
		早坂 聖子	宗教法人 出羽三山神社				
28	和食の講演・デモンストレーション	吉田 健作	すし健 代表取締役	ウクライナ	ウクライナハウス	2011. 11. 20 ~ 2011. 11. 21	一般市民及び専門家対象に寿司の歴史や米文化に対する講演を実施。更に、魚のさばき方や衛生管理など寿司の基本に関する解説やデモンストレーションを実施
		風戸 正義	さかえ寿司 代表	ルーマニア	クラウンプラザホテル、大使公邸	2011. 11. 16 ~ 2011. 11. 17	
29	風呂敷のワークショップ	つつみ(太田) 純子	日本風呂敷協会認定講師	ジョージア	トビリシ国立大学、トビリシ自由大学、国立科学図書館	2011. 10. 31 ~ 2011. 11. 04	日本文化として風呂敷の歴史や文様の意味を紹介するとともに、日常で活用できる風呂敷包みをワークショップ形式で紹介。イスラエルとポーランドについては、風呂敷デザインコンテストと併せて実施
		小山田 千鶴	日本風呂敷協会認定講師	ポーランド	ポーランド日本情報工科大学、ポーランド大広報文化センター、ワルシャワ美術大学	2011. 10. 27 ~ 2011. 10. 30	
		西澤 良子	日本風呂敷協会認定講師	イスラエル	シェンカー大学	2011. 11. 05 ~ 2011. 11. 08	

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
				イスラエル	WIZOハイファ	2011. 11. 09	
				イスラエル	ベツアレル大学	2011. 11. 10	
30	ロボット技術のレクチャー・デモンストレーション	石黒 浩 大和 信夫	大阪大学 大学院基礎工学研究科教授 ヴイストン株式会社 代表取締役	クロアチア ロシア ロシア ロシア	ザグレブ大学 中央通信博物館 バウマン記念モスクワ国立工科大学 高等経済大学文化センター	2011. 11. 17 ~ 2011. 11. 18 2011. 11. 12 2011. 11. 14 2011. 11. 15	アンドロイド研究の第一人者である石黒浩と、ロボット製作ベンチャーであるヴイストン社代表の大和信夫を派遣し、ロボット技術に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
31	伝統衣装のレクチャー・デモンストレーション	橘田 洋子 服部 真湖 服部 武子	デザインディレクター/インテリアアーキテクト/着付師/CITRUS主宰 日本舞踊家/タレント 着付け指導	カタール カタール カタール カタール サウジアラビア サウジアラビア サウジアラビア ヨルダン ヨルダン ヨルダン	イスラム藝術美術館 ヴァージニアコモンウェルス大学カタール校 大使公邸 アルバヤーン女子学校 大使館多目的ホール 大使公邸 キング・ファハド文化センター フセイン文化センター インターナショナル・アカデミー・アンマン チルドレンズ・ミュージアム	2012. 02. 27 2012. 02. 27 2012. 02. 28 2012. 02. 29 2012. 03. 01 2012. 03. 01 2012. 03. 02 2012. 02. 21 2012. 02. 22 2012. 02. 23	レクチャーでは基本的な知識を得てもらうことを目的として、着物の歴史やその機能性、四季や文様から知る和の心などをスライドを用いて幅広く紹介。更に日本舞踊や着付けデモンストレーション、着付け体験ワークショップ等を組み合わせ、着物を通じた視覚的、感覚的な日本文化理解を図る

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
32	日本武道のデモン ストレーション (ジャナドリヤ 祭)	芦田 有正 芦田 和正 岡安 誠 見尾 幹巨 佐藤 四十一 坂手 雅夫 赤木 勇 竹内 藤一郎 藤田 長久 福島 祐紀洋 本山 喜朗 有宗 豊	竹内流 竹内流 株式会社三木工務 店 松山ワークセン ター 岡山県剣道連盟 居合道部 向上館道場主/有限 会社サカテ代表 タックコンサルタ ント株式会社 柔術竹内流宗家 津山市体育協会副 会長 社団法人岡山県雇 用開発協会おかや ま若者就職支援セ ンター 社団法人 吉備の 里 有限会社山洪武道 具店	サウジアラビア	ジャナドリヤ祭野 外ステージ	2011. 04. 21 ~ 2011. 04. 27	サウジアラビアの国家行事「ジャナドリヤ 祭」において古武道のデモンストレーション を行い、日本の伝統武道を紹介
33	日本武道のデモン ストレーション (ジャナドリヤ祭)	永木 伸児 甲斐 健太 香川 幸允 山口 貴史	NPO法人日本空手松 涛連盟 NPO法人日本空手松 涛連盟 NPO法人日本空手松 涛連盟 NPO法人日本空手松 涛連盟 国際部長	サウジアラビア	ジャナドリヤ祭野 外ステージ	2011. 04. 21 ~ 2011. 04. 27	サウジアラビアの国家行事「ジャナドリヤ 祭」において空手のデモンストレーションを を行い、日本の伝統武道を紹介

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
34	マンガのレクチャー・ワークショップ	アイバル・ディラーラ 細萱 敦	東京工芸大学 学生 東京工芸大学 准教授	トルコ	土日基金日本文化センター、アンカラ大学	2012. 02. 27	東京工芸大学の細萱敦をトルコ及びエジプトに派遣し、マンガのレクチャー・ワークショップを行う。また、細萱敦の指導学生であるトルコ人のアイバル・ディラーラ(マンガ専攻)を通訳・アシスタント・講師として同時にトルコへ派遣
				トルコ	旧総領事館事務所、カディルハス大学	2012. 02. 28 ~ 2012. 03. 02	
				トルコ	ドクズエイリュル大学	2012. 02. 29	
				エジプト	カイロ日本文化センター、シネマインスティチュート	2012. 03. 04 ~ 2012. 03. 05	
35	日本武道のレクチャー・デモンストレーション	岡田 保彦 仮屋 力 菅波 盛雄 川内谷 一志	警視庁 財団法人講道館国際部 順天堂大学 教授 大分工業高等専門学校 准教授	アルジェリア	ドラリア体育高校、アフリカ柔道センター、ブザレア道場	2011. 06. 18 ~ 2011. 06. 20	柔道家4名を派遣し、柔道に関するレクチャー・デモンストレーション、指導を実施
				アルジェリア	オラン理工科大学、オランリーグ道場	2011. 06. 20 ~ 2011. 06. 22	
				セネガル	ダカール大学、国立スポーツ民衆教育高等研究所	2011. 06. 22 ~ 2011. 06. 24	
				セネガル	スポーツ研究所	2011. 06. 24 ~ 2011. 06. 26	
36	生け花のレクチャー・デモンストレーション	倉田 克史 村上 謙治 豊田 光政	池坊華道会	モロッコ	国立図書館オディトリウム	2011. 09. 22 ~ 2011. 09. 26	池坊の生け花講師3名を派遣し、レクチャー・デモンストレーション、ワークショップを実施
				ガボン	在ガボン大使館、フランス文化センター	2011. 09. 18 ~ 2011. 09. 22	
				ブルキナファソ	ワガドゥグ市メディア館	2011. 09. 27 ~ 2011. 09. 30	

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
37	日本武道のレクチャー・デモンストレーション	安住 敏克	宮城県空手道連盟強化委員長	アンゴラ	シダデーラ競技場体育館	2011.10.18 ~ 2011.10.21	空手指導者4名(松涛館流2名、剛柔流2名)を派遣し、レクチャー・デモンストレーション及び指導を実施
		加藤 昇	財団法人全日本空手道連盟	タンザニア	国立インドアスタジアム、市内小中学校、ダルエスサラーム国立大学他	2011.10.24 ~ 2011.10.29	
		荒賀 正孝	京都府空手道連盟事務局長	モザンビーク	エドアルド・モンドラーネ大学体育館	2011.10.21 ~ 2011.10.24	
		佐藤 重徳	沖縄剛柔流空手道協会支部事務局長				
38	日本武道のレクチャー・デモンストレーション	横道 正明	国士舘大学空手道部女子監督	セネガル	マリユス・ンジャイ・スタジアム、セネガル国立道場	2011.10.28 ~ 2011.10.30	松涛館流の空手指導者4名を派遣し、西アフリカ4カ国にてレクチャー・デモンストレーション、指導等を実施
		大竹 則雄	千葉黎明高校副校長	ナイジェリア	アブジャ市スポーツコンプレックス室内競技場	2011.10.20	
		土屋 秀人	空手指導者	ナイジェリア	ナショナルスタジアム室内競技場	2011.10.22	
		奈須 和夫	三重県空手道連盟副会長	ベナン	HALL DES ARTS (コトヌ市)	2011.10.24 ~ 2011.10.25	

文化事業費

2. 催し等事業費 / (2) 日本文化紹介(助成)

諸外国において実施される、日本文化の諸分野の専門家による講演、デモンストレーション、ワークショップ等の文化事業に対し、経費の一部を助成する。

合計額 57,188,366 円

	事業名	助成対象者(機関・個人)	対象国	期間	事業内容
1	夏の日韓交流事業 アニメとまんがのひみつ展	石川 泰久	韓国	2011.11.10 ~ 2011.11.14	大韓民国・全州市でアニメとまんがのひみつ展を交流事業として実施。アニメ制作やまんが制作に携わる専門家の実演及び講演会、ワークショップ体験。アニメ・まんが専門家をはじめ総勢5名を派遣
2	華道デモンストレーションとワークショップ	永井 裕遙 指導者連盟師範	中国	2011.05.04 ~ 2011.05.11	北京大学・文化祭オープニングセレモニーにおいて華道デモンストレーションとワークショップを実施。更に、北京大学日本文化公開講座への装花と華道文化パネル展示を実施
3	狂言の講演・ワークショップ	野村 万作 狂言師	中国	2011.06.13 ~ 2011.06.16	中国・北京の中国芸術研究院にて、野村万作による狂言の講演と、狂言師数名による狂言ワークショップを実施
4	清華大学における日本文化普及の為のシンポジウム・講演	イセ文化基金	中国	2011.09.07 ~ 2011.09.13	清華大学にて日本文化普及のためのシンポジウム・講演を実施。伊勢彦信(イセ文化基金理事長)、宮内義彦、加藤紘一、事務局の伊勢節子、村上郁、岡本享子を派遣
5	京都西陣織に関する講演と西陣織アート作品の紹介	特定非営利活動法人国際教育情報交流協会	中国	2011.11.05 ~ 2011.11.13	「日中文化交流の一環」として2011年中国上海国際芸術フェスティバルの「京都西陣織りに関する講演と西陣織アート作品の紹介」に参加。美術品にまで昇華した西陣の織物文化を西陣工芸美術館・松翠閣の代表作品と龍村錦を中心に紹介。錦と西陣織りの第一人者にレクチャーしてもらおうと共に制作過程の映像、着物着付け実演なども実施。講師として龍村光峯(錦織作者)、名越聖(西陣織作者)、松井貴子(松翠閣館長)を派遣
6	「歌舞伎舞踊とその音楽」実演、レクチャー、ワークショップ	常磐津 東蔵 常磐津協会 理事	中国	2011.11.06 ~ 2011.11.14	日本語及び音楽を専攻する学生を対象に「歌舞伎舞踊とその音楽」の実演とレクチャー、楽器体験のワークショップを実施。更に、クイズによる会話を通し親密度を促進。相互融和と新たな芸能の誕生を期待し、現地学生との合奏を実施

文化事業費

事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
7 漆デモンストレーションー 伝統と現代の技の融合、生 漆、漆皮技法の制作を通じ てー	水田 泉 美術講師 /インディペンデント・キュレーター /アーティスト	インドネシア	2011.08.03 ～ 2011.09.01	日本の伝統工芸についての講義と実演。特に 漆技法の中でも、短時間で完成が可能な漆皮 技法に焦点を絞り、現地でデモンストレー ションを実施。現地の学生を対象に、伝統と 現代の技をテーマとしたワークショップと展 覧会も実施。ポップカルチャーのワーク ショップではテーマに『妖怪百景』を使用
8 書道のワークショップと作 品展	望月 月玲 造形作家	インドネシア	2011.05.18 ～ 2011.05.28	墨・筆・和紙を使った日本の書の芸術を体験 するワークショップをインドネシア国立芸術 大学大学院にて実施。併せて書の作品展を開 催
9 ～ユネスコ無形文化遺産 「沖縄 組踊り」登録記念 ～ 沖縄の舞踊と染織によ る、日本・カンボジア文化 交流	NPO法人織の海道実行委員会	カンボジア	2011.11.16 ～ 2011.11.24	首都プノンペンにて沖縄の伝統染織品や現代 作家の作品の展示、写真やビデオによる技術 紹介、ギャラリートークを実施。また、重要 無形文化財琉球舞踊保持者の又吉静枝（玉城 流いずみ会家元）らによる舞踊公演。沖縄県 郷土史家・石垣博孝による解説付。公演の様 子は後日シエムリアップにてビデオ上映
10 七夕ワークショップ	ミヤザキケンスケ アーティスト	シンガポール	2011.11.18 ～ 2011.12.06	シンガポール国内の教育機関やイベント会場 にて、「結プロジェクト」実行委員会が主催 し震災復興支援活動の一環として行う「七夕 ワークショップ」のためミヤザキケンスケを 派遣。仙台七夕をイメージした飾りつけを作 成
11 日本文化紹介及びワーク ショップ	石川 陽子	ベトナム	2011.08.11 ～ 2011.08.22	ベトナム・ホイアンで開催されたホイアン日 本祭り2011において、着物ファッション ショー、浴衣着付け、日本歌曲のコンサート を実施
12 日本の少女マンガに関する 講演／マンガの描き方ワー クショップ／少女マンガ二 人展	大城 房美 筑紫女学園大学英語学科教授	ベトナム	2012.03.19 ～ 2012.03.29	女性少女漫画家の草分け的存在の水野英子、 数々の賞を受賞し、「少女マンガの神様」と も評される萩尾望都の複製原画を中心に、萩 岩睦美、シンガポールの漫画家FScの原画・ グッズを紹介する展覧会と講演会、ワーク ショップを実施。また、本事業に併せて、気 鋭のマンガ研究者が一堂に会し、国際会議を 開催

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
13	映像表現に関する講演とワークショップ、フォーラム参加	SVP2 (SPREAD VIDEOART PROJECT SECOND ASPECT)	マレーシア	2011.11.23 ~ 2011.11.27	マレーシア・クアラルンプールで開催される映画フェスティバルに日本人映像作家の佐藤博昭、田中廣太郎、服部かつゆきの3名を派遣し、映像製作ワークショップ、フォーラムでの鼎談、アーティストトーク、更に震災を契機に制作された日本の映像作品の上映を実施。当該フェスティバルの観客、海外からの招待作家、そして現地でメディアアートを研究する大学生たちと交流を行い、震災後の日本の理解を促進。3月21日に本部で帰国報告会を実施
14	スパイスアーサー702による「新しい紙芝居」デリー公演	スパイスアーサー702	インド	2011.09.26 ~ 2011.10.01	日本独自の文化である「紙芝居」に音楽やマンガを取り入れて現代的なアレンジを加えたスパイスアーサー702による「新しい紙芝居」デリー公演(パフォーマンス及びワークショップ)を、デリー文学フェスティバルの一環として実施
15	南アジア英語落語巡回デモンストレーション及びワークショップ	桂 歌蔵 落語家/社団法人落語芸術協会	インド スリランカ	2011.11.10 ~ 2011.11.26	日本語を理解しない人も含めた幅広い層に向けた日本文化紹介事業の一環として、桂歌蔵による英語落語公演及びワークショップを実施
16	「一子どもたちへーあしたの本プロジェクト」(本と紙芝居による被災地支援活動)に関する講演と実演	財団法人日本国際児童図書評議会	インド	2012.02.08 ~ 2012.02.13	インディアン・ハビタット・センターにてAWIC(Association of Writers and Illustrators for Children)が主催する「ブックセラピーに関する国際会議」にJBBY(日本国際児童図書評議会)が参加。本を通じた被災地支援活動について報告し、被災地の子ども「今」と本の力、紙芝居の力について講演。また平和紙芝居を実演
17	オーストラリアにおける日本文学講演「井上靖とシルクロード・敦煌そして奈良へ」	大塚 清吾 写真家・佐賀大学客員研究員	オーストラリア	2011.04.13 ~ 2011.04.21	2011年に第五回授与式を迎えるシドニー大学の「井上靖賞」の関連事業としてシドニー大学Fisher図書館にて講演を開催。シルクロードを旅した日本文学の代表的作家井上靖の小説『敦煌』の現地を共に旅し撮影した大塚清吾による講演、関連作品の展示を実施。同時に大塚とシドニー大学写真科、敦煌研究グループとの交流、セミナーも実施
18	細川流盆石・盆石画展示とデモンストレーション、ワークショップ	細川流盆石九曜会 静岡支部 砂康会	オーストラリア	2011.05.18 ~ 2011.05.28	盆栽ソサエティ(オーストラリア)全州大会と協賛レパース市にて盆石展示のため、砂康会5名、コーディネーター1名を派遣。更に、盆石デモンストレーションとワークショップを連日実施

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
19	車人形・女流義太夫の実演とワークショップ	西川 古柳	カナダ キューバ チリ	2012.03.31 ~ 2012.05.09	西川古柳、竹本越孝、鶴澤三寿々、平間充子を派遣。舞台芸術関係者との交流を深め、日本の伝統文化の普及と日本社会へのより深い理解を促す為、人形浄瑠璃実演、車人形と女流義太夫のワークショップ、文楽DVDのレクチャー（現地語）を実施
20	長寿の島「奄美大島」からのメッセージ：日本の伝統文化とカリフォルニア文化の融合ワークショップ	NPO法人アマミーナ	米国	2011.04.06 ~ 2011.04.17	カリフォルニア州立大学チョコ校で開催される日米文化交流プロジェクト「Far East Fusion」において、茶道、華道、着物着付けパフォーマンスの指導者として参加。今回は特に日本文化の多様性というテーマの下、離島奄美大島の視点から日本文化の多様性を紹介。長寿の島奄美ならではの食文化、そして伝統日本文化である茶道、華道、着物を、カリフォルニア文化との融合という形で学生達とのコラボレーションにて紹介
21	アメリカ・日本国際文化交流会	荒井 栄園 いけばな草月流師範会理事	米国	2011.05.19 ~ 2011.05.26	いけばな、茶道を紹介して日本の伝統美を体験いただき、交流の輪を広げる。いけばな草月流会員18名、宝生流、茶道宗門会員4名を派遣。いけばな展、いけばな草月流デモンストラーション・講演、いけばなワークショップを実施。茶席、お手前披露、お茶・和菓子のもてなし100名も実施
22	囲碁文化の海外普及促進	公益財団法人 日本棋院	米国 フランス	2011.07.23 ~ 2011.08.07	ヨーロッパ碁コンGRES(ヨーロッパ囲碁連盟主催)ならびに米国碁コンGRES(アメリカ囲碁協会主催)での講義、講評、指導のため、(公財)日本棋院の専門棋士2名をコンGRES開催期間中に派遣
23	伝統工芸と現代芸術による茶事のデモンストラーション 旅する小宇宙—folding cosmos—	フォールディング・コスモス実行委員会	米国 英国 ドイツ	2011.08.31 ~ 2011.09.15	日本の伝統工芸と現代芸術を介して人々の文化・国際交流を図る茶事をマンハッタンで実施。本年は9.11から10年目にあたり、平和の交流を行う茶事を目的として、倉島美和子（フォールディング・コスモス実行委員会の総合ディレクター）と、江戸指物と現代美術作家による茶事を手がける岡田紅子を派遣。日本の伝統工芸や芸術作品に触れる機会を提供し、東日本大震災への理解と協力を求めて、対話やレクチャー、USTREAMによる発信を実施

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
24	俳人・種田山頭火に関する講演	宮下 恵美子 俳人	米国	2011.09.06 ～ 2011.09.15	1975年にカリフォルニアで故徳富潔・喜代子夫妻によって創設された、英語で俳句を詠む「有季定型俳句協会」(YTHS)の年次研修会に於いて、『山頭火』（宮下恵美子訳・ピエブックス社）をテキストに「俳人・種田山頭火」の生涯と作品を英語で講演・朗読。参加者は、ローマ字表記の山頭火の句の素読をすることで日本語の響きに触れる
25	一絃琴に関するレクチャーコンサート	峯岸 一水 清虚洞一絃琴宗家四代	米国	2011.09.26 ～ 2011.10.08	ハワイ大学音楽学部(民族音楽)に於いて、一絃琴音楽の認知と理解を深める為に清虚洞一絃琴・峰岸一水、Randey Raine-Reuschによるレクチャーコンサートを実施。コンサートには清虚洞一絃琴門人も参加
26	和太鼓レクチャーとデモンストレーション	信濃国松川響岳太鼓	米国	2012.03.13 ～ 2012.03.18	和太鼓集団の信濃国松川響岳太鼓を派遣し、米州コロラド州を中心に、和太鼓と日本人に関する講演、実技指導及びデモンストレーションを実施。東日本大震災の際の様々な支援への感謝の意を伝えるとともに、「元気な日本」をアピールし、日本への不安感払拭や訪問促進につなげる
27	第2次国境なきアーティスト in ハイチ	エクトル・シエラ 作家/教師	ハイチ	2012.03.01 ～ 2012.03.16	ハイチの地震被災地であるボンレポス及びポルトープランスの学校を訪問し、折り紙、書道といった日本文化を紹介するアートワークショップを実施。被災した子供たちに癒しや創造的体験を提供
28	伝統こけしの展示とワークショップ「KOKESHIE! in メキシコ」	志田 朝美 カルチャーコーディネータ	メキシコ	2011.11.26 ～ 2011.12.14	東日本大震災の被災地である東北が育んできた芸術文化「伝統こけし」支援のプロジェクトKOKESHIE!をメキシコシティのアートセンターにて実施。伝統こけしの展示の他、現役工人によるこけし制作のワークショップや折り紙を用いたこけし作りを実施。また伝統こけしの歴史やデザインの特徴に関する講演会も開催し、メキシコの若者達の「伝統こけし」への関心を促進させる
29	日本の食文化にまつわるプレゼンテーション、レクチャー及びワークショップ	石塚 マコ コンサルタント(ブランド/フード)	アルゼンチン	2011.04.27 ～ 2011.06.01	アルゼンチン・ブエノスアイレスの文化機関URRAにおいて、食と器の関係、食卓での作法など日本の習慣や思想を通して日本の食文化を紹介。奥深い日本の食文化の知識を伝えるとともに、いかにして現地で日本の食文化を実践するかをワークショップにて提案

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
30	書道に関する講演とワークショップ、書展	山本 祐司 書家	チリ	2011.07.31 ~ 2011.08.12	在チリ大使館主催の日本文化月間のオープニングイベントとして、首都サンティアゴと主要都市であるバルパライソ、ビーニャ・デル・マルにおいて、書道のレクチャー・デモンストレーション及び作品展示を実施。書道を通しての日本文化普及、日本語学習者の増加、対日理解促進を目指す
31	日系移民文化遺産保護意識推進プロジェクト	米田 誠士 文化財建造物模型作家	ブラジル	2011.04.04 ~ 2012.03.29	修復中の旧製茶工場カザロン・ド・シャの維持管理活動を支援するために日本建築に詳しい人材を派遣。支援として、①文化財指定建築の理解と普及のため、日本の伝統工法で建てられたカザロン・ド・シャの展示用模型(1/25縮尺)製作②ブラジルでは見られない学術模型(1/25縮尺)の製作過程の公開、展示による啓蒙活動③ペーパークラフト建築模型作りを通じた、文化遺産への理解と関心を深める啓蒙活動、の3点を実施
32	RESET_11.03.11 New paradigm サステナビリティ建築の提案と展望についての講演会	小堀 芳秀 建築家	ブラジル	2011.08.10 ~ 2011.09.10	ブラジル、サンパウロにて開催される国際デザインイベント「第4回 Boom SP Design」における招待展覧会の一環として、日本現代建築を代表する若手建築家であるマウントフジアーキテクトスタジオの原田真宏と原田麻魚を派遣。サステナビリティ建築の提案や展望に関する講演会を実施
33	珠算授業	木下 和真 珠算塾経営	イタリア	2011.10.09 ~ 2011.11.06	イタリア・ベローナの小学校の小学生及び教職員に、珠算文化の発信・普及を目的とした珠算技術の紹介と指導を実施
34	日本庭園造作及び、盆栽のワークショップ教室開催	齋藤 喜幸 有限会社齋喜工務店 代表	イタリア	2011.10.25 ~ 2011.11.02	サンベネデットで開催されるジャパンフェスティバルに、日本家屋の建築や造園に携わる専門家2名と、盆栽を世界に広めようと活動する専門家1名を派遣。日本庭園の文化紹介、造園及びお手入れ教室、盆栽の文化紹介、盆栽教室等を通じ、日本の庭園芸術を伝える
35	日本の食文化・料理の紹介	平井 健志 フォート・ジャパン株式会社 代表取締役	イタリア	2011.10.25 ~ 2011.11.02	和食店を営む平井健志、業界活動の長い寺山則義等12名をイタリア／マルケ州のジャパンフェスティバルへ派遣。日本の代表的な大衆家庭料理、寿司のセミナー(種類・調理法・材料・道具等)や資料展示、料理教室により、日本の食文化を伝え、食文化交流を図る。寿司職人による包丁技術、道具と手入れの講習会・体験会も併せて実施

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
36	ワタノハスマイルー子供達 が作った復興のオブジェを 通じた日伊児童の交流事業 ー	犬飼 とも NPOワタノハスマイル代表	イタリア	2012.03.23 ～ 2012.04.03	イタリア・ローマ市近郊のザガローロ (Zagarolo) 市立「おもちゃ博物館 (Museo del Giocattolo)」にて、被災した石巻市立 渡波小学校児童作のオブジェ紹介(展示と、被災地について写真・文書による報告)及びワーク ショップを実施
37	新しい日本文化「筆グラ フイー」のワークショップ	国際筆グラフイー協会	英国	2011.06.17 ～ 2011.06.24	国際筆グラフイー協会主催の事業。西邑桃代 (代表)、吉野和子、細谷みどり、福嶋正一、 藪田夏秋が英国の俳句協会、専門大学、小学 校、身障者施設でワークショップを開催。俳 句、筆、墨に興味を示す海外の方々に、和紙 を使い「筆グラフイー」で詩歌を描いてもら い、俳画を添え巻物に仕立てる。ロンドン、 ケンブリッジ、ヨーク、チェルムスフォード で実施
38	囲碁文化の海外普及促進	公益財団法人 日本棋院	英国 オランダ	2011.10.13 ～ 2011.10.24	オランダの欧州囲碁文化センターの設立20周 年の記念行事と英国各地の囲碁イベントや大 会(英国囲碁協会主催)に専門棋士で日本棋院 理事の神田英九段を派遣。囲碁の普及促進の ために、現地で講義、指導基などを実施
39	日本の左官技術を使った土 と藁のシェルターづくり ワークショップ	遠野 未来 遠野未来建築事務所代表	英国	2012.03.28 ～ 2012.05.13	ウェールズ・デンプシャー州のルーシン・ クラフトセンターが主催する日本文化紹介プ ロジェクト。同センターの敷地内に「シェル ター」をテーマにし、日本の伝統的な土と藁を 使った左官技術を用いた空間を地元参加者と 共同制作(2012年3月)。日本文化紹介と参加 者の交流を図る
40	組紐の講習・講演	白鳳古式くみひも道	オーストリア ドイツ	2011.06.12 ～ 2011.06.30	チューリンゲン州政府との共催でワーク ショップ・展示・講演を実施。所鳳弘他8名を 派遣。ベルリン日独センターでは子供のため の日本文化紹介のワークショップを実施。国 立ベルリン東洋美術館では、市内の小中高 生、日本学専攻の大学生に対し、組紐ワーク ショップを実施。オーストリアでは、盲学校 でのリハビリと自立支援を目的に組紐ワーク ショップを実施。日独交流150周年記念事業
41	着物ファッションのワーク ショップ	浅井 広海 着付師/着物スタイリスト	オランダ スウェーデン	2011.04.09 ～ 2011.04.16	アムステルダム国立ヴァン・ゴッホ美術館 で着物ファッションのワークショップを開催 するため、着付師/着物スタイリストの浅井広 海、小田嶋洋子を派遣。十二単、衣冠束帯か ら今に至る着物の千年の歴史を辿りながら、 西洋美術に大きな影響を与えたジャポニズム の源流を探る

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
42	武家文化に関する講演、能楽と能装束のワークショップ	山口 憲 山口能装束研究所 所長	スペイン ドイツ	2011.04.29 ~ 2011.05.28	ベルリン東洋美術館、シオーンズクレイス美術館、バレンシア大学に於いて文武両道の精神を一番良い形で開花させた武家の教養・美意識について、能楽を通して資料と共に講演を実施
43	現代詩朗読とケーナ音楽による日本文化紹介	日本国際詩人協会	スペイン スロバキア マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	2011.08.24 ~ 2011.09.08	ストルーガ詩祭でタニウチヒロシ(同祭新人賞受賞者)及びすみくらまりこが詩を朗読。スペインでは「日本の夕べ」にて1名の詩人と2名の音楽家がステージ披露。ヤン・スメルク国際文化祭では水崎野里子(詩人)他4名が招待参加し、詩と音楽にて日本文化を紹介。いずれも日本の精神美、震災後の復活に対する熱意を表現
44	からくり人形実演・講演、ワークショップの実施	矢野 光男	スペイン ポルトガル	2011.11.16 ~ 2011.11.29	スペイン北部ビルバオ人形劇フェスティバルに、からくり人形工房スタジオぎえもん主宰者、半屋春光(矢野光男)他が参加し、からくり人形芝居、からくり人形展示会、からくり人形制作教室、実演・講演会等、からくり人形を多角的に紹介する事業を実施。更に、からくり人形に縁の深いスペイン、ポルトガルを巡回し、実演・講演会を実施
45	日本酒と日本食材をともに味わう(食文化発信のレクチャーとデモンストレーション)	一般社団法人グッドフードジャパン	スペイン	2011.11.17 ~ 2011.11.30	食の情報に敏感なスペインにおいて、一般社団法人グッドフードジャパンが日本酒のインフルエンサー、シェフとともに、食の学会を実施。更に、日本大使館のイベントで、ワインに匹敵する食中酒としての日本酒の食文化を広く周知。特に東北の蔵元の酒をスペインの食関係プロに紹介し、流通に結びつけることを目指す
46	RESET11.03.11#New Paradigms	小堀 芳秀 建築家	スペイン	2012.03.20 ~ 2012.03.29	日本の若手建築家として復興計画において活躍する原田真宏と芦澤竜一をスペイン・バルセロナに派遣。3月11日の東日本大震災をきっかけとして企画された日本の現代建築展覧会「RESET11.03.11#New Paradigms」の一環として開催されるシンポジウムに参加。(バルセロナ建築センター(BAC)の招待)。被災地の状況や今後の展望について、建築という視点を介して思索するための講演会を実施
47	神谷紀雄展における講演と、陶磁器博物館でのワークショップとデモンストレーション	神谷 紀雄 陶芸家	ドイツ	2011.05.26 ~ 2011.05.30	デュッセルドルフ恵光日本文化センターで神谷紀雄 陶展開催中、ギャラリーで、同氏による講演を実施。また、「日本デー」当日、同市陶磁器博物館において、手ひねり、ろくろ、絵付け等のデモンストレーションとワークショップを実施

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
48	香り文化に関する展示、香道・お香作りのワークショップ	兵庫県線香共同組合	ドイツ	2011.09.15 ～ 2011.09.21	2011年9月にドイツ・フランクフルトで開催される日独交流150周年交流事業に、兵庫県線香共同組合より香りのマイスター、香司を派遣。お香作り・匂い袋作り体験を通じて、淡路島のお香への興味・関心を喚起し、香りを通じた文化交流を実施。併せて志野流香道によるワークショップを実施
49	茶道「遠州流」レクチャー & デモンストレーション	小堀 正晴 遠州茶道宗家 家元	ドイツ	2011.09.23 ～ 2011.09.30	ドイツ・フランクフルト・トリアーの日独協会、日本人学校に遠州茶道宗家の茶道指導者を派遣し、講演、茶会を実施
50	日本伝統工芸・唐津南蛮のワークショップ	中里 隆（隆太窯）	ドイツ	2011.09.26 ～ 2011.10.18	中里隆による唐津南蛮焼きのワークショップを実施
51	漢字をテーマにした現代美術と伝統工芸制作	菅野 麻衣子 ドメスティックアートプロジェクト四方山荘実行委員会 ディレクター/アーティスト	ドイツ	2011.10.09 ～ 2011.12.15	デュッセルドルフのAteliers Hoherweg（アーティストインレジデンス）にて公開制作。成果物をドイツのケルンにある国際交流基金ケルン日本文化会館の主催する【対話展】で展示し日本文化として紹介。表音文字のアルファベットに対して、象形文字のように一つの文字で一つの意味を表す文字体系である表語文字「漢字」をモチーフに、形で意味を表す彫刻作品を日本の木工指物の技術と道具で展開
52	現代日本の芸術音楽「創造活動を支える環境」レクチャーとワークショップ	原田 敬子 音楽学部講師/作曲家	ドイツ スロベニア	2011.11.04 ～ 2011.11.14	西洋音楽の影響を受けながらも独自の発展を続けてきた現代日本の芸術音楽は、欧州での音楽祭で度々特集されてきたが、「言葉を媒体とした交流・対話・講義」等は重視されずにいる。2011年の、スロベニア独立20周年と、日独交流150周年の機会に、日本の芸術音楽を広く深く紹介することを目的とし、レクチャーおよびワークショップを実施
53	ホンマタカシによる日本現代写真に関する講義 / Contemporary Japanese photography	浦江 由美子 ライター/コーディネーター	ドイツ	2011.11.14 ～ 2011.11.25	写真美術館、ヴァイセンゼー美術学校（ベルリン）、マウルカステン作家クラブ（デュッセルドルフ）、写真専門書店シャーデン（ケルン）に、日本の写真文化を知ってもらうためホンマタカシを派遣。現代日本写真に関する講義を実施
54	写真とそのストーリーの見せ方、モデルの演出における日本的な身体運用に関するワークショップ	河西 春奈 写真家	ノルウェー	2011.06.18 ～ 2011.07.29	ノルウェー・サンホルドラン美術館とその近くのアートスクールにて、写真を撮影する際にモデルの身体の動かし方の演出として、日本舞踊で行われる呼吸法や重心のコントロールの仕方をレクチャー。写真における日本的なメタファーと、そのストーリーの見せ方について紹介。実際に作品を制作しながらワークショップを実施。写真家の河西春奈と女優の麻風理香の2名を派遣

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
55	日本文化紹介プロジェクト <i>mahoroba</i>	mahoroba事務局	フィンランド	2011.09.14 ~ 2011.09.19	ヘルシンキにおいて、mahoroba事務局と在フィンランド大使館が共催し、日本の食や生活デザイン、文化を訴求する為、和カフェや展示会、ワークショップを実施
56	伝統の草木染&草木顔料作りの上級者向けワークショップ	柴田 玲甫 草木染色家	フランス	2011.04.22 ~ 2011.05.02	フランス西部の港町ラロシェルで開催される天然染料/顔料に関する国際シンポジウムに、柴田玲甫（草木染色家）が参加。草や木から抽出した染液を刷毛で塗る日本の伝統染色技法である草木染型染（くさきぞめかたぞめ）及び、草木から作り出す天然顔料の作り方の一部始終を世界中から訪れるシンポジウム参加者に指導
57	日本の天然染料と家蚕絹を使った紬着物の展示、技法解説、デモンストレーション	角 寿子 NPOアースネットワーク 理事長/染織研究家	フランス	2011.04.22 ~ 2011.05.05	L' Espace EncanのAtalante Hallにて開催されるISEND 2011 Europe/Exhibitionに山下誉、山下美美子（黄八丈ゆめ工房）を派遣。黄八丈織や藍緋着物の展示と解説、カッペタ織の実演等を通して、天然染料と家蚕絹を使って制作されている独自の絹織物文化を紹介。当日の様子はUSTREAMにて中継
58	日仏文化芸術交流 「書の不易流行」	特定非営利活動法人日本書芸術振興団	フランス	2011.09.15 ~ 2011.10.06	NPO法人日本書芸術振興団から、パリ・マドレーヌ寺院に理事2名及び委員1名を派遣。書の不易流行（古典的なものと新しいもの）をテーマとし、一般市民に対して体験型ワークショップ（書の映像による指導と筆墨による書作指導）を実施。また、作品解説と講演も実施
59	新潟発日本の発見 映像と記憶のアルケオロジー 1865~2011	原田 健一 新潟大学人文学部 教授	フランス	2011.10.15 ~ 2011.10.23	パリ国際大学都市日本館大サロンにおいて新潟地域の写真展示、映画上映、講演会を実施
60	日本のマンガに関する講演とマンガの描き方ワークショップ	高田 桂 漫画家/イラストレーター	フランス	2011.10.21 ~ 2011.11.01	アンカマプレスの招へいにより、フランス・パリにて日本のマンガを紹介する講演及びイラストレーション・漫画の描き方をレクチャーするワークショップを実施
61	夜高行燈 リヨン市「光の祭典」参加練り回し遠征事業	福野夜高祭連絡協議会	フランス	2011.12.06 ~ 2011.12.13	フランス・リヨンにおいて160年の歴史がある「光の祭典」に、アジアを代表して夜高行燈（富山県南砺市（福野地域）に江戸時代から伝わる行灯）が選出され、出演。東日本大震災後の再建と安全を願う思いから指名されたもの。大行燈3基、小行燈2基と60名を派遣。併せて、「南砺からリヨン、そして世界へ〜復興への祈り〜」展を開催

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
62	東日本大震災復興にあたり、各建築家が個別に或いはグループとして取り組んでいる活動の展示及びセミナー	小嶋 一浩 建築家 /株式会社シーラカンズアンド アソシエイツ代表取締役	フランス	2012. 03. 28 ～ 2012. 04. 01	フランスのパリ日本文化会館にて、東日本大震災復興にあたり建築家が取り組んでいる活動の展示及びセミナーを実施。復興の第一歩として、被災地の現況を正確に報告し、復興計画を発表することで、フランスでの理解の深化を図る。また、国際的なネットワークを構築し、今後の復興計画の多面的な支援につなげることも期待。セミナーには小嶋一浩の他に小野田泰明、隈研吾、山本理顕計4名を派遣
63	ポルトサントビエンナーレにおけるコミックワークショップ	小林 エリカ マンガ家/作家	ポルトガル	2011. 07. 24 ～ 2011. 08. 14	ポルトサント島で開催される国際芸術祭、ポルトサントビエンナーレへ、コミック・アーティスト小林エリカを派遣。コミックをモチーフにしたワークショップを実施
64	ユーラシア・フォーラムⅡ ユーラシア諸国民との文化交流 アニメ「長崎1945アンゼラスの鐘」、日本文化紹介、シンポジウム	日本ユーラシア協会	ウクライナ ベラルーシ ロシア	2011. 09. 17 ～ 2011. 09. 24	チェルノブイリ事故後25年、核の惨事体験を共有する立場から長崎原爆のアニメのロシア語版をウクライナ、ベラルーシにて初上映。ユーラシア諸国の友好団体とシンポジウムを開き、尺八、和太鼓、茶道、折り紙などの日本文化を実演及び指導し、平和と友好の絆を強化。更に、視覚障害者用に日本人が開発したスポーツ、ブライントennisをロシアなどの障害児にデモンストレーション
65	日本の着こなし講演とエストニア伝統柄を加えた着物リメイクのデザインワークショップ及び展示	岡崎 由美子 ファッションデザイナー	エストニア	2011. 07. 20 ～ 2011. 08. 07	2009年から継続中の日本とエストニアのコラボレーションワークショップの3回目。現地服飾デザイナーたちとのテーマに基づく制作と展示会をタリン市内オープンエアミュージアムにて実施。今回のテーマは「日本文化の要、着物 歴史と装い方そしてリメイク」
66	日本の染・伝統の技(講義・実演・ワークショップ)	時友 尚子 染色家	エストニア ラトビア	2011. 09. 10 ～ 2011. 09. 19	ラトビア芸大、エストニア芸大にて時友尚子他5名が日本の染の変遷を道具や作品を示しながら解説、伝統の技を実演。草木染、絞りの説明の後、二種類の草木液と媒染液を用意し、工程の変化で異なる色を現出させる技法を指導。展示ではデモンストレーションも実施
67	観世流能楽に関する講演、実演、展示	分林 道治 観世流シテ方・真謡会 主宰 /能楽師	エストニア	2011. 09. 13 ～ 2011. 09. 18	タリン市国立美術館KUNUで開催される、日本・エストニア国交回復20周年記念行事「JAPAN DAYS」に日本文化紹介の一つとして参加。DVD映像で能の舞台映像を紹介しての解説と実演を実施。講演時以外は面、衣装などを展示

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
68	居合道普及活動と講習会	星野 友昭 新潟県剣道連盟 居合道部会 副会長	キルギス	2011.09.14 ～ 2011.09.21	日本の伝統文化・武道、特に刀を使用したの精神面の強化と、人間形成を目的とした居合道に関心がある現地の方々に、礼儀作法を始め、侍文化を指導。勤勉・信頼・絆・技術・向学の心を伝え、今後の日本とキルギスの友好親善に寄与
69	日本の短編アニメーション作品紹介と参加型ワークショップ	米正 万也 京都精華大学 非常勤講師 /アニメーション作家	スロベニア	2011.11.30 ～ 2011.12.19	スロベニアのリュブリャナで開催される国際アニメーション映画祭アニマテカに、アニメーション作家/指導者である米正万也を派遣。日本の短編アニメーション作品群について特別プログラムを組んで紹介。日本の伝統デザインを通して、アニメーション制作の多様な可能性を探る。更に、同氏の指導による参加型アニメーションワークショップを実施し、自分をとりまく環境、文化への関心を喚起する作品を共同制作
70	現代陶芸のワークショップと国際交流展覧会	櫻井 靖子 陶芸家	ポーランド	2011.09.05 ～ 2011.10.04	ポーランド・ヴァウブジフの磁器工場にて、新しい表現を試みた現代陶芸のワークショップと会期中に製作した作品の展覧会を実施
71	いけばなに関するプレゼンテーション・華道ワークショップ・華展	フジの会	ポーランド	2011.10.11 ～ 2011.10.25	華道池坊の教授資格を持っている宮野照子、竹内一子、川上真貴子を派遣し、クラクフ、ワルシャワにおいていけばなの伝統に関するプレゼンテーション、3日間の華道ワークショップ及び華展の生けこみを実施。2012年に予定されている記念華展の準備の一環であり、いけばなの伝統、華道の精神及び現代のあり方に関する知識の普及とポーランド人担い手の育成を目指す
72	折り紙デモンストレーション	小林 一夫 おりがみ会館 館長	ラトビア	2011.05.15 ～ 2011.05.21	おりがみ会館の小林一夫が折り紙・和紙等の歴史や紙文化を紹介するとともに、折り紙デモンストレーションを実施。学生・生徒・児童を中心とする一般市民が、日本の伝統的遊びである折り紙の体験を通じて日本文化への関心を高め、親日層になることを目指す
73	茶道デモンストレーション	桂 裕子 茶道裏千家淡交会 教授	ラトビア	2011.09.24 ～ 2011.10.03	現地の方々が、日本の伝統文化である茶道を通じて日本文化への関心を高め、親日層になることを目的に、桂裕子が茶道を紹介し、デモンストレーションを実施

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
74	「日本の伝統演劇能とシェイクスピアの世界」ワークショップ	栗田 芳宏 舞台演出家/俳優	ルーマニア	2011.05.10 ～ 2011.05.20	実験的国際演劇祭の枠において、ルーマニアのクルジュ・ナポカおよびブカレストでワークショップを実施。「日本の伝統演劇能とシェイクスピアの世界」と題して能の国際性、普遍性について作品を通じて紹介。演出家の栗田芳宏と、動き・発生を示すために俳優1名を派遣
75	日本ルーマニア文化交流週間での飾り結びワークショップ	日本ルーマニア美術工芸交流協会	ルーマニア	2011.09.01 ～ 2011.09.12	ルーマニアで日本文化の紹介のために、聖光院有彩他4名が「組紐」と「水引」を用いて「飾り結び」のワークショップを実施
76	ロシアで心触れ合う一服のお茶	花月会	ロシア	2011.05.11 ～ 2011.05.19	ロシアで日本文化を学んでいる方々を対象に、講師が、広島で1974年から12年間国際交流ボランティアをしていた経験を生かして、茶道・華道を指導。リャザン大学の施設を利用して実施
77	茶会参加、現地での茶道指導	西川 宗篤 茶道教授	ロシア	2011.06.15 ～ 2011.06.25	ロシアの茶道文化団体「NP茶の湯」の要請に基づき、モスクワ、サンクトペテルブルク、ウクライナのキエフで行われる茶会に参加。併せて現地での茶道の指導、ならびに茶道に關係する日本文化についての講義等を実施。その他、現地の茶道活動に関する問題解決のための指導、支援を実施
78	The Dolls of World Master class(ワークショップ)人形制作講習会と作品及び写真トークショー(講演)	江川 イサム 株式会社亥辰舎 代表取締役	ロシア	2011.10.24 ～ 2011.11.02	モスクワで開催された「Art of the Doll」に人形作家、写真家等を派遣。同展でマスタークラス(球体関節人形制作講習会)を開講し、トークショー、被災地の写真パネル展を実施。マスタークラス講師は大竹美佳、納富恵子。トークショーは山岸伸が実施。総合プロデュースとして江川イサムを派遣
79	日、サウジ間で震災復興の知見・教育を検討し、将来の防災に備え国際連携を図るワークショップ	葛西 賢太 宗教情報センター	サウジアラビア	2011.12.21 ～ 2011.12.26	首都リヤド市において、当地市民及び識者等との対話交流を通して日本の震災復興の知見や教訓を共有するワークショップを実施。日本・サウジアラビア間の広い交流を促進。同ワークショップには多分野の識者(震災復興期における精神衛生、ボランティア、ジェンダー、震災とメディア、震災復興と地域社会、震災復興と文化財支援の専門家)を派遣
80	モロッコ王国における「日本展」～書・陶芸・食文化と東日本大震災～	西村 早百合 陶芸家/書家	モロッコ	2011.12.03 ～ 2011.12.26	北アフリカ・モロッコ王国の首都ラバト市において「日本展」を開催。書家/陶芸家である西村早百合による書のデモンストレーションの他、食文化レクチャーや東日本大震災の現状と日本の取り組みを紹介するパネル展等を実施。メクネス市では陶芸ワークショップも実施

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
81	2011少林寺拳法アフリカ地区特別セミナー	財団法人 少林寺拳法連盟	ケニア タンザニア	2011.08.16 ~ 2011.08.31	ナイロビ(ケニア)及びダルエスサラーム(タンザニア)において、拳士を対象とした特別セミナー並びに拳士及びその関係者、一般の方を対象としたデモンストレーションを実施。拳士に対しては、少林寺拳法への正しい理解を促し、一般市民には少林寺拳法を通じた日本文化の理解を促す。財団法人少林寺拳法連盟より田村明、加藤明、小林博紀を派遣

文化芸術交流事業に必要な経費

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費

(1) 受託事業 (アセアン)

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業(アセアン)

「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として、東アジア首脳会議 (EAS) 加盟国から各界の第一線で活動し、次世代のリーダーとなりうる若者を招へい。

合計額 50,710,141 円

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1 東アジア次世代リーダープログラム 福祉グループ (継続)	Unkyung Lee	ユネスコアジア太平洋国際理解教育院 企画行政室 事業担当	韓国	2011.02.26 ~ 2011.03.09	東アジアの社会各層・分野にわたりコミュニティ形成の将来を担う各国の若手リーダーを招へいし、対日理解と親日感情の促進を図り、将来にわたる知日派指導者の育成を目指す事業。「社会保障と福祉：社会的弱者の自立と共生」をテーマに東京、北海道(浦河)を訪問し、各地でのNGOや行政・民間団体にて関係者と意見交換を実施。「福祉」の分野で実績を持つNGO・教育関係者、若手研究者、行政官26名が参加
	Wei Zhang	心身障害者自立支援研究所 代表	中国		
	曾我 幸代	聖心女子大学大学院 博士号後期課程(文学研究科人間科学専攻)	日本		
	藤原 航	特定非営利活動法人 市民社会研究所 研究員	日本		
	Nathanael Elnadus Johanes Sumampouw	インドネシア大学 心理学部 講師/心理学者	インドネシア		
	Ali Aulia Ramly	ユニセフ(ジャカルタ)子供の保護及び社会政策専門家	インドネシア		
	Chiu Li Ng (Huang Qiuli)	グレイス オーチャード スクール 教員	シンガポール		
	Jingyi Lin	マインズ ソーシャルワーカー	シンガポール		
	Yuh Wen Hsu (Xu Yuwen)	グレイス・オーチャード・スクール 教員	シンガポール		
Bundith Punsiri	チュラロンコン大学教育学部 ESDイノベーションセンター 研究助手	タイ			

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Surasak Kao-Iean	チュラロンコン大学教育学部 ESDイノベーションセンター 研究者	タイ		
	Richard Beniza De Villena	美術教師／美術指導者協会 代表	フィリピン		
	Visitacion Espinosa Apostol	フィリピン障害者連合 ナショナルプロジェクトコーディネーター	フィリピン		
	Nhu Mai Anh Nguyen	ポピュレーションサービス インターナショナルプログラムコーディネーター	ベトナム		
	Thu Hien Nguyen	ベトナム教育科学院 プログラムオフィサー	ベトナム		
	Chu Shi Wei	ユナイテッド ボイス マーケティングコーディネーター	マレーシア		
	Muhamad Khairul Anuar Bin Hussin	教育省 教師	マレーシア		
	Ki Ling	社会福祉・救済復興省社会福祉局 成人身体障害者訓練学校校長	ミャンマー		
	Nan Mouk Seng	社会福祉・救済復興省社会福祉局 サイガン盲学校教頭	ミャンマー		
	Chitdavanh Chantharideth	労働社会福祉省 国家社会保障局 公務員	ラオス		
	Vonglatsamy Ratanavong	難民を助ける会 プロジェクトスタッフ	ラオス		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容	
	Boski Sharma	タマナ・スクール 教育専門家	インド			
	Rituparna Sarangi	笹川ハンセン病財 団 プロジェクト オフィサー	インド			
	Eliza Clare Duggan	連邦政府社会福祉 省(家族・住宅・コ ミュニティサービ ス・アボリジニ関 係省) アシスタン トマネージャー	オーストラリア			
	Sarah Tracton	アーツ アクセス オーストラリア コミュニケーショ ンマネージャー	オーストラリア			
	Kieran McHale	ワークワイズ雇用 斡旋団体 チーム リーダー	ニュージーランド			
2	東アジア次世代 リーダープログラ ム 食料グループ	Seyeon Park	韓国生命工学研究 院 研修員	韓国	2011.06.09 ~ 2011.06.20	東アジアの社会各層・分野にわたりコミュニティ形成の将来を担 う各国の若手リーダーを招へいし、対日理解と親日感情の促進を 図り、将来にわたる知日派指導者の育成を目指す事業。「食料問 題：21世紀型農業の在り方」をテーマに、北海道訓子府町、中標 津市、別海町等の協力のもと、畑作と酪農を中心に関連行政、団 体、生産者等との視察や交流を実施。「食料」の分野で実績を持 つNGO/NPO、教育・研究機関、行政、国連機構、報道、芸術、企 業等からの若手実務者26名が参加
		Junfeng Wang	国家発展和改革委 員会 城市和小城鎮 改革發展中心 副主 任(副部長)	中国		
		石橋 明日香	東京農工大学 大学 院生	日本		
		酒井 佑輔	東京農工大学 大学 院生	日本		
		Ratu Putri Ramanti	農業省国際協力セ ンター テクニカ ル・オフィサー	インドネシア		
		Sudirman	地方開発企画庁 西 ヌサ・トゥングラ 州 プログラム・ コーディネーター	インドネシア		
		Chea Vannarith	水資源・気象省 官 房責任者	カンボジア		
		Sreng, Rithy	農業省 事務官	カンボジア		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Nakorn Limpacuptathavon	ガーデン・オブ・フルーイション 研究者／社会活動家	タイ		
	Yavittha Phitakwatchara	ヘルシー・パブリック・ポリシー・ファンデーション 研究者	タイ		
	Johnny Tiwatiw, Masiong	ラ・トリニダード・オーガニック多目的組合 メンバー	フィリピン		
	Lily Dangla Jamias	コーディネエラ・グリーン・ネットワーク 森林監督官	フィリピン		
	Azlina Binti Mohd Ali	産業一次資源省農業食料局 下級農業補佐官	ブルネイ		
	Siti Maralini, Binti Haji Aliamat	産業一次資源省農業食料局 下級農業補佐官	ブルネイ		
	Nguyen Van Nhuan	地方開発センタープログラム・オフィサー	ベトナム		
	Tran Thi Thu, Phuong	ハノイ農業大学大学院 職員	ベトナム		
	Syed Zulkifli Bin Syed Zainulabidin	農業省 農園マネージャー／獣医師	マレーシア		
	Wan Mohammad Zukarnain Bin Baharudin	農業省 職員	マレーシア		
	Naw Diana Htoo	カインナリ食料産業&ミャンマー乳産業 管理課長	ミャンマー		
	Tin Tun Oo	ミャンマー畜産協会 牧場マネージャー	ミャンマー		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Bouthsakhone Inthalangsee	ラオス農林省（農業局）技術事務官	ラオス		
	Pany Vanmanivong	NPO法人NORMAI 総合コミュニティー開発プロジェクトチームリーダー	ラオス		
	Harshvardhan	国連開発計画 州プログラム従業員	インド		
	Naveen Kumar Patidar	アカ・カーン・ルーラル・サポート・プログラム プログラムマネージャー	インド		
	Vishwasree Boga	ソサイアティ・フォー・エリミネーション・オブ・ルーラル・ポヴァティ 専門家	インド		
	Kelly Robyn Guest	西オーストラリア州農業・食料省コンサルタント 農業コンサルタント	オーストラリア		
3 東アジア次世代リーダープログラム フォローアップ	Myung Hee Han	Korean National Commission for UNESCO Assistant Programme Specialist	韓国	2011.07.24 ~ 2011.07.29	第3・4期の東アジア次世代リーダープログラム参加者を対象としたフォローアップ事業をタイ・チュラロンコン大学と共催で実施。ネットワークの発展、事後活動についてのフィードバック、情報交換の場とする。 テーマ：東アジアの次世代リーダーとしてより持続可能な世界を目指して—自然災害や人的災害に対してJENESYSで得た知見をどう活かすか—
	曾我 幸代	聖心女子大学大学院 博士号後期課程(文学研究科人間科学専攻)	日本		
	藤原 航	特定非営利活動法人 市民社会研究所 研究員	日本		
	Rahmat Kurniawan	Batam Municipality Head of Sub-Division of Spatial Planning, Landuse	インドネシア		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Bundith Punsiri	ESD Innovation Center, Faculty of Education, Chulalongkorn University	タイ		
	Sribhudwong Peethakorn	Public Communication Officer	タイ		
	Supitax, Kanokphun	Foundation for Reclaiming Rural Agriculture and Food Sovereignty Action (RRFAA) /Program Officer	タイ		
	Surasak Kao-Iean	ESD Innovation Center, Faculty of Education, Chulalongkorn University	タイ		
	Michael Festejo Manalo	Escuela Taller de Instramuros Project Director	フィリピン		
	Visitacion Espinosa Apostol	Katipunan ng Maykapansanan sa Pilipinas, Inc. /National Project Director	フィリピン		
	Vi Dang Ha	MAP Architecture and Planning LTD. /Architect	ベトナム		
	Noor Adeeb Binti Kamaluddin	Universiti Teknologi Malaysia, Student	マレーシア		
	Shuvojit Sarkar	School of Planning and Architecture, New Delhi (Deem to be University) /Lecturer in architecture	インド		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Anna Honywood Cartwright	Godden Mackay Logan Heritage Consultants /Graduate Consultant	オーストラリア		
	Jorgensen, Diane Clare	Geoscience Australia, geologist	オーストラリア		
	Sarah Tracton	Churchill Trust	オーストラリア		
	Amy Louise Young	Dunedin City Council Planner/ Landscape Architect	ニュージーランド		
	Kieran McHale	Workwise Employment Agency, Team Leader	ニュージーランド		
4 東アジア次世代 リーダープログラ ム 環境：環境保 全と地域再生グ ループ	Jin-Ju Kim	Seodaemun-gu City Office Public Official	韓国	2011. 11. 19 ~ 2011. 11. 30	東アジアの社会各層・分野にわたりコミュニティ形成の将来を担う各国の若手リーダーを招へいし、対日理解と親日感情の促進を図り、将来にわたる知日派指導者の育成を目指す事業。「環境保全と地域再生」をテーマにプログラムを実施し、環境保全と地域再生の事例として熊本県水俣市を訪問し、関係者と有意義な意見交換を実施。「環境」の分野で実績を持つNGO/NPO、教育・研究機関、行政、国連機構、報道、芸術、企業等からの若手実務者27名が参加
	Jingjing Wang	The Institute of Public and Environmenal Affairs Vice Director	中国		
	Maho Kosaka	Shiga Prefectual Government Senior Staff	日本		
	Yumiko Shimozato	University of Sacred Heart Student	日本		
	Dwitho Frasetiady	WALHI South Kalimantan - Friends of the Earth Indonesia Executive Manager for Advocacy and Campaign	インドネシア		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Gita Putri Damayana	Indonesian Center for Law and Legal Studies (PSHK) Communication, Information, and Documentation Director	インドネシア		
	Chanthy Ney	Wildlife Sanctuary Department, Ministry of Environment Office Chief	カンボジア		
	Sophorn Ly	Ministry of Environment Deputy Director of Department	カンボジア		
	Suet Geok, Grace Ang	Singapore Environment Council Project Executive	シンガポール		
	Yin Teen Ngeow	Singapore Environment Council Project Executive	シンガポール		
	Kannika Janchidfa	Mahidol University Program Coordinator	タイ		
	Sujane Kanparit	Sarakadee Magazine (Feature Magazine) Editorial Staff/Writer	タイ		
	Abdul-Jalil Salic Umngan	Office of the Presidential Adviser on the Peace Process Technical Executive Assistant III	フィリピン		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Daniel Requejo Bercasio	Gawad Kalinga Community Development Foundation, Inc. Area Coordinator	フィリピン		
	Kuan Jian Chin	The Brunei Times ICT Executive	ブルネイ		
	Mohd Hairul Azrin Haji Besar	University Brunei Darussalam Lecturer	ブルネイ		
	Hieu Nguyen Thi	Center for Waste Resources Conservation and Development Coordinator of Research Program	ベトナム		
	Phan Thi Tran	World Wildlife Fund for Nature Wetlands Alliance Officer	ベトナム		
	Norazlina Hidawaty (Binti) Mohd Radzuan	Ministry of Natural Resources and Environment Assistant Secretary	マレーシア		
	Zaimastura (Binti) Ibrahim	Ministry of Natural Resources and Environment Environmental Control Officer	マレーシア		
	Nyein Nyein Khine	Ministry of Forestry Head of Branch	ミャンマー		
	Tin Maung Wai	Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement Assistant Staff Officer	ミャンマー		

市民青少年交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
		Aloun Phengmany	Water Resource and Environment Office, Champasak Province Director	ラオス		
		Sengphet Thanousone	National University of Laos Lecturer /Researcher	ラオス		
		Gurjeet Kaur	Pondicherry University Research Scholar	インド		
		Kate Lauren Hryczyszyn	The University of Queensland Honours Student - School of Geography Planning and Environmental Management	オーストラリア		
		Meredith Frances Davis	Ministry for the Environment Policy Analyst	ニュージーランド		
5	東アジア次世代リーダープログラム 教育：グループ	Minkyong Kim	The Hankyoreh Reporter	韓国	2012.02.25 ~ 2012.03.07	<p>本事業では、震災や様々な社会的事情により身内を失った青少年の心のケアへの取り組みに焦点を当てる。東アジア地域の将来を担う各国の若手リーダーが集い、寝食を共にしながら、青少年の心のケア・サポートについて理解を深め、具体的な手法や事例を自国のコミュニティや教育現場に活かし、実践に役立てることを目指す。「教育：困難を乗り越える『しなやかな力』を育む取り組み」をテーマに、宮城県気仙沼市教育委員会や気仙沼市の小中学校などを訪問し、ESD（持続可能な開発のための教育）の一環としての防災教育や国際理解教育、エネルギー教育の現場を見聞きし、関係者との意見交換を実施。「教育：青少年の心のケア」の分野で実績を持つNGO/NPO、教育・研究機関、行政、国連機構、報道、芸術、企業等からの若手実務者27名が参加</p>
		Junjie Wu	Beijing Jingshan School Teacher	中国		
		Hiroshi Murakami	Tokiwa Elementary School Primary School Teacher	日本		
		Miki Saito	Graduate School of the University of Sacred Heart Student	日本		
		IG.A Ayu Jackie Viemilawati	Pulih Foundation Psychologist and Technical Adviser to Aceh Program	インドネシア		
		Imran Sentosa	Sokola Foundation Teacher/Tutor	インドネシア		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Chhumpanha Ke	Build Bright University Lecturer	カンボジア		
	Yoeun Mey	Ministry of Social Affairs Vice Chief of Bureau of Department of Social Welfare	カンボジア		
	June Ming Ching Lim	Centre for Transcultural Studies Senior officer	シンガポール		
	Kenny Han Yi Low	Changkat Changi Secondary School Subject Head, National Education	シンガポール		
	Aruchita Auttamapokin	Thai Public Broadcasting Service (Thai PBS) Staff, Information and Coordination: Public Policy Group	タイ		
	Kritaya Sreesunpagit	Spirit in Education Movement (SEM) Trainer	タイ		
	Annaliza Villalobos Laylo	Office of the Presidential Adviser on the Peace Process Peace Program Officer IV	フィリピン		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Josephine Dela Guardia Mueca	Kaibigan Ermita Outreach Foundation, Inc. Children's Development Program Staff/Community Organizer	フィリピン		
	Abdul Nafri Bin Haji Hussin	Sultan Sharif Ali Secondary School Education officer	ブルネイ		
	Haji Mohamad Sofian Bin Lamit	Department of Technical Education, Ministry of Education Education officer	ブルネイ		
	Nguyen Minh Hieu	Action Center for the City Project Officer	ベトナム		
	Nguyet Ho Thi Minh	Plan International Education Provincial Specialist	ベトナム		
	Ezrin Ashikin Binti Zakaria	Ministry of Education, Malaysia Assistant Director	マレーシア		
	Shafarudin Bin Ali	Ministry of Education, Malaysia Assistant Director	マレーシア		
	Kyaw Naing Zan	Department of Educational Planning and Training Primary Teacher (General Science Curriculun)	ミャンマー		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Yin Nwe Tun	Department of Educational Planning and Training Junior School Teacher (Aesthetic Education Curriculum)	ミャンマー		
	Phouvong Aphy	ASEAN-SEAMEO Division, Ministry of Education and Sports Desk Officer	ラオス		
	Souksanh Sayavong	Faculty of Education, National University of Laos Head of Curriculum Unit	ラオス		
	Syed Zulfiqar Ali	National Rural Health Mission-Government of Rajasthan State Consultant	インド		
	Kimberley De Deckker	Department of Education, NSW School Counselor	オーストラリア		
	Marcia Ann Jones	Mairehau Primary School Primary School Teacher	ニュージーランド		

文化芸術交流事業に必要な経費

造形美術事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 造形美術情報交流（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 国際展
- (2) 企画展
- (3) 基金巡回展
- (4) 海外展助成
- (5) 造形美術情報交流（催し）
- (6) 市民青少年美術交流助成

造形美術事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業(アセアン)

造形美術分野での国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 24,730,991 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	東アジアクリエーター招へい(第4期)	エンダン・レスタリ ソック・タン ユージン・セン ピシタクン クアンタレーング トゥハ グエン フォン・ホアン・ビック・レー パンゲ・リー サヴィータ・ラニ	陶芸家 現代美術家 シンガポール国立博物館 キュレーター 現代美術家 現代美術家 現代美術家 現代美術家 俳優/演出家	インドネシア カンボジア シンガポール タイ ベトナム ベトナム ミャンマー インド	2010.08.01 ~ 2011.12.31	アジア・大洋州の13カ国から、アート、映画、演劇等創造的な活動に従事する若手のクリエイターを日本に招へいし、制作や関係者とのネットワーク形成の機会を提供し、新たな芸術交流の創造と国際相互理解の深化を図る
2	東アジアクリエーター招へい(第5期)	バユ・サリスト ヨ・スピヤントロ マハルディカ・ユダ イシャン・サム サラン・ユコングデー ピンパン・スン コーン ブエン・カルバヤン	アニメーター キュレーター シンガポール美術館 プログラムマネージャー プロダクト・デザイナー タイ・クリエイティブ&デザイン・センター プロジェクト・マネージャー キュレーター/アーティスト	インドネシア インドネシア シンガポール タイ タイ フィリピン	2011.08.01 ~ 2012.07.31	アジア・大洋州の13カ国から、アート、映画、演劇等創造的な活動に従事する若手のクリエイターを日本に招へいし、制作や関係者とのネットワーク形成の機会を提供し、新たな芸術交流の創造と国際相互理解の深化を図る

造形美術事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	モハンマド・デ ニ・アスマン・ハ ジ・マンディ	アニメーター	ブルネイ		
	サンディ・チュー	照明デザイナー/俳 優/ライター	マレーシア		
	ファイルズ・スレ マン	マルチメディア アーティスト	マレーシア		
	シートン・シベン セイ	彫刻家	ラオス		
	アネク・ジャス パース	ニューサウス ウェールズ州立美 術館 キュレーター	オーストラリア		
	ヴィヴィアン・ ホッグ	インディペンデ ント キュレーター	オーストラリア		
	ローラ・プレスト ン	ヴィクトリア大学 ウェリントン校付 属アダム・アー ト・ギャラリー キュレーター	ニュージーランド		

造形美術事業費

1. 人物交流事業費 / (2) 造形美術情報交流(招へい)

内外の造形美術関係の情報を収集・整備し、外部に対して情報を提供する。

合計額 685,397 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	オーストラリア学 芸員招へい	マギー・フィンチ	ヴィクトリア州立 美術館・キュレー ター	オーストラリア	2011.09.05 ~ 2011.10.09	豪州において、日本の芸術写真に対する理解と関心を広め、また日豪学芸員交流の促進を図ることを目的に豪州・ヴィクトリア州立美術館の写真専門のキュレーター、マギー・フィンチを招へい。主に東京都写真美術館にて、専門分野のResearchを行うとともに、2011年10月1日より同館で開催する「畠山直哉 写真展」に対する支援を実施

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (1) 国際展

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

合計額 68,043,730 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	第13回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展【準備】	イタリア	ヴェネチア	ジャルディーニ公園内日本館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	第13回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展における日本館参加を準備。コミッショナーは伊東豊雄(建築家)、参加者は畠山直哉(写真家)、乾久美子(建築家)、藤本壮介(建築家)、平田晃久(建築家)
2	第54回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展	イタリア	ヴェネチア	ジャルディーニ公園内日本館	2011.06.04 ~ 2011.11.27	第54回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展において日本館展示「東芋：てれこスープ」展を実施。コミッショナーは植松由佳(国立国際美術館主任研究員)

2. 催し等事業費 / (2) 企画展

国内や海外の美術館、博物館等との協力の下に、日本の美術・文化を海外で紹介する展覧会を海外で企画、主催する。特に「北斎展」など周年事業に対応する大型事業を実施する。

合計額 239,928,024 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	日中国交回復40周年記念美術展事業【準備期間】	中国	北京		2012.12.15 ~ 2013.02.03	日中国交40周年を記念した日本の現代美術展を中国で行うための北京調査出張等の準備を実施
2	WA—現代日本デザインと調和の精神	日本	小平市	武蔵野美術大学美術館・図書館	2011.06.24 ~ 2011.07.30	日常生活の中から現代の日本の優れたプロダクトデザイン約160点を、12のカテゴリー(食器/水まわり/家電/情報/遊具/文具/雑貨/ウェア/包みとバッグ/乗り物/家具/あかり)に分けて展示する。日本のデザインに特徴的に見られる要素として6つのキーワード(かわいい、クラフト、きめ、手ざわり、ミニマル、心くばり)をとりあげて紹介。5カ国6都市を巡回した展覧会の帰国展を実施
3	杉戸洋展	シンガポール	シンガポール	在シンガポール大使館JCC	2011.12.03 ~ 2012.01.14	シンガポールのジャパン・クリエイティブ・センター(JCC)にて杉戸洋の新作個展「Hiroshi Sugito: Paintings and Sketches」を開催、クロージングには建築家の青木淳と杉戸洋との対談を開催
4	新次元 マンガ表現の今日的可能性	フィリピン ベトナム	マニラ ハノイ	アヤラ美術館 ベトナム国立美術館	2011.08.15 ~ 2011.10.01 2011.05.19 ~ 2011.06.16	2000年代の日本マンガ9作品を「マンガ表現の今日的可能性」というテーマに沿って紹介する展覧会。昨年度は水戸とソウルで実施したが、今年度はベトナムとフィリピンで開催し、両国ともに会期1カ月で10,000名余の入場者数を数えて好評のうちに終了

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
5	JENESYSフォローアップ事業	インド オーストラリア	ニューデリー パース	ラリットカラ・アカデミー パース・インスティテュート・オブ・コンテンポラリーアート(PICA)	2012.01.21 ~ 2012.02.19 2011.11.12 ~ 2011.12.31	21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme) クリエーター招へいで日本に滞在したアジア各国の若手キュレーターと同世代の日本人キュレーターが共同で企画してオーストラリアのパースとインドのデリーで実施したOmnilogue シリーズの二つの展覧会。パースではOmnilogue: Alternating Currents展、デリーではOmnilogue: Journey to the West展を実施し、各展6名の日本人アーティストが参加
6	呼吸する環礁：モルディブ・日本現代美術展	モルディブ	マレ	モルディブ国立美術館	2012.03.20 ~ 2012.04.19	モルディブ喫緊の課題である環境問題に文化の視点からアプローチする事業。 <モルディブにおける展覧会の開催> 日本人作家が現地滞在して作品を制作。両国作家8組9名の制作した作品(インスタレーション、映像、建築、写真、ドローイング等)で構成されたBreathing Atolls:Japan-Maldives Contemporary Art Exhibition展(呼吸する環礁：モルディブ・日本現代美術展)を開催。共催はモルディブ国立芸術センター。隣接する公園にも一部作品を屋外展示。オープニングには約200名参加。会期中の入場者数は10,172名。同国で本格的な現代美術展が開催される初の機会 <制作過程記録映像(英語ドキュメンタリー番組)> 現地制作の過程を通してモルディブの現状を広く海外に広報するため記録映像制作を実施。企画競争の結果、株式会社日本国際放送(JIB)がドキュメンタリー番組制作を応札。番組名「Breathing Atolls:Creating Art in the Maldives」(本編28分。解説・字幕英語版)。放映は平成24年度(5月25日～26日)
7	「東京1955－1970」展(準備)	米国	ニューヨーク	ニューヨーク近代美術館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ニューヨーク近代美術館にて開催される1955年から1970年までの東京における美術の潮流を紹介する展覧会
8	写真展「旅」展	メキシコ ポルトガル	トルカ レイリア	モデロ科学産業博物館 レイリア市立ギャラリー	2010.10.01 ~ 2010.10.24 2010.05.31 ~ 2010.07.11	2010年に行った「旅展」(写真展)の終了後、作品返却等を実施
9	ローマ日本文化会館開館50周年近代日本美術展【準備】	イタリア	ローマ	ローマ国立近代美術館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	京都国立近代美術館、ローマ国立近代美術館との共催で、日本画及び工芸品80-100点による近代日本美術展を開催
10	田中敦子展	英国 スペイン 日本	バーミンガム バレンシア州 東京	アイコンギャラリー カステジョン現代美術センター 東京都現代美術館	2011.07.27 ~ 2011.09.11 2011.10.07 ~ 2011.12.31 2012.02.04 ~ 2012.05.06	戦後日本の前衛芸術グループ「具体」を代表する女性アーティストとして、近年内外で注目を集めている田中敦子(1932-2005)の欧州初の個展。「具体」の活動期に発表した作品を含め50年に及ぶキャリアの中から厳選された多様なメディアによる作品60～70点(絵画、コラージュ、立体、記録映像等)を展示

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
11	桂離宮—石元泰博展	ドイツ	ケルン アイヒェンツェル ランゲン ミュンヘン ベルリン	ケルン日本文化会館 ファザネリー城 ヴォルフスガルテン城 ミュンヘン建築ギャラリー バウハウス・アルヒーフ	2011.04.08～2011.06.03 2011.08.20～2011.09.11 2011.09.16～2011.09.18 2011.10.19～2011.11.12 2012.01.18～2012.03.12	日本の王朝の雅を今に伝える桂離宮を個人的な視座で捉えた、石元泰博の写真作品50点を展示。モダンな造形性で知られる石元の写真を通して、桂離宮と言う日本美の精緻をクローズアップ
12	「昭和40年会」展	ドイツ ウクライナ	デュッセルドルフ キエフ	Kunsthalle Dusseldorf Arsenale	2011.05.21～2011.07.03 2011.11.01～2011.11.13	昭和40年に生まれたアーティストグループ「昭和40年会」の展覧会をデュッセルドルフ・クンストハレで実施。海外での初の大規模個展。デュッセルドルフの後、ウクライナ、キエフに巡回し、キエフ・アートフェアの特別展示として実施 【日独交流150周年記念事業】
13	北斎展	ドイツ	ベルリン	マルティン・グロウピウス・パウ	2011.08.26～2011.10.31	欧州で開催される北斎展としては、今世紀最大規模の展覧会。「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」など北斎生誕の地である墨田区所蔵コレクションや『北斎漫画』シリーズなどの版本、肉筆画、版画など約440点により、西洋印象派にも影響を与えた北斎の画業の全容を紹介 【日独交流150周年記念事業】
14	世界遺産登録記念—平泉写真展	フランス ベルギー	パリ ブリュッセル	パリ文化会館 ベルギー大使館	2011.06.23～2011.07.30 2011.11.07～2011.11.25	平泉が世界遺産に登録される機会をとらえ、登録対象となった平泉の建築、庭園及び考古学的遺産群を撮った写真パネルと地元の伝統工芸品である秀衡塗の漆器を併せてパリの日本文化会館で展示し、平泉をアピールする。これにより、日本(東北)への観光も促進
15	ダブル・ヴィジョン：現代日本の美術展	ロシア	モスクワ	モスクワ市近代美術館	2012.03.14～2012.05.09	モスクワ市近代美術館との共催で現代日本美術のグループ展を実施。1960年代からゼロ年代に活躍する作家31名が新作を含む約170点を展示。企画者はエレナ・ヤイチニコヴァ(露のインディペンデントキュレーター)と保坂健二郎(東京国立近代美術館主任研究員)
16	ジャナドリヤ祭日本館展示「武道の精神」展	サウジアラビア	リヤド	ジャナドリヤ祭日本館	2011.04.13～2011.04.29	サウジアラビアの国民的文化行事であるジャナドリヤ祭にて「武道の精神」展を展示するほか、和室のステージ及びびしつらえを設置
17	楽展【準備】	米国	ロサンゼルス	ロサンゼルス・カウンティ美術館	2011.04.01～2012.03.31	楽展の準備のための調査出張等の準備経費
18	展示事業【準備】	米国	ニューヨーク	ニューヨーク近代美術館(MoMA)	2011.03.01～2011.03.31	MoMAにおける展示事業のためのニューヨークへの調査出張等の準備経費

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
19	「日本美術が笑う」展	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2012. 10. 03 ～ 2012. 12. 15	日本古美術の中から、「笑い」というキーワードで作品を選択して紹介するユニークな展覧会。禅的な精神性、またはマンガ、ポップといったステレオタイプな面が強調されやすい日本文化の新たな側面を検証。パリ日本文化会館、開館15周年を記念して企画された「笑い」をテーマとする事業の一つ

2. 催し等事業費 / (3) 基金巡回展

国際交流基金が所蔵する日本の芸術・文化に紹介する展示セットを海外諸国に巡回し、主催する。

合計額 184,589,798 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	ウィンターガーデン	ハンガリー	ブダペスト	エルンスト美術館	2011. 06. 10 ～ 2011. 08. 28	1960年代末以降生まれの若い世代のアーティストによる現代美術作品(平面作品、映像等)から構成される展示セット。本展の企画は、松井みどり(美術評論家)が提唱する、無名、時代遅れと言われるものに新たな用途や文脈を与える「マイクロポップ」(造語)をキーワードに構成
		ロシア	モスクワ	国立現代芸術センター	2011. 09. 23 ～ 2011. 10. 23	
		ロシア	サンクト・ペテルブルグ	トカチー	2011. 12. 17 ～ 2012. 01. 11	
		エジプト	カイロ	ゲジーラ・アート・センター	2012. 02. 22 ～ 2012. 03. 10	
2	キャラクター大 国、ニッポン(A)	フィリピン	マニラ	メトロポリタン美術館	2011. 07. 07 ～ 2011. 08. 20	サブカルチャーの重要なジャンルである「キャラクター」をテーマとした新しい巡回展セット。1950～60年代から現在までの日本社会を振り返りつつ、日本人なら誰でも知っているキャラクター(ウルトラマン、ハローキティ、ガンダム)などを分かりやすく解説するとともに、模型を展示。キャラクターの魅力や文化人類学的に分析するとともに、そのデザイン性も紹介
		ベトナム	ハノイ	ベトナム美術大学 アートギャラリー	2011. 10. 06 ～ 2011. 10. 23	
		ベトナム	フエ	フエ市ホーチミン博物館	2011. 11. 02 ～ 2011. 11. 13	
		ベトナム	ホー・チ・ミン	ホーチミン市博物館	2011. 11. 25 ～ 2011. 12. 04	
		マレーシア	ペナン	マレーシア科学大学 トゥアック・ファウ ジア博物館&ギャラリー	2012. 01. 09 ～ 2012. 02. 04	
		マレーシア	クアラルンプール	国立美術館	2012. 02. 20 ～ 2012. 03. 20	

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
		オーストラリア	シドニー	ジャパンファウン デーション・ギャラ リー	2011.04.07 ～ 2011.05.28	
3	キャラクター大 国、ニッポン (B)	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2011.04.07 ～ 2011.05.21	サブカルチャーの重要なジャンルである「キャラクター」をテーマとした新しい巡回展セット。1950～60年代から現在までの日本社会を振り返りつつ、日本人なら誰でも知っているキャラクター（ウルトラマン、ハローキティ、ガンダム）などを分かりやすく解説するとともに、模型を展示。キャラクターの魅力を生文化人類学的に分析するとともに、そのデザイン性も紹介
		ドイツ	ビーティヒハイ ム・ビッシンゲン	ビーティヒハイム・ ビッシンゲン市役所	2011.06.05 ～ 2011.07.31	
		ポルトガル	リスボン	オリエント博物館	2011.08.19 ～ 2011.09.18	
		スペイン	バルセロナ	カサアジア	2011.10.11 ～ 2011.11.20	
		スペイン	マドリード	ABCミュージアム	2011.11.30 ～ 2012.01.08	
		英国	ノリッジ	センズベリーセン ター・フォー・ビ ジュアルアーツ	2012.02.04 ～ 2012.08.12	
4	90年代の日本の絵 画	韓国	釜山	新世界センタムシ ティ6階 新世界 ギャラリー	2011.05.13 ～ 2011.05.31	現在高い評価を得ている会田誠、小林孝亘、奈良美智、村上隆等9名の作家が、1990年代に30代の若手作家としてどのように絵画に取り組み、新しい表現を獲得しようとしていたかを紹介
		韓国	ソウル	在韓国大使館公報文 化院	2011.06.10 ～ 2011.06.25	
		韓国	済州	済州学生文化院	2011.08.10 ～ 2011.08.19	
		中国	北京	清華大学美術学院美 術館	2011.10.02 ～ 2011.10.16	
		中国	大連	大連市第十五中学	2011.10.23 ～ 2011.11.04	
		中国	合肥	合肥久留米友好美術 館	2011.11.25 ～ 2011.12.08	
		中国	ハルビン	黒龍江省博物館	2011.12.17 ～ 2012.01.06	
		中国	重慶	重慶三峡博物館	2012.01.20 ～ 2012.02.15	
		中国	広州	広州市五三美術館	2012.03.02 ～ 2012.03.25	

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
5	くまもとアートポリリス	インドネシア	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	2011.04.21 ~ 2011.05.16	自治体や民間の建造物を建設するにあたり、内外から優れた建築家を起用するという熊本県の画期的なプロジェクト「くまもとアートポリリス」によって生み出された建築を紹介
		インドネシア	メダン	北スマトラ州立博物館	2011.06.09 ~ 2011.07.01	
		インドネシア	スラバヤ	11月10日工科大学(スラバヤ工科大学)	2011.09.15 ~ 2011.10.10	
		ブルキナファソ	ワガドゥグー	中央図書館	2011.11.28 ~ 2011.12.22	
		ギニア	コナクリ	ギニア国立博物館	2012.02.06 ~ 2012.02.27	
		モロッコ	ラバト	国立建築学院	2012.03.30 ~ 2012.04.19	
6	現代日本デザイン100選	オーストラリア	キャンベラ	豪州国立大学芸術学部ギャラリー	2011.04.07 ~ 2011.04.21	1990年代に製作された生活用品のデザイン約100点、その原点ともいえる戦後の50年代に製作された作品13点を紹介
		オーストラリア	パース	ギャラリー・セントラル	2011.05.17 ~ 2011.05.31	
		オーストラリア	クラレンス	パーン・アンド・スクールハウス・ギャラリー	2011.06.20 ~ 2011.07.15	
		オーストラリア	シドニー	ジャパンファウンデーション・ギャラリー	2011.07.29 ~ 2011.09.17	
		ニュージーランド	ウェリントン	マッセイ大学ミュージアム・ビルディング・ティーガーデン	2011.10.05 ~ 2011.10.26	
		インド	ムンバイ(ボンベイ)	ビクトル・メネゼス・コンベンションセンター	2011.12.18 ~ 2012.01.08	
		インド	チェンナイ	ラリ・カラ・アカデミー チェンナイセンター	2012.01.18 ~ 2012.01.27	
		インド	ニューデリー	ニューデリー日本文化センター	2012.02.06 ~ 2012.02.15	
		インド	アーメダーバード	ナショナル・インスティテュート・オブ・デザイン	2012.03.02 ~ 2012.03.11	

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
		インド	ラクナウ	ラリット・カラ・アカデミー ラクナウ	2012.03.23 ~ 2012.04.01	
7	現代日本の工芸	米国	グアム	グアム大学イスラセンター	2011.08.18 ~ 2011.09.09	陶器、竹細工、漆、ガラス、石など幅広い素材を用いて制作された工芸作品を「華」「侘び」「鋭」「歪み」「精緻」「花鳥」のテーマに分類して紹介
		フィジー	スバ	フィジー博物館	2011.10.04 ~ 2011.10.27	
8	現代日本の陶磁器	ウズベキスタン	タシケント	平山郁夫国際文化のキャラバンサライ	2011.05.06 ~ 2011.05.19	特色のある窯をもつ有田、唐津、萩、備前、京都、久谷、瀬戸、美濃、益子で、日本の窯の伝統を引き継ぎながら優れた陶芸作品を生み出している若手作家の作品71点を紹介
		ウズベキスタン	サマルカンド	ギャラリー・チョルスー	2011.05.27 ~ 2011.06.16	
		エチオピア	アディスアベバ	エチオピア近代美術館	2011.09.01 ~ 2011.09.23	
		クウェート	クウェート	イスラム遺産美術館 アメリカニ文化センター	2011.12.04 ~ 2012.01.27	
9	自然に潜む日本	モンゴル	ウラン・バートル	ザナバザル美術館	2011.05.02 ~ 2011.05.31	写真家の矢萩喜徳郎が「ありのままに日本の自然をみつめることで、写真を通して日本の現在の姿を立ち上がらせよう」と日本全国を巡り撮影した写真集『Hidden Japan-自然に潜む日本』から選ばれたモノクロ写真85点を紹介
		ミャンマー	ヤンゴン	ギャラリー65	2011.07.22 ~ 2011.08.14	
		パキスタン	イスラマバード	国立美術館	2011.11.16 ~ 2011.12.27	
		カンボジア	プノンペン	日本カンボジア人材開発センター	2012.02.13 ~ 2012.03.21	
10	写楽再見	米国	ウィンターパーク (コロラド州)	コーネル・ファイン・アーツ・ミュージアム	2011.04.16 ~ 2011.06.12	歌舞伎役者を描いた独特の大首絵で有名な江戸時代の浮世絵師、東洲斎写楽をテーマに、現代の作家たちが柔軟な着想と確かな表現で再解釈した作品を紹介。写楽の大首絵(複製)28点、グラフィックデザイナーによるポスター28点、現代美術家による絵画・彫刻・陶芸・版画など23点により構成
		ウルグアイ	モンテビデオ	国立視聴覚博物館	2011.07.22 ~ 2011.09.04	
		パラグアイ	アスンシオン	パラグアイ日本・人 造りセンター	2011.10.20 ~ 2011.11.26	
		ベネズエラ	カラカス	ロムロ・ガジェーゴ ラテンアメリカ研究 センター	2012.02.25 ~ 2012.03.11	

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
11	建築展「3.11—東日本大震災の直後、建築家はどうか対応したか」	日本	仙台市	東北大学都市建築学専攻仮設校舎 KATAHIRA10	2012.03.02 ~ 2012.03.18	東日本大震災からの復興に向けて日本の建築家たちが展開している様々な活動を、写真パネルや模型を使って紹介。震災直後の避難所、次段階としての仮設住宅、最終段階には災害に強い家と街づくり、と、段階ごとに整理してアイデアを展開。本展監修者の五十嵐太郎（東北大学大学院教授）による講演会も併せて実施 【東日本大震災復興支援事業】
12	新世代アーティスト	コスタリカ エクアドル ボリビア ボリビア 米国	サンホセ キト サンタ・クルス ラパス サン・アントニオ	現代美術デザイン館 コンテンポラリー・アート・センター サンタクルス文化センター ボリビア国立美術館 ブルースター・コンテンポラリーアートセンター	2011.09.22 ~ 2011.10.30 2011.06.01 ~ 2011.07.31 2011.11.18 ~ 2011.12.07 2011.12.22 ~ 2012.01.31 2012.03.01 ~ 2012.05.05	1990年代中盤以降、大きな注目を集めている11人の日本人若手作家の現代美術展。視覚的にインパクトに富み、物づくりへの強いこだわりの感じられる作品を中心に、合計42点(絵画、彫刻、写真、ビデオなど)により構成
13	Struggling Cities	米国 米国 米国 カナダ 米国	シアトル ベルビュー(ワシントン州) ロサンゼルス トロント シカゴ	シアトル・センター MulvannyG2 日米文化会館 ドイザキギャラリー トロント日本文化センター イリノイ工科大学	2011.04.01 ~ 2011.04.03 2011.04.14 ~ 2011.04.29 2011.06.11 ~ 2011.07.31 2011.08.19 ~ 2011.12.09 2012.01.09 ~ 2012.01.31	今から50年前、1960年代に日本で盛り上がりを見せた都市への実験的な提案を入口に、現代に至るまでの都市を取り巻くさまざまな状況や、現在の東京に見られる特異性を、建築や都市の模型のみならず、アニメーションや写真スライド、映像といった多様なメディアを交えながら検証
14	スピリトを写す	ブルガリア コソボ マケドニア旧ユーゴスラビア共和国 ボツワナ	ソフィア プリシュティナ スコピエ ハボローネ	ブルガリア国立美術館ギャラリー コソボ・アート・ギャラリー スコピエ市ミュージアム ボツワナ国立博物館	2011.05.12 ~ 2011.06.12 2011.07.07 ~ 2011.08.08 2011.09.17 ~ 2011.09.30 2011.11.08 ~ 2011.11.27	精神的な基盤が失われた時代に、物質的な現実に隠された見えないものがあるであろう価値を表現しようとする作家たちの姿を紹介

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
		アルジェリア	アルジェ	ライ宮殿芸術センター	2012.01.28 ～ 2012.02.18	
15	手仕事のかたち	スロベニア	リュブリャナ	スロベニア国立博物館	2011.03.14 ～ 2011.05.03	日々の暮らしの中で育まれてきた伝統的工芸品(陶芸、染織、金工、漆工、木竹工、紙など)及び、各地の工房で伝統的な技術を用いて創造性豊かな作品を生み出している工芸作家の作品90点を紹介
		ヨルダン	アンマン	ヨルダン国立博物館	2011.07.17 ～ 2011.07.31	
		リトアニア	ビリニュス	ピクチャー・ギャラリー	2011.09.02 ～ 2011.10.04	
		ベラルーシ	ミンスク	ベラルーシ共和国国立美術館	2011.10.17 ～ 2011.11.10	
		ベラルーシ	ブレスト	ブレスト州立郷土博物館	2011.11.14 ～ 2011.12.10	
		スロバキア	ブラチスラバ	スロバキア国立博物館	2012.01.15 ～ 2012.02.19	
		ウクライナ	チェルニヒフ	国立歴史的建築保存物「古代チェルニヒフ」	2012.03.16 ～ 2012.04.15	
16	美しい東北の手仕事	ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館	2012.03.23 ～ 2012.05.19	東日本大震災から1年の節目に企画された展覧会。美しい東北の手仕事を取り上げ、現代の日本において文明が進み忘れ去られかけている、古代からの営みである手仕事の美しさを紹介。陶芸、漆芸、染織、金工、木竹工など、多岐に渡るジャンルの作品により構成
17	日本人形 (E)	カザフスタン	アスタナ	初代大統領博物館	2011.05.16 ～ 2011.06.05	日本古来の風習に育まれた「雛人形」「五月人形」、古典芸能に材をとった「能人形」「文楽・歌舞伎人形」等、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介
		カザフスタン	アルマティ	カザフスタン共和国中央国立博物館	2011.06.15 ～ 2011.07.03	
		トンガ	ヌクアロファ	バシリカ教会会議室	2011.07.28 ～ 2011.08.16	
		タイ	バンコク	クリスタルデザインセンター	2011.10.12 ～ 2011.10.23	
		タイ	チェンマイ	チェンマイ大学アートセンター	2011.11.04 ～ 2011.11.30	

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
		タイ	ナコンシータマラート	ムアン・コン・コン テンポラリーアート ギャラリー	2011. 12. 09 ～ 2012. 01. 14	
		タイ	パヤオ	パヤオ大学オーディ トリウム	2012. 02. 08 ～ 2012. 03. 07	
18	日本人形 (F)	米国	ナッシュヴィル	テネシー・アート・ リーグ	2011. 03. 09 ～ 2011. 04. 23	日本古来の風習に育まれた「雛人形」「五月人形」、古典芸能に材をとった「能人形」「文楽・歌舞伎人形」等、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介
		米国	メンフィス	レボスール小児病院	2011. 05. 04 ～ 2011. 05. 25	
		チリ	サンティアゴ	プロビデンスシア区文 化院	2011. 06. 23 ～ 2011. 08. 05	
		コロンビア	ボゴタ	ガブリエル・ガルシ ア・マルケス文化セ ンター	2011. 08. 25 ～ 2011. 09. 30	
		グアテマラ	グアテマラ	国立考古学民俗学博 物館	2011. 11. 03 ～ 2011. 11. 27	
		ドミニカ共和国	サントドミンゴ	人類学博物館	2012. 01. 12 ～ 2012. 02. 02	
		米国	イースト・ランシ ング	ミシガン州立大学イ ンターナショナルセ ンター	2012. 02. 27 ～ 2012. 03. 29	
19	日本の現代写真	エルサルバドル	サンサルバドル	ショッピングセン ター「ガレリアス」 展示場	2011. 04. 15 ～ 2011. 05. 08	「1970年代から今日までの現代日本に暮らす人々とそれをとりまく風景」をテーマに、森山大道、東松照明、荒木経惟を含む23名の写真家による、計76点の作品を紹介
		エルサルバドル	サンタアナ	西部地方博物館 特 別展示場	2011. 05. 20 ～ 2011. 07. 04	
		ホンジュラス	テグシガルパ	チミニケ学習セン ター	2011. 09. 01 ～ 2011. 09. 30	
		ペルー	リマ	日秘文化会館内神内 ギャラリー	2011. 11. 02 ～ 2011. 11. 30	
		ペルー	アレキパ	アレキパ市庁舎	2011. 12. 16 ～ 2011. 12. 30	
		米国	ウィンストン・ セーレム	ウェイク・フォーリ スト大学人類学博物 館	2012. 01. 31 ～ 2012. 03. 31	

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
20	日本の子ども60年	キューバ	ハバナ	ホセ・マルティ記念館	2011.07.07 ~ 2011.07.23	写真家の目がとらえた子供達の生活ぶりをはじめ、戦後から現代にいたる日本の60年間の歩みを振り返るとい趣旨のもと、木村伊兵衛、土門拳を含む97名の写真家により撮影された子供達の写真100点を紹介
		キューバ	サン・ホセ・デ・ラス・ラハス	サン・ホセ市立ギャラリー	2011.08.05 ~ 2011.08.21	
		キューバ	サン・アントニオ・デ・ロス・バニョス	サン・アントニオ・デ・ロス・バニョス県立美術センター	2011.08.26 ~ 2011.09.13	
		メキシコ	モンテレイ	ヌエボレオン大学	2011.04.11 ~ 2011.06.20	
21	「戦後日本の変容」展	イタリア	ローマ	ローマ日本文化会館	2011.10.20 ~ 2012.01.14	1945年から1964年までの日本戦後社会の変容を、11名の写真家の作品でたどる
		ドイツ	ベルリン	ベルリン写真美術館	2012.03.09 ~ 2012.06.17	
22	パラレル・ニッポン	ギリシャ	アテネ	ベナキ美術館	2011.05.30 ~ 2011.07.03	過去10年(1996年~2006年)に竣工した日本の建築から、代表的な110作品を選び、日本の社会文化状況と対比させながら紹介
		クロアチア	ザグレブ	ザグレブ現代美術博物館	2011.07.19 ~ 2011.08.06	
		セルビア	ベオグラード	セルビア中央銀行ギャラリー	2011.09.15 ~ 2011.10.11	
		イラク	バグダッド	アカデミック・センター	2011.11.20 ~ 2011.11.26	
		イラク	バグダッド	バグダッド大学工学部建築学科	2011.11.30 ~ 2011.12.09	
		バーレーン	マナーマ	国立博物館内「ギャラリー1」	2012.02.07 ~ 2012.02.27	
23	武道の精神	サウジアラビア	リヤド	ジャナドリヤ祭日本館	2011.04.13 ~ 2011.04.29	日本で実際に用いられてきた武具類を、テーマ性・装飾性の高い作品を中心に展観。日本文化を武芸・武術の観点から視覚的に紹介
		ロシア	ウラジヴォストク	アルセーニエフ博物館	2011.07.08 ~ 2011.07.29	
		ロシア	ハバロフスク	極東美術館	2011.08.16 ~ 2011.09.04	
		ロシア	ユジノサハリンスク	サハリン州立美術館	2011.09.20 ~ 2011.10.13	

造形美術事業費

事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
	フランス	ニース	パーク・フェニックス	2011. 11. 19 ~ 2012. 01. 01	
	アゼルバイジャン	バクー	アゼルバイジャン国立美術館	2012. 02. 03 ~ 2012. 03. 04	

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (4) 海外展助成

海外の美術館・博物館等が海外において企画・実施する日本美術・文化を紹介する展覧会に対し、経費の一部を助成する。

合計額 74,878,426 円

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
1	The 18th-19th Century Japan through Her Painting and Prints Meeting with the West: Collection from Kobe City Museum	韓国	ソウル	Gallery 1&3, Museum of Art, Seoul National Gallery	ソウル大学校美術館	2011.04.20 ~ 2011.05.29	日本の画家が初めて西洋美術とその技法に出会った18~19世紀の作品(司馬江漢、小田野直武、葛飾北斎等)を神戸市博物館の協力ののもとに展示。美術におけるアジアの近代化を調査したソウル大学校美術館の長期プロジェクトの成果展でもあり、韓国における日本の近代化研究の新しい試みとして実施
2	Elegant and Goodness: Beautiful People of East Asia	韓国	ソウル	梨花女子大学校美術館	梨花女子大学校美術館	2011.05.04 ~ 2011.07.23	日本・韓国・中国の絵画、彫刻、写真等近現代美術作品を「義人」「仙人」「芸人」「善人」の4セクションに分けて展示、東洋の文化的アイデンティティを検証
3	Gyeonggi International Ceramic Biennale 2011	韓国	ソウル	利川世界陶磁センター	韓国陶芸財団	2011.09.24 ~ 2011.10.23	京畿世界陶磁ビエンナーレの第6回目。今回は、韓国で陶磁器生産で名高い利川市で開催され、日本関連としてワークショップを実施
4	In Between: Art Brut in Korea and Japan	韓国	ソウル	誠信女子大学校美術館	誠信女子大学校美術館	2011.09.28 ~ 2011.11.24	アール・ブリュット(アウトサイダー・アート)は、ヨーロッパを発祥地として日本でも滋賀県の「NO-MA」を中心に大きな展開を見せている。認知度の低い韓国において日韓両国の作家約60名がアール・ブリュット展を実施し(誠信女子大学校美術館)、韓国における当分野への意識向上を図る
5	上海日本映画・テレビ・アニメ展示	中国	上海	上海環球金融中心	Japan China Friendship Film Festival Executive Committee	2011.06.11 ~ 2011.06.17	第1部では「映画の旅」と題して映画が撮影された日本各地を紹介。第2部「アニメ展示会」では日本を代表するアニメを紹介、展示。第3部「震災復興」では被災地である東北各県を紹介
6	Lost World	中国	北京	スリー・シャドウズ・フォトグラフィック・アートセンター	スリー・シャドウズ・フォトグラフィック・アートセンター	2011.06.25 ~ 2011.07.31	北京で高橋ジュンコがレジデンス期間中に制作した新作「都市のなかの人の姿」及び、近作の映像作品「Tokyo Mid」や写真「Untitled」を展示

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
7	Masashi Echigo: Everything is illuminated	インドネシア	ジョグジャカルタ	Jogja National Museum	Jogja National Museum	2012. 02. 16 ~ 2012. 03. 30	欧州で活動している日本人作家越後正志をレジデンス作家として招へい、同氏のアジア初の個展を実施。レジデンスを通じてインドネシア(特にジョグジャカルタ)の文化を調査し、その成果をインスタレーションとして展示。キュレーターはインドネシア芸術大学(ISI)教授のスワルノ・ウィストロトモ
8	We oui! by Fumiko Imano (part of M1 Singapore Fringe Festival 2012: Art and Religion)	シンガポール	シンガポール	TBC	M1 Singapore Fringe Festival	2012. 02. 15 ~ 2012. 02. 23	M1 Singapore Fringe Festival は、シンガポール及び海外からのアーティストを招へいし、演劇、ダンス、音楽、ビジュアルアーツなどを紹介する年に一度のフェスティバル。この開催に合わせて、今年度は日本人作家 Imano Fumiko の写真とビデオからなるTwins シリーズの展覧会を実施
9	Mieko Tadokoro: A Retrospective	インド	ゴア	Gallery Daguerre	Goa Center for Alternative Photography	2012. 03. 24 ~ 2012. 03. 30	針穴写真を専門に日本とフランスで活動する写真家田所美恵子のインド初の回顧写真展。2010年インドで初めて2針穴写真の世界的コンテストを実施したGoa Center for Alternative Photographyの主催、ゴアのGallery Daguerreで実施
10	Japan in Sydney: Arthur Lindsay Sadler, Japan and Australian Modernism 1920s-1930s	オーストラリア	キャンベラ	ユニバーシティ・オブ・シドニー・アート・ギャラリー	ユニバーシティ・オブ・シドニー・アート・ギャラリー	2011. 04. 03 ~ 2011. 06. 26	ロンドンに生まれ1900年代初頭12年間にわたり日本で教鞭を執ったのち、シドニー大学の東洋学教授となり日本美術の紹介と交流に尽力したA. L. サドラーの業績と影響を検証した展覧会。日本の近代版画を中心にオーストラリア、ヨーロッパの作品を展示、相互に与えた影響を探るとともに、同氏の業績を考察
11	Tokuji Yoshioka: Waterfall	オーストラリア	シドニー	シャーマン現代美術財団	シャーマン現代美術財団	2011. 10. 07 ~ 2011. 12. 17	プロダクト、空間、パッケージ、建築等、多岐にわたりプロダクトデザインの世界で活躍中の吉岡徳仁の個展。Waterfall 2005-2006、The Light 2009、Water Block 2002等4作品を展示。同氏はアーティスト・イン・レジデンス活動を通して日豪のアート/デザイン交流にも貢献
12	Japan: Tradition. Innovation.	カナダ	ガティノー	Canadian Museum of Civilization	カナダ市民発展博物館	2011. 05. 19 ~ 2011. 10. 10	日本の「温故知新」をテーマとして、北米での現代日常社会に普及している日本製品や日本のデザインが、江戸時代の伝統文化にルーツを有することに注目した比較展示を実施
13	Hiroshima: Works by Ishiuchi Miyako	カナダ	バンクーバー	UBC Museum of Anthropology	民族学博物館	2011. 10. 14 ~ 2012. 02. 12	写真家石内都による「ひろしま」シリーズの展覧会。広島記念資料館に保管されている、原爆で命を落とした人々の遺品などを撮影した作品を海外で初めて展示

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
14	Little Tokyo Design Week: Future City, Ultra Expo Exhibition	米国	ロサンゼルス	全米日系人博物館 (JANM)	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	2011.07.13 ~ 2011.07.17	阿部仁史(UCLA教授)の企画したリトル東京の未来都市計画を中心に展示。創造的、かつ持続可能な未来都市デザインを提示
15	The Artist's Touch, the Craftsman's Hand: Three Centuries of Japanese Prints from the Portland Art Museum	米国	ポートランド	ポートランド美術館	ポートランド美術館	2011.10.01 ~ 2012.01.22	ポートランド美術館所蔵の浮世絵および版画展。芸術的、技術的、文化的な側面から日本の版画の300年の歴史を紹介
16	Exchange and Evolution: World Wide Video Long Beach 1974-1999	米国	ロングビーチ	ロングビーチ美術館	ロングビーチ美術館	2011.10.07 ~ 2012.02.12	ゲッティ財団企画のPacific Standard Time: Art in LAの一部を利用して構成した展覧会。出光真子、久保田成子、中島こうの作品を中心に現代ビデオアート展を実施
17	Luminous: the Art of Asia	米国	シアトル	シアトル美術館	シアトル美術館	2011.10.13 ~ 2012.01.08	シアトル美術館前東洋美術部長の白原由起子監修。日本5カ所を巡回した「美しきアジアの玉手箱」展を元に米国で展覧会を実施
18	Prospect 2 New Orleans	米国	ニューオーリンズ	The New Orleans of Art	USビエンナーレ	2011.10.22 ~ 2012.01.29	ハリケーンカトリーナ後のニューオーリンズ市復興事業として開催されているビエンナーレ。日本人作家、小沢剛とジュン・グエン=ハツシバ2名が訪米し参加
19	Storytelling in Japanese Painting exhibition and related catalogue	米国	ニューヨーク	メトロポリタン美術館	メトロポリタン美術館	2011.11.19 ~ 2012.05.06	メトロポリタン美術館日本美術ギャラリーにて「日本の物語絵」展を実施。コレクション20点を含む全90点のテーマ別展示の他、学術会議、フィルム上映も実施
20	The Heart of Echizen: Wood Fired Works by Contemporary Echizen Masters	米国	ブリッジウォーター(マサチューセッツ州)	ブリッジウォーター大学	ブリッジウォーター大学	2012.01.18 ~ 2012.12.09	現代の越前焼きの作品を展示。米国内3大学及び全米焼物会議の4会場を2年かけて巡回。越前町との協力の下、展覧会に合わせて陶芸家を米国各会場へ派遣
21	Woven Treasures from Japan: The Art of Hyoji Kitagawa	米国	ワシントン	テキスタイル美術館	テキスタイル美術館	2012.03.23 ~ 2012.08.12	桜祭り100周年事業の一環として、西陣織の人間国宝、喜多川俵二の作品を展示。同氏が訪米し講演会、ワークショップ等も実施

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
22	6th VentoSul - Biennial of Curitiba クリチバビエンナーレヴェントスル	ブラジル	クリチバ	Casa Andrade Muricy	Instituto Paranaense de Arte	2011.09.17 ~ 2011.11.20	ドイツ在住の日本人アーティスト西野達をはじめ、世界各国の作家を招へい。展覧会のほか、ワークショップ、講演会、フィルム上映、パフォーマンス、アーティストレジデンスプロジェクトなどのアートイベントを実施。総合ディレクターはAlfons HugとTicio Escobarの2名
23	Personal Structures	イタリア	ヴェネチア	Palazzo Bembo	Global Art Affairs Foundation	2011.05.31 ~ 2011.11.27	オランダのNPO、Global Art Affairs財団主催の、2011年ヴェネチアビエンナーレの公式イベント。オランダ人キュレーター2名が選ぶ28名のアーティストのグループ展。現代アートにおける哲学的テーマ(特に時間、空間、存在)を、一般オーディエンスにわかりやすく提示する。招へい作家は藤本由紀夫、遠藤利克、ハートビートササキ、宮島達男、マリナーアブラモヴィッチ、リーウーファン等
24	Ningyo. Bambole dal Giappone - Atto Secondo karakuri. Bambole Meccaniche	イタリア	トリノ	Palazzo Barolo	A. S. D. Yoshin Ryu	2011.11.05 ~ 2011.12.28	トリノで実施された日本からくり人形の展覧会。犬山市文化資料館や玉屋庄兵衛のコレクションから作品や写真パネルを展示
25	Gone with the Wind (Event versus Object): Takehisa Kosugi	英国	ロンドン	Raven Row	Raven Row	2011.06.08 ~ 2011.07.17	サウンドアート作家4名のグループ展。日本からは現代音楽家の小杉武久が参加し、インスタレーション、パフォーマンス、ラジオプログラムやスケッチなどの関連資料を出品。同国でサウンドアートやデザインを専攻する学生から注目を集めた
26	Junya Ishigami: Architecture as Air	英国	ロンドン	バービカン・アートギャラリー	バービカン・アートギャラリー	2011.06.23 ~ 2011.10.16	建築家石上純也の個展。会場であるロンドンのバービカン・アートギャラリーでコミッションワークを制作、完成。作品は、第12回ヴェネチアビエンナーレで金獅子賞を受賞した「空気の建築」。良質なアートを身近に感じてもらうことを目的とし、大規模なコミッションワークを実施
27	Japan's First Railway: color woodblock prints from the 1870s	英国	ヨーク	国立鉄道博物館	国立鉄道博物館	2011.07.11 ~ 2011.09.25	明治時代の鉄道の木版画40点を中心に、当時の工具やスケッチなど鉄道に関する資料をヨークの国立鉄道博物館で展示。大阪の交通科学博物館の他に、大英博物館やヴィクトリア&アルバート美術館からも作品を借用、版画や鉄道に関する資料を通して日本と英国における鉄道を比較。日本における鉄道の受容や、その後の近代化についても考察

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
28	Lost in Lace: new work by international artists, makers and architects	英国	バーミンガム	バーミンガム美術館	バーミンガム美術館	2011. 10. 29 ~ 2012. 02. 19	バーミンガムで行われたレースを中心としたテキスタイルのグループ展。17名の作家のうち、塩田千春など5名が日本から参加。「レースの空間へのプロジェクション」をテーマにレースと現代建築との関係性や、レースの持つ二面性を提示
29	Yayoi Kusama	英国	ロンドン	テート・モダン	テート・モダン	2012. 02. 08 ~ 2012. 06. 05	世界4都市を巡回した草間彌生の大規模回顧展。約60年間に及ぶ作家の制作活動を、初期の珍しい紙作品からドローイング、インスタレーション、映像など、数多く展示し、作家の絶え間ない想像力を観客に提示。更に、同氏が次世代に及ぼした影響についても考察
30	Robotinity Exhibition in Ars Electronica Center	オーストリア	リンツ	Ars Electronica Center	Ars Electronica Linz GmbH	2011. 03. 10 ~ 2011. 09. 06	ロボットを文化と思想、芸術と技術、社会を横断する複合的な表現物と捉え、ロボットらしさとは何かを考える展覧会。石黒浩（大阪大学教授）の研究と、クワクボリョウタ（現代美術作家）の作品を欧米の作品と比較しながら展示
31	Hello Kitty, Hello Holland!	オランダ	レイデン	Japan Museum Sieboldhuis	Japan Museum Sieboldhuis	2011. 09. 10 ~ 2011. 11. 30	2011年のシーボルトハウスの特別テーマ「kawaii」を紹介する事業のハイライトとしてハローキティ展を実施。ハローキティがどのように日本の生活に密着し、愛されているのかを検証するとともに、シーボルトの江戸コレクションとの比較、変容も考察
32	Exhibition NUL/Zero	オランダ	スヒーダム	スヒーダム美術館	スヒーダム美術館	2011. 09. 11 ~ 2012. 01. 22	1958～1967年、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、日本等で同時代的に起こった芸術運動「ゼロ運動」を国際的な視点から検証。デュッセルドルフのゼロ財団の協力のもと、「具体」メンバーを中心として草間彌生、金山明など7名が参加
33	The Nature Spirit Contemporary Japanese Textile Art	スペイン	サラマンカ	Centro Culture Hispano Japones	世界染織アート	2011. 09. 15 ~ 2011. 10. 28	日本テキスタイル委員会に所属する16名の作家によるテキスタイルの展覧会。それぞれ自然と結びついたキーワード(森、湖等)をモチーフに作品を展開、最先端の作品を展示
34	FAN11 (Animation Festival of Navarra)	スペイン	パンプロナ	Planetario de Pamplona	Artyco y Planetario de Pamplona	2011. 11. 28 ~ 2011. 12. 29	日本文化の共有を目的としたアニメフェスティバルの第9回目。説明パネルと映像を展示し、今日の日本アニメのルーツとなった手塚治虫のアニメ手法を提示
35	Simple Interactions. Sound Art from Japan	デンマーク	オシキル	ロスキルド現代美術館	ロスキルド現代美術館	2011. 09. 24 ~ 2011. 12. 18	13名の日本人アーティストの作品を展示し、日本の現代音響芸術を紹介

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
36	The eye is a lonely hunter: Images of Humankind	ドイツ	マンハイム	Kunsthalle Mannheim	Fotofestival Mannheim Ludwigshafen Heidelberg e.V.	2011.09.10 ~ 2011.11.06	隔年開催される写真フェスティバルでの展示。2011年は2名のキュレーターにより「The eyes is lonley hunter」展を開催、日本からは川内倫子が参加
37	Samurai, Stars and Beautiful Women	ドイツ	デュッセルドルフ	Stiftung museum kunst palast	Stiftung museum kunst palast	2011.09.10 ~ 2012.01.15	浮世絵コレクターが1960年代にデュッセルドルフ市に寄贈したコレクション220点の中から国芳、国貞の浮世絵80点を展示。日独交流150周年記念事業
38	Hiroshi Kawano: The Philosopher at the Computer	ドイツ	カールスルーエ	カールスルーエ芸術メディアセンター	カールスルーエ芸術メディアセンター	2011.09.24 ~ 2012.01.08	メディアアートを専門とするZKM主宰の展覧会。コンピューターアートの先駆者である川野洋が、コンピューター創世記に果たした役割の重要性を70点のアート作品によって検証
39	Joseph Beuys: 8 Days in Japan and the Utopia of Eurasia	ドイツ	ベルリン	Nationalgalerie at Hamburger Bahnhof	Nationalgalerie at Hamburger Bahnhof	2011.10.08 ~ 2012.01.01	2009~2010年に水戸芸術館で開催された「日本のボイス8日間：ユーラシアユーロピア」展で上映されたボイスのビデオおよび所蔵作品を展示
40	150 Years of Diplomatic Relations Between Japan and Germany	ドイツ	マンハイム	Reiss-Engelhorn-Museums	Curt-Engelhorn-Foundation for the Reiss-Engelhorn-Museums	2011.11.06 ~ 2012.02.05	日独交流150周年の外交の歴史に焦点を当てた展覧会をマンハイムのエンゲルホルン美術館で実施。徳川財団より借用の陶磁器など歴史的資料を展示。日独交流150周年記念事業
41	Takehito Koganezawa - Schattenspiele	ドイツ	ベルリン	Haus am Waldsee	Haus am Waldsee, Ort Internationaler Gegenwartskunst	2012.03.02 ~ 2012.05.20	ベルリン在住の現代美術作家小金沢健人の作品を包括的に紹介する大規模個展。ドローイング50点の他、ビデオ作品を展示
42	Dialogue from DNA from Chiharu Shiota L'arc-en-ciel de l'Humanite from Shigeeko Hirakawa	フランス	メル	Saint Savinien Church	メル現代美術国際ビエンナーレ	2011.06.25 ~ 2011.09.18	フランス西南部で夏に行われるメル現代美術国際ビエンナーレでの、塩田千春と平川滋子の展示。塩田はメル市の住民が、自身の反省について書きつづった靴4000足の提供を受け、それらの靴をロマネスクの教会の天井から赤い糸で吊るすインスタレーションを実施。平川はメル市の公園に大きな特殊繊維の虹を制作。世界各国から21名の作家を招へい
43	100% Vent des Forets: group exhibition with presentation of a work by Japanese artist Fujiko Nakaya	フランス	フレズオウン	(屋外展示)	Le Vent des Forets	2011.07.16 ~ 2011.07.31	「森林の風」団体がロレーヌ地方の村で毎年開催しているレジデンス型の現代美術プロジェクト。2011年は中谷芙二子が参加、森林という環境を活かして作品を展示

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
44	Jikken Kobo / The Experimental Workshop	フランス	パリ	ベトンサロン	ベトンサロン	2011.09.09 ~ 2011.10.29	「実験工房」の作品や資料を展示し総合的に紹介した展覧会。会期中に映画やパフォーマンスなどの関連イベントも企画、多岐に渡る「実験工房」の活動と50年代の日本のアートシーンに関する作品や資料（「実験工房」や他団体の70点以上の作品や資料）を展示
45	7th International Triennial of Contemporary Textile Arts The 5 Continents - Woven World	ベルギー	トゥルネー	Museum of Tapestry	トゥルネー国際タペストリー・テキスタイル・トリエンナーレ	2011.06.10 ~ 2011.09.25	現代織物の国際イベント。ヨーロッパ、アフリカ、アジア、アメリカ、大洋州より35名以上のアーティストを招へい。アジア地域代表として6名の日本人アーティストが参加
46	Subtle Construction 複雑な建造物	ポルトガル	リスボン	プラットフォーム・リボルバー	プラットフォーム・リボルバー	2011.11.15 ~ 2011.11.19	田口行弘、久保田弘成の2名の日本人アーティストを含む7名のアーティストによる展覧会。「具体」やHigh Red Centerなど、日本の前衛美術グループ等により探求された現代美術の空間について、そのルーツと日本の影響を検証
47	Japanese Artists' Exhibition <i>Dialogues</i> 日本芸術展「対話」	エストニア	タリン	Gallery Atrium Gallery HOP Gallery Luhike jalg Gallery or Art Museum of Estonia	エストニア日本協会	2011.08.31 ~ 2011.10.07	伝統と現代の対話に焦点をあて、写真展（相原恭子）、陶芸展（梶なな子）、染織展（時友尚子）、書道展（神谷寿広）を実施
48	Japanese Artists in Tbilisi for the Artisterium 2011 (アーティストリウム2011)	ジョージア	トビリシ	Europe House Georgia Tbilisi State Academy of Art Georgian National Museum Goethe Institute Tbilisi History Museum Tbilisi State Museum of Georgian Literature Gala Gallery	Artisterium Association	2011.10.07 ~ 2011.10.16	毎年トビリシで行われる国際現代美術展、アーティストリウムに、日本から石井潤一郎、岩井優の2名のアーティストが参加。展覧会のほかにパフォーマンス、ワークショップ、シンポジウムなどを実施

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
49	Chawan Expo, international exhibition for the traditional Japanese teacup interpreted by non-Japanes	クロアチア	オパチヤ	Croatian Museum of Turism-Art Pavilion Juraj Sporer	International ceramic centre Atelier Janja Gora	2011.09.09 ~ 2011.09.23	欧州在住の20名の作家による140点の「茶碗」の展示並びに茶碗製作デモンストレーションを実施。日本の茶道デモンストレーションも同会場で実施
50	Photo Reference: Photographic Image in Contemporary Japanese Art Practices	セルビア	ベオグラード	The Cultural Centre of Belgrade	MIKSER	2012.03.27 ~ 2012.04.17	青山悟、城田圭介など70年代生まれの日本の若手作家による写真をベースとした現代美術展を実施
51	Japanese Sound & Video Art 2011 with Yoshio Machida	ブルガリア	ヴェルナ	Gallery Graffit, City Art Gallery	Association our World	2011.09.28 ~ 2011.10.06	スチールパン奏者でアーティストの町田良夫の作品「Scape」と、ドローイングとビデオインスタレーションで構成される新作の「Maru」を展示。同会場で会期中にスチールパンの演奏会も実施
52	Japanese Perspective at the 14th International media Art Biennale WRO 2011	ポーランド	ヴロツラフ	National Museum	Foundation WRO Center for Media Art	2011.05.10 ~ 2011.05.15	2011年のメディアアートビエンナーレWRO展ではJapanese Perspectiveと題して、第13回文化庁メディア芸術祭の入選作品を展示。五島一浩など6名の作家を招へい、レクチャーやワークショップを実施
53	Suda Yoshihiro	ポーランド	クラクフ	クラクフ市日本美術技術博物館マンガ	クラクフ市日本美術技術博物館マンガ	2011.07.08 ~ 2011.08.28	現代美術作家須田悦弘の個展。京都芸術大学の加須屋明子がキュレーションを実施
54	Japanese comic is presented in Macedonia and Kosovo	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	ヴェレス	マケドニア・コミック・センター	マケドニア・コミック・センター	2011.10.05 ~ 2011.10.16	日本文化に触れ合う機会の少ないマケドニアで日本の漫画を紹介。漫画家の高浜寛を日本から招へい、ワークショップを実施
55	Internalized World: Contemporary Photography from Japan	リトアニア	ビリニュス	P1 カルチャー・メニュー	P1 カルチャー・メニュー	2011.09.11 ~ 2011.10.15	EUジャパンフェストディレクターの菊田樹子をスペシャルゲストとして招へい。4名の若手写真家も招へいし、教育プログラムを実施
56	Kaunas Biennial TEXTILE 11: Rewind-Play-Forward	リトアニア	カウナス	National Museum of M.K. Ciurlionis	カウナス芸術家支援基金	2011.09.22 ~ 2011.12.04	ビジュアルアートとテキスタイルの展示、コンテンポラリーダンス、国際会議などを実施。日本人アーティストとして、須藤玲子の個展、講演会、ワークショップを開催

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
57	I fought the X and the X won	ルーマニア	クルジャボカ	Art Museum	Art Act Cultural Association	2011.04.15 ~ 2011.05.15	21カ国の現代アーティスト作品を紹介する国際現代美術展。日本からは中川太郎平の作品を紹介
58	Media Forum of the Moscow international Film Festival	ロシア	モスクワ	Club Arma 17	Center for Art and Culture MediaArtLab	2011.06.24 ~ 2011.06.27	モスクワ国際映画祭メディアフォーラムで池田亮司によるパフォーマンスおよびトークを実施。会場のモスクワ近代美術館Garage Centerでは「Expanded Cinema」と題してゴダール、ゲイリー・ヒル、ハルン・ファロッキ等の映像を紹介
59	4th Moscow Biennale of Contemporary Art <i>Rewriting Worlds</i>	ロシア	モスクワ	ArtPlay design center	モスクワ・ビエンナーレ芸術財団	2011.09.22 ~ 2011.10.23	第4回目となる現代美術展モスクワ・ビエンナーレに約80名の作家が世界から参加。キュレーターは作家でありZKM（カールスルーエ・アート・アンド・メディア・センター）館長でもあるペーター・ヴァイバル。日本から藤幡正樹、池田学、岡本光博、鳥光桃代、照屋勇賢、小沢剛、鈴木康博、宇治野宗輝が出品
60	The 12th Istanbul Biennial	トルコ	イスタンブール	Antrepo	イスタンブール文化芸術財団	2011.09.17 ~ 2011.11.13	2011年、第12回イスタンブール・ビエンナーレのテーマは「無題(Untitled)」。過去の出品作家も含め弁証法的内容の展覧会を実施。日本人建築家、西沢立衛が会場構成を担当

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (5) 造形美術情報交流(催し)

国内外の造形美術に係わる情報の発信、相互交流を促進する。

合計額 61,506,733 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	横浜トリエンナーレアーティスト招へい	Bartolini Massio Dewar Daniel Henry Gicquel Gregory Philippe Han Sungpil Henrik Mattias Hakansson Kempinas Zilvina N. S. Harsha Peter Coffin Pui-ock Sudsiri Song Dong	Artist Artist Artist Artist Artist Artist Artist Artsit Artist	イタリア フランス フランス 韓国 デンマーク 米国 インド 米国 タイ 中国	2011.07.01 ~ 2011.12.31	運営の主軸が2011年より横浜市に移った横浜トリエンナーレ2011について、出品アーティストの旅費を国際交流基金が負担することで、関係者間のネットワーク作りを支援
2	記者招へい	Anirudh Sridmar Chari Nicolas Jean- Pierre Baby Benjamin Arthur Davis Priya Bhatnagar Arianna Di Genova Aidan Dunne Ekaterina Vladimirovna Inozemtseva	Ganges Art Gallery 『SARL Liberation』 『Artinfo』 『Flash Art』 『Il Manifesto』 『The Irish Times』 『Gallery PROWN』	インド フランス 米国 米国 イタリア アイルランド ロシア	2011.08.01 ~ 2011.12.31	横浜トリエンナーレのオープニングに合わせ、影響力のある海外メディアに所属、または寄稿している美術記者や影響力のあるキュレーター等を招へいし、横浜トリエンナーレや日本国内の美術館視察などを通じ、日本の美術界に関する情報提供と理解の深化を図るとともに、記事の執筆と掲載を依頼する。また、滞在中に日本のキュレーターや関係者等との交流の場を設け、美術交流の促進を図る

造形美術事業費

事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
	Daniel Luke Fox	『Frieze』	米国		
	Ramunas Gerbutavicius	『Lietuvos rytas』	リトアニア		
	Raymond Brian Gill	『The Age』	オーストラリア		
	Samuel Valentin Herzog	『Neue Zurcher Zeitung』	スイス		
	Karsten Rosenkrantz Segelcke Ifversen	『Politiken』	デンマーク		
	Gisele Junqueira Kato	『Bravo!』	ブラジル		
	Salila Mahancherdchuwong	『A Day Magazine』	タイ		
	Meera Madeline Menezes	『Art India Magazine』	インド		
	Koh Mi-Seok	『東亜日報社』	韓国		
	Sharon Akemi Mizota	Art writer/Librarian	米国		
	Pham Thi Thu Thuy	『文化スポーツ』	ベトナム		
	Khetsirin Pholdhampalit	『National Multimedia Group PLC』	タイ		
	Jose Antonio Pinera Sabugueiro	Union Nacional de Escritores Artistas de Cuba	キューバ		
	Clemens Maria Rupert August Harvin Poellinger	『Svenska Dagbladet』	スウェーデン		
	Cristina Alexandra Sabau	『Factum Design』	ルーマニア		
	Smadar Sheffi	Haaretz Daily Newspaper Ltd.	イスラエル		

造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
		Brian Sholis	『Artforum』	米国		
		Tobias Timm	『DIE ZEIT』	ドイツ		
		Truong Uyen Ly	『NAM』 『Elle』 『Heritage』	ベトナム		
		Wang Jin-Oh	『CNB NEWS』 『週刊CNBジャーナル』	韓国		
		Wang Yin	『南方周末』	中国		
		Ou Ning	『現代伝播集団』	中国		
3	日韓キュレーターミーティング	チョン・ユシン	アルコ・アートセンター キュレーター	韓国	2011. 10. 07 ~ 2011. 10. 09	日韓キュレーター各4名が3日間にわたり交流を深めながら、今日の課題や将来の新たな可能性について、意見交換を行う。2010年の第1回目に続く第2回目で、今年度は韓国のキュレーターを交えたキュレーターミーティングを実施、報告書を作成
		イ・スギョン	韓国オンライン美術館構築作業監督			
		ソ・ジンソク	オルタナティブ・スペース・ループキュレーター			
		イ・クオノ	新興大学兼任教授			
4	アジア次世代キュレーター会議	Aminuddin Tua Hamonangan	The Soemardja Gallery Director	アジア地域区分困難	2010. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	2005年度から開始した日本を含むアジア各国の若手キュレーターの会議。毎回、テーマを設定し、各国持ち回りで国際交流基金との共催で実施し、今年度は日本での開催。また、時期をかえて11月には「アジア大学美術館会議」を実施
		Liu Chunfeng	Art Museum of China curator			
		Vidya Shivadas	Independent curator			
5	日米学芸員交流	Joao Ribas	MIT List Visual Arts Center Curator	米国	2012. 02. 13 ~ 2012. 02. 25	米国各地から現代美術に関心を有する若手学芸員(約10名)を日本へグループ招へいし、美術館やギャラリー、作家アトリエ等への視察を通して、日本の現代美術の現況に対する理解と関心を深めてもらうとともに、日本人学芸員とのネットワーク構築の機会としてもらう
		Elizabeth Armstrong	Minneapolis Institute of Art Curator			
		David Norr	MOCA Cleveland Chief Curator			
		Miranda Lash	New Orleans Museum of Art Curator			

造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
		Rehema Barber	Independent Curator			
		Andria Hickey	Public Art Fund Associate Curator			
		Diana Nawi	Guggenheim Foundation, Abu Dhabi Project Assistant Curator			
		Esa Nickle	Performa General Manager / Producer			
		Jenny Schlenzka	Museum of Modern Art Assistant Curator			
		Dan Byers	Carnegie Museum of Art Associate Curator			
		Sarah Demeuse	Independent Curator			
6	ニューヨーク近代美術館(MoMA)との情報交流			米国	2010. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	2012年秋の戦後日本美術ソースブック出版に向け、ニューヨーク近代美術館学芸員の来日調査および日米美術専門家会議を支援
7	李禹煥：無限の提示展	リー・ウーファン(李禹煥)	美術家	米国	2011. 06. 24 ~ 2011. 09. 28	日本在住の韓国作家である李禹煥の北米初の回顧展。NYのグッゲンハイム美術館での展覧会開催に際し、カタログ及び人物交流を支援
8	国際シンポジウム(ヴォディチコ)	Douglas P. Fry Ewa Harabasz Krzysztof Wodiczko Robert M Ochshorn	人類学者 被招へい者配偶者 アーティスト アーティスト	米国 ポーランド	2011. 08. 01 ~ 2011. 08. 31	ポーランド出身のアーティストKrzysztof Wodiczko(クシシュトフ・ヴォディチコ、横浜トリエンナーレ2001出品作家)及び国内外の美術評論家、人類学者、哲学者等をパネリストとする国際シンポジウム(ヨコハマトリエンナーレ連携プログラム)の実施を支援することで、ヨコハマトリエンナーレを盛り上げるとともに、国内外の専門家のネットワーク形成、情報交換を促進する。シンポジウムは横浜で開催後、最終日には仙台に会場を移して実施
9	国際シンポジウム(美術展と国際展)	Dan Byers	キュレーター	米国	2011. 10. 23	美術館を拠点に運営し、実績を重ねてきた国際展。カーネギー・インターナショナルと台北ビエンナーレからゲストを迎え、美術館を拠点とする国際展のあり方や意義、継続性について検証しながら、国際展の新たな可能性を探る
10	伊藤若冲展関連シンポジウム	辻 惟夫	MIHO MUSEUM館長	米国	2012. 03. 30 ~ 2012. 04. 29	ワシントンナショナルギャラリーで開催される伊藤若冲展の関連シンポジウムに対して支援

造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
11	ナショナルデー	Garcia Barossi Max Pizio Pereira Dias Sandro Schneebeli Speakman Duncan	Musician Musician Musician Musician Artist	ブラジル 英国 スイス スイス 英国	2011.08.01 ~ 2011.12.31	横浜トリエンナーレ期間中に各国大使館と協働し、世界各国・地域に焦点を当てた各種イベントを実施。実施国は英国(8/6)、スイス(10/1)、ブラジル(10/16)
12	ロシア学芸員招へい	Ainura Yusupova Alisa Prudnikova Andrey Martynov Dmitry Ozerkov Galina B. Shishkina Irina Malkova Karina Karaeva Margarita Petrova	国立アレクサンドル・プーシキン名称美術館 絵画・版画部長 国立現代美術センター・ウラル支部 支部長 モスクワ・ビエンナーレアート・ファウンデーション ゼネラル・ディレクター 国立エルミタージュ美術館 現代美術部長 ロシア国立東洋美術館 シニア研究員 サハリン美術館 副館長 国立現代美術センター(NCCA) 映画ビデオ・アート部長 アレクサンドル・ソルジェニーツィン名称ロシア人移民文化会館 カメラマン/編集者	ロシア	2011.12.05 ~ 2012.12.16	ロシア全土より様々な専門分野を持つ学芸員12名(東洋美術、日本画・版画、移民文化、宗教美術、織物等)を招へい。参加者は、東京及び地方(福岡、京都、奈良、直島、金沢)を訪問して、日本美術・美術館の現状を視察。日本側とのネットワークを構築し、今後の展覧会企画や運営について考える機会とする。更に、普段なかなか知ることのできないロシアの美術館事情を日本側関係者と共有することで、学芸員や美術館同士の交流促進を図る

造形美術事業費

事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
	Maria Polyakova	ロスフォト国立美術センター 展示プログラムコーディネーター			
	Nadezda Maykova	ピョートル大帝人類学・民族学博物館(クンストカメラ) コレクション収集管理部長			
	Ok Khay	サハリン美術館 シニア研究員			
	Sergey Shandyba	国立宗教史美術館 研究員			

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (6) 市民青少年美術交流助成

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 1,669,850 円

	事業名	対象国	助成対象者	期間	事業内容
1	Drifting Images: 日韓フォトワーク ショップと展覧会	韓国	アート・アウトノ ミー・ネットワー ク	2011.11.10 ~ 2012.11.27	栗山斉、中里和人、大串祥子等、日本人の写真アーティストを韓国に派遣。現地の方々とのコミュニケーションを通して写真を制作し、ユーチューブやツイッター等、インターネット上で情報を発信。「写真ポエム」ワークショップも同時開催
2	第9回日中友好児童 絵画展	中国	特定非営利活動法 人 社会教育団体ベ ルボ会	2011.04.01 ~ 2011.09.30	ベルボ会（特定非営利活動法人社会教育団体）が教育支援を行っている福岡県と中国の幼稚園児、小学校児童の絵画作品を両国で公募、選考の上で展示。中国では上海、日本では福岡県にて展覧会を実施
3	日タイ高校生によ るワークショップ と展覧会	タイ	特定非営利活動法 人 素材探検隊	2011.08.18 ~ 2011.08.23	日、タイ両国の高校生がタイ、チェンマイにてハンカチにクレヨンで絵を描くワークショップを実施し、展覧会を開催。数年前からタイで開催していた高校生向けワークショップの実績が今回の事業へと発展
4	古代文字アート —新しい書の世界	フランス	天遊組	2011.04.20 ~ 2011.04.29	フランスのトゥール市で行われる森圭子（トゥーレーヌ日本語協会会長）主催の第二回「XXart展」にて、日本の新しい書の世界を伝えるための作品展示と共にトゥールの市民や小学生を対象にしたワークショップを実施。古代文字アートを日本で展開する天遊をはじめ、インストラクターとして天遊組メンバーの鶴田環江、広瀬麻奈、制作補助、記録担当として斉藤康代を派遣

文化芸術交流事業に必要な経費

舞台芸術事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 舞台芸術情報交流（内田奨学金フェローシップ）

2. 催し等事業費

- (1) 公演（主催）
- (2) 公演（助成・海外公演〔舞台芸術〕）
- (3) 公演（助成・PAJ北米）
- (4) 公演（助成・PAJ欧州）
- (5) 舞台芸術情報交流
- (6) 公演（助成・海外公演〔市民青少年交流〕）

舞台芸術事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 舞台芸術情報交流(内田奨学金フェローシップ)

米国、欧州など外国において将来にわたり活躍が期待される若手音楽家を招へいし、わが国の音楽関係者との交流や共演、共同制作に従事する機会を提供する。本事業は故内田元享の寄付金による運用益などにて実施される、冠寄付特別事業。

合計額 623,992 円

	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	David Marvuglio	ベース奏者／教育者／作曲家	米国	2012.01.27 ～ 2012.02.27	バークリー音楽院の推薦により米国からDavid Marvuglioを招へい。日本の民俗音楽について学ぶとともに、その要素を実験的に取り込んだ新たな音楽への展開に寄与

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (1) 公演(主催)

演劇、舞踊、音楽、民俗芸能など、日本の優れた舞台芸術を古典から現代まで幅広く紹介するため、公演団を派遣。また、日本と海外のアーティストにより共同で作品を制作し、国内外で公演を行う。

合計額 340,900,399 円

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	レ・フレール韓国公演	韓国	清州 ソウル 釜山 済州	国立清州博物館 麻浦(マポ)アーツセンター・ART HALL MAC 乙淑島(ウルスクト)文化会館 済州アートセンター	在大韓民国大使館 国立清州博物館 麻浦文化財団 在釜山総領事館 在済州総領事館済州特別自治道	2011. 11. 09 2011. 11. 11 2011. 11. 13 2011. 11. 15	ソウル日本文化センターの開館10周年を記念して、ピアノ・デュオ「Les Frères(レ・フレール)」による演奏会を韓国にて実施。レ・フレールの韓国での主催公演は2008年に次いで2度目。韓国中部の都市、清州で開催される日本文化集中発信週間「清州ジャパンウィーク」への出演をはじめ、ソウル、釜山、済州の各都市(計4都市)に巡回
2	日中韓サミットでの公演	日本	東京23区	迎賓館 花鳥の間	外務省	2011. 05. 21	2011年5月に開催される日中韓3カ国首脳会談(「日中韓サミット」)の晩餐会時、日中韓の演奏家(トリオ、三重奏団)による公演を開催。出演者は、日本からクラシックギタリストの村治佳織、中国から二胡奏者の姜建華、韓国からピアニストの李京美
3	邦楽巡回公演	インドネシア	メダン ジャカルタ スラバヤ	TVRI(インドネシア国営テレビ) 北スマトラ大学(ワークショップ) ジャカルタ芸術大学 BGジャンクション ドクター・ストモ大学(ワークショップ)	在メダン総領事館 在インドネシア大使館 在スラバヤ総領事館	2011. 10. 18 ~ 2011. 10. 26	2009年2月に文化庁文化交流使(平成20年度)でインドネシアをはじめとする東南アジア諸国に派遣された地唄箏曲演奏家の福田栄香と、国内外で広く活躍する尺八演奏家の三橋貴風による、インドネシア各地(メダン、ジャカルタ、スラバヤ)への巡回公演
4	Trinity東南アジア公演	フィリピン	マニラ マニラ	カルロス・P・ロメロ劇場 デ・ラ・サール大学 ウィリアム・ショウ小劇場	デ・ラ・サール大学	2011. 11. 16 2011. 11. 17	津軽三味線の高橋竹童、箏の丸田美紀、打楽器の和田啓の3名からなるTrinityにボーカルの松本泰子を加えた4名による公演をマニラ、ハノイで実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
		ベトナム	ハノイ	ホン・ハー劇場		2011. 11. 19 ~ 2011. 11. 20	
5	「インド国際演劇祭」演劇共同制作	インド	ニューデリー アムリツタル	Bahumukh NSD Complex インド国際演劇祭 (BRM)	インド国立演劇学校 花傳	2012. 01. 15 2012. 01. 18	2012年1～3月にインドで実施された「主要都市向け戦略的文化集中発信プロジェクト」の一環として、デリーの国立演劇学校 (National School of Drama、通称NSD) が主催する国際的な演劇フェスティバル「インド国際演劇祭」にて日印共同制作による演劇作品『Looking IN & OUT』(岡田圓、サヴィータ・ラニ共同脚本・演出)を上演
6	インド コンテンポラリーダンス公演	インド	ニューデリー ムンバイ (ボンベイ) ベンガルール	Chinmaya Mission National Gallery of Modern Art Attakkarali Centre for Movement Arts	Attakkarali Centre for Movement Arts Gati Dance Forum アジア・ソサエティ・インディア・センター	2012. 03. 16 2012. 03. 20 2012. 03. 24	2012年1～3月にインドで実施された「主要都市向け戦略的文化集中発信プロジェクト」の一環として、デリー、ムンバイ、ベンガルールの3都市でコンテンポラリーダンス公演を実施。今年度の主要都市向け戦略的文化集中発信プロジェクトのテーマである「Passage to the Next Generation」の観点から、新世代のコンテンポラリーダンスの旗手として注目を集めるKENTARO!!の作品を上演
7	琉球—沖縄芸能 大洋州公演—CHIMU—	トンガ ニュージーランド	ヌクアロファ オークランド クライストチャーチ	トンガ国王私邸(御前公演) 日本食文化紹介イベント(大使館主催) クイーンサロテ・メモリアルホール タウンホール・コンサートチャンバー オークランド大学 KMCダンススタジオ オークランド日本語補習校(訪問) バーンサイド高校 オーロラセンター	在トンガ大使館 在オークランド総領事館 在クライストチャーチ駐在官事務所	2011. 11. 22 2011. 11. 22 2011. 11. 23 2011. 11. 08 2011. 11. 09 2011. 11. 09 2011. 11. 12	南太平洋の3カ国5都市にて、海洋文化・島嶼文化という共通項を持つ沖縄の若手舞踊家・音楽家による公演やワークショップを実施。2011年2月にニュージーランドのクライストチャーチ近郊を襲った大地震と東日本大震災の復興を願い、芸能をとおして人々の心に触れ、痛みを分かち合いながら前向きな交流の促進をめざす。公演名CHIMUは「チムグリサン(心が痛む)」という沖縄の言葉に因む

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
			ウェリントン	タウンホール・アイロット・シアター	在ニュージーランド大使館	2011.11.14 ~ 2011.11.15	
		フィジー	スバ	日本大使館広報文化センター内多目的ホール(WS) スバ・シビックセンター 南太平洋大学オセアニアセンター(WS)	在フィジー大使館	2011.11.16 2011.11.18 ~ 2011.11.19 2011.11.21	
8	カナダ邦楽公演 TsuguKaji-KOTO+小濱明人+山本麻琴	カナダ	バンクーバー	ブリティッシュ・コロンビア大学 チャン舞台芸術センター内 テラス・スタジオ・シアター	在バンクーバー総領事館	2011.09.28	カナダ文明博物館(オタワ)で、2011年5月~10月に開催された特別展『伝統と革新の国、日本』にて、古典・伝統の要素を踏まえながら、現代的な感性で独自の音楽的完成を見せる邦楽グループTsuguKaji-KOTOを中心とした4名のアーティストによる公演を実施。併せて同メンバーによるバンクーバー、カルガリー、トロントの巡回公演も実施
			カルガリー	CANTOS	在カルガリー総領事館	2011.09.30	
			オタワ	カナダ文明博物館 シアター	在カナダ大使館	2011.10.02	
			トロント	セントローレンス・センター ジェーン・マレット・シアター	在トロント総領事館	2011.10.04	
9	中米・カリブ諸国邦楽公演—OYAMA×NITTA with Special Members	コスタリカ	カルタゴ	カルタゴ市立劇場	在コスタリカ大使館	2011.11.04 ~ 2011.11.13	津軽三味線を中心とした邦楽演奏家等をコスタリカ、トリニダード・トバゴ、ドミニカ共和国の三カ国に派遣、巡回公演を実施。公演地は、コスタリカ2都市(サンホセ、カルタゴ)、トリニダード・トバゴ1都市(ポートオブスペイン)、ドミニカ共和国2都市(サントドミンゴ、サンティアゴ)。被派遣者は、津軽三味線デュオのOYAMA×NITTA(小山豊、新田昌弘)、尺八奏者の元永拓、パーカッション奏者のヒダノ修一等、スタッフ含め計9名
			サンホセ	モラサン公園	カルタゴ市立劇場		
			サンホセ	コスタリカ国立劇場	サンホセ市 コスタリカ国立劇場		
		ドミニカ共和国	サントドミンゴ	国立サントドミンゴ自治大学図書館 マヌエル・カブラ	在ドミニカ共和国大使館		
			サンティアゴ	国立シバオ劇場	サントドミンゴ自治大学		

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
					国立シバオ劇場		
		トリニダード・トバゴ共和国	ポートオブスペイン	クイーンズホール	在トリニダード・トバゴ大使館		
10	心を伝える民の謡 大和×沖縄民謡 南米公演	アルゼンチン ウルグアイ チリ ブラジル	ブエノス・アイレス モンテビデオ サンティアゴ リオデジャネイロ	アテネオ劇場 アウディトリオ・ネリ・ゴイティエーニョ ペニャロレン区文化センター ネルソン・ロドリゲス劇場	在アルゼンチン大使館 在ウルグアイ大使館 在チリ大使館 在リオデジャネイロ総領事館	2011.09.18 ~ 2011.09.20 2011.09.23 ~ 2011.09.24 2011.09.14 2011.09.28	東北地方を中心に、本州～九州の民謡と、日本の最南西に位置する沖縄・八重山地方の民謡公演を南米4カ国で実施。圧倒的歌唱力で音楽ファンを魅了する木津茂理を中心として、南北の大御所民謡奏者の澤田勝秋(青森)、大工哲弘・大工苗子(沖縄)を派遣。土のにおいやグルーブ感とともに、現代(いま)に生きる唄として、民謡に込められた心を伝える公演
			サントス サンパウロ	SESCサントス エスパッソ・カシュエラ	在サンパウロ総領事館	2011.09.30 ~ 2011.10.01 2011.10.02	
11	中央アジア現代邦楽公演	ウズベキスタン トルクメニスタン	サマルカンド タシケント アシガバット	サマルカンド音楽祭 ウズベキスタン国立音楽院 映画・音楽センター「ワタン」	在ウズベキスタン大使館 サマルカンド国際音楽祭 ウズベキスタン国立音楽院 在トルクメニスタン大使館	2011.08.25 ~ 2011.09.06	ウズベキスタンの都市サマルカンドにて隔年開催されている国際音楽フェスティバル「シャルク・タオナル(Sharq Taronalari)」に、日本より民謡の演奏家と現代音楽の演奏家のユニットを派遣。併せて首都タシケント及びトルクメニスタンにおいても公演を実施
12	バルト三国邦楽公演	エストニア ラトビア	ユフヴィ タリン リエパーヤ	ユフヴィ・コンサート・ホール チャンバーホール エストニア・コンサート・ホール リエパーヤ・ラトビア人協会ホール	在エストニア大使館 エストニア日本協会 エストニア・コンサート・ホール 在ラトビア大使館	2011.09.12 2011.09.13 2011.09.15	「日本バルト三国新たな外交関係開設20周年」を記念し、津軽三味線を中心とした若手の邦楽演奏家等をバルト三国に派遣、巡回公演を実施。公演地は、エストニア2都市(タリン、ユフヴィ)、ラトビア2都市(リーガ、リエパーヤ)、リトアニア2都市(ビリニュス、カウナス)。被派遣者は、津軽三味線奏者の浅野祥、尺八・篠笛奏者の佃康史、津軽民謡歌手のかすみ等、スタッフ含め計11名

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
		リトアニア	リーガ カウナス ビリニュス	リガ・ラトビア人協会ホール ギルステュティス・文化スポーツセンター ダンス劇場	リエパーヤラトビア人協会 リーガラトビア人協会 在リトアニア大使館 ギルステュティス・文化スポーツセンター ダンス劇場	2011. 09. 17 2011. 09. 19 2011. 09. 20	
13	江戸写し絵東欧公演—蘇る江戸の幻想—	ハンガリー ブルガリア ポーランド ルーマニア	ブダペスト ソフィア ワルシャワ ワルシャワ ブカレスト ブカレスト	メルリン劇場 国立演劇・映画芸術アカデミー ウヤズドフスキ現代博物館 シフィト文化センター オデオン劇場 国立映画演劇大学	在ハンガリー大使館 在ブルガリア大使館 在ポーランド大使館 在ルーマニア大使館	2011. 11. 21 ~ 2011. 11. 22 2011. 11. 27 ~ 2011. 11. 28 2011. 11. 18 2011. 11. 19 2011. 11. 24 2011. 11. 25	「劇団みんな座」による江戸写し絵の公演とワークショップの実施。幻想的な芸能を通して、創意工夫の面白さやからくりの妙を伝える
14	黒森神楽ロシア公演	ロシア	モスクワ	ゼレノグラード文化宮殿 スタニスラフスキー記念劇場	在ロシア大使館	2011. 10. 02 2011. 10. 03	岩手県宮古市で伝承されている「黒森神楽」(国指定重要無形民俗文化財)の公演をモスクワの2カ所で実施。東日本大震災で大きな被害を受けた東北の沿岸部で受け継がれている民俗芸能の姿を通して、震災からの復興に向けて重要となるコミュニティーの結束の力や地域に根ざした文化の重要性を訴えかける

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	林英哲中東公演	アラブ首長国連邦	アブダビ	アブダビ国立劇場	在UAE大使館	2012. 02. 26	和太鼓独奏者の林英哲率いる邦楽グループによる初の中東公演。日本と外交関係樹立40周年を迎えた湾岸4カ国の5都市を巡回。本公演では「英哲風雲の会」の若手と太鼓奏者4名と笛・尺八奏者の竹井誠も出演。オマーンではロイヤル・オペラハウスにて現地伝統芸能グループとの共演、スルタン・カブース大学では音楽学部学生を対象にワークショップを実施。バーレーンでは当国文化省主催「Spring of Culture」芸術祭からの招へいを受け上演
			ドバイ	DCSAムムゼル劇場	ドバイ文化芸術庁	2012. 02. 29	
		オマーン	マスカット	スルタン・カブース大学(ワークショップ)	在オマーン大使館	2012. 03. 04	
			マスカット	スルタン・カブース大学文化ホール	スルタン・カブース大学	2012. 03. 05	
			マスカット	ロイヤル・オペラ・ハウス・マスカット	ロイヤル・オペラ・ハウス・マスカット	2012. 03. 06	
		カタール	ドーハ	カタラ文化村(KATARA Cultural Village)	在カタール大使館	2012. 02. 22 ~ 2012. 02. 23	
				カタラ文化村			
		バーレーン	マナーマ	バーレーン文化ホール	在バーレーン大使館 バーレーン政府文化省	2012. 03. 09 ~ 2012. 03. 10	
16	『トロイアの女たち』共同制作プロジェクト	イスラエル	テルアビブ	テルアビブ市立カメリ劇場	テルアビブ市立カメリ劇場 東京芸術劇場	2012. 01. 12 ~ 2012. 01. 15	「日本イスラエル外交関係樹立60周年」を迎える2012年12月に両国の公立劇場の共同制作による演劇作品として、エウリピデス作『トロイアの女たち』を上演することを目指す共同制作プロジェクトの2年目。平成23年度はイスラエルで現地俳優のオーディション、舞台セットの打ち合わせ、ヘブライ語及びアラビア語台本の検討を実施 【日本イスラエル外交関係樹立60周年】
17	クウェート・ヨルダン和太鼓公演	クウェート	クウェート	ミシュリフ・シアター アブドゥラ=アジズ・フセイン文化センター劇場	在クウェート大使館 クウェート国家文化芸術文芸委員会 クウェート日本人会 スークシャルク	2011. 11. 23 ~ 2011. 11. 24	和太鼓・ヴァイオリン・サクソフォンのアンサンブルの公演をクウェート、ヨルダンの2カ国で実施。英哲風雲の会のメンバーであり、平成中村座との共演などソロでも活躍する和太鼓奏者の上田秀一郎を中心に、ヴァイオリンの須磨和声、サクソフォンの田村真寛とのアンサンブルにより、和太鼓の新たな魅力と日本の音楽の多様性をアピール

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
		ヨルダン	クウェート アンマン	クウェート日本人会 日本祭り特設会場 ヨルダン大学ハッサンホール	在ヨルダン大使館 ヨルダン大学	2011. 11. 25 2011. 11. 28	
18	ジャナドリヤ祭公演	サウジアラビア	リヤド	ジャナドリヤ祭日本館屋外ステージ	益田市石見神楽神和会 株式会社鬼太鼓座 島根県芸術文化センター 浜田石見神楽社中連絡協議会	2011. 04. 13 ~ 2011. 04. 29	サウジアラビア国民の日本理解を促進するために、同国で開催されるジャナドリヤ祭の野外ステージにおいて、石見神楽社中、和太鼓グループ、バンブーオーケストラ等によるパフォーマンスを実施
19	レナード衛藤 ブレンドラムス 東アフリカ公演	タンザニア マラウイ エチオピア ジブチ	バガモヨ ダルエスサラーム リロングウエ アディスアベバ ジブチ	Tasuba Makumbusho Cross Road Hotel Lake of the Stars 国立劇場 ケンピンスキーホテル フクザワ中学	在タンザニア大使館 在マラウイ大使館 在エチオピア大使館 在ジブチ大使館	2011. 09. 28 2011. 09. 29 2011. 10. 01 2011. 10. 02 2011. 10. 04 ~ 2011. 10. 05 2011. 10. 07 2011. 10. 08	「日タンザニア国交樹立50周年」等の外交周年を契機に、和太鼓奏者のレナード衛藤が主宰する「ブレンドラムス」ユニット (Blendrums、今回の編成は和太鼓4名、タップダンス2名) を、タンザニア、マラウイ、エチオピア、ジブチへ派遣、公演7回、ワークショップ3回を実施。日本の伝統と現代文化の融合として、異なる打楽器どうしの共演を新たな音楽的創造の魅力として紹介。東アフリカ諸国と日本に共通する「太鼓」や「音階」等を、日本の文化理解や文化交流の契機とする

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	たいらじょう人形劇 パレスチナ巡回公演	イスラエル	ラマッラ ジェニン ヘブロン ナブルス 東エルサレム	アルカサバ劇場 ジェニンシネマ劇場 イエス劇場 アンナジャ大学 エルハカワティ劇場 国際人形劇フェスティバル	外務省 アルカサバ劇場 ジェニンシネマ劇場 イエス劇場 アンナジャ大学 エルハカワティ劇場 国際人形劇フェスティバル	2011.10.10 ~ 2011.10.11 2011.10.12 ~ 2011.10.13 2011.10.15 ~ 2011.10.16 2011.10.17 ~ 2011.10.18 2011.10.19 ~ 2011.10.20	「日・イスラエル外交樹立60周年(2012)」に向け、イスラエルにおける現代演劇共同制作等大型企画事業が予定される中、パレスチナ自治区においても相応の文化事業を実施するため、東エルサレムで開催される国際人形劇フェスティバルで、日本の現代人形劇で活躍中のたいらじょう(人形劇俳優)による人形劇パフォーマンス『ふしぎな森のトゥウインクル!』(新作)を世界初演、パレスチナ自治区内の複数の都市にも巡回し、公演9回、ワークショップ4回を実施。パレスチナ自治区内を本格巡演する初の国際交流基金主催公演。被派遣者は、人形操演・演出のたいらじょう、制作総指揮・プロデューサーの輪嶋東太郎のほか、黒衣、照明、舞台監督、音響等、計7名
21	津軽三味線“あべや”西海岸ハワイ巡回公演(準備)	米国	ロサンゼルス ポートランド シアトル サンフランシスコ	Zipper Hall The Colburn School Lincoln Recital Hall Portland State University Illsley Ball Nordstrom Recital Hall at Benaroya Hall Cowell Theatre Fort Mason Center	在ロサンゼルス総領事館 在ポートランド総領事館 シアトル総領事館 在サンフランシスコ総領事館	2011.12.01 ~ 2012.03.31	平成24年度事業「津軽三味線“あべや”西海岸ハワイ巡回公演」の準備を実施 【日米桜寄贈100周年記念事業】

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
			デンバー	Wellington Webb Municipal Building	在デンバー総領事館 アーツ&アベニュー・デンバー		
			ホノルル	Orvis Auditorium, University of Hawaii at Manoa	在ホノルル総領事館 ハワイ大学マノア校		
22	能楽 フランス・アルジェリア巡回公演	フランス アルジェリア	ストラスブール パリ アルジェ オラン	Espace Culturel Le Parc, Ribeauville パリ日本文化会館 アルジェ第2大学 在アルジェリア大使公邸 イブンザイドゥーン劇場 オラン地方劇場 オラン理工科大学	公益社団法人能楽協会 アルザス欧州日本学研究所(CEEJA) 在アルジェリア大使館	2012.01.16 ~ 2012.01.30	公益社団法人能楽協会のアルジェリア国際演劇祭への参加等、アルジェリアでの国際演劇交流活動を支援。また、同協会が能楽のユネスコ重要無形文化遺産認定10周年記念特別企画公演として人間国宝を含む本格能楽公演(能と狂言)をフランスで実施する契機を捉え、パリ日本文化会館で能楽公演を核とした複合イベントを実施。更にヨーロッパの日本研究拠点であるアルザス欧州日本学研究所(CEEJA)との共催で、ストラスブールにも巡回、公演6回、関連講演会4回を実施 【日本・アルジェリア外交関係樹立50周年記念事業】
23	「Jazz in Japan 2012」—デュオを通して見る現代日本ジャズ— 巡回公演	ドイツ フランス ロシア	ケルン パリ モスクワ	ケルン日本文化会館 パリ日本文化会館 ミュージッククラブ FMClub モスクワ国際音楽会館 スヴェトラノフスキー・ホール	在ロシア大使館 在イスラエル大使館 在トルコ大使館 在イスタンブール総領事館	2012.02.21 ~ 2012.03.12	パリ日本文化会館において現代日本文化を紹介する事業の一つ「Jazz in Japan」(ジャズのタベ)に招へいする3組のジャズ・ユニットのうち、渡邊香津美・吉田美奈子デュオ、田中信正・林正樹ピアノデュオの2組を、イスラエル、トルコ(アンカラ、イスタンブール)及びロシア、ドイツに巡回派遣

舞台芸術事業費

事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
	イスラエル	テルアビブ	イーゴリ・ブット マンジャズ・クラブ (チースティ・ プルデイ) Enav Cultural Centre			
	トルコ	アンカラ	アンカラ国立音楽 学校			
		イスタンブール	土日基金文化セン ター 大震災復興記念式 典 レセプション会 場 アカットラル文化 センター			

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (2) 公演(助成・海外公演〔舞台芸術〕)

日本を拠点に活動する舞台芸術分野のアーティストに対し、海外公演事業実施のための経費の一部を助成する。

合計額 223,495,480 円

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
1	「ダンス・エックス11」韓国・カナダ公演	韓国 カナダ	ソウル モントリオール	LIGアートホール タンジャン	財団法人 児童育成協会	2011.05.13 ~ 2011.05.15 2011.05.20 ~ 2011.05.22	日本・韓国・カナダの3劇場(東京・青山円形劇場、ソウル・LIGアートホール、モントリオール・タンジャン)によるコンテンツポラリーダンスのツアープロジェクト。日本からは森下真紀が参加
2	鈴木雅明／バッハ・コレギウム・ジャパンメンバー韓国公演	韓国	ソウル	LGアーツセンター	有限会社 バッハ・コレギウム・ジャパン	2011.06.05	バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)音楽監督の鈴木雅明がバッハ・ゾリステン・ソウルを指揮しソウルのLGアーツセンターで演奏会を実施。バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバー7名も参加
3	人形劇団ひとみ座『ゲゲゲの鬼太郎』韓国公演	韓国	釜山	釜山市民会館	西日本エルガーラビル	2011.09.03 ~ 2011.09.04	エルガーラホール(西日本エルガーラビルによる運営)と釜山市民会館の姉妹ホール提携事業の一環として人形劇団ひとみ座の『ゲゲゲの鬼太郎』を韓国語吹き替えで上演
4	清流劇場『SALT』韓国公演	韓国	春川	アート「3」ゾーンシアター(Art 3 Zone Theatre)	清流劇場	2011.10.04 ~ 2011.10.05	韓国・春川市で開催される春川国際演劇祭2011の招待作品として田中孝弥作・演出の『SALT』を上演
5	ヤン・ソンウォンと響ホール室内合奏団 韓国公演	韓国	城南 ソウル 仁川	SKG'rium hall ソウルアートセンターIBKチェンバーホール 仁川総合芸術会館 野外ホール	特定非営利活動法人 響ホール室内合奏団	2011.10.06 2011.10.07 2011.11.08	響ホール室内合奏団が、ソウルアートセンターに新設された室内楽ホールのオープニング演奏会でヤン・ソンウォンと共演。出演者であるヤン・ソンウォンの推薦によるもの

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
6	アンサンブル・ノマド 韓国公演	韓国	ソウル 大邱 大邱 大邱	延世大学音楽学部 Sowol Art Hall Dukhee School (特別支援学校) Kyungpook 国立大学附属中学校 Su-Sung Art Pia Muhak Hall	アンサンブル・ノマド	2011. 11. 01 2011. 11. 02 2011. 11. 02 2011. 11. 03	ギタリスト佐藤紀雄の率いるアンサンブル・ノマドが、韓国女声作曲家協会と嶺南作曲家協会の招へいにより、ソウル、大邱で公演を実施
7	グラス・エクストリーム・トウキョウソウル公演	韓国	ソウル	Yongsan Art Hall	グラス・エクストリーム・トウキョウ	2011. 11. 01	パン音楽祭(韓国)にて金管五重奏を中心とした日韓の作曲家の作品を演奏
8	劇団スタジオライフ『夏の夜の夢』ソウル公演	韓国	ソウル	同徳女子大学パフォーミングアーツセンター	有限会社 スタジオライフ	2011. 11. 18 ~ 2011. 11. 20	スタジオライフが同徳女子大学パフォーミングアーツセンターにてシェイクスピアの『夏の夜の夢』を上演
9	路地裏月光堂『沈黙の王』北京公演	中国	北京	北京9劇場(TNT劇場)	タイニイアリス(NPO ARC)	2011. 09. 24 ~ 2011. 09. 25	北京国際青年演劇祭招待作品としてコビヤマ洋一作・演出の『沈黙の王』を中国語字幕を用いて上演
10	(企画企画型助成) 松山バレエ団新『白毛女』中国公演	中国	上海 北京 重慶	大寧劇場 天橋劇場 大劇院	財団法人 松山バレエ団	2011. 10. 09 ~ 2011. 10. 10 2011. 10. 14 ~ 2011. 10. 15 2011. 10. 19 ~ 2011. 10. 20	松山バレエ団が、中国を舞台にした同団オリジナルのバレエ作品『白毛女』の改訂版を中国3都市(北京、上海、重慶)にて上演
11	南船北馬『それでもワタシは空をみる』上海公演	中国	上海	上海話劇芸術中心	南船北馬	2011. 11. 22 ~ 2011. 11. 23	2011年上海国際現代劇フェスティバル招待作品として、棚瀬美幸作・演出『それでもワタシは空をみる』を上演
12	祇園東歌舞会 中国公演	中国	香港	国際金融中心(IFC) 南蓮池Nan Lian Xiang Hai Xuan劇場	祇園東お茶屋組合(祇園東歌舞会)	2012. 02. 17 2012. 02. 18 ~ 2012. 02. 19	長唄の素囃子や三味線曲を、祇園東の芸舞妓が舞い演奏し、京都の花街についても解説。公演8回その他レクチャーとワークショップも1回ずつ実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
13	日本伝統芸能振興会『助六』『あんまと泥棒』シンガポール・マレーシア公演	シンガポール マレーシア	シンガポール クアラルンプール	SOTA School of Arts ASWARA実験劇場	特定非営利活動法人 日本伝統芸能振興会	2012.03.16 ~ 2012.03.17 2012.03.09 ~ 2012.03.10	シンガポール及びマレーシアにて、歌舞伎ワークショップ4回、公演4回を実施。公演では『助六』の化粧・着付けの様子を解説した後、『助六(歌舞伎舞踊)』と『あんまと泥棒』を上演
14	off-Nibroll ベトナム・タイ公演	タイ ベトナム	バンコク ホーチミン	La Lanta Fine Art LE THANH theatre	矢内原 美邦	2011.09.09 ~ 2011.09.10 2011.09.15 ~ 2011.09.16	ベトナム人アーティスト、ティファニー・チャンとoff-Nibrollとの、タイ・ベトナムにおける美術展示及びダンスパフォーマンス。両国でoff-Nibrollによるワークショップも実施
15	和栗由紀夫マレーシア・タイ公演	タイ マレーシア	バンコク クアラルンプール	デモクラジースタジオ アクターズスタジオ	特定非営利活動法人 舞踏創造資源	2011.12.09 ~ 2011.12.10 2011.12.03	マレーシアとタイでそれぞれ行われる国際舞踏フェスティバルにて、和栗由紀夫の舞踏公演、ワークショップ、映像上映、展示、レクチャーを複合的に実施
16	unit asia 東南アジア公演	タイ フィリピン ベトナム マレーシア	バンコク マニラ ハノイ ホーチミン クアラルンプール	マヒドン大学音楽学部 SM North EDSA Sky Dome 青年劇場 ベン・タイン劇場 KL Live Event Hall	有限会社 プラネットアーツ	2012.01.28 2012.02.13 2012.02.03 2012.02.05 2012.02.09	日本、タイ、マレーシアのミュージシャンから成る多国籍ジャズユニットunit asiaが、2回目の東南アジアツアーとしてタイ、ベトナム、マレーシア、フィリピンにて公演・PAワークショップを実施
17	いいむろなおき『マイムの時間』アジア公演	フィリピン ベトナム	マニラ ホーチミン ハノイ	カルロス・P・ロムロ劇場 青年世界劇場 青年劇場	いいむろ なおき	2011.06.14 ~ 2011.06.15 2011.06.07 ~ 2011.06.08 2011.06.10 ~ 2011.06.11	マイム俳優いいむろなおきが短編作品群『マイムの時間』をベトナム、フィリピンで巡回公演。各地で演劇関係者向けのワークショップも開催

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
18	(企画企画型助成) 第2回日越友好音楽祭～この平和を夢見て～	ベトナム	ハノイ	ハノイオペラハウス	日越友好音楽祭～この平和を夢見て～実行委員会	2011. 10. 09	東日本大震災に対するベトナムからの支援に対して感謝の意を示すとともに、ベトナムを代表する文化施設である「オペラハウス」建設100周年を記念して、杉良太郎、伍代夏子、AKB48ら7組43名のアーティストが現地アーティストとコンサートを実施
19	沖縄親善舞踊団 ミャンマー公演	ミャンマー	ヤンゴン	国立劇場	沖縄文化民間交流協会	2011. 10. 29	三線3人、琴1人、笛1人、胡弓1人、太鼓1人、舞踊8人の編成で、沖縄の古典舞踊、雑踊り、民謡をミャンマーで上演。公演のほか、ワークショップも実施
20	CAVAオーストラリア公演	オーストラリア	アデレード	Space Theatre	CAVA	2011. 09. 15 ～ 2011. 09. 17	アデレード・フェスティバルにて、マイムパフォーマンスグループCAVAの『Continent』を上演。ワークショップも1回実施
21	トリオ・アヤ 北米公演	カナダ 米国	オタワ ケベック ニューヨーク	ナショナルアーツセンター Cinema Laurier (ヴィクトリアヴィル) ジャパンソサエティ	巻上 公一	2011. 05. 18 2011. 05. 19 2011. 05. 13	巻上公一、佐藤正治、ボロット・パイルシェフ(ロシア・アルタイ共和国)からなるトリオ・アヤの北米公演
22	ポツドール『夢の城』欧州・カナダ公演	カナダ オーストリア ベルギー	モントリオール ウィーン ブリュッセル	Theatre Prospero Brut im Kunstlerhaus Beursschouburg	ポツドール	2011. 06. 08 ～ 2011. 06. 11 2011. 05. 29 ～ 2011. 06. 04 2011. 05. 24 ～ 2011. 05. 28	本能の赴くままに行動を繰り返す現代の若者達を無言劇のスタイルで描いた、ポツドールの問題作『夢の城』の3カ国巡回公演。Kunsten Festival Des Arts(ベルギー)、ウィーン芸術週間(オーストリア)、Festival Transameriques(カナダ)に参加
23	『猟銃』カナダ公演	カナダ	モントリオール	USINE C	株式会社パルコ	2011. 09. 07 ～ 2011. 09. 10	カナダの映画監督フランソワ・ジラルールが演出した井上靖原作『猟銃』を公演。出演は中谷美紀とロドリグ・プロトー(カナダ)

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
24	少年ナイフ 北米公演	カナダ 米国	バンクーバー ボルティモア ダーラム アトランタ モービル ヒューストン オースティン ロサンゼルス サンディエゴ ロングビーチ サンフランシスコ ポートランド シアトル ミネアポリス シカゴ カラマズー インディアナポリス シンシナティ ピッツバーグ ブルックリン バッファロー オールバニー	Biltmore Cabaret Otto Bar Pinhook Masquerade Club Alabama Music Box Stereo Live Red 7 The Echo Casbah Alex's Bar Bottom Of The Hill Dante's Tractor Tavern First Avenue & 7th St Entry Empty Bottle The Strutt Radio, Radio Mayday 31st St Pub The Bellhouse Mohawk Place Valentine's	少年ナイフ	2011. 11. 07 2011. 10. 24 2011. 10. 25 2011. 10. 26 2011. 10. 27 2011. 10. 28 2011. 10. 29 2011. 11. 01 2011. 11. 02 2011. 11. 03 2011. 11. 04 2011. 11. 05 2011. 11. 08 2011. 11. 11 2011. 11. 12 2011. 11. 13 2011. 11. 14 2011. 11. 16 2011. 11. 17 2011. 11. 18 2011. 11. 19 2011. 11. 20	ロックバンドの少年ナイフが、オリジナル曲を中心に、米国及びカナダでライブパフォーマンスを実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
25	桂勘 米国・南米公演	米国 アルゼンチン チリ ブラジル	ロサンゼルス ボールダー シアトル シアトル ロサリオ コルドバ ブエノスアイレス サンティアゴ サンパウロ	RED CAT ウェスレイ教会 Mirabella Retirement Community ReisbeckHall Carnish College La Comedia, Teatro Municipal コルドバ国立大学演劇場 Konex Cultural City チリ国立大学演劇学部小ホール Sala Crisantempo	桂 勘	2011. 05. 20 2011. 05. 28 ~ 2011. 06. 05 2011. 06. 09 2011. 06. 10 ~ 2011. 06. 12 2011. 06. 25 2011. 07. 02 2011. 07. 08 ~ 2011. 07. 09 2011. 07. 05 2011. 07. 12	舞踏家の桂勘が、アメリカ人若手舞踏家のシャロンスタン・シーガルとともに米国3都市及び南米3カ国を巡回、各地の舞踊家と公演を共同制作。併せてレクチャーやワークショップを実施
26	金子竜太郎 米国公演	米国	ロサンゼルス	Jaccbプラザ	株式会社ワンエイトクリエーション	2011. 06. 25	和太鼓奏者の金子竜太郎が、米国の太鼓グループTaikoProjectが開催するイベント「Rhythmic Relations 2011」に参加
27	OYAMA×NITTA 米国公演	米国	ナッシュビル	Pearl Cohen Magnet High Bieentennial Amphitheatre Capitol Hill Stage Jefferson St. Dance Pavillion Jackson Stage	株式会社シロフチ	2011. 09. 02 2011. 09. 03 2011. 09. 03 2011. 09. 03 2011. 09. 04	三味線奏者の小山豊と新田昌弘(OYAMA×NITTA)が、米国テネシー州で開催された「National Folk Festival」から招へいされ公演。地元ミュージシャンとのセッションも実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
28	「和紙物語」米国公演	米国	シヤンペーン ロサンゼルス	Krannert Center for the Performing Arts, Colwell Theater LACMA Bing Theater	伊部 京子	2011. 09. 17 2011. 09. 22	和紙造形作家の伊部京子が米国の舞台美術家Elise Thoronと共同制作する世界初演の音楽作品。出演は荒井姿水(琵琶)、大蔵正之助(大鼓)、添田園子(芝居)、桜井真樹子(唱明、白拍子舞)、カレンカンドル(俳優)
29	Kaigen 米国公演	米国	ロサンゼルス サンディエゴ リノ(ネバダ) ポートランド シアトル ボイシー コルテス(コロラド) コロラド・スプリングズ トゥーソン プロヴィデンス ニューヘヴン マンハッタン	The Roxy Bar Pink Ruben's Cantina Rotture Chop Suey The Reef Blondie's Triple Nickle Dry River The RabbitHole Cage Nine Pianos	阿部 勇紀	2011. 09. 20 2011. 09. 22 2011. 09. 23 2011. 09. 25 2011. 09. 26 2011. 09. 27 2011. 09. 28 2011. 09. 29 2011. 09. 30 2011. 10. 02 2011. 10. 04 2011. 10. 06	ラッパーKaigenが東日本大震災の復興支援を目的として北米各地のアーティスト計12名と共同制作したベネフィットアルバム「J-A-P-A-N」を掲げて実施する公演。アルバムの全収益を米国の緊急支援NGO「Relief International」に寄付
30	劇団角笛 米国公演	米国	ニューヨーク ニューヨーク ワシントン	American Museum of Natural History The Frederick Douglass Academy Kenedy Center内 Family Theater	劇団角笛	2012. 03. 17 2012. 03. 19 2012. 03. 22 ~ 2012. 03. 24	創立50周年を迎える影絵人形劇団の角笛による米国3都市公演。ワシントンD.C.では桜祭りに参加。演目は英語吹き替え版『かぐや姫』『童謡メドレー』『角笛シルエット劇場』。ホワイトプレインズではワークショップも実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
31	(企画参画型助成) 坂東鼓登治 米国公演	米国	ワシントン フィラデルフィア ボストン ニューヨーク タウソン	ジョン・F・ケネ ディ・センター内 テラス・シアター キンメル・セン ター内ペレルマ ン・シアター パラマウント・シ アター ジャパン・ソサエ ティ内・ライラ・ アチェソン・ウォ レス・オーディト リウム ステファンズ・ ホール	ジャパン・ソサエティ 東京事務所	2012. 03. 23 2012. 03. 25 2012. 03. 27 2012. 03. 29 2012. 04. 01	歌舞伎舞踊の坂東鼓登治が米国 桜祭りに併せ米国各地で日本舞 踊の公演、レクチャー・デモン ストレーション、ワークショップ を実施
32	(企画参画型助成) ハンド・イン・ハ ンド ニューヨー ク公演	米国	ニューヨーク	リンカーンセン ター ローズホー ル	プロジェクト 'Hand in Hand' 日本事務局	2012. 03. 28	「東日本復興支援プロジェクト /Save Japan! For Making World Peace ” Hand in Hand”」(ニューヨーク在住の 指揮者山田あつしプロデュー ス)が、東日本大震災から1周年 の節目に、合唱が盛んな東北地 区の被災県より次世代を担う合 唱団をニューヨークへ派遣。 ニューヨーク・シティ・オペラ のオーケストラ・歌手とともに、 マーラーの交響曲第2番 『復活』を演奏
33	林英哲 『Drum Conference』 米国公演	米国	ニューヨーク	リンカーンセン ター ローズシア ター	有限会社遙	2012. 04. 13 ~ 2012. 04. 14	和太鼓奏者の林英哲が、ニュー ヨークで開催される、ジャズピ アニストの穂吉敏子企画・指揮 による「穂吉敏子ジャズオーケ ストラ」特別コンサートで、穂 吉の作品『Drum Conference』 を演奏
34	(企画参画型助成) 絆 メキシコ公演	メキシコ	アグアスカリエ ンテス アグアスカリエ ンテス	イスラ会場(野外劇 場) クアルテルデラ アルテ(文化センター 特設会場)	有限会社アートウィル	2012. 04. 21 ~ 2012. 04. 30 2012. 04. 22	邦楽グループ「絆」による和太 鼓、篠笛、民謡、津軽三味線、 舞踊・歌の邦楽アンサンブル公 演を、メキシコのサン・マルコ ス祭で実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
			アグアスカリエンテス	ラーゴ会場(野外劇場)		2012.04.24 ~ 2012.04.26	
			アグアスカリエンテス	日本館特設ステージ		2012.04.25 ~ 2012.04.28	
			メキシコ	フォルテカ・ナショナル(国立芸術学校)(メキシコシティ)		2012.05.03	
			サン・ルイス・ポトシ	Calpull(野外特設ステージ)(サンルイス)		2012.05.05	
35	中嶋夏 メキシコ公演	メキシコ	グアナフアト	Teatro Cervantece	中嶋 夏	2011.07.16	舞踏家の中嶋夏が、演劇人会議「7 Caminos Teatres」招へいによる女性演劇人会議「マグダレーナ・プロジェクト」にて新作を上演。滞在中には講演やワークショップも実施
			ハラッパ	Teatro del Estado		2011.07.23	
36	SABU TOYOZUMI 欧州・南米公演	アルゼンチン	ラ・プラタ	Centro Universitario Pmpeano	豊住 芳三郎	2012.01.27	即興系パーカッションIST SABU TOYOZUMIが、ワールドツアーとして欧州と南米の即興芸術フェスティバル等、多様な会場と観客に対して、公演とワークショップを実施
			ブエノス・アイレス	La Ciudad de Buenos Aires		2012.01.28	
		チリ	バルパライーズ	Sala Dual		2012.01.06	
			バルパライーズ	Art Gallery(Casa E)		2012.01.07	
			バルパライーズ	Theatre SAE UPLA		2012.01.08	
			バルパライーズ	Sala Master		2012.01.13	
			バルパライーズ	Santa CD		2012.01.14	
			バルパライーズ	Contemporary Museum Intervencion		2012.01.19	
			バルディビア	Concierto		2012.01.20	
		ブラジル	サンパウロ	Centural Cultural Sao Paulo		2011.12.07 ~ 2011.12.09	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
			サンパウロ	Sao Paulo Serrlheria		2011. 12. 10	
			サンパウロ	Espacio Cultural		2011. 12. 17	
			サンパウロ	Otto Bistro		2012. 01. 30	
		英国	ロンドン	Cafe OTO		2011. 11. 28	
		オーストリア	ウェルス	mkf fabrik		2011. 11. 05	
			ウェルス	alter schl8hof		2011. 11. 06	
			ウィーン	Celeste Jazz Bar		2011. 11. 12 ~ 2011. 11. 14	
			ニッケルスドルフ	Jazzgalerie-Cafe Falb		2011. 11. 13	
		ドイツ	ゲッティンゲン	Butoh Centrum Mamu		2011. 10. 15	
			ゲッティンゲン	Galerie Apex		2011. 10. 15	
			カッセル	Kulturhaus Dock 4		2011. 10. 16	
			ブレーメン	Serie Birdfree		2011. 11. 24	
		ベルギー	ブリュッセル	Ateliers Mommen		2011. 10. 07 ~ 2011. 10. 08	
37	ヤヒロトモヒロ 『ドス・オリエン タレス』南米公演	アルゼンチン	ブエノスアイレス	ボリス・ジャズクラブ(Boris Jazz Club)	株式会社 カイヤプロジェクト	2012. 03. 03 ~ 2012. 03. 26	パーカッション奏者のヤヒロトモヒロが、ウルグアイのアーティスト、ウーゴ・ファトルーソとともに南米2カ国で巡回公演を実施
			コルドバ	リオ・クアトロ劇場(Teatro Municipal de Rio Cuatro)		2012. 03. 08	
			サンタフェ	ラバルデンオーディトリウム劇場(Sala Teatro Laverden)		2012. 03. 09	
			ブエノスアイレス	ラ・プラタ美術講堂(Auditorio de Bellas Artes)		2012. 03. 10	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
		ウルグアイ	ブエノスアイレス	ラ エスキーナ アート&カル チャー(La Esquina Arte y Cultura)(9 デ フリオ)		2012. 03. 23	
			ブエノスアイレス	ラ・カサ クライ ポーレ(La Casa Claypole)(クライ ポーレ)		2012. 03. 24	
			カネローネス	セントジョンバプ テスト教会(La Iglesia San Juan Bautista)		2012. 03. 11	
			モンテビデオ	ソモス ソニド (Somos Sonido)		2012. 03. 17 ~ 2012. 03. 18	
			モンテビデオ	在ウルグアイ大使 館公邸		2012. 03. 22	
38	SPAC『ペール・ ギュント』コロン ビア公演	コロンビア	ボゴタ	Teatro Colsubsidio	財団法人静岡県舞台芸術 センター	2012. 03. 20 ~ 2012. 03. 26	宮城聰率いる静岡県舞台芸術セ ンター(SPAC)が、ボゴタ・イベ ロアメリカ国際演劇祭の招へい を受け、2010年日本初演の 『ペール・ギュント』(イブセ ン作、宮城聰演出)を上演
39	指輪ホテル『洪水』ブラジル公演	ブラジル	アララクアラ	セスキアララクアラ	指輪ホテル	2012. 03. 09	羊屋白玉率いる劇団「指輪ホテル」が『洪水』をブラジル4都 市で上演
		サンカルロス	セスキサンカルロ ス		2012. 03. 11		
		サンパウロ	セスキボムレトリ ロ		2012. 03. 13 ~ 2012. 03. 14		
		ベロオリゾンテ	FUNARTE		2012. 03. 17 ~ 2012. 03. 18		
40	川口隆夫プロジェ クト『Tri_K』ブラ ジル公演	ブラジル	ベロオリゾンテ	Funarte, Belo Horizonte	川口 隆夫	2012. 03. 10 ~ 2012. 03. 14	川口隆夫、香港人パフォーマー のディック・ウォン、映画監督 /俳優の今泉浩一によるパ フォーマンス作品『Tri_K』を ブラジル2都市で上演
		サンパウロ	SESC Bom Retiro		2012. 03. 16 ~ 2012. 03. 17		

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
41	GOC00 欧州・モロッコ公演	イタリア	ミラノ	Teatro Dal Verme	和太鼓グループ ゴクウ (有限会社タヲ)	2011. 05. 25	和太鼓バンドGOC00がモロッコ、イタリア、ドイツ、ハンガリー4カ国12都市を巡回。モロッコではワールドミュージックの「マワジーヌ・フェスティバル」に参加
			キウドゥーノ	Festival Lo Spirito del Pianeta		2011. 05. 26	
			アレーゼ	Centro Commerciale Giada Arese		2011. 05. 28	
			ストレーザ	Palazzo dei Congressi di Stresa		2011. 06. 01	
			モルベーニョ	Auditorium St Antonio Morbegno		2011. 06. 03	
			キウドゥーノ	Festivalival Lo Spirito del Pianeta		2011. 06. 04 ~ 2011. 06. 05	
		ドイツ	ミュンヘン	Prinzregententheater		2011. 06. 06	
			ジーゲン	Kultur Pur Festival		2011. 06. 13	
		ハンガリー	ブダペスト	Margaret Island Open Air Theatre		2011. 06. 07	
			パーチュ	Szombathely Kodaly Concert Hall		2011. 06. 09	
		モロッコ	ラバト	Theatre National Mohammed V(マワジーヌ・フェス)	2011. 05. 20 ~ 2011. 05. 21		
42	(企画企画型助成) 日伊ジャズ・エイド「JapzItaly」ミラノ公演	イタリア	ミラノ	Centro Congressi Corridoni Spazio Obetrdan	一般社団法人 ふるさと未来研究所	2012. 05. 25 ~ 2012. 05. 27	日本とイタリアのミュージシャンがミラノに集い、ジャズ、即興、エスニック、ポップス、ロックなどジャンルを超えて競演 【東日本大震災復興支援事業】
43	加藤訓子 欧州公演	イタリア	モデナ	Chiostro Palazzo Santa Margherita	加藤 訓子	2011. 06. 21	打楽器奏者の加藤訓子が西欧各国で公演とマスタークラスを実施
		英国	チェルトナム	Parabola Arts Centre		2011. 07. 03	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
		フランス	ランス	Salle Royale		2011. 07. 08	
			ランス	Centre des Congres/nef		2011. 07. 10	
		ポルトガル	トマール	Paraiso Theatre		2011. 06. 29	
44	勅使川原三郎 /KARAS 欧州公演	イタリア	ローマ	TEATRO ELISEO	有限会社カラス	2011. 10. 07 ~ 2011. 10. 08	現代舞踊の勅使川原三郎と同氏のカンパニーKARASがイタリアとフランスで公演を実施
			フェラーラ	TEATRO COMUNAL DI FERRARA		2011. 10. 15	
		フランス	ナント	Le Grand T- Association MCLA		2011. 11. 02	
45	坂田明&ちかもらち 欧州公演	英国	ロンドン	Cafe OTO	坂田 明	2011. 11. 01 ~ 2011. 11. 02	フリージャズグループの「坂田明&ちかもらち」がロシア、ポーランド、英国、ベルギー、オーストリアの7都市で公演
		オーストリア	ウェルス	International Festival Music unlimited 25		2011. 11. 06	
		ベルギー	ブリュッセル	RECYCLEART 間 MA JAPAN FESTIVAL		2011. 11. 04	
			ハッセルト	CC BELGIE 間 MA JAPAN FESTIVAL		2011. 11. 05 ~ 2011. 11. 07	
		ポーランド	クラクフ	Alchemia club		2011. 10. 27	
			ポズナニ	Dragon Club		2011. 10. 29	
		ロシア	モスクワ	Theatre School of Dramaic Art (ドラ マ芸術学院劇場)		2011. 10. 25	
46	三遊亭兼好 ドイツ・オーストリア 公演	オーストリア	ウィーン	ウィーン大学	三遊亭 兼好	2011. 07. 02	円楽一門の三遊亭兼好と若手落語家が、ドイツ人クララ・クレフト団長兼通訳とともに、ドイツ、オーストリアで、落語の公演及び「ふたり会」を実施
		ドイツ	ベルリン	フンボルト大学森 鷗外記念館		2011. 07. 04	
			ボン	ボン大学		2011. 07. 06	
			デュッセルドルフ	デュッセルドルフ 大学		2011. 07. 08	
			デュッセルドルフ	ホテルニッコー		2011. 07. 09	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
47	森山威男+佐藤允彦 欧州公演	オーストリア オランダ ドイツ ポーランド	ウェルス アムステルダム ケルン クラクフ	Alter Schlachthof Wels Bimhuis Stadtgarten Manggha Hall		2011. 11. 03 ~ 2011. 11. 05 2011. 11. 09 2011. 11. 11 2011. 11. 08	ジャズ・ドラムの森山威男が佐藤允彦(ピアノ)、ペーター・ブロッツマン(サクソ)とトリオを組みオーストリアのミュージック・アンリミテッド国際音楽祭に参加した後、ポーランド、オランダ、ドイツを巡演
48	八木美知依・本田珠也オーストリア公演	オーストリア	ウェルス	Alter Schachth of Welsメイン会場 Stadttheater Wels		2011. 11. 04 ~ 2011. 11. 05 2011. 11. 06	箏演奏家の八木美知依とドラムス奏者の本田珠也が、即興演奏で知られるドイツ人サクソ奏者ペーター・ブロッツマンが主宰する前衛音楽祭の25周年にあたり、トリオとして招へいされ公演を実施
49	早稲田大学交響楽団 ドイツ・オーストリア公演	オーストリア ドイツ	ザルツブルク クラーゲンフルト ウィーン フランクフルト・アム・マイン ライプツィヒ バイロイト ミュンヘン ニュルンベルク ホイヤースヴェルダー ベルリン ヴィースバーデン オーバーハウゼン	Gro ßes Festspielhaus KnzertHaus Musikverein Alte oper Frankfurt Gewandhaus zu Leipzig Stadhalle Gasteig Meistersingerhalle Lausitzhalle Philharmonie Kurhaus Luise-Albertz-Halle	早稲田大学交響楽団	2012. 02. 28 2012. 03. 01 2012. 03. 03 2012. 02. 22 2012. 02. 23 2012. 02. 25 2012. 03. 06 2012. 03. 07 2012. 03. 08 2012. 03. 11 2012. 03. 15 2012. 03. 16	早稲田大学交響楽団が、ドイツとオーストリアの12都市の巡回公演を実施。リヒャルト・シュトラウス作曲『アルプス交響曲』『ティル・オイゲンシュピーゲルの愉快なはずら』の他、日本人作曲家・由谷一幾による和太鼓協奏曲を演奏

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
50	(企画参画型助成) 日本舞踊レクチャー&デモンストラーション オランダ公演	オランダ	デン・ハーグ レイデン アムステルダム	在オランダ大使公邸レセプションルーム 国立自然史博物館 ゴッホ美術館	公益財団法人 日本舞踊振興財団	2011. 11. 25 2011. 11. 26 2011. 11. 27	日本舞踊振興財団が人間国宝の西川扇蔵、同箕乃助、水木扇升による日本舞踊のレクチャー・デモンストラーションをオランダで実施
51	梅津和時 KIKIBAND 中・東欧公演	スイス ドイツ ポーランド	ベルン レーヴァークーゼン ビーレフェルト ドレスデン ハノーヴァー ベルリン オッフエンブルク ケルン クラクフ	Reit Halle TOPOS BUNKER ULMENWALL Tonne GUT Supamolli Spitalkeller Japanisches Kulturinstitut(ケルン日本文化会館) Manggha	梅津 和時	2011. 09. 25 2011. 09. 15 2011. 09. 16 2011. 09. 18 2011. 09. 22 2011. 09. 23 2011. 09. 24 2011. 09. 27 2011. 09. 20	アルトサクソ奏者の梅津和時が率いるジャズグループ KIKIBANDが、ドイツを中心に、ポーランド、スイスを巡回公演
52	和 League スイス・ルクセンブルク公演	スイス ルクセンブルク	ジュネーヴ ローザンヌ チューリッヒ ストラッセン	CITE BLUE EPFL Rolex Learning Center (ローザンヌ連邦工科大学 ロレックス・ラーニングセンター内フォーラム) Witikon Kirchgemeindehau Centre Culturel Paul Barble	株式会社アンエンターテイメント	2011. 10. 23 2011. 10. 25 2011. 10. 26 2011. 10. 21	地唄舞の宗山流胡蝶、和太鼓デュオ「ようそろ」、津軽三味線ユニット「三味道」からなる「和 League」が、ルクセンブルク及びスイスで公演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
53	が〜まるちょば スウェーデン公演	スウェーデン	マルメ	Skanes Dansteater Palladium Malmo Garden Show	株式会社ブレインズアンドハーツ	2011. 05. 25 2011. 05. 26 ~ 2011. 05. 27 2011. 05. 28	「が〜まるちょば」(サイレントコメディ・デュオ)が、国際児童青少年演劇協会(ASSITEJ)の招へいにより、コペンハーゲンで開催される「第17回世界会議とパフォーミングアーツフェスティバル」において、「サイレントコメディ」(演目はストリート・スタイルのステージ・ショー『が〜まるちょばショー』及び2002年初演長編マイム・ドラマ『BOXER』)を公演
54	劇団かかし座 欧州公演	スペイン フィンランド ポルトガル	ブルゴス バリャドリッド レオン サモラ セゴビア バラニャイン コウヴォラ グアルダ	Teatro Principal De Burgos Sala Ambigu Auditrio Ciudad de Leon Teatro Principal De Zamora Teatro Juan Bravo Auditorio Baranain Kuovola Theatre/353 eatro Municipal Da Guarda	有限会社 劇団かかし座	2011. 05. 07 2011. 05. 08 2011. 05. 11 2011. 05. 13 2011. 05. 15 2011. 05. 17 2011. 05. 22 2011. 05. 12	児童演劇の劇団かかし座がスペインのTITIRIMUNDI 国際人形劇フェスティバルなど8都市と、フィンランドのKUULAS国際児童演劇フェスティバルで手影絵パフォーマンス作品を上演
55	(企画参画型助成) シャンティ 欧州公演	スペイン ドイツ フランス	マドリード アビレス ケルン パリ パリ	マドリード芸術サークル屋上テラス オスカー・ニーマイヤー文化センター ケルン日本文化会館 パリ日本文化会館 FNAC店舗内	株式会社 コンサートサービス	2011. 06. 23 2011. 06. 25 2011. 06. 22 2011. 06. 21 2011. 06. 29	歌手のシャンティが、フランス(ジャパンエキスポ)、ドイツ及びスペインで、自作曲の他ジャズ、ロック、ポップスのカバー曲等を演奏

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
			パリ	ヴィルパント展示 会ライブ会場		2011. 06. 30	
		ポルトガル	リスボン	東洋博物館		2011. 06. 26	
56	Pe'z スペイン公演	スペイン	マドリード	Centro Cultural Conde Duque	株式会社 阪神コンテン ツリンク	2011. 09. 17	ストリート・ゲリラ・ライブで 人気を博し、国内外で活躍する ジャズロックのPe'zがスペイン 5都市で、公演を実施
			マドリード	Oscar Room Mate		2011. 09. 18	
			バレンシア	Loco Club		2011. 09. 20	
			バルセロナ	La Rambla(ランブ ラス通り/ストリー トライブ)		2011. 09. 21	
			バルセロナ	Placa Reial		2011. 09. 22	
			ビルバオ	Alhondiga Bilbao		2011. 09. 24	
			アビレス	Centro Niemeyer		2011. 09. 25	
57	HIFANA 欧州公演	スペイン フランス	バルセロナ	PAZZMATAZZ	株式会社 GROUNDRIIDIM	2011. 10. 13	ブレイクビーツユニットHIFANA の最新テクノロジーを駆使した 音楽と、複数のグラフィック作 家による映像のミックスによる パフォーマンスをフランス(パ リ、リヨン、ナント)と仏領レ ユニオン島(Kaloobang Festival)及びスペイン(バルセ ロナ)で実施
			パリ	Centre Pompidou		2011. 10. 01	
			リヨン	Le Transbordeur		2011. 10. 04	
			サン・ドニ(レユニ オン)	Pard des expode Saint-Denis		2011. 10. 07	
			ナント	Stereolux		2011. 10. 14	
58	山海塾『とばり』 ドイツ公演	ドイツ	ボン	The Theater der Bundesstadt Bonn	特定非営利活動法人 山 海塾	2011. 05. 18 ~ 2011. 05. 19	舞踏カンパニーの山海塾が、ボ ンやフランクフルトなどドイツ 4都市の劇場からの招へいを受 け、2008年初演『降りてくるも のなかでーとばり』を上演
			レムシャイト	Teo Otto Theater		2011. 05. 21	
			フランクフルト・ アム・マイン	Frankfurt Lab		2011. 05. 24 ~ 2011. 05. 25	
			ハイルブロン	Theater Heilbrom		2011. 05. 28	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
59	金魚(鈴木ユキオ)ポスト舞踏フェスティバル ドイツ公演	ドイツ	デュッセルドルフ	COM-SUM	金魚	2011. 05. 24	鈴木ユキオ、岩淵貞太、長岡ゆりや、田中誠司等日独7名のダンサーが「Ghost-deep soul-deep bears life」を共通のテーマとし、言葉やジャンルを超えた作品制作を目指す。ワークショップの後、最終的に公演を実施。日独交流150周年記念事業
60	田嶋直士 ドイツ公演	ドイツ	ハンブルク オルデンブルク リューベック ミュンヘン ニュルンベルク	民族博物館 オルデンブルク市民の家 リューベック音楽院大ホール 市立博物館 聖アンナ教会	田嶋 直士	2011. 05. 24 2011. 05. 25 2011. 05. 26 2011. 05. 28 2011. 05. 29	尺八奏者の田嶋直士がドイツ5都市を巡回し、『鶴の巣籠』『虚空』など尺八の古典曲を集めた演奏会を実施
61	松山元 ドイツ公演	ドイツ	ケルン ベルリン	ケルン日本文化会館 ベルリン日独センター	松山 元	2011. 06. 08 2011. 06. 10	ピアニストの松山元他2名が日本とドイツの音楽作品をベルリンとケルンで演奏。日独交流150周年記念事業
62	メールス・ジャズ・フェスティバル日本特集	ドイツ	メールス	メールス・ジャズフェスティバル会場	有限会社 Office Ohsawa	2011. 06. 10 ~ 2011. 06. 13	八木美知依バンド、日比谷カタンがメールスジャズフェスティバルにおいて、日独交流150周年の記念活動の一環として日本特集に出演
63	快快『SHIBAHAMA』欧州公演	ドイツ エストニア ハンガリー	ベルリン タリン ブダペスト	HEBBEL AM UFER3 Kanuti Gildi Merlin Theatre	快快	2011. 09. 08 ~ 2011. 09. 10 2011. 08. 27 ~ 2011. 08. 28 2011. 09. 21 ~ 2011. 09. 23	劇団快快が、ハンガリー、エストニア、ドイツにて『SHIBAHAMA』を上演。ハンガリーでは現地劇団Kitchen Budapestと共同制作。ドイツ公演はAsia-Pacific-Weeks参加
64	木村善幸 ドイツ公演	ドイツ	ヴェーデル ハンブルク	Johann-Rist-Gymnasium Wedel Japanische Schule in Hamburg e.V.	木村 善幸	2011. 09. 15 2011. 09. 16	北海道で活動する津軽三味線・和太鼓奏者の木村善幸が、ドイツ北部4都市を巡回し公演を実施。併せて現地の大学等でワークショップを開催

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
			ハンブルク	HarbourFront Literatur festival (ハーバーフロント 文学祭り・日本文 化の日)		2011. 09. 18	
			ブレーメン	Gymnasium Hamburger Str. In Bremen		2011. 09. 19	
			グリンデ	Glinde Gymnasium		2011. 09. 20	
65	「ミュージック&リ ズムズ」ヨーロッ パツアー	ドイツ チェコ	ケルン デュッセルドルフ プラハ	ケルン日本文化会 館 ブルク広場特設会 場 アルカシアター	株式会社ステーション	2011. 10. 13 2011. 10. 15 2011. 10. 09 ~ 2011. 10. 10	自然、音楽、地域、地球をテーマにした、地域参加型の地球音楽フェスティバル「ミュージック&リズムズ」のヨーロッパツアー。鬼太鼓座、バンブーオーケストラが中心となって現地の子どもたち向けのワークショップを実施した後、邦楽、沖縄・奄美シマ唄、サックス、パーカッション等のミュージシャンが加わり公演を実施
66	桧垣バレエ団 ドイツ公演	ドイツ	ハレ	オペラ・ハウス・ハレ	桧垣バレエ団	2011. 10. 22	京都を本拠とする桧垣バレエ団がドイツのハレ市で公演。演目は日本女性をテーマにした2004年文化庁芸術祭大賞受賞作品『みつこ-MITSUKO』。日独交流150周年記念事業
67	タバマ企画 『home』欧州公演	ドイツ ポーランド	ベルリン シュチェチン	Theaterhaus Berlin Mitte Kana Theater	タバマ企画	2011. 12. 03 ~ 2011. 12. 04 2011. 12. 08	振付家の田畑真希率いるカンパニー「タバマ企画」がベルリンにて新作コンテンポラリーダンス『home』をレジデンス創作し上演。併せてポーランドのシュチェチンにも巡回
68	フンペシスターズ ラップランド国際 民俗祭フィンランド公演	フィンランド	ロヴァニエミ	Festival Arena Lordi's Square SANU Dance House Terrace of Valdemari Valdemari	フィンランドセンター	2011. 06. 29 ~ 2011. 07. 03 2011. 06. 29 ~ 2011. 07. 02 2011. 06. 30 2011. 06. 30 ~ 2011. 07. 01 2011. 06. 30	ユネスコの無形文化遺産に登録されているアイヌ伝統の古式舞踊、歌、ムックリ(口琴)の継承者グループ「フンペシスターズ」(女性3名)が、フィンランドの国際民俗祭(先住民族)に招へいされ、公演及び研究交流を実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
				Jokkakallio Daycare Center		2011.07.01	
				Nasman Kieippi Daycare Center		2011.07.02	
				Korundi Music Hall		2011.07.03	
69	田中恵美理 『Cube』フランス 公演	フランス	ル・ブラン・メニ ル エピネーシュルー セース	Le Forum Maison du Théâtre et de la Dance	田中 恵美理	2011.05.05 ～ 2011.05.06 2011.05.07 ～ 2011.05.08	ダンサー・振付家の田中恵美理が、パリ郊外のセヌ＝サン＝ドゥニで毎年開催されているコンテンポラリーダンスのフェスティバルに正式参加。コンテンポラリーダンス作品を上演、公演を4回実施
70	五反田団 フランス 公演	フランス	メス パリ	Théâtre du Saulcy Maison de la culture du Japon à Paris (パリ日本 文化会館)	五反田団	2011.05.10 ～ 2011.05.11 2011.05.14	劇団五反田団(5名)とフランスの演出家が合同ワークショップを通じて演劇作品を制作し、大学内の劇場及び現代演劇・ダンス・音楽のフェスティバルで上演。公開ワークショップも行い、創作過程を公開して観客からのフィードバックを得る
71	神崎えん「えんの 会」 フランス公演	フランス	パリ	パリ日本文化会館	神崎 えん	2011.06.03 ～ 2011.06.04	神崎えん(地唄舞の神崎流四世家元)が、富山清琴(人間国宝)と共にフランスにて初の欧州公演を行い、日本の伝統芸能、特に地唄舞の魅力を紹介(演劇評論家・渡辺保の講演会及び公演解説付き)
72	櫻間会 ポルトガ ル・西欧公演	フランス ポルトガル モナコ	ニース リスボン モンテ・カルロ	アジア美術館 マリア2世国立劇場 グレース公妃劇場	日本ポルトガル修好通商 条約150周年記念フイ ナーレ公演実行委員会	2011.06.13 2011.06.10 ～ 2011.06.11 2011.06.12	新作能『旅船』を、作者の京都外国語大学教授ジョセ・ロドリゲスと金春流能楽シテ方、櫻間右陣がポルトガル、フランス、モナコで上演。日本ポルトガル修好通商条約150周年記念事業
73	庭劇団ペニノ 『苛々する大人の 絵本』ベルギー・ ドイツ公演	ベルギー ドイツ	コルトレイク ミュンスター	KUNSTEN CENTRUM BUDA Pumpenhaus	庭劇団ペニノ	2012.11.19 ～ 2012.11.23 2012.11.25 ～ 2012.11.27	タニノクロウ主宰の庭劇団ペニノが、2008年東京、2009年ドイツ、2010年スイス、オランダで上演された作品『苛々する大人の絵本』をベルギーとドイツで上演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
74	和力 東欧公演	アルバニア	ティラナ	the University of Arts (国立芸術学院 講堂)	加藤木 朗	2012. 03. 03	日本各地の民俗芸能をベースに独自の舞台作品を創作している邦楽グループ「和力」が、被災地東北地方の民俗芸能を演目に取り入れ、過去の紛争の記憶と復興の途上にある東欧5カ国6都市を巡回公演
		コソボ	プリシュティナ	National Theatre of Kosovo		2012. 02. 21	
		スロベニア	リュブリャナ	Ljubljanan Puppet Theare		2012. 03. 01	
		セルビア	ノビ・サド	The Serbian National Theatre(セルビア・ノビサド国立劇場)		2012. 02. 24	
			ベオグラード	Kolarac hall (ベオグラード・コララツホール)		2012. 03. 07	
		ボスニア・ヘルツェゴビナ	バニャ ルカ	Kulturni Centar Banski Dvor		2012. 02. 27	
75	ひのき屋東欧公演	スロバキア	トルナヴァ	旧市街広場	株式会社ヒトココチ	2011. 04. 28	トラベリングバンド「ひのき屋」による、和太鼓・篠笛などの和楽器を主軸としたワールドミュージック公演を3カ国7都市で実施。チェコでは、2010年6月に日本で共演した民俗音楽バンド「デネブ」とのセッションも実施
			トルナヴァ	市立体育館		2011. 04. 28	
			ピエシュチャニ	スロヴェンスカ・イズバ		2011. 04. 29	
	チェコ		プラハ	旧市街広場		2011. 04. 23	
			ラーズニェ・ボフダネチュ	ラーズニェボフダネチュ スパ大ホール		2011. 04. 24	
			ブルノ	エルナホール		2011. 04. 26	
	ハンガリー		ソルノク	アバ ノヴァック文化センター		2011. 04. 30	
			ソルノク	ティサ川公園特設ステージ		2011. 05. 01	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
76	プラハカドリエンナーレ(PQ)2011 日本ブース公演	チェコ	プラハ	チェコ国立美術館 ヴェレトウルジュ ニー宮殿 ジャパン ブース	日本舞台美術家協会PQ実行委員会	2011.06.16 ~ 2011.06.26	「プラハカドリエンナーレ 舞台美術と舞台空間」展日本ブースにおいて、生きた演劇(舞台)美術の展示を目的に、4名の舞台美術家の駅伝方式による造形・展示・上演・パフォーマンスを実施
77	オーケストラ・リベラ・クラシカ ポーランド公演	ポーランド	ポズナニ ワルシャワ	イグナーツィ・ヤン・パデレフスキ 音楽アカデミー・ アウラ・ノヴァ・ コンサートホール ワルシャワ国立 フィルハーモ ニー・コンサート ホール	オーケストラ・リベラ・ クラシカ	2011.11.10 ~ 2011.11.11 2011.11.12	チェリストの鈴木秀美率いる古楽演奏集団、オーケストラ・リベラ・クラシカが、ポーランドの音楽家からの招へいを受け公演を実施
78	劇団山の手事情社 『傾城反魂香』 ルーマニア公演	ルーマニア	シビウ トゥルダ ブカレスト	国立ラドゥ・スタ ンカ劇場 トゥルダ市民劇場 オデオン劇場	有限会社アップタウンブ ロダクション(劇団山の 手事情社)	2011.06.02 2011.06.07 2011.06.11	シビウ国際演劇祭(3年連続)及び現地芸術雑誌社からの招へいにより、ルーマニア3都市にて『傾城反魂香』を上演
79	(企画参画型助成) 山海塾『とばり』 ロシア公演	ロシア	モスクワ サンクト・ペテル ブルグ	ロシア科学アカデ ミー青年劇場PAMT ヴィボルグ文化会 館	特定非営利活動法人山海 塾	2012.05.23 ~ 2012.05.24 2012.05.27 ~ 2012.05.28	2008年に仏パリ市立劇場で初演され、その後欧州・南米・北米などで公演されている山海塾の『降りくるものなかでーとばり』をロシアで上演
80	ヒカシュー シベリ ア公演	ロシア	モスクワ クズル(トゥバ共和 国) シェバリノ(アルタ イ共和国) ゴルノアルタイス ク(アルタイ共和 国) ゴルノアルタイス ク(アルタイ共和 国)	カルチュラルセン ターDOM キジル・ナシヨナ ル・シアター シェバリノ市民会 館 ナシヨナル・ドラ マ・シアター スティック・トゥ ヴェルキャンプ場	ヒカシュー	2011.09.23 2011.09.27 2011.09.30 2011.10.01 2011.10.03	巻上公一を中心とするバンド「ヒカシュー」がロシア・アルタイ地方の中心都市バルナウルで開催されるアジアの音楽を中心にしたロックフェスティバルに参加。併せて、ゴルノアルタイスク、ノボシビルスク等を巡回

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(機関・個人)	期間	事業内容
			バルナウル	TASS		2011. 10. 04	
			ノボシビルスク	AGARTA		2011. 10. 05	
81	能美健志・ジャッキー・ジョブ 共同振付現代舞踊 南アフリカ公演	南アフリカ	ヨハネスバーグ	マーケットシアター	能美健志&ダンステアトロ 21	2011. 08. 10	振付家/舞踊家の能美健志及びジャッキー・ジョブが、2012年3月の本格競演に向け、2011年8月に、南アフリカ3都市で、日本の舞台芸術の紹介、ワークショップ、パフォーマンス、ダンス関係者との交流等を実施
			プレトリア	サックス・アレーナ・シアター		2011. 08. 12	
			ケープ・タウン	アートスケープ		2011. 08. 15	
82	X[iksa]現代音楽 南アフリカ公演	南アフリカ	ダーバン	Jewish Club	辺見 康孝	2012. 01. 31	辺見康孝(ヴァイオリン)と松村多嘉代(ハープ)のデュオ「X(iksa)」が、南アフリカを代表する作曲家Michael Blakeと共同で、現代音楽を中心に創作活動・ワークショップ及び演奏会を実施
			ヨハネスバーグ	Northwards House		2012. 02. 01	
			スタークフォンテイン	Nirox Foundation		2012. 02. 05	
			ケープ・タウン	Endler Hall		2012. 02. 07	

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (3) 公演(助成・PAJ北米)

日本の優れた舞台芸術を紹介しようとする米国の非営利団体のみを申請資格者として、米国内で公募を行う助成プログラム。日本の舞台芸術に触れる機会の少ない地域（カナダを含む）への巡回公演事業（教育・研修機会を含む）の拡大、日米両国の舞台芸術家による共同制作の推進が目的。

合計額 27,480,384 円

	助成対象者	実施国	都市	会場	期間	事業内容
1	Shadow Light Productions	日本	23区	Asahi Art Square	2011.12.15	影絵劇の専門家Larry Reedとアイヌ音楽家OKIによる共同制作プロジェクト。北海道のアイヌに伝わる神話を題材として取り上げる
2	New York Foundation for the Arts	カナダ	バンクーバー	World Harp Conference	2011.07.25	菅原朋子による日本の古楽器、箏篋(くご)演奏会の米国・カナダツアー
		米国	モリスカントリー	Somerset Harp Festival	2011.07.14	
		グレイムーア	Graymoore Center	2011.10.03		
		インディアナポリス	Indiana Univ., School of Music	2012.02.18		
		ニューヨーク	Symphony Space	2012.03.28		
		ウルバナ	University of Illinois, School of Music	2012.04.03		
		シアトル	Asian Art Museum	2012.04.07		
		ワシントン	Dacor Bacon House	2012.05.13		
3	Physical Theatre, Across Ocean division	カナダ	トロント	Theater Center	2012.01.20 ~ 2012.01.22	カナダの振付家/演出家マクシン・ヘップナーと日本のダンサーアーティスト瀬川貴子による、原宿のコスプレ文化と漫画をモチーフにした共同制作プロジェクト
			トロント	University of Toronto (workshop)	2012.01.24	
			セント・キャサリンズ	Brock University (workshop)	2012.01.26	

舞台芸術事業費

	助成対象者	実施国	都市	会場	期間	事業内容
4	Walker Arts Center	カナダ 米国	バンクーバー ニューヨーク ミネアポリス	Performance Works Japan Society McGuire Theater	2012. 01. 26 ~ 2012. 01. 28 2012. 01. 05 ~ 2012. 01. 14 2012. 01. 19 ~ 2012. 01. 21	チェルフィッチュの受賞作（モントリオールの演劇批評家協会批評家賞）『ホットペッパー、クーラー、そしてお別れの挨拶』（作・演出：岡田利規）の北米ツアー。ミネアポリスのウォーカー・アートセンターでは、「OUT THERE FESTIVAL」の一環として上演
5	Vista 360°	米国	アイダホフォールズ ジャクソン	Colonial Theater Jackson Hole High School Theater	2011. 06. 23 2011. 06. 27	日本を代表する和太鼓奏者・林英哲と「風雲の会」による米国ツアー
6	Portland Institute for Contemporary Art	米国	ポートランド	Washington High School Conduit Dance Pacific Northwest College of Art Portland Institute of Art	2011. 09. 08 ~ 2011. 09. 17	日本のOffsite Dance Projectと米国の2名のプロデューサーが、日米の振付家・ダンサーの共同制作をプロデュース。日本から参加するのは東野祥子、鈴木ユキオ等
7	Japan Society, Inc.	米国	ニューヨーク	Japan Society New York	2011. 11. 17 ~ 2011. 11. 20	日米の実験音楽のパイオニア、大友良英とクリスチャン・マークレイによる共同制作プロジェクト
8	The Field	米国	ニューヨーク ニューヨーク ピッツバーグ フィラデルフィア ニューヨーク	110 Bldg. at Governors Island Mount Tremper Arts EMPAC Warhol Museum, New Hazlett Theater Painted Bride Art Center Japan Society New York	2011. 12. 16 2012. 03. 19 2012. 04. 06 2012. 04. 14 2012. 04. 20 ~ 2012. 04. 21 2012. 04. 27 ~ 2012. 04. 28	山崎広太が谷崎潤一郎の『陰影礼賛』にインスピレーションを受け、米国の建築家Robert Kocik(舞台美術)等と共に新作『(glowing)』を製作

舞台芸術事業費

	助成対象者	実施国	都市	会場	期間	事業内容
9	Inta, Inc.	米国	カレッジパーク サンフランシスコ	University of Maryland, Smith Performing Arts Center Yerba Buena Center for the Arts	2012. 02. 19 ~ 2012. 02. 24 2012. 03. 19 ~ 2012. 03. 25	舞踊家エイコ&コマと弦楽四重奏団クロノスカルテットによる共同制作プロジェクト
10	Kyo-Shin-An Arts, Inc.	米国	ワシントン ニューヨーク ニューヨーク	Kennedy Center Millennium Stage World Financial Center Winter Garden Tenri Cultural Institute	2012. 04. 21 2012. 05. 05 2012. 05. 06	Kyo-Shin-An ArtsとLark Quartetによる、Kammerrakuと名づけられた、弦楽器と邦楽器のための室内楽の新作委嘱プロジェクト
11	Bang on a Can, Inc.	米国	ニューヨーク	Lincoln Center's Alice Tully Hall	2012. 04. 28	吉田達也（ドラマー／作曲家／インプロヴァイザー）が Bang on a Can が主宰する ASPHALT ORCHESTRA と共同で新作を書き下ろし上演
12	San Francisco International Arts Festival	米国	アルカタ サンタモニカ ニューヨーク ピッツバーグ サンフランシスコ	Arcata Playhouse Highway PAC Cave Painted Bride Marines Memorial Theatre	2012. 04. 18 2012. 04. 27 ~ 2012. 04. 28 2012. 05. 01 2012. 05. 05 2012. 05. 12	舞踏家の室伏鴻が、地元米国のダンスカンパニーinkBoat ensembleとの共同制作で『The Crazy Cloud Collection』を上演

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (4) 公演(助成・PAJ欧州)

日本の優れた舞台芸術を紹介しようとする欧州の文化芸術関連団体のみを申請資格者として、欧州内で公募を行う助成プログラム。欧州内における地域的偏りのない巡回公演事業(教育・研修機会を含む)の拡大、日欧の舞台芸術家による共同制作の推進が目的。

合計額 31,364,639 円

	助成対象者	実施国	都市	会場	期間	事業内容
1	Fondazione Campania dei Festival	イタリア	ナポリ サントルカンジェロ サントルカンジェロ	Museo di Capodimonte Sala consiliare del Comune di Santarcangelo Teatro il Lavatoio	2011.07.01 ~ 2011.07.03 2011.07.08 ~ 2011.07.10 2011.07.08 ~ 2011.07.09	平田オリザ作・演出『東京ノート』と『ヤルタ会談』をナポリの演劇祭とサントルカンジェロの国際演劇祭で上演。サントルカンジェロでは平田オリザによるパブリックトークやセミナーも実施
2	Emilia Romagna Teatro Fondazione	イタリア ドイツ	モデナ エッセン ベルリン	Theatro Delle Passioni PACT Zollverein Hebbel am Ufer	2011.10.18 ~ 2011.10.19 2011.10.06 ~ 2011.10.08 2011.10.13 ~ 2011.10.15	岡田利規が主宰する演劇ユニット・チェルフィッチュの最新作『ゾウガメのソニックライフ』をモデナのフェスティバル、ベルリンのHebbel am Ufer等で上演
3	The Opera Group	英国	バーミンガム カーディフ グラスゴー ブライトン オックスフォード ロンドン	CBSO Centre Bute Theatre, Royal Welsh College of Music and Drama Tramway Brighton Corn Exchange Oxford Playhouse Linbury Studio, Royal Opera House	2011.06.17 ~ 2011.06.18 2011.06.20 2011.06.28 ~ 2011.06.29 2011.07.03 2011.07.08 2011.07.12 ~ 2011.07.15	英国で新作オペラを制作・上演している団体 The Opera Group によるオペラ『Seven Angels』の共同制作プロジェクト。The Opera Groupとバーミンガム・コンテンポラリー・ミュージックグループ及び現代美術の世界で先鋭的なアーティストを紹介しているアイコン・ギャラリーが共同で制作。現代社会における環境破壊をテーマに、パフォーマンス集団ダムタイプのメンバーでもあるビジュアルアーティストの高嶺格が美術を担当。2011年6月～7月にかけてイングランドを巡演

舞台芸術事業費

	助成対象者	実施国	都市	会場	期間	事業内容
4	Wiener Festwochen GesmbH	オーストリア	ウィーン	Karlsplatz	2011.05.21 ~ 2011.06.04	日本を拠点に、実際の都市をインスタレーション化する「ツアー・パフォーマンス」を行っているPort Bと、オーストリアのアーティストグループGod's Entertainment、オーストリアの映像作家集団Umkehrfilmと、オーストリア在住の日本人アーティストMichikazu Matsuneによる共同制作。ウィーン芸術週間のプログラムとして上演。フェスティバル/トーキョー09秋 参加作品の『個室都市 東京』をウィーンの文脈に置き換え、現地に滞在して新たにインスタレーションを制作
5	Zurcher Theater Spektakel	オランダ	フローニンゲン	Noorderkerk (Noorderzon Festival)	2011.08.22 ~ 2011.08.24	ストリートファイトの即興性と、高度にコンセプチュアルなアプローチを融合させた独特なスタイルのパフォーマンス集団「コンタクト・ゴンゾ」のパフォーマンスをベルリン、フローニンゲン、チューリッヒ、リュブリャナ、ブダペストにて実施
		スイス	チューリッヒ	Zurcher Theater Spektakel	2011.09.01 ~ 2011.09.03	
		ドイツ	ベルリン	HAU2	2011.09.07 ~ 2011.09.09	
		スロベニア	リュブリャナ	Bunker	2011.08.19 ~ 2011.08.20	
		ハンガリー	ブダペスト	Trafo	2011.09.11 ~ 2011.09.12	
6	Tanzhaus NRW	オランダ	アムステルダム	Stadsschouwburg Amsterdam	2012.03.03 ~ 2012.03.04	勅使川原三郎のダンス公演「鏡と音楽」をパリ、アムステルダム、デュッセルドルフの3都市で上演
		ドイツ	デュッセルドルフ	tanzhaus nrw	2012.03.22 ~ 2012.03.24	
		フランス	パリ	Theatre National de Chaillot	2012.03.29 ~ 2012.04.01	
7	Spielmotor Munchen e.V.	ギリシャ	アテネ	Onassis Cultural Center	2011.11.10 ~ 2011.11.14	作家/演出家の岡田利規が主宰する演劇ユニット・チェルフィッチュの作品『ゾウガメのソニックライブ』と『ホットペッパー、クーラー、最後のお別れ』をミュンヘン、ケルン、デュッセルドルフ、アテネで上演。ミュンヘンでは国際的なフェスティバル Festival SPEILARTのプログラムとして上演し、同フェスティバル参加の三浦大輔とともに近年の日本の若手演劇人による演劇的アプローチ、欧州との共通の問題認識や差異について議論するディスカッションやアーティストトークも実施。日独交流150周年記念事業
		ドイツ	デュッセルドルフ	SchauSpielhaus Dusseldorf	2011.10.25 ~ 2011.10.26	
		ケルン	ケルン	Theater in Bauturm	2011.10.29 ~ 2011.10.30	
		ミュンヘン	ミュンヘン	Muffathalle	2011.11.17 ~ 2011.11.18	

舞台芸術事業費

	助成対象者	実施国	都市	会場	期間	事業内容
8	Societe de Gestion de la Gaité Lyrique	デンマーク フランス	コペンハーゲン パリ パリ パリ リヨン	Mayhem Maison de la culture du Japon à Paris Gaité Lyrique Villette Sonique Nuits Sonores	2011.05.31 2011.05.25 2011.05.28 ~ 2011.05.29 2011.05.31 2011.06.01 ~ 2011.06.04	ドラビでお、00100、De!nialなど、音楽・ダンス・メディアアート、クラブカルチャーなどの分野で革新的な活動をする新進アーティストを集めたイベントをフランスとデンマークで実施。パリにオープンする新しいアートスペースLa Gaité lyriqueのオープニングを飾るほか、リヨンで毎年8万人を動員するイベントNuits Sonores、更にコペンハーゲンにも巡回。コンテンポラリーなアーティストによるパフォーマンスやインタラクティブなインスタレーションなどを紹介
9	Hebbel-Theater Berlin GmbH	ドイツ	ドレスデン ベルリン	Semperoper Dresden Hebbel am Ufer	2011.04.01 ~ 2011.04.30 2011.07.18 ~ 2011.08.31	ダンサー／振付家でありサウンド・ライティングアーティストでもある梅田宏明がドレスデン国立歌劇場バレエ団のダンサーに新作を振付。ドレスデンでオーディションを実施して5名のダンサーを決定、ベルリンで制作とリハーサルを行い、ベルリンのHebbel am Uferによる夏のダンスプログラム「Tanz in August」のプログラムとして世界初演。日独交流150周年記念事業
10	Zodiak Presents ry	フィンランド	ビュハヤルヴィ ヘルシンキ	Full Moon Dance Festival arena Zodiak	2011.07.24 2012.04.11 ~ 2012.04.18	フィンランドと日本のコンテンポラリーダンスのアーティストによる交換レジデンスプロジェクト。日本の振付家がフィンランドでフィンランドのダンサーに作品を振付、フィンランドの振付家が日本で日本のダンサーに作品を振付する。日本からはコンテンポラリーダンスのカンパニー「モノクローム・サーカス」のダンサー／振付家の坂本公成、照明デザイナーの藤本隆行が参加。フィンランドで制作した作品をフィンランド・日本両国で上演
11	Touchpoint Art Foundation/Merlin Theatre	スロバキア ハンガリー ポーランド	ブラチスラバ ブダペスト クラクフ	Manggha Museum Merlin Theatre T&D House	2011.10.08 ~ 2011.10.09 2011.09.26 ~ 2011.10.01 2011.10.06 ~ 2011.10.07	ブダペストの舞踏フェスティバルに日本から舞踏家が参加し、舞踏公演やワークショップを実施。クラクフ、ブラチスラバにも巡回。ブダペストでは専門家や研究者を招へいし、シンポジウムも開催
12	National Theatre Radu Stanca	ルーマニア	シビウ	Radu Stanca	2011.06.06 ~ 2012.06.20	ルーマニアのラドゥ・スタンカ国立劇場が山の手事情社の安田雅弘を演出家に迎え、『女殺油地獄[A JAPANESE STORY]』（原作：近松門左衛門）を制作。シビウにてワークショップとミーティングを実施し、ラドゥ・スタンカ国立劇場所属の俳優の出演により2012～2013シーズンのオープニング作品として2012年9月に世界初演

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (5) 舞台芸術情報交流

舞台芸術分野における国際交流事業促進のための環境づくりと基盤整備を目的に、芸術見本市開催、舞台芸術ウェブサイト運営、セミナー・シンポジウム開催、人材育成事業等の情報交流事業を実施する。

合計額 73,660,271 円

	事業名	氏名	現職	対象国	共催機関	期間	事業内容
1	シンポジウム／能・昆劇交流	ダニー・ユン 佐藤 信	香港当代文化中心主任 劇作家／演出家 座・高円寺芸術監督	中国	早稲田大学演劇博物館 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク	2011.06.01 ～ 2012.03.31	演出家の佐藤信とダニー・ユンが企画し、「座・高円寺」と「ズニ・イコサヘドロン」、南京昆劇院(中国・南京)、早稲田大学坪内逍遙記念演劇博物館(日本・東京)が共催する、能と昆劇(ともに2001年にユネスコ無形文化遺産リストに登録)を題材とした学术交流・演劇交流プロジェクト「記憶、場所、対話2011～2013」。日中間の舞台芸術交流を促進し、今後の共同制作等事業実施・企画のための新たな足がかりとする
2	専門家派遣／平田オリザ	平田 オリザ	劇作家	タイ	チュラロンコン大学	2012.03.11 ～ 2012.03.17	2011年3月にバンコクで実施される「日タイ合同アンドロイド演劇『さようなら』公演」(バンコク日本文化センター主催)に併せ、上記作品の脚本家／演出家である平田オリザ他をバンコクに派遣
3	情報交流／PAJアジア調査	大原 典子	国際舞台芸術交流センター 副事務局長	アジア地域区分困難	国際舞台芸術交流センター (PARC)	2012.01.15 ～ 2012.03.31	日本とアジア地域との舞台芸術分野における交流の活性化につながる新たなプログラムの可能性を調査するため、アジア版PAJ(パフォーミング・アーツ・ジャパン)の新設を念頭に置いたモビリティファンドに関するフィージビリティ調査。調査に際しては、広範なアジア地域における各国の舞台芸術に関する支援の実情、日本との舞台芸術分野における交流の実績、アジアで活動する芸術家のニーズ等を幅広い視点から精査。「国際舞台芸術ミーティング(TPAM)in 横浜」(旧：東京芸術見本市)の事務局として国際的なネットワークを持つ国際舞台芸術交流センター(PARC)との共催事業。平成23年度はインドでの調査を実施
4	シンポジウム／アジア劇作家会議	鄭 義信 土田 英生 川口 智子	劇作家 日本劇作家協会役員／劇作家 座・高円寺スタッフ	オーストラリア	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク	2011.08.14 ～ 2011.08.20	メルボルンで開催される「アジア劇作家会議2011」に日本から参加する3名(鄭義信(劇作家)及び、オブザーバーとして土田英生(日本劇作家協会役員／劇作家)、川口智子(座・高円寺スタッフ))を支援。アジア・大洋州の若手・中堅の劇作家同士のネットワーク作り、作品理解を促進

舞台芸術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催機関	期間	事業内容
5	ブラジルダンス有識者招へい	クリスチーネ・グライナー ナイセ・ロペス	サンパウロ・カトリック大学教授 パノラマ・フェスティバル芸術監督	ブラジル	京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT	2011. 10. 03 ~ 2011. 10. 18	2011年10月開催の「京都国際舞台芸術祭KYOTO EXPERIMENT2011」におけるブラジルの現代舞台芸術を紹介するレクチャーを同芸術祭と共催。併せて、国際交流基金本部さくらホールにて講演会「ブラジル・ダンス・シーンの現在―身体の回帰するところ」を行う。被招へいは舞踊評論家のクリスチーネ・グライナーとパノラマ・フェスティバル芸術監督のナイセ・ロペス。さくらホール講演会ではモデレーターとして舞踊研究/評論の國吉和子も登壇
6	専門家派遣/岡村喬生	岡村 喬生	NPO法人みんなのオペラ芸術監督	イタリア		2011. 06. 28 ~ 2011. 07. 02	日本を代表するオペラ歌手・岡村喬生が、プッチーニの代表的オペラ「マダマ・バタフライ(蝶々夫人)」における日本像誤解を改めるべく、「新国際版」を制作。公演を控えての事前調査を支援
7	専門家派遣/渡辺保	渡辺 保	放送大学教授	フランス		2011. 05. 31 ~ 2011. 06. 06	神崎流「えんの会」による日本舞踊公演がパリ日本文化会館にて開催されるのに併せ、演劇評論家の渡辺保をフランスに派遣し、古典演劇・舞踊に関する講演会を実施。2011年6月3日～4日の2回実施
8	人材育成/ラアナイー・ファミリー招へい	クーフザード・シュレシュ・ラアナイー シーリーン・モハンマディ プーヤン・ラアナイー ヤヒヤー・ラアナイー 林原 慶子		イラン	アース・セレブレーション実行委員会	2011. 08. 13 ~ 2011. 08. 29	来日の機会が非常に限られているイランから、日本文化及び日本人アーティストとの交流等のために、同国で特に有望視されている若手文化人及びそのグループである「ラアナイー・ファミリー」を招へい。イランの優れたミュージシャンとその演奏を日本で紹介し、更に日本のミュージシャンとの交流の場を設けることで、音楽分野における日イラン交流を促進
9	情報交流/国際舞台芸術ミーティングin横浜2012 (TPAM in Yokohama 2012)			全世界区分困難	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 特定非営利活動法人国際舞台芸術交流センター(PARC) 公益財団法人神奈川県芸術文化財団	2011. 02. 13 ~ 2012. 02. 19	パフォーマンス・アーツの情報交換、議論、プレゼンテーションを行う国際的プラットフォームを目指す「国際舞台芸術ミーティングin横浜」の開催期間に併せて、各国のアートセンターのプレゼンターをグループで紹介へい。共同制作やツアーの可能性等を個別に話し合うネットワーク構築の機会を提供

舞台芸術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催機関	期間	事業内容
10	情報交流／舞台芸術ウェブサイト			全世界区分困難		2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	日本の現代舞台芸術情報を海外に発信する、日英2カ国語によるウェブサイト「Performing Arts Network Japan(performingarts.jp)」を運営。アーティスト・インタビュー、戯曲紹介、データベース等を通じて最新状況を紹介し、舞台芸術分野における国際交流の活性化に寄与
11	PAJ(北米・欧州)アドバイザー・コミッティーメンバー・関係者TPAM in Yokohama 2012 招へい	Aengus Finnan Angela Mattox Arnold Malina Cathy Edwards Chuck Helm Katarzyna Nowak Martin Wollesen	The Ontario Arts Council Touring & Audience Development Officer Portland Institute for Contemporary Art Artistic Director Flynn Center for the Performing Arts Chief Programming Officer and Artistic Director International Festival of Arts & Ideas Director of Performance Programs The Ohio State University Wexner Center for the Arts Director of Performing Arts Manggha Museum of Japanese Art and Technology in Krakow Deputy Director/Program Director University of California, san Diego Director, University Events Office	全世界区分困難		2012. 02. 13 ～ 2012. 02. 19	2012年2月に開催される国際舞台芸術ミーティングin横浜2012(TPAM in Yokohama 2012)の開催に併せ、国内外から多数の舞台芸術関係者が集まる機会を利用し、国際交流基金が北米及び欧州で運営する公演助成プログラム Performing Arts Japan(PAJ)のアドバイザー・コミッティーメンバー及び関係者を招へい

舞台芸術事業費

事業名	氏名	現職	対象国	共催機関	期間	事業内容
	Maurizia Settembri	Fabbrica Europa Directrice				
	Mk Wegmann	National Performance Network CEO and President				
	Nan van Houte	Theater Instituut Nederland Director				
	Nathalie Vimeux	Office National de Diffusion Artistique (ONDA) Secretary General				
	Nicky Childs	Artsadmin Senior Artists' Producer				
	Sixto Wagan	Diverse works Art Space Artistic Director				
	Stefan Hilterhaus	PACT Zollverein Artistic Director				

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (6) 公演(助成・海外公演〔市民青少年交流〕)

日本国内の非営利団体に対し、舞台芸術活動を通じた市民・青少年主体の国際交流事業実施のための経費の一部を助成する。

合計額 51,322,000 円

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者(個人・機関)	期間	事業内容
1	「トコトン青森体験ウィーク」ソウル公演	韓国	ソウル	ソウル市庁舎前広場	トコトン青森体験ウィーク実行委員会	2011.09.23 ~ 2011.09.25	日韓交流おまつり2011にて、日本を代表する火祭りである「青森ねぶた」を韓国の青少年の絵付けにより製作・運行、その周りでねぶた囃子を披露する。また、ボランティアを募集し、浴衣の着付け、踊り指導等も実施
2	秋田市竿燈まつりソウル公演	韓国	ソウル	ソウル広場	秋田市竿燈まつり実行委員会	2011.09.25	日韓交流おまつり2011の活動の一環として、ソウル広場にて竿燈の技を披露するとともに、竿燈の仕組みや明かりの特殊装置について解説
3	日中友好・女声合唱団「黎明」中国公演	中国	銀川	寧夏人民会堂	日中友好・女声合唱団「黎明」	2011.10.16	女声合唱団「黎明」が第3回寧夏文化芸術観光祭でコンサートを実施するほか、砂漠緑化のための植林や現地小学校への楽器・文具の贈呈、ワークショップも開催
4	夢絃塾 マレーシア公演	マレーシア	ペナン クアラルンプール クアラ・トレンガヌ	マレーシア科学大学内 PPBLT 国立芸術遺産大学(ASWARA)オーケストラホール トレンガヌ大学	中村 昭子	2011.10.31 2011.11.01 2011.11.02	三味線を中心とした邦楽グループ「夢絃塾」による三味線、尺八、唄と日本舞踊の公演及びレクチャーを実施
5	北斗組 スリランカ公演	スリランカ	キャンディー コロンボ	ペラデニア大学 コロンボタウンホール	チームやまびこ「北斗組」	2011.08.25 2011.08.26	神戸のよさこいチーム「やまびこ」の若手精鋭グループである「北斗組」が、在スリランカ大使館主催「ジャパンウィーク」にて、よさこいを2回上演
6	紫音 インド公演	インド	ムンバイ(ボンベイ) ベンガルール	Ravindra Natya Mandir HN Kalashetra, National College Building	原田 嘉子	2011.09.18 2011.09.22	女性和太鼓奏者デュオ「紫音」による公演。ベンガルール公演はベンガルール国際芸術祭の招待枠での上演
7	十日町懐メロ愛好会 インド公演	インド	ニューデリー グルガーオン チェンナイ	ヒルトンホテル EPIセンター ヒルトンインターナショナル	NPO法人日印交流を盛り上げる会	2011.11.26 2011.11.27 2011.11.29	インド人演歌歌手チャダの演歌公演に参加するバンドメンバー(「十日町懐メロ愛好会」専属ビッグバンド)への支援。演目はチャダのオリジナル曲ほか、吉幾三、八重沢武、高橋幸子など。インド人有名歌手もゲスト参加し、インド3都市にて各1回ずつ公演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者（個人・機関）	期間	事業内容
8	児童劇団「大きな夢」ミュージカルワークショップ・公演	カナダ	トロント	JCCC小林ホール	児童劇団「大きな夢」	2011.08.27	児童劇団「大きな夢」がトロント日系人協会の招へいにより、現地で日加双方の児童が参加するミュージカルのワークショップを開催。最終日にオリジナル作品『夜空の虹』をワークショップ参加者により上演
9	外山喜雄とデキシーセインツ 米国公演	米国	ニューオーリンズ	セントルイス大聖堂 クリストファーイン 老人ホーム US Mint 旧造幣局 サッチモサマーフェスト・メインステージ ティピティナス財団会長宅 セント・オーガスチン教会(ジャズミサ)	日本ルイ・アームストロング協会	2011.08.04 2011.08.05 2011.08.06 ~ 2011.08.07 2011.08.06 2011.08.07	外山喜雄(日本ルイ・アームストロング協会会長)率いるデキシーセインツが、2003年より継続してニューオーリンズのサッチモ・サマーフェストに参加。現地では、ハリケーン被害者支援として青少年及び学校へ楽器を寄贈
10	モトスミ・ブレーメン・バンド ドイツ公演	ドイツ	ブレーメン	ロイドパサージュ商店街アーケード内 ウォーターフロント	モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合	2011.05.05 2011.05.06	川崎市元住商店街所属の吹奏楽団が姉妹商店街のあるドイツのブレーメン市で、ドイツ・カンマーフィル・ブレーメン・ゾリスデンの楽団員との街頭合同演奏会を実施
11	葛巻神楽 ドイツ公演	ドイツ	コブレンツ	BUGA2011(連邦庭園ショー ジャパンデー2011会場) Werner-Heisenberg-Gymnasium(ヴェルナー・ハイゼンベルク ギナジウム) Trachtengruppe Ungstein e.V	葛巻神楽保存会	2011.08.08 2011.08.10 2011.08.11	岩手県岩手郡葛巻町の郷土芸能「葛巻神楽」を習得・継承する同保存会が、日独交流150周年に、ドイツのラインラント・プファルツ州で開催される庭園博覧会の関連イベント「連邦庭園ショー・ジャパンデー」において、「権現舞」を上演。更に、葛巻町との交流10周年を迎えるバート・デュルクハイム市でも公演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者（個人・機関）	期間	事業内容
12	箏粋会 ドイツ公演	ドイツ	ハイデルベルク アイジゲン ローテンブルグ	Augustinum（アウグスティヌム ホール） St. Josefs-Stift Eisingen ホール ローテンブルグ市音楽学校ホール	箏粋会	2011.08.21 2011.08.22 2011.08.23	堀田けい子（生田流宮城社大師範）率いる箏翠会（1972年創設）の海外演奏旅行団体である箏粋会（2001年創設）が、日独交流150周年に十三弦、十七弦、三味線、尺八からなる合奏をドイツ3都市で実施
13	VOX GAUDIOSA イタリア公演	イタリア	アレツォ カリアリ トルトリ サッサリ	聖イグナツィオ教会 サンサトゥルニーノ教会 サンタンドレア教会 サンジャコモ教会	室内合唱団VOX GAUDIOSA	2011.09.15 ～ 2011.09.17 2011.09.20 2011.09.21 2011.09.22	東京の室内合唱団VOX GAUDIOSAが、イタリアのコンコーディアヴォチス合唱祭に招へい参加、アレツォ、カリアリ等で公演を実施
14	天理大学雅楽部 欧州公演	英国 オランダ ドイツ フランス	ロンドン アムステルダム ケルン ミュンヘン パリ	ロンドン大学SOAS アムステルダム音楽院ホール ケルン大学講堂 カール・オルフ・ザール ギメ美術館	天理大学雅楽部	2011.09.16 2011.09.08 2011.09.10 2011.09.14 2011.09.12	天理大学雅楽部が日独交流150周年を記念してケルンとミュンヘンで公演とワークショップを実施。併せてアムステルダム、パリ、ロンドンに巡回（一部はワークショップのみ）
15	自然生クラブ スイス公演	スイス	チューリヒ ベルン バーゼル バーゼル	Museum Rietberg in Zurich Waisenhausplatz Kasernenplatz Rosstall Kaserne	NPO法人 自然生クラブ	2011.05.27 2011.05.28 2011.05.30 ～ 2011.06.01 2011.06.02	つくば市で知的障害者と共に有機農業や環境運動に取り組む共同体であるNPO法人自然生クラブが、スイスで開催される演劇祭で知的障害者を起用した「創作 田楽舞」を上演。講演やワークショップも実施
16	劇団文芸座 フィンランド公演	フィンランド	セイネヨキ タンペレ	シティシアター ステージエリッサ 舞台芸術特化私立高等学校ステージ	劇団文芸座	2011.08.27 2011.08.28	富山市を拠点とする「劇団文芸座」がフィンランドで行われるアマチュア演劇祭でチャーホフ作品を上演。黒川真理と雅浩による箏演奏会も実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者（個人・機関）	期間	事業内容
17	和楽器紹介演奏会	ブルガリア	ヴェリコ・タルノヴォ カザンラク	ヴェリコ・タルノヴォ市文化ホール ばら祭り特設野外ステージ	福山ブルガリア協会	2011.06.03 2011.06.04	福山ブルガリア協会がブルガリア2都市で邦楽コンサート(箏、尺八、三味線)を実施
18	劇団曼珠沙華 ベラルーシ公演	ベラルーシ	モギリョフ モギリョフ モギリョフ チェチェルスク ブラギン ゴメリ ゴメリ ゴメリ ミンスク ミンスク ミンスク	スペドナヤ学校第48番学校 第12番学校 クラスポーリエ公民館 チェチェルスク劇場 ブラギン市劇場 演劇専門学校 ワロービッチ地区劇場 ブダコシエリョワ劇場(ブダ・コシエリョワ地区) 小児がん病院内劇場 青少年文化センター ミンスクトラクター産業会館	特定非営利活動法人 チェルノブイリへのかけはし	2011.10.05 2011.10.05 2011.10.06 2011.10.07 2011.10.08 2011.10.08 2011.10.09 2011.10.10 2011.10.12 2011.10.13 2011.10.14	チェルノブイリ原発事故25周年を迎えるベラルーシにて病院への慰問公演を含む計11回公演を実施。ベラルーシ公演は今回で3回目
19	日本合唱指揮者協会(JCDA)ユース合唱団 ポーランド公演	ポーランド	ウッチ ワルシャワ グダニスク	ウッチ市立博物館 ショパン音楽院ホール アルトゥスの館	日本合唱指揮者協会	2012.03.28 2012.03.29 2012.03.31	日本の合唱音楽の発展を目指して設立された団体「日本合唱指揮者協会」が学生を公募して結成されるユース合唱団による公演。合唱による世界平和への祈りを伝えることをテーマに、林光作曲『原爆小景』などを上演。現地合唱団との交流も実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者（個人・機関）	期間	事業内容
20	岩堀敬子 ロシア公演	ロシア	モスクワ モスクワ エカテリンブルグ	芸術村アート館 モスクワ音楽院ラフマニノフホール セントラルミュージックスクール内ホール	岩堀 敬子	2011.09.11 2011.09.14 ~ 2011.09.22 2011.09.16	沢井箏曲院教授の岩堀敬子他15名がモスクワ音楽院の招へいにより音楽院の学生を対象にレッスンをを行い、日露メンバーによるジョイントコンサートを実施。併せてエカテリンブルグ市及びモスクワ市内の他施設でも公演
21	日本・ウラジオストク協会 第7回ウラジオストク・ビエンナーレ参加団	ロシア	ウラジオストク	極東芸術アカデミーホール 音楽学校ホール サナトリウム内ホール アルセーニエフ博物館 青のホール	日本ウラジオストク協会	2011.09.13 2011.09.14 2011.09.16 2011.09.17	日本ウラジオストク協会が、複合的文化交流プログラムであるウラジオストク・ビエンナーレへの参加団を編成(28名)、音楽コンサート、写真展等の事業を実施
22	伴戸千雅子/ダンスカンパニー「花嵐」 マダガスカル公演	マダガスカル	アンタナナリボ	Esplanade ANALAKELY Alliance Française Andavamamba	伴戸 千雅子	2011.06.01 2011.06.03	視覚障害のある人とのワークショップや作品創作を行う。ダンスカンパニー「花嵐」（日本/伴戸千雅子他）及び「アカジュ」（フランス）が、マダガスカルで、ワークショップ、共同創作、現地ダンスカンパニーとの交流、シンポジウム等実施
23	菊水連 南アフリカ公演	南アフリカ	ソウェト ヨハネスブルグ プレトリア プレトリア ヨハネスブルグ ケープ・タウン	オルランド孤児院 ムルダーズドリフ・スクール タイガーバレーカレッジ マルボロガーデンスクール セントフランシスケアセンター パインランドスクール	東京高円寺阿波踊り 菊水会 菊水連	2011.09.05 2011.09.05 2011.09.06 2011.09.06 2011.09.07 2011.09.08	東京を代表する祭「東京高円寺阿波踊り」屈指の大型連、菊水会菊水連(16名)が、ヨハネスブルグ等複数都市で公演・ワークショップを実施。同時に現地教育機関、HIV・AIDS患者ケアセンター、孤児院等において参加型公演とワークショップも開催

文化芸術交流事業に必要な経費

映像出版事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 映像出版情報交流（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 日本映画上映（主催）
- (2) 日本映画上映（助成）
- (3) アニメ文化大使
- (4) 映像出版情報交流（催し）
- (5) 市民青少年映像・文芸交流助成

3. 文化資料事業費

- (1) テレビ番組交流促進
- (2) フィルムライブラリー運営（本部）
- (3) フィルムライブラリー運営（海外）
- (4) 国際図書展参加
- (5) 映像出版情報交流（文化資料）

4. 日本研究事業費

- (1) ドキュメンタリー制作助成
- (2) 日本理解促進出版・翻訳（助成）

映像出版事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 映像出版情報交流(招へい)

映像・出版の両分野における情報交流を促進するため、専門家の招へい等の人物交流を行う。

合計額 6,008,622 円

	事業名	関連人物姓名	現職	対象国・地域	期間	事業内容
1	第5回国際漫画賞	潘丽萍 (Pan Liping) 柯瑩玫 Tanis Werasakwong Jose Maria Niimura del Barrio	漫画家 漫画家 漫画家 漫画家	中国 台湾 タイ スペイン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	外務省主催の国際漫画賞が実施されるにあたり協力。特に優秀賞の受賞者計4名の招へいを行い、授賞式のアテンド及び出版社への訪問もサポート
2	[招へい]映画監督・プロデューサー	西村 敬喜 Nursita Mouly SURYA Tristia Preniany HASIBUAN	株式会社ナイスデー CEO兼プロデューサー 映画監督 プロデューサー	日本 インドネシア インドネシア	2012.02.08 ~ 2012.03.08	インドネシア人映画監督Nursita Mouly Surya、及び映画プロデューサーTristia Preniany Hasibuanを日本のポップカルチャーについての映画作品『The Fandom Diary』制作に向けた事前調査として、日本へ招へいする

映像出版事業費

2. 催し等事業費 / (1) 日本映画上映(主催)

在外公館及び国際交流基金海外拠点が実施する日本映画上映事業への協力を行う。

合計額 88,320,156 円

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
1	3K映画祭	韓国	ソウル日本文化センター	2011.07.01 ~ 2011.07.20 2011.08.04 ~ 2011.08.10 2011.08.12 ~ 2011.08.19 2011.10.28 ~ 2011.11.01 2011.11.20 ~ 2011.11.24	小林正樹、木下恵介及び木村威夫(美術監督)の作品『二十四の瞳』『檜山節考』『東京流れ者』等計26本を各3~8回ずつ上映
2	小津安二郎回顧展	韓国	ソウル日本文化センター	2011.09.15 ~ 2011.10.02 2011.10.07 ~ 2011.10.09 2011.10.27 ~ 2011.11.01	本部フィルムライブラリー所蔵の小津安二郎監督『生れてはみたけれど』『宗方姉妹』『東京物語』等6作品を含む計14作品を各6回ずつ上映
3	岡本喜八監督特集映画祭	韓国	ソウル日本文化センター	2011.12.01 ~ 2011.12.31	本部フィルムライブラリー所蔵の岡本喜八監督作品『肉弾』『結婚のすべて』『ある日のわたし』『独立愚連隊』等の計27作品を各3回ずつ上映
4	ジャパンファウンデーション映画祭	韓国	ソウル日本文化センター	2012.02.07 ~ 2012.02.26 2012.03.02 ~ 2012.03.15	本部フィルムライブラリー及び韓国語フィルムライブラリー所蔵の新藤兼人監督作品『竹山ひとり旅』『午後の遺言状』等と本薩夫監督作品『荷車の歌』『忍びの者』等計25作品を各2回ずつ上映
5	日中映像交流特別事業(日本アニメ・フェスティバル)	中国	在中国大使館	2011.12.07 ~ 2011.12.11	『映画ドラえもん 新・のび太と鉄人兵団ーはばたけ天使たち』『劇場版NARUTOーナルトー疾風伝』『昆虫物語みつばちハッチー勇気のメロディー』等計10作品のアニメを各2~3回ずつ上映
6	第5回日本映画週間	モンゴル	在モンゴル大使館	2011.11.16 ~ 2011.11.20	本部フィルムライブラリー所蔵『おとうと』『歓喜の歌』『ハッピーフライト』『クライマーズ・ハイ』『バッテリー』の計5作品を各1回ずつ上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
7	黒澤明映画祭	シンガポール	在シンガポール大使館	2011. 04. 18 ～ 2011. 04. 30	本部フィルムライブラリー所蔵の黒澤明監督作品『羅生門』『姿三四郎』『一番美しく』『七人の侍』等計25作品を各1～2回ずつ上映
8	日本映画祭2011	シンガポール	在シンガポール大使館	2011. 07. 02 ～ 2011. 07. 06	本部フィルムライブラリー所蔵の『飢餓海峡』『稲妻』『女が階段を上る時』等を各1回ずつ上映
9	JCC アニメセミナー	シンガポール	ジャパンクリエイティブセンター	2012. 03. 01	栗津順監督を招へいし、クリエイター・トーク、映画上映及びワークショップを開催。『惑星大怪獣ネガドン』『PLANZET』の計2作品を上映
10	Eiga-sai 2011	フィリピン	マニラ日本文化センター	2011. 07. 01 ～ 2011. 07. 10 2011. 07. 22 ～ 2011. 07. 24 2011. 08. 02 ～ 2011. 08. 07 2011. 08. 17 ～ 2011. 08. 20	本部フィルムライブラリー所蔵作品『風が強く吹いている』『劔岳 点の記』『百万円と苦虫女』『クライマーズ・ハイ』『河童のクゥと夏休み』等を各6～7回ずつ上映
11	Japanese Film Festival 2011 - LOVE -	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2011. 10. 20 ～ 2011. 10. 26 2011. 11. 04 ～ 2011. 11. 06 2011. 11. 11 ～ 2011. 11. 13 2011. 11. 18 ～ 2011. 11. 24	『パラダイス・キス』『川の底からこんにちは』『マイマイ新子と千年の魔法』等計8作品を各1～2回ずつ上映
12	上映促進事業	マレーシア スペイン	クアラルンプール日本文化センター マドリッド日本文化センター	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31 2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	国際交流基金海外拠点の定例上映会で本部フィルムライブラリー所蔵の『満員電車』『二十四の瞳』等を上映
13	日本映画特集上映	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2011. 06. 08	本部フィルムライブラリー所蔵『秒速5センチメートル』『百万円と苦虫女』及び『おくりびと』（借用）の計3作品を各1回ずつ上映
14	日本映画祭2011	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2011. 09. 15 ～ 2011. 09. 20 2011. 09. 22 ～ 2011. 09. 25	本部フィルムライブラリー所蔵作品『ハッピーフライト』『きみの友だち』『セカンドバージン』等10作品を各1～3回ずつ上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
15	クラシックコメディ特集上映	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2012. 03. 24 ~ 2012. 03. 25	本部フィルムライブラリー所蔵『幕末太陽傳』『生れてはみたけれど』『お早よう』『按摩と女』等計6作品を1~2回ずつ上映
16	日本映画祭	ミャンマー	在ミャンマー大使館	2011. 08. 26 ~ 2011. 08. 30 2011. 09. 03 ~ 2011. 09. 06	本部フィルムライブラリー所蔵35mm『かもめ食堂』『時をかける少女』『包帯クラブ』等計4作品を2都市で各1回ずつ上映
17	日本アニメインド巡回上映	インド	ニューデリー日本文化センター	2011. 09. 09 ~ 2011. 09. 11 2011. 10. 01 ~ 2011. 10. 03	『わが青春のアルカディア』『マインド・ゲーム』等計5作品を各地で上映
18	インド巡回日本映画祭	インド	ニューデリー日本文化センター 在カルカッタ総領事館 在チェンナイ総領事館 在ムンバイ総領事館	2011. 12. 10 ~ 2012. 03. 26	本部フィルムライブラリー所蔵の35mm作品『巨人と玩具』『氷壁』『少年』『愛と希望の街』など計28作品を各1~2回ずつ上映
19	コロombo日本映画祭	スリランカ	在スリランカ大使館	2011. 08. 05 ~ 2011. 08. 08	『二人日和』『ガラスのうさぎ』『運命じゃない人』『ちびまる子ちゃん』等計7作品を各1回ずつ上映
20	第15回巡回日本映画祭	オーストラリア	シドニー日本文化センター 在オーストラリア大使館 在パース総領事館 在ブリスベン総領事館 在メルボルン総領事館	2011. 09. 06 ~ 2011. 12. 06	本部フィルムライブラリー所蔵作品『BALLAD 名もなき恋のうた』『大阪ハムレット』『銀河鉄道999』等計4~7作品を各地で1回ずつ上映
21	平成23年度アニメ上映会	オーストラリア	在オーストラリア大使館	2011. 09. 15 ~ 2011. 09. 17 2012. 03. 03	本部フィルムライブラリー所蔵作品『カラフル』『おんぼろフィルム』『ジャンピング』等計5作品を1~2回ずつ上映
22	ウェリントン日本映画祭	ニュージーランド	在ニュージーランド大使館	2011. 11. 28 ~ 2011. 12. 02	本部フィルムライブラリー所蔵作品『ALWAYS三丁目の夕日』『カラフル』『ディア・ドクター』等計5作品を各1回ずつ上映
23	日本映画上映週間	フィジー	在フィジー大使館	2011. 10. 18 ~ 2011. 10. 21	本部フィルムライブラリー所蔵『カムイの剣』『銀河鉄道999』『時をかける少女』等計4作品を各1回ずつ上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
24	日本映画祭	ミクロネシア	在ミクロネシア大使館	2011. 10. 11 ~ 2011. 10. 15	本部フィルムライブラリー所蔵作品『ハッピーフライト』『明日の記憶』等計5作品を各2回ずつ上映
25	カナダ巡回日本映画祭	カナダ	トロント日本文化センター 在カナダ大使館 在カルガリー総領事館 在トロント総領事館 在バンクーバー総領事館 在モントリオール総領事館	2011. 09. 08 ~ 2011. 12. 10	本部フィルムライブラリー所蔵『劔岳 点の記』『ALWAYS 続・三丁目の夕日』等計4作品を各1~3回ずつ上映
26	新藤兼人レトロスペクティブ	米国	ニューヨーク日本文化センター	2011. 04. 22 ~ 2011. 05. 05	本部フィルムライブラリー所蔵の新藤兼人監督作品『原爆の子』『竹山ひとり旅』等計11作品を各1~11回ずつ上映。同監督最新作『一枚のハガキ』の全米プレミアも実施
27	新藤兼人レトロスペクティブ巡回上映	米国	ニューヨーク日本文化センター	2011. 07. 02 ~ 2011. 08. 03 2011. 08. 05 ~ 2011. 08. 13	本部フィルムライブラリー所蔵の新藤兼人監督作品『原爆の子』『竹山ひとり旅』等計2~5作品を各1~2回ずつ上映
28	ミシガン大学日本研究センター日本映画上映	米国	ニューヨーク日本文化センター	2011. 07. 29 ~ 2011. 08. 19	本部フィルムライブラリー所蔵35mm作品『HANA-BI』『菊次郎の夏』『あの夏、いちばん静かな海』等計4作品を各1回ずつ上映
29	中西部大学巡回日本映画祭	米国	ニューヨーク日本文化センター	2011. 09. 14 ~ 2011. 11. 19	本部フィルムライブラリー所蔵35mm作品『害虫』『下妻物語』『百万円と苦虫女』等計4作品をセントルイス、アイオワシティ等の各地で1回ずつ上映
30	日活の歴史	米国	ニューヨーク日本文化センター	2011. 10. 01 ~ 2011. 10. 16	本部フィルムライブラリー所蔵『土と豚』『赤西蛸太』『幕末太陽傳』『赫い髪の女』『豚と軍艦』等計37作品を各1~2回ずつ上映
31	日本映画「増村保造」シリーズ	米国	在デンバー総領事館	2011. 11. 16 ~ 2011. 11. 20	本部フィルムライブラリー所蔵の増村保造監督作品『氷壁』『女経』『足にさわった女』『妻は告白する』等計5作品を各1回ずつ上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
32	成瀬・高峰レトロスペクティブ: Doc Film	米国	ニューヨーク日本文化センター	2012. 01. 09 ~ 2012. 03. 05	本部フィルムライブラリー所蔵の成瀬巳喜男監督、高峰秀子主演の『浮雲』『女が階段を上る時』等計9作品を各1回ずつ上映
33	桜映画特集(日米桜寄贈100周年 Japan Society)	米国	Japan Society	2012. 03. 23 ~ 2012. 04. 01	『武士の家計簿』『花のあと』『御法度』等、「桜」にちなむ10作品を各1回ずつ上映
34	篠田正浩監督特集	メキシコ	メキシコ日本文化センター	2011. 09. 13 ~ 2011. 09. 25	篠田正浩監督作品『涙を獅子のたてがみに』『暗殺』『乾いた花』『心中天網島』『沈黙』等計13作品を各2回ずつ上映
35	大島渚監督特集 延期分	メキシコ	メキシコ日本文化センター	2011. 05. 10 ~ 2011. 06. 15	本部フィルムライブラリー所蔵35mmを中心に大島渚監督作品『儀式』『ユンボギの日記/新宿泥棒日記』等計9作品を各1回ずつ上映(東日本大震災の延期分)
36	篠田正浩監督特集	アルゼンチン	在アルゼンチン大使館	2011. 07. 18 ~ 2011. 07. 30	篠田正浩監督作品『乾いた湖』『暗殺』『涙を獅子のたてがみに』『心中天網島』『沈黙』等計13作品を各1~3回ずつ上映
37	日本映画特集上映	アルゼンチン	在アルゼンチン大使館	2012. 01. 28 ~ 2012. 02. 12	本部フィルムライブラリー所蔵の『お遊さま』『西鶴一代女』『残菊物語』等計16作品を各2~3回ずつ上映
38	日本映画特集上映	ウルグアイ	在ウルグアイ大使館	2012. 03. 05 ~ 2012. 03. 23	本部フィルムライブラリー所蔵の『お遊さま』『西鶴一代女』『残菊物語』等計16作品を各2~3回ずつ上映
39	増村保造監督特集	ブラジル	在クリチバ総領事館 在ポルトアレグレ出張駐在官事務所	2011. 09. 17 ~ 2011. 09. 28 2011. 10. 04 ~ 2011. 10. 09	本部フィルムライブラリー所蔵の増村保造監督作品『くちづけ』『青空娘』『暖流』『氷壁』『巨人と玩具』等計18作品を各1~2回ずつ上映
40	内田吐夢・深作欣二監督特集	ブラジル	サンパウロ日本文化センター	2011. 11. 23 ~ 2011. 12. 04	本部フィルムライブラリー所蔵作品『血槍富士』『飢餓海峡』『大菩薩峠』等計8作品を各2~3回ずつ上映
41	日本映画祭2011	アイルランド	在アイルランド大使館	2011. 11. 06 ~ 2011. 11. 20	『南極料理人』『嫌われ松子の一生』をダブリン、コーク等の各地で各2~6回ずつ上映
42	映画の中の日本文学	イタリア	ローマ日本文化会館	2011. 06. 07 ~ 2011. 06. 10 2012. 02. 21 ~ 2012. 03. 22	『春の雪』『愛の渦き』『細雪』『ヴィヨンの妻』『食堂かたつむり』等計13作品を各1回ずつ上映
43	日本アート・シアター・ギルド(ATG)特集	イタリア	ローマ日本文化会館	2011. 10. 04 ~ 2011. 11. 17	本部フィルムライブラリー所蔵作品『おとし穴』『とべない沈黙』『人間蒸発』『肉弾』『心中天網島』等計14作品を各1回ずつ上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
44	活弁・演奏付き無声映画欧州巡回上映会	イタリア ドイツ フランス	ローマ日本文化会館 ケルン日本文化会館 パリ日本文化会館	2011. 11. 22 2011. 11. 29 2011. 12. 02 ~ 2011. 12. 03	活動弁士澤登翠を招へいし『子宝騒動』『折鶴お千』等のサイレント映画を各1回ずつ上映
45	山本薩夫監督特集	イタリア	ローマ日本文化会館	2012. 01. 10 ~ 2012. 01. 31	本部フィルムライブラリー所蔵の山本薩夫監督作品『荷車の歌』『忍びの者』『続・忍びの者』『金環蝕』等計7作品を各1回ずつ上映
46	The Japan Foundation Touring Programme: オリジナル脚本の現代日本映画	英国	ロンドン日本文化センター	2012. 02. 10 ~ 2012. 03. 28	35mm作品『おとうと』『歓喜の歌』『それでもボクはやってない』『不灯港』等計5本をロンドン、エジンバラ等の各地で各4~8回ずつ上映
47	欧州巡回映画祭	オーストリア ギリシャ クロアチア スロバキア スロベニア セルビア チェコ ハンガリー ブルガリア ポーランド ボスニア・ヘルツェゴビナ	在オーストリア大使館 在ギリシャ大使館 在クロアチア大使館 在スロバキア大使館 在スロベニア大使館 在セルビア大使館 在チェコ大使館 ブダペスト日本文化センター 在ブルガリア大使館 在ポーランド大使館 在ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館	2011. 05. 06 ~ 2011. 05. 09 2011. 06. 01 ~ 2011. 06. 07 2011. 06. 24 ~ 2011. 06. 30 2011. 07. 26 ~ 2011. 08. 01 2011. 08. 25 ~ 2011. 08. 31 2011. 09. 15 ~ 2011. 09. 17 2011. 10. 04 ~ 2011. 10. 12 2011. 10. 19 ~ 2011. 10. 25 2011. 10. 31 ~ 2011. 11. 02 2011. 11. 04 ~ 2011. 11. 10 2011. 11. 16 ~ 2011. 11. 19	本部フィルムライブラリー所蔵『嵐を呼ぶ男』『秋津温泉』『赤いハンカチ』『檜山節考』等計5~7作品を欧州各地で各1~2回ずつ上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
		ラトビア	在ラトビア大使館	2011. 11. 25 ~ 2011. 12. 15	
		リトアニア	在リトアニア大使館	2011. 12. 08 ~ 2011. 12. 21	
		ルーマニア	在ルーマニア大使館	2012. 01. 12 ~ 2012. 01. 14	
		ロシア	在サンクトペテルブルク総領事館	2012. 01. 20 ~ 2012. 01. 26	
		ロシア	在ロシア大使館	2012. 02. 03 ~ 2012. 02. 28	
48	西欧巡回映画祭	オーストリア	在オーストリア大使館	2011. 10. 19 ~ 2011. 10. 25	本部フィルムライブラリー所蔵『嵐を呼ぶ男』『秋津温泉』『赤いハンカチ』『檜山節考』『その男、凶暴につき』『3-4X10月』『みんな～やってるか!』を各1回ずつ上映
49	西欧巡回映画祭	ギリシャ	在ギリシャ大使館	2011. 09. 15 ~ 2011. 09. 17	本部フィルムライブラリー所蔵『嵐を呼ぶ男』『秋津温泉』『赤いハンカチ』『檜山節考』『その男、凶暴につき』『3-4X10月』『みんな～やってるか!』を各1回ずつ上映
50	山本薩夫監督特集	スペイン	マドリード日本文化センター	2011. 10. 14 ~ 2011. 10. 23 2011. 10. 26 ~ 2011. 11. 12	山本薩夫監督作品『荷車の歌』『忍びの者』『続・忍びの者』『白い巨塔』『牡丹燈籠』『金環蝕』等を2~3回ずつ上映
51	篠田正浩監督特集	スペイン	マドリード日本文化センター	2012. 01. 19 ~ 2012. 01. 29 2012. 02. 02 ~ 2012. 02. 12	本部フィルムライブラリー所蔵の篠田正浩監督作品『乾いた湖』『暗殺』『乾いた花』『心中天網島』『沈黙』等計6作品を各5~6回ずつ上映
52	小津安二郎監督特集 延期分	ドイツ	ケルン日本文化会館	2011. 04. 28 ~ 2011. 05. 30	本部フィルムライブラリー所蔵の小津安二郎監督の『秋刀魚の味』『生れてはみたけれど』等計21作品を各1回ずつ上映
53	黒澤明監督特集	ドイツ	ケルン日本文化会館	2011. 09. 01 ~ 2012. 01. 29	本部フィルムライブラリー所蔵の黒澤明監督作品『続姿三四郎』『わが青春に悔なし』『羅生門』『生きる』『七人の侍』等計30作品を各2回ずつ上映
54	日活特集	ドイツ	ケルン日本文化会館	2012. 02. 02 ~ 2012. 03. 31	日活の『赤西蛸太』『土と兵隊』『ビルマの豎琴』『幕末太陽傳』等計13作品を各1~2回ずつ上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
55	ジャパンホラー映画特集(戦前から現代まで)	フランス	パリ日本文化会館	2011.05.06 ~ 2011.06.01	本部フィルムライブラリー所蔵等の『闇の手品』『四谷怪談』『雨月物語』『亡霊怪猫屋敷』『呪怨』等計39作品を各1~2回ずつ上映
56	日本アート・シアター・ギルド(ATG)の歴史	フランス	パリ日本文化会館	2011.06.07 ~ 2011.07.23	『人間』『おとし穴』『鎖隠』『彼女と彼』『ユンボギの日記』等計52作品を各1~2回ずつ上映。松本俊夫を招へいし、討論会を実施
57	知られざる監督シリーズ第11弾: 渋谷実監督特集	フランス	パリ日本文化会館	2011.04.27 ~ 2011.05.05	本部フィルムライブラリー所蔵作品『本日休診』『悪女の季節』『酔っぱらい天国』等計7作品を各3回ずつ上映
58	現代日本映画特集: 関西からの声	フランス	パリ日本文化会館	2011.09.24 ~ 2011.10.11	『沙良双樹』『川の底からこんにちは』『ジャーマン+雨』等、関西が生み出した映画や監督の計34作品を各2~3回ずつ上映
59	日本映画黄金時代の職人監督たちシリーズ1: 三隅研次と加藤泰	フランス	パリ日本文化会館	2012.01.17 ~ 2012.02.18	本部フィルムライブラリー所蔵の三隅研次及び加藤泰監督の『四谷怪談』『座頭市物語』等計22作品を各2回ずつ上映
60	『人間の条件』全3作品(第1部~第6部)一挙上映	フランス	パリ日本文化会館	2012.03.01 ~ 2012.03.24	本部フィルムライブラリー所蔵『人間の条件(第1部~第6部)』全3作品を各3回ずつ上映
61	日本の元気発信事業関連上映会	フランス	パリ日本文化会館	2012.03.13 ~ 2012.03.31	平成23年度「日本の元気発信事業」の一環として『ガレキの中からの再出航』『大津波のあとに』『槌音』『ツレがうつになりまして。』等計5作品を各1~2回ずつ上映 【東日本大震災復興支援事業】
62	山本薩夫監督特集	ポルトガル	在ポルトガル大使館	2011.12.02 ~ 2011.12.19	本部フィルムライブラリー所蔵の山本薩夫監督作品『忍びの者』『暴力の街』『白い巨塔』『牡丹燈籠』『金環蝕』等計8作品を各1~2回ずつ上映
63	外交関係樹立20周年記念 日本映画祭	ウズベキスタン	在ウズベキスタン大使館	2012.03.13 ~ 2012.03.17	『ロック わんこの島』『ホテル・ハイビスカス』『どら平太』等計5作品を各1~2回ずつ上映
64	東欧巡回映画祭	スロベニア	在スロベニア大使館	2011.06.01 ~ 2011.06.04	本部フィルムライブラリー所蔵『嵐を呼ぶ男』『秋津温泉』『赤いハンカチ』『檜山節考』『その男、凶暴につき』『3-4X10月』『みんな~やってるか!』等計11作品を各1回ずつ上映
65	東欧巡回映画祭	ブルガリア	在ブルガリア大使館	2011.10.31 ~ 2011.11.02 2011.11.04 ~ 2011.11.10	本部フィルムライブラリー所蔵『嵐を呼ぶ男』『秋津温泉』『赤いハンカチ』『檜山節考』『その男、凶暴につき』『3-4X10月』『みんな~やってるか!』を各地で各1回ずつ上映
66	東欧巡回映画祭	ポーランド	在ポーランド大使館	2011.11.25 ~ 2011.12.06	本部フィルムライブラリー所蔵『嵐を呼ぶ男』『秋津温泉』『赤いハンカチ』『檜山節考』『その男、凶暴につき』『3-4X10月』『みんな~やってるか!』を各1回ずつ上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
67	東欧巡回映画祭	ラトビア	在ラトビア大使館	2011.05.06 ~ 2011.05.09	本部フィルムライブラリー所蔵『嵐を呼ぶ男』『秋津温泉』『赤いハンカチ』『檜山節考』『その男、凶暴につき』『3-4X10月』『みんな～やってるか!』等計7作品を各1回ずつ上映
68	東欧巡回映画祭	リトアニア	在リトアニア大使館	2012.02.03 ~ 2012.02.09	本部フィルムライブラリー所蔵『嵐を呼ぶ男』『秋津温泉』『赤いハンカチ』『檜山節考』『その男、凶暴につき』『3-4X10月』『みんな～やってるか!』を各1回ずつ上映
69	東欧巡回映画祭	ルーマニア	在ルーマニア大使館	2011.06.24 ~ 2011.06.30	本部フィルムライブラリー所蔵『嵐を呼ぶ男』『秋津温泉』『赤いハンカチ』『檜山節考』『その男、凶暴につき』『3-4X10月』『みんな～やってるか!』を各1回ずつ上映
70	東欧巡回映画祭	ロシア	在サンクトペテルブルク総領事館 在ロシア大使館	2011.07.26 ~ 2011.08.01 2011.08.25 ~ 2011.08.31	本部フィルムライブラリー所蔵『嵐を呼ぶ男』『秋津温泉』『赤いハンカチ』『檜山節考』『その男、凶暴につき』『3-4X10月』『みんな～やってるか!』を各地で1回ずつ上映
71	第13回日本映画レトロスペクティブ(新藤兼人監督特集)	ロシア	モスクワ日本文化センター 在サンクトペテルブルク総領事館	2011.09.27 ~ 2011.10.09 2011.12.08 ~ 2011.12.18	本部フィルムライブラリー所蔵の新藤兼人監督作品『母』『鬼婆』『裸の十九才』『竹山ひとり旅』『さくら隊散る』等計16作品を各1回ずつ上映
72	第45回日本映画祭	ロシア	在サンクトペテルブルク総領事館	2011.11.10 ~ 2011.11.15 2011.11.18 ~ 2011.11.24	本部フィルムライブラリー及びロシア語フィルムライブラリー所蔵作品『真夏の夜の夢』『それでもボクはやってない』等計9作品を各1~2回ずつ上映
73	大島渚監督特集	ロシア	国立中央映画博物館(ムゼイ・キノ)	2012.03.27 ~ 2012.04.01	本部フィルムライブラリー所蔵の大島渚監督作品『愛と希望の町』『太陽の墓場』『帰ってきたヨッパライ』等計7作品を各1回ずつ上映
74	日本アニメ祭	クウェート	在クウェート大使館	2011.11.20 ~ 2011.11.22	本部及び中近東フィルムライブラリー所蔵作品『時をかける少女』『カムイの剣』『雲の向こう約束の場所』等計6作品を各1回ずつ上映
75	第8回イスタンブール日本映画祭	トルコ	在イスタンブール総領事館	2012.01.26 ~ 2012.01.29	本部フィルムライブラリー所蔵等の『ハッピーフライト』『のんちゃんのり弁』『僕らのワンダフルデイズ』等計9作品を各1~2回ずつ上映
76	第9回アンカラ日本映画祭及び地方都市巡回映画祭	トルコ	在トルコ大使館	2012.02.01 ~ 2012.02.04	本部フィルムライブラリー所蔵等の『ハッピーフライト』『のんちゃんのり弁』『僕らのワンダフルデイズ』等計9作品を各1回ずつ上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
77	日本名作映画祭	アルジェリア	在アルジェリア大使館	2012. 02. 01 ~ 2012. 03. 15	本部フィルムライブラリー所蔵16mm作品『東京物語』『雨月物語』『西鶴一代女』『無法松の一生』等をアルジェ、オラン等各地で上映
78	映画でみる日本の戦後復興	エジプト	カイロ日本文化センター	2011. 12. 11 ~ 2011. 12. 15	本部フィルムライブラリー所蔵作品『ALWAYS 三丁目の夕日』『明日への遺言』『キューボラのある街』等計6作品を各1~2回ずつ上映
79	カンパラ日本映画祭	ウガンダ	在ウガンダ大使館	2012. 01. 13 ~ 2012. 01. 15	本部フィルムライブラリー所蔵『ALWAYS三丁目の夕日』『河童のクゥと夏休み』『火天の城』計4作品を各1~2回ずつ上映
80	第6回エチオピア国際映画祭 日本映画部門	エチオピア	在エチオピア大使館	2011. 11. 09 ~ 2011. 11. 10	本部フィルムライブラリー所蔵35mm作品『ALWAYS三丁目の夕日』『スウィングガールズ』の計2作品を各1回ずつ上映
81	日本映画祭	ザンビア	在ザンビア大使館	2011. 11. 15 ~ 2011. 11. 17	本部フィルムライブラリー所蔵35mm作品『火天の城』『河童のクゥと夏休み』等計3作品を各1回ずつ上映
82	女性のための国際イメージ映画祭における日本映画上映会	ジンバブエ	在ジンバブエ大使館	2011. 11. 18 ~ 2011. 11. 26	本部フィルムライブラリー所蔵の『ナヴィの恋』『きみの友だち』『サイドカーに犬』等計4作品を各2回ずつ上映
83	日本映画上映	ボツワナ	在ボツワナ大使館	2011. 09. 15 ~ 2011. 09. 18	本部フィルムライブラリー所蔵『クライマーズ・ハイ』『河童のクゥと夏休み』『火天の城』計4作品を各1回ずつ上映
84	第18回日本映画祭	南アフリカ共和国	在南アフリカ共和国大使館	2011. 10. 07 ~ 2011. 10. 28	本部フィルムライブラリー所蔵作品『火天の城』『ハッピーフライト』『東京タワー』『河童のクゥと夏休み』等計5作品をヨハネスブルグ、ケープタウン等の各都市で3~4回ずつ上映

映像出版事業費

2. 催し等事業費 / (2) 日本映画上映(助成)

海外の国際映画祭、芸術祭、映画専門団体が企画・実施する日本映画上映事業を助成する。

合計額 46,570,065 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	第12回全州国際映画祭	韓国	全州国際映画祭組織委員会	2011.04.28 ~ 2011.05.06	日本映画を10作品程度上映。併せて、監督等映画関係者を多数招へい
2	第13回ソウル国際青少年映画祭	韓国	ソウル国際青少年映画祭組織委員会	2011.07.07 ~ 2011.07.13	日本の監督・俳優の成長を迫るセクションや新作青春映画上映のセクションで、日本映画を多数上映
3	ソウル国際漫画・アニメーションフェスティバル	韓国	ソウル国際漫画・アニメーションフェスティバル組織委員会	2011.07.20 ~ 2011.07.24	韓国最大のアニメーションフェスティバル。今回は川本喜八郎、今敏、両監督の回顧展を開催
4	日韓独立アニメーター列伝	韓国	ソウル国際青少年映画祭組織委員会	2011.10.15 ~ 2011.10.16	日本と韓国のアニメーションだけに対象を絞った映画祭。ゲストの招へいや、シンポジウムも開催
5	第13回富川国際学生アニメーションフェスティバル	韓国	(社)富川国際学生アニメーションフェスティバル組織委員会	2011.11.04 ~ 2011.11.08	「宇宙戦艦ヤマト」シリーズや今敏監督作品等の日本アニメ映画を多数上映
6	第35回香港国際映画祭	中国	香港国際映画祭協会	2011.03.20 ~ 2011.04.05	渋谷実のレトロスペクティブを開催し、同監督の作品を8作品程度上映
7	香港独立電影節 2011 小川伸介特集	中国	影意志社	2011.11.07 ~ 2012.01.16	日本を代表するドキュメンタリー映画監督、小川伸介の特集を開催
8	Zipangu Fest 2011	英国	ジパング	2011.11.18 ~ 2011.11.24	日本映画に特化した映画祭。実写、アニメ、ドキュメンタリー、自主映画など多岐に渡るジャンルの最新作や秀作を10~12作品上映
9	メルボルン国際映画祭	オーストラリア	メルボルン国際映画祭事務局	2011.07.21 ~ 2011.08.07	2011年は、60周年事業として、盛大に開催。日本の巨匠監督の回顧上映や『十三人の刺客』『ノルウェイの森』等を上映
10	ブリスベン国際映画祭	オーストラリア	ブリスベン国際映画祭事務局	2011.11.03 ~ 2011.11.13	翌年に20周年を迎える本年は、よりアジア映画に焦点を当てた映画祭として実施。日本映画を5作品、上映
11	J-CINEMA: THE JAPANESE CANADIAN CULTURE CENTER FILM PROGRAM	カナダ	トロント日系文化会館	2011.07.21 ~ 2011.07.24	最新の日本の映像作家達の作品をまとめて紹介。映画人を招へいし、イベント等も開催
12	モントリオール世界映画祭	カナダ	モントリオール世界映画祭事務局	2011.08.18 ~ 2011.08.28	『わが母の記』（原田真人監督）等、15作品以上の日本映画を上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
13	トロント国際映画祭	カナダ	トロント国際映画祭事務局	2011.09.08 ~ 2011.09.18	10作品以上の日本映画を上映。併せて、日本から映画関係者数十名を招へい
14	回顧「1960年代以降の日本映画」	カナダ	シネマテーク・ケベコワ	2011.09.07 ~ 2011.10.09	ATG（日本アート・シアター・ギルド）特集及び、是枝裕和監督全作品特集、インディペンデントシネマ特集を開催
15	第40回モントリオール・ヌーボーシネマ・フェスティバル	カナダ	ヌーボーシネマ・フェスティバル	2011.10.12 ~ 2011.10.23	『夜が終わる場所』（宮崎大祐監督）等、5作品以上の日本映画を上映
16	トロント・リアル・アジア国際映画祭	カナダ	トロント・リアル・アジア国際映画祭	2011.11.08 ~ 2011.11.19	世界で活躍するアジア系の映画制作者及び芸術家に作品を紹介する映画祭。『Grandpa's Wet Dream』（チヒロ・アメミヤ監督）等を上映
17	ビジュアル・アンダーグラウンド-『蠍座』と60年代の日本実験映画	カナダ	マギル大学	2011.09.16 ~ 2012.09.18	1960年代から1970年代初めの「アンダーグラウンド」で「実験的」な日本映画作品を上映。研究者を招いてのシンポジウムも開催
18	日本映画祭(ニューポートビーチ国際映画祭)	米国	ニューポートビーチ映画祭	2011.04.28 ~ 2011.05.05	日本文化紹介イベントの一環として、『時をかける少女』（谷口正晃監督）等、多様なジャンルの日本映画を上映
19	ロサンゼルスアジアンパセフィック映画祭	米国	ビジュアル・コミュニケーションズ	2011.04.28 ~ 2011.05.07	「日本映画トゥデイ」という企画で、『ノルウェイの森』『トイレット』他を上映
20	JAPAN CUTS : Festival of Contemporary Japanese Cinema	米国	ニューヨーク日本協会	2011.07.07 ~ 2011.07.22	様々なジャンルの最新日本映画(『白夜行』『GANTZ』等)、20作品以上を上映。森谷賢太郎等、数名の監督を招へいし、ディスカッションやQ&Aセッションを実施
21	A Survey of Japanese Cinema	米国	オハイオ州立大学	2011.07.07 ~ 2011.08.20	黒澤明、新藤兼人、三池崇史等の作品を15作品以上上映
22	第47回シカゴ国際映画祭	米国	シネマ・シカゴシカゴ国際映画祭	2011.10.06 ~ 2011.10.20	『ネムリユスリカ』（坂口香津美監督）等の日本映画を上映
23	ハワイ国際映画祭	米国	ハワイ国際映画祭事務局	2011.10.13 ~ 2011.10.23	『TSUYAKO』（宮崎光代監督）等、日本映画10作品以上を上映
24	フォーカスオンジャパニーズフィルム	米国	デンバーフィルムソサエティ	2011.11.02 ~ 2011.11.13	『今度は愛妻家』『劔岳 点の記』『告白』『ゼロの焦点』『カラフル』などの日本映画を10作品以上上映
25	日本の潮流 2011	米国	ノースウェストフィルムセンター	2011.12.02 ~ 2011.12.18	札幌国際映画祭と協力関係にある映画祭であり、現代日本映画を多数上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
26	Film Series: Japanese Documentary Tradition	米国	アジア・ソサエティー	2012. 03. 10 ~ 2012. 03. 31	日本のドキュメンタリー映画というテーマで5作品の日本映画を上映
27	第13回ブエノスアイレス市独立プロ国際映画祭	アルゼンチン	ブエノスアイレス市独立プロ国際映画祭委員会	2011. 04. 06 ~ 2011. 04. 17	吉田喜重監督作品を上映。監督を招へいし、上映後のQ&Aセッション等を実施
28	第29回ウルグアイ国際映画フェスティバル	ウルグアイ	シネマテカ・ウルグアイ	2011. 04. 18 ~ 2011. 04. 30	『アウトレイジ』（北野武監督）等、日本映画2作品を上映
29	プンタ・デル・エステ国際映画祭	ウルグアイ	マルドナード県庁	2012. 03. 08 ~ 2012. 03. 18	『汚れた心』（ヴィンセンテ・アモリン監督／伊原剛主演）等の作品を上映
30	第9回国際子供映画祭	ブラジル	エリマール・アーチスト・プロダクション株式会社	2011. 08. 19 ~ 2011. 12. 04	子供を対象とした国際映画祭。宮崎駿監督特集を開催。その他、小津安二郎監督作品『お早よう』や現代日本アニメも多数上映
31	サンパウロ国際短編映画祭	ブラジル	キノ・フォーラム文化協会	2011. 08. 25 ~ 2011. 09. 02	ラテンアメリカ最大規模の国際短編映画祭。短編日本映画を10作品以上、上映
32	レイキャビック国際映画祭	アイスランド	レイキャビック国際映画祭実行委員会	2011. 09. 22 ~ 2012. 10. 02	日本をテーマにした映画上映、監督・製作関係者等の講演及びワークショップを実施。日本映画とアイスランド映画の比較を行うワークショップも開催
33	若松孝二監督特集	イタリア	伊日文化交流協会(ASCIC)	2011. 10. 11 ~ 2011. 11. 12	若松孝二監督作品、3作品を上映
34	Nihon Eiga. 日本映画史 1945 to 1968	イタリア	シネマ・ウィスアウト・ボーダーズ	2012. 03. 05 ~ 2012. 03. 12	6か月間にわたり戦後期の20作品程度を上映
35	Theatre Scorpion Retrospective: Japanese Independent and Underground Cinema of the 1960s and 1970s	英国	クローズアップ・フィルム・センター	2011. 07. 12 ~ 2011. 07. 29	1960年代から1970年代にかけて、新宿「蠍座」で上映されたアングラ・自主映画を上映。上映作品は『食べたひと』『無人列島』など10作品
36	Arts Theatre Guild Retrospective	英国	英国映画研究所	2011. 08. 01 ~ 2011. 08. 31	日本アート・シアター・ギルド(ATG)に属する16作品を、英国最大の上映機関BFIにて上映。上映作品は、『家族ゲーム』『儀式』『青春の殺人者』など
37	19th Raindance Film Festival	英国	レインダンス映画祭事務局	2011. 09. 28 ~ 2011. 10. 09	独立系映画作品に特化した映画祭。監督を招へいし、日本の独立系映画の普及促進を図る

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
38	Scotland Loves Anime - 2011 edition	英国	スコットランド・ラブズ・アニメーション実行委員会	2011. 10. 07 ~ 2011. 10. 17	スコットランドの主要都市の映画機関とタイアップして実施されるアニメーションフェスティバル。日本アニメ作品、10作品程度を上映
39	Cinemagic International Children's film Festival	英国	シネマジック	2011. 11. 16 ~ 2011. 12. 02	児童・青少年を対象とする映画祭。日本映画数作品を上映
40	'Who can say that we should not live like dogs?' A Shuji Terayama Film and Performance Retrospective	英国	テート・モダン	2012. 03. 16 ~ 2012. 03. 25	寺山修司の回顧展をテートモダンのシアターを使って実施。上映映画作品は、『トマトケチャップ皇帝』『書を捨てよ町へ出よう』等13作品
41	ヴィエンナーレ 2011	オーストリア	ヴィエンナーレ (ウィーン国際映画祭)	2011. 10. 20 ~ 2011. 11. 02	1960年に創設された伝統ある大型映画祭。日本映画を多数上映。日本からゲストを招へいしてのイベント等も開催
42	カメラ・ジャパン 2011	オランダ	タマゴ財団	2011. 09. 16 ~ 2011. 10. 30	オランダ唯一の日本映画祭。日本映画を30作品以上上映。また、日本文化に関するシンポジウム、ワークショップ等も実施
43	ロッテルダム国際映画祭	オランダ	ロッテルダム国際映画祭事務局	2012. 01. 25 ~ 2012. 02. 05	オランダ最大の国際映画祭。『ピュ〜ぴる』（松永大司監督）等、日本映画を15作品以上、上映
44	アニメボリューション-アニメからガニメまで	スウェーデン	ストックホルム市立劇場	2011. 09. 22 ~ 2011. 10. 31	クラシックアニメ(手塚治虫作品等)から、『サマーウォーズ』などの最新作まで、日本のアニメ作品を幅広く上映
45	ヨンショピン映画祭	スウェーデン	ヨンショピン市文化部	2011. 10. 12 ~ 2012. 10. 16	10作品程度の日本映画を上映。併せて、コスプレショー、漫画ワークショップ、日本食などの関連行事を実施
46	ジャパン・カルト・シネマ	スペイン	カサ・アジア	2011. 10. 15 ~ 2011. 12. 10	「マンガ映画」をテーマに開催。『ALWAYS三丁目の夕日』『のだめカンタービレ』などの漫画原作の日本映画を7作品上映
47	ATG製作のインディペンデント映画	デンマーク	デンマーク・フィルム・インスティテュート	2012. 03. 07 ~ 2012. 04. 17	日本アート・シアター・ギルド (ATG) に属する作品15本を上映。上映作品は、『とべない沈黙』『人間蒸発』『肉弾』など
48	Nippon Connection	ドイツ	日本・コネクションe.V	2011. 04. 27 ~ 2011. 05. 01	『スイートリトルライズ』（矢崎仁司監督）等、100作品以上の新作日本映画を上映
49	Japan Filmfest Hamburg	ドイツ	日本メディア協会	2011. 05. 25 ~ 2011. 05. 29	日本映画の最新作(『GANTZ PERFECT ANSWER』佐藤信介監督、『スマグラマー おまへの未来を運べ』石井克人監督、等)を中心に30作品以上を上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
50	Asian Hotshots Berlin-Festival For Film and Video Arts	ドイツ	Green Chilies	2011.09.09 ~ 2011.09.11	アジア太平洋週間の一環として、日本の長編映画及び短編映画等を上映
51	第42回ベルリン国際映画祭「ヤングフォーラム部門」	ドイツ	アルセナーレ映画ビデオ研究所	2012.02.09 ~ 2012.02.19	ベルリン国際映画祭の「ヤングフォーラム部門」にて、新作日本映画(『恋に至る病』木村承子監督、等)を8作品上映
52	ATG製作のインディペンデント映画	ノルウェー	ノルウェー・フィルム・インスティテュート	2012.02.01 ~ 2012.02.28	日本アート・シアター・ギルド(ATG)に属する15作品を上映。上映作品は、『とべない沈黙』『人間蒸発』『肉弾』など
53	AAVE: オルタナティブ・オーディオ・ヴィジュアル・イベント	フィンランド	カイク国際文化会	2011.04.14 ~ 2012.02.02	OISHII! JAPANESE DELICACIES. Films from the land of the rising sunのカテゴリーにて、日本映画を8作品以上上映
54	神代辰巳特集	フランス	パリシネマ映画祭	2011.07.02 ~ 2011.07.13	日活創業100周年記念事業として、「神代辰巳監督特集」他、日活ロマンポルノの名作を歴史に残した田中登監督、小沼勝監督作品を上映
55	ラ・ロシュ・シュール・ヨン国際映画祭	フランス	ラ・ロシュ・シュール・ヨン国際映画祭	2011.10.13 ~ 2011.10.18	青山真治特集を開催。2011年ロカルノ国際映画祭でも受賞した最新作『東京公園』などを上映
56	神代辰巳他：日活特集	フランス	LE CINEMATOGAPHE	2011.11.02 ~ 2011.11.06	神代辰巳監督作品を中心に日活ロマンポルノ10作品以上を上映
57	第6回KINOTAYO映画祭	フランス	金の太陽映画祭事務局	2011.11.08 ~ 2011.11.29	フランスにおける唯一の日本映画祭。『大鹿村騒動記』（阪本順治監督）等、15作品以上を上映
58	日活の歴史	フランス	ナント三大陸映画祭	2011.11.22 ~ 2011.11.29	シネマテーク・フランセーズとの共催事業として「日活創業100周年記念特別企画」を実施
59	「日活の歴史」+「曾根中生監督特集」	フランス	シネマテーク・フランセーズ	2011.12.07 ~ 2012.01.20	日活創業100周年記念事業として、「日活の歴史特集」と日活ロマンポルノの映画監督「曾根中生監督特集」を実施
60	ブラッセル国際ファンタスティック映画祭	ベルギー	ペイメイ・ディフジオン	2011.04.07 ~ 2011.04.19	『電人ザボーガー』（井口昇監督）等10作品以上の日本映画を上映
61	【H22繰越】回顧 - 日本アニメ映画	ポルトガル	トリアクシス	2011.03.21 ~ 2011.04.01	日本アニメ作品の上映を多数実施
62	MOTELX-リスボン国際ホラーフェスティバル	ポルトガル	リスボン・ホラー・シネクラブ	2011.09.07 ~ 2011.09.11	国際ホラー映画祭。園子温のレトロスペクティブを開催し、『自殺サークル』『エクステ』『冷たい熱帯魚』等の作品を上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
63	日本アニメ回顧2012	ポルトガル	トリアクシス	2012. 03. 19 ~ 2012. 03. 27	日本のアニメ映画（大友克洋監督作品等）を多数上映
64	第5回日本アニメ映画祭	エストニア	オタク	2011. 04. 15 ~ 2011. 04. 24	オープニングフィルムとして、『チェブラーシカ』を上映した他、今敏監督作品も多数上映
65	第15回タリン・ブラックナイツ映画祭	エストニア	ブラック・ナイツ映画祭	2011. 11. 15 ~ 2011. 11. 30	日本映画特集プログラムが生まれ、多数の日本映画を上映
66	最新日本映画上映（ザグレブ映画祭）	クロアチア	リベルタス	2011. 07. 02 ~ 2011. 07. 09	北野武監督等、著名な日本人監督のレトロスペクティブを実施
67	アニフェスト2011（日本映画部門）	チェコ	アニフェスト	2011. 04. 26 ~ 2011. 05. 01	中東で最も大規模なアニメフェスティバル。2011年は大友克洋などの著名なアニメ制作者を招へいし、日本アニメ部門の充実を目指す
68	Artist's portrait. Japanese's Artsits.	リトアニア	リトアニア国立美術館	2012. 03. 08 ~ 2012. 03. 23	『NARA:奈良美智との旅の記録』『はじまりの記憶 杉本博司』等、近年の日本の芸術家を集めた映画を数作品上映
69	第6回国際アニメ映画祭	ルーマニア	エステネスト協会	2011. 10. 07 ~ 2011. 11. 06	川本喜八郎監督と今敏監督の回顧上映を開催
70	第30回国際イスタンブール映画祭	トルコ	イスタンブール文化芸術基金(IKSV)	2011. 04. 02 ~ 2011. 04. 17	『借りぐらしのアリエッティ』『ノルウェイの森』『十三人の刺客』『告白』『橋山節考』『玄牝-げんぴん-』を上映
71	Durban International Film Festival	南アフリカ共和国	クワズルナタール大学	2011. 07. 21 ~ 2011. 07. 31	『サマーウォーズ』『カムイ伝』『ランニング・オン・エンプティ』『ロストパラダイス・イン・トーキョー』『空気人形』等を上映

映像出版事業費

2. 催し等事業費 / (3) アニメ文化大使

アニメ文化大使の外国語字幕版DVDを作成し、在外公館及び国際交流金海外拠点で上映会を実施する。

合計額 370,000 円

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	ドラえもんDVD上映	インド ソロモン カナダ ボリビア コートジボワール コンゴ民主共和国	外務省 小学館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	アニメ文化大使であるドラえもんの映画『ドラえもん のび太の恐竜2006』をDVD上映

映像出版事業費

2. 催し等事業費 / (4) 映像出版情報交流(催し)

国内外で開催される映像・出版等をテーマとするシンポジウム・セミナー等を開催する。

合計額 47,126,699 円

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	ドキュメンタリー 「LIGHT UP NIPPON」	韓国 日本 タイ フィリピン マレーシア インド カナダ 米国 メキシコ ブラジル スペイン ハンガリー イスラエル エジプト	LIGHT UP NIPPON 実行委員会	2011.07.01 ~ 2012.03.31	2011年8月11日に東北の被災地で鎮魂と復興の祈りをこめた花火を打ち上げることを目指し、東京の若者がボランティア/プロボノで立ち上げたプロジェクト「LIGHT UP NIPPON」の過程をドキュメンタリー映像で記録したものを英語化・海外放送する。併せて、9カ国語版のDVDを作成し、東日本大震災から1周年を迎える2012年3月を中心に国際交流基金海外拠点や日本語/日本研究機関等14カ国16都市で上映。更に、上映会の開催に合わせてプロジェクトの代表者等をインド、韓国、メキシコへ派遣、追悼の花火の打ち上げ、シンポジウム・講演会等の関連イベントを開催することにより日本の復興の様子、現代日本の若者の一面を紹介し、各地のNPO、大学、社会起業家等と交流
2	『Japanese Book News』 サロン	全世界区分困難		2011.07.01 ~ 2012.04.30	『Japanese Book News』の発行時期に合わせ、これまで同誌で紹介した作家・著者自身による自著の紹介を実施。併せて、懇親会(文学カフェ形式)を開催することで、読者が直接に作家・著者と触れあい、作品に対する理解を深められる機会とし、将来的な翻訳のきっかけ作りの場を提供
3	日本映画データ ベース(JFDB)	全世界区分困難	ユニジャパン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本映画データベースを通じ、日本映画の梗概や素材入手先等の情報を在外公館や海外拠点の担当者に提供

映像出版事業費

2. 催し等事業費 / (5) 市民青少年映像・文芸交流助成

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 1,625,395 円

	事業名	対象国	都市	場所名	関連機関名称	期間	事業内容
1	日韓学生映画共同製作/相互理解促進事業	韓国	ソウル	国立韓国芸術総合学校映像院	日本映画大学	2011.09.05 ~ 2011.09.09	日本と韓国の学生による映画共同製作の準備段階として、両国の相互理解を促進するためにレクチャーやワークショップを行いながら、ショートフィルム共同製作の実行について作業を進める。2011年9月に日本映画大学の佐藤忠男学長、同大学の学生5名及び、日本映画学校の学生5名が渡韓し、国立韓国芸術総合学校の講師・学生等と交流
2	日中タイ映画道場	中国 タイ	大理	大理市内ワークショップ会場	ドキュメンタリー・ドリームセンサー	2011.04.02 ~ 2011.04.07	日本・中国・タイの映像制作者・上映者によるドキュメンタリー映画をめぐる交流ワークショップが中国雲南省大理で開催されるにあたり、日本ドキュメンタリーの若手制作者とベテラン制作者・批評家を派遣。若手制作者同士の国際交流とドキュメンタリー制作者・評論家の異世代交流と対話の機会とする

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 / (1) テレビ番組交流促進

日本のテレビ番組の海外における放映を促進するため、素材の作成費、放映権料を負担した上で、海外放送局に番組を提供する。

合計額 117,600,613 円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	スペイン語版アニメ共同制作	日本	日本アニメーション株式会社	2012.02.01 ~ 2012.03.31	日本のサッカーアニメである『ハングリーハート』について、中南米地域向けスペイン語版を日本アニメーション株式会社と共同制作
2	モンゴル民営NTV	モンゴル	モンゴル民営NTV	2011.12.01 ~ 2014.11.30	モンゴルTV放映向け番組提供。『日本人のライフスタイル』『日本の起業家』等を提供
3	モンゴル国営放送MNB	モンゴル	モンゴル国営放送	2011.12.01 ~ 2014.11.30	モンゴルTV放映向け番組提供。『ジイジ ~孫といた夏~』『楽園のつくりかた』等を提供
4	ブルネイ国営RTB	ブルネイ	ブルネイ国営RTB	2012.01.01 ~ 2014.12.31	ブルネイTV放映向け番組提供。『プロジェクトX 挑戦者たち』等を提供
5	スリランカ国営SLRC	スリランカ	国営SLRC	2012.01.01 ~ 2014.12.31	スリランカTV放映向け番組提供。『腕に覚えあり1』『腕に覚えあり2』『腕に覚えあり3』を提供
6	スリランカ国営SLRC	スリランカ	国営SLRC	2012.05.01 ~ 2015.04.30	スリランカTV放映向け番組提供。スリランカ国営SLRC局に対し、連続テレビドラマ『おしん』を提供(H24年度要望分)
7	パプアニューギニア国営NBC	パプアニューギニア	国営NBC	2011.09.01 ~ 2014.08.31	パプアニューギニアTV放映向け番組提供。『シルクロードI:全12話』『天皇皇后両陛下 素顔の50年』等を提供
8	フィジー民営Mai TV	フィジー	民営Mai TV	2011.07.01 ~ 2014.06.30	フィジーTV放映向け番組提供。『からだのちから:5話分』『台所でおもしろ実験:全10話』等を提供
9	エルサルバドル国営Canal 10	エルサルバドル	国営Canal 10, TV Educativa	2011.09.01 ~ 2014.08.31	エルサルバドルTV放映向け番組提供。国営Canal 10へ『スーパーカメラ~アインシュタインの眼より~:全10話』等を提供
10	コスタリカ民営SPE LTDA(Extra TV 42)	コスタリカ	民営SPE LTDA(Extra TV 42)	2011.09.01 ~ 2014.08.31	コスタリカTV放映向け番組提供。『すずらん』を提供
11	トリニダード・トバゴ民営CNMG	トリニダード・トバゴ共和国	民営CNMG(C television)	2011.11.01 ~ 2014.10.31	トリニダード・トバゴTV放映向け番組提供。『おしん:第37~72話』『Never Give Up ~あきらめないで~』等を提供
12	エクアドル国営GAMA TV	エクアドル	国営GAMA TV	2011.09.01 ~ 2014.08.31	エクアドルTV放映向け番組提供。『蝉しぐれ:全7話』を提供
13	ブラジル州営TV Cultura	ブラジル	州営TV Cultura	2011.07.01 ~ 2014.06.30	ブラジルTV放映向け番組提供。『ピタゴラスウィッチIV:全11話』『マテマティカ:全20話』等を提供
14	ボリビア民営CVC57	ボリビア	民営CVC57	2011.09.01 ~ 2014.08.31	ボリビアTV放映向け番組提供。『ゼロの焦点』『家族旅行』等を提供
15	ウズベキスタン国営Sport	ウズベキスタン	国営Sport	2012.01.15 ~ 2015.01.14	ウズベキスタンTV放映向け番組提供。『からだのちから:5話分』『熱中時間:全5話』等を提供

映像出版事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
16	ウズベキスタン国営Yoshlar	ウズベキスタン	国営Yoshlar	2012.01.15 ~ 2015.01.14	ウズベキスタンTV放映向け番組提供。『なんなんなあに：全20話』『サイエンスゴーゴー：全10話』等を提供
17	スロバキア国営RTVS	スロバキア	国営RTVS	2011.09.01 ~ 2014.08.31	スロバキアTV放映向け番組提供。『日本人カメラマン 野生に挑む：全2話』等を提供
18	ボスニア・ヘルツェゴビナ国営BHRT	ボスニア・ヘルツェゴビナ	国営BHRT	2012.01.01 ~ 2014.12.31	ボスニア・ヘルツェゴビナTV放映向け番組提供。『ふしぎいっぱい：全16話』『マテマティカ：全13話』等を提供
19	リトアニア民営Info TV	リトアニア	民営Info TV	2011.07.01 ~ 2014.06.30	リトアニアTV放映向け番組提供。『和のくらし：全5話』『ベーシック・ジャパン：全20話』等を提供
20	リトアニア国営LRT	リトアニア	国営LRT	2011.07.01 ~ 2014.06.30	リトアニアTV放映向け番組提供。『日本の世界文化遺産：全5話』『日本の先端科学：全6話』等を提供
21	ウラジオストク民営LLC MDN-Media	ロシア	民営LLC MDN-Media	2011.07.01 ~ 2014.06.30	ロシア/ウラジオストクTV放映向け番組提供。『小さな世界企業：全5話』『知識創造企業：全4話』等を提供
22	ユジノサハリンスク民営STS-Sakhalin	ロシア	民営STS-Sakhalin	2011.11.01 ~ 2014.09.30	ロシア/ユジノサハリンスクTV放映向け番組提供。『和のくらし：全5話』『日本の伝統スポーツ：全6話』等を提供
23	ジャナドリヤ祭	サウジアラビア	サウジアラビア国家警備隊	2011.04.01 ~ 2011.04.30	サウジアラビアの国民的文化行事である「伝統と文化の祭典(ジャナドリヤ祭)」の日本館パビリオンにて、NHKインターナショナルの制作した映像である『日本伝統スポーツ・文化遺産・子供の年中行事』、『日本の伝統文化』について、宗教上の制約を考慮し必要な編集を施した上、上映
24	エチオピア国営ERTA	エチオピア	国営ERTA	2011.10.01 ~ 2014.09.30	エチオピアTV放映向け番組提供。『日本の省エネと環境保護技術』『腕におぼえあり2：全13話』等を提供
25	エチオピア州営OTV	エチオピア	州営OTV	2011.10.01 ~ 2014.09.30	エチオピアTV放映向け番組提供。『アジ・サバー本釣りの海』『オトナの試験：とび技能士』等を提供
26	コートジボワール国営RTI	コートジボワール	国営RTI	2012.01.01 ~ 2014.12.31	コートジボワールTV放映向け番組提供。『おしん：第1~96話』を提供
27	タンザニア民営ITV	タンザニア	民営ITV	2012.02.15 ~ 2015.02.14	タンザニアTV放映向け番組提供。『腕におぼえあり1』『腕におぼえあり2』『腕におぼえあり3』を提供
28	マダガスカル国営TVM	マダガスカル	国営TVM	2011.12.15 ~ 2014.12.14	マダガスカルTV放映向け番組提供。『おこめ：全16話』『ふしぎワールド：全20話』等を提供
29	第38回日本賞	米国	KCETロサンゼルス(KCET)	2011.06.01 ~ 2012.03.31	NHKが主催する「日本賞」において、国家・民族間の相互理解を促し、または文化の交流に貢献する優れた作品に国際交流基金理事長賞を授与。平成23年度は、米国のKCETロサンゼルスが制作したウェブサイトのDepartures(ロサンゼルス近郊の多様な文化史を学ぶためのウェブサイト)が受賞

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 / (2) フィルムライブラリー運営(本部)

在外公館や国際交流基金海外事務所が主催する日本映画上映会にて使用するため、非商業ベースの上映権を得た劇映画等を配布する。

合計額 146,242,895 円

	事業名	監督名	制作年	事業内容
1	『岳』購入	片山 修	2011	『岳』英語字幕35ミリプリントの購入
2	『大鹿村騒動記』購入	阪本 順治	2011	『大鹿村騒動記』英語字幕35ミリプリントの購入
3	『小川の辺』購入	篠原 哲雄	2011	『小川の辺』英語字幕35ミリプリントの購入
4	『最後の忠臣蔵』購入	杉田 成道	2010	『最後の忠臣蔵』英語字幕35ミリプリントの購入
5	『峠を渡る若い風』購入	鈴木 清順	1961	『峠を渡る若い風』英語字幕DVDの購入
6	『暗黒街の美女』購入	鈴木 清順	1958	『暗黒街の美女』英語字幕35ミリプリントの購入
7	中平 康・鈴木 清順監督作品一括購入	鈴木 清順/中平 康		中平康監督作品『月曜日のユカ』等23作品、鈴木清順監督作品『野獣の青春』等25作品の英語字幕35mmプリント及び英語字幕DVDを購入
8	『星守る犬』購入	瀬本 智之	2011	『星守る犬』英語字幕35ミリプリントの購入
9	『あしたのジョー(実写版)』購入	曾利 文彦	2011	『あしたのジョー(実写版)』英語字幕35ミリプリントの購入
10	『ACACIA』購入	辻 仁成	2010	『ACACIA』英語字幕35ミリプリントの購入
11	『ハナミズキ』購入	土井 裕泰	2010	『ハナミズキ』英語字幕35ミリプリントの購入
12	『八日目の蝉』購入	成島 出	2011	『八日目の蝉』英語字幕35ミリプリントの購入
13	『クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶモーレツ!オトナ帝国の逆襲』購入	原 恵一	2001	『クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶモーレツ!オトナ帝国の逆襲』英語字幕DVDの購入
14	『必死剣 鳥刺し』購入	平山 秀幸	2010	『必死剣 鳥刺し』英語字幕35ミリプリントの購入
15	『神様のカルテ』購入	深川 栄洋	2011	『神様のカルテ』英語字幕35ミリプリントの購入

映像出版事業費

	事業名	監督名	制作年	事業内容
16	『忍たま乱太郎』 購入	三池 崇史	2011	『忍たま乱太郎』 英語字幕35ミリプリントの購入
17	『武士の家計簿』 購入	森田 芳光	2010	『武士の家計簿』 英語字幕35ミリプリントの購入
18	『今度は愛妻家』 購入	行定 勲	2010	『今度は愛妻家』 英語字幕35ミリプリントの購入
19	『パレード』 購入	行定 勲	2010	『パレード』 英語字幕35ミリプリントの購入
20	『パーマネント野 ばら』 購入	吉田 大八	2010	『パーマネント野ばら』 英語字幕35ミリプリントの購入

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 / (3) フィルムライブラリー運営(海外)

在外公館や国際交流基金海外拠点が主催する日本映画上映会で使用するため、海外のフィルムライブラリーに、非商業ベースの上映権を得た劇映画等を配布する。

合計額 127,129,430 円

	事業名	対象国	言語	事業内容
1	JFソウルフィルムライブラリー	韓国	韓国語	字幕版素材購送
2	中国フィルムライブラリー	中国	中国語	字幕版素材購送
3	JFジャカルタフィルムライブラリー	インドネシア	インドネシア語	字幕版素材購送
4	東アジアフィルムライブラリー	タイ	英語	字幕版素材購送
5	JFバンコクフィルムライブラリー	タイ	タイ語	字幕版素材購送
6	西アジアフィルムライブラリー	インド	英語	字幕版素材購送
7	大洋州フィルムライブラリー	オーストラリア	英語	字幕版素材購送
8	中南米フィルムライブラリー	アルゼンチン	スペイン語	字幕版素材購送
9	ブラジルフィルムライブラリー	ブラジル	ポルトガル語	字幕版素材購送
10	JFローマフィルムライブラリー	イタリア	イタリア語	字幕版素材購送
11	欧州フィルムライブラリー	英国	英語	字幕版素材購送
12	JFケルンフィルムライブラリー	ドイツ	ドイツ語	字幕版素材購送
13	仏語フィルムライブラリー	フランス	フランス語	字幕版素材購送
14	露語フィルムライブラリー	ロシア	ロシア語	字幕版素材購送
15	中近東フィルムライブラリー	エジプト	アラビア語	字幕版素材購送
16	アフリカフィルムライブラリー	ケニア	英語	字幕版素材購送

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 / (4) 国際図書展参加

日本の出版文化の紹介と対日理解促進のため、海外で開催される国際図書展に参加する。

合計額 16,024,025 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	第17回ソウル国際ブックフェア	韓国	ソウル	COEX韓国総合展示場	2011.06.15 ~ 2011.06.19	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
2	第20回ニューデリー国際図書展	インド	ニューデリー	ナショナル・ブック・トラスト・インディア	2012.02.25 ~ 2012.03.04	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
3	第37回ブエノスアイレス国際図書展	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	アルゼンチン農業牧畜展示会場	2011.04.20 ~ 2011.05.09	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
4	第16回リマ国際図書展	ペルー	リマ	ペルー図書会議所	2011.07.20 ~ 2011.08.02	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
5	第63回フランクフルト国際図書展	ドイツ	フランクフルト・アム・マイン	フランクフルト見本市会場	2011.10.12 ~ 2011.10.16	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
6	第20回トゥルク国際ブック・フェア	フィンランド	トゥルク	トゥルク見本市会議センター	2011.09.30 ~ 2011.10.02	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
7	第56回ベオグラード国際図書展	セルビア	ベオグラード	ベオグラード・フェア	2011.10.24 ~ 2011.10.30	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
8	第13回国際知的図書展 <i>non/fiction</i>	ロシア	モスクワ	モスクワ中央芸術家会館	2011.11.30 ~ 2011.12.04	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
9	第22回アブダビ国際ブックフェア	アラブ首長国連邦	アブダビ	アブダビ国立展示場	2012.03.20 ~ 2012.03.25	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
10	第24回テヘラン国際図書展	イラン	テヘラン	テヘラン常設見本市会場	2011.05.03 ~ 2011.05.14	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
11	第17回マスカット・インターナショナル・ブックフェア	オマーン	マスカット	オマーン・エキシビジョン・センター	2012.02.28 ~ 2012.03.09	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
12	第22回ドーハ国際図書展	カタール	ドーハ	カタール国際展示場	2011.12.12 ~ 2011.12.22	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
13	第36回クウェートブックフェア	クウェート	クウェート	International Fair (Mishref)	2011.10.19 ~ 2011.10.29	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示

映像出版事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
14	第30回リヤド国際ブックフェア	サウジアラビア	リヤド	リヤド国際展示場	2012.03.06 ~ 2012.03.16	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
15	Practical Guideの作成	全世界区分困難			2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外で日本関係図書の翻訳出版を行う場合に必要な知識をまとめたガイドブックの出版

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 / (5) 映像出版情報交流(文化資料)

日本の映像・出版関係情報の海外への発信及び海外における日本の映像・出版の紹介の現状調査・データベース化を行う。

合計額 8,617,423 円

	事業名	事業内容
1	Japanese Book News 第68号～第72号	海外での日本関係図書の出版促進のため、英文で日本の出版情報を伝えるニューズレターJapanese Book News 第68号～第72号の編集、発行、送付、HP用データ作成。各16ページ、年4回発行

映像出版事業費

4. 日本研究事業費 / (1) ドキュメンタリー制作助成

海外における日本理解を促進するため、内外の団体が制作する日本に関する映画及びテレビ番組等に対して、制作費の一部を助成する。

合計額 56,853,447 円

	作品名	対象国	助成対象機関代表者	助成対象機関	事業内容
1	<i>My Two Mommy</i>	韓国	Jeong-Suk Park	DOCUHEEMANG	韓国人の妻の母親を持ちながら、2005年から付き合いの始まった日本人のある女性を同じく母として慕う監督が、日韓両国の母親像をパーソナルなタッチで描くドキュメンタリー
2	<i>Hafu The lives and experiences of mixed-race Japanese people living in Japan</i>	日本	Lara Perez-Takagi Megumi Nishimura	ハフ・ジャパニーズ・プロジェクト	現代日本で増えゆく、ハーフの人々についてのドキュメンタリー。5人のハーフのそれぞれの生活を描く
3	<i>A mountain boy came to Japan</i>	ネパール	Dipesh Kharel	Media Help Line	ネパールの田舎から来日し、現在は網走のネパール料理店でナン焼き職人として働く少年の、日本における社会・文化生活を追うドキュメンタリー
4	<i>The Japanese Wife</i>	バングラデシュ	Tanvir Mokammel	バングラデシュ映画研究所	ベンガル人としてはじめて日本人の妻になったハリプラバ・タケダさんが、日本に渡って体験した日本での生活を、異文化相互理解の観点からドキュメンタリー化。日バ国交樹立40周年記念事業(2012年)
5	<i>Theater</i>	米国	想田和弘	Laboratory X, Inc.	平田オリザとその劇団「青年団」の世界を、ナレーションや音楽を排した「観察映画」のスタイルでつぶさに描く
6	<i>TWICE - Extraordinary Life of Tsutomu Yamaguchi</i>	米国	Ko Mori	イレブン・アーツ	広島と長崎で二重被爆した山口彊の人生を振り返る作品
7	<i>Art in the Twenty-First Century (season Six): Artist Profile: Tabaimo</i>	米国	Susan Sollins	Art21, Inc.	PBSドキュメンタリー「Art:21」で、日本の現代美術作家束芋を取り上げる
8	<i>Akira's Lover</i>	キューバ	Marian Gracia	Audiovisual Creation Group IMPULSO	日本とキューバの唯一の合作映画『キューバの恋人』(1969年、黒木和雄監督、津川雅彦主演)にまつわる史実や逸話、時代背景などをまとめたドキュメンタリー
9	<i>08:15 of 1945</i>	ブラジル	Roberto Fernández	O Movimento Falso Filmes	ブラジル在住の被爆者の証言を基に、核の危険さと平和運動の重要性を訴える作品。三部構成の第一部
10	<i>NINJA - The Rise & Fall of the Shadow Warrior</i>	英国	Sebastian Peiter	Urban Canyon Limited	漫画やアクション映画でしか知られていない忍者の実像を、歴史的な背景ならびに今日の分析などを通して詳しく紹介
11	<i>The Lady with the fox-fur muffler in Tsuruga</i>	スウェーデン	Susanne Concha Emmrich	Bilderall Emmrich Kommanditbolag	杉原千畝の功績を、証言をもとに綴ったドキュメンタリー作品

映像出版事業費

	作品名	対象国	助成対象機関代表者	助成対象機関	事業内容
12	<i>UNDER SNOW</i>	ドイツ	Ulrike Ottinger	Ulrike Ottinger Filmproduktion	魚沼市で雪国の生活を研究した作品。在ドイツ大使館の推薦、多和田葉子ほか協力。日独交流150周年記念事業
13	<i>From Kutzhof to Bando-where enemies became friends/A journey into the German-Japanese past</i>	ドイツ	Brigitte Krause	イースト・ウエスト・ビジョンズ	第一次世界大戦中の徳島県鳴門市の板東捕虜収容所のドイツ人捕虜をめぐるドキュメンタリー
14	<i>Never be cool. THE SHIBUSA SHIRAZU ORCHESTRA FROM TOKYO</i>	ドイツ	Joerg Altekruse	ゼイツフィルム・メディア	バンドのツアーに同行したドキュメンタリー
15	<i>Volcano Devils</i>	フランス	Frédéric FOUGEA	ボリアレス	1991年6月3日雲仙普賢岳でマスコミ・消防関係者ら41名とともに死亡した火山科学者クラフト夫妻を追悼するとともに、その日に起きた悲劇を描く。仏国営F2・NHK共同製作ドキュメンタリー映画
16	<i>Pet architecture in Tokyo</i>	フランス	Matthieu LAMOTTE	aaa productions	以前よりフランスで高く評価されている、日本人建築家の想像力と日本ならではのモダニティを紹介する作品
17	<i>KUNIHICO MORIGUCHI, KIMONO PAINTER</i>	フランス	Dominique Belloir	MIRAGE ILLIMITE	「伝統的な糸目、堰出し、蒔糊等の友禅技法を継承しながら、意匠面では色数を抑え、大胆かつ現代的なデザインで独自の作風を打ち立て、伝統的な友禅の世界に新たな可能性を開いた」と言われている重要無形文化財保持者(人間国宝)森口邦彦の魅力を分かりやすく幅広く紹介するドキュメンタリー映画
18	<i>JAPANDONED</i>	ベルギー	Bart Van Langendonck	サベージ・フィルム	現代日本社会における廃墟と侘寂についてのドキュメンタリー
19	<i>Vera Caslavská - Ups and Downs</i>	チェコ	Jan Ludvik	Evolution Films, s.r.o.	東京オリンピック女子体操女子金メダリスト、チャースラフスカは、長年にわたる日本とチェコの文化交流への貢献が認められ、2010年秋の外国人叙勲において旭日中綬章に叙された。同氏のドキュメンタリー作品

映像出版事業費

4. 日本研究事業費 / (2) 日本理解促進出版・翻訳(助成)

海外における日本研究及び日本理解を促進するため、人文社会学・芸術分野の優れた日本関連図書の外国語への翻訳出版、ならびに外国語で書き下ろされた優れた図書の出版に助成する。

合計額 37,465,135 円

	書名	対象国	編著者／翻訳者	助成対象機関	事業内容
1	平田オリザの現代口語演劇論	韓国	平田 オリザ／ 成 蒼雄	図書出版「演劇と人間」	平田オリザ著『平田オリザの現代口語演劇論』の韓国語版
2	ラジオ体操の誕生	韓国	黒田 勇／ 徐 在吉	図書出版 江	黒田勇著『ラジオ体操の誕生』の韓国語版
3	会社法入門 (第12版)	中国	前田 庸／ 王 作全	北京大学出版社	前田庸著『会社法入門』の中国語版
4	小売吸引力の理論と測定	中国	中西 正雄／ 呉 小丁	科学出版社	中西正雄著『小売吸引力の理論と測定』の中国語版
5	シャンハイムーン	中国	井上 ひさし／ 張 立波	上海社会科学院出版社	井上ひさし著『シャンハイムーン』の中国語版
6	女性進歩と性別調和	中国	史 春阳	萬卷出版社	戦後における日本女性の社会経済地位向上の進歩過程と性別の調和に関する書籍
7	中日韓の設備製造業の発展	中国	崔 岩	遼寧大学出版社	中日韓の設備製造業の強調的な発展と北東アジアにおける国際分業に関する書籍
8	中日現代演劇交流図史	中国	劉 平	生活・読書・新知三聯書店	1907年から1945年までの中日現代演劇交流の歴史を研究した書籍
9	氷点・続氷点	中国	三浦 綾子／ 田 肖霞	北京十月文芸出版社	三浦綾子著『氷点』『続氷点』の中国語版
10	竜馬がゆく(1-8)	中国	司馬 遼太郎／ 岳 遠坤	南海出版公司	司馬遼太郎著『竜馬がゆく』の中国語版
11	窓ぎわのトットちゃん	日本	黒柳 徹子／ 松波 寿美子	財団法人 日本スペイン協会	黒柳徹子著『窓ぎわのトットちゃん』のスペイン語版
12	今昔物語集	ベトナム	NGUYEN Thi Oanh	社会科学出版社	『今昔物語集』のベトナム語版

映像出版事業費

	書名	対象国	編著者／翻訳者	助成対象機関	事業内容
13	『新・日本の外交』	ベトナム	入江 昭／ LE Thi Binh	Knowledge Publishing House	入江昭著『新・日本の外交―地球化時代の日本の選択』のベトナム語版
14	旅をする裸の眼	ベトナム	多和田 葉子／ NGUYEN Thu Huong	女性出版社	多和田葉子著『旅をする裸の眼』のベトナム語版
15	吾輩は猫である	ベトナム	夏目 漱石／ BUI Thi Loan	ベトナム作家協会 出版社	夏目漱石著『吾輩は猫である』のベトナム語版
16	不動明王	インド	BISWAS, Sampa	D. K. Printworld	日本美術における不動明王の図像に関する研究書籍
17	総員玉砕せよ！	カナダ	水木 しげる／ Jocelyne ALLEN	ドラウン・アン ド・クオータ リー・ブックス	水木しげる作『総員玉砕せよ！』の英語版
18	近代日本文学における女性と帝国	米国	堀口 典子／ ジェーン	ミネソタ大学出版 会	近代女性作家の作品を取り上げ、大日本帝国時代における「女性の体の移動と帝国の身体(国体)の拡張」について書かれた書籍
19	最大の化身：日本の洋画1912-55年	米国	Bert Winther- Tamaki	ハワイ大学出版	1912年から1955年にかけて活躍した日本の洋画家を紹介した書籍
20	作劇術	米国	新藤 兼人／ Marie IIDA	Kaya Press	新藤兼人著『作劇術』の英語版
21	太郎が恋をする頃までには・・・	米国	栗原 美和子／ Alastair Andrew MCLAUCHLAN	メルウィンアジア	栗原美和子著『太郎が恋をする頃までには・・・』の英語版
22	日本史	メキシコ	田中 道子	メキシコ大学院大 学出版局	中学、高校の教師ならびに大学生を対象とした日本の歴史の学習書
23	日本文化における時間と空間	ブラジル	加藤 周一／ Neide Hissae Nagae	エスタソン・リベ ルダージェ出版社	加藤周一著『日本文化における時間と空間』のポルトガル語版
24	Del derrumbe aleman al muro anglo-estadounidense	ベネズエラ	Jose Gregorio MAITA	モンテ・アビラ・ エディトーレス	第一次世界大戦時の日本と欧米諸国との関係に関する研究書
25	山水並野形図	イタリア	増円／ Paola Di Felice	Olschki Publisher	増円著『山水並野形図』のイタリア語版

映像出版事業費

	書名	対象国	編著者／翻訳者	助成対象機関	事業内容
26	Obtaining Images: Art, Production and Display in Edo Japan	英国	Timon Screech	リークトン・ブックス	絵画の制作や流通といった観点から江戸の美術を考察した書籍
27	李禹煥との出会い	オランダ	Karlyn De Jongh	GLOBAL ART AFFAIRS FOUNDATION	世界的アーティスト、李禹煥と河原温へのインタビュー及び質問形式という、従来とは異なった切り口で両者の作品・制作姿勢の特徴を明らかにした書籍
28	腕くらべ	スペイン	永井 荷風／ Carlos Rubio	ALBA EDITORIAL, S.L.U.	永井荷風著『腕くらべ』のスペイン語版
29	曾我物語	スペイン	Rumi Tani Moratalla	トロッタ出版社	『曾我物語』のスペイン語版
30	東京の「再」定義	スペイン	Jin Javier Taira Alonso	サトリ出版社	東京の都市形成の変遷を江戸時代から現代に至るまで検証し、現代の都市計画への活用等を考察した書籍
31	ねじまき鳥クロニクル	スペイン	村上 春樹／ Albert Nolla Cabellos	Grup Editorial 62, S.L.U.	村上春樹著『ねじまき鳥クロニクル』のスペイン語版
32	ミーナの行進	スペイン	小川 洋子／ 杉山 佳子	Editorial Funambulista, S.L	小川洋子著『ミーナの行進』のスペイン語版
33	団地再生計画	ドイツ	Manuel TARDITS 加茂 紀和子 (みかんぐみ)	JOVIS Verlag	みかんぐみ著『団地再生計画/みかんぐみのリノベーションカタログ』のドイツ語版
34	日本の仕事の世界への準備	ドイツ	Matthias PILZ	VS Verlag fuer Sozialwissenschaften	日本とドイツの職業教育と訓練について記した書籍
35	日本食文化の歴史	フランス	石毛 直道／ Emmanuel MARES	リュシー出版社	石毛直道著『日本食文化の歴史』のフランス語版
36	Fujiko NAKAYA Fog2 (squared) anarchie no5	フランス	Alfred Turner Birnbaum／ 中谷芙二子	ANARCHIVE	霧の彫刻家・中谷芙二子に関する評論をまとめたもの。フランス語・日本語・英語併記
37	日本-歴史と人	アルバニア	Armand COLIN／ PAPA, Aleksander	LIRA Publishing House	Armand Colin著「Les japonais, Histoire d'un peuple」(フランス語)のアルバニア語版

映像出版事業費

	書名	対象国	編著者／翻訳者	助成対象機関	事業内容
38	日本人の歌人人名辞典	ウクライナ	Lidija Sergiivna Anistratenko／ Ivan Petrovych Bondarenko	Dmytro Burago Publishing House	日本古典文学の権威であり、日本の古典文学の翻訳を数多く手がけている著者が記した歌人人名辞典
39	山家集	エストニア	西行／ ALLIK Alari	タリン教育大学	西行著『山家集』のエストニア語版
40	こころ	スロベニア	夏目 漱石／ Iztok Ilc	ザロズバ・サンジェ	夏目漱石著『こころ』のスロベニア語版
41	小野小町集	チェコ	小野 小町 朝日新聞社／ Zdenek GERYCH	ビシェラッド	朝日新聞社刊『小野小町集』のチェコ語版
42	古事記	チェコ	太安万侶／ Karel Fiala	ExOriente	太安万侶著『古事記』のチェコ語版
43	竹の木戸	チェコ	国木田 独歩／ Vlasta Winkelhoferova	コンティネンツ協会	国木田独歩著『竹の木戸』のスロベニア語版
44	反映	ハンガリー	西行／ VILLANYI, Gabor Andras	スコラ出版社	西行著『反映』のハンガリー語版
45	春の雪	ブルガリア	三島 由紀夫／ Dora BAROVA (Todorka)	Lettera Publishers	三島由紀夫著『春の雪』のブルガリア語版
46	演劇とは何か	ポーランド	鈴木 忠志／ Anna SAMBIERSKA	グロトウスキー研究所	鈴木忠志著『演劇とは何か』のポーランド語版
47	沈黙博物館	ポーランド	小川 洋子／ 堀越 アンナ	W. A. B. 出版社	小川洋子著『沈黙博物館』のポーランド語版

映像出版事業費

	書名	対象国	編著者／翻訳者	助成対象機関	事業内容
48	IQ84 Vol. 1, 2	ルーマニア	村上 春樹／ Florin-dan OPRINA Iuliana OPRINA	ポリロム出版社	村上春樹著『IQ84 Vol. 1, 2』のルーマニア語版
49	暁の寺	ルーマニア	三島 由紀夫／ Mihaela Adina MERLAN	Humanitas Fiction Publishing House	三島由紀夫著『暁の寺』のルーマニア語版
50	外国文学誌	ロシア	ALEXANDER, Dolin BAIBIKOV, Elena CHEKAYEV, Alexey ERMAKOVA, Liudmila GRIGORIEVA, Maria IBRAKHIM, Inga KHRONOPOULO, Liala KOZHURINA, Elena MELNIKOVA, Irina SANINA, Ksenia 村上 龍 他	Redaktsiya zhurnala Inostrannaya Literatura	村上龍、吉田修一をはじめ大勢の日本人作家の作品を翻訳し、ロシアの外国文学誌の日本特集号として出版するもの
51	罪と罰	ロシア	手塚 治虫／ SOLOVIEVA Galina	コミック・ファク トリー	手塚治虫作『罪と罰』のロシア語版
52	日本語の音声	ロシア	RYBIN Victor Victorovich	ヒペリオン出版社	日本語の音声構造について通時的・共時的に記述した著作
53	ひろしまのピカ	ロシア	丸木 俊／ BAIBIKOV Elena	コムバスキッド出 版社	丸木俊著『ひろしまのピカ』のロシア語版
54	北斎漫画	ロシア	葛飾 北斎 他／ STEINER Evgeny	ナタリス出版株式 会社	葛飾北斎、他作『北斎漫画』のロシア語版

映像出版事業費

	書名	対象国	編著者／翻訳者	助成対象機関	事業内容
55	こころ	トルコ	夏目 漱石／ Bilal UNAL	パラフ出版社	夏目漱石著『こころ』のトルコ語版
56	日本文学史序説	トルコ	加藤 周一／ Oguz BAYKARA	ボガジチ大学出版 社	加藤周一著『日本文学史序説』(A History of Japanese Literature 3 volumes)のトルコ語版
57	芥川龍之介短編集	エジプト	芥川 龍之介 他 ／ Aya Wael AHMED	スフィンクス出版 社	芥川龍之介著『羅生門』他を集録した『芥川龍之介短編集』のアラビア語版

日本語普及事業に必要な経費

日本語事業費

1. 日本語企画調整費

- (1) 海外日本語教育機関等調査

2. JF講座事業費

- (1) JF講座運営
- (2) 米国若手日本語講師派遣

3. 日本語派遣・助成費

- (1) 受託事業（アセアン 第三期）
- (2) 日本語専門家派遣（日本語上級専門家）
- (3) 日本語専門家派遣（日本語専門家）
- (4) 国内連携による日本語普及支援（派遣・助成）
- (5) 日本語専門家派遣（日本語指導助手）
- (6) 日本語専門家派遣（日本語シニア専門家）
- (7) さくら中核事業（基金海外拠点）
- (8) さくら中核事業（非基金海外拠点）
- (9) 日本語普及活動助成

4. 研修事業費

- (1) EPA研修（交付金）
- (2) EPA研修（受託）

5. 日本語能力試験費

- (1) 日本語能力試験実施

6. 試験制作費

- (1) 試験問題作成・分析評価

日本語事業費

1. 日本語企画調整費 / (1) 海外日本語教育機関等調査

海外の日本語教育機関等に関する調査及び特定地域における調査等を実施し、その結果を公開するとともに、日本語教育・研究の成果も公開する。

合計額 15,970,428 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	日本語教育機関調査	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	3年毎に実施する海外における日本語教育機関・教師・学習者等に関する一斉調査。平成23年度は、平成21年度調査の報告書を刊行し、個別機関データを国際交流基金ホームページにおいて検索・閲覧可能にするとともに、次回平成24年度調査の準備を開始
2	日本語教育国・地域別情報ウェブサイト	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	世界約200カ国・地域の日本語教育の状況(沿革/教育制度/現状/動向等)を国際交流基金ウェブページ上で紹介。平成23年度の最新情報を更新(毎年更新)
3	第52回外国人による日本語弁論大会	日本	2011.06.11	日本語学習を奨励し、日本語普及事業への国民の理解を深めるために、財団法人国際教育振興会と共催で東京都町田市において「第52回外国人による日本語弁論大会」を開催

日本語事業費

2. JF講座事業費 / (1) JF講座運営

日本語学習によって日本文化理解及び相互理解を促進するため、日本語講座「JF講座」を国際交流基金海外拠点等で運営する。

合計額 309,875,921 円

	事業名/氏名	実施国	都市	会場	期間	事業内容
1	JF講座（ソウル日本文化センター）	韓国	ソウル	ソウル日本文化センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ソウル日本文化センターにおいて、一般学習者向けの日本語講座を運営
2	(派遣)鎌田 牧子	韓国	ソウル	ソウル日本文化センター	2012.02.01 ~ 2014.01.31	ソウル日本文化センターで実施する日本語講座の運営及び授業を担当する日本語専門家を現地に派遣
3	JF講座（北京日本文化センター）	中国	北京	北京日本文化センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京日本文化センターにおいて、一般学習者向けの日本語講座を運営
4	JF講座（モンゴル日本人材開発センター）	モンゴル	ウランバートル	モンゴル日本人材開発センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	モンゴル日本人材開発センターにおいて、日本語講座開設準備を行うために、日本語専門家を現地に短期派遣
5	(派遣)片桐 準二	モンゴル	ウランバートル	モンゴル日本人材開発センター	2012.03.01 ~ 2012.03.31	モンゴル日本人材開発センターで実施する日本語講座の運営及び授業を担当する日本語専門家を現地に派遣するための準備(平成23年度の支出は赴任経費のみ)
6	JF講座（ジャカルタ日本文化センター）	インドネシア	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ジャカルタ日本文化センターにおいて、一般学習者向けの日本語講座を運営
7	JF講座（バンコク日本文化センター）	タイ	バンコク	バンコク日本文化センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	バンコク日本文化センターにおいて、一般学習者向けの日本語講座を運営
8	JF講座（マニラ日本文化センター）	フィリピン	マニラ	マニラ日本文化センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	マニラ日本文化センターにおいて、一般学習者向けの日本語講座を運営
9	JF講座（ベトナム日本文化交流センター）	ベトナム	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ベトナム日本文化交流センターにおいて、一般学習者向けの日本語講座を運営
10	文化日本語講座「戯曲リーディング」	ベトナム	ハノイ	ハノイ大学 ベトナム日本文化交流センター	2012.02.16 ~ 2012.03.31	ベトナム日本文化交流センターが実施する日本語講座運営の一環として、戯曲『銀河鉄道の夜』（平田オリザ作）を日本語で朗読上演する講座を実施
11	(派遣)雄谷 マユミ	ベトナム	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター	2011.08.09 ~ 2013.08.08	ベトナム日本文化交流センターで実施する日本語講座の運営及び授業を担当する日本語専門家を現地に派遣
12	JF講座（クアラルンプール日本文化センター）	マレーシア	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	クアラルンプール日本文化センターにおいて、一般学習者向けの日本語講座を運営

日本語事業費

	事業名／氏名	実施国	都市	会場	期間	事業内容
13	JF講座（ニューデリー日本文化センター）	インド	ニューデリー	ニューデリー日本文化センター	2011.04.01～2012.03.31	ニューデリー日本文化センターにおいて、一般学習者向けの日本語講座を運営
14	(派遣)山村 真知子	インド	ニューデリー	ニューデリー日本文化センター	2011.09.16～2012.09.15	ニューデリー日本文化センターが実施する日本語講座の運営業務を担当する調整員を現地に派遣
15	(派遣)徳間 望	インド	ニューデリー	ニューデリー日本文化センター	2011.10.19～2013.10.18	ニューデリー日本文化センターで実施する日本語講座の運営及び授業を担当する日本語専門家を現地に派遣
16	JF講座（シドニー日本文化センター）	オーストラリア	シドニー	シドニー日本文化センター	2011.04.01～2012.03.31	シドニー日本文化センターにおいて、一般学習者向けの日本語講座を運営
17	(派遣)萩原 みのり	オーストラリア	シドニー	シドニー日本文化センター	2011.06.28～2012.06.27	シドニー日本文化センターが実施する日本語講座の運営業務を担当する調整員を現地に派遣
18	(派遣)松井 玲子	オーストラリア	シドニー	シドニー日本文化センター	2011.12.13～2013.12.12	シドニー日本文化センターで実施する日本語講座の運営及び授業を担当する日本語専門家を現地に派遣
19	JF講座（トロント日本文化センター）	カナダ	トロント	トロント日本文化センター	2011.04.01～2012.03.31	トロント日本文化センターにおいて、一般学習者向けの日本語講座を運営
20	JF講座（ニューヨーク日本文化センター）	米国	ニューヨーク	ニューヨーク日本クラブ ニューヨーク日本文化センター	2011.04.01～2012.03.31	ニューヨーク日本文化センターと日本クラブとの連携による日本語講座を運営
21	JF講座（ロサンゼルス日本文化センター）	米国	ロサンゼルス	ロサンゼルス日本文化センター 日米文化会館	2011.04.01～2012.03.31	日米文化会館において、一般学習者向けの日本語講座を運営
22	(派遣)村上 麻衣子	米国	ロサンゼルス	ロサンゼルス日本文化センター	2011.06.17～2012.06.16	ロサンゼルス日本文化センターによる日本語講座の運営業務を担当する調整員を現地に派遣
23	(派遣)宮沢 貴子	米国	ニューヨーク	ニューヨーク日本文化センター	2011.08.01～2012.07.31	ニューヨーク日本文化センターと日本クラブの連携で実施する日本語講座の運営業務を担当する調整員を現地に派遣
24	JF講座（メキシコ日本文化センター）	メキシコ	メキシコ	社団法人日墨文化学院 メキシコ日本文化センター	2011.04.01～2012.03.31	メキシコ日本文化センターと日墨文化学院の連携による日本語講座を運営
25	(派遣)伊藤 亜紀	メキシコ	メキシコ	メキシコ日本文化センター	2011.10.26～2013.10.25	メキシコ日本文化センターで実施する日本語講座の運営及び授業を担当する日本語専門家を現地に派遣
26	JF講座（サンパウロ日本文化センター）	ブラジル	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	2011.04.01～2012.03.31	サンパウロ日本文化センターにおける、一般学習者向けの日本語講座の開設準備

日本語事業費

	事業名／氏名	実施国	都市	会場	期間	事業内容
27	(派遣)吉岡 千里	ブラジル	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	2012.03.01～2012.03.31	サンパウロ日本文化センターで実施予定の日本語講座の運営及び授業を担当する日本語専門家を現地に派遣
28	JF講座(ローマ日本文化会館)	イタリア	ローマ	ローマ日本文化会館	2011.04.01～2012.03.31	ローマ日本文化会館において、一般学習者向けの日本語講座を運営
29	JF講座(ロンドン日本文化センター)	英国	ロンドン	ロンドン日本文化センター	2011.04.01～2012.03.31	ロンドン日本文化センターにおいて、一般学習者向けの日本語講座を運営
30	JF講座(マドリード日本文化センター)	スペイン	マドリード	マドリード日本文化センター	2011.04.01～2012.03.31	マドリード日本文化センターにおいて、一般学習者向けの日本語講座を運営するとともに、カサ・アジアとの連携による日本語講座も運営
31	文化日本語講座「マナー講座」	スペイン	マドリード バルセロナ	マドリード日本文化センター エスクエラ・デ・ボンサイ・イ・アルテス・ゼン	2012.02.16～2012.02.22	マドリード日本文化センターが実施する日本語講座運営の一環として、日本理解、異文化理解の促進を目的としたマナー講座(家庭訪問、ビジネス、食事等)を企画実施
32	(派遣)西岡 あや	スペイン	マドリード	マドリード日本文化センター	2011.10.14～2013.10.13	マドリード日本文化センターで実施する日本語講座の運営及び授業を担当する日本語専門家を現地に派遣
33	JF講座(ケルン日本文化会館)	ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館	2011.04.01～2012.03.31	ケルン日本文化会館において、一般学習者向けの直営日本語講座を運営
34	(派遣)赤坂 尚子	ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館	2011.07.15～2012.07.14	ケルン日本文化会館が実施する日本語講座の運営業務を担当する調整員を現地に派遣
35	JF講座(パリ日本文化会館)	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2011.04.01～2012.03.31	パリ日本文化会館において、一般学習者向けの直営日本語講座を運営
36	(派遣)蜂須賀 真希子	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2011.10.14～2013.10.13	パリ日本文化会館で実施する日本語講座の運営及び授業を担当する日本語専門家を現地に派遣
37	(派遣)宮下 由美子	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2011.11.25～2012.11.24	パリ日本文化会館が実施する日本語講座の運営業務を担当する調整員を現地に派遣
38	JF講座(ウクライナ日本センター)	ウクライナ	キエフ	ウクライナ日本文化センター	2011.04.01～2012.03.31	ウクライナ日本センターにおいて、一般学習者向けの直営日本語講座を運営
39	JF講座オープニング事業	ウクライナ カザフスタン	キエフ アスタナ アルマティ	ウクライナ日本センター カザフスタン日本人材開発センター カザフスタン日本人材開発センター	2011.10.21 2011.10.25 2011.10.26～2011.10.27	ウクライナ日本センター、カザフスタン日本人材開発センター及びモスクワ日本文化センターにおいて日本語講座の新規開設記念事業として書道講座を実施

日本語事業費

	事業名／氏名	実施国	都市	会場	期間	事業内容
		ロシア	モスクワ	モスクワ日本文化センター	2011. 10. 31	
40	(派遣)古川 瑞穂	ウクライナ	キエフ	ウクライナ日本センター	2011. 08. 06 ~ 2012. 08. 05	ウクライナ日本センターが実施する日本語講座の運営業務を担当する調整員を現地に派遣
41	(派遣)阿部 康子	ウクライナ	キエフ	ウクライナ日本センター	2011. 10. 14 ~ 2013. 10. 13	ウクライナ日本センターで実施する日本語講座の運営及び授業を担当する日本語専門家を現地に派遣
42	JF講座(カザフスタン日本人材開発センター)	カザフスタン	アルマティ	カザフスタン日本人材開発センター	2011. 09. 17 ~ 2012. 03. 31	カザフスタン日本人材開発センターにおいて、一般学習者向けの日本語講座を運営
43	(派遣)水谷 晴信	カザフスタン	アルマティ	カザフスタン日本人材開発センター	2011. 09. 17 ~ 2012. 09. 16	カザフスタン日本人材開発センターが実施する日本語講座の運営業務を担当する調整員を現地に派遣
44	(派遣)建木 千佳	カザフスタン	アルマティ	カザフスタン日本人材開発センター	2011. 10. 17 ~ 2013. 10. 16	カザフスタン日本人材開発センターで実施する日本語講座の運営及び授業を担当する日本語専門家を現地に派遣
45	JF講座(ブダペスト日本文化センター)	ハンガリー	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	ブダペスト日本文化センターにおいて、一般学習者向けの日本語講座を運営
46	JF講座(モスクワ日本文化センター)	ロシア	モスクワ	モスクワ市立教育大学 モスクワ日本文化センター	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	モスクワ日本文化センターとモスクワ市立教育大学の連携による日本語講座を運営
47	(派遣)山口 敏幸	ロシア	モスクワ	モスクワ市立教育大学	2012. 03. 01 ~ 2012. 03. 31	モスクワ日本文化センターとモスクワ市立教育大学との連携による日本語講座の運営及び授業を担当する日本語専門家を現地に派遣
48	JF講座(カイロ日本文化センター)	エジプト	カイロ	カイロ日本文化センター	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	カイロ日本文化センターにおいて、一般学習者向けの日本語講座を運営
49	日本語専門家等派遣前研修	日本	さいたま市	日本語国際センター	2011. 06. 07 ~ 2011. 06. 10	平成23年度に派遣した日本語講座担当日本語専門家及び米国に派遣した若手日本語教員に対し、派遣前研修を実施
50	JF講座研修	日本	さいたま市	日本語国際センター	2011. 09. 12 ~ 2011. 10. 07	日本語講座担当の現地日本語講師及び国際交流基金派遣日本語専門家等を対象としたJF日本語教育スタンダード理解のための研修を実施
51	「日本語教育におけるアンドロイドの活用と可能性」セミナー	日本	東京都	国際交流基金さくらホール	2011. 12. 06	文化日本語講座のパイロット企画として、大阪大学で開発された人型ロボット(アンドロイド「ジェミノイドF」)を、日本語教育現場において活用する新しい日本語教育の方法・スタイルについて検討するセミナーを実施

日本語事業費

2. JF講座事業費 / (2) 米国若手日本語講師派遣

日米間の若者交流強化と米国日本語教育への支援強化のため、若手日本語講師をティーチングアシスタントとして米国の日本語教育機関に派遣する。

合計額 62,308,009 円

	氏名	派遣先国	受入機関	期間	事業内容
1	伊藤 結	米国	Waddell Language Academy	2011.08.07 ~ 2012.08.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
2	荻内 沙友里	米国	Jefferson High School	2011.08.07 ~ 2012.08.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
3	片山 恵	米国	Kennedy High School (IA)	2011.08.07 ~ 2012.08.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
4	金城 翔太	米国	Walt Whitman High School	2011.08.07 ~ 2012.08.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
5	其原 依里	米国	Clarkstown High School North	2011.08.07 ~ 2012.08.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
6	田邊 充博	米国	Roosevelt High School	2011.08.07 ~ 2012.08.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
7	野ヶ本 直子	米国	Scott County High School	2011.08.07 ~ 2012.08.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
8	花見 さやか	米国	Kelly Walsh High School	2011.08.07 ~ 2012.08.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
9	古津 真弓	米国	Ridge High School	2011.08.07 ~ 2012.08.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
10	古本 裕美	米国	Dobson High School	2011.08.07 ~ 2012.08.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
11	銚之原 秀平	米国	Allderdice High School	2011.08.07 ~ 2012.08.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
12	三木 貴司	米国	Waddell Language Academy	2011.08.07 ~ 2012.08.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
13	南 沙代子	米国	Niu Valley Middle School	2011.08.07 ~ 2012.08.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
14	森 星子	米国	Elkins Pointe Middle School	2011.08.07 ~ 2012.08.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
15	山本 史織	米国	Aina Haina Elementary School	2011.08.07 ~ 2012.08.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

日本語事業費

3. 日本語派遣・助成費 / (1) 受託事業(アセアン 第三期)

派遣先の日本語教育機関において、ネイティブスピーカーとして、日本語教育に携わるとともに、日本文化紹介等の活動を行う。

合計額 81,234,508 円

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	服部 あゆみ	インドネシア	インドネシア教育大学	2011.01.30 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
2	小林 亜希子	インドネシア	ウダヤナ大学	2011.01.30 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
3	豊政 美歩	インドネシア	ウダヤナ大学	2011.01.30 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
4	岩野 真由実	インドネシア	北スマトラ大学	2011.01.30 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
5	津坂 朋宏	インドネシア	北スマトラ大学	2011.01.30 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
6	杉山 有香	インドネシア	スマラン国立大学	2011.01.30 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
7	老平 実加	インドネシア	スラバヤ国立大学	2011.01.30 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
8	貝原 美貴子	インドネシア	リアウ大学	2011.01.30 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
9	豊田 陽子	インドネシア	リアウ大学	2011.01.30 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
10	小林 正明	カンボジア	王立プノンペン大学	2010.09.01 ~ 2011.07.15	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
11	三瓶 葉月	タイ	ウドムダルニー校	2011.04.01 ~ 2011.12.31	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
12	柳 美早	タイ	ドンジェーン ウィッタヤコム校	2011.04.01 ~ 2011.12.31	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
13	福永 佳世	フィリピン	トレード・テック・ インターナショナル・サイエンス・ インスティテュー ト	2011.04.01 ~ 2011.04.30	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
14	片山 恵	フィリピン	フィリピン教育省	2011.04.01 ~ 2011.04.30	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
15	花見 さやか	フィリピン	フィリピン教育省	2011.04.01 ~ 2011.04.30	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
16	南 沙代子	フィリピン	フィリピン教育省	2011.04.01 ~ 2011.04.30	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
17	中澤 綾乃	フィリピン	ミンダナオ国際 大学	2011.04.01 ~ 2011.04.30	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
18	松下 恵子	ブルネイ	ブルネイ教育省	2011.02.01 ~ 2011.12.08	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
19	山田 未来	ベトナム	ダナン市教育 訓練局	2010.08.04 ~ 2011.06.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
20	大拙 舞	ベトナム	トゥア・ティエン ・フエ省教育 訓練局	2010.08.04 ~ 2011.06.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
21	青木 千枝	ベトナム	ハイフォン私立 大学	2010.08.04 ~ 2011.06.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
22	大山 智美	ベトナム	ハノイ市教育 訓練局	2010.08.04 ~ 2011.06.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
23	高梨 ひな美	ベトナム	ハノイ市教育 訓練局	2010.08.04 ~ 2011.06.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
24	工藤 繁	ベトナム	ホーチミン市教育 訓練局	2010.08.04 ~ 2011.06.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
25	石田 知華子	マレーシア	マレーシア教育省	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
26	太田 圭美	マレーシア	マレーシア教育省	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
27	桑原 里佳	マレーシア	マレーシア教育省	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
28	後藤 和子	マレーシア	マレーシア教育省	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
29	小林 聡子	マレーシア	マレーシア教育省	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
30	齋藤 光枝	マレーシア	マレーシア教育省	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
31	辻 舞子	マレーシア	マレーシア教育省	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
32	中野 久美子	マレーシア	マレーシア教育省	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
33	西川 陽子	マレーシア	マレーシア教育省	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
34	波多江 優子	マレーシア	マレーシア教育省	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
35	福本 将也	マレーシア	マレーシア教育省	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
36	松田 久実	マレーシア	マレーシア教育省	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
37	山田 智子	マレーシア	マレーシア教育省	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
38	笹村 はるか	ミャンマー	ミャンマー元日本留学生協会MAJA	2011.01.10 ~ 2011.11.22	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
39	前田 未央	ラオス	ラオス国立大学	2010.09.14 ~ 2011.07.30	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
40	高橋 舞	インド	印日商工会議所	2010.06.01 ~ 2011.04.30	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
41	小林 久美子	インド	ティラク・マハラシュトラ大学	2010.06.01 ~ 2011.04.30	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
42	笹野 亜希子	インド	ベンガルール大学	2010.06.01 ~ 2011.04.30	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
43	曾我 祐美	インド	ブネ印日協会	2010.06.01 ~ 2011.04.30	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
44	三毛 佳奈美	インド	ブルーベルズ・スクール・インターナショナル	2010.06.01 ~ 2011.04.30	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
45	稲原 香織	オーストラリア	オーストラリア首都特別地域教育訓練省	2011.01.26 ~ 2011.12.23	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
46	郷 亜里沙	オーストラリア	タスマニア州教育省	2011.02.09 ~ 2011.12.23	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
47	真保 知子	オーストラリア	西オーストラリア 州教育省	2011.01.19 ~ 2011.12.17	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
48	折茂 那美	オーストラリア	ニューサウス ウェールズ州 教育省	2011.01.19 ~ 2011.12.23	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
49	河野 倫子	ニュージーランド	ニュージーランド 教育省	2011.01.26 ~ 2011.12.17	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
50	前川 真理子	ニュージーランド	ニュージーランド 教育省	2011.01.26 ~ 2011.12.17	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
51	伊藤 由希	オーストラリア	北部準州教育省	2011.01.19 ~ 2011.12.17	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
52	横山 理恵子	オーストラリア	南オーストラリア 州教育省	2011.01.19 ~ 2011.12.17	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

日本語事業費

3. 日本語派遣・助成費 / (2) 日本語専門家派遣(日本語上級専門家)

日本語上級専門家は、国際交流基金海外拠点主任アドバイザーや各国(州)教育省アドバイザーとして派遣される他、日本語専攻学科立ち上げ期の高等教育機関等に派遣され、現地日本語教師の育成、教材・カリキュラム・教授法に関するコンサルティング、日本語教師間のネットワーク構築支援の他、必要に応じて授業を担当する等、派遣先国・機関における安定的な日本語教育の実施や質的改善に必要な支援を行う。

合計額 497,888,177 円

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	小川 靖子	韓国	ソウル日本文化センター	2008.08.21 ~ 2011.08.20	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
2	小西 広明	韓国	ソウル日本文化センター	2010.03.07 ~ 2013.04.24	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
3	王 崇梁	中国	北京日本文化センター	2008.05.10 ~ 2011.05.09	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
4	松浦 とも子	中国	北京日本文化センター	2011.05.03 ~ 2013.05.02	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
5	木山 登茂子	中国	香港日本語教育研究会	2009.06.10 ~ 2011.12.31	派遣先機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを実施
6	宇田川 洋子	中国	香港日本語教育研究会	2012.03.19 ~ 2014.03.18	派遣先機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを実施
7	藤島 夕紀代	モンゴル	モンゴル日本人材開発センター	2008.04.01 ~ 2012.01.21	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
8	衣笠 秀子	インドネシア	インドネシア教育大学	2010.07.26 ~ 2013.08.07	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
9	尾崎 裕子	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2010.08.31 ~ 2013.09.14	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
10	山科 健吉	インドネシア	スラバヤ国立大学	2010.06.26 ~ 2012.03.31	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施
11	松本 剛次	インドネシア	スラバヤ国立大学	2011.11.14 ~ 2013.11.14	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施
12	杉山 純子	カンボジア	王立プノンペン大学	2010.08.09 ~ 2013.08.08	立ち上げ期にある派遣先機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを実施
13	石田 英明	カンボジア	カンボジア日本人材開発センター	2009.04.20 ~ 2012.04.19	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施
14	小川 京子	カンボジア	カンボジア日本人材開発センター	2012.03.31 ~ 2014.03.31	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施
15	長田 佳奈子	タイ	コンケン大学	2010.04.19 ~ 2013.04.27	派遣先機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを実施
16	三浦 多佳史	タイ	バンコク日本文化センター	2009.05.15 ~ 2012.07.31	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施
17	渋谷 実希	タイ	バンコク日本文化センター	2009.09.22 ~ 2012.09.21	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施
18	新見 康之	フィリピン	マニラ日本文化センター	2008.05.14 ~ 2011.05.13	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施
19	大船 ちさと	フィリピン	マニラ日本文化センター	2010.03.25 ~ 2013.06.30	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
20	雄谷 進	フィリピン	マニラ日本文化センター	2011.05.05 ~ 2013.05.04	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
21	有馬 淳一	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2009.07.22 ~ 2013.08.31	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
22	坪山 由美子	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2008.04.08 ~ 2011.04.15	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
23	伊藤 愛子	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2009.10.13 ~ 2011.10.12	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
24	藤長 かおる	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2011.04.04 ~ 2013.04.03	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
25	三宅 直子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2010.03.16 ~ 2012.03.15	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を実施
26	遠藤 和歌子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2008.03.17 ~ 2011.04.10	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を実施
27	谷井 明美	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2008.03.17 ~ 2011.04.10	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を実施
28	矢野 優子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2008.03.17 ~ 2011.04.10	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を実施
29	小林 峰子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2009.03.30 ~ 2011.04.10	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成
30	星野 智子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2009.03.30 ~ 2011.04.10	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
31	隈井 正三	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2010.03.22 ~ 2013.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成
32	原田 明子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2010.03.22 ~ 2013.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成
33	立花 秀正	ラオス	ラオス国立大学	2010.08.06 ~ 2013.08.05	派遣先機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを実施
34	田邊 知成	インド	ニューデリー日本文化センター	2009.04.16 ~ 2013.05.15	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関等において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
35	渡辺 由美	インド	ニューデリー日本文化センター	2011.04.17 ~ 2013.04.16	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
36	和田 衣世	インド	ニューデリー日本文化センター	2008.05.01 ~ 2011.04.30	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
37	青沼 国夫	スリランカ	ケラニア大学	2007.04.13 ~ 2011.04.30	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
38	岸田 理恵	オーストラリア	シドニー日本文化センター	2010.04.20 ~ 2012.04.19	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
39	千馬 智子	ニュージーランド	ニュージーランド教育省	2011.01.24 ~ 2014.01.23	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
40	永富 あゆみ	カナダ	アルバータ州教育省	2009.06.07 ~ 2011.06.06	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
41	平田 好	カナダ	アルバータ州教育省	2011.05.25 ~ 2013.05.24	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
42	高崎 三千代	メキシコ	メキシコ日本文化センター	2010.04.01 ~ 2011.04.10 2012.03.31 ~ 2014.04.07	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
43	小松 知子	メキシコ	メキシコ日本文化センター	2011.04.01 ~ 2011.10.24 2011.10.26 ~ 2012.04.14	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
44	池津 丈司	ブラジル	サンパウロ日本文化センター	2009.10.01 ~ 2013.09.30	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
45	茅本 百合子	アイルランド	アイルランド教育省	2008.07.28 ~ 2011.07.27	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
46	近藤 裕美子	アイルランド	アイルランド教育省	2011.07.15 ~ 2013.07.14	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
47	室屋 春光	イタリア	ローマ日本文化会館	2009.09.20 ~ 2012.06.30	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
48	福島 青史	英国	ロンドン日本文化センター	2011.02.08 ~ 2014.02.07	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
49	熊野 七絵	スペイン	マドリッド日本文化センター	2010.09.22 ~ 2013.09.21	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
50	三矢 真由美	ドイツ	ケルン日本文化会館	2008.07.14 ~ 2011.07.12	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
51	磯村 一弘	ドイツ	ケルン日本文化会館	2010.08.05 ~ 2012.08.04	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
52	中島 透	フランス	パリ日本文化会館	2010.12.13 ~ 2013.12.12	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
53	平賀 達哉	ウクライナ	ウクライナ日本センター	2010.06.15 ~ 2011.05.21	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
54	黒岩 幸子	キルギス	キルギス日本人材開発センター	2010.01.24 ~ 2013.03.31	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
55	境田 徹	ハンガリー	ブダペスト日本文化センター	2010.08.01 ~ 2013.07.31	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
56	山口 明	ルーマニア	ブカレスト大学	2009.07.03 ~ 2012.07.02	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
57	荒川 友幸	ロシア	モスクワ大学附属アジア・アフリカ諸国大学	2010.08.23 ~ 2013.08.22	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
58	近藤 裕美子	サウジアラビア	プリンセス・ヌーラ大学	2011.06.06 ~ 2011.07.03	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
59	松本 剛次	シリア	ダマスカス大学	2010.07.07 ~ 2011.07.05	派遣先機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを実施
60	村上 吉文	エジプト	カイロ日本文化センター	2010.09.19 ~ 2013.09.18	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
61	久野 元	エジプト	アインシャムス大学	2010.08.21 ~ 2013.06.30	派遣先機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを実施

3. 日本語派遣・助成費 / (3) 日本語専門家派遣(日本語専門家)

日本語専門家は、国際交流基金海外拠点における主任アドバイザー補佐として派遣される他、日本語専攻学科のある高等教育機関、中等教育機関等に派遣され、現地日本語教師の育成、教育・カリキュラム・教授法に関するコンサルティング、日本語教師間のネットワーク構築支援の他、必要に応じて授業を担当する等、派遣先国・機関における安定的な日本語教育の実施や質的改善に必要な支援を行う。

合計額 229,792,691 円

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	中村 直子	韓国	ソウル日本文化センター	2009.08.16 ~ 2011.08.15	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
2	鎌田 美保	韓国	ソウル日本文化センター	2011.08.07 ~ 2013.08.06	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
3	岡田 有美子	韓国	ソウル日本文化センター	2011.08.12 ~ 2013.08.11	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
4	佐藤 修	中国	北京日本文化センター	2009.07.07 ~ 2012.07.06	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を実施
5	柳坪 幸佳	中国	北京日本文化センター	2011.08.25 ~ 2013.08.24	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
6	岩田 敏和	インドネシア	インドネシア中等教育機関	2008.06.08 ~ 2011.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
7	吉岡 千里	インドネシア	インドネシア中等教育機関	2008.06.08 ~ 2011.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
8	秋山 佳世	インドネシア	インドネシア中等教育機関	2009.05.31 ~ 2011.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
9	東田 明希子	インドネシア	インドネシア中等教育機関	2011.06.13 ~ 2013.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導を実施
10	森林 謙	インドネシア	インドネシア中等教育機関	2011.06.13 ~ 2013.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導を実施
11	益山 智恵	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2009.06.21 ~ 2012.06.30	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施
12	二瓶 知子	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2012.03.31 ~ 2014.06.30	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施
13	成田 高宏	インドネシア	スマラン国立大学	2010.06.27 ~ 2013.07.08	派遣先機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを実施
14	松井 玲子	タイ	バンコク日本文化センター	2008.03.30 ~ 2011.04.30	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施
15	古内 綾子	タイ	バンコク日本文化センター	2011.04.22 ~ 2013.04.30	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施
16	高塚 直子	タイ	タイ中等教育機関	2010.04.22 ~ 2013.04.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導を実施
17	武井 康次郎	タイ	タイ中等教育機関	2010.04.22 ~ 2013.04.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
18	松井 孝浩	フィリピン	マニラ日本文化センター	2011.01.01 ~ 2013.03.31	ビサヤ(セブ)地域での中等教育機関への日本語導入事業支援等を実施
19	早川 直子	フィリピン	マニラ日本文化センター	2012.03.31 ~ 2014.05.17	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
20	横山 直子	ベトナム	ベトナム中等教育機関	2009.08.15 ~ 2012.08.14	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
21	小松原 奈保	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2010.08.12 ~ 2013.08.11	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導を実施
22	久木 元恵	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2009.08.23 ~ 2012.04.12	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
23	中尾 有岐	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2011.10.03 ~ 2013.10.02	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
24	池田 聖子	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2012.03.31 ~ 2014.04.03	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
25	石綿 由美子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2010.03.21 ~ 2012.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成
26	尾沼 玄也	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2010.03.21 ~ 2012.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成
27	中村 聖子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2010.03.22 ~ 2012.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成
28	野口 真早季	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2010.03.22 ~ 2012.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成
29	星野 智子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2011.03.13 ~ 2013.03.12	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成
30	大嶺 恵美	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2012.03.20 ~ 2014.03.19	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成
31	野口 佳子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2012.03.20 ~ 2014.03.19	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
32	八嶋 康裕	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2012.03.20 ~ 2014.03.19	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成
33	依田 麻穂	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2012.03.20 ~ 2014.03.19	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成
34	五十嵐 裕佳	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2011.03.21 ~ 2013.03.20	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成
35	大脇 元	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2011.03.21 ~ 2013.03.20	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成
36	河西 隆宏	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2011.03.21 ~ 2013.03.20	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成
37	松浦 梓	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程(AAJ)	2011.03.21 ~ 2013.03.20	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力を養成
38	相馬森 佳奈	ラオス	ラオス国立大学	2010.08.05 ~ 2013.08.05	派遣先機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを実施
39	佐藤 直樹	インド	ニューデリー日本文化センター	2010.04.01 ~ 2011.04.11	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導を実施
40	竹村 徳倫	インド	ニューデリー日本文化センター	2011.04.01 ~ 2013.03.31	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導を実施
41	黒田 朋齊	スリランカ	ケラニア大学	2011.04.19 ~ 2013.04.18	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
42	信岡 麻理	オーストラリア	シドニー日本文化センター	2009.11.01 ~ 2011.10.31	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施。また、教材等も作成
43	森 文枝	オーストラリア	シドニー日本文化センター	2010.03.29 ~ 2013.03.28	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
44	中川 康弘	オーストラリア	シドニー日本文化センター	2011.08.01 ~ 2013.07.31	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導を実施
45	岡本(伊藤) 秀明	ドイツ	ケルン日本文化会館	2011.07.04 ~ 2013.07.03	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施
46	森 勇樹	アゼルバイジャン	バクー国立大学	2009.06.05 ~ 2012.06.04	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を実施
47	三森 優	ウクライナ	キエフ国立言語大学 タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学	2008.06.19 ~ 2011.06.18	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施
48	斎藤 誠	ウクライナ	タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学	2011.06.05 ~ 2013.06.05	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施
49	因 麻衣子	カザフスタン	カザフ民族大学	2010.08.10 ~ 2013.08.09	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を実施
50	柳坪 幸佳	ハンガリー	ブダペスト日本文化センター	2008.06.19 ~ 2011.06.18	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施。また、教材等も作成
51	三森 優	ハンガリー	ブダペスト日本文化センター	2011.07.19 ~ 2013.07.18	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワークワーキング支援等を実施
52	森田 衛	チェコ	カレル大学	2010.09.09 ~ 2013.09.08	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を実施
53	飯尾 幸司	ブルガリア	ソフィア大学	2010.07.05 ~ 2012.07.04	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を実施
54	石橋 美香	ベラルーシ	ベラルーシ国立大学 ミンスク国立言語大学	2010.08.01 ~ 2012.07.01	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を実施
55	田中 香織	ポーランド	ヤギェロン大学	2010.06.19 ~ 2013.06.18	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
56	小関 智子	ロシア	極東国立人文大学	2011.08.17 ~ 2013.08.17	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
57	阪上 彩子	ロシア	サハリン国立総合大学	2010.08.24 ~ 2012.05.05	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を実施
58	山口 紀子	ロシア	ノボシビルスク国立大学	2009.08.22 ~ 2012.08.21	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を実施
59	水谷 梢太	サウジアラビア	キングサウド大学	2009.06.19 ~ 2012.06.18	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を実施
60	有馬 芳枝	シリア	ダマスカス大学	2010.08.07 ~ 2011.07.05	派遣先機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを実施
61	村木 佳子	トルコ	土日基金文化センター	2009.09.19 ~ 2012.07.13	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
62	愛木 佳代	エジプト	アインシャムス大学	2009.08.13 ~ 2012.06.30	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を実施
63	佐藤 五郎	エジプト	カイロ日本文化センター	2009.09.25 ~ 2012.08.17	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導を実施
64	蟻末 淳	ケニア	ケニヤッタ大学	2010.08.12 ~ 2013.08.11	派遣先機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを実施

日本語事業費

3. 日本語派遣・助成費 / (4) 国内連携による日本語普及支援(派遣・助成)

日本語教員養成課程を有する日本国内の大学と協力し、日本語教育を専攻している学生を日本語教育実習生（インターン）として海外へ派遣する他、社団法人日本語教育学会との連携による、海外における日本語普及・日本語教育振興事業などを実施する。

合計額 104,297,580 円

	連携機関	対象国・地域	受入機関	期間	事業内容
1	愛知教育大学	タイ	スラタニ・ラジャバット大学 チェンライ・ラジャバット大学 ラチャナカリン・ラジャバット大学	2011.06.01 ~ 2012.02.28	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
2	岩手大学	中国	精華大学 寧波大学	2011.09.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
3	大阪大学	シンガポール タイ ドイツ	シンガポール・ニーアン・ポリテクニク チェンマイ大学 デュッセルドルフ大学	2011.04.01 ~ 2012.06.30	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
4	大阪樟蔭女子大学	ニュージーランド	オークランド大学	2012.02.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
5	桜美林大学	タイ 米国	スイパトゥム大学 ハワイ大学マノア校	2012.02.19 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
6	沖縄国際大学	台湾	東海大学	2011.08.20 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
7	香川大学	米国	コロラド州立大学	2012.03.01 ~ 2012.04.30	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
8	学習院大学	タイ オーストラリア	スイパトゥム大学 タマサート大学 ヴィクトリア州教育省	2011.08.01 ~ 2011.09.30	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与

日本語事業費

	連携機関	対象国・地域	受入機関	期間	事業内容
		オーストラリア 米国	ニューサウスウェールズ大学 オハイオ・ウェズリアン大学		
9	鹿児島純心女子大学	オーストラリア	西オーストラリア州教育省	2011.05.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
10	神奈川大学	ハンガリー	カーロリ・ガシュパール・カルビン派改革大学	2011.09.01 ~ 2011.09.30	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
11	関西外国語大学	中国	安徽中医学院 蘇州科技学院 天津外国語大学 天津理工大学 北方工業大学	2011.09.01 ~ 2012.06.30	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
12	神田外語大学	中国 タイ	南開大学 ブラパー大学	2011.08.01 ~ 2012.01.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
13	京都外国語大学	韓国 米国 オランダ	仁川大学校 ハワイパシフィック大学 ハワイ大学カピオラニ校 オランダ国立南大学	2011.09.01 ~ 2012.12.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
14	神戸松蔭女子学院大学	インドネシア	ハサヌディン大学	2012.02.01 ~ 2012.03.10	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
15	神戸女子大学	ニュージーランド	オークランド工科大学	2011.08.01 ~ 2011.08.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与

日本語事業費

	連携機関	対象国・地域	受入機関	期間	事業内容
16	神戸親和女子大学	中国	蘇州大学	2011.09.10 ~ 2011.09.24	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
17	国際基督教大学	オーストラリア	ヴィクトリア州教育省	2012.03.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
18	埼玉大学	中国	北京師範大学	2012.03.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
19	札幌国際大学	中国	深川大学	2012.03.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
20	山陽学園大学	韓国 中国 米国	湖西大学校 柳韓大学 大連大学 メンロー中学校	2011.09.01 ~ 2011.09.30	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
21	四国学院大学	韓国	韓南大学校	2011.10.20 ~ 2011.10.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
22	城西国際大学	韓国 中国 フィリピン ノルウェー ハンガリー	東西大学校 西安外国語大学 大連外国語学院 アテネオ・デ・マニラ大学 オスロ大学 ブタペスト商科大学	2011.09.01 ~ 2012.06.30	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与

日本語事業費

	連携機関	対象国・地域	受入機関	期間	事業内容
23	昭和女子大学	韓国 ベトナム 米国	韓陽女子大学 西江大学校 ハノイ国家大学人文社会科学大学大学院 昭和ボストン	2011.08.20 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
24	筑波大学	マレーシア 米国 フランス スロベニア ロシア	マレーシア工科大学 ウィスコンシン大学マディソン校 パリ第7大学 リュブリアナ大学 モスクワ市立教育大学	2011.07.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
25	津田塾大学	タイ	バンコク日本文化センター	2011.04.01 ~ 2012.09.30	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
26	東京外国語大学	中国 シンガポール オーストラリア 米国 スペイン ドイツ スロベニア ルーマニア	香港大学 上海外国語大学 シンガポール国立大学 語学研究センター オーストラリア国立大学 ミシガン大学 マドリード自治大学 エアランゲン大学 リュブリアナ大学 ブカレスト大学	2011.06.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
27	同志社女子大学	台湾 オーストラリア ニュージーランド	国立政治大学 ヴィクトリア州教育省 オセアニア交流センター	2011.08.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与

日本語事業費

	連携機関	対象国・地域	受入機関	期間	事業内容
28	東北学院大学	韓国 ドイツ	平澤大学校 トリアー大学	2011.09.01 ~ 2011.12.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
29	東北大学	韓国 タイ 米国	忠南大学校 サイアム大学 ディキンソン大学	2012.01.20 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
30	長崎国際大学	中国	浙江大学城市学院	2011.09.02 ~ 2011.09.15	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
31	日本語教育学会 J-GAP	全世界区分困難		2011.04.01 ~ 2012.03.31	2011年8月に中国・天津で開催される日本語教育国際研究大会において、アーティキュレーションに関するシンポジウム及びJ-GAP（日本語教育アーティキュレーション・プロジェクト）代表者会議を実施し、J-GAPプロジェクトの進捗状況を報告するとともに、秋から実施される各地域・各国でのモデル地区のプロジェクト計画について検討
32	日本語教育学会 研修講座	インドネシア フィリピン		2011.06.03 ~ 2011.08.30	看護・介護分野における海外派遣日本語教師候補者のための短期集中研修講座の実施
33	日本女子大学	台湾 スロベニア	南台科技大学 リュブリアナ大学	2011.08.01 ~ 2011.08.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
34	一橋大学	中国 トルコ	北京大学 ボアジチ大学	2012.02.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
35	姫路獨協大学	韓国 中国	慶南大学校 国民大学校 香港城市大学	2011.08.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
36	広島大学	韓国 中国 インドネシア	建国大学校 中山大學 ブラウィジャヤ大学	2012.03.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与

日本語事業費

	連携機関	対象国・地域	受入機関	期間	事業内容
		ニュージーランド 英国	オークランド大学 オックスフォード・ブルックス大学		
37	広島女学院大学	米国	パシフィック大学	2011.06.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
38	文教大学	中国 オーストラリア	北京大学 シドニー大学	2012.02.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
39	北海道教育大学函館校	米国	アラスカ大学アンカレッジ校	2011.08.03 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
40	三重大学	米国	ネブラスカ大学リンカーン校	2011.06.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
41	宮城学院女子大学	中国	遼寧師範大学	2011.09.02 ~ 2011.09.16	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
42	武庫川女子大学	韓国 米国	韓南大学校 スポークン・フォールズ・コミュニティー・カレッジ	2011.08.15 ~ 2011.08.19	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
43	桃山学院大学	米国 オーストリア フランス	ジョージメイソン大学 ウィーン大学 セルジ・ポントワーズ大学	2012.02.01 ~ 2012.09.30	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
44	盛岡大学	カナダ	カモスン・カレッジ	2012.02.20 ~ 2012.03.15	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
45	安田女子大学	タイ スリランカ	スイパトゥム大学 サバラガムワ大学	2011.08.01 ~ 2012.02.28	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与

日本語事業費

	連携機関	対象国・地域	受入機関	期間	事業内容
46	山口県立大学	ニュージーランド	クイーン・マーガレット・カレッジ フレイバーク高校 ロズミニカレッジ	2011.04.01 ~ 2011.12.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与
47	立命館大学	中国 台湾 米国	深川大学 大連外国語学院 長栄大学 ハワイ大学カピオラニ校	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展に寄与

日本語事業費

3. 日本語派遣・助成費 / (5) 日本語専門家派遣(日本語指導助手)

同一機関もしくは近隣に派遣されている日本語上級専門家もしくは日本語専門家の指導のもと、国際交流基金海外拠点や高等教育機関、中等教育機関における授業を担当するとともに、日本語専門家業務の補佐を行う。

合計額 59,582,173 円

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	瀬戸 彩子	インドネシア	インドネシア教育大学	2011.08.08 ~ 2013.08.07	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
2	武内 博子	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2010.04.12 ~ 2012.04.19	日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業を受け持つ。更に、教材作成、教師研修の企画・実施、学校訪問等を実施
3	町田 佳帆梨	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2010.04.12 ~ 2012.04.19	日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業を受け持つ。更に、教材作成、教師研修の企画・実施、学校訪問等を実施
4	若菜 結子	インドネシア	スマラン国立大学	2011.08.07 ~ 2013.08.07	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
5	芹澤 有美	インドネシア	スラバヤ国立大学	2011.08.08 ~ 2013.08.07	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
6	武田 素子	タイ	バンコク日本文化センター	2010.04.22 ~ 2012.04.21	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
7	三宅 絵梨	フィリピン	マニラ日本文化センター	2010.06.01 ~ 2012.05.31	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
8	須摩 亜由子	フィリピン	マニラ日本文化センター	2011.04.01 ~ 2013.03.31	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
9	福島 千花	フィリピン	マニラ日本文化センター	2012.03.12 ~ 2014.04.09	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
10	宇住庵 真弓	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2010.04.04 ~ 2012.04.10	日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業を受け持つ。更に、教材作成、教師研修の企画・実施、学校訪問等を実施
11	寺岡 佑季子	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2010.08.26 ~ 2012.08.25	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
12	鳥居 里朱	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2011.07.05 ~ 2013.07.04	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
13	井上 貴子	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2012.02.17 ~ 2014.08.25	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
14	池田 真希子	インド	ニューデリー日本文化センター	2011.06.15 ~ 2013.06.14	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
15	三國 喜保子	インド	ニューデリー日本文化センター	2011.06.15 ~ 2013.06.14	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
16	古閑 絃子	オーストラリア	シドニー日本文化センター	2012.01.15 ~ 2014.01.14	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
17	嶋原 耕一	ニュージーランド	ニュージーランド教育省	2012.02.01 ~ 2014.01.30	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
18	中村 紗弥子	イタリア	ローマ日本文化会館	2010.04.20 ~ 2012.04.19	日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業を受け持つ。更に、教材作成、教師研修の企画・実施、学校訪問等を実施
19	折笠 友美	フランス	パリ日本文化会館	2010.07.12 ~ 2012.07.11	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
20	下村 朱有美	ウクライナ	キエフ国立言語大学	2010.08.14 ~ 2012.08.13	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
21	山本 温子	スロバキア	コメニウス大学	2011.09.05 ~ 2013.09.04	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
22	武田 英里子	ブルガリア	ソフィア大学	2010.08.30 ~ 2012.08.29	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
23	荒井 淳一	ポーランド	京都クラクフ基金	2010.09.16 ~ 2012.09.15	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援
24	府川 未来	ルーマニア	ブカレスト大学	2010.09.13 ~ 2012.09.12	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当し、任国における日本語教育普及事業を支援

日本語事業費

3. 日本語派遣・助成費 / (6) 日本語専門家派遣(日本語シニア専門家)

各国の日本語教育の中核的機関に日本語シニア専門家を派遣し、日本語講座を担当する他、カリキュラム編成や教材作成、現地講師に対する教授法等の指導や助言を行う。

合計額 6,071,015 円

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	伊勢田 涼子	インド	ニューデリー日本文化センター	2010.07.02 ~ 2013.07.01	任国の教育省、国際交流基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施

日本語事業費

3. 日本語派遣・助成費 / (7) さくら中核事業(基金海外拠点)

国際交流基金海外拠点が実施する、当該国・地域の日本語教育全体の普及・拡大・発展に寄与する波及効果の高い事業を支援する。

合計額 285,595,241 円

	実施機関	対象国	期間	事業内容
1	ソウル日本文化センター	韓国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	韓国における日本語普及のため、日本語教育アドバイザー業務、中等教育日本語教師研修、日本語教育アドバイザー巡回業務、釜山駐在日本語教育専門家による日本語教育アドバイザー業務、日本語教師サロン、日本語教育小規模助成、「第4回全国学生日本語演劇発表大会」の事業を実施
2	北京日本文化センター	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	中国における日本語普及のため、全国中等教育日本語教師研修会、全国大学日本語教師研修会、日本語教師巡回指導、小規模助成、日本語教育アドバイザー業務、日本語国際センター訪日研修修了生研修会、「国際交流基金日本語教授法シリーズ」寄贈の事業を実施
3	ジャカルタ日本文化センター	インドネシア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	インドネシアにおける日本語普及のため、日本語教育アドバイザー業務、高校日本語教師研修、高校教師会活動支援、教育省語学教員研修所インストラクター研修、高校向け日本語教科書支援、インドネシア日本語教育学会活動支援、日本語弁論大会(ジャカルタ首都圏・全国、高校生)、漢字カップ、日本語履修高校生向け進路学習会、派遣専門家連絡会議、インドネシア外務省入省日本語試験、インドネシア日本留学フェア、日本語教師能力向上講座の事業を実施
4	バンコク日本文化センター	タイ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	タイにおける日本語普及のため、日本語教師研修(中等教育教員新規養成、地方在住高校教師、北・東北部タイ人教師、集中研修会、水曜研修会、土曜研修会)、日本語教材制作、日本語弁論大会、紀要発行、広報誌発行、広域活動強化事業、小規模助成、日本語教育アドバイザー業務を実施
5	マニラ日本文化センター	フィリピン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	フィリピンにおける日本語普及のため、日本語教育アドバイザー業務、中等教育日本語教師研修、日本語教材制作、ネットワーク支援、日本語教師研修(一般)、日本語教師会支援、学習者奨励活動、小規模助成の事業を実施
6	ベトナム日本文化交流センター	ベトナム	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ベトナムにおける日本語普及のため、日本語アドバイザー業務、日本語教育行政関係者グループ招へい、中等教育支援事業(日本語導入試行プロジェクト)、大学教員等一般向け研修・セミナー、日本語学習者自主活動支援事業、日本語教育機関活動支援(小規模助成)の事業を実施
7	クアラルンプール日本文化センター	マレーシア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	マレーシアにおける日本語普及のため、日本語教育アドバイザー業務、中等教育支援、教師研修、学習者奨励活動、小規模助成の事業を実施
8	ニューデリー日本文化センター	インド	2011.04.01 ~ 2012.03.31	インド及び周辺諸国における日本語普及のため、日本語教育アドバイザー業務、日本語教師研修、日本語学習者奨励活動を実施

日本語事業費

	実施機関	対象国	期間	事業内容
9	シドニー日本文化センター	オーストラリア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	オーストラリアにおける日本語普及のため、日本語アドバイザー業務、日本語教師研修、日本語教育ネットワーク会議、教材開発、日本語学習者奨励活動、アドボカシー活動、小規模助成、オンライン日本語講座運営の事業を実施
10	トロント日本文化センター	カナダ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	カナダにおける日本語普及のため、日本語教育アドバイザー業務、小規模助成、アドボカシー招へい、日本語教育ネットワーク会議、日本語教師研修の事業を実施
11	ロサンゼルス日本文化センター	米国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	米国における日本語普及のため、日本語アドバイザー業務、ACTFL（全米外国語教育協会）年始総会を利用したアドボカシー活動、米国グラントプログラム、Advanced Placement Program (AP) 日本語関連事業への支援、地域レベルの日本語教師研修強化の事業を実施
12	メキシコ日本文化センター	メキシコ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	メキシコにおける日本語普及のため、日本語教育アドバイザー業務、メキシコ人日本語教師支援プログラム、メキシコ日本語弁論大会、日本語教材リソースセンター設置、日本語教育シンポジウム、日本語教師短期集中講座、地方勉強会（巡回指導）の事業を実施
13	サンパウロ日本文化センター	ブラジル	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ブラジルにおける日本語普及のため、日本語アドバイザー業務、小規模助成、日本語学習者奨励活動（弁論大会、学習者研修）、日本語教師研修の事業を実施
14	ローマ日本文化会館	イタリア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	イタリアにおける日本語普及のため、日本語アドバイザー業務、セミナー・巡回指導、中等教育支援、日本語教師会支援、日本語会話会、日本語教師研修の事業を実施
15	ロンドン日本文化センター	英国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	英国における日本語普及のため、日本語アドバイザー業務、初等教育機関への日本語教育導入、日本語教師研修事業、日本語導入プロモーション事業、小規模助成、日本語スピーチコンテスト、情報提供・情報収集の事業を実施
16	マドリード日本文化センター	スペイン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	スペインにおける日本語普及のため、日本語アドバイザー業務、日本語教育シンポジウム、日本語教師研修（巡回セミナー）、日本語教育ネットワーク会議、小規模助成、日本語教師会支援、日本語教材制作、日本語会話サロン、日本語学習者奨励活動（ポップカルチャーイベントでのブース出展）の事業を実施
17	ケルン日本文化会館	ドイツ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ドイツにおける日本語普及のため、日本語アドバイザー業務、ケルン大学日本語教育養成プログラム、ケルン日本語教師セミナー、ベルリン日本語教師研修、小規模助成の事業を実施
18	パリ日本文化会館	フランス	2011.04.01 ~ 2012.03.31	フランスにおける日本語普及のため、日本語教育アドバイザー業務、学習者奨励事業（日本語スピーチコンテスト）、日本語教師研修（中等教育機関日本語教師研修）の事業を実施

日本語事業費

	実施機関	対象国	期間	事業内容
19	ブダペスト日本文化センター	ハンガリー	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ハンガリーにおける日本語普及のため、日本語教育アドバイザー業務、中東欧日本語教育研修会2012を実施
20	モスクワ日本文化センター	ロシア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ロシアにおける日本語普及のため、日本語教育アドバイザー業務、日本語教材セミナー、独立国家共同体（CIS）日本語弁論大会、モスクワスピーチコンテスト、独立国家共同体（CIS）日本語教師研究発表会、初中等教育日本語弁論大会、地方日本語教育拠点共催事業、教材セット制作・巡回貸与事業『となりの国 ニッポンを知らう！』、独立国家共同体（CIS）専門家会議、モスクワ日本語研究大会、一般向け教科書の開発、モスクワ市初中等教育関係者招へいの事業を実施
21	カイロ日本文化センター	エジプト	2011.04.01 ~ 2012.03.31	エジプトにおける日本語普及のため、日本語アドバイザー業務、中東日本語教育セミナー、アドバイザー出張指導、日本語教師養成、JF日本語教育スタンダード勉強会、小規模助成、リソースセンター拡充の事業を実施
22	各国教育関係者グループ招へい	ベトナム ロシア	2011.11.20 ~ 2011.11.27	初中等教育レベルにおける日本語教育導入への関心意欲喚起を図るため、ベトナム・ロシアの教育関係者を招へいし、日本文化体験や国際交流基金事業紹介を通じて、日本理解と親日感の醸成を目指す
23	各国教育関係者グループ招へい	米国 カナダ	2011.11.06 ~ 2011.11.13	初中等教育レベルにおける日本語教育導入への関心意欲喚起を図るため、米国・カナダの教育関係者を招へいし、日本文化体験や国際交流基金事業紹介を通じて、日本理解と親日感の醸成を目指す

日本語事業費

3. 日本語派遣・助成費 / (8) さくら中核事業(非基金海外拠点)

国際交流基金海外拠点以外のさくらネットワーク中核メンバーが実施する、当該国・地域の日本語教育全体の普及・拡大・発展に寄与する波及効果の高い事業を支援する。

合計額 43,054,013 円

	助成対象機関	対象国・地域	期間	事業内容
1	韓国日本語教育研究会	韓国	2011.08.12	韓国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する「平成23年度全国日本語授業研究発表大会及び自律研修」の実施経費を助成
2	黒龍江大学東語学院	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	中国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語学習者を対象とした「黒龍江省第一回日中翻訳コンテスト」の実施経費を助成
3	中国人民大学外国語学院	中国	2011.10.16 ~ 2011.10.17	中国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する「東アジア日本語・文学・文化国際フォーラム」の実施経費を助成
4	中国日本語教学研究会	中国	2011.08.19 ~ 2011.08.21	中国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師、日本語教育関係者を対象とした「平成23年度 世界日本語教育大会 (ICJLE 2011 CHINA)」の実施経費を助成
5	香港日本語教育研究会	中国	2012.03.23 ~ 2012.03.26	中国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象としたセミナー「異文化理解を日本語の授業に取り入れる方法」の実施経費を助成
6	台湾日語教育学会	台湾	2011.11.26	台湾における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象とした「平成23年度台湾日本語教育研究国際学術シンポジウム—台湾日本語教育におけるジャンル別の課題」の実施経費を助成
7	台湾日本語文学会	台湾	2011.12.16 ~ 2011.12.18	台湾における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する大会「グローバル化の中の日本語文学研究の展望」の実施経費を助成
8	インドネシア教育大学	インドネシア	2011.12.09 ~ 2011.12.10	インドネシアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する「インドネシア人日本語教師の研究・能力向上を目指したセミナー・ワークショップ」の実施経費を助成
9	インドネシア中学校・高校日本語教師会	インドネシア	2011.05.24 ~ 2011.05.25	インドネシアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象とした「インドネシア中学校・高等学校日本語教師会：ワークシート作成能力ワークショップ」の実施経費を助成
10	インドネシア日本語教育学会	インドネシア	2011.11.11 ~ 2011.11.13	インドネシアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである、当該機関が実施する日本語教師を対象としたシンポジウム「インドネシアの中等及び高等教育における日本語学習ストラテジー」の実施経費を助成
11	スラバヤ国立大学	インドネシア	2011.12.17 ~ 2011.12.18	インドネシアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象とした「プロの日本語教師に向けた国際シンポジウム及びワークショップ」の実施経費を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国・地域	期間	事業内容
12	王立プノンペン大学	カンボジア	2011.04.18 ~ 2011.07.30	カンボジアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語学習者を対象とした「さくら日本語・日本文化普及キャラバン」の実施経費を助成
13	シンガポール日本語教師の会	シンガポール	2011.05.31 ~ 2011.11.30	シンガポールにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象とした「日本語教育冬季セミナー」の実施経費を助成
14	コンケン大学	タイ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	タイにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する「東北タイ・中等教育機関日本語科目活性化プロジェクト」の実施経費を助成
15	タマサート大学	タイ	2011.11.25	タイにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象とした「漢字指導セミナー」の実施経費を助成
16	チュラロンコン大学	タイ	2012.03.01 ~ 2012.03.31	タイにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施するシンポジウム「非母語話者日本語教師の日本語の読解力及び読解教育能力の向上」の実施経費を助成
17	ハノイ国家大学外国語大学	ベトナム	2011.04.01 ~ 2012.09.30	ベトナムにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象とした研修事業「ベトナムにおける高度な日本語・日本研究者養成プログラム」の実施経費を助成
18	豪州日本研究学会	オーストラリア	2011.07.04 ~ 2011.07.07	オーストラリアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教育研究者、日本語教師を対象とした「平成23年度豪州日本研究大会（日本語教育部門）」の実施経費を助成
19	カナダ日本語教育振興会	カナダ	2011.08.05 ~ 2011.08.07	カナダにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象としたシンポジウム「カナダ日本語教育振興会平成23年度年次大会」の実施経費を助成
20	全米日本語教師会連合	米国	2011.04.11 ~ 2011.12.31	米国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する「全米規模の日本語教育団体(日本語教師会(NCJLT)、日本語・日本文学学会(ATJ))の統合に向けたワーキング・グループ会合」の実施経費を助成
21	全米日本語教師会／日本語・日本文学学会	米国	2011.04.01 ~ 2011.12.31	米国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教育関係者を対象としたアドボカシー事業「全米における日本語教育会での連携強化・アドボカシー促進プロジェクト」の実施経費を助成
22	日本語・日本文学学会	米国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	米国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する、長年の懸案であった中等教育と大学の日本語教師会の統合による米国の日本語教育関連組織の再編に向けての取り組みに対して支援
23	南カリフォルニア大学	米国	2011.04.01 ~ 2011.06.30	米国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象としたワークショップ「日本語能力の評価一何、どのように、何のために」に対して支援

日本語事業費

	助成対象機関	対象国・地域	期間	事業内容
24	社団法人メキシコ日本語教師会	メキシコ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	メキシコにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師・学習者を対象とした「平成23年度日本語教育シンポジウム」「平成23年度日本語教師短期集中講座」、「第28回メキシコ日本語弁論大会」「日本語教育教材購入」「メキシコ日本人日本語教師支援プログラム」「第3回地方勉強会」「非日本語話者日本語教師のための研修会」等の実施経費を助成
25	サンパウロ大学	ブラジル	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ブラジルにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象とした専門講座開設のための経費を助成
26	ブラジリア大学	ブラジル	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ブラジルにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する「日本語学習者用主要トピック講義」の実施経費を助成
27	ブラジル日本語センター	ブラジル	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ブラジルにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師志望者を対象とした「日本語教師養成講座Ⅱ（理論コース）」の実施経費を助成
28	リオデジャネイロ連邦大学	ブラジル	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ブラジルにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が制作する教材『動詞のアスペクト』の制作経費を助成
29	ロンバルディア州ミラノ県中等教育監理監督局	イタリア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	イタリアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象とした「北イタリア日本語教師セミナー：漢字指導法及びヨーロッパ言語共通参照枠（Common European Framework of Reference for Languages：CEFR）とJF日本語教育スタンダードについての勉強会」の実施経費を助成
30	英国日本語教育学会（BATJ）	英国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	英国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語学習者を対象とした「第7回大学生のための日本語スピーチコンテスト」、及び日本語教師・日本語教育関係者を対象とした「第14回英国日本語教育学会（British Association for Teaching Japanese as a Foreign Language：BATJ）」「セミナー・ワークショップ、研修会」の実施経費を助成
31	フランス日本語教師会	フランス	2011.04.01 ~ 2012.03.31	フランスにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教育関係者、日本語教師を対象とした「第12回フランス日本語教育シンポジウム」及び「フランスにおける日本語教育とフランス日本語教師会の活動」フランス語版の作成に関する経費を助成
32	ヨーロッパ日本語教師会	西欧地域区分困難	2011.05.01 ~ 2011.08.31	日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する「CEFR/JF 日本語スタンダード（2011）」「ヨーロッパの日本語教育プロジェクト」の企画会議に関する経費を助成
33	バクー国立大学	アゼルバイジャン	2011.11.08 ~ 2011.11.09	アゼルバイジャンにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象とした「コーカサスの日本語教師のための日本語教育セミナー」の実施経費を助成
34	キエフ国立大学	ウクライナ	2012.03.23 ~ 2012.03.24	ウクライナ及び周辺国・地域における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教育・日本語研究関係者を対象とした「第4回全ウクライナ国際公開シンポジウム」の実施経費を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国・地域	期間	事業内容
35	リュブリャナ大学	スロベニア	2012.03.14 ~ 2012.03.16	スロベニアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する「第2回アジア・アフリカ研究学科国際シンポジウム」の実施経費を助成
36	カレル大学	チェコ	2011.09.24 ~ 2011.09.25	チェコにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象とした「チェコJF日本語教育スタンダードセミナー」の実施経費を助成
37	カーロリ・ゲーシュパール・カルビン派大学	ハンガリー	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ハンガリーにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が制作する日本語教師のためのハンドブック「『学び合い』の手引書」ハンガリー語版の電子ブックの発行経費を助成
38	ハンガリー日本語教師会	ハンガリー	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ハンガリーにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語学習者を対象とした「第19回日本語スピーチコンテスト」の実施経費を助成
39	ブカレスト大学	ルーマニア	2011.04.01 ~ 2011.06.01	ルーマニアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象としたシンポジウム・セミナー「ルーマニア日本語教育の新しいスタンダード設定と日本語を教える・習うためのリソース」の実施経費を助成
40	サハリン国立総合大学附属経済東洋学大学	ロシア	2011.04.01 ~ 2012.03.02	ロシアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する「第16回ロシア極東・東シベリア日本語弁論大会/第15回ロシア極東・東シベリア日本語教師セミナー」「第1回ロシア極東・東シベリア日本研究・日本語教師シンポジウム」の実施経費及びサハリン日本語リソースセンター設置のための経費を助成
41	ノボシビルスク国立大学	ロシア	2011.04.01 ~ 2012.03.18	ロシアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する「第4回シベリア日本及び日本語研究・日本語教育シンポジウム」の実施経費を助成

日本語事業費

3. 日本語派遣・助成費 / (9) 日本語普及活動助成

国際交流基金の海外拠点からの直接支援が届きにくい国において、当該国の日本語教育機関・団体が実施する日本語教師及び日本語学習者を対象とした日本語普及活動の実施経費の一部を助成する。

合計額 31,754,173 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	INI情報技術専門学校	モンゴル	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
2	モンゴル国立科学技術大学	モンゴル	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第10回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成。また、「技術分野の翻訳・通訳者育成のための教科書制作」について経費の一部を助成
3	モンゴル国立教育大学	モンゴル	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
4	モンゴル国立大学モンゴル言語文化学部	モンゴル	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
5	モンゴル日本語教師会	モンゴル	2011.10.15 ~ 2011.10.16	モンゴルの日本語教育関係者のネットワーク化の促進及び日本語教師のレベルアップを目的とした「2011年モンゴル日本語教育シンポジウム」の開催経費の助成
6	モンゴル・日本人材開発センター	モンゴル	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部及び、講師・スタッフの謝金を助成。更に、ラジオ日本語講座附属CD教材制作にかかる経費の一部を助成
7	王立プノンペン大学	カンボジア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第15回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
8	一二三日本語教室	カンボジア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
9	シンガポール経営大学	シンガポール	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
10	シンガポール日本文化協会	シンガポール	2011.07.03	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第42回日本大使杯日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
11	ブルネイ教育省技術教育局生涯教育課	ブルネイ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第25回ブルネイ日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
12	ブルネイ・ダルサラーム大学	ブルネイ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
13	ミャンマー元日本留学生協会	ミャンマー	2011.06.04	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第12回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
14	てっちゃんねっと・トレーニング・センター	ラオス	2011.04.01～2012.12.31	ラオスにおける日本語学習の基盤強化を目的とした「日本語・ラオス語／ラオス語・日本語」辞典の制作経費の一部を助成
15	ラオス国立大学	ラオス	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
16	スリランカ国立教育研究所	スリランカ	2011.12.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
17	ケーゴル女子学校	スリランカ	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
18	スリランカ日本語教育協会	スリランカ	2011.11.23～2012.03.02	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第24回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
19	スリランカ日本語教師会	スリランカ	2012.03.23	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第31回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
20	AOTSラホール同窓会	パキスタン	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
21	パキスタン・日本文化協会(シンド)	パキスタン	2012.03.18	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第27回カラチ日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
22	JUAAB日本語学校	バングラデシュ	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、講師・スタッフの謝金の一部、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成。また、日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第3回全国日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
23	ヴィラ・マリア・カレッジ	ニュージーランド	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
24	ウェリントン カレッジ	ニュージーランド	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
25	ウェリントン日本語教師会	ニュージーランド	2011.05.27	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「ウェリントン地域日本語弁論大会高校部門」実施経費の一部を助成
26	オークランド工科大学	ニュージーランド	2011.08.20	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「オークランド地域日本語弁論大会高校部門」実施経費の一部を助成
27	オークランド大学	ニュージーランド	2011.08.27	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「日本語で遊びましょう」実施経費の一部を助成
28	オークランド ニュージーランド 日本協会	ニュージーランド	2011.04.01～2012.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第1回俳句・書道コンテスト」の教材購入経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
29	オタゴ・サウスランド日本語教師会	ニュージーランド	2011.06.30	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「サウスランド日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
30	クイーン マーガレット カレッジ	ニュージーランド	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
31	ケルストン ガールズ カレッジ	ニュージーランド	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
32	サンタ マリア カレッジ	ニュージーランド	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
33	タウハラ高校	ニュージーランド	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
34	ロズミニカレッジ	ニュージーランド	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
35	エルサルバドル大学人文科学部言語学科	エルサルバドル	2011.11.26	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第9回エルサルバドル日本語スピーチコンテスト 2011」実施経費の一部を助成
36	ホセ・シメオン・カニャス中米大学	エルサルバドル	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
37	ハバナ大学外国語学部	キューバ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第16回ハバナの日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。更に、海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
38	グアテマラ日本人会	グアテマラ	2011.08.26 ~ 2011.08.28	中米・カリブ地域の日本語教育関係者のネットワーク化の推進及び日本語教師のレベルアップを目的とした「第3回中米・カリブ日本語教育セミナー」実施経費の一部を助成
39	国立サンカルロス大学言語センター	グアテマラ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
40	コスタリカ日本人会	コスタリカ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした、「第11回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。更に、海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
41	ドミニカ共和国日本語教師グループ	ドミニカ共和国	2011.11.13	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第2回ドミニカ共和国日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
42	中米大学	ニカラグア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第14回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成。更に、海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
43	パナマ工科大学	パナマ	2011.07.15	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第1回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
44	ホンジュラス留学生の会	ホンジュラス	2011.10.01～2011.10.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第5回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
45	社団法人在亜日本語教育連合会	アルゼンチン	2011.04.01～2012.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第19回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成。更に、海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
46	在ウルグアイ日本人会	ウルグアイ	2011.10.01～2011.11.30	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第21回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
47	コロンビア日系人協会附属日本語学校	コロンビア	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成。日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第21回コロンビア・カリ日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
48	サンティアゴ大学	チリ	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
49	チリ中央日本人会	チリ	2011.11.12	チリにおける日本語教育基盤の強化を目指して、初級後半の日本語学習者のコミュニケーション能力習得を目的とした教材制作費の一部を助成
50	社団法人パラグアイ日本人会連合会	パラグアイ	2011.09.02～2011.09.03	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第23回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
51	日本語教師の会	パラグアイ	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
52	ペルー日系人協会	ペルー	2011.11.01	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第31回全国日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
53	社団法人サンフアン日本ボリビア協会	ボリビア	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
54	国立アイスランド大学	アイスランド	2011.04.01～2012.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第8回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成。更に、海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
55	ハムラフリーズ高等学校	アイスランド	2011.04.18～2011.04.30	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第4回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
56	アイルランド国立大学コーク校	アイルランド	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、講師・スタッフの謝金の一部、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
57	アイルランド日本語教師会	アイルランド	2011.04.01～2012.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第10回アイルランド日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。更に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成。また、アイルランドの中等教育用のヨーロッパ言語ポートフォリオ日本語版作成と導入のための経費の一部を助成
58	シウンドゥリ・スクール	ギリシャ	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
59	日本文化研究会	ギリシャ	2011.04.01～2012.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第31回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。更に、海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
60	スイス日本語教師の会	スイス	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成。スイス及びリヒテンシュタインの日本語教育関係者のネットワーク化の促進及び日本語教師のレベルアップを目的とした「第19回日本語教育セミナー」の開催経費の助成
61	オーフス大学	デンマーク	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
62	ノルウェー国立オスロ大学文化東洋言語学部	ノルウェー	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成
63	フィンランド日本語日本文化教師の会	フィンランド	2012.03.24	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第27回日本語で語る会」実施経費の一部を助成
64	ヨウツェノ成人学校	フィンランド	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
65	ベルギー日本語教師会	ベルギー	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
66	リエージュ大学	ベルギー	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成
67	ルーヴァン・カトリック大学	ベルギー	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成。ヨーロッパ言語共通参照枠 (Common European Framework of Reference for Languages : CEFR) の日本語に関する研究プロジェクト「CEFR B1・B2の言語活動・能力を考えるプロジェクト—B1レベルの口頭活動を考える—」の実施経費の一部を助成
68	リスボン新大学言語研究所	ポルトガル	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
69	ルクセンブルク市ギャルソン公立中等学校	ルクセンブルク	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
70	エシュ・シュア・アルゼット市フベル・クレマン公立中高校	ルクセンブルク	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
71	バクー国立大学	アゼルバイジャン	2011.04.01～2012.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第10回バクー日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
72	ティラナ工芸大学外国言語学センター	アルバニア	2011.04.01～2012.03.31	アルバニアにおける日本語学習の基盤強化を目的とした「日本語・アルバニア語」辞典の制作・出版経費の一部を助成
73	ロシア・アルメニア(スラブ)大学	アルメニア	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
74	ウクライナ日本語教師会	ウクライナ	2011.09.24～2012.03.24	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第16回ウクライナ日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。ウクライナの日本語教育関係者のネットワーク化の促進及び日本語教師のレベルアップを目的とした「第11回ウクライナ日本語教育セミナー」の開催経費の助成
75	キエフ国立言語大学附属東洋語大学	ウクライナ	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
76	ウズベキスタン日本語教師会	ウズベキスタン	2011.08.15～2012.03.26	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第20回ウズベキスタン日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。ウズベキスタン及び中央アジア諸国の日本語教育関係者のネットワーク化の促進及び日本語教師のレベルアップを目的とした「ウズベキスタン日本語教育セミナー2011・中央アジア巡回セミナー」の開催経費の助成
77	ウズベキスタン・日本人材開発センター	ウズベキスタン	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
78	ウズベキスタン・日本人材開発センター ブハラ分室	ウズベキスタン	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
79	サマルカンド国立外国語大学		2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
80	世界経済外交大学	ウズベキスタン	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
81	旧市街学校	エストニア	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、講師・スタッフの謝金の一部及び、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
82	カザフスタン日本語教師会	カザフスタン	2011.08.19～2012.03.10	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第14回カザフスタン日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。更に、日本語教育関係者のネットワーク化の促進及び日本語教師のレベルアップを目的とした「中央アジア巡回セミナー」のカザフスタン開催経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
83	アラバエワ名称キルギス国立教育大学	キルギス	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
84	キルギス日本語教師会	キルギス	2011.04.30～2011.08.24	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「2011年キルギス共和国日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
85	ザグレブ大学哲学部	クロアチア	2011.04.01～2012.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第11回日本語発表会・スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
86	コメニウス大学	スロバキア	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
87	タジク・ロシア・ギムナジウム特別中等学校	タジキスタン	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
88	タジキスタン国立言語大学	タジキスタン	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
89	パラツキー大学哲学部	チェコ	2011.09.01～2012.08.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部、及び日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
90	アザジ名称世界言語大学	トルクメニスタン	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成
91	ヴァルナ総合学校「リューベン・カラベロフ」	ブルガリア	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
92	キリル・メトディ国際基金	ブルガリア	2011.04.16	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第17回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
93	ルセ市ヴァシル・レフスキ総合学校	ブルガリア	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
94	アダム・ミツキェヴィチ大学	ポーランド	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
95	モルドバ日本交流財団	モルドバ	2012.01.28	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第7回モルドバ日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
96	日本語弁論大会実行委員会	ラトビア	2011.12.01～2012.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第11回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
97	ラトビア大学人文科学部アジア学科	ラトビア	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
98	リーガ文化学校	ラトビア	2011.04.01～2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
99	ヴィタウタス・マグヌス大学	リトアニア	2011.06.15 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、自習用日本語ホームページの制作に対し、経費の一部を助成
100	リトアニア日本語弁論大会実行委員会	リトアニア	2011.11.09	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第3回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
101	「ディミトリエ・カンテミル」キリスト教大学	ルーマニア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
102	ルーマニア日本語教師会	ルーマニア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ルーマニアの日本語教育関係者のネットワーク化の促進及び日本語教師のレベルアップを目的とした「第5回ルーマニア日本語教師会日本語学・日本語教育シンポジウム」の開催経費の助成。日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第16回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
103	ハイファ大学	イスラエル	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
104	オマーン・日本友好協会	オマーン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
105	クウェート日本人会	クウェート	2011.04.28	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第5回日本語スピーチコンテスト 日本クウェート国交樹立50周年記念大会」実施経費の一部を助成
106	アクデニズ大学	トルコ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
107	アンカラ大学	トルコ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
108	アンカラ日本語弁論大会実行委員会	トルコ	2011.11.01 ~ 2011.11.30	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第20回アンカラ日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
109	イスタンブール日本語弁論大会実行委員会	トルコ	2012.03.10	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第21回イスタンブール日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
110	サバンジ大学	トルコ	2011.08.22 ~ 2011.08.23	トルコにおける日本語教育関係者のネットワーク化の促進及び日本語教師のレベルアップを目的とした「第10回トルコ日本語教師会大会」の開催経費の一部を助成
111	土日基金文化センター	トルコ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
112	ネヴシェヒル大学	トルコ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
113	ハジェッテペ大学言語教育実践研究センター	トルコ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
114	ヨルダン大学	ヨルダン	2012. 03. 24	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第15回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
115	エル・マナール大学ブルギバ現代言語研究所	チュニジア	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
116	JICAモロッコ日本語教師会	モロッコ	2011. 04. 23	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第12回日本語スピーチ大会」実施経費の一部を助成
117	ハッサン2世モハメディア・カサブランカ大学ベンムシック校	モロッコ	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
118	モハメッド5世大学	モロッコ	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
119	アフリカ友好協会	カメルーン	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第4回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
120	国際バイリンガル・アフリカ大学	コートジボワール	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
121	明治文化学院	コートジボワール	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
122	富士山クラブ	マダガスカル	2011. 04. 01 ~ 2011. 09. 30	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成
123	日マ日本語学校	マダガスカル	2011. 04. 01 ~ 2012. 02. 29	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成

日本語事業費

4. 研修事業費 / (1) EPA研修(交付金)

日本とインドネシア及びフィリピンとの経済連携協定(EPA)に基づき、日本に受け入れる看護師・介護福祉士候補者に対し、来日前に現地で日本語研修を行う。

合計額 259,223,681 円

	事業名	対象国	都市	期間	事業内容
1	インドネシア研修	インドネシア	ジャカルタ	2011.01.21 ~ 2012.03.31	看護師・介護福祉士候補者に対して日本語の指導を行う講師を対象に、派遣前研修を実施
2	日本語講師派遣 (松島 幸男)	インドネシア	ジャカルタ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	看護師・介護福祉士候補者を対象に、日本渡航前の予備教育として、日本語を指導
3	日本語講師派遣 (森 美紀)	インドネシア	ジャカルタ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	看護師・介護福祉士候補者を対象に、日本渡航前の予備教育として、日本語を指導
4	日本語講師派遣 (山本 晃彦)	インドネシア	ジャカルタ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	看護師・介護福祉士候補者を対象に、日本渡航前の予備教育として、日本語を指導
5	フィリピン研修	フィリピン	マニラ	2011.02.02 ~ 2012.03.31	看護師・介護福祉士候補者に対して日本語の指導を行う講師を対象に、派遣前研修を実施
6	日本語講師派遣 (青沼 国夫)	フィリピン	マニラ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	看護師・介護福祉士候補者を対象に、日本渡航前の予備教育として、日本語を指導
7	日本語講師派遣 (鈴木 恵理)	フィリピン	マニラ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	看護師・介護福祉士候補者を対象に、日本渡航前の予備教育として、日本語を指導

日本語事業費

4. 研修事業費 / (2) EPA研修(受託)

日本とインドネシア及びフィリピンとの経済連携協定に基づき、日本に受け入れる看護師・介護福祉士候補者に対し、来日前に現地で日本語研修を行う。

合計額 65,994,113 円

	事業名	対象国	都市	期間	事業内容
1	インドネシア研修	インドネシア	ジャカルタ	2011.02.02 ~ 2011.08.31	インドネシアにおける日本語予備教育事業の実施
2	フィリピン研修	フィリピン	マニラ	2011.02.02 ~ 2011.08.31	フィリピンにおける日本語予備教育事業の実施
3	日本語講師派遣	インドネシア フィリピン	ジャカルタ マニラ	2011.01.18 ~ 2011.08.31	インドネシア及びフィリピンで実施されるEPA日本語予備教育事業で指導にあたる日本語講師を派遣

日本語事業費

5. 日本語能力試験費 / (1) 日本語能力試験実施

日本語を母語としない日本語学習者を対象として、日本語能力を測定・認定する日本語能力試験を財団法人日本国際教育支援協会と共催で実施。2010年から開始したN1～N5の5レベルからなる新試験を実施。国際交流基金は、海外の実施機関の協力を得て海外での試験実施を行い、2011年7月3日（日）実施の第1回試験では海外20の国・地域、96都市で212,177名が受験、12月4日（日）実施の第2回試験では海外60の国・地域、196都市で275,610名が受験した。

合計額 216,899,140 円

	国・地域	都市	第1回 受験者数	第2回 受験者数
1	韓国	ソウル	15,182	15,317
2		釜山	4,773	4,671
3		全州	782	872
4		済州	439	468
5		仁川	2,275	2,430
6		水原	1,968	2,110
7		城南	1,672	1,747
8		安養	1,652	1,849
9		天安	861	1,121
10		清州	606	691
11		大田	1,465	1,635
12		光州	1,354	1,342
13		春川	509	607
14		高陽	1,174	1,603
15		富川	752	711
16		江陵	282	392
17		金海	352	377
18		梁山	162	182
19		大邱	2,063	2,186
20		龜尾	280	312
21		安東	138	127
22		昌原	818	859
23		晋州	315	395
24		蔚山	802	833
25		浦項	360	368
26	中国	北京	6,880	6,869
27		上海	14,447	15,150
28		長春	4,504	3,666
29		大連	14,049	14,140
30		瓜州	10,163	11,732
31		瀋陽	3,186	3,234
32		天津	4,975	5,389
33		ハルビン	3,112	3,250
34		西安	3,313	3,781
35		重慶	1,346	1,738
36		済南	2,526	2,584
37		武漢	4,778	4,748
38		厦門	2,152	2,053
39		杭州	4,538	5,118
40		フフホト	391	415
41		洛陽	1,248	1,363
42		蘇州	4,316	4,978
43		青島	3,527	3,774
44		長沙	3,565	3,632
45		成都	1,514	1,379
46		南京	4,959	5,283
47		合肥	2,386	2,397
48		深セン	3,529	2,648
49		南昌	2,476	2,746
50		石家荘	888	898
51		太原	580	537
52		寧波	1,617	1,648
53		無錫	2,519	2,830
54		貴陽	463	511
55		ウルムチ	93	101
56		南寧	735	767
57		イ坊	684	566
58	揚州	674	827	
59	昆明	690	704	
60	海口	735	748	
61	延吉	1,014	1,072	
62	蘭州	443	426	
63	保定	943	1,360	
64	南通	1,768	1,917	
65	西寧	141	130	
66	福州	1,078	1,247	

※台湾での実施は、財団法人交流協会と共催で実施。

	国・地域	都市	第1回 受験者数	第2回 受験者数	
67	香港	香港	5,351	7,212	
68		マカオ	—	246	
69	<台湾>	台北	15,195	19,232	
70		高雄	5,285	6,782	
71		台中	4,919	6,403	
72		ウランバートル	—	795	
73	インドネシア	ジャカルタ	1,632	2,053	
74		バンドン	—	1,478	
75		スラバヤ	—	1,184	
76		メダン	—	594	
77		ジョクジャカルタ	—	1,022	
78		パダン	—	444	
79		デンパサール	—	496	
80		カンボジア	プノンペン	523	588
81		シンガポール	シンガポール	1,072	3,130
82		タイ	バンコク	4,718	5,632
83	チェンマイ		597	1,302	
84	ソクラ		—	305	
85	コンケン		—	646	
86	フィリピン		マニラ	—	1,757
87	セブ	—	342		
88	ダバオ	—	306		
89	ブルネイ	バンドルシリガワン	—	44	
90	ベトナム	ハノイ	3,250	3,740	
91		ホーチミン	—	6,286	
92	ダナン	—	1,041		
93	マレーシア	クアラルンプール	492	1,300	
94		ペナン	145	184	
95		イボ	—	94	
96		コタキナバル	—	153	
97		ジョホールバル	—	190	
98	ミャンマー	ヤンゴン	—	1,725	
99	ラオス	ビエンチャン	—	118	
100	インド	ニューデリー	740	1,015	
101		ブネ	615	654	
102		コルカタ	144	179	
103		チェンナイ	773	1,149	
104		ベンガルール	—	421	
105		ムンバイ	340	495	
106		スリランカ	コロンボ	395	972
107		ネパール	カトマンズ	268	510
108		パキスタン	イスラマバード	—	46
109			カラチ	—	42
110	バングラデシュ	ダッカ	69	91	
111	モルディブ	マレ	—	17	
112	オーストラリア	キャンベラ	—	44	
113		ブリスベン	—	151	
114		パース	—	97	
115		シドニー	—	400	
116		メルボルン	—	184	
117		アデレード	—	46	
118		ニューージーランド	オークランド	120	119
119	ウェリントン	39	56		
120	クライストチャーチ	—	55		
121	カナダ	バンクーバー	—	336	
122		トロント	—	297	
123		エドモントン	—	71	
124	米国	ロサンゼルス	—	400	
125		シカゴ	—	358	
126		ニューヨーク	—	299	
127		ホノルル	—	80	
128		アトランタ	—	215	
129		サンフランシスコ	—	371	
130		ワシントンD. C.	—	247	
131		シアトル	—	237	
132		フェイエットビル	—	88	

	国・地域	都市	第1回 受験者数	第2回 受験者数	
133	メキシコ	フィラデルフィア	—	102	
134		ボストン	—	161	
135		メキシコ・シティー	—	1,097	
136		モンテレイ	—	187	
137		アルゼンチン	ブエノスアイレス	—	603
138		エクアドル	キト	—	45
139		コロンビア	ボゴタ	—	62
140		チリ	サンティアゴ	—	121
141		ブラジル	アスンシオン	—	172
142			アマンバイ	—	122
143	イグアス		—	117	
144	エンカルナシオン		—	135	
145	ピラポ		—	100	
146	ベネズエラ	サンパウロ	—	1,965	
147		ロドリーナ	—	362	
148		ベレーン	—	81	
149		リオ・デ・ジャネイロ	—	252	
150		ポルトアレグレ	—	70	
151		ブラジリア	—	120	
152		サルバドール	—	57	
153		マナウス	—	68	
154		カラカス	—	170	
155		ベルー	リマ	—	320
156	ペルー	サンタクルス	203	—	
157		ラパス	65	—	
158	アイルランド	ダブリン	—	65	
159	イタリア	ローマ	—	244	
160		ミラノ	—	295	
161		ヴェネツィア	—	229	
162		英国	ロンドン	294	525
163		エディンバラ	—	50	
164		オーストリア	ウィーン	—	72
165		ギリシャ	アテネ	—	304
166		スイス	ベルン	—	228
167		スペイン	バルセロナ	—	333
168		マドリッド	—	444	
169	デンマーク	コペンハーゲン	—	79	
170	ドイツ	デュッセルドルフ	252	288	
171		シュトゥットガルト	—	277	
172		ベルリン	—	171	
173		ハンブルク	—	108	
174		フィンランド	ヘルシンキ	—	178
175	フランス	パリ	—	1,038	
176		リヨン	—	268	
177		ポルトガル	ポルト	—	45
178		ウクライナ	キエフ	—	555
179		ウズベキスタン	タシケント	—	291
180		カザフスタン	アルマトイ	74	66
181		キルギス	ビシュケク	—	186
182		セルビア	ベオグラード	—	53
183		チェコ	ブルノ	—	224
184		ハンガリー	ブダペスト	—	429
185	ブルガリア	ソフィア	—	254	
186	ポーランド	ワルシャワ	206	437	
187	ルーマニア	ブカレスト	—	374	
188	ロシア	モスクワ	264	961	
189		ウラジオストク	156	213	
190		ノボシビルスク	—	265	
191		ハバロフスク	—	146	
192		ユジノサハリンスク	—	104	
193		イルクーツク	—	125	
194		サンクトペテルブルク	—	403	
195		トルコ	アンカラ	—	249
196		エジプト	カイロ	—	186
197		モロッコ	ラバト	—	143
198	ケニア	ナイロビ	—	89	

人 数 計 212,177 275,610
 総 計 487,787

日本語事業費

6. 試験制作費 / (1) 試験問題作成・分析評価

課題遂行のための言語コミュニケーション能力測定を重視した新しい日本語能力試験の問題作成、得点等化を行い尺度得点による得点算出、及び、試験に関する妥当性と信頼性を検証するため問題の分析評価を行った。また、旧試験に関する分析評価報告書を刊行するとともに、新試験の各レベル別の公式問題集を刊行。

合計額 123,610,401 円

	事業名	期間	事業内容
1	試験問題作成	2011.04.01 ~ 2012.03.31	旧試験の4段階（1級から4級）から5段階（N1からN5）にレベルを増設した新試験について、言語知識（文字・語彙・文法）、読解、聴解の問題をレベル別に作成するとともに、そのために必要な委員会を運営
2	分析評価	2011.04.01 ~ 2012.03.31	得点等化を行い、尺度得点により得点算出を行うとともに、試験問題の分析評価を行った。また、そのために必要な委員会を運営するとともに模擬試験を実施
3	旧試験の分析評価報告書の刊行	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本語教育の研究者等に日本語テスト研究用資料を提供するため、『平成21年度第1回・第2回日本語能力試験 分析評価に関する報告書』を刊行
4	新試験の公式問題集の刊行	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本語学習者に新しい日本語能力試験についての知識を深め、新試験の受験を促す目的で、試験1回分に相当する問題数で構成された『日本語能力試験公式問題集』をN1～N5のレベル毎の5分冊にて刊行

日本語普及事業に必要な経費

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費

- (1) 指導的日本語教師の養成（日本語教育指導者）
- (2) 指導的日本語教師の養成（海外日本語教師上級研修）
- (3) 海外日本語教師研修（長期）
- (4) 海外日本語教師研修（短期）
- (5) 海外日本語教師研修（国別）
- (6) 受託研修（日本語国際センター）
- (7) 受託研修（日本語国際センター）〔アセアン〕
- (8) 受託研修（日本語国際センター）〔サーク〕
- (9) 地域交流研修（日本語国際センター）
- (10) JF講座現地講師訪日研修

2. 制作事業費

- (1) 日本語教材・教授法等開発・普及
- (2) 図書館運営（日本語国際センター）

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (1) 指導的日本語教師の養成(日本語教育指導者)

海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、1年間で博士前期課程（修士）を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。

合計額 23,935,223 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	日本語文化研究プログラム (第5期生)	モンゴル	1	2007.09.27 ~ 2012.03.21	海外の日本語教育が盛んな国、若しくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、すなわち日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。政策研究大学院大学と連携して運営する3年間の博士課程に、ウラムバヤル・ツェツェグドラム(ULAMBAYAR, Tsetsegdulam: モンゴル国立科学技術大学) が参加
2	日本語文化研究プログラム (第6期生)	インドネシア	1	2008.09.25 ~ 2012.03.31	海外の日本語教育が盛んな国、若しくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、すなわち日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。政策研究大学院大学と連携して運営する3年間の博士課程に、ナヨアン・フランキー・レイモンド(NAJOAN, Franky Reymond: マナド国立大学) が参加
3	日本語文化研究プログラム (第7期生)	中国	1	2009.09.29 ~ 2012.09.29	海外の日本語教育が盛んな国、若しくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、すなわち日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。政策研究大学院大学と連携して運営する3年間の博士課程に、張勇(ZHANG, Yong: 揚州大学外国語学院) が参加
4	日本語文化研究プログラム (第8期生)	ベトナム	1	2010.10.01 ~ 2013.09.30	海外の日本語教育が盛んな国、若しくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、すなわち日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。政策研究大学院大学と連携して運営する3年間の博士課程に、グエン・ソン・ラン・アイン(NGUYEN, Song Lan Anh: ハノイ大学) が参加
5	日本語教育指導者養成プログラム (第10期生)	中国 モンゴル ミャンマー スリランカ パラグアイ キルギス	1 1 1 1 1 1	2010.09.28 ~ 2011.09.17	海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象とした、1年間の修士課程。各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。政策研究大学院大学と連携し、2機関の指導講師による日本語教育の高度で実践的な学位プログラムとする。最終試験で所定の成績に達した者に対して、政策研究大学院大学の修士号(日本語教育)を授与する。第10期生として、6カ国より6名を招へい

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
6	日本語教育指導者養成プログラム(第11期生)	韓国 中国 モンゴル インドネシア	1 1 1 1	2011.09.27 ~ 2012.09.15	海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象とした、1年間の修士課程。各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。政策研究大学院大学と連携し、2機関の指導講師による日本語教育の高度で実践的な学位プログラムとする。最終試験で所定の成績に達した者に対して、政策研究大学院大学の修士号(日本語教育)を授与する。今年度は、4カ国より4名を招へい

1. 研修事業費 / (2) 指導的日本語教師の養成(海外日本語教師上級研修)

日本語国際センター研修修了生の中で、より高度な専門知識、技能を求め、日本語教育実践において実現・解決したい具体的な課題を有する者を2カ月間招へいし、自立的な問題解決能力の育成を図ることを目的とする。

合計額 4,731,122 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	海外日本語教師上級研修	韓国 中国 マレーシア ブルガリア ロシア	1 6 2 1 1	2011.10.26 ~ 2011.12.22	日本語教師として豊富な知識と高い能力を持つ者を対象に、教育現場での専門的知識と実践能力の育成、及び各自のプロジェクトの遂行による教師としての専門性の向上を目的とした集中研修を行う。5カ国から11名を招へい

1. 研修事業費 / (3) 海外日本語教師研修(長期)

海外の中・高等教育機関等の日本語教師養成を図るため、日本語教授経験の比較的少ない教師及び日本語教師となることが既に決まっている者を5カ月半招へいし、日本語運用能力の向上と基礎的な日本語教授法の研修を行う。

合計額 64,376,544 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	海外日本語教師長期研修	韓国 モンゴル インドネシア カンボジア タイ	1 2 4 3 3	2011.09.13 ~ 2012.03.09	29カ国、55名の外国人若手日本語教師を5カ月半招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を実施

附属機関日本語国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	フィリピン	3		
	ベトナム	3		
	マレーシア	2		
	ミャンマー	1		
	インド	4		
	スリランカ	2		
	ネパール	1		
	サモア	1		
	トンガ	1		
	米国	1		
	エルサルバドル	1		
	グアテマラ	1		
	メキシコ	1		
	エクアドル	1		
	コロンビア	1		
	チリ	1		
	ブラジル	4		
	カザフスタン	1		
	キルギス	2		
	タジキスタン	1		
	ハンガリー	1		
	ロシア	6		
	エジプト	1		
	マダガスカル	1		

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (4) 海外日本語教師研修(短期)

海外の初・中・高等教育機関等の日本語教師の教授能力の向上を図るため、日本語教師を2カ月間招へいし、日本語と日本語教授法及び日本事情の集中研修を実施する。

合計額 68,428,868 円

	事業名	所属国・地域	人数	期間	事業内容
1	海外日本語教師短期研修(春期)	モンゴル インドネシア カンボジア タイ ベトナム インド スリランカ トンガ ニュージーランド ブラジル アイルランド ロシア	2 14 1 6 4 2 4 1 1 1 1 2	2011.05.11 ~ 2011.07.01	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師(12カ国39名)を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施。 海外日本語教師研修(国別)プログラムによる「マレーシア中等教育日本語教師研修」と合同で実施
2	海外日本語教師短期研修(夏期)	モンゴル 台湾 インドネシア タイ フィリピン ベトナム ミャンマー ラオス インド スリランカ	2 2 3 2 2 7 1 1 3 1	2011.07.13 ~ 2011.09.02	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師(28カ国・地域49名)を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施

附属機関日本語国際センター事業費

事業名	所属国・地域	人数	期間	事業内容	
	ネパール	1			
	パキスタン	1			
	キリバス	1			
	カナダ	2			
	米国	4			
	ジャマイカ	1			
	メキシコ	1			
	コロンビア	1			
	ブラジル	1			
	フィンランド	1			
	ウクライナ	1			
	ウズベキスタン	1			
	エストニア	1			
	セルビア	1			
	ハンガリー	1			
	ポーランド	1			
	ロシア	4			
	トルコ	1			
3	海外日本語教師 短期研修（冬期）	韓国 中国 モンゴル 台湾 インドネシア フィリピン ベトナム	1 1 3 3 3 1 1	2012. 01. 25 ～ 2012. 03. 16	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師20カ国38名を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施

附属機関日本語国際センター事業費

事業名	所属国・地域	人数	期間	事業内容
	マレーシア	4		
	インド	3		
	ネパール	1		
	バングラデシュ	1		
	メキシコ	2		
	アルゼンチン	2		
	イタリア	1		
	ドイツ	2		
	ウクライナ	2		
	ウズベキスタン	1		
	カザフスタン	1		
	キルギス	1		
	ロシア	4		

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (5) 海外日本語教師研修(国別)

非公募による国・地域別日本語教師研修として、当該国政府（教育部など）、国際交流基金海外事務所、在外公館等からの推薦を受けた日本語教師を対象に以下の研修を行う。

合計額 37,217,583 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	大韓民国中等教育機関日本語教師研修	韓国	35	2011.08.03 ~ 2011.09.02	韓国政府教育部が選抜した中等教育機関の日本語教師35名を約1カ月間招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施
2	中国大学日本語教師研修	中国	37	2011.09.21 ~ 2011.11.11	中国の大学等高等教育機関の日本語教師37名を約2カ月間招へいし、現状とニーズに即した日本語、日本語教授法、日本事情の集中研修を実施
3	中国中等学校日本語教師研修	中国	20	2012.01.11 ~ 2012.03.02	中国の中等教育機関の日本語教師20名を約2カ月間招へいし、現状とニーズに即した日本語、日本語教授法、日本事情の集中研修を実施
4	マレーシア中等教育日本語教師研修	マレーシア	6	2011.05.11 ~ 2011.07.01	マレーシア教育省が実施している「中等教育日本語教師養成事業」に参加している日本語教師を約2カ月間招へいし、日本語、日本語教授法、日本文化の集中研修を行う。「海外日本語教師短期研修(春期)」と合同で実施

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (6) 受託研修(日本語国際センター)

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を外部から受託し実施する。

合計額 1,542,055 円

	事業名	所属国・地域	人数	期間	事業内容
1	海外児童日本体験プログラム	モンゴル インドネシア タイ ベトナム マレーシア インド スリランカ カナダ 英国 ルーマニア ロシア	1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2	2011. 10. 27 ~ 2012. 11. 09	公益財団法人 博報児童教育振興会からの受託により、同財団が実施する「世界の子ども日本語ネットワーク推進」事業に実施協力。平成23年度は、「海外教師日本研修プログラム」を実施
2	台湾日本語教師短期研修	台湾	8	2012. 01. 15 ~ 2012. 01. 21	財団法人交流協会よりの受託事業として、台湾の中等教育機関で日本語を教えている日本語教師8名を対象に、日本語、日本語教授法及び日本文化についての17日間の研修を実施
3	日露青年交流センター日本語教師派遣前研修	日本	20	2011. 07. 31 ~ 2011. 08. 11	日露青年交流センターが主催する日本語教師派遣事業の派遣前研修の一部を日本語国際センターで受託し、実施
4	日露青年交流センター日本語教師研修	ロシア	9	2011. 12. 01 ~ 2011. 12. 20	日露青年交流センターが主催する日本語教師招へい研修の一部を日本語国際センターで受託し、実施

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (7) 受託研修(日本語国際センター) [アセアン]

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語教師研修事業を外部から受託し実施する。

合計額 28,871,188 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	東アジア若手日本語教師特別招へいプログラム	インドネシア カンボジア タイ フィリピン ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス インド オーストラリア	8 2 8 3 7 9 2 1 2 3	2011.05.26 ~ 2011.07.20	東アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から若手日本語教師を招へいし、日本語教育の普及及び促進の担い手となる人材育成を行うプログラム 【21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)】 <第三国間派遣事業>

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (8) 受託研修(日本語国際センター) [サーク]

日本語研修での国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 12,102,844 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	南アジア若手日本語教師特別招へいプログラム	インド スリランカ ネパール	4 8 5	2012.01.15 ~ 2012.03.10	南アジア地域協力連合 (South Asian Association for Regional Cooperation : SAARC) 諸国にある日本語教育の拠点機関等から若手日本語教師を招へいし、日本語教育の普及および促進の担い手となる人材育成を行うプログラム 【21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)】 < 第三国間派遣事業 >

1. 研修事業費 / (9) 地域交流研修(日本語国際センター)

日本語国際センターの位置する埼玉県、ならびに全国各自治体の国際交流活動に対する協力の観点から、JETプログラム (語学指導等を行う外国青年招致事業) 参加者等に対し、日本語及び教授法の研修を行う。

合計額 28,000 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	JET参加者研修	中国 シンガポール オーストラリア カナダ 米国 英国 フランス ラトビア	2 1 2 2 9 2 2 1	2012.03.21 ~ 2012.03.27	全国のJETプログラム参加者の中から希望者 (8カ国21名) に対し、基礎的な日本語教授法研修を実施

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (10) JF講座現地講師訪日研修

国際交流基金が海外で実施する日本語講座（JF講座）の担当教師を日本語国際センターに招へいし、講義・ワークショップ・素材収集・情報交換などを通じて、講座運営に必要なノウハウの習得を目指す。

合計額 6,812,328 円

	事業名	参加国	人数	期間	事業内容
1	海外日本語教師短期研修（夏期）	カザフスタン	1	2011.07.13 ~ 2011.09.02	JF海外日本語講座に携わる講師を招へいし、海外日本語教師夏期短期研修に参加することで、実践的な知見を高める
2	JF講座講師研修	モンゴル	1	2011.09.11 ~ 2011.10.08	JF海外日本語講座に携わる講師を招へいし、JF講座に関する共通概念を構築し、講義やワークショップ等を通じて、相互の経験をシェアしつつ、実践的な知見を高める
		タイ	2		
		フィリピン	2		
		マレーシア	2		
		オーストラリア	1		
		カナダ	1		
		米国	2		
		メキシコ	1		
		スペイン	1		
		ドイツ	3		
		ウクライナ	1		
		ハンガリー	1		
		ロシア	1		
エジプト	1				
3	海外日本語教師長期研修	ウクライナ	1	2011.09.13 ~ 2012.03.09	JF海外日本語講座に携わる講師を招へいし、海外日本語教師長期研修に参加することで、実践的な知見を高める
		カザフスタン	1		

附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費 / (1) 日本語教材・教授法等開発・普及

日本語学習の多様なニーズに対応すべく、教育の現場で必要とされている教材、教授法等を開発・普及する事業。具体的には、「JF日本語教育スタンダード」の開発・普及、インターネット等を利用した日本語教材の開発・情報提供、更に教材の各国語版への翻訳やテレビ日本語講座の放映を促進。

合計額 98,709,519 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	WEBエリン	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	WEB版「エリンが挑戦！にほんごできます。」に関し、日本語版、英語版に加え、平成22年度に制作を開始した中国語版、韓国語版、スペイン語版、ポルトガル語版を公開。同サイトの広報、及びユーザーの利用状況を踏まえてのコンテンツの見直し・機能拡充等を実施。また、「海外日本語教育機関調査2009」やユーザーアンケート等の結果に基づき、新たにフランス語、インドネシア語版の制作を実施
2	『基礎日本語学習辞典』	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	『基礎日本語学習辞典』各国語版の普及・広報活動の支援、翻訳出版に対する支援を実施
3	『教科書を作ろう』	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本語教材作成支援として、希望者に対して『教科書を作ろう』の日本語版または英語版の配布を実施
4	JF日本語教育スタンダード	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	平成22年度に正式発表した「JF日本語教育スタンダード2010」(以下、「JFスタンダード」)の普及活動を実施。国際交流基金各海外拠点、同基金派遣専門家等に対する情報提供、指導、併せて国内外の各種セミナー、教師研修会、共同研究等を通じた紹介、アドバイスを実施。更に、「JFスタンダードサイト」にて「JFスタンダード」(3章を除く)の英語版データを公開。また、「みんなの「Can-do」サイト」の検索等利便性向上のため、同サイトの機能改修及び追加構築も実施
5	まるごと入門 (A1)	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「JF日本語教育スタンダード」A1レベルに準拠した日本語教材を制作し、完成。制作された教材は国際交流基金海外拠点等のJF講座(日本語講座)において順次試用開始
6	まるごと初級 (A2-1)	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「JF日本語教育スタンダード」A2レベルに準拠した日本語教材の制作を実施
7	まるごと初級 (A2-2)	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「JF日本語教育スタンダード」A2レベルに準拠した日本語教材の開発・制作を実施
8	DVD・TV映像教材	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	映像教材「エリンが挑戦！にほんごできます。」に関し、国際交流基金の各海外拠点や在外公館の協力を得て、海外におけるTV放映を継続して実施。さらに放映国・地域の増加を促進
9	日本語教育紀要	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	国際交流基金の日本語教育事業に携わる日本語教育専門員、日本語専門家、職員等の教育・研究活動の成果を発表するための論集。ホームページにも全文掲載。平成23年度は第8号を発行
10	日本語教授法シリーズ	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	既刊教材のセミナーや研修会等での活用、及び必要に応じて改訂・増刷を実施
11	日本語教育通信	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	主に海外の日本語教師に役立つ情報の提供を目的としたウェブページ(国際交流基金ウェブサイト内、月1回更新)を運営。教材情報、授業のアイデア、最新ニュース等の国内外の日本語教育情報を発信
12	みんなの教材サイト	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	前年度に引き続き、ユーザーから要望の高い日本語教育教材用素材(写真・読解素材・音声)の追加を実施。さらにコミュニティ機能及び管理機能を拡充

附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費 / (2) 図書館運営(日本語国際センター)

国内外における日本語教育の促進を目的として、日本語教科書・教材をはじめ、日本語教育、日本語、言語学、日本の文化・社会、外国語教育に関する資料や情報を収集・提供する日本語教育専門図書館を運営。日本語国際センター研修参加者や内外の日本語教育関係者の教育研究活動の支援、所蔵資料の一般公開、国際交流基金内外の関係機関との相互協力などの図書館サービスを実施。

合計額 12,318,007 円

	事業名	蔵書数	事業内容	利用者数
1	図書館運営	図書40,412点、雑誌類726種、新聞11種、マイクロ資料427点、視聴覚資料 7,178点、電子資料809点	国際交流基金日本語国際センターが招へいする海外の日本語教師など内外の日本語教育関係者の教育研究活動を支援すると同時に所蔵資料を一般に広く公開する日本語教育専門図書館として、資料の収集・整理・提供及びレファレンスサービス、基金内外の関係機関と連携した資料の相互利用など各種図書館サービスを実施	19,666

日本語普及事業に必要な経費

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費

- (1) 図書館運営（関西国際センター）
- (2) 専門日本語研修（外交官）
- (3) 専門日本語研修（公務員）
- (4) 専門日本語研修（文化・学術専門家）
- (5) 日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）
- (6) 日本語学習者訪日研修（大学生）（関西国際センター）
- (7) 日本語学習者訪日研修（高校生）（関西国際センター）
- (8) 李秀賢氏記念韓国青少年招へい研修
- (9) 地域交流研修（関西国際センター）
- (10) 受託研修（関西国際センター）
- (11) 受託研修（関西国際センター）〔アセアン〕
- (12) 受託研修（関西国際センター）〔サーク〕
- (13) 国内連携による日本語普及支援（招へい）
- (14) Eラーニング開発事業

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (1) 図書館運営 (関西国際センター)

日本文化・社会の紹介と日本理解のための情報提供を目的として、日本関連の各分野を紹介する各国語の資料や多言語に翻訳された日本の書籍等を収集・提供する専門図書館を運営。関西国際センターが行う研修参加者や、内外の日本研究者の研究活動の支援、所蔵資料の一般公開、国際交流基金内外の関係機関との相互協力などの図書館サービスを提供する。

合計額 15,352,170 円

	事業名	蔵書数	事業内容	利用者数
1	図書館運営	図書48,003点、雑誌類266種、新聞15種、マイクロフィルム1,387点、視聴覚資料1,713点	国際交流基金関西国際センターが招へいする海外の外交官・公務員や日本研究を行う研究者、海外の日本語学習者等研修参加者、並びに内外の日本研究者を支援すると同時に所蔵資料を一般に公開する専門図書館として、資料の収集・整理・提供及びレファレンスサービス、在外の国際交流基金関係図書館や国内の関係機関と連携した資料の相互利用など各種図書館サービスを実施	16,318

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (2) 専門日本語研修(外交官)

諸外国の若手外交官を8カ月間日本に招へいして、日本語及び日本事情の長期集中研修を実施する。

合計額 49,131,666 円

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1 平成22年度外交官 日本語研修	インドネシア	1	2010.10.06 ~ 2011.06.03	外務省の協力を得て、海外の若手外交官を日本に招へいし、業務上必要な日本語能力の獲得及び日本文化・社会の理解を目的とした日本語・日本事情に関する8カ月間の研修を実施
	カンボジア	2		
	タイ	1		
	フィリピン	1		
	ブルネイ	1		
	マレーシア	1		
	ミャンマー	2		
	ラオス	1		
	スリランカ	1		
	ブータン	1		
	トンガ	1		
	バヌアツ	1		
	アルゼンチン	1		
	コロンビア	1		
	アゼルバイジャン	1		
	アルメニア	1		
	ジョージア	1		
	コソボ	1		
	セルビア	1		
	アフガニスタン	1		
イエメン	1			
クウェート	1			

附属機関関西国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	シリア	1		
	トルコ	1		
	パレスチナ	1		
	スーダン	1		
	ガボン	1		
	ジブチ	1		
	ベナン	1		
2 平成23年度外交官日本語研修	インドネシア	1	2011.09.21 ~ 2012.05.18	外務省の協力を得て、海外の若手外交官を日本に招へいし、業務上必要な日本語能力の獲得及び日本文化・社会の理解を目的とした日本語・日本事情に関する8カ月間の研修を実施
	タイ	1		
	ベトナム	1		
	ミャンマー	1		
	ラオス	2		
	パキスタン	1		
	バングラデシュ	1		
	パプアニューギニア	1		
	グアテマラ	1		
	パナマ	1		
	エクアドル	1		
	ベネズエラ	1		
	ペルー	1		
	アルメニア	1		
	キルギス	1		
	アフガニスタン	1		
	カタール	1		
	トルコ	1		

附属機関関西国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	エジプト	1		
	スーダン	1		
	チュニジア	1		
	アンゴラ	1		
	コンゴ民主共和国	1		
	ザンビア	1		
	ジンバブエ	1		
	トーゴ	1		
	モーリタニア	1		
	リベリア	1		

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (3) 専門日本語研修(公務員)

諸外国の政府・公的機関、日本政府の代表部が置かれている国際機関の公務員等で、業務上の目的で日本語の習得を必要とする者を、8カ月間日本に招へいして、日本語及び日本事情の長期集中研修を実施する。

合計額 14,605,548 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成22年度公務員 日本語研修	モンゴル インドネシア ベトナム ラオス モルドバ イラク イラン ザンビア	1 1 1 1 1 1 1 1	2010.10.06 ~ 2011.06.03	外務省の協力を得て、海外の若手公務員を日本に招へいし、業務上必要な日本語能力の獲得及び日本文化・社会の理解を目的とした日本語・日本事情に関する8カ月間の研修を実施
2	平成23年度公務員 日本語研修	モンゴル インドネシア カンボジア ベトナム サモア コスタリカ モルドバ ギニア	1 1 2 1 1 1 1 1	2011.09.21 ~ 2012.05.18	外務省の協力を得て、海外の若手公務員を日本に招へいし、業務上必要な日本語能力の獲得及び日本文化・社会の理解を目的とした日本語・日本事情に関する8カ月間の研修を実施

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (4) 専門日本語研修(文化・学術専門家)

諸外国の研究者（社会科学又は人文科学専攻）及び海外の大学院で社会科学又は人文科学の分野を専攻し、将来日本研究関連の職業に就くことを希望している大学院生で、研究活動上の目的で日本語の習得を望む人を対象に日本語の集中研修を実施する。

合計額 36,682,399 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成23年度文化・学術専門家日本語研修(2カ月コース)	韓国 中国 モンゴル インドネシア ベトナム インド カナダ コロンビア ブラジル ベルギー アゼルバイジャン ウクライナ クロアチア ブルガリア ポーランド エジプト	3 5 1 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 4 2	2011.06.22 ~ 2011.08.17	海外の専門家(研究者、大学院生、図書館司書、博物館・美術館学芸員等)を6カ月間招へいし、各専門業務の特色に配慮したカリキュラムによる、実用的な日本語研修を実施
2	平成23年度文化・学術専門家日本語研修(6カ月コース)	韓国 中国 タイ ベトナム カナダ 米国	6 4 1 1 1 2	2011.09.21 ~ 2012.03.21	海外の専門家(研究者、大学院生、図書館司書、博物館・美術館学芸員等)を6カ月間招へいし、各専門業務の特色に配慮したカリキュラムによる、実用的な日本語研修を実施

附属機関関西国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	メキシコ	2		
	ブラジル	1		
	英国	1		
	キルギス	1		
	ジョージア	1		
	ポーランド	1		

1. 研修事業費 / (5) 日本語学習者訪日研修(各国成績優秀者)

海外の日本語教育機関等で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間招へいし、講義、研修旅行等を通じて日本語及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。

合計額 24,103,761 円

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1 平成23年度日本語学習者訪日研修(各国成績優秀者)	モンゴル	1	2011.08.31 ~ 2011.09.14	海外の日本語教育機関等において日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を日本に招へいし、日本語及び日本文化・社会への理解を深めるための研修を実施。研修旅行では京都、広島、福岡、長崎を訪問
	カンボジア	1		
	シンガポール	1		
	フィリピン	1		
	ブルネイ	1		
	ベトナム	1		
	マレーシア	1		
	ミャンマー	1		
	ラオス	1		
	インド	1		
	スリランカ	1		
	ネパール	1		
	バングラデシュ	1		
	トンガ	1		

附属機関関西国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	パプアニューギニア	1		
	マーシャル諸島	1		
	ミクロネシア	1		
	エルサルバドル	1		
	グアテマラ	1		
	コスタリカ	1		
	ドミニカ共和国	1		
	ニカラグア	1		
	ホンジュラス	1		
	メキシコ	1		
	アルゼンチン	1		
	ウルグアイ	1		
	コロンビア	1		
	チリ	1		
	パラグアイ	1		
	ブラジル	1		
	ベネズエラ	1		
	ペルー	1		
	ボリビア	1		
	アゼルバイジャン	1		
	ウクライナ	1		
	ウズベキスタン	1		
	エストニア	1		
	カザフスタン	1		
	キルギス	2		

附属機関関西国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	ジョージア	1		
	クロアチア	1		
	スロベニア	1		
	セルビア	1		
	チェコ	1		
	ハンガリー	1		
	ブルガリア	1		
	ポーランド	1		
	リトアニア	1		
	ルーマニア	1		
	ロシア	1		
	イスラエル	1		
	イラン	2		
	サウジアラビア	1		
	トルコ	1		
	バーレーン	1		
	エジプト	2		
	チュニジア	1		
	モロッコ	1		
	ガーナ	1		
	ケニア	1		
	セネガル	1		
	マダガスカル	1		

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (6) 日本語学習者訪日研修(大学生)(関西国際センター)

日本語教育の拠点機関から、日本語を学習している大学生を6週間招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。

合計額 30,563,019 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成23年度日本語学習者訪日研修(大学生/春季)	中国 カンボジア インド スリランカ アルゼンチン コロンビア チリ アゼルバイジャン クロアチア ロシア ケニア	4 1 3 1 1 1 1 1 1 3 1	2011.05.10 ~ 2011.06.23	海外の日本語教育の拠点機関から、日本語を学習している大学生を招へいし、日本語及び日本文化・社会への理解を深めるための研修を実施。神戸大学、立命館大学を訪問し、日本の学生と交流を図る
2	平成23年度日本語学習者訪日研修(大学生/秋季)	中国 インドネシア タイ ベトナム ウクライナ カザフスタン スロバキア チェコ ハンガリー ブルガリア ベラルーシ	7 3 3 4 2 1 1 1 2 1 2	2011.11.08 ~ 2011.12.22	海外の日本語教育の拠点機関から、日本語を学習している大学生を招へいし、日本語及び日本文化・社会への理解を深めるための研修を実施。立命館大学を訪問し、日本の学生と交流を図る

附属機関関西国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	ポーランド	1		
	ルーマニア	1		
	ロシア	1		
	エジプト	2		
3 平成23年度日本語 学習訪日研修(大学生/ 冬季)	中国	8	2012. 01. 10 ~ 2012. 02. 23	海外の日本語教育の拠点機関から、日本語を学習している大学生を招へいし、日本語及び日本文化・社会への理解を深めるための研修を実施。武庫川女子大学、立命館大学を訪問し、日本の学生と交流を図る
	ラオス	1		
	メキシコ	2		
	ブラジル	3		
	イラン	1		
	トルコ	4		

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (7) 日本語学習者訪日研修(高校生)(関西国際センター)

海外の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間招へいし、日本語及び日本文化・社会への理解を深め、同世代の日本の若者と交流する機会を提供する。

合計額 20,595,154 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成23年度日本語学習者訪日研修(高校生)	中国 モンゴル インドネシア タイ フィリピン ベトナム マレーシア インド スリランカ ブラジル ロシア	3 3 3 3 1 3 3 3 3 3 3	2011.06.29 ~ 2011.07.13	海外の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間招へいし、日本語及び日本文化・社会への理解を深め、同世代の日本の若者と交流する機会を提供
2	平成23年度米国JET記念高校生招へい事業	米国	32	2011.07.16 ~ 2011.07.29	JETプログラムにより来日し、外国語指導助手として活躍中に、不幸にも東日本大震災で犠牲となったテイラー・アンダーソン(石巻市)とモンゴメリ・ディクソン(陸前高田市)の業績を讃え、外務省の協力を得て、将来日米の架け橋となる米国人日本語学習者(高校生)を日本に招へいし、日本語・日本文化への理解を深める研修を実施

1. 研修事業費 / (8) 李秀賢氏記念韓国青少年招へい研修

韓国の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を約2週間招へいし、日本語及び日本文化・社会への理解を深め、同世代の日本の若者と交流する機会を提供する。

合計額 5,111,632 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成23年度李秀賢氏記念韓国青少年訪日研修	韓国	30	2012.01.30 ~ 2012.02.09	2001年に新大久保駅(東京)で線路に落ちた乗客を助けようとして事故死した韓国人留学生、李秀賢(イ・スヒョン)の勇気ある行動を顕彰し、日韓の架け橋となる青少年を育成すべく、韓国人日本語学習者(高校生)を対象とした訪日研修を実施

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (9) 地域交流研修(関西国際センター)

地域貢献の一環として、地方自治体等の機関が実施する事業のうち、主に日本語学習研修について協力・共同実施する。

合計額 272,491 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成23年度大阪府JET来日時日本語研修	オーストラリア ニュージーランド カナダ 米国	3 1 6 7	2011.08.22 ~ 2011.08.24	語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)により来日し、大阪府下の小・中・高等学校において語学指導に従事する外国語指導助手(ALT)に対し日本語研修を実施
2	平成23年度大阪府クイーンズランド州日本語研修	オーストラリア	5	2012.01.04 ~ 2012.01.21	大阪府と共催で、同府の姉妹提携都市であるオーストラリア、クイーンズランド州の日本語教師に対して、日本語及び日本事情の集中研修を実施

1. 研修事業費 / (10) 受託研修(関西国際センター)

外部団体より委託を受け、国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修を実施する。

合計額 1,572,135 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成23年度香港中文大学大学生訪日研修	中国	8	2011.06.20 ~ 2011.06.29	香港中文大学の委託を受けて、同大学で日本語を専攻している大学生8名に対する訪日研修を実施
2	平成23年度キャノン・ベトナム日本語学習者訪日研修	ベトナム	1	2011.08.31 ~ 2011.09.14	キャノン・ベトナムからの委託により、ベトナム人日本語学習者を2週間日本に招へいし、日本語・日本文化理解促進のための研修を実施
3	平成23年度インドネシア大学生日本語研修	インドネシア	2	2011.11.08 ~ 2011.12.22	大阪ガス国際交流財団の委託を受けて、インドネシアで日本語を専攻している大学生2名に対する訪日研修を、日本語学習者訪日研修(大学生/秋季)と併せて実施

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (11) 受託研修(関西国際センター) [アセアン]

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を、外部から受託し実施する。

合計額 51,730,980 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	東アジア日本語履修大学生研修プログラム(夏季コース)	シンガポール ブルネイ ベトナム マレーシア ミャンマー インド オーストラリア ニュージーランド	9 1 2 5 4 5 5 3	2011.06.08 ~ 2011.07.20	「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として、ASEAN事務局より委託を受けて実施。東南アジア各国の大学から日本語を学習している学生を招へいし、「体験・交流・発信」を重視した日本語研修と「継続学習支援」を実施 【21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)】 < 第三国間派遣事業 >
2	東アジア日本語移動講座	インドネシア シンガポール タイ フィリピン ベトナム マレーシア ミャンマー	6 3 6 6 6 6 5	2011.07.22 ~ 2011.08.19	「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として、ASEAN事務局より委託を受けて実施。東南アジア各国の大学で日本語を学習している学生を大学ごとにまとめた人数で招へいし、「体験・交流・発信」を重視した日本語研修と「継続学習支援」を実施 【21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)】 < 第三国間派遣事業 >
3	東アジア日本語履修大学生研修プログラム(秋季コース)	インドネシア カンボジア フィリピン ベトナム インド	5 2 6 6 5	2011.10.19 ~ 2011.11.30	「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として、ASEAN事務局より委託を受けて実施。東南アジア各国の大学から日本語を学習している学生を招へいし、「体験・交流・発信」を重視した日本語研修と「継続学習支援」を実施 【21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)】 < 第三国間派遣事業 >
4	東アジア日本語移動講座(準備)			2012.01.25 ~ 2012.03.31	「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として、ASEAN事務局より委託を受けて実施する平成23~24年度東アジア日本語移動講座の準備 【21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)】 < 第三国間派遣事業 >

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (12) 受託研修(関西国際センター) [サーク]

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を、外部から受託し実施する。

合計額 17,671,366 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成23年度南アジア日本語学習者研修	インド スリランカ ネパール パキスタン バングラデシュ ブータン モルディブ	9 8 8 5 5 1 3	2012.02.26 ~ 2012.03.24	南アジア地域協力連合 (South Asian Association for Regional Cooperation : SAARC) 諸国にある日本語教育機関から日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習および日本文化・社会への理解を深める機会を提供する研修を実施 【21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)】 < 第三国間派遣事業 >

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (13) 国内連携による日本語普及支援(招へい)

国内の大学から日本語教育学を研究している学生を海外の大学に派遣するのに併せて、当該海外大学の大学生を招へいし、日本語研修を実施する。

合計額 39,266,648 円

	事業名	所属国・地域	人数	期間	事業内容
1	平成22年度国内大学連携大学生訪日研修(4カ月)	韓国 中国 インドネシア タイ ベトナム マレーシア オーストラリア 米国 イタリア オランダ スウェーデン スロベニア ハンガリー ルーマニア	4 6 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1	2010.02.02 ~ 2011.06.01	日本語教育学を専攻する日本人学生を実習生として受け入れている海外の大学から、23名の学生を日本に招へいし、4カ月間の日本語研修及び国内大学訪問を実施。海外と日本の大学間の連携強化を支援
2	平成23年度国内大学連携大学生訪日研修(夏季)	韓国 中国 タイ ベトナム 英国 フランス トルコ	9 6 3 1 1 1 1	2011.07.26 ~ 2011.09.08	日本語教育学を専攻する日本人学生を実習生として受け入れている海外の大学から学生を日本に招へいし、6週間の日本語研修及び国内大学訪問を実施。海外と日本の大学間の連携強化を支援

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国・地域	人数	期間	事業内容
3	平成23年度国内大学連携大学生訪日研修(秋季)	韓国 中国 台湾 インドネシア タイ スリランカ オーストラリア ニュージーランド カナダ 米国 オランダ ドイツ ノルウェー スロベニア ハンガリー	5 3 3 1 5 1 1 1 1 1 1 2 1 1 2	2011.09.06 ~ 2011.10.20	日本語教育学を専攻する日本人学生を実習生として受け入れている海外の大学から学生を日本に招へいし、6週間の日本語研修及び国内大学訪問を実施。海外と日本の大学間の連携強化を支援
4	平成23年度国内大学連携大学生訪日研修(春季)	韓国 台湾 中国 インドネシア シンガポール タイ マレーシア ニュージーランド イタリア スペイン	2 1 9 1 1 4 1 3 1 1	2012.03.06 ~ 2012.04.19	日本語教育学を専攻する日本人学生を実習生として受け入れている海外の大学から学生を日本に招へいし、6週間の日本語研修及び国内大学訪問を実施。海外と日本の大学間の連携強化を支援

附属機関関西国際センター事業費

事業名	所属国・地域	人数	期間	事業内容
	ドイツ	1		
	スロベニア	2		
	ルーマニア	1		
	ロシア	1		

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (14) Eラーニング開発事業

日本語学習者を幅広くサポートするため、Eラーニング教材の開発を行う。

合計額 39,195,544 円

	事業名	期間	事業内容
1	「アニメ・マンガの日本語」サイトの運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	世界各国の日本語学習者が、アニメ・マンガを入り口として、楽しく日本語を学ぶことができるウェブサイト「アニメ・マンガの日本語」の多言語サイト構築(韓国語・中国語・スペイン語・フランス語)
2	日本語学習ポータルサイト「NIHONGO eな」の運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	インターネット上にある日本語学習に役に立つサイトやツールを、わかりやすく紹介した日本語学習ポータルサイト「NIHONGO eな」の運営
3	「日本語でケアナビ」サイトの運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本で、看護・介護などの分野で働く外国人の日本語学習をサポートするウェブサイト「日本語でケアナビ」の運営
4	「まるごと+(プラス)」の開発	2011.04.01 ~ 2012.03.31	JF日本語教育スタンダード準拠教材「まるごと—日本のことばと文化」の自習用ウェブサイト「まるごと+(プラス)」の開発

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（日中交流センター）
- (2) 中国高校生の招へい事業
- (3) ネットワーク整備事業（派遣・招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 中国「ふれあいの場」事業（共同設置）
- (2) 中国「ふれあいの場」事業（助成）

3. 文化資料事業費

- (1) ネットワーク整備事業（ウェブサイト構築・運営）

4. 調査研究費

- (1) ネットワーク整備事業（交流担い手ネットワーク構築）

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業(日中交流センター)

日中交流の分野で、国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 11,474,292 円

	事業名	期間	事業内容
1	コミュニティページ運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	財団法人日中友好会館からの受託により、「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として、同会館が日本に招へいする中国の高校生、中国に派遣する日本の高校生を対象にした、高校生交流のコミュニティ・ページを運営。事業を通して形成された人間関係の持続・発展を目的としたもので、日中交流センターが管理運営する「心連心ウェブサイト」の一部を提供 URL: http://tanki.chinacenter.jp/

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (2) 中国高校生の招へい事業

中国の高校生を招へいし、日本の社会と文化を知る機会を提供するとともに、日本の人々にも中国人と直接交流し、中国の文化を知る機会を提供する。

合計額 80,359,191 円

	事業名	人数	期間	事業内容
1	[長期招へい] 中国高校生 (第5期生)	38	2010.08.31 ~ 2011.07.23	中国の高校生に11カ月間の日本滞在の機会を提供。招へい者が日本の社会と文化を知り、同時に招へい者を取り巻く日本の人々も中国人と直接交流する機会を持つことで、「人」と「人」の心のつながりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的とする。第5期生は、2010年8月31日より2011年7月23日まで日本に滞在
2	[長期招へい] 中国高校生 (第6期生)	32	2011.08.30 ~ 2012.07.21	中国の高校生に11カ月間の日本滞在の機会を提供。招へい者が日本の社会と文化を知り、同時に招へい者を取り巻く日本の人々も中国人と直接交流する機会を持つことで、「人」と「人」の心のつながりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的とする。第6期生は、2011年8月30日より2012年7月21日まで日本に滞在
3	[長期招へい] 中国高校生 フォロワーアップ	—	2011.04.01 ~ 2012.03.31	中国高校生長期招へい事業に参加した生徒が帰国した後、つながりの維持や卒業生どうしのネットワーク拡大のため、交流会やフォローアップを実施。更に、必要に応じて、特に日本の大学進学時のバックアップなども行う。一例として、過去に中国高校生長期招へい事業に参加した生徒が日本の大学に進学し、日本で生活している様子の動画配信も実施

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (3) ネットワーク整備事業(派遣・招へい)

日本と中国の間での主として青少年交流事業を実施し、将来にわたる交流の担い手としてのネットワーク構築を図る。

合計額 21,131,391 円

	事業名	人数	受入機関	期間	事業内容
1	大学生交流事業(延辺)	7	延辺大学	2011.09.23 ~ 2011.09.25	吉林省延吉市の延辺大学にある、延辺「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る
2	大学生交流事業(重慶)	10	重慶師範大学	2012.03.23 ~ 2012.03.26	重慶市の重慶師範大学にある、重慶「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る
3	大学生交流事業(西寧)	6	青海民族大学	2011.05.17 ~ 2011.05.23	青海省西寧市の青海民族大学内にある、西寧「ふれあいの場」で開催される日中文化交流事業に、日本の学生を派遣する。※2010年度事業として実施予定であったが、震災の影響で延期したもの
4	大学生交流事業(西寧)	14	青海民族大学	2011.10.27 ~ 2011.10.31	青海省西寧市の青海民族大学にある、西寧「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る
5	大学生交流事業(西寧)	6	青海民族大学	2012.03.22 ~ 2012.03.27	青海省西寧市の青海民族大学にある、西寧「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る
6	大学生交流事業(南京)	5	金陵図書館	2011.09.02 ~ 2011.09.05	江蘇省南京市の金陵図書館にある、南京「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る
7	大学生交流事業(南京)	5	金陵図書館	2012.03.08 ~ 2012.03.13	江蘇省南京市の金陵図書館にある、南京「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る
8	大学生交流事業(ハルビン)	8	黒龍江大学	2011.06.14 ~ 2011.06.30	黒龍江省ハルビンの黒龍江大学にある、ハルビン「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る
9	大学生交流事業(連雲港)	5	連雲港少年児童図書館	2011.09.07 ~ 2011.09.11	江蘇省連雲港市の連雲港少年児童図書館にある、連雲港「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る
10	大学生交流事業(連雲港)	6	連雲港少年児童図書館	2012.03.07 ~ 2012.03.12	江蘇省連雲港市の連雲港少年児童図書館にある、連雲港「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る

日中交流センター事業費

	事業名	人数	受入機関	期間	事業内容
11	高校生ふれあい訪問	7	北京日本文化センター 天津外国語学校 長春ふれあいの場	2011.09.18 ~ 2012.09.23	「心連心：中国高校生長期招へい事業」で招へいする中国の生徒の日本での受入高校を対象に、「ふれあいの場」がある都市への訪問交流事業を実施し、日本の高校生たちに直に中国に触れる機会を提供。中国で日本語学習を行っている高校との交流のほか、「ふれあいの場」での交流会を実施し、「ふれあいの場」事業を活性化
12	日中高校教員相互訪問	15（訪日） 13（訪中）	（訪日） 日本語国際センター （訪中） 南京外国語学校 南京工業大学 東北育才学校	2011.11.01 ~ 2012.03.31	「心連心：中国高校生長期招へい事業」の日本側受入校及び中国側出身校の教員が相互に訪問することで、日本側は招へい生の育った環境への理解を、中国側は招へい生の日本での生活状況への理解をそれぞれ深め、同事業の更なる発展と内容改善に資するもの
13	[招へい]ふれあいの場幹部	3	外務省 八橋庵かけはし 京都国際マンガミュージアム	2012.03.20 ~ 2012.03.25	大連ふれあいの場運営に関わる幹部3名を招へいし、日中交流センターと協議を行い、東京及び京都においてふれあいの場運営のために参考となる文化施設を視察

日中交流センター事業費

2. 催し等事業費 / (1) 中国「ふれあいの場」事業(共同設置)

現代日本の最新情報に接する機会が比較的限られる中国の地方都市において、日本情報を発信し、中国の市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する

合計額 23,057,095 円

	事業名	都市	共催・協力機関	期間	事業内容
1	成都ふれあいの場	成都	広島・四川中日友好会館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	現代日本の最新情報に接する機会が少ない中国の地方都市において、日本情報発信の拠点となる「ふれあいの場(中国語表記: 中日交流之窓)」を四川省成都市の広島・四川中日友好会館内に設置し、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催
2	長春ふれあいの場	長春	長春図書館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	現代日本の最新情報に接する機会が少ない中国の地方都市において、日本情報発信の拠点となる「ふれあいの場(中国語表記: 中日交流之窓)」を吉林省長春市の長春図書館内に設置し、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催
3	南京ふれあいの場	南京	金陵図書館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	現代日本の最新情報に接する機会が少ない中国の地方都市において、日本情報発信の拠点となる「ふれあいの場(中国語表記: 中日交流之窓)」を江蘇省南京市の金陵図書館内に設置し、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催
4	Girls Be Sparkling (ファッション・メイクイベント)	大連 長春	大連中日友好協会 長春図書館	2011.10.26 ~ 2011.10.31	日本の現代ファッションを日本文化として「ふれあいの場」を通じて中国に発信。日本で活躍するヘアメイクアーティスト、ファッションリーダーが講師となり、最新ファッション・メイクテクニックを伝え、交流することで、相互理解を深化
5	ふれあいの場巡回公演事業	成都 西寧 青島 北京	広島・四川中日友好会館 青海民族大学 北京外国語大学 北京日本文化センター	2011.10.22 ~ 2011.10.31	日本文化と接する機会が限られた中国の地方都市にて、日中の音楽を通じた交流を図り、日本への親近感・関心を高めることを目的とした事業。日本でも活躍中の中国人歌手aminと、中国でも「桜」で有名な河口恭吾を招へい
6	「ちひろとトットちゃん」展		杭州図書館	2012.03.17 ~ 2012.03.31	日本文化と接する機会が少ない中国の地方都市にて、いわさきちひろの絵画と『窓際のトットちゃん』の展示を通じた交流を図り、日本への親近感・関心を高めてもらう。また、ふれあいの場の知名度向上と活性化を図る

日中交流センター事業費

2. 催し等事業費 / (2) 中国「ふれあいの場」事業(助成)

現代日本の最新情報に接する機会が比較的限られる中国の地方都市において、日本情報を発信し、中国の市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する

合計額 6,571,802 円

	助成対象者・機関	都市	期間	事業内容
1	黒龍江大学東語学院	ハルビン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、黒龍江省ハルビンの黒龍江大学東語学院に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。書籍、雑誌の閲覧のほか、日中学生交流会、マンガ講座等のイベントに989名が参加
2	延辺大学日本学研究所	延辺	2011.04.01 ~ 2012.03.31	現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、吉林省延辺市の延辺大学日本学研究所に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。書籍、雑誌の閲覧のほか、「日本事情シリーズ」講演会、カラオケ大会等のイベントに2,641名が参加
3	大連中日文化交流協会	大連	2011.04.01 ~ 2012.03.31	現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、遼寧省大連市の大連中日文化交流協会に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。書籍、雑誌の閲覧のほか、ファッション・メイクイベント等に1,668名が参加
4	連雲港少年児童図書館	連雲港	2011.04.01 ~ 2012.03.31	現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、江蘇省連雲港市の連雲港少年児童図書館に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。書籍、雑誌の閲覧のほか、寿司作り、アフレコ大会等のイベントに2,767名が参加
5	青海民族大学	西寧	2011.04.01 ~ 2012.03.31	現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、青海省西寧市の青海民族大学に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。書籍、雑誌の閲覧のほか、日本語コーナー、料理イベント等のイベントに10,774名が参加
6	杭州図書館	杭州	2011.11.28 ~ 2012.03.31	現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、浙江省杭州市の杭州図書館に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起(2012年3月に開館)
7	重慶師範大学	重慶	2011.04.01 ~ 2012.03.31	現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、重慶市の重慶師範大学に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。書籍、雑誌の閲覧のほか、日本語コーナー、和服の着付け等のイベントに4,482名が参加
8	中山大学	広州	2011.04.01 ~ 2012.03.31	現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、広東省広州市の中山大学外国語学院に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。書籍、雑誌の閲覧のほか、日本語コーナー、日本学論壇等のイベントに1,327名が参加

日中交流センター事業費

3. 文化資料事業費 / (1) ネットワーク整備事業(ウェブサイト構築・運営)

将来にわたり日中間のかけ橋となり得る人々のネットワークを構築し、日中交流の基盤強化を図る。

合計額 24,108,904 円

	事業名	期間	事業内容
1	「心連心ウェブサイト」のサイト運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日中間の交流事業を通じて生まれた友情の輪をつなぎ、広げていくために、「心連心ウェブサイト」を運営。閲覧者による書き込み機能が充実した「コミュニティ・サイト」として機能し、閲覧者は閲覧のほか、意見・感想を書き込むことで、他の閲覧者と交流が可能。日本語と中国語の同時翻訳機能を搭載
2	「心連心ウェブサイト」のコンテンツ管理	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本と中国の若い世代の間で人気の高い、映像、音楽、ファッション、グルメ等の最新情報、日本と中国の現役大学生による大学紹介、アニメを通じた日本文化紹介等の情報を発信
3	「心連心ウェブサイト」のリニューアル	2012.01.01 ~ 2012.03.31	日中間の交流事業を通じて生まれた友情の輪をつなぎ、広げていくために、インターネット上で、「心連心ウェブサイト」を運営。このサイトのリニューアルを実施

4. 調査研究費 / (1) ネットワーク整備事業(交流担い手ネットワーク構築)

日中交流促進にかかる環境整備 (中国での日本文化紹介ラジオ番組など)

合計額 1,250,000 円

	事業名	期間	事業内容
1	ラジオ番組制作・放送事業	2010.07.01 ~ 2011.06.30	日本の「流行音楽」と「流行情報」を中国語で紹介するラジオ番組を制作し、日本の現代文化に関する情報が少ない中国国内各地域の主要FMラジオ局に無償もしくは低額で提供し、放送を実現。更に、番組において、国際交流基金日中交流センターが実施する事業の告知・広報を行い、センターの他事業と連動させることで、中国国内でのセンター事業の一層の浸透を図る

日本研究・知的交流事業に必要な経費

米州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔米州〕
- (2) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔米州〕
- (3) 日本研究機関支援〔米州〕

2. 人物交流事業費

- (1) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 長期）〔米州〕
- (2) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 短期）〔米州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔米州〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔米州〕
- (3) 人材育成グラント〔米州〕

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究ネットワーク強化(主催)[米州]

学問分野を超えた日本研究者・研究機関相互の連携と協力を推し進め、各国・地域における中核的な知日層とわが国の長期的な関係を維持発展させるため、海外の日本関連学会や元日本人留学生の組織化・活動を支援する。

合計額 7,712,902 円

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
1	北米日本研究調査	カナダ 米国	ハワイ大学	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	北米における日本研究の実態を把握するため日本研究調査を実施

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 日本研究ネットワーク強化(助成)[米州]

国境・学問分野を越えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 8,883,693 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	カナダ日本研究学会	カナダ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	カナダにおける唯一の日本研究学会であるカナダ日本研究学会の第24回年次大会を幹事校セントメリーズ大学において実施。テーマは、日加間の経済的、商業的、文化的結びつき、日本の文化的、環境的、歴史的、経済的な発展、及び政治的関係等
2	トロント大学図書館	カナダ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北米等の大学図書館等で日本研究を専門としている若手司書を対象としたトレーニング・ワークショップ。大学院司書課程で学ばない日本研究に特化したカタログ、レファレンス、図書館システム、書籍購入、アーカイブ等を短期間で研修し、次世代の司書育成と併せネットワーク構築を図る
3	ブラジル日本研究学会(ABEJ)	ブラジル	2011.05.01 ~ 2013.03.31	ブラジル日本研究学会(Brazilian Association on Japanese Studies: ABEJ)が同国内外からの参加を得て行うシンポジウム。テーマは「ラテンアメリカにおける日本研究—動向、展望および共同研究の可能性」。ラテンアメリカ・アジア・アフリカ学会(ALADAA)や南米アジア協会(アルゼンチン)との関係により、日本研究者間の情報交換、ネットワーク化を図る

1. 日本研究事業費 / (3) 日本研究機関支援 [米州]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、該当国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める。

合計額 63,051,149 円

	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	ウォータールー大学	カナダ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	The Center for Japanese Studies, Symposium on Japanese Studies in Canada (邦題：日本研究センター「カナダにおける日本研究」シンポジウム)
2	コロンビア大学中世日本研究所	米国	2011.05.01 ~ 2012.03.31	コロンビア大学中世日本研究所と同大学音楽学部が共同で実施する日本古典音楽研究とパフォーマンスプロジェクト1年目。雅楽・邦楽クラスの設置、日本での夏季集中トレーニングなどを通して、3カ年にわたりコースの充実を図る
3	ウエスタンミシガン大学	米国	2011.05.01 ~ 2012.04.30	教員ポスト拡充(中世日本文化)と地域アウトリーチプログラム・コーディネーター拡充(日本文化)及び関連セミナー・ワークショップを実施する3カ年事業の1年目。新規教員の雇用、中西部地域でのアウトリーチ活動、近代日本文化に関するワークショップなどを実施。大学内外での広範な日本文化理解を促進
4	デューク大学	米国	2011.07.01 ~ 2012.06.30	ノースカロライナ州の、デューク大学(ダーラム市)、ノースカロライナ大学UNC(チャペルヒル市)、ノースカロライナ州立大NCSU(州都ラーリー)の3地域の主要3大学において、共同で行う日本研究センター事業3カ年構想の1年目。日本研究フォーラム(月例セミナー)、スタディ・グループ支援事業、教員・院生の研究・出版支援、図書拡充支援、ウェブ開発・拡充などを実施
5	バージニア大学	米国	2011.07.01 ~ 2012.06.30	歴史、メディア研究、人類学の3分野で教員ポストを拡充し、日本と世界の比較・関係に関する研究を深化させる5カ年事業の4年目。平成23年度は、歴史学の淳教授の給与を助成

米州交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
6	イリノイ大学	米国	2011. 08. 01 ~ 2012. 07. 31	中西部地域の大学に所属する様々な分野の教員を対象とした日本研究セミナーの2年目。域内の大学が持ち回りでホストとなり、年5回、2名の専門家により歴史・文学・宗教・政治などをテーマとしたセミナーを実施
7	アリゾナ州立大学	米国	2011. 09. 01 ~ 2012. 08. 31	年度毎に設定するテーマに沿って、複合的日本研究拡充を目指す3カ年事業の1年目。平成23年度は「アジア・日本の文学、翻訳、出版」をテーマにセミナー・ワークショップ、アリゾナ州立大学美術館・地域美術館の美術展示、図書拡充、学生・一般向け映画上映事業などを実施
8	ワシントン大学	米国	2011. 09. 01 ~ 2012. 08. 31	人文分野(建築、芸術史、歴史、演劇、宗教学等)の日本研究促進を図る3カ年事業の2年目。平成23年度は客員講師を招へいし、周辺大学との連携、北西岸の大学における出張講義・セミナー等を実施
9	カリフォルニア州立大学サンタバーバラ校	米国	2011. 09. 20 ~ 2012. 08. 31	カリフォルニア州立大学サンタバーバラ校の日本研究の中でも日本近代史分野の拡充を図る3カ年事業の2年目。平成23年度は同分野の教員ポスト新設、夏期講座、客員教授招へい、大学院生向け奨学金の給付等を実施
10	シンシナティ大学	米国	2011. 12. 01 ~ 2012. 07. 31	シンシナティ大学アジア研究プログラム拡充計画の一環として、日本文学担当の助教授クラスのポストを新設し、国際交流基金による3年間の支援終了後のポスト定着までを目指す3カ年事業の1年目。平成23年度は新設ポストに着任する教員の採用活動を実施
11	ファーマン大学	米国	2011. 12. 01 ~ 2012. 07. 31	ファーマン大学アジア研究学部に日本語教員ポストを新設する3カ年事業の1年目。併せて日本文化(ポップカルチャー、美術等)クラス拡充、訪日研修の拡充(学期開始前の短期間)、日本研究会議・シンポジウム、コース開発、などを実施
12	ミシガン州立大学連合日本センター	米国	2012. 01. 01 ~ 2012. 12. 31	日本の文化と環境への理解に関する教育プログラムの創設をめざす3カ年事業の1年目。客員講師招へい(日本の文化と環境)、学生訪日スカラシップ(日本語学習を含む)、インターンシップ支援などを実施
13	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	メキシコ	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	大学院の研究課程におけるメキシコ革命の影響を受けた日本人芸術家をテーマとする公開集中学術セミナー(リサーチ研究会議助成)「北川民治と佐野碩 革命期メキシコの日本人芸術家」の実施、日本研究図書資料拡充にあたっての日本人図書館情報学専門家(那須雅熙 聖徳大学教授)の派遣、和書及び洋書の拡充
14	メキシコ工科大学(ITAM)	メキシコ	2011. 08. 05 ~ 2011. 09. 30	「日本研究コース(通称:吉田茂日本研究講座)」において、日本の政治・外交政策等に関する短期集中講義を行うため、David Potter(南山大学教授)を客員教授として派遣
15	サンパウロ大学	ブラジル	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	日本民族学により日本文化の特質を解釈・分析する講座を修士課程学生向けに行うため、安室知(神奈川大学教授)を客員教授として派遣。また、図書拡充助成として、歴史学、民俗学、人類学分野の日本研究専門書を拡充。更に、日本文化研究所付鈴木悌一図書館の蔵書をデータベース化

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (1) 日本研究フェローシップ(学者・研究者 長期) [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 59,705,293 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	KNIGHT, Nancy Jane	トロント大学 特任教授	カナダ	早稲田大学	2010.11.22 ~ 2011.04.14	アジアにおける高等教育のリージョナライゼーション—日本の役割
2	MOLCHANOV, Mikhail A.	セント・トーマス大学 准教授	カナダ	青山学院大学E. S. S	2012.01.16 ~ 2012.06.16	ユーラシアの地域主義と日本の東アジア地域における指導的役割の比較・研究
3	PICARD, Martin	マギル大学 研究者	カナダ	和光大学	2012.03.13 ~ 2013.03.12	日本のビデオゲームの文化
4	QIN, Xiaoli	カナダ・ロイヤルオンタリオ博物館 共同研究員	カナダ	独立行政法人 奈良文化財研究所	2010.07.16 ~ 2011.07.15	カナダ・ロイヤルオンタリオ博物館所蔵の八木遺跡出土遺物に関する研究
5	ROCKWELL, Geoffrey Martin	アルバータ大学 教授	カナダ	立命館大学	2011.10.02 ~ 2011.12.21	日本のビデオゲーム文化と学習目的に拡張されたリアリティゲーム
6	BATES, Peter	ディキンソン大学 助教授	米国	立命館大学	2010.08.16 ~ 2011.07.15	地震の文化：関東大震災と大正時代の日本
7	BENDER, Shawn	ディキンソン大学 助教授	米国	東京大学	2010.08.20 ~ 2011.07.17	テクノユートピアが現実になる：ロボット工学と日本の高齢化社会マネージメント
8	BODIFORD, William Marvin	カリフォルニア大学ロサンゼルス校 教授	米国	東洋大学	2011.02.01 ~ 2011.06.22	徳川時代の知的生活における仏教徒の印刷物及び書籍
9	BOROVOY, Amy	プリンストン大学 准教授	米国	国際基督教大学	2011.08.13 ~ 2012.05.12	君をサポートする！日本における社会医学を通じた行動改革
10	CONLAN, Thomas	ボードイン大学 教授	米国	金沢大学	2011.08.02 ~ 2012.08.01	大内氏と日本の幻影時代(1400~1551)
11	COOK, Lewis	ニューヨーク市立大学クイーンズ校 准教授	米国	国立国文学研究資料館	2012.01.18 ~ 2012.09.17	古今和歌集：古代・近代詩歌の研究
12	KANEKO, Maki	カンザス大学 准教授	米国	東京文化財研究所	2011.07.08 ~ 2012.07.06	国家サービスとしての芸術：戦時中の日本美術(1930~1970)
13	MAEDA, Tamaki	ブリティッシュ・コロンビア大学 講師	米国	東京藝術大学	2010.09.06 ~ 2011.09.05	1910~1930年代の日中芸術交流
14	MANABE, Noriko	プリンストン大学 准教授	米国	東京藝術大学	2012.02.01 ~ 2012.09.01	日本におけるミュージカルサブカルチャー：ロック、ヒップホップ、レゲエ、エレクトロニックダンスミュージックの場面メイキング

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
15	McKELWAY, Matthew Philip	コロンビア大学 准教授	米国	学習院大学	2010.09.16 ~ 2011.08.31	絵のゆらぎ：扇絵の社会的文化的動向
16	METZLER, Mark	テキサス大学オー スティン校 准教授	米国	京都大学	2011.08.16 ~ 2012.08.14	ポストモダンデフレーション：なぜ21世紀のキャピタリズムは違 うのか？
17	OSHIMA, Ken	ワシントン大学 准教授	米国	東京大学	2011.09.03 ~ 2012.09.02	メタボリック東京(1960~2010)
18	PROUGH, Jennifer	バルパライソ大学 助教授	米国	関西学院大学	2012.01.10 ~ 2012.08.02	都再訪：京都観光産業における歴史と遺産
19	SANGO, Asuka	カールトン大学 助教授	米国	東京大学	2010.07.13 ~ 2011.07.12	後光：日本仏教儀礼における力と知識
20	SCOTT, Christopher	マカレスター大学 准教授	米国	日本大学	2011.09.01 ~ 2012.08.31	日本を越えた日本文学：「日本語文学」の地政学
21	ROMAN ZAVALA, Alfredo	エル・コレヒオ・ デ・メヒコ 教授	メキシコ	東京大学	2011.07.30 ~ 2012.01.29	日本ODAの50年—ラテンアメリカの経験
22	HIRATA, Helena Sumiko	フランス国立科学 研究センター リ サーチディレク ター	ブラジル	一橋大学	2011.03.01 ~ 2011.06.30	介護に関する理論と実践—フランス、ブラジル及び日本における 高齢者介護労働者の比較研究
23	KUSANO, Darci Yasuco	サンパウロ大学 准教授	ブラジル	立教大学	2010.09.27 ~ 2011.09.26	寺山修司の世界
24	QUINTERO, Edonodio	ロス・アンデス大 学 教授	ベネズエラ	東京大学	2011.09.01 ~ 2012.06.30	20世紀の主要日本人作家の伝記

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ(論文執筆) [米州]

人文・社会学の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 102,738,759 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	BECK, Jodie Nicole	マギル大学博士課程	カナダ	日本大学	2010.09.02 ~ 2011.11.01	闘う文学：フェミニストによる日本語のSF
2	BETH, Suzanne	モントリオール大学博士課程	カナダ	名古屋大学	2011.06.05 ~ 2011.12.04	異文化映画研究における方法論
3	FUJIWARA, Gideon	ブリティッシュ・コロンビア大学 博士課程	カナダ	弘前大学	2010.07.10 ~ 2011.07.09	19世紀日本における神霊とアイデンティティー—平田国学と津軽グループ
4	IVANOVA, Gergana Entcheva	ブリティッシュ・コロンビア大学 博士課程	カナダ	上智大学	2010.06.01 ~ 2011.07.31	日本近世・近代における平安女性像の考察—受容と創造の観点から—
5	LEE, Victoria	プリンストン大学 博士課程	カナダ	北里研究所	2010.09.01 ~ 2011.08.31	1890~1930年日本の微生物学と産業における科学研究
6	PHAN, Cam Van Thi	ブリティッシュ・コロンビア大学 博士課程	カナダ	京都大学	2012.02.07 ~ 2013.02.06	悔恨の儀式：前近代中国におけるテキストとしての伝統から宗教的实践へ
7	ARCH, Jakobina	ハーバード大学 博士課程	米国	大阪市立大学	2011.07.02 ~ 2012.07.01	現代日本初頭期における捕鯨の環境的歴史
8	BRIGHTWELL, Erin	プリンストン大学 博士課程	米国	立教大学	2012.03.12 ~ 2012.09.11	鎌倉時代における「中国」
9	BUENO, Alex	プリンストン大学 博士課程	米国	東京大学	2010.09.23 ~ 2011.09.22	デジタル時代の東京：団地、アニメと都市空間
10	CARTER, Caleb	カリフォルニア大学ロサンゼルス校 博士課程	米国	慶應義塾大学	2011.08.23 ~ 2012.08.22	近代日本における修験道の変質：戸隠山をケーススタディとして
11	CLERICI, Nathen	ブリティッシュ・コロンビア大学 博士課程	米国	北海道大学	2010.09.20 ~ 2011.09.19	「純」でも「大衆」でもない：現代日本文学におけるサブカルチャーのインパクト
12	COOK, Ryan Marshall	エール大学 博士課程	米国	早稲田大学	2010.09.30 ~ 2011.09.29	日本における映画と映画愛好家：戦後から現代に至るまでの芸術と政策
13	CRUZ, Aileen	カリフォルニア大学バークレー校 博士課程	米国	早稲田大学	2011.10.01 ~ 2012.06.30	暴力の回路：文学と日本の帝国モダニティの主題 (1913~1933)

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
14	DILLON, Michael	南カリフォルニア大学 博士課程	米国	一橋大学	2011.09.09 ~ 2012.07.08	デッドゾーン：現代映画における生死に対する支配力と流動性
15	FEENEY, William	シカゴ大学 博士課程	米国	上智大学	2012.02.27 ~ 2013.02.26	「傷つくまで笑う」：日本のコメディにおける暴力のやりとり
16	FRYDMAN, Joshua	エール大学 博士課程	米国	奈良女子大学	2011.08.22 ~ 2012.08.21	歌木簡：銘に見る日本の初期詩歌の研究
17	GOVELLA, Kristi Elaine	カリフォルニア大学バークレー校 博士課程	米国	東京大学	2010.09.30 ~ 2011.09.29	浸透力のある政策決定：多数国間連携と日本における環境分野の協力
18	GUEST, Jeniffer	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2010.08.26 ~ 2011.08.25	漢文教育と近代以前の日本文学文化の基礎(900~1250)
19	HEDBERG, William Christopher	ハーバード大学 博士課程	米国	東京大学	2011.01.11 ~ 2011.03.15	徳川時代の日本における白話文学の翻訳と受容
20	HEMMANN, Kathryn	ペンシルバニア大学 博士課程	米国	大阪大学	2012.01.01 ~ 2012.04.30	処女と魔女：現代日本文学における文体と女性の主観性の形成
21	HILL, Megan	ミシガン大学 博士課程	米国	東京大学	2011.09.16 ~ 2012.09.15	アーバンオーラルエージェンシー：東京浅草混合音の社会的効果
22	HOLLOWAY, David	ワシントン大学 博士課程	米国	立正大学	2011.08.19 ~ 2012.07.18	美を超えて：金原ひとみ、川上未映子、長谷川順子そして現代日本文学における文体
23	HUMPHREY, David	カリフォルニア大学バークレー校 博士課程	米国	東京大学	2011.09.30 ~ 2012.09.29	コミック：日本のコメディ、感情とテクノロジー
24	ICREVERZI, Kimberly	カリフォルニア大学アーバイン校 博士課程	米国	明治学院大学	2010.09.15 ~ 2011.09.14	佐藤政権時代(1964~1972)の政治的映画の行き詰まり：「本当の女性」問題
25	INGRAM, Evan	ハーバード大学 博士課程	米国	筑波大学	2012.01.31 ~ 2013.01.30	重源と東大寺再建
26	LAZARUS, Ashton	エール大学 博士課程	米国	東京大学	2011.08.31 ~ 2012.08.30	美的芸術、作品の威光：田楽・今様・猿楽におけるテキスト、イメージとパフォーマンス
27	LEBARON VON BAEYER, Sarah	エール大学 博士課程	米国	早稲田大学	2011.06.27 ~ 2012.02.28	トランスナショナルワールドと民族的な生活：日本とブラジルにおける、また二国間の日系移民
28	MAYO, Christopher Michael	プリンストン大学 博士課程	米国	関西大学	2010.08.30 ~ 2011.08.29	絆：戦国時代の太友氏による贈与と商品取引
29	MITCHELL, Matthew	デューク大学 博士課程	米国	大阪市立大学	2012.01.01 ~ 2012.12.31	近代宗教サイトの調査と信濃地方善光寺にみるそれらの領土

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
30	MORISHIMA, Yuki	ピッツバーグ大学 博士課程	米国	東京大学	2010.09.03 ~ 2011.06.02	天皇の肖像：政治的儀式的慣習
31	NELSON, Linsay Rebecca	南カリフォルニア 大学 博士課程	米国	筑波大学	2010.08.20 ~ 2011.07.19	日本文学及び映画におけるモンスターチルドレン
32	NUFFER, Laura	ペンシルバニア大 学 博士課程	米国	慶應義塾大学	2011.09.18 ~ 2012.05.17	動物の魅力：中世日本文学における異類婚姻譚
33	RIO, Aaron Michael	コロンビア大学 博 士課程	米国	東京大学	2010.08.01 ~ 2011.07.31	中世日本の禅画における漢詩と神聖な像
34	RITTER, Gabriel	カリフォルニア大 学ロサンゼルス校 博士課程	米国	東京国立近代美術 館	2011.09.06 ~ 2012.09.05	北脇昇と日本のシュールレアリズム (1930~1951)
35	SAEKI, Eiko	ラトガース大学 博 士課程	米国	早稲田大学	2010.09.09 ~ 2011.09.08	曖昧な生命の境界：西洋医学と日本の地方の知識の結合
36	SAILE, Florian	カリフォルニア大 学パークレー校 博 士課程	米国	龍谷大学	2010.09.01 ~ 2011.08.31	成仏の可能性に関する議論—中世の法相論議における「五姓各別」の解釈の展開の研究
37	SAUNDERS, Rachel	ハーバード大学 博士課程	米国	東京大学	2011.10.03 ~ 2012.09.30	天国に触れる：家父長の肖像、奇跡的な起源と鎌倉期巻物の魔術的詩学
38	SCHIEDER, Chelsea Szendi	コロンビア大学 博 士課程	米国	早稲田大学	2010.09.04 ~ 2011.09.03	女性殉教者、革命派と魔性の女達：日本の新左翼におけるジェンダー、コミュニティ、暴力
39	SCHRAMM, Katharine	インディアナ大学 ブルーミントン校 博士課程	米国	琉球大学	2012.03.09 ~ 2013.01.08	宮古島のパーントゥ：沖縄における儀式、アイデンティティ、遺産
40	STILERMAN, Ariel Gustavo	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2011.09.13 ~ 2012.09.12	日本古典文学における散文—詩のダイナミクス
41	TAKAI, Shiho	コロンビア大学 博 士課程	米国	早稲田大学	2010.09.26 ~ 2011.09.25	社会的垣根を越えて：江戸時代の人気舞台における犯罪と女性及び法
42	THOMPSON, Luke	コロンビア大学 博 士課程	米国	佛教大学	2011.09.28 ~ 2012.09.27	釈迦牟尼の中世改革と歴史上の日本仏教徒説法の出現
43	TILTON, Ellen Cystal Boling	エール大学 博士課 程	米国	早稲田大学	2010.08.05 ~ 2011.08.04	4人の戦後日本女性作家作品における家族と文学形式
44	VARNER, Melinda	カンザス大学 博士課程	米国	福岡大学	2011.09.07 ~ 2012.06.06	近代の将軍の茶道の社会政治的な特徴

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
45	VEKASI, Kristin E	ウィスコンシン大学マディソン校 博士課程	米国	東京大学	2010.09.02 ~ 2011.09.01	お役所仕事、米ドル紙幣：日中関係における政治紛争と経済論理
46	WOOLLEY, Charles	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2011.09.11 ~ 2012.09.10	異国情緒を書く：18~20世紀の日本文学における他の場所と物語の空間
47	YI, Christina	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2010.09.19 ~ 2011.09.18	強制的なコラボレーション：1930年代から80年代にかけての韓国人作家による日本語文学作品制作と受容
48	STERNSDORFF CISTERNA, Nicolas	ハーバード大学 博士課程	チリ	上智大学	2011.09.01 ~ 2012.09.30	国のテースト：現代日本における食の政治とナショナリズム
49	KIKUCHI, Wataru	サンパウロ大学 博士課程	ブラジル	神奈川大学	2011.07.11 ~ 2011.11.30	現代日本社会の上下関係
50	SILVA, Victor Hugo Martins Kebbe	サン・カルロス連邦 大学 博士課程	ブラジル	静岡大学	2010.06.01 ~ 2011.05.31	出稼ぎ労働者の親族関係

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ(学者・研究者 短期) [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 14,197,264 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	MANICOM, James	ウォータールー大学 ポストドクトラル・フェロー	カナダ	海洋政策研究財団	2011.06.04 ~ 2011.08.01	問題海域に橋をかける—中国、日本、そして、21世紀の東アジアにおける海洋秩序
2	SORNIN, Alexis Stephane	カナダ建築センター研究所 所長	カナダ		2011.09.16 ~ 2011.10.13	近現代日本建築に関するカナダ建築センター図書館コレクション
3	HIRAYAMA, Mikiko	シンシナティ大学 准教授	米国		2011.06.09 ~ 2011.07.02	ニューレアリズム：戦時中の日本美術批評
4	HOCKLEY, Allen	ダートマス大学 准教授	米国		2011.11.07 ~ 2011.12.11	明治期におけるビジュアルライジングヒストリー
5	KERN, Adam	ウィスコンシン大学マディソン校 准教授	米国		2011.06.11 ~ 2011.08.08	国文学研究資料館での「ペンギンブック 俳句」に関する研究
6	MCGEE, Dylan	名古屋大学 准教授	米国	名古屋大学	2011.07.22 ~ 2011.09.08	近代日本における異書体表記と読者受容の重要性
7	LOVE, Bridget	オクラホマ大学 講師	米国		2011.06.17 ~ 2011.07.17	持続不可能な発展：日本の地方部における人口減少、高齢化、再生
8	ROSS, Kerry	デポール大学 准教授	米国		2012.01.10 ~ 2012.02.27	カメラの民主化：20世紀初頭日本における消費と写真手法
9	SCHALOW, Paul	ラトガース大学 教授	米国		2011.06.24 ~ 2011.08.21	藤原頼長『台記』を通じた平安文学におけるジェンダーとジャンルを探求
10	SHERIF, Ann	オバリン大学 教授	米国		2011.06.02 ~ 2011.07.01	活字への回帰：被災後の出版と文学—1945年から
11	SOTOZAKI, Hiroko	ウェスタンイリノイ大学 准教授	米国		2011.06.17 ~ 2011.07.23	ひらがなは漢字習得技術を予見できるか？
12	ZWICKER, Jonathan	ミシガン大学 准教授	米国		2011.06.30 ~ 2011.08.19	印刷時代における動画：スクラップブックと日本映画初期アーカイブ
13	MORALES MATSUBARA, Leiko	サンパウロ大学 准教授	メキシコ	上智大学	2011.10.31 ~ 2011.12.28	在日ブラジル人と帰国生のバイリンガリズム：日本語とポルトガル語に関する言語能力、言語意識、言語態度
14	NAMEKATA, Marcia Hitomi	パラナ連邦総合大学 教授	メキシコ	東京外国語大学	2012.01.09 ~ 2012.02.22	『心中天網島』：近松門左衛門の著作は最初から現在まで

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
15	TANAKA, Michiko	コレヒオ・デ・メ ヒコ 教授	メキシコ	早稲田大学	2011.06.21 ~ 2011.08.06	日本における北側民次の活動と作品の所在
16	PEINADO, Javier	ハベリアナ大学 准教授	コロンビア	京都女子大学	2011.09.17 ~ 2011.10.16	ヴィジュアル民族誌比較：日本とコロンビアにおいて技術媒体が 都市全体に及ぼす影響
17	OKANO, Michiko	サンパウロカト リック大学 研究員	ブラジル		2011.02.07 ~ 2011.03.10	多文化共生の街—日本における中国、韓国及びブラジル移民の街

米州交流事業費

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議(主催) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 4,710,820 円

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	メキシコ日本研究セミナー	メキシコ	メキシコ国立自治大学映像センター	2012.03.09 ~ 2012.03.14	東日本大震災後1年のメモリアル事業。被災者への鎮魂、被災地での救援活動と地域復興、自然災害と建築についてのパネルディスカッションと東日本大震災映像の上映会を実施
2	復興のためにアートは何ができるか	ブラジル		2012.03.01 ~ 2012.03.31	宮城県石巻市で仮設住宅壁画プロジェクトに関わったグラフィティ・アーティストのTiti Freakによる講演会と、事業開発戦略室が作成した東日本大震災映像の上映会を実施

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議(助成) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 27,297,856 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	「現代日本の文化・社会へのアクセス」2012	東アジア地域区分困難 大洋州地域区分困難 米国 欧州地域区分困難	国際文化会館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本情報専門家や若手日本研究者が国境や職業の枠を超えて結びつき、多様な面での相乗効果を得られる国際相互理解を通して人的ネットワークを構築することを目的に、現代日本情報の探索、収集技術に関するワークショップを開催
2	Mangaとグローバル文化	アジア地域区分困難 オーストラリア 米国 欧州地域区分困難	鶴見大学	2012.03.15 ~ 2013.03.31	漫画というメディアが言語や習慣の壁を越えて世界各国の文化に受け入れられ、日本文化理解の促進につながった事実注目し、カナダ、米国、英国、オーストラリア、日本の5カ国の専門家が集うシンポジウムを実施
3	人間の安全保障と自然災害	大洋州地域区分困難 欧州地域区分困難	早稲田大学	2012.02.20 ~ 2012.02.22	東北の震災、また他国の過去の災害を例にとり、自然災害は人間の安全保障の観点において組み込むことが可能か否かを考える国際会議。自然科学・社会科学の専門家、国連関係機関、市民社会団体などの多様な人材を招へいして実施

米州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
4	愛すべき敗者たち：平家、その行為と記憶	カナダ	アルバータ大学	2011.05.01 ~ 2012.03.31	源平合戦の敗者でありながら、日本の文学・文化の世界で愛されている平家に焦点を当て、歴史、文学、文化など多様な分野の日本研究者を招へいた国際会議を開催
5	グローバリゼーション時代における日本の教育：新たなコンテキストの中の継続的な課題	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	2011.04.26 ~ 2011.10.01	カナダ、米国、オーストラリア、日本から14名の教育、人類学、政治学、社会学等の多様な分野の研究者が論文を持ち寄り、日本の教育改革を社会や経済の変動の文脈の中で捉え議論する国際シンポジウムを実施。成果は、2013年に書籍『Japanese Education in an Era of Globalization』として出版
6	ブリティッシュ・コロンビアが学べきこと	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	2012.03.15 ~ 2012.03.17	環太平洋地域で起こりうる自然災害について研究する、日本・カナダの学術団体と政策実施者との相互理解を深めるためのプロジェクト。カナダの専門家による被災地視察、日本側専門家とのネットワーキングと情報収集を経て、カナダでワークショップを実施。東日本大震災復興支援事業
7	3.11：課題、研究とその教授法	米国 欧州地域区分困難	上智大学比較文化研究所	2012.03.15 ~ 2013.03.31	2日間にわたる会議を実施し、多様な専門性を持つ参加者が東日本大震災のどのような側面を如何に教えるかについてシラバスを持ち寄り発表。更に、分野別のパネルで議論。報告書の作成と併せて、カリキュラムや教材のデータベース化とウェブ公開も実施
8	震災復興特別シンポジウム「災害復興・平和構築と市民の力」	米国	日本NPO学会	2012.03.17	世界各地で発生した大災害の事例を元に、災害後の市民の行動に共通する力の所在と可能性について議論する国際シンポジウム。研究者、ジャーナリスト、実務家等、様々な立場の専門家が参加
9	日米欧のユーラシア境界研究・連携プロジェクト	米国 欧州地域区分困難	ユーラシア研究・日米交流委員会	2011.05.01 ~ 2012.03.30	米国と日本の境界研究者が中東欧の研究者と協力し、ワルシャワで「ユーラシアにおけるボーダー(境界)と平和構築：日米欧の経験と協力」のテーマで議論を実施
10	ベンチャー・フィランソロピー・モデルの普及啓発事業	米国 英国	AVPNジャパン	2011.11.17 ~ 2012.03.31	ベンチャー・フィランソロピーのコンセプトと運営モデルを紹介するセミナーとワークショップを開催。講演会には100名、ワークショップには30名の研究者、NPO/NGO関係者などが参加
11	セミナー「日本の防潮林」	ホンジュラス	北海道森林ボランティア協会	2012.02.01 ~ 2012.02.14	防潮林の機能や限界、また植林活動の重要性についての理解を深める目的で、東日本大震災の事例を踏まえ、日本の防潮林についてのセミナーを実施
12	出稼ぎ第2世代から見えるトランスナショナルな日系アイデンティティを検証する	ブラジル	浜松学院大学地域共創センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	サンパウロにて、親の出稼ぎなどにより国際移動を繰り返す子供のアイデンティティの変容に関するエスノグラフィ記録映画を上映。更に、デカセギの意義とデカセギが家族にもたらす影響についての国際シンポジウムを実施。約200名が一般来場
13	第2回日本・ペルー学長会議	ペルー	東海大学	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「人間の安全保障とグローバル社会における大学の役割」をメインテーマとし、日本・ペルー両国の19大学・研究機関の学長・代表者を招へいし、実施する国際会議

米州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
14	京都インターナショナルコンテンツポラリーテキスタイルアートセンター オリリズム実行委員会	米州地域区分困難 欧州地域区分困難	オリリズム実行委員会	2012.03.15 ~ 2013.03.31	世界で活躍する織物作家12名が集まり、作品を発表するとともに、様々な交流の場となるシンポジウムを開催
15	日本と海外の文化交流の今後	欧州地域区分困難	国際児童青少年演劇フェスティバル大阪実行委員会	2011.04.01 ~ 2012.03.31	児童・青少年を対象とした演劇フェスティバルの期間中、国内外からパネリストを招へいして「文化交流の今後」をテーマとした国際シンポジウムを実施
16	2011国際環境教育フォーラム	ブラジル	日伯文化協会	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「日本の里山文化とブラジル大西洋沿岸森林の再生」をテーマとした国際会議。学生や環境問題に関わるNPO関係者等が多数参加

米州交流事業費

3. 催し等事業費 / (3) 人材育成 Grant [米州]

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 3,882,600 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	日本カナダ学術連携フォーラム	カナダ	立命館大学	2012.02.21 ~ 2012.02.27	「日本カナダ学術コンソーシアム」に所属する日加両国大学から各15名の学生が集い、「震災後の日加協力と相互理解」をテーマに講義やグループワークを実施。最終日にはグループでの成果発表も実施
2	ステラリーダーシップフォーラム 2011	米国	ステラ・ジャパン	2011.08.15 ~ 2011.08.23	米国スタンフォード大学で開催される9日間の合宿型フォーラムを実施。科学技術に関する国際問題に関心のある日・米・中・仏の大学に籍を置く学生45名が参加し、リーダーシップ・プログラム、分科会、グループ・プロジェクトなどを実施。「環境の持続可能性」をテーマに、分科会ではエネルギー、生物多様性、水資源の3点に着目
3	第63回日米学生会議	米国	日米学生会議	2011.07.28 ~ 2011.08.21	社会問題解決の糸口を探ると共に、学生会議の意義を再考することを目的に、日米両国の学生71名が1カ月間日本各地を視察し、政治・経済・文化などの分野にわたり、専門家も交えて討論を行う事業。本年は震災の分科会が新たに設けられ、最終的には日米両首脳への震災に関する提言書も作成
4	日米青少年親善文化交流と意見交換	米国	特定非営利活動法人横浜旭ベースボールクラブ	2011.08.03 ~ 2011.08.06	日本の青少年の国際感覚を養うため、米国サンディエゴ市の中学生24名を神奈川県横浜市に招待して親善文化交流と意見交換をする事業。日本側からは132名が参加、食文化や教育制度、野球制度の違いについて討論会を実施
5	日本現代ファイバーアートに関するシンポジウム	米国	国際テキスタイルネットワークジャパン	2011.06.04 ~ 2011.12.18	日本現代ファイバーアートの展覧会を開催し、併せて、連携したシンポジウムをニューヨークで開催。世界で評価されている日本のファイバーアートの仕事と人材を通して、日米両国の文化交流を深めると共に、若手作家も参画させることで今後のファイバーアート分野を担う若い世代を支援

日本研究・知的交流事業に必要な経費

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔アジア・大洋州〕
- (2) 北京日本学研究センター派遣（北京外国語大学）
- (3) 北京日本学研究センター派遣（北京大学）
- (4) 北京日本学研究センター招へい（北京外国語大学）
- (5) 北京日本学研究センター招へい（北京大学）
- (6) 北京日本学研究センター研究支援（北京外国語大学）
- (7) 北京日本学研究センター研究支援（北京大学）
- (8) 日本研究機関支援〔アジア・大洋州〕
- (9) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔アジア・大洋州〕

2. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 長期）〔アジア・大洋州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（論文執筆者）〔アジア・大洋州〕
- (4) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 短期）〔アジア・大洋州〕
- (5) 日本研究フェローシップ（高砂熱学工業）
- (6) 知的リーダー交流（招へい）〔アジア・大洋州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（助成）〔アジア・大洋州〕
- (2) 知的交流会議（企画参画助成）〔アジア・大洋州〕
- (3) 知的交流会議（主催）〔アジア・大洋州〕
- (4) 人材育成グラント〔アジア・大洋州〕

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究ネットワーク強化(主催)[アジア・大洋州]

学問分野を超えた日本研究者・研究機関相互の連携と協力を推し進め、各国・地域における中核的な知日層とわが国の長期的な関係を維持発展させるため、海外の日本関連学会や元日本人留学生の組織化・活動を支援する。

合計額 12,578,828 円

	事業名	開催国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	韓国における日本研究調査	韓国	—	—	世宗研究所	2012.02.10 ~ 2012.03.31	各国・各地域における日本研究の動向を把握し、支援ニーズを見極めるために一定期間ごとに実施している「海外日本研究機関調査」の韓国版。平成22年度に世宗研究所への業務委託により実施したデータ収集の次段階として、既存データの修正、新規データの収集及びそれら集計データに基づき現状分析を含む報告書の執筆方針を策定するための各分野専門家とのワークショップの実施
2	第2回東アジア日本研究フォーラム&公開シンポジウム	日本	宮城郡松島町 仙台市	松島センチュリーホテル会議場 仙台国際センター会議場	財団法人仙台国際交流協会	2011.12.08 ~ 2011.12.10	東アジア地域における日本研究の更なる推進と研究者間のネットワーク強化を目的として、2011年12月8日、9日の両日、日本、韓国、中国及び台湾の研究者計26名を宮城県松島町に集めて、非公開の集中フォーラムを実施するとともに、一行が東日本大震災の被災地を視察。12月10日には仙台市内で一般公開シンポジウム「東アジアは東日本大震災をどう論じたか—東北復興へのメッセージ」を開催し、復興へのエールを発信
3	北京日本学研究センター「東日本大震災シリーズ講演会」	中国	北京	北京日本学研究センター		2011.12.09 ~ 2011.12.11	東日本大震災後の日本の状況についての正確な情報を発信するため、北京日本学研究センターに藤本隆宏(東京大学教授)を派遣し、一般市民にも公開する講演会を実施。震災の日本及び世界的なサプライチェーンへの影響・状況等について報告と展望を交えて最新の分析を紹介するとともに、パネラー等中国人研究者とも交流
4	ガバナンスと市民社会に関するセミナー(北京)	中国	北京	中国共産党中央編訳局	中国共産党中央編訳局比較政治・経済研究センター	2012.03.22 ~ 2012.03.24	日本から派遣する専門家による講演及び現地研究者等との意見交換を通じ、日本の政治・ガバナンスの制度や市民社会についての理解促進、及び参加者間のネットワークの構築を目的とし、「ガバナンスと市民社会」をテーマとしたセミナーを開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	開催国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	日本研究巡回セミナー	ベトナム	ハノイ フエ ホーチミン	ベトナム国家大学 附属人文社会科学 大学 フエ外国語大学 ホーチミン市人文 社会科学大学	フエ外国語大学 ベトナム国家人文 社会科学センター 日本研究センター ホーチミン人文社 会科学大学	2012. 02. 26 ~ 2012. 03. 02	ハノイ、フエ、ホーチミンのベトナム3都市に 原武史(明治学院大学教授)を派遣し、「鉄道 と日本の近代」というテーマで鉄道の視点か ら見る日本の政治思想史等について講演
6	巡回セミナー「震 災復興と人々のつ ながり」	オーストラリア	シドニー メルボルン	Blake Dawson シドニーオフィス Blake Dawson メルボルンオフィ ス		2012. 02. 23 ~ 2012. 02. 24	「人々のつながり」の側面から東日本大震災 の復興を考えるセミナーをシドニーとメルボ ルンで開催。日本からは赤澤清孝(特定非営利 活動法人ユースビジョン法人代表)が、豪州か らはレスキュー隊チームリーダー、JENESYS次 世代リーダープログラム「防災と人々のつな がり」に参加した元消防士、日本研究者等が 参加
7	日本研究セミナー	米国	ホノルル	ホノルル・コンベ ンションセンター	国立公文書館 アジア歴史資料 センター	2011. 03. 31 ~ 2011. 04. 03	米国アジア研究学会(The Association for Asian Studies, 略称AAS)の70周年記念総会に て国立公文書館アジア歴史資料センターが実 施するパネルセッションに日本人の日本近・ 現代史研究者3名を講師として派遣

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 北京日本学研究センター派遣(北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 23,649,256 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	笠原 清志	立教大学教授	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京日本学研究センターの教育・研究活動及び運営方針の策定・実施にかかる助言を基金及びセンターに与えるとともに「日中文化比較」の講義を担当
2	畔上 和子	北京日本学研究センター日本側事務主任	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本側主任教授、派遣教授を補佐するとともに、北京日本学研究センター内の日本側事務局の運営事務を担当
3	巖 安生	北京外国語大学教授	2011.04.01 ~ 2011.06.30 2011.08.31 ~ 2013.03.31	北京日本学研究センターにおいて、「日中文化比較」の講義の一部を担当
4	荒山 裕行	名古屋大学経済学部 助教授	2011.04.17 ~ 2011.05.11	北京日本学研究センターにおいて、経済コースの講義・学生指導を担当
5	斎藤 倫明	東北大学日本語学講座 教授	2011.04.24 ~ 2011.05.14	北京日本学研究センターにおいて、日本語学コースの講義・学生指導を担当
6	久保田 美子	国際交流基金日本語国際センター 専任講師	2011.05.06 ~ 2011.05.31	北京日本学研究センターにおいて、日本語教育学コースの講義・学生指導を担当
7	曾根原 理	東北大学学術資源研究公開センター 助教授	2011.06.01 ~ 2011.06.30	北京日本学研究センターにおいて、日本文化コースの講義・学生指導を担当
8	宮崎 里司	早稲田大学日本語教育研究センター 教授	2011.08.26 ~ 2011.09.14	北京日本学研究センターにおいて、日本語教育コースの講義・学生指導を担当
9	藤本 隆宏	東京大学大学院経済学研究科 教授	2011.10.10 ~ 2011.10.12	北京日本学研究センターにおいて、東日本大震災をテーマにシリーズで講演会を行う
10	高橋 郁夫	慶應義塾大学商学部 教授	2011.10.10 ~ 2011.11.03	北京日本学研究センターにおいて、日本経済コースの講義・学生指導を担当
11	小島 康敬	国際基督教大学教養学部 教授	2011.10.11 ~ 2011.11.09	北京日本学研究センターにおいて、日本文化コースの講義・学生指導を担当
12	大橋 毅彦	関西学院大学 教授	2011.12.09 ~ 2011.12.31	北京日本学研究センターにおいて、日本文学コースの講義・学生指導を担当
13	庵 功雄	一橋大学 准教授	2012.03.07 ~ 2012.03.29	北京日本学研究センターにおいて、日本語教育コースの講義・学生指導を担当

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (3) 北京日本学研究中心派遣(北京大学)

北京大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 3,937,310 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	角南 篤	政策研究大学院大学 准教授	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本側主任教授として、北京大学現代日本研究センターの教育・研究活動及び運営方針の策定・実施に関する助言を与えるとともに、同センター博士第6期生に対する「日本型イノベーションシステムの進化とグリーンイノベーション政策」科目での講義を実施
2	大場 淳	広島大学高等教育研究開発センター 准教授	2011.04.20 ~ 2011.04.23	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「日本の教育政策：制度と運用」科目での講義
3	岡崎 健二	政策研究大学院大学 教授	2011.11.07 ~ 2011.11.10	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「災害リスクマネジメント」科目での講義
4	小松 正之	政策研究大学院大学 教授	2011.12.13 ~ 2011.12.16	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「日本の水産業政策・水産業」科目での講義
5	吉野 直行	慶應義塾大学経済学部 教授	2011.12.28 ~ 2011.12.31	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「金融論」科目での講義
6	道下 徳成	政策研究大学院大学 准教授	2012.03.01 ~ 2012.03.03	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「日本の外交・安全保障政策」科目での講義
7	鈴木 賢	北海道大学法学研究科 教授	2012.03.02 ~ 2012.03.07	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「日本の法制度」科目での講義
8	染野 憲治	環境省中国環境情報分析官	2012.03.07 ~ 2012.03.10	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「日本の環境政策」科目での講義
9	吉川 洋	東京大学大学院経済学研究科 教授	2012.03.12 ~ 2012.03.14	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「現代日本経済」科目での講義
10	堀江 正弘	政策研究大学院大学 教授	2012.03.13 ~ 2012.03.16	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「日本における国・地方関係と地方自治」科目の講義
11	中島 秀人	東京工業大学大学院社会理工学研究科 教授	2012.03.19 ~ 2012.03.22	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「日本の技術社会」科目の講義
12	首藤 明和	兵庫教育大学大学院学校教育研究科 准教授	2012.03.27 ~ 2012.03.30	北京大学現代日本研究センター博士第7期生に対する「現代日本の社会文化・社会教育学」科目の講義

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (4) 北京日本学研究センター招へい(北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される北京日本学研究センター事業に関し、日本研究者の招へいを行う。

合計額 50,624,519 円

	事業名	氏名	現職	人数	受入機関	期間	事業内容
1	フェローシップ(博士10期)	岳 遠坤	日本語教師	1	首都大学東京 人文科学研究科	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京日本学研究センターの博士課程の学生に対し、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
2	フェローシップ(博士10期)	曾 艶	博士課程学生	1	早稲田大学 日本語教育研究科	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京日本学研究センターの博士課程の学生に対し、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
3	フェローシップ(博士11期)	傅 玉娟	博士課程学生	1	国際日本文化研究センター	2011.12.01 ~ 2013.04.30	北京日本学研究センターの博士課程の学生に対し、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
4	フェローシップ(博士11期)	陳 燕青	博士課程	1	神戸市外国語大学	2012.01.31 ~ 2013.03.31	北京日本学研究センターの博士課程の学生に対し、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
5	訪日研究(修士25期生)招へい	張 婧 他	北京日本学研究センター修士課程学生	20		2011.04.04 ~ 2011.08.02	北京日本学研究センターの修士課程学生に訪日研究の機会を提供。日本各地の大学・研究機関等の教授・研究者が受入教官となり、修士論文の草稿作成・資料収集を指導
6	訪日研究(修士26期生)招へい	張 希西 他	北京日本学研究センター修士課程学生	20		2012.03.28 ~ 2012.08.01	北京日本学研究センターの修士課程学生に訪日研究の機会を提供。日本各地の大学・研究機関等の教授・研究者が受入教官となり、修士論文の草稿作成・資料収集を指導

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (5) 北京日本学研究中心招へい(北京大学)

北京大学で実施される現代日本研究センター事業に関し、日本研究者の招へいを行う。

合計額 7,680,265 円

	事業名	人数	期間	事業内容
1	訪日研修(博士第6期)	23	2011.07.13 ~ 2011.07.27	北京大学現代日本研究センターの講座受講生(第6期博士課程20名、その他随員3名)に対して、北京で受けた講義の定着を目的に訪日研修を実施

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (6) 北京日本学研究中心研究支援(北京外国語大学)

北京外国語大学北京日本学研究中心の日本研究者育成を支援する。

合計額 10,955,106 円

	事業名	期間	事業内容
1	現地経費(教育・研究)	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京日本学研究中心が実施する紀要『日本学研究』ほか日本研究図書の出版、研究プロジェクト及び同センター教授による地方講演にかかる経費等の支援
2	教材等購送	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京日本学研究中心に対し講義用教材、図書館資料を購送
3	文献複写	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京日本学研究中心図書資料館が日本国内の図書館に対して文献複写依頼を行う経費を支援
4	図書館システム	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京日本学研究中心図書資料館で使用中の図書館情報システムにかかるソフトウェア保守費を支援

1. 日本研究事業費 / (7) 北京日本学研究中心研究支援(北京大学)

北京大学現代日本研究センターの日本研究者育成を支援する。

合計額 417,136 円

	事業名	期間	事業内容
1	教材等購送	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北京大学現代日本研究センターに対し講義用教材、図書館資料を購送

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (8) 日本研究機関支援 [アジア・大洋州]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、該当国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める。

合計額 103,914,926 円

	対象機関	対象国・地域	期間	事業内容
1	翰林大学校	韓国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	1935年から1945年の植民地時代の貴重な資料である『朝日新聞外地版』の目録の編纂・出版を支援
2	国民大学校	韓国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本の韓国研究機関と韓国の日本研究機関の代表者によるそれぞれの研究状況と課題、そして、共同研究の課題を探る会議を支援。更に、2010年開催の国際学術大会「朴正熙時代における日韓関係の再照明」の記録の出版を支援するとともに、日本研究図書を購送
3	高麗大学校	韓国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本近世文学会2011年度秋季大会の高麗大学校での開催と植民地期日本語文学に関する叢書・資料集10巻の編集・出版を支援。日本研究図書を購送
4	ソウル大学校	韓国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日韓の若手研究者によるワークショップ、日本から招へいた専門家のセミナー、学生の日本研修、大学院生の日本における資料調査の実施を支援するとともに、日本研究図書及び雑誌の購送を実施
5	全南大学校	韓国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	翻訳をキーワードに、異文化交流の視点から日韓の文化理解を目指すシンポジウムの実施とこれまで開催した第1回～第5回の国際シンポジウムの成果の出版を支援するとともに、日本研究図書の購送を実施
6	四川外国語学院	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	国際会議「地域研究としての日本学～学際的な視点から～」への助成に加え、2件の出版助成と日本研究図書購送を実施
7	浙江工商大学	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	清末の日中交流に関する呂順長の浙江工商大学提出博士論文及び「中日戦略信頼と戦略合作」と題した2010年開催のシンポジウムの報告論文集出版を支援するとともに、「東アジアの漢籍研究－奈良を中心として－」と題したシンポジウムの開催を支援。また、専門家によるセミナー「日本歴史文化高級講習班」の開催を支援
8	中国社会科学院研究生院	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	研究生院で日本での研究を行った周傑の日本の選挙制度に関する博士論文、徐金鳳の九鬼周造に関する博士論文をもとにした書籍の出版を支援
9	東北師範大学	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	解学詩（吉林省社会科学院教授）、西村成雄（放送大学教授）、河東哲夫（早稲田大学教授）による集中講義の実施を支援。さらに、院生による訪日研修、学術誌『外国問題研究』及び『「偽満」歴史文化と現代中日関係[上下巻]』の出版を支援
10	東北大学	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	野崎勉（鹿児島大学教授）招へいによる集中講義や中国人研究者による来日調査研究に対する支援を行うとともに日本研究図書の購送を実施
11	南開大学	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	堀江正弘（政策研究大学院大学教授）、野島陽子（東大教授）による集中講義の実施を支援。更に、グローバル化における日本社会安定メカニズムに関する国際会議の開催、研究誌『南開日本研究』及び『東アジアモデルと地域発展－世界金融危機下の再思考－』の出版、大学院生による訪日研修の実施を支援するとともに、日本研究図書を購送
12	復旦大学	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	瀧井一博（国際日本文化研究センター准教授）による集中講義及び国際シンポジウム「環境問題と持続可能な経済発展」への助成、日本研究図書の購送及び2件の出版助成を実施
13	遼寧大学	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日中の研究者による21世紀の日中関係に関するシンポジウムの開催を支援

アジア・大洋州交流事業費

	対象機関	対象国・地域	期間	事業内容
14	渡辺健基金図書寄贈	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	元外務省職員故渡辺健の遺族より託された寄付金の運用益を活用し、中国天津社会科学院に対して日本研究関連図書を寄贈
15	国立政治大学	台湾	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本からの派遣教授による日本の政治・経済に関する講義の実施を支援。国立政治大学教授、研究員が来日し、研究活動及び日本の研究機関との連携に関する調査・打ち合わせを実施。2010年度に開催した日・台の研究者によるシンポジウムの成果の出版や日・米・香港の若手研究者と台湾の若手研究者の合同研究セミナーの開催を支援。更に、日本研究に関する学会誌、研究誌などの購送を実施
16	国立政治大学(H22年度)	台湾	2011.04.01 ~ 2011.06.30	平成22年度事業として実施した図書944タイトルの購送に関し、2011年3月31日までに集荷・納品できなかった12タイトルの書籍購入経費及び左記点数を含む全944タイトルにかかる送料
17	インドネシア大学	インドネシア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	大学院スタッフ経費、学生スカラシップの供与等、大学院の運営に関する支援を行うとともに、日本社会・日本外交に関して派遣教授が集中講義を実施。更に、日本の学術機関との共催によるシンポジウムの実施を支援
18	シンガポール国立大学	シンガポール	2011.04.01 ~ 2012.03.31	現代の東南アジア諸国における日本文化の役割について講義を実施するために専門家を招へいするほか、同テーマによる研究会議やワークショップの実施、大学院生による研究を支援
19	タマサート大学教養学部日本学科	タイ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	修士課程の学生10名を対象とする約2週間の訪日研修事業と日本研究科の学生を対象とした講義の講師謝金を助成のほか、図書を寄贈
20	タマサート大学東アジア研究所	タイ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	国際会議「アジアにおける持続可能な社会に向けた地域協力」を助成のほか、日本研究ジャーナル発行経費を支援
21	チュラロンコン大学	タイ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	修士課程の学生に対して講義を行うための日本人専門家派遣経費と、修士課程の学生4名を対象とした約2週間の訪日研修の経費を支援
22	アテネオ・デ・マニラ大学	フィリピン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	国際会議「マイグレーションと多文化共生の可能性を探る」への助成と、図書の寄贈を実施
23	デ・ラ・サール大学	フィリピン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	国際会議「東・東南アジアにおける共同体の構築」への助成と、図書の寄贈を実施
24	ハノイ国家大学	ベトナム	2011.04.01 ~ 2012.03.31	研究発表会議「日本学集中講座」への助成に加え、出版助成及び日本研究図書の購送を実施
25	ホーチミン市国家大学人文社会科学大学日本研究センター・日本学科	ベトナム	2011.04.01 ~ 2012.03.31	中山富広（広島大学教授）、白石昌也（早稲田大学教授）による集中講義の実施への助成、及びシンポジウム「日本とベトナムの『文明開化』の比較研究」への助成を実施
26	ホーチミン市国家大学人文社会科学大学文学言語学部	ベトナム	2011.04.01 ~ 2012.03.31	国際会議「日本文学とベトナム文学 ―東アジアの視点から―」への助成を実施
27	マラヤ大学	マレーシア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	加藤剛（龍谷大学教授）による集中講義の実施を支援するとともに、日本の企業文化及び日本の童話に関するシンポジウムの開催を支援
28	ジャワハルラル・ネルー大学	インド	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本人専門家による集中講義の実施を支援するとともに日本研究図書の購送を実施

アジア・大洋州交流事業費

	対象機関	対象国・地域	期間	事業内容
29	デリー大学	インド	2011.04.01 ～ 2012.03.31	日本研究図書の購送を実施
30	オーストラリア国立大学	オーストラリア	2011.04.01 ～ 2012.03.31	豪州及びアジア大洋州地域の日本研究大学院生約20名を対象に実施する3日間のサマースクールを実施。大学院生による研究発表・討議、海外の研究者による講演会、海外の研究者による講演会、ANU及び国立図書館・国立公文書館等の研究者によるパブリックレクチャー等を開催
31	オークランド大学	ニュージーランド	2011.04.01 ～ 2012.03.31	教授1名、ポストドクター研究員1名の採用にあたっての経費、アジア太平洋地域共同体の文脈における日本・ニュージーランド関係に関するシンポジウムの開催及びその報告書の出版経費に対する支援を実施。また、日本研究図書の購送、情報提供HPへの支援を実施

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (9) 日本研究ネットワーク強化(助成) [アジア・大洋州]

国境・学問分野を超えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 28,154,771 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	日本語文学会	韓国	2011.04.01 ~ 2011.07.02	韓国における主要な日本研究学会が共催し、事務局持ち回り方式で実施される韓国日本学連合会国際学術大会。今回が9回目の開催
2	タイ国日本研究ネットワーク	タイ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	タイの主要大学の若手・中堅の日本研究者が中心となり2007年5月に設立された全国的ネットワークが実施するオール・タイ体制の日本研究事業。2011年は、総会開催(学会併催、2011年10月)、JSN実行委員会(年3回)、2012年総会発表者の論文募集と選定、JSNジャーナルの発行を実施
3	タイ国元日本留学生協会	タイ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するタイの元日本留学生会の活動を支援
4	インドネシア元日本留学生協会	インドネシア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するインドネシアの元日本留学生会の活動を支援
5	インドネシア日本研究学会	インドネシア	2011.10.01 ~ 2011.10.31	1990年に設立された同学会は、インドネシアにおける唯一の日本研究学会であり、国際シンポジウムの開催や地方でのパブリック・レクチャー実施、ウェブサイト運営、ジャーナル発行にかかる活動経費の一部を支援
6	カンボジア元日本留学生同窓会	カンボジア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するカンボジアの元日本留学生会の活動を支援
7	シンガポール元日本大学卒業生協会	シンガポール	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するシンガポールの元日本留学生会の活動を支援
8	元日本留学生フィリピン連盟	フィリピン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するフィリピンの元日本留学生会の活動を支援
9	ベトナム元日本留学生会	ベトナム	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するベトナムの元日本留学生会の活動を支援
10	東方政策留学生同窓会	マレーシア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するマレーシアの元日本留学生会の活動を支援。マレーシアの「東方政策」により日本で留学した後、帰国した元留学生が組織する同窓会の活動を支援
11	マレーシア元留日学生協会	マレーシア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するマレーシアの元日本留学生会の活動を支援
12	マレーシア日本研究協会	マレーシア	2012.02.21 ~ 2012.02.23	東南アジア各国の日本研究学会が一堂に会し、研究者に発表の機会を設けネットワークの構築、強化を行う。また、外部から基調講演者として、アジアについて多くの評論を発表している小倉和夫(国際交流基金理事長)を招へい
13	ミャンマー元日本留学生協会	ミャンマー	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するミャンマーの元日本留学生会の活動を支援

アジア・大洋州交流事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
14	マードック大学	オーストラリア	2011.06.29 ~ 2011.07.02	豪州、ニュージーランド、東南アジアの日本研究者を対象に、研究能力の開発と知的ネットワーク形成を目的として、19世紀後半の日本語文献を読む2日間の集中ワークショップをシドニー日本文化センターにて実施。2010年に続いて2回目の開催
15	メルボルン大学	オーストラリア	2011.07.04 ~ 2011.07.07	オーストラリアで唯一の分野横断的な日本研究者の学会であるオーストラリア日本研究学会(JSAA)の第17回総会開催経費に対する助成。総会には数百名規模の参加者が国内外から参加。セッションの一つとして「Tohoku Earthquake and Tsunami Roundtable」を実施

2. 人物交流事業費 / (1) 受託事業(アセアン)

日本研究・知的交流分野での国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 56,537,659 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	JENESYS Programme 東アジア大学院生 日本研究特別招へいプログラム(4年次)	Adiasri Putri Purbantina Hapsari, Eky Kusuma Rachmawati, Ratih Kokheng, Lim Tay, Wei Leong Mesupnikom, Nirinthon Sumonpun, Varin Hosmillo, Bernidick Bryan Punzalan Lan, Nguyen Kim Thao, Luu Bich Kho, Derek Lip Teck Lee, Lian Kim Mohamad, Siti Nurazah Binti	インドネシア大学 大学院日本地域研 究科 大学院生 パジャジャラン 大学 大学院生 ガジャマダ大学政 治社会学部 大学 院生 王立法律経済大学 講師 シンガポール国立 大学 リサーチア シスタント タマサート大学 大学院 大学院生 タマサート大学 大学院 大学院生 アテネオ・デ・マニ ラ大学 大学院生 ハノイ貿易大学 講師 ベトナム国家大学 講師 マレーシアサバ 大学 大学院生 マレーシア科学 大学 大学院生 マラヤ大学 大学院生	インドネシア インドネシア インドネシア カンボジア シンガポール タイ タイ フィリピン ベトナム ベトナム マレーシア マレーシア マレーシア	2011.07.20 ~ 2011.08.31	アジア・大洋州地域で日本研究(東アジア研究を含む)を専攻中の、今後の活躍が期待される大学院生に対し、日本の大学院・研究機関等で研究・調査活動を行う機会を提供 【21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)】

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
		Htet Htet Aung	ヤンゴン大学 大学院生	ミャンマー		
		Thida Kyaw	ヤンゴン大学 大学院生	ミャンマー		
		Vongphachanh, Lindara	ラオス国立大学 講師	ラオス		
		Dutta, Gaurav	デリー大学 大学院生	インド		
		Zou, Mangson Kamlialal	ジャワハルラル・ネ ルー大学 大学院 生	インド		
		Lim, Jason Teang Huy	シドニー大学 大学院生	オーストラリア		
2	JENESYS Programme 次世代リーダーブ ログラム(K-エネ ルギー)	Li, Pengfei	中国社会科学院工 業経済研究所 工 業資源と環境研究 室副主任	中国	2011.05.16 ~ 2011.05.27	東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。グループKのテーマは「エネルギー安全保障：東アジアにおける地域協力の進展」
		Harahap, Aswin Rizal	PT KOMPAS Media Nusantara 記者	インドネシア		【21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)】
		Muhammad Arifuddin	インドネシアエネ ルギー鉱業資源省 課長	インドネシア		
		Sophy, Yim	カンボジア資源エ ネルギー省 職員	カンボジア		
		Tng, Mei Ling	シンガポール環境 庁 エンジニア	シンガポール		
		Harnnarong, Faikham	EARTH プログラム オフィサー	タイ		
		Pridasawas, Wimolsiri	キング・モンクット 工科大学 化学工 学科講師	タイ		
		Virgino, John Prado	チーム・エナジー 法律顧問	フィリピン		

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Dang, Thi Ngoc Huyen	Biogas Program for the Animal Husbandry Sector 促進部門長	ベトナム		
	Le, Cam Van	ベトナム石油エネルギー会社 職員	ベトナム		
	Nguyen, Quang Thanh	NGO Live & Learn for the Environment and Community 気候変動教育オフィサー	ベトナム		
	Hamzah, Nuraniza binti	マレーシアエネルギー林業水資源省 補佐事務官	マレーシア		
	Thu, Kyaw Min	ミャンマーエネルギー省 エネルギー計画局 オフィサー	ミャンマー		
	Phithsamay, Manopaphath	ラオス鉱工業エネルギー省 電気局 電力計画課職員	ラオス		
	Chhabra, Akshay	Ministry of Power エネルギー効率局 技師	インド		
	Mahajan, Deepti	エネルギー・リソース研究所 リサーチャー兼地域担当職	インド		
	Jorgensen, Diane Clare	Geoscience Australia 地質学者	オーストラリア		
	Vivoda, Vlado	グリフィス大学 アジア研究所 リサーチフェロー	オーストラリア		
	Hyndman, Hollie Jane	ニュージーランド経済開発省 エネルギー環境グループ政策分析官	ニュージーランド		

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
3	JENESYS Programme 次世代リーダーブ ログラム(L-防災)	Park, Seongjin	韓国消防安全協会 主任	韓国	2011. 11. 27 ~ 2011. 12. 09	東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。グループLのテーマは「防災と人々のつながり：災害に強い社会の構築を目指して」 【21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)】
		Wang, Yuelong	北京地震局 副処長	中国		
		Harianto, Tommy	インドネシア国家 防災庁 予防局職員	インドネシア		
		Kusworo, Yuli	アルコム・ジョグ ジャ プログラム・ コーディネーター	インドネシア		
		Revindo, Mohamad Dian	インドネシア大学 経済学部経済社会 研究所 研究員/ 講師	インドネシア		
		Kimhong, Prak	カンボジア防災対 策委員会 第一副 長官補佐	カンボジア		
		Intatheap, Lamphai	英字紙『バンコク ポスト』ジャーナ リスト	タイ		
		Kunavichayanont, Vipavee	NPO災害デザイン 創立者	タイ		
		Jamoralin, Christie Suyin Ceres Gajo	市民災害対応セン ター フィールド・ オペレーション部 門長	フィリピン		
		Rodil, Amillah Sescon	総合環境計画コン サルタント事務所 プランニング・ アソシエイト	フィリピン		
		Matali, Mohamad Adib	ブルネイ国家防災 管理センター 特別官	ブルネイ		
		Nordin, Mohamad Syazwan Bin	ブルネイ国家防災 管理センター 特別官	ブルネイ		

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Dang, My Hanh	ケア・インターナショナルベトナム事務局 気候変動担当	ベトナム		
	Nguyen, Thanh Toan	プラン・インターナショナルベトナム事務局 気候変動専門員	ベトナム		
	Mathan, Anisha Rachel	NGOマアシー・マレーシア プログラムオフィサー	マレーシア		
	Mustafa, Mahathir Bin	マレーシア国家安全会議 区安全補佐官	マレーシア		
	Ei Ei Su Mon	ミャンマー運輸省 気象水門局 管理者補佐	ミャンマー		
	Sandar Tun	ミャンマー運輸省 気象水門局 管理者補佐	ミャンマー		
	Sithisack Xayta	国連世界食料計画 ロジスティクス補佐官	ラオス		
	Bhaswati Thakurta	コルカタ大学 ウーマンズ・スタディー・リサーチセンター 大学院生 (博士課程)	インド		
	Andrew Joseph Mcnamara	オーストラリア ニューサウス ウェールズ州消防救急署 消防救急署員 都心部捜索救命指導官	オーストラリア		
	Cameron John Tarbotton	ニューサウス ウェールズ大学 オーストラリア・太平洋津波研究センター 博士候補	オーストラリア		

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
		Godycki, Alicia Louise	オーストラリアビクトリア州救急サービス 地域社会教育チームリーダー	オーストラリア		
		Deirdre Brid Nagle	ビショップアクションファンデーション 上級計画管理者	ニュージーランド		
4	JENESYS Programme 次世代リーダープログラム(M-エネルギー)	KIM Hyo Jae	仁川国際空港施設 処 マネジャー	韓国	2012.03.05 ~ 2012.03.16	<p>東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。グループMのテーマは「エネルギー安全保障：持続可能なエネルギーシステムの構築を目指して」</p> <p>【21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)】</p>
		ZHANG Xing	中国国家能源局発展規制司 職員	中国		
		Budi SANTOSA	アンダラン・レカダヤ・ソーシャル・インドネシア株式会社 事業開発マネージャー	インドネシア		
		Nanang Triagung EDI HERMAWAN	インドネシア原子力規制庁 放射能設備・放射性物質規制局職員	インドネシア		
		KIN Sothea	カンボジア産業省エネルギー開発局 事務官	カンボジア		
		San SOPHAL	カンボジア産業省エネルギー総局 事務官	カンボジア		
		Vathana MOY	カンボジア環境省 気候変動局主任	カンボジア		
		Muhammad Suhaimi Bin ISMAIL	シンガポールエネルギー市場監督庁 エネルギー計画開発局産業開発課アナリスト	シンガポール		
		Kanlaya NAKLUNGKA	健康公共政策財団 研究員	タイ		

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Pakorn LERTSATIENCHAI	チュラロンコン大 学社会調査研究所 研究員	タイ		
	Eduardo Dela Rosa MAGDALUYO Jr.	フィリピン大学 鉱物・金属・物質 工学部助手	フィリピン		
	Kamama Duma EDZLA	ミンダナオにおけ る独立型再生可能 エネルギー連合 学校電力供給及び 事業教育スペシャ リスト	フィリピン		
	Mohammed Emir Fadzley Bin ROSELEY	サラワク州知事局 部長補佐	マレーシア		
	NG Yeen Seen	アジア戦略リー ダーシップ研究所 上級副代表	マレーシア		
	Wint Thiri SWE	ミャンマーエネル ギー省エネルギー 計画局職員	ミャンマー		
	Sonevilay KHOUNTHAM	ビエンチャン県バ ンビエン郡エネル ギー鉱業課 次長	ラオス		
	Vannasack SATTAKOUN	チャンパサック県 エネルギー鉱業局 技師	ラオス		
	Vagish SHARMA	印米科学技術 フォーラム プロ グラムオフィサー	インド		
	Jennifer Sharyn BECKMAN	資源・エネルギー・ 観光省 オースト ラリアエネルギー 安全保障課アシス タントマネジャー	オーストラリア		
	Rikki Dominique WEBER	地球科学局 地球 科学者	オーストラリア		

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Valerie Marie-Pierre SAGE	オーストラリア連邦科学産業研究機構 リサーチプロジェクトリーダー	オーストラリア		
	Tania Joy HOOD	エネルギー効率・保全庁 地方政府アドバイザー	ニュージーランド		
	Timothy Charles TAYLOR	エネルギー効率・保全庁 復興プログラムマネジャー	ニュージーランド		
5	【2010年度事業】 JENESYS Programme 次世代リーダープログラム(J-防災)	Jeon, Inseung Ageung, Ivan Valentina Huot, Huy Leong, Chua Swee Supitax, Kanokphun Medina, Ilagan Karol Anne Villanueva, Charmaine Quintua Ampuan Haji Razid, Ampuan Noorirawati Hassan, Mohd Sarif bin	韓国 インドネシア カンボジア シンガポール タイ フィリピン フィリピン ブルネイ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「防災と人々のつながり：災害に強い社会の構築を目指して」をテーマに実施した訪日研修(2010年度)の報告書を作成 【21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)】
		韓国消防防災庁 気候変化対応課洪水防御担当	韓国		
		インドネシア防災協会 防災に関する法律と政策マネージャー	インドネシア		
		ミンチェイ行政区役所 総務財務局チーフ	カンボジア		
		シンガポール人民協会 青年運動グループ第2副議長	シンガポール		
		RRAFA財団 プログラムオフィサー	タイ		
		フィリピン調査報道センター (PCIJ) 調査チーム長	フィリピン		
		フィリピン科学技術省 科学調査分析官	フィリピン		
		ブルネイ・テンブロン地区行政事務所 総合統括行政官	ブルネイ		
		マレーシア国家安全会議 補佐事務官	マレーシア		

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Tun, Zaw Lin	ミャンマー社会福祉救済復興省救済復興局 課長補佐	ミャンマー		
	Win, Aye Nandar	ミャンマー社会福祉救済復興省救済復興局 職長	ミャンマー		
	Xaiyasarn, Ketsana	ラオス水資源環境庁水資源局テクニカルオフィサー	ラオス		
	Vyas, Nikhilkumar Rameshchandra	クルタ (CRUTA) 財団 コーディネーター	インド		
	FITZGERALD, Kate	オーストラリア司法省 アシスタント・ディレクター	オーストラリア		
	Schell, Patrick Joseph	オーストラリア・ニューサウスウェールズ州地方消防局調査企画官	オーストラリア		
	Wilson, Thomas McDonald	カンタベリー大学 災害管理講師	ニュージーランド		
6	【2012年度事業】 JENESYS Programme 東アジア大学院生 日本研究特別招へいプログラム(5年次)	Hanif Eka Cahyono インドネシア大学 大学院日本地域研究科 大学院生 Helen Susanti インドネシア大学 大学院日本地域研究科 大学院生 Karina Utami Dewi ガジャマダ大学政治社会学部 大学院生 RAY SAREN カンボジア王立経済法科大学 日本法教育センター事務員 Sittihep Eaksittipong チェンマイ大学 講師 Barriga Maria Cynthia Batistiana アテネオ・デ・マニラ大学 大学院生	インドネシア インドネシア インドネシア カンボジア タイ フィリピン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	アジア・大洋州地域で日本研究(東アジア研究を含む)を専攻中の、今後の活躍が期待される大学院生に対し、日本の大学院・研究機関等で研究・調査活動を行う機会を提供するに際し、参加者の招へい準備を実施 【21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)】

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Frerrera Rose Anne Ricafrente	デ・ラ・サール 大学 大学院生	フィリピン		
	Bui Hong Hanh	ベトナム国家大学 付属人文・社会科学 学大学 講師	ベトナム		
	Tran Bach Hieu	ベトナム国家大学 付属人文・社会科学 学大学 講師	ベトナム		
	Baizura Hanim Binti Halim	マラヤ大学人文社 会学部東アジア学 科 大学院生	マレーシア		
	Khairunnisa Binti Ahmad Hamidi	マラヤ大学人文社 会学部東アジア学 科 大学院生	マレーシア		
	Wong Yii Siing	マレーシアサバ大 学 大学院生	マレーシア		
	Kyawt Yuper Aung	ヤンゴン大学 大 大学院生	ミャンマー		
	Myo Myo Thu	ヤンゴン大学 大 大学院生	ミャンマー		
	Boutsakhone Keorodom	ラオス国立大学 講師	ラオス		
	Mangboi Kipgen	ネルー大学 大学院生	インド		
	Pravhat Lama	ネルー大学 大学院生	インド		
	Shweta Kumari Sinha	デリー大学 大学院生	インド		
	Hana Habara Gleeson	シドニー大学 大学院生	オーストラリア		
	Luke James Meehan	オーストラリア国 立大学 博士課程 研究生	オーストラリア		

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ(学者・研究者 長期) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 235,911,679 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	AHN, Jiwon	キーン大学 准教授	韓国	テンプル大学	2012.01.15 ~ 2012.06.14	トランスナショナル時代の映画：現代日本映画と韓国映画の比較研究
2	CHO, Jai Kook	延世大学校 教授	韓国	同志社大学	2011.05.11 ~ 2012.03.10	日本と韓国におけるキリスト教の受容に関する比較研究
3	CHOE, Songeun	徳成女子大学校 教授	韓国	奈良県立橿原考古学研究所	2011.05.11 ~ 2011.11.10	白鳳期塑像と百濟7世紀塑造仏像の比較研究 —製作及び彫刻技法を中心に
4	CHOI, Woondo	東北亜歴史財団 研究委員	韓国	長崎大学	2011.09.03 ~ 2012.09.02	日本の外交政策における自律性の評価：地域政策を中心に
5	CHUN, Chaesung	ソウル大学校外交学科教授	韓国	慶応義塾大学法学部	2010.09.01 ~ 2011.08.30	北東アジアの国際関係の理論化と日韓関係
6	CHUNG, Jeong-Sook	韓国文化観光研究院 研究委員	韓国	大阪市立大学大学院法学研究科	2011.05.10 ~ 2011.08.23	高齢層の創意的文化政策研究：日本事例
7	HWANG, So Yeon	江原大学校 教授	韓国	天理大学	2011.08.16 ~ 2012.08.15	十七世紀日本の知的社会における朝鮮人儒者と朝鮮の出版物
8	IM, Heon Chan	仁済大学校 教授	韓国	広島大学	2012.02.19 ~ 2013.02.18	日韓両言語における統語構造の対応関係—日本語教育の立場から—
9	JANG, Gyung-ryul	ソウル大学校人文大学英文科 教授	韓国	東京大学	2011.06.15 ~ 2012.03.14	時調と俳句比較研究
10	JUNG, Byeong-Ho	高麗大学校日語日文学科 副教授	韓国	立命館大学文学部	2011.02.26 ~ 2012.02.25	近代初期（1890～1920）韓国における日本語文学の形成過程研究—韓国居留日本人社会の日本語新聞・雑誌を通して
11	KANG, Kun-Hyung	国立済州大学校政治外交学科 教授	韓国	慶應義塾大学法学部	2010.08.30 ~ 2011.08.10	日本鳩山政権の対外政策と米日関係
12	KANG, Tae Woong	光云大学日本学科 助教授	韓国	東京大学総合文化研究科	2011.03.14 ~ 2012.03.13	東アジアの中の日本映画
13	KIM, Jaesuk	慶北大学校 教授	韓国	静岡大学人文学部	2011.08.21 ~ 2012.08.20	小山内薫の演劇観が韓国の現代劇形成に及ぼした影響に関する研究
14	KIM, Ki-Jung	延世大学校 教授	韓国	慶應義塾大学法学部政治学科	2010.09.20 ~ 2011.05.19	韓日文化的対話の東北アジア地域秩序形成における意味
15	KWON, Young Joo	ソウル市立大学校 教授	韓国	京都大学	2012.01.15 ~ 2013.01.14	町内会と地方自治

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
16	LEE, Seungjoo	韓国中央大学校政治外交学科 副教授	韓国	慶應義塾大学法学部	2011.02.01 ~ 2012.01.31	断片化した東アジア地域主義の国内的起源 日本と韓国の比較研究
17	NOH, Suk Jae	翰林大学校 教授	韓国	一橋大学	2011.09.15 ~ 2012.03.04	東アジア3か国間における相互作用について
18	PARK, Cheun Soo	慶北大学校人文大学考古人類学科 教授	韓国	大阪大学大学院文学研究科	2011.03.01 ~ 2012.02.29	考古学から見た新羅と倭の関係への新たな照明
19	PARK, Yu-ha	世宗大学校教授	韓国	早稲田大学	2011.08.01 ~ 2012.09.02	引揚げ文学研究 — 朝鮮旧満州地域を中心に
20	SONG, Jae Hoon	又石大学校 教授	韓国	慶應義塾大学総合政策学部	2011.05.10 ~ 2012.02.29	日韓両国における企業文化の比較研究 — 葛藤(Conflict)管理の観点を中心に —
21	YOO, Chul-In	済州大学校教授	韓国	東北大学大学院教育学研究学科	2010.08.31 ~ 2011.08.31	日本の東北地方における日本人の外国人配偶者
22	CAI, Dunda	同済大学外国語学院日本学研究所所長/教授	中国	東京大学大学院	2011.09.01 ~ 2012.08.31	関野貞の中国建築・藝術踏査に関する研究
23	DU, Ying	黒龍江省社会科学院 副研究員/副主任	中国	北海道大学大学院文学研究科	2010.09.27 ~ 2011.09.26	黒龍江省における残留日本人孤児と養父母関係問題研究について — 帰国後の肉親関係を中心に
24	GUO, Mei Song	西南政法大学 副教授	中国	京都大学	2010.09.22 ~ 2011.09.21	人事訴訟手続における比較研究
25	JIANG, Bin	江西師範大学 副教授	中国	大阪芸術大学大学院芸術文化研究科	2011.09.01 ~ 2012.08.31	日本仁俠映画研究
26	JIN, Mingquan	重慶師範大学文学与新聞学院 教授	中国	明星大学	2012.03.04 ~ 2013.03.03	日本文論史要一現代部分
27	JIN, Xianghai	延辺大学人文社会科学学院 教授	中国	大阪産業大学	2010.09.01 ~ 2011.08.30	中朝経済関係の進展に対する日本の政策研究
28	JING, Zhizhong	東北師範大学日本研究所日本経済研究室 助教授	中国	日本大学	2010.07.04 ~ 2011.07.03	日本のエネルギー戦略と中日合作
29	LAI, Zhengwei	福建師範大学社会歴史学院 教授	中国	琉球大学法文学部	2011.10.05 ~ 2012.10.04	閩人三十六姓と琉球に関する研究
30	LEE, Pui-Tak	香港大学日本研究部 専任研究員/名誉助教授	中国	東京大学	2011.07.05 ~ 2011.10.04	大恐慌における横浜正金銀行の海外支店活動—香港・上海・大連・ボンペイ・シンガポール・ニューヨークを中心に

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
31	LI, Hongxi	延辺大学 准教授	中国	名城大学	2011.06.28 ~ 2012.04.27	日本の豆満江流域開発と国際関係1904~45年
32	LI, Jicang	南京師範大学六朝 歴史文化研究中心 副主任	中国	龍谷大学文学部	2010.08.31 ~ 2011.08.31	近代日本における中国史研究-宮崎市定を中心に
33	LI, Jing	広東海洋大学外国 語学院 日本語学 科主任/教授	中国	東北大学大学院文 学研究科	2011.02.23 ~ 2011.08.22	現代日本における農家と社会-秋保町馬場村の調査を中心に
34	LIU, Chang	吉林大学 講師	中国	早稲田大学大学院 法務研究科	2012.03.04 ~ 2013.03.03	日本における食品安全規制の研究
35	Liu, Jianping	中国伝媒大学 副教授	中国	中央大学法学部	2011.11.21 ~ 2012.11.20	戦後日本の対中外交研究
36	MEI, Linhai	暨南大学日本経済 センター 教授	中国	兵庫県立大学	2012.03.13 ~ 2013.03.12	広東省工業企業の社会エコ効率の評価-日本企業の経験に関する研究
37	QUAN, Zhenan	中国延辺大学 副教授	中国	公立大学法人福井 県立大学	2011.07.20 ~ 2012.07.19	図們江地域開発と日中協力に関する研究
38	SONG, Zhiyong	南開大学日本研究 センター 副院長/教授	中国	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究 科	2011.10.05 ~ 2012.10.04	近代日本外交官の中国体験と中国認識に関する研究
39	TAN, Jianchuan	西南大学 所長/ 研究員/准教授	中国	政策研究大学院大 学	2011.10.01 ~ 2012.09.30	近代日本の政治文化：江戸末期の往来物及び近代小学校の教科書における指導者像の考察
40	TAYLOR, William Keevil (Bill)	香港城市大学 副教授	中国	東京大学社会科学 研究科	2012.01.01 ~ 2012.12.31	日本における中国の直接投資：学習及び適応
41	WANG, Chuanshi	山東大学経済学院 教授	中国	東北大学大学院経 済学研究科	2011.08.01 ~ 2012.07.31	日中の食品安全とグリーンイノベーション政策
42	WANG, Jian	中国社会科学院近 代史研究所台湾史 研究室 主任研究 員	中国	慶應義塾大学法学 部	2011.07.20 ~ 2012.02.19	戦後初期台湾経済の復興と日台経済関係(1950~70年代)
43	WANG, Leina	同済大学環境科学 与工程学院 博士/講師	中国	横浜国立大学国際 社会科学研究科	2011.10.24 ~ 2012.10.23	日中公害史における水俣病に関する比較研究
44	WANG, Ping	中国社会科学院 教授	中国	早稲田大学	2011.09.06 ~ 2012.08.05	中日米の戦略の衝突と融合の過程での日本の外交安全保障政策決定の分析
45	WANG, Yeyang	中国社会科学院近 代史研究所 教授	中国	京都大学	2011.09.20 ~ 2012.09.19	東アジア共同体と民族主義問題

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
46	WANG, Yi Ming	華南師範大学 助教授	中国	東京大学	2010.09.30 ~ 2011.09.29	平安朝密教文献整理研究
47	WU, Donggao	延辺大學法学院 教授	中国	創価大学	2011.07.03 ~ 2012.07.02	日本の行政相談制度の特色及び中国への示唆
48	WU, Huaizhong	中国社会科学院日本 研究所 准教授/ 副室長	中国	慶應義塾大学	2011.10.09 ~ 2012.08.08	21世紀における日本の安全保障政策—日中・アジアの新安保秩序 構築との関連を兼ねて
49	WANG, Pengfei	南京航空航天大学 准教授	中国	東京農業大学生物 産業学部	2011.10.12 ~ 2012.10.11	清末日本科学書籍の翻訳と中国現代化への影響
50	YANG, Wei	四川外語学院日本 学研究所 所長	中国	法政大学国際日本 学研究所	2011.02.16 ~ 2012.02.15	多文化間アイデンティティの課題と可能性：国境を越えた詩友— 黄瀛、草野心平、宮沢賢治などを例に—
51	YIN, Xiaoliang	南開大学日本研究 院 教師	中国	早稲田大学商学学 術研究院	2011.01.15 ~ 2011.07.14	日本における省エネルギー政策及び中国への示唆
52	YU, Daiqin	中国国家話劇院 芸術委員会 委員	中国	劇団青年座 舞台芸術財団	2011.08.26 ~ 2012.03.25	『日中演劇交流史』の資料収集及び執筆
53	ZHANG, Zhihui	上海大学文學院歴 史系 専任講師	中国	大阪市立大学大学 院法学研究科	2012.03.10 ~ 2013.03.09	西園寺公望の中国意識に関する研究
54	BATSAIKHAN, Ookhnoi	モンゴル科学アカ デミー国際研究所 ロシア研究部/部 長	モンゴル	東京外国語大学ア ジア・アフリカ言語 文化研究所	2012.01.09 ~ 2013.01.08	1910年代の日露協約とモンゴル
55	CHULUUN, Dashdavaa	国家安全保障審議 会 肅清被害者名誉 回復委員会 政治肅 清研究センター センター長	モンゴル	東北大学北東アジ ア研究センター	2011.08.30 ~ 2012.06.30	モンゴルにおける日本抑留者（1945～1947）
56	SITUMORANG, Hamzon	北スマトラ大学文 学部 教授	インドネシア	東北大学	2011.06.21 ~ 2011.09.18	日本の信仰とその様式の研究
57	KATAGIRI, Kanokwan, Laohaburanakit	チュラロンコン大 学 准教授	タイ	一橋大学	2011.10.15 ~ 2012.10.14	非母語話者にとって難しい日本語コミュニケーションの実態研究
58	LEENABANCHONG, Chawin	タマサート大学 准教授	タイ	大阪大学大学院国 際公共政策研究科	2011.06.16 ~ 2012.05.15	評論：世界的危機と日本
59	NAGAI, Hiroko	アテネオ・デ・マニ ラ大学 学科長	フィリピン	静岡県立大学国際 関係学部	2011.07.01 ~ 2012.03.31	地城市民による防災コミュニティの設計及び実践とフィリピンへ の適用の可能性に関する研究

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
60	UMALI, Amparo Adelina III, Cordial	フィリピン大学 ディリマン校 准教授	フィリピン	静岡文化芸術大学	2012.03.01 ~ 2012.10.31	能楽と淡路島人形浄瑠璃—これらの伝統芸能を保護する為の学界と地方自治体の取り組み
61	LE, Tam Thi Thanh	ホーチミン市国家 大学人文社会科学 大学言語学部 講師	ベトナム	東京外国語大学	2010.09.10 ~ 2011.09.09	禅の俳句とベトナムの古典詩への影響
62	TRAN THI, Hoang Mai	ベトナム社会科学 院北東アジア研究 所日本研究セン ター／情報図書館 センター所長	ベトナム	国際日本文化研究 センター	2011.06.15 ~ 2012.03.14	日本の図書館におけるデジタル化環境下の書誌コントロール—ベトナム図書館への教訓
63	VU, Doan Lien Khe	ホーチミン市国家 大学 常勤講師	ベトナム	早稲田大学社会科 学総合学術院	2012.02.17 ~ 2012.09.16	16世紀における日本—ベトナムの関係・文化と貿易
64	MYAT, Thin Thin	ピー大学 講師	ミャンマー	京都大学	2011.06.16 ~ 2012.04.15	ミャンマーと日本における持続可能な農業的实践
65	SOE, Shwe	認定NPO法人「難民 を助ける会」プロ ジェクト・アシス タント	ミャンマー	東北大学大学院	2010.08.02 ~ 2011.06.01	環境評価と心理的健康に関する楽観性と悲観性の関係についての環境心理学的研究
66	TUN, Aung	ヤンゴン経済大学 教授	ミャンマー	名古屋大学	2011.06.16 ~ 2011.09.15	日本の製造会社従業員のモチベーションとパフォーマンス
67	HIRISAWA, Prabhakar	ジャワハルラル・ ネルー大学 助教 授	インド	早稲田大学	2011.08.01 ~ 2012.07.31	日印関係の軌跡(2001~2010)
68	DISSANAYAKE, Kumudinei	コロombo大学 上 級講師	スリランカ	明治大学	2012.03.01 ~ 2012.12.31	非伝統的キャリアモデル：人材戦略と組織改革への影響
69	ESHAM, Mohamed	サバラガムワ・ス リランカ大学 上 級講師/学部長	スリランカ	鳥取大学	2011.03.11 ~ 2012.03.10	日本の農協とスリランカの農民企業の比較
70	KUMARASINGHE, Kulatilaka	ケラニア大学 シニアプロフェッ サー	スリランカ	崇城大学	2011.06.30 ~ 2012.04.29	日本の「能」における仏教の影響：現代スリランカ芸能における仏教概念の発展との関連
71	MELEGODA, Nayani	コロombo大学 教授/学部長	スリランカ	広島大学	2011.12.01 ~ 2012.11.30	アフガニスタン：持続的平和構築のための選択

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
72	RATNAYAKE, Mudiyanseleage Patrick Ferdinands	ケラニア大学 上級講師	スリランカ	日本大学芸術学部	2010.07.31 ~ 2011.06.30	現代映画に反映される文化的価値と革新：日本とスリランカ映画の比較
73	THAPA, Ganga Bahadur	トリブバン大学 教授	ネパール	東京大学法学部研究室	2011.01.11 ~ 2012.01.10	公の監視のもとに：日本における議会の透明性
74	TULADHAR, Nirmal Man	トリブバン大学 非常勤教授	ネパール	京都大学	2011.08.01 ~ 2012.07.31	日本における仏教経験
75	MALIK, Ahmad Rashid	イスラマバード政策研究所 客員研究員	パキスタン	尚美学園大学	2010.05.14 ~ 2011.03.18	恒久的自由作戦—海運断絶作戦：日本、米国と関連地域との関係
76	HASSAN A. K. M, Yusuf	ジャハングルナガル大学 准教授	バングラデシュ	沖縄県立芸術大学	2011.08.12 ~ 2012.08.11	日本とバングラデシュとの語り物の比較研究：語り手の立場を中心に
77	AVENELL, Simon Andrew	シンガポール国立大学 准教授／副学科長	オーストラリア	国際基督教大学	2011.12.01 ~ 2012.07.31	グリーンジャパン：現代日本における環境主義の源流と展開
78	SUTER, Rebecca Marcella	シドニー大学 講師	オーストラリア	慶應義塾大学	2011.07.16 ~ 2012.07.15	近代日本文学と大衆文化におけるキリスト教の「創造的」誤読
79	WILKINS, Thomas Stow	シドニー大学 准教授	オーストラリア	東京大学	2012.03.01 ~ 2013.02.28	日本の同盟関係の未来
80	EALEY, Mark Christopher	翻訳家	ニュージーランド	T&CT Office	2011.10.01 ~ 2011.12.31	「戦禍を掘る」という長期連載記事の英訳と英文解釈

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ(論文執筆者) [アジア・大洋州]

人文・社会学の研究者で博士論文作成のため来日する必要があるものを招へいする。

合計額 84,175,847 円

	氏名	現職	所属国・地域	受入機関	期間	研究テーマ
1	CHOI, Jamyung	ペンシルバニア大学史学科 博士課程	韓国	東京大学	2010.08.01 ~ 2011.07.31	東京帝国大学と近代日本中間階級社会の成立
2	CHUNG, Shin Young	ソウル大学師範大学共同課程 博士課程	韓国	東京藝術大学	2011.09.01 ~ 2012.10.31	1990年代以降の日本現代美術におけるサブカルチャーの影響と時代的背景について
3	HONG, Sookyeong	コーネル大学 博士課程	韓国	東京外国語大学	2011.08.15 ~ 2012.08.14	帝国日本の農村再編成と満州移民
4	JUNG, Won Sik	北京大学大学院 博士課程	韓国	岡崎研究所	2012.03.01 ~ 2013.02.28	国際関係学的な観点(政治外交と国際安全保障)から見た東アジアの海洋紛争研究(日本と中国の事例を中心に)
5	KIM, Ami	ニューヨーク大学 博士課程	韓国	慶應義塾大学	2011.01.15 ~ 2012.08.14	日本現代視覚文化と「可愛さ」の美学
6	KIM, Hee-kyoung	ソウル大学校 博士課程	韓国	東京大学	2010.06.06 ~ 2011.06.05	現代日本の地域社会における老年の社会文化構成に関する研究：長野県佐久市を中心に
7	LEE, Sangbaik	UCバークレー 博士課程	韓国	東京大学	2010.08.01 ~ 2011.07.31	資源依存と日本政治経済：20世紀の石炭・石油産業の事例を通じて
8	PARK, Hyun Hee	シカゴ大学 博士課程	韓国	明治学院大学文学部	2011.10.01 ~ 2012.09.30	帝国の銀幕の中の涙：戦時下日本のプロパガンダ映画における孤児、女性、メロドラマ
9	PARK, Kyungmin	ミシガン州立大学 博士課程	韓国	大阪大学大学院人間科学研究科	2011.07.01 ~ 2012.06.30	グローバル化時代の日本における「多文化共生社会」、そして地域社会の統合と社会的ネットワーク
10	SEOK, Hyang	東西大学校日本語学科 非常勤講師	韓国	立命館大学文学部	2010.05.10 ~ 2011.05.09	現代日本社会の変容と「ジェンダー・バックラッシュ」についての考察
11	YUN, Miran	仁荷大学校 博士課程	韓国	東京大学大学院	2011.06.01 ~ 2012.02.29	張赫宙の日本語の創作の多層性研究
12	AI, Jing	復旦大学国際関係公共政策学院 博士課程	中国	京都大学人文科学研究所	2010.09.01 ~ 2011.08.31	冷戦後の日本におけるナショナリズムの研究
13	FANG, Yongnan	吉林大学 博士課程	中国	学習院大学	2010.10.03 ~ 2011.09.30	中国における成年監護(後見)制度の将来像
14	FENG, Hui	南京大学 博士	中国	早稲田大学文学芸術院	2010.08.29 ~ 2011.08.28	正倉院宝物を中心とした東西文化交流の研究

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国・地域	受入機関	期間	研究テーマ
15	HUANG, Junliang	コーネル大学 大学院博士課程	中国	東京大学	2012.01.07 ~ 2013.01.06	戦間期の文学・映画における東アジアのモダニズム—日本と中国の比較研究
16	LI, Li Wei	中山大学中国非物質文化遺産研究センター 博士課程	中国	早稲田大学文学学術院	2012.02.01 ~ 2012.09.30	20世紀中日演劇の相互研究及び交流—京劇と歌舞伎を例として
17	LU, Tan	中国社会科学院大学院 博士課程	中国	大阪大学大学院国際公共政策研究科	2011.07.27 ~ 2012.02.29	明治社会主義についての研究
18	LU, Xu	ペンシルバニア大学 博士課程	中国	同志社大学	2010.07.15 ~ 2011.06.30	帝国の「特使」：日本プロテスタント海外伝道者と太平洋兩岸の日本移民社会（1890～1941）
19	SUN, Shaohong	精華大学国際関係学部 博士課程	中国	早稲田大学	2010.11.11 ~ 2011.11.10	北東アジア安全協力に対する日本の発想、政策及び役割について
20	WANG, Jing	トロント大学 博士課程	中国	東京大学大学院総合文化研究科	2010.08.26 ~ 2011.08.25	植民地近代性(コロニアル・モダニティ)をめぐる都市空間と日本近代文学
21	WANG, Laite	東北師範大学歴史文化学院 博士課程	中国	国際日本文化研究センター	2011.09.01 ~ 2012.08.31	17世紀後期～18世紀中期 日中貿易における政治、文化交渉—商人と地方官僚の役割を中心に
22	WU, Meng	清華大学 博士課程在籍	中国	一橋大学大学院社会科学部研究科	2011.07.19 ~ 2012.07.18	戦後、日本の経済発展に対する政局変動の影響—社会の格差構造の要素から
23	WU, Shuang	四川大学 博士課程	中国	早稲田大学文学学術院	2011.09.17 ~ 2012.09.16	侠文化と武士道—中日近代文学新解釈
24	XIE, Zhihai	北京大学国際関係学院 博士課程	中国	日本大学国際関係学部	2010.08.01 ~ 2011.07.31	GHQの対日宣教政策と占領期日本におけるクリスチャンブーム（1945～1951）
25	YANG, Xiangfeng	南カリフォルニア大学政治国際関係研究科 博士課程	中国	早稲田大学政治経済学部	2010.07.01 ~ 2011.06.30	政治思想、国家の実力と日本の価値外交
26	ZHANG, Lijun	北京大学 博士課程	中国	中央大学法学部	2011.11.01 ~ 2012.10.31	日本におけるインターネット上での政治参加及び中国への示唆
27	PUREVSUREN, Naranbayar	モンゴル国家発展イノベーション委員会 職員	モンゴル	東京外国語大学	2011.09.14 ~ 2012.11.13	東アジア共同体思想の歴史的背景と現代—モンゴルと東アジア
28	SUNG, I-Te, Rita	ニューヨーク州立大学ストーニー・ブルック校 博士課程	台湾	早稲田大学	2012.01.20 ~ 2013.01.19	現代日本と対話のポピュラー文化での「世界観」：グローカリゼーションの実行
29	SEOW, Victor, Kian Giap	ハーバード大学 博士課程	シンガポール	一橋大学大学院経済学研究科	2011.08.26 ~ 2012.08.25	「エネルギー」の帝国：中国東北における日本炭鉱、1906～1952

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国・地域	受入機関	期間	研究テーマ
30	CHUSRI, Asadayuth	チュラロンコン大学 専任講師	タイ	早稲田大学大学院 日本語教育研究科	2010.05.10 ~ 2011.07.09	タイ人日本語学習者の独話における助詞「ネ」の機能の研究
31	JAMORNSURIYA, Winai	ナコーンラーチャ シーマー ラーチャ パット大学 講師	タイ	野上記念法政大学 能楽研究所	2010.06.01 ~ 2011.05.31	謡曲における恋の苦しみ
32	NGO, Lan Huong	ベトナム国家社会 科学院附属東北ア ジア研究所 博士 課程/日本研究セン ター副所長	ベトナム	国際日本文化研究 センター	2011.09.30 ~ 2012.05.29	日本人のコミュニケーション文化の特徴：ベトナムの断わりの言語行為と比較
33	A.KEENI, Gita	ビシュア・バラ ティ大学 講師	インド	国際日本文化研究 センター	2011.06.30 ~ 2012.06.27	女性に関する日本とベンガルのことわざの比較研究
34	BASU, Titli	ジャワハルラル・ネ ルー大学 博士課 程	インド	東京大学大学院	2010.11.01 ~ 2011.10.31	気候変動に対する企業の反応：日本の展望
35	R.PANNEERSELVAM, Prakash	ジャワハルラル・ネ ルー大学 博士 課程	インド	岡崎研究所	2011.10.25 ~ 2012.10.24	日本の海上安全保障：南アジア諸国との連携(1999~2009)
36	TENNETI, Vijay Suryakant	国立英語外国語大 学 准教授	インド	国際日本文化研究 センター	2011.01.15 ~ 2012.01.14	社会文化的理解と異文化交渉
37	KUDO, Mitsuru	オーストラリア国 立大学 博士課程	オーストラリア	早稲田大学	2011.06.01 ~ 2012.01.31	日本における大衆向け科学書の消費についての文化研究
38	LEARY, Danton John	オーストラリア国 立大学 博士課程	オーストラリア	東京大学	2011.12.01 ~ 2012.11.30	国際連盟の委任統治制度における文化人類学の役割：日豪の事例研究
39	LOVELL, Stefan James	ラ・トロープ大学 社会学部 博士課 程	オーストラリア	神戸大学	2010.08.01 ~ 2011.07.30	日本におけるマイノリティ共同体：多言語ラジオFMわいわい
40	SAITO, Kaori	オーストラリア国 立大学 博士課程 在籍	オーストラリア	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究 科	2010.12.20 ~ 2011.08.19	日本の開発援助政策決定におけるアイデアとインスティテューションの役割
41	WANG, Yuanchong	コーネル大学 博 士課程	中国	東京大学大学院総 合文化研究科	2011.08.22 ~ 2012.08.21	主権と宗藩のあいだで：朝鮮問題に関係する日清交渉 1873~1895

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (4) 日本研究フェローシップ(学者・研究者 短期) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 21,030,640 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	HAHN, Kyungdong	韓国外国語大学校教授	韓国	早稲田大学アジア太平洋研究科	2011.05.10 ~ 2011.07.07	日本と韓国の金融経済リテラシーを中心として
2	HWANG, Jin	仁済大学校 非常勤講師	韓国	—	2011.07.19 ~ 2011.08.24	フランス象徴主義詩の日本内受容の問題及び象徴詩と口語自由詩の関連性研究
3	HYUN, Jung Hwan	ソウル神学大学校教授	韓国	広島大学	2012.01.06 ~ 2012.03.04	日本の保育所における外国籍子どもの保育への支援現況に関する研究
4	PARK, Bok Won	韓国国際大学校教授	韓国	—	2011.07.01 ~ 2011.08.27	芭蕉と孤山の自然観研究
5	CHEN, Ruiying	浙江大学城市学院准教授	中国	—	2011.07.03 ~ 2011.08.30	日中蚕糸文化の比較研究—その変遷と継承を中心に
6	CHEUNG, Wai Chun	香港浸会大学(香港バプティスト大学)准教授	中国	—	2011.11.22 ~ 2011.12.31	カリキュラムと教科書の公文書による研究：日本占領期の香港における日本の教育政策を再考する
7	FENG, Tong	北京師範大学博士課程修了	中国	島根県立大学	2011.07.15 ~ 2011.09.11	伝統文化を生かした地域づくり—無形の文化財を保護する角度から
8	HUANG, Aihua	浙江省杭州師範大学 教授	中国	早稲田大学演劇博物館	2011.09.21 ~ 2011.11.16	20世紀初頭日中演劇比較研究—新派劇、新劇及び文明新戯、歌舞伎と京劇の間の影響交流関係を中心として
9	QIN, Ying	大連民族学院日本語文化学部学部長	中国	法政大学国際日本学研究所	2011.07.18 ~ 2011.09.14	異文化理解・多文化共生としての日本研究—日本生活文化の変遷を中心に
10	WU, Chunyan	広東工業大学外国語学院 講師	中国	—	2011.07.16 ~ 2011.09.12	日本中世禅林における老荘思想の受容
11	OCHIRKHUU, Jargalsaikhan	モンゴル国大統領府 教育、科学、技術、宗教担当補佐官	モンゴル	—	2011.05.21 ~ 2011.07.18	紫式部源氏物語モンゴル語訳
12	DJOHAN, Eniarti	インドネシア科学院人口研究所 上級研究員	インドネシア	鹿児島大学	2011.06.21 ~ 2011.08.18	日本のお盆期間の「里帰り」：社会人類学的アプローチ
13	KRUTWAYSHO, Oratai	プーケットラーチャパット大学観光学部長	タイ	千葉大学	2011.10.05 ~ 2011.12.02	日本とタイにおけるグリーンツーリズムポリシーとその実践の比較研究：起業的視点

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
14	MI MI GYI	マンダレー大学 准教授	ミャンマー	—	2011.06.16 ~ 2011.08.13	環境保護についての比較研究：ミャンマーと日本
15	ZIN NWE MYINT	ヤンゴン大学 講師	ミャンマー	—	2011.06.16 ~ 2011.08.13	日本の都市の危険削減におけるアーバンプランニングの役割
16	GHOSH, Madhuchanda	コルカタ大学パン チュールカレッジ 准教授	インド	—	2011.09.30 ~ 2011.10.26	インドと日本：アジア太平洋地域における経済的利益の集中
17	MANGI, Lutfullah	シンド大学 教授	パキスタン	—	2012.01.13 ~ 2012.03.11	ポスト冷戦時代における日本の北東アジア政策
18	BARCLAY, Kathryn May (Kate)	シドニー工科大学 シニアレクチャ ラー	オーストラリア	東京海洋大学 海 洋科学部 海洋政 策文化学科	2011.09.01 ~ 2011.09.30	グリーン刺身・社会的に埋め込まれたサプライチェーンにおける 鮪資源の保存
19	KARLSSON, Mats Arne	シドニー大学 講師	オーストラリア	—	2011.11.01 ~ 2011.12.20	日本のプロレタリア文化運動再訪
20	JOHNSTON, Charles	オークランド工科 大学 上級講師	ニュージーランド	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究 科	2011.11.20 ~ 2011.12.24	日本人観光客をプロファイリングする：失われた日本からの声
21	WARD, Vanessa Buffy	オタゴ大学 講師	ニュージーランド	—	2011.08.30 ~ 2011.10.27	長(武田)清子とアジアにおけるピープル・トゥ・ピープルネット ワーク

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (5) 日本研究フェローシップ(高砂熱学工業)

インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナムの日本研究専攻の学生に奨学金を供与する。

合計額 1,757,000 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	NGO, Lan Huong	ベトナム国家社会科学院付属東北アジア研究所 博士課程/日本研究センター副所長	ベトナム	国際日本文化研究センター	2011.09.30 ~ 2012.05.29	日本人のコミュニケーション文化の特徴：ベトナムの断わりの言語行為と比較

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (6) 知的リーダー交流(招へい) [アジア・大洋州]

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育等の各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 17,101,607 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラム	YALI, Zhang	国際連合本部 助手	中国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	アジア諸国において社会的影響力を有する知識人7名が、2011年9月12日から同11月12日までの2カ月間日本に滞在。2011年度の共通テーマ「対話するアジア：思いやりある社会の創造をめざして」のもと、知的共同作業や個々の研究活動を通してネットワーク形成を図ることにより、地域が直面する様々な課題に対する共通の問題意識を醸成。更に、課題の解決に取り組むための知的基盤作りを促進
		NAINGGOLAN, Miryam S.V.	パリフ財団 理事	インドネシア		
		SAYRE, Elmer Velasco	水、農林、栄養と 開発に関する財団 アドバイザー	フィリピン		
		VUONG, Huong Thanh	ベトナム教育訓練 省教育科学院 (VNIES) 教育情報 センター長	ベトナム		
		PERERA, Jehan	国家平和協議会 理事	スリランカ		
		GUL, Imtiaz	パキスタン安全保 障研究センター 理事	パキスタン		
		今井 千尋	元 アフガニスタ ン大使館一等書記 官	日本		

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議(助成) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 124,572,896 円

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
1	学術会議及びシンポジウム「東アジア文化と『古事記』・『日本書紀』」	韓国	東アジア日本学会	2011.04.01 ~ 2011.05.15	韓国における日本古代史研究の活性化をはかるため、日本から神野志隆光（東京大学名誉教授）等を招へいし、歴史、思想、人類学など個別分野を超えた学際的な観点から『古事記』・『日本書紀』を検討するシンポジウムを開催
2	セミナー「植民地期における浅川兄弟の朝鮮工芸に関する研究」	韓国	ソウル国際親善協会	2011.04.01 ~ 2011.06.30	朝鮮の伝統工芸を高く評価し、その研究を進め、「朝鮮民族美術館」を開くなど、韓国民俗・美術史研究に大きな足跡を残した浅川伯教・巧兄弟の人となりと業績をたどり、その功績を広く今に伝えようとするシンポジウムを実施
3	第4回アジア映像政策フォーラム	韓国	釜山フィルムコミッション	2011.04.01 ~ 2011.10.31	アジアフィルムコミッションネットワークに加わるアジア・太平洋地域の映像政策責任者、映画製作者、フィルムコミッショナーが一同に会し、アジアの映像産業と映像政策のあり方について意見交換を行い、相互交流と相互理解を進展させるため、国際会議を開催
4	新自由主義革命以後、日本の第三の道：格差社会の是正のための日本国家改造計画の行方	韓国	現代日本学会	2011.04.01 ~ 2011.11.30	小泉政権下の新自由主義的諸改革の推進から民主党政権の誕生に至る現代日本政治の変転を、効率的なガバナンス構造の構築と社会の均衡発展という国家改造の方向性をめぐるせめぎあいという観点からどうとらえるかをテーマにシンポジウムを開催
5	第11回日韓中制作者フォーラム IN 札幌	韓国 中国	放送人の会	2011.04.01 ~ 2011.12.01	日中韓3カ国のテレビ番組制作者約110名が参加し、作品上映、意見交換、シンポジウムなどの交流を通じて、異なる国家の歴史や背景を超え、放送が世論や文化へ影響を与え始めている今のテレビの在り方を考える国際会議。2011年9月22日～25日に北海道大学にて開催
6	東アジア気候フォーラム2011	韓国 中国	東アジア環境情報発信所	2011.04.01 ~ 2012.01.31	日中韓で検討・準備が進められている気候政策の現状について比較・検証し、「低炭素東アジア」を実現するために必要な政策と実践について議論を深め、提言の取りまとめを実施
7	東アジアの平和と民主主義—北朝鮮問題への地域協力体制：課題と展望	韓国 米国	聖学院大学総合研究所	2011.04.01 ~ 2012.03.31	地域の主要国の安全保障や領土、資源をめぐる摩擦を踏まえ、日本、韓国、米国の朝鮮半島問題専門家が政治、経済、軍事分野などから多角的に北朝鮮を分析し、問題解決と地域安定への望ましい協力体制を探る国際会議を開催。2012年2月24日～25日に東京で実施
8	日韓次世代学術フォーラム 第9回国際学術大会(東京大会)	韓国	東西大学校	2011.04.01 ~ 2012.03.31	次世代を担う、大学院生を中心とする人文社会科学系の若手の日本人研究者と韓国人研究者が、相互の研鑽と理解を目指し、論文発表と討論を行う学術発表大会を開催
9	東アジア生命平和会議～古くて新しいエコロジー思想	韓国 インド	ナマケモノ倶楽部	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本、韓国、インドの環境・平和問題を専門とするゲストとともに、「東アジアにおけるエコロジー思想」を検証・再評価し、次世代を担う若い世代を中心に、環境に負荷をかけないライフスタイル構築の一助となるようなシンポジウムを各地で開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
10	日本国際文化学会 創立10周年記念特別 シンポジウム 「戦略としての文化 と国際文化学」	韓国 中国 台湾 米国	日本国際文化学会	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	国と国との関係を超えた、人と人との関係を直視する国際文化学の役割を問い直すことを目的に、2011年7月1日から3日間に亘り、「東アジア共同体と国際文化学」、「グローバル化する若者文化と国際文化学」と題した国際公開シンポジウムを開催
11	アジア創造経済 ワークショップ	韓国 シンガポール オーストラリア	文化経済学会 〈日本〉	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	先進国経済において創造的な文化活動やアート活動の重要性が増していることを鑑み、創造経済論、創造都市論など、アジアにおける文化経済学への関心喚起や研究促進を目的として実施する国際会議。豪州、シンガポール、韓国からの講師のほか、論文公募による発表を実施。2011年11月27日～28日に京都にて開催
12	国際文化経済学会 京都大会	韓国 中国 シンガポール オーストラリア	文化経済学会 〈日本〉	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	創造的な文化活動、アート活動こそが、特に先進国経済において重要な産業になっているという認識の元、創造経済論、文化経済学に関する多様な研究報告と議論を重ねる国際研究大会。過去32年間、16回に亘り欧米で開催されてきたが、17回目の本年はアジアで初開催
13	「児童・青少年演 劇の可能性」につ いての国際交流プ ロジェクト—国際 シンポジウム& ショートレジデ ンス—	韓国 中国 フィリピン マレーシア バングラデシュ メキシコ イタリア ドイツ	沖縄県芸術文化振 興協会	2011. 05. 01 ～ 2011. 10. 31	沖縄市で開催されるキジムナーフェスタの中で、各国のアーティストと教育関係者を招へいし、児童・青少年をめぐる問題や平和構築に対する児童・青少年演劇の役割や可能性などについて意見交換等を実施
14	韓国外語大学校 日本語大学創立50 周年記念 国際学 術シンポジウム	韓国	韓国外語大学校 日本研究所	2011. 05. 13	韓国で初めて日本関係学科として創設された韓国外語大学校日本語大学の創立50周年を記念し、日韓の言語、文学、政治、経済などに関するシンポジウムを開催
15	日韓両国における 社会的企業の比較 と東アジアネット ワークの探索	韓国	韓日未来フォーラ ム	2011. 05. 27	現在日韓両国で注目を浴びつつある社会貢献や市民活動を行う社会的企業について、日韓双方から社会的企業の研究者、実務者を招へいし、それぞれの国における現状や課題について、現状報告や意見交換を行う会議を開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
16	国際シンポジウム「江戸学研究の国際比較」	韓国	漢陽大学 日本学国際比較研究所	2011.08.01 ~ 2011.10.31	日本、中国、アメリカ、ニュージーランドから研究者を招へいし、韓国の研究者と「江戸時代の思想と文化」をテーマに対話の場を設け、既存の学問体系や研究手法にとらわれない新たな日本研究の地平を目指すためのシンポジウムを開催
17	第12回東アジア国際シンポジウム	韓国 中国 モンゴル ロシア	東アジア総合研究所	2011.08.23 ~ 2011.08.27	日本、中国、韓国、ロシア、モンゴルなどから学者、研究者、企業家、言論人など十数名が一堂に会し、90年代以降再度活性化している豆満江地域の開発をテーマに議論する国際会議。環境・エネルギー、物流を中心に多角的に議論し、国際関係や利害関係のからむ当該地域の開発促進のための協力課題を追求。2011年8月24日～25日に中国吉林長春市で実施
18	文化的創造性を生かしたコミュニティビジネス活性化のための日韓コミュニティ知的交流事業	韓国	希望製作所	2011.09.01 ~ 2011.10.31	コミュニティビジネスによる、文化芸術を通じた地域の活性化の方策について、日韓双方の事例に基づいて、意見交換を行う会議を開催
19	高齢者の災害及び危機予防と対応プログラム開発のための日韓交流	韓国	韓国老人総合福祉館協会	2011.11.24 ~ 2012.03.31	日本と韓国の社会が共に直面している高齢化社会における福祉サービスのあり方について、災害時の対応や自殺予防策の観点から、相互の事例をもとに検討するプロジェクトを実施
20	東日本大震災後日本研究の課題—日台会議—	台湾	早稲田大学台湾研究所	2011.12.05 ~ 2011.12.06	円卓会議とシンポジウム。2009年以降台湾の主要大学で次々と新設あるいは設置準備中の日本研究センター等の日本研究チームの代表者を招へい。非公開の円卓会議では台湾における日本研究の現状、動向の報告と意見交換が主として行われ、公開シンポジウムでは「原発震災後の日本—この国のかたち」と題し、東日本大震災以降の日本に対する現状認識と日台学術交流の課題を討論
21	韓国日本学会第84回学術大会「転換期の日本研究」—3.11以後の日本とアジア	韓国	韓国日本学会	2012.02.04	定期学術大会。韓国で最も活動歴の長い日本研究学会である韓国日本学会が年2回実施する定期学術大会のうちのひとつ。84回目となる本大会では、東日本大震災をテーマに採り上げ、転換期にある日本と韓国の日本研究の現在を確認するとともに、今後の日本の変化予想を基に新たな研究アジェンダを模索
22	東日本大震災以後の日本社会のパラダイム転換と日韓関係	韓国	日本政経社会学会	2012.02.16	2012年2月に、韓国ソウルにおいて、日韓の研究者が東日本大震災後の社会変化と日韓関係について話し合うシンポジウム
23	震災後のいま問いかけ—なぜ、『雨ニモ負ケズ』が読まれるのか	韓国 中国 米国	法政大学サステイナビリティ研究教育機構	2012.03.20	震災から一年目の節目を迎える2012年3月20日に、日本、米国、中国をはじめとする各国の研究者を招へいし、震災後注目されている宮沢賢治の『雨ニモ負ケズ』をひとつの題材として、人間が自然と向き合いながらどのように自然との関わり方を考えてきたかという精神遍歴や、アジアに広く共通する「哲学」や「思想」としての自然との融合という普遍的な価値について議論

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
24	第6回沖縄研究国際シンポジウム	全世界区分困難	沖縄文化協会	2012.03.29 ~ 2012.03.31	沖縄が近代国家が抱える諸問題を根源的に問い直す起点として重要な役割を果たしている現実に鑑み、沖縄学と隣接領域の連携を広げ、新たな沖縄学の研究領域を切り開き、沖縄学と他の地域研究との間に共有される重要な諸課題について、地域の枠組みを超えた研究者間の対話を通して明らかにする事業。米国、韓国、ロシアから専門家が参加し、2012年3月に早稲田大学にて3日間実施
25	映像から見た戦後日本セミナー—研究者と学生との対話—	中国	清華大学日本研究センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	戦後から現在に至るまでの日本の歴史、社会、文化を様々な角度から検討し、日本認識を更に深めることを目的とするセミナー。映像(映画)作品を教材にすることで、聴講者たちに知的刺激を与え、日本を研究の対象とする意欲を引き出し、若手日本研究者の拡充・育成も狙いの一つとする。2011年9月19日～9月23日に清華大学にて開催
26	学問分野としての日本哲学：教育と研究の現場	中国	香港中文大学	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本哲学の国際性、多様性への関心が高まっているものの研究者交流が確立していないことを背景に、日本、中国、台湾、香港、欧米の哲学研究者約20名が、日本哲学の研究と教育の現場におけるノウハウや課題について共有、議論する事業。2011年12月10日～11日に香港中文大学にて実施
27	「辛亥革命と東アジア」講演会とシンポジウム	中国	「辛亥革命と東アジア」実行委員会	2011.04.01 ~ 2012.03.31	中国近代化の出発点となった辛亥革命が当時の東アジア世界に与えた影響や現代に与える影響等について、国際関係、経済、文化など多様な側面から討議し、辛亥革命の東アジアにおける意義や今後のアジアと日本の関係を、辛亥革命と関連の深い福岡から展望する。市民向けの講演会(1日)、テーマ別分科会(2日間)、学術シンポジウム(1日)を2011年10月29日～30日に福岡で実施
28	世界史から見た中国社会の変革と日本—辛亥革命百年記念国際学術会議—	中国	清華大学日本研究センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	辛亥革命百年を記念する国際学術会議。日清戦争から21世紀にいたるまでの中国社会の変革に焦点を絞り、そこにある日本要素の辛亥革命百年を契機に、日本、台湾、韓国及び中国大陸の専門家が一同に会し、21世紀の中国の国家としてのあり方と日中関係の行方を探る。2011年9月9日～9月10日、清華大学にて開催
29	第8回 東京-北京フォーラム	中国	言論NPO	2011.04.01 ~ 2012.03.31	アジアや日中の共通課題の解決に向けて、両国の有識者や国民が広く共に考え、政府関係の悪化に左右されない本音で真剣に議論ができる民間対話の場を実現することをめざす継続対話事業。2012年7月に東京で実施
30	東アジアの平和の見通し：日中韓の映画像から	中国	香港理工大学	2011.04.01 ~ 2012.03.31	第二次世界大戦以降に日本、中国、韓国で制作された映画・ドキュメンタリーにおける、戦争や平和の描かれ方について、学際的なアプローチで分析、議論する国際会議。アジア、米国、欧州から専門家が参加し、2011年12月16日に実施
31	米国のアジア太平洋戦略の調整と中日関係	中国	上海交通大学日本研究センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	2010年以降の、米国によるアジア太平洋地域に対する戦略の変化とその影響、また、新たな世界情勢における日米中間の協調と協力の道と方法を探る会議。日本、中国、米国の外交専門家や学者が参加し、2011年10月15日～17日に上海にて実施
32	「東アジアの新秩序構造と日中米関係」と題する国際シンポジウムの開催	中国	中国社会科学院日本研究所	2011.04.01 ~ 2011.05.30	中国の台頭、日本政治の変化、米国の東アジア戦略、日米中の政治・安全保障・経済関係、パブリックディプロマシーなどに焦点をあてながら、3カ国の著名な学者や有識者が、21世紀に入ってからの、とりわけ世界金融危機以来の日中米関係や東アジアの新秩序構造の形成を検討する事業。2011年5月17日～18日に北京にて実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
33	第1回東アジア共同体国際フォーラム 一国境を越える協 力と紛争の平和的 な解決	中国	中山大学亚太研究 院韓国研究所	2011.04.30 ~ 2011.10.31	日本、中国、韓国、東南アジア諸国の研究者、官僚、マスコミ、企業家などが参加し、東アジア共同体構築を構想するうえでの制約や障壁について、関係国間に存在する領土所有権の問題等に照らしながら検討し、平和的な解決への道を模索する国際会議。2011年7月15日～17日に実施
34	中国の戦略的意図 と重大な戦略的変 更：東アジア安全 への影響	中国	香港嶺南大学	2011.05.01 ~ 2012.03.01	中国の外交戦略の転換およびそれが東アジア情勢に与える影響について、日本、米国を中心とした諸外国がとるべき対応について議論する事業。日本、中国、米国、英国から外交や対中国政策の専門家等が参加し、2011年11月4日に実施
35	第1回「中国・ベト ナム知識人の対話 と日本」	中国 ベトナム	早稲田大学中越知 識人対話	2011.05.17 ~ 2011.05.20	民間対話のチャンネルが弱い中越において、日本のリーダーシップにより多国間の知識人対話の場を設けることにより、地域的な信頼関係の醸成を目指す。将来的に開発や文化を取り扱うことを前提に、まずはしばしば摩擦の原因となる歴史問題について総合的な対話を行い、各国政府への提言をまとめる
36	中国中日関係史学 会とのシンポジウ ム開催	中国	中日関係史学会 日本日中関係学会	2011.06.01 ~ 2011.08.31	国際学術シンポジウム。長年に亘る交流相手である中日関係史学会(中国)との共催事業として、「ピンポン外交40周年記念シンポジウム～新たな日中両国の交流を目指して」(名古屋)及び「日中の戦略的互惠関係～信頼確立には何をすべきか」(東京)を開催。日米中関係、東アジア共同体、今後の日中経済交流のあり方、日中環境協力など地球規模の諸問題の他、両国文化の相互理解と共生、観光、留学生等の人的交流がテーマ
37	中国戦略互惠関係 の推進に関する方 法論の模索	中国	同済大学アジア太 平洋研究センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	中日戦略互惠関係の枠組みの中で、中日協力による東アジア地域の発展や繁栄などにおいて、社会的発展の視点から研究、討論。2011年11月11日、2011年11月12日に同済大学で開催
38	東日本大震災の教 訓―日中災害強力 ネットワークの構 築―	中国	京都大学・清華大 学・中国人民大学 北京シンポジウム 実行委員会	2011.09.28 ~ 2011.10.27	2011年10月19日に、中国北京において、清華大学、人民大学、京都大学の共催により、「日中災害協力ネットワーク構築」をテーマに、日中両国の地震・防災・都市計画の研究者が一堂に集まり、東日本大震災から学んだ教訓を生かし、両国の災害協力ネットワーク作りを行う
39	東アジア協力 フォーラム2011： 東北アジア安保シ ステムの構築	中国	中国人民大学東ア ジア研究センター	2011.11.05 ~ 2011.11.06	中国、日本、アメリカ、韓国、ロシア、モンゴル、アセアン諸国などからの有識者が参加、東北アジア安保の現状と問題、秩序の構造、東北アジア地域の海上紛争、地域紛争と安保システムの理論などをテーマに検討
40	世界防災研究所サ ミット―巨大災害 の教訓から自然災 害研究の新しいパ ラダイムを探る	中国 インドネシア マレーシア インド カナダ 米国 イタリア 英国	特定非営利活動法 人 国際総合防災 学会	2011.11.24 ~ 2011.11.25	京都大学防災研究所との共催により、国内外の防災研究機関の研究者が一同に会して、想定を超える自然災害となった東日本大震災や、その他の世界の大規模災害によってもたらされた研究課題や自然災害からの教訓を共有する防災研究サミットを開催。自然科学、人文・社会科学、工学等の英知を結集して取り組むべき自然災害研究の新たなパラダイムを探求

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
41	東北アジアにおける多文化共生の実態研究とその可能性—他者的視野とネットワーク構築—	中国	内蒙古大学日本学 研究センター	2010.12.01 ~ 2011.11.30	内蒙古大学日本学研究センターの設立記念にあたり、中国、日本、モンゴル、韓国から専門家、研究者、NPO関係者を招へいし、東北アジアを他者的視点から考察し、同地域における多文化共生の実態研究の展開と発展をめざす事業。2011年8月8日～10日、内蒙古自治区にて実施
42	日中災害管理・震災復興市民交流プログラム	中国	日中市民社会ネットワーク	2011.12.09 ~ 2011.12.15	中国の震災復興関係NPO・財団関係者を日本へ招へいし、東京・仙台・登米など各地を訪問。東日本大震災の復興に取り組んでいる日本の市民社会を見学し、防災・復興関係者と意見交換を通じて、問題意識の共有、長期的な協力関係の構築のきっかけを提供
43	日本の復興と未来：震災復興における多元文化の共生と政治経済の展望	東アジア区分困難	京都産業大学 世界問題研究所	2012.01.06 ~ 2012.01.09	台湾・東海大学学際的日本地域研究センターと京都産業大学世界問題研究所の共催により、「防災・復興」を柱に、「多元文化の共生」「自治体と住民のコミュニケーション」「経済・金融システム」「政治的リーダーシップ等の関わり」をテーマとしたワークショップ及びセッションを開催。中国、韓国、台湾、日本から30名以上の専門家が研究報告や討議を実施
44	退職者災害ボランティアシンポジウム～日本と中国の経験から～	中国	地方公務員等ライ フプラン協会	2012.02.09 ~ 2012.02.11	「退職者による災害ボランティア」をテーマに、日本及び中国のボランティア、行政関係者、住民等が参加し、両国での体験の紹介、課題の指摘、今後のボランティア活動の展開、ネットワークの構築について意見交換を実施
45	震災と価値観の創出	中国	香港教育学院	2012.03.09 ~ 2012.03.10	仙台的東北大学において、「震災と価値観の創出」をテーマとする国際シンポジウムを開催。日中のみならず、欧州や他のアジア地域からの参加者も一堂に会し、震災後の価値観の変化などについて討論。研究者同士の議論だけでなく、地元市民との対話の場も提供
46	第4回東アジアウランバートルフォーラム	モンゴル	モンゴル開発研究 センター	2011.04.01 ~ 2011.12.01	北東アジアの安全保障問題を議論する場として各国の研究者を招へいし、鉱物資源開発とその環境整備について議論するフォーラム会合の4回目。参加国は日本、中国、韓国、ロシア、カナダ、スウェーデン。2011年8月24日、25日にウランバートルで実施
47	異文化受容(モンゴルにおける日本理解を中心に)シンポジウムの開催	モンゴル	北東アジア輸送回 廊ネットワーク	2011.04.01 ~ 2012.03.31	オルホン大学(私立)に日本書籍約1万冊から成る「現代日本文庫」が創設されることを記念し、「モンゴルにおける現代日本文化の受容」及び「日本語学習と日本語図書役割と広がり」等をテーマに国際シンポジウムを開催。同文庫の周知とともに、日本文化への理解促進を企図
48	エルデニゾー寺院—過去・未来・現在	モンゴル	モンゴル国立国際 遊牧民文明研究所	2011.06.01 ~ 2012.01.31	「世界遺産エルデニゾー寺院日本・モンゴル共同学術調査プロジェクト」の3年間の成果を総括する国際会議。同寺院の過去の復元、未来への保存方法、現在の使用状況の面から討議。日モ両国の他にロシア、ポーランドからも研究者が参加。2010年11月に日本の資金協力により同地に開館した「カラコルム博物館」の今後の運営についても議論するとともに、持続可能な文化遺産の保存活用について地域住民とともに検討
49	第1回日台アジア未来フォーラム「国際日本学研究所の最前線に向けて」	東アジア地域区分 困難	関ログローバル研 究会(SGRA) 台湾大学	2011.04.01 ~ 2012.02.28	日本、中国、台湾、韓国、米国、イタリアの研究者が、正統的な日本学をめぐる斬新な方法論の実践状況を視野に入れながら、流行文化(ポップカルチャー)に焦点を当てた議論を展開する国際会議。台湾では未だ学問として成立していない日本の流行文化の受容研究に多角的な視野を提供するもの。台湾大学文学院及び同大日本語文学系・日本語文学研究所との共同事業で、2011年5月27日に台北市で実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
50	東アジアにおけるローカル・ガバナンスの現状と行方	東アジア地域区分 困難	山梨学院大学	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日中韓、モンゴル、台湾などから学者、政府職員、研究者等12名が参加し、東アジア諸国の地方自治の動向と課題、地方の首長と議会との関係、住民管理と住民参加、地方財政と公共サービスなどをテーマに、東アジア諸国におけるローカル・ガバナンスの現状と行方に関するシンポジウムを実施
51	日・ASEAN対話「変化する世界・地域と日ASEAN協力」	インドネシア シンガポール フィリピン ベトナム	グローバル・フォーラム	2011.04.01 ~ 2011.12.31	近年の東アジアを取り巻く国際環境の大きな変化を背景に、日本とASEAN諸国との密接な協力関係を構築し、地域の平和と安定にいかに関与するかについて、ASEAN諸国の戦略問題研究所の関係者と日本の研究者や政策担当者間の対話の場を設けることを目的に国際会議を実施
52	インドネシア-日本ワークショップ：「インドネシアと日本の島しょにおけるトランスナショナリズムと社会変化：問題と課題」	インドネシア	インドネシア科学院人口研究所	2011.06.22 ~ 2011.06.23	インドネシアと日本の島しょにおけるトランスナショナリズムの影響と課題を取り上げる日本、インドネシア間の国際会議。両国の島しょ部の年齢別に見た人口問題や過疎化の問題、自治や地域開発の問題など、双方の状況を人類学的・法的・開発学的な観点等から比較
53	国際会議「アジア固有の視点を探る：共通点と相違点」	インドネシア	サナタ・ダルマ大学心理学部	2011.07.27 ~ 2011.07.30	アジアの視点から見た様々な分野におけるアジア研究を議論する国際会議。アジアの国々固有の概念や方法を用いた学問的スタンスを模索し、アジア共通のテーマに挑む取り組み
54	第4回「日本から学ぶ」国際シンポジウム：都市社会の脆弱性と減災への予防策 日本とインドネシアの事例から	インドネシア	インドネシア大学心理学部危機センター	2012.02.21	災害における都市部の脆弱性をいかに克服し、防災・減災に対する備えを強化するかについて、日本とインドネシアの事例を交えて意見交換を実施
55	日本文化を解析する：シンガポール社会への応用	シンガポール	シンガポール国立大学インタラクティブデジタルメディア研究所	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本とシンガポールの研究者が、「カルチュラル・コンピューティング」という手法を用いて日本文化のエッセンスを抽出・解析し、シンガポールをはじめとする他文化への応用の可能性や課題について検討する国際シンポジウム。併せて、ワークショップ、展示会、パネルディスカッションなどを実施
56	国際会議「所有再考～幸福な社会への道筋」	タイ	チュラロンコン大学政治学部幸福学研究所	2011.05.01 ~ 2011.08.31	アジアに適した新しい幸福な社会のモデルを探ることを目的に、所有に関する概念の再検討や有機農業の可能性、情報技術の地域格差等をテーマに、日本、アジア、欧州、米国から約60名の有識者、政策決定者が、グローバル化時代における新たな生活価値観や社会セーフティネットのあり方について議論する。2011年8月25日～27日にバンコクにて実施
57	国際会議「近代化の現場～貿易、植民地主義、民族主義とアジア諸都市の変遷	タイ	チュラロンコン大学東アジア研究所／文学部歴史学科	2011.08.01 ~ 2011.12.31	アジアの主要な港町・都市に焦点をあて、貿易、植民地主義、ナショナリズムの観点から、18世紀から現代までのアジアの近代化について、アジア独自の視点で問い直す国際会議。アジア大洋州地域から12名の専門家が参加し、2011年7月21日～22日にバンコクにて実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
58	環境・コミュニティの防災・復興ワークショップ	フィリピン	フィリピン地域開発協会	2011.04.01 ~ 2012.02.28	地域単位で災害対策のあり方を考え、「防災文化」を地域に根付かせることを目的に、日本、インドネシア、ネパールの専門家を招へいし、フィリピンのソーシャル・ワーカー等を対象に防災教育に関する指導者育成ワークショップと、成果を地域に還元する地域ワークショップを実施。2011年7月から11月にかけて、ビサヤと南ルソン地域で実施
59	第2回アジア児童博物館会議：環境保護と気候変動を考える	フィリピン	ミュゼオ・パンバダ財団	2011.05.01 ~ 2011.11.01	子供の啓発や教育活動に携わっているアジア、米国、ヨーロッパの専門家や児童博物館のキュレーターが一堂に会し、環境保護や気候変動等のグローバルな課題について、どのように子供の能力開発を行うべきかについて、国際会議や視察を通して考える。2011年9月から11月にかけての4日間、マニラで実施
60	よみがえる場所：文脈を越えて伝えること(アート教育を学び、考える)	フィリピン	パナナウ・ナンシニン・ナン・パヤン	2011.06.01 ~ 2012.03.31	アジア各国及び英米から芸術教育に関する専門家を招へいし、まだ研究の進んでいないアジアにおける現代美術の教育理論や手法、現代美術の扱える様々な社会課題について議論する国際会議。2012年2月23日～25日に、ケゾン市ならびに周辺の芸術施設で実施
61	KAPWA(先住民会議)3:教育における地域固有の知恵の活用―「近代知」と土着の「民間知」をつなぐ	フィリピン	フィリピン芸術と遺産学会	2011.10.01 ~ 2012.03.31	環境破壊、貧困、自然災害などの全人类的課題を前に、アジアで受け継がれてきた伝統知や民間知を再評価し、新しい時代の共存のあり方を探る。国内外の伝統文化継承者間のネットワークの構築や強化、伝統文化の継承を目的としたシンポジウムやワークショップ、一般への啓発を目的とした映画上映や展示事業を含む複合的事業
62	災害からの回復力、社会的包摂と持続可能性：日本、インドネシア、フィリピンの大地震に学ぶ	フィリピン インドネシア	シカイ・キロス開発協会	2012.02.23 ~ 2012.02.24	日本、インドネシア、フィリピンから減災や災害危機管理の関係者約100名が一堂に会し、3カ国における災害状況の情報交換、災害への備えや復興への取り組みに関する経験の共有、災害という視点から開発事業が直面する諸課題について議論。フィリピン大学にて実施
63	東南アジアにおける教育技術の社会価値：カンボジア、日本、ラオス、ベトナムとの知的交流会議	ベトナム	東南アジア教育大臣機構地域訓練センター	2011.05.01 ~ 2011.11.30	2011年10月26日～10月28日、ホーチミンにて開催される国際会議。日本、カンボジア、ラオス、ベトナムの4カ国の専門家が一堂に会し、K-12(幼稚園から高校卒業までの教育期間)における教育技術の採用に対する社会的な規制や課題について討論。「教育テクノロジー」を率先して採用している日本の知見を発信し、それらがいかに東南アジア諸国の教育システムに融合し得るのか、その課題とプロセスを探り、共有し合う
64	「フィールドワークの知と人間科学」国際ワークショップ	ベトナム	ベトナム社会科学院北東アジア研究所日本研究センター	2011.05.01 ~ 2011.12.30	伊藤哲司(筑波大学教授)を講師として招へいし、人間科学の概念やフィールドワークを通じた研究方法論等を集中的に紹介する10日間のワークショップ。日本研究も含めて、参加者の人間科学への理解、研究レベルの底上げを図る。2011年9月6日～17日に実施
65	第25回アジア太平洋ラウンドテーブル	マレーシア	マレーシア戦略国際問題研究所(ISIS)	2011.04.01 ~ 2011.09.01	アジア太平洋地域における安全協力の強化をテーマに、経済危機や人間のwell-beingに開発が果たす役割などに焦点をあてて議論を実施
66	第26回アジア太平洋ラウンドテーブル	マレーシア	マレーシア戦略国際問題研究所(ISIS)	2011.04.01 ~ 2012.03.31	アジア太平洋地域における安全協力の強化をテーマに、経済危機や人間のwell-beingに開発が果たす役割などに焦点をあてて議論を実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
67	アジア共生学会国際シンポジウム	インド スリランカ	アジア共生学会	2011.04.01～2011.11.30	インド、スリランカより、パネリストを招へいし、日本、韓国、インド、スリランカの事例をもとに、他民族共生社会の形成に関するシンポジウムを開催
68	山岳地帯におけるグローバリゼーションと文化について	インド	シッキム大学	2011.04.01～2012.03.31	ヒマラヤに焦点を当て、中国、バングラデシュ、ネパール、ミャンマー、ブータン及び日本から専門家を招へいし、グローバリゼーションが山岳地帯の伝統文化に与える影響や、共存の可能性について議論する国際会議。2011年10月12日～14日にシッキム大学にて実施
69	野口米次郎、石川啄木、ラビンドラナート・タゴール、S・V・アッゲー：日印交流における先駆者たちの知られざる世界	インド	インド日本文学文化協会	2011.04.01～2012.03.31	インドが誇る詩聖ラビンドラナート・タゴールの生誕150周年、100周年祝賀にちなんで、日本の詩人等との知的交流の足跡をたどり、両国の文学交流の可能性を探る会議を実施
70	2011国際啄木学会盛岡大会	インド	国際啄木学会	2011.11.03～2011.11.08	被災地である岩手県で、石川啄木の言葉「新しき明日」にならい、講演やパネルディスカッションを通じて震災復興を支援する事業
71	21世紀の南アジアにおける平和と安全の展望：日本の役割	バングラデシュ	バングラデシュ国際戦略研究所(BIISS)	2011.04.01～2012.03.31	南アジアの安全保障を担う機関の発展に関し、議論を実施
72	東洋演劇研究に向けて	バングラデシュ	ジャハンギルナガル大学	2011.07.01～2012.03.31	バングラデシュ、インド、日本の伝統舞台芸術ワークショップ、シンポジウムにおける基調講演、舞台伝統に関するビデオ放映、東洋演劇研究に関する討論、バングラデシュ伝統舞台芸術公演を実施
73	第10回国際家族看護学会における、アジア各国の家族看護専門家の招へい及びセッションの開催	アジア地域区分困難	日本家族看護学会	2011.04.01～2011.06.30	世界各国から家族看護実践者、教育者、研究者が集まり、各国における家族看護の経験や課題を共有する国際会議「家族看護の可視化」を実施する。アジアからはタイ、中国、韓国、香港、インドシナ諸国から6名が参加し、2011年6月24日～27日に京都国際会議場にて実施
74	アジア子どもの権利フォーラム2011	アジア地域区分困難	特定非営利活動法人子どもの権利条約総合研究所	2011.04.01～2012.03.31	アジア全ての国が批准・加入している国連子どもの権利条約を共通の理念及びツールとして、子供の貧困対策や暴力防止、あるいは参加促進等今日的な課題に対応するため、アジア各国の研究者・専門家の参加のもと、「アジア子どもの権利フォーラム2011」を開催。2011年11月20日～21日に東京で実施
75	日本の経済と科学技術の将来	オーストラリア	モナシュ大学	2011.04.01～2011.05.31	日本の経済と科学技術の現状と課題について、日本、中国、マレーシア、インドネシアより研究者を招へいするとともに、オーストラリアの研究者、ビジネス関係者を交えたセミナーを開催。日本からは、高橋豊治(中央大学教授)、永野博(総合政策大学院大学教授)を招へい

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
76	敗戦前後：占領国/被占領国としての日本1945年を超えて	オーストラリア	ウーロンゴン大学	2011.04.01 ~ 2012.03.31	1945年で戦前・戦後に区分されがちな歴史を見直し、占領者としての日本と非占領者としての日本を一体的に捉え直すことを試みる研究会議。発表者等は日豪の研究者を中心に17名程度、ワークショップ形式で実施。成果はRoutledgeから出版
77	日豪対話とワークショップ：日豪関係における相互理解のために	オーストラリア	グリフィス大学	2011.06.01 ~ 2012.10.31	日豪関係の将来や共通の課題について、学者、政治家、官僚等が集まって討議を行うレクチャーとワークショップ。各国より20~25名の専門家が参加
78	第28回豪・NZ建築史協会年次総会	オーストラリア	クイーンズランド大学	2011.07.06 ~ 2011.07.09	クイーンズランド大学が主催する「第28回豪・NZ建築史協会年次総会」において、戦後日本の建築文化をテーマとして日本からゲストスピーカー2名を招へいして、基調講演及びパブリックレクチャーを開催
79	女性たちの戦い：雑誌『女人芸術』(1928~1932)	オーストラリア	シドニー大学	2011.07.08	昭和初期に刊行された『青鞥』の流れを汲む雑誌『女人芸術』の果たした役割につき検証するプロジェクト。豪州日本研究学会(JSAA)でのパネル開催、シンポジウム、及び展覧会を実施。成果は英国の学術ジャーナル『Japan Forum』に掲載
80	東南アジアにおけるオーストラリアと日本の戦争とその和解	オーストラリア	シドニー大学	2011.09.30	第2次大戦期の東南アジア地域における日本とオーストラリアの戦争と、戦後占領期、その後の和解をテーマに、一次資料と文学作品の収集・分析を通じて、戦争当事者の「個人的経験」の視点から、戦争が与える心の傷と戦後の和解・平和構築の可能性について分析する事業。3カ年計画プロジェクトの1年目
81	太平洋地域における平和構築のモデルとしての民族文化産業の育成—日本・バヌアツ外交関係30周年を記念して	オーストラリア	サザンクロス大学	2011.11.04 ~ 2011.11.12	人類学的な観点からの文化保存と、経済的な観点からの産業の育成の両立をどう実現していくかを検討するプロジェクト。特にバヌアツの音楽を取り上げ、日本、豪州、フランス、ニュージーランドの専門家によるシンポジウムを開催
82	日本の歴史ワークショップ2011	オーストラリア	マードック大学	2011.11.30 ~ 2011.12.02	13大学から26名の歴史研究者が参加して、日本史に関する3日間のワークショップを開催。豪州、ニュージーランド、香港、シンガポールの研究者に加えて、米、英、日本からゲストスピーカーを招へいし、研究発表を行うと共に、研究者間のネットワーク化を図る。博士課程の大学院生の研究発表も実施
83	日本の躍動期：1960年代の文化芸術に関する国際会議	オーストラリア	メルボルン大学	2012.01.25 ~ 2012.01.28	1960年代を学際的に見直し、現代の「クールジャパン」につながる日本文化の革新的な側面の基礎を築いた時代として考察する国際会議。日豪米独から7名の研究者を招へいして会議を行うと共に、研究者が講師となって大学院生を対象としたゼミを実施
84	災害防止及び災害管理に関する日本法社会規範：アジア・大洋州と学際的な観点から	オーストラリア	シドニー大学法学部	2012.03.01 ~ 2012.03.02	2011年3月に発生した大地震・津波(自然災害)と原発事故(人口災害)に焦点を当て、防災と災害マネジメントについて、社会、経済、及び政治的な文脈を踏まえた上で、法社会規範の観点から検証を行うプロジェクト。2日間の国際会議でアジア・大洋州地域及び米国から様々な分野の専門家を招へい
85	辛亥革命百周年記念日本会議	全世界区分困難	辛亥革命百周年記念日本会議組織委員会	2011.04.01 ~ 2012.03.31	辛亥革命百周年にあたり、これまでの日本における辛亥革命及び関連研究の蓄積や動向を回顧しつつ、あらためて同革命の歴史的な位置づけや日本への影響を、内外の研究者を広く招へいして検討する会議を開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
86	辛亥革命100周年記念国際シンポジウムーアジア主義・近代ナショナリズム	全世界区分困難	特定非営利活動法人日中学術交流センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	辛亥革命百周年を記念して、中国、台湾、アメリカ、フランスから研究者を招へいし、シンポジウムを開催

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議(企画参画助成) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 37,768,533 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	東アジアの平和・ガバナンス・発展についてのEAIフェローシッププログラム(2011～2012)	韓国	東アジア研究院	2011.12.01 ～ 2012.03.31	フェローシップ型知的交流事業。米国をはじめとする非東アジア諸国の研究機関に所属する専門家5名に対しフェローシップを供与。対象者は東京、ソウル、北京、上海、台北の5都市のうち2都市以上に3週間以上滞在して研究を進めるとともに、受入機関において講演会やワークショップ等を実施。最終的な成果として論文を提出し、審査を受けて公刊
2	国際共同研究：アジア地域における「人間の安全保障」への新しいアプローチ	中国 オーストラリア	オーストラリア国立大学	2011.04.01 ～ 2012.03.31	アジア・大洋州地域において、「人間の安全保障」政策に対する「狭義」及び「広義」のアプローチがいかに調整され、地域的な特性をもって実施されているかを検討する国際共同研究・会議の3年目。ワークショップ形式で、豪州、日本、中国、韓国、英国、フィリピンから計19名が出席。9月20日～21日、上海の復旦大学にて実施
3	第7回 北京－東京フォーラム	中国	言論NPO	2011.04.01 ～ 2012.03.31	アジアや日中の共通課題の解決に向けて、両国の有識者や国民が広く共に考え、政府関係の悪化に左右されない本音で真剣に議論ができる民間対話の場を実現することを目指す継続対話事業。今回は、尖閣諸島問題を契機に高まっている両国の対立関係、人口減少や高齢化、外交・安全保障等について議論。2011年8月下旬に北京で実施
4	東日本震災後の日本政治・外交の行方と中日関係	中国	中央党校国際戦略研究所	2011.09.01 ～ 2012.02.29	日中の研究者・知識人を北京に招へいし、「東日本大震災後の日本政治・外交の行方と中日関係」をテーマに討論。成果は機関誌『学習時報』や新華社通信ニュース(インターネット)などで公表
5	国際円卓会議シリーズ「東日本大震災とその後」	中国	日中社会学会	2011.09.01 ～ 2012.03.31	日中社会学会と北京日本学研究中心が共催する一般公開型の円卓会議。阪神大震災(1995年)、四川大地震(2008年)、東日本大震災(2011年)における災害・復興・防災の日中比較、両国社会のさまざまな担い手に着目しながら、特に社会関係資本(信頼・規範・ネットワーク)の役割や、国際化社会での危機管理について新たな知見を提供
6	第8回東京－北京フォーラム事前協議	中国	言論NPO	2012.03.01 ～ 2012.03.31	平成24年度に日中国交正常化40周年を記念して開催する「第8回東京－北京フォーラム」にて、両国民の真の相互理解に支えられた日中関係を築くための対話実現に向け、「東京コンセンサス」を発表するにあたり、提言の発信に向けた事前協議のため、北京にて準備会議を実施
7	リークアンユール公共政策大学院院生訪日研修	シンガポール	シンガポール国立大学リークアンユール公共政策大学院	2011.04.01 ～ 2012.03.31	シンガポールのみならず、アジア各地から次世代を担う学生や実務家が集まるリークアンユール公共政策大学院在学生の内、国際関係論等を専攻する15名程度を10日間程度招へいし、対日理解を喚起・促進するとともに、日本の院生・若手研究者など次世代の知的リーダーとのネットワークを形成
8	第3回イスラム女性指導者会議	フィリピン	フィリピン民主化のためのフィリピン評議会	2011.11.01 ～ 2012.01.31	ミンダナオの平和と復興を目指し、アジアを中心とする国内外のイスラム女性知識人のネットワーク形成と平和活動に向けた能力開発のための国際会議を実施。2011年12月5日～8日に、ダバオで実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
9	現代における中国人の移住：東南アジアと日本のケース	フィリピン	東南アジア研究地域交流プログラム	2011. 11. 01 ～ 2012. 10. 31	今後の東南アジアの経済発展及び人の移住の観点から、マレーシア、ベトナム、日本における華僑に関する事例研究を実施するとともに、シンガポール、フィリピン、ミャンマー、ラオス、韓国についても文献研究を実施
10	タゴール生誕150周年記念事業	インド	タゴール生誕150周年記念会	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	タゴール生誕150周年にあたり、タゴールの設立した学園都市「ジャンティニケタン」より有識者を招へいし、タゴールが文化・芸術活動を通じて主張してきた「自然との共生」「東西の融合」「平和」等の精神哲学について振り返るとともに、タゴールの現代的意義—精神文化と現代の物質主義—について再考する国際会議
11	アジアの文化的創造的産業：共同調査プロジェクト、交流プログラム	インド	文化社会研究センター	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	アジアの文化産業について、日本、韓国、台湾の共催者ととともに、文化創造的産業が経済にもたらす効果に関して協同研究をするとともに、インターアジア文化学会(ダッカ)における発表、学生及び教員の交換留学、インターネット上における博士課程講義の実施などを総合的に行う事業
12	地球の環境変化に関するオープン・サイエンス国際会議	インド	マドラス大学応用地質学部	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	世界的に関心の高い地球環境変化に着目し、インド内外から分野横断的に200名近い科学者、学術研究者、政府関係者、市民団体等が参加する国際会議。今回は3月の東日本大震災に関する特別セッションが設けられる。日本からは京都大学、神戸大学、東京工芸大学等から専門家や学生が参加し、東北の経験や復興の取り組みを共有
13	パキスタン部族地域安定のための政策提言研究	パキスタン	NPO法人現代イスラム研究センター 部族地域研究センター(FATA Resresearch Center)	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	過激派の活動を生んできた部族地域が抱える社会・経済的な構造問題、あるいは社会・経済的矛盾の改善のために日本など国際社会ができる貢献等について、パキスタン・イスラマバードにある部族地域研究センター(FATA Research Center)とNPO法人現代イスラム研究センターが共同研究を行い、日本、パキスタン政府、国際社会に向けて政策提言を実施
14	ABU(アジア太平洋放送連合)メディア関係者による津波ワークショップ	大洋州地域区分困難	NHKインターナショナル	2011. 08. 20 ～ 2011. 08. 21	2009年の南太平洋津波の被災国であるトンガ王国と協力し、今回の東日本大震災で甚大な被害をもたらした大津波災害の体験と復興の過程をアジア・大洋州諸国と共有し、災害時の緊急報道や防災活動に果たすメディアの役割について議論するワークショップを、8月20日～21日、パプアニューギニアにて実施

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (3) 知的交流会議(主催) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 41,458,338 円

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	日韓多文化共生セミナー	韓国	韓国多文化共生学会	2011.04.01 ~ 2011.08.31	日本や韓国では、外国人住民の多い自治体を中心に、国籍や民族等の異なる住民が共に生きていく地域づくりを進めるために「多民族共生」や「多文化社会」という観点から様々な政策が進められているが、欧州では、新しい都市政策として「インターカルチュラル・シティ」の考え方が注目されている。本セミナーは、特に地域住民の多文化理解、住民と外国人との間の異文化交流への努力をどのように維持していくのかについて、欧州の「インターカルチュラル・シティ」に基づく取組みを参考に、日本や韓国の都市のあるべき姿を探ることを目的としたもの。当初2011年3月に実施予定であったが、東日本大震災の発生により延期。内容を一部拡大した上、平成23年度に「日韓欧多文化共生都市セミナー」として2011年8月19日にソウルにて開催
2	日中韓文化交流フォーラム	韓国 中国	韓日文化交流会議 中日友好協会	2011.09.20 ~ 2011.09.23	東北アジア地域における民間主導の文化交流を積極的に支援・展開し、同地域の共同繁栄と発展に寄与することを目的に、2005年から毎年日中韓3カ国持ち回りで開催されているフォーラム。第7回となる2011年は、韓国の慶州において「災害と文化」等をテーマにフォーラム開催を行い、関連文化イベントとして3カ国の若手芸術家が参加する公演も実施
3	日中韓次世代リーダーフォーラム 10周年記念フォーラム	韓国 中国	韓国国際交流財団 中華全国青年連合会	2012.03.27 ~ 2012.03.29	毎年、日中韓3カ国の次世代リーダーとして選ばれた各国6名(政治家・官僚・財界人・学者・メディア・NPO)が集まり、10日間で3カ国を回りつつ勉強・討論・意見交換などを通じて相互理解とネットワークを築くプログラム。 本年は本事業の10周年を記念し、3カ国の過去8回の参加者により、今後の日中韓関係を議論するフォーラムを実施
4	日中知的交流強化事業(個人招へい)	中国	東京大学 他	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本に滞在した経験の少ない中国の若手・中堅の知識人及び研究者を日本に招へいし、日本社会・文化などに触れる機会を提供することで、日本についての理解を促進する。また、日本人研究者、専門家等との交流・対話などを通じて個人的な関係を築くことにより、将来的な日中間の知的ネットワークの構築を目指す
5	日中知的交流強化事業(グループ招へい)	中国		2011.04.01 ~ 2012.03.31	これまで日本と接点がなかったが、対日理解・関心を促すことに長期的な効果が期待される知識人を中国から招へいし、同分野の日本人研究者・専門機関とのネットワーク形成をはかることで、日本に関する正確な情報の発信、持続的な知的ネットワーク構築及び知的交流の進展への貢献を目指す
6	震災復興に関するセミナー	インドネシア	ルジャック都市研究センター	2012.02.01 ~ 2012.02.04	日本より専門家1名を派遣し、ジャカルタにて震災復興に関するセミナーを実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
7	東南アジア文化と紛争シンポジウム	インドネシア カンボジア シンガポール タイ フィリピン ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス ドイツ	ゲーテ・インスティテュート・バンコク バンコク芸術文化センター(BACC)	2011.07.17 ~ 2011.07.20	2011年7月18日及び19日にかけて、「文化イニシアティブを通じた紛争の考察：東南アジアの視点から(Reflecting Conflicts through Cultural Initiatives: Perspectives from Southeast Asia)」と題した国際シンポジウムを開催
8	東南アジア若手イスラム知識人グループ招へい	インドネシア シンガポール タイ フィリピン マレーシア		2011.11.24 ~ 2011.12.03	東南アジア諸国の若手イスラム知識人を日本に招へいし、日本が歩んだ近代化の過程を紹介しながら意見交換を行い、ネットワーク構築をはかる事業
9	地震ITSUMO	タイ		2011.04.01 ~ 2012.03.31	阪神淡路大震災の経験や教訓を元に展開されてきた日本の防災への創造的な取組みのひとつである「地震ITSUMO」プロジェクトをタイ・バンコクにおいて紹介
10	震災復興に関するセミナー(ベトナム)	ベトナム	ホーチミン市人文社会科学大学	2012.03.08 ~ 2012.03.13	日本より専門家を2名派遣し、ハノイ、ホーチミンにて震災復興セミナーを実施
11	震災復興に関するセミナー(マレーシア)	マレーシア	Malaysian Association of Japanese Studies (MAJAS) マラヤ大学 Universiti Sains Malaysia	2012.03.12 ~ 2012.03.15	日本より専門家1名を派遣し、クアラルンプール、ペナンにて巡回型の震災復興セミナーを実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
12	日印文明対話	インド	国際文化会館	2011. 11. 01 ~ 2012. 03. 31	日印平和条約の締結から60周年を迎える平成24年を好機ととらえ、日印の知的交流の強化および再構築をめざし、従来、交流や対話の場が限られてきた両国の有識者を対象とした交流事業を、23年度から複数年計画で実施し、継続的な対話の場を創出。平成23年12月5日・6日に日印の専門家による企画会議及び公開シンポジウムを東京で実施
13	震災復興に関するセミナー	インド	ジャワハルラル・ネルー大学	2012. 03. 14 ~ 2012. 03. 18	日本より専門家1名を派遣し、インド・ネルー大学の「キズナ強化プロジェクト」の一環として震災復興に関するセミナーを実施
14	スリランカ文化と平和構築事業	スリランカ		2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	「文化と平和構築事業」の一環として、LTTE(タミル)の壊滅、政府軍(シンハラ)による勝利宣言により内戦が終結したスリランカにおいて、両派の和解と信頼醸成のための事業を実施。日本への招へいという文化交流を媒介としてシンハラ・タミル両者の対話チャンネルを形成することを目的に、第3国である日本に芸術家・知識人などを招へい
15	東日本大震災に関する映像作成	全世界区分困難		2012. 01. 01 ~ 2012. 03. 31	東日本大震災に関する良質なドキュメンタリーやニュース映像を素材とした映像資料(DVD)を制作し、海外の日本研究機関等に寄贈。教材等として活用してもらうことで、日本と諸外国の相互理解の更なる促進につなげる

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (4) 人材育成グラント [アジア・大洋州]

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 14,268,350 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	城下町金沢における国際建築都市デザインワークショップ	韓国 中国 ベトナム イタリア フランス	城下町金沢国際ワークショップ実行委員会	2011.06.08 ~ 2011.06.18	本事業は、歴史的建造物が点在して残りつつ、文化的資源が活用されていない地域(金沢市・下新町周辺)を対象にし、城下町としての都市文化を持つ金沢の国際的な位置づけを明確にするワークショップを行う。参加校はイタリア、ベトナム、中国、韓国、フランス、日本。各校から教員と学生が金沢を訪れ、地元金沢周辺の大学の学生と共同で都市文化の価値を理解・分析し、空間提案と多様な主体が議論する場づくりの仕組みの提案を実施
2	LEAFフォーラム2011韓国セッション	韓国 中国	LEAF日本実行委員会	2011.07.31 ~ 2011.08.07	日本、中国、韓国の大学・大学院から選抜された参加者が、韓国における7日間の共同生活とフィールドワークを通じてリーダーシップを学び、将来にわたる絆を深化させるとともに、東アジア地域の課題に対する解決策を提示
3	2011年アジア法学生協会フォーラム	韓国 中国 インドネシア シンガポール タイ フィリピン ブルネイ マレーシア バングラデシュ	アジア法学生協会 ジャパン	2011.08.04 ~ 2011.08.10	アジアの更なる地域的協調と発展の促進という共通の目的意識を持ち、アジア法学生協会全加盟国・地域の学生が一堂に会し、政治や国家の枠組みにとらわれないという学生の強みを生かした学術・文化交流、全体総会などを行う。この事業を通じて参加者はアジアの多様性に触れ、議論を通じ繊細な事情をはらんだアジアの諸問題解決への道を探るとともに、国境を越えた交友関係を結び、今後、世界で活躍する上で必要な素養を実践的に学習
4	日韓友好交流ボランティアワークキャンプ	韓国	特定非営利活動法人グッド	2011.08.18 ~ 2011.08.30	韓国・江原道原州市の農村にて、日本人と韓国人の若者が協力して農作業などの村の仕事の補助作業を体験。更に、韓国の伝統音楽プンムルを地域住民から教わるなどの文化体験プログラムも行うキャンプ。村での共同生活、共同作業を通じて日韓の若者の成長と相互理解を目指すと共に、日韓の若者と地域の人々との交流を図る事業

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
5	アジア獣医学生交流プログラム	韓国 インドネシア シンガポール タイ マレーシア	日本獣医学生協会	2011.08.22 ~ 2011.08.26	アジア地域の獣医学生が交流を通じて相互理解と広い知見の獲得を目的とするプログラム。文化交流や震災に関するワークショップなども取り入れ、国際ネットワーク形成に向けて連携を深化
6	第2回日中韓ユース・フォーラム	韓国 中国	財団法人日本国際連合協会	2011.09.15 ~ 2011.09.21	日中韓のユースで模擬国連会議を実施。また、文化施設訪問を通じた国際交流や意見交換の実施などにより、相互理解に努める。昨年日本で開催された第1回に引き続き、本年は中国において開催
7	日中相互訪問プロジェクト2011—現地語でつなぐ絆—	中国	日中交流学生団体 京英会 東京	2011.08.08 ~ 2011.08.22	東京外国語大学の中国語科と北京外国語大学の日本語科の学生達が相互に訪問し、各国に一週間ずつ共同生活をしながら地方見学、ディスカッション、語劇発表などを実施。また、互いの夢を語り合うなど幅広い交流を目指す相互訪問プロジェクト
8	スタディトリップ2011インジャパン	中国	アジア法学生協会 ジャパン	2011.08.30 ~ 2011.09.05	日中の学生が参加して、政治や国の枠組みに捉われない学生の強みを活かした学術・文化交流を行い、日中間の諸問題解決への道を探るとともに、強い友好関係を構築
9	京論壇2011	中国	京論壇東京大学実行委員会	2011.09.16 ~ 2011.10.09	東京大学、北京大学の学部生・院生による討論・交流プログラム。2週間寝食を共にしながら日中間における課題を話し合い、相互理解及び信頼醸成を目指すとともに、報告会等を通じて社会に発信
10	壁を越える：万里の長城での日中大学院生対話	中国	「壁を越える」：日中大学院生対話実行委員会	2011.10.08 ~ 2011.10.11	政治問題の域を越え、日中の「壁を越える」とはいかなることかを、東京大学及び清華大学の大学院生が、万里の長城に隣接する清華大施設に合宿して、文化、歴史、コミュニケーション等あらゆる側面から集中討議。両国の未来を担う次世代からのメッセージとして発信
11	地球家族のきずなを求めて—異文化・社会を考える日・モ学生対話集会	モンゴル	いっくら国際文化交流会	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日モ国交樹立40周年と「いっくら国際文化交流会」の創立30周年を記念し、モンゴル人文大学日本語学科の学生や、同交流会が実施したモンゴル研修事業の関係者を招へい。日本の大学生を交え、異文化理解、日本社会理解、日本の環境問題への取り組みなどを通じて各種対話事業を宇都宮と東京で実施
12	日本とモンゴルの親善の会	モンゴル	日本モンゴル親善協会	2011.08.20 ~ 2011.08.29	日本、モンゴル両国の青少年の交流を通じ、両国間における次世代の絆の構築を図る事業。モンゴルの中学生から日本に贈られた絵画(東日本大震災からの復興を応援する内容)の展示も併せて実施
13	地球家族のきずなを求めて—日・蒙学生対話集会	モンゴル	いっくら国際文化交流会	2011.09.21 ~ 2011.09.28	モンゴルにおいて日本の学生のインターンシップを実施するとともに、日本、モンゴル両国の学生が相互の文化などについて議論する対話集会を通じ、相互交流・理解の深化を図る。対話集会では、参加学生が各自の専門を活かし、自然災害やエネルギー政策といった多様なテーマについてディスカッションを実施
14	日本タイ青少年空手道交流相互理解促進事業	タイ	特定非営利活動法人 一橋空手道一空会	2011.04.15 ~ 2011.09.15	日本、タイ両国の青少年が相互訪問し、日本の伝統的武道たる空手道の共同練習を通じ、心技体にわたる人格形成と礼節を重んじる精神の涵養を図ると共に、両国産業経済文化への理解と異文化交流をテーマとするワークショップ開催や語学学習指導を行う。両国の立場を踏まえ、相互理解を深耕できる国際的な知的交流の担い手を育成

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
15	第5回日本ベトナム学生会議	ベトナム	日本ベトナム学生会議	2010. 11. 01 ~ 2011. 11. 01	日本、ベトナム両国の学生間で、両国に関わる様々なテーマを元に意見交換を行い、文化的な背景を含め、互いの類似点や相違点等について理解を深めるとともに、両国の文化を紹介する「文化交流会」を実施
16	アイセック アジア太平洋地域国際会議	アジア地域区分困難	特定非営利活動法人アイセック・ジャパン	2012. 03. 15 ~ 2012. 03. 22	アジア各国の学生200名を日本に集め、日本人の一般学生等と共同で、日本の復興に向けて、またアジアの連携について議論する企画を実施
17	国際森林学生連盟 第二回アジア地域会議	全世界区分困難	IFSA(国際森林学生連盟)京都大学委員会	2011. 05. 16 ~ 2011. 05. 21	国際森林学生連盟(IFSA)の加盟団体間の交流及び知識の向上を目的とした会議を開催。IFSAは、世界約50カ国の森林科学専攻の学生が、世界の森林や環境問題に関する知識の向上と国際的な視野を広げることを目的とする非営利団体である。主な対象は地理・自然環境や文化の近いアジア地域の学生
18	2011年希望と平和日本語サミット	全世界区分困難	特定非営利活動法人ジャパン・リターン・プログラム	2011. 06. 29 ~ 2011. 08. 02	日本と各国の架け橋となりうる、日本語での発信力の優れた青年を日本に招へいし、日本語サミットを開催。期間中には東京、大阪、広島、宮崎を訪問し、日本の学生とのディスカッション、ホームステイ、伝統文化体験等を通じて、国際融和、平和共存について深い考察をはかり、世界にメッセージを発信

日本研究・知的交流事業に必要な経費

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究機関支援〔欧州・中東・アフリカ〕

2. 人物交流事業費

- (1) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 長期）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 短期）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (4) 知的リーダー交流（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 人材育成グラント〔欧州・中東・アフリカ〕

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究ネットワーク強化(主催)[欧州・中東・アフリカ]

学問分野を越えた日本研究者・研究機関相互の連携と協力を推し進め、各国・地域における中核的な知日層とわが国の長期的な関係を維持発展させるため、海外の日本関連学会や元日本人留学生の組織化・活動を支援する。

合計額 73,311 円

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	ヨーロッパ日本研究協会(EAJS)総会 基金セッション	欧州地域区分困難	タリン(エストニア)	タリン大学	ヨーロッパ日本研究学会(EAJS)	2011.08.24 ~ 2011.08.27	3年に一度開催されるヨーロッパ日本研究者協会(EAJS)の定期総会に合わせ、国際交流基金の主催で非公式の討論セッションを開催。東日本大震災後の地域研究としての日本研究のあり方をさぐる

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 日本研究ネットワーク強化(助成) [欧州・中東・アフリカ]

国境・学問分野を越えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 22,933,164 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	伊日研究学会	イタリア	2011.04.01 ~ 2011.12.31	1973年に設立されたイタリアで唯一の全国横断的な日本学会である伊日研究学会がボローニャにて開催する年次総会を支援
2	英国日本研究協会	英国	2011.04.01 ~ 2011.11.30	オックスフォード大学にて開催される英国日本研究協会年次総会の開催を支援
3	NIAS Linc	デンマーク	2011.09.01 ~ 2011.11.30	ニアスリンク(NIAS Linc: 北欧5カ国の大学・研究機関連合の図書館部門)の日本関連データベース購入を支援
4	日本資料専門家欧州協会	ベルギー	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本関連資料に携わる司書・学芸員・研究者のネットワーク化を図るための第22回日本資料専門家欧州協会集会を支援
5	ロシア日本研究者協会	ロシア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	論文コンクールの実施や高齢化社会をテーマとした国際会議の開催、WEBジャーナル等の出版、運営費用の一部を支援
6	ヨーロッパ日本研究協会(EAJS)	欧州地域区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	欧州随一の日本研究協会の事務局運営、2011年タリン総会開催、第7回PhDワークショップ開催、及びウェブサイト運営を支援
7	ヘブライ大学	イスラエル	2011.04.01 ~ 2011.08.31	第10回アジア研究年次学会の開催を支援。同地における人文・社会科学系学会では最大の学会で、イスラエルのみならず海外からの参加者(日本人含む)も招へいし、24のパネル(分科会)と総会を実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 / (3) 日本研究機関支援〔欧州・中東・アフリカ〕

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、該当国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める。

合計額 50,441,239 円

	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	国立アイスランド大学	アイスランド	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本研究関連書籍の寄贈、及び日本関連の集中講義を担当する客員教授の派遣経費助成
2	ヴェネチア大学	イタリア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「日本語」「日本文学」のコースを受け持つ教員の雇用助成、現代日本における文学批評に関する客員教授派遣(経費助成)、国際会議「『現代日本』一過渡期における世界経済大国の挑戦」への経費助成、及び日本関連図書寄贈
3	ミラノ国立大学	イタリア	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「日本語」「日本文学」のコースを受け持つ教員の雇用助成
4	イーストアングリア大学	英国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「日本の文化遺産入門」「日本の文化遺産活用方法」担当教員の雇用経費助成
5	エジンバラ大学	英国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「現代日本社会」「日本語」担当教員の雇用経費助成
6	ニューカッスル大学	英国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「言語・言語習得学(日本語)」「映画学」講義担当の教員雇用経費助成
7	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院	英国	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「日本経済」専任教員の雇用経費助成
8	バジャドリッド大学	スペイン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	第10回スペイン日本研究学会の開催を支援。初の国際学会として外国からのスピーカーも招へいし、建築・文学・経済を中心に、文化、映画、観光、交通、エンジニアリングなど分野横断的な構成で実施
9	バルセロナ自治大学	スペイン	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「日本語」「日本文学」「日本のポップカルチャー」等の講義を担当する教員の雇用経費助成
10	ハイデルベルク大学	ドイツ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日独及び独日同時通訳実践、逐次通訳実践に関する教員の雇用助成
11	ボン大学	ドイツ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	馬場章(東京大学大学院学際情報学府教授)を客員教授として派遣。更に、会議「日本コンテンツ学の基盤整備—トラウツ・コレクションの学術資源化」の開催を助成。図書寄贈、訪日研修の実施も支援
12	オスロ大学	ノルウェー	2011.04.01 ~ 2012.03.31	岩淵功一(早稲田大学国際教養学術院教授)による集中講義「日本のポップカルチャー」「文化・国家・グローバル化」及び国際会議「東西文明論：東西調和をもたらす日本」の実施費用助成
13	国立政治学財団	フランス	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本講座(ジャパン・チェア)への客員教授派遣を支援
14	ルーヴァン・カトリック大学	ベルギー	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本関連図書の寄贈

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
15	タシケント国立東洋学大学	ウズベキスタン	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	沼田善子（筑波大学教授）による、タシケント国立東洋学大学日本語学科における客員教授としての日本語学講義
16	ザグレブ大学	クロアチア	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	日本研究関連書籍の寄贈、及び日本関連の講義を担当する教員の雇用経費助成
17	エオトヴェシ・ロラーンド大学	ハンガリー	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	「日本学」「日本語読解」「日本語文法」「日本文学」「民族と社会」講義担当教員の雇用経費助成
18	ヴィタウス・マグヌス大学	リトアニア	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	国際共同研究プロジェクト「西洋における『日本』の展開に関する比較研究」とその成果出版
19	ブカレスト大学	ルーマニア	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	日本研究関連書籍の寄贈、国際会議「日本における自己と他者—その相互イメージ」開催経費の助成、『Topics in Japanese Culture』の出版経費助成
20	極東国立総合大学	ロシア	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	環日本海地域間の人的・経済的交流の発展と言語・文化の役割に関する総合研究、「モダリティの意味を表す現代日本語の安定的文法表現」に対する出版助成、「現代日本女性文学と有吉佐和子の作品」をテーマとした訪日研修
21	テヘラン大学外国語・外国文学部	イラン	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	近藤正憲（愛媛女子短期大学国際ビジネスコミュニケーションコース常勤講師）を客員教授として派遣したほか、日本関連図書を寄贈
22	テヘラン大学外国語・外国文学部	イラン	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	2010年度に派遣した客員教授の携行図書購入経費
23	ダマスカス大学	シリア	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	2010年度に客員教授として派遣した松尾 昌樹（宇都宮大学国際学部准教授）の追加関連経費
24	アインシャムス大学	エジプト	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	今井雅晴（筑波大学名誉教授）を客員教授として派遣したほか、「専門演習」「論文指導」担当の教員雇用助成
25	カイロ大学政治経済学部	エジプト	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	日本研究集中講義の実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 / (1) 日本研究フェローシップ(学者・研究者 長期) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 98,679,710 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	McELWAIN, Kenneth, Mori	ミシガン大学政治学部 准教授	アイルランド	中央大学	2011.06.01 ~ 2012.05.31	政党の民主化
2	ALBERIZZI, Valerio Luigi		イタリア	東京大学大学院人文社会系研究科	2011.10.01 ~ 2012.03.31	和漢混淆文の研究—古典日本語の諸文体における位置—
3	FAILLA, Donatella	キョッソーネ美術館 館長	イタリア	立命館大学	2012.01.31 ~ 2013.01.30	エドアルド・キョッソーネ(1833~1898)と日本美術コレクション：明治期の文化的・歴史的背景
4	GALLIANO, Luciana	ヴェネチア大学 助教授	イタリア	国立音楽大学	2011.08.30 ~ 2011.11.27	フルクサス運動と日本人アーティスト—その関わりと重要性。フルクサス及びその美学に関する日本文化を通しての再考
5	WHITTLE, Keith	セントラルセントマーティンズカレッジ 国際プロジェクト研究員	英国	P3芸術と環境	2011.05.10 ~ 2011.09.09	アート、コミュニティ、エンゲージメント：日本のアートプロジェクトの近況
6	STEGEWERNS, Dick	オスロ大学文化研究 東洋言語学部 准教授	オランダ	京都大学人文科学研究所	2010.01.17 ~ 2011.12.16	戦争の再演：戦後日本映画における自己と他者の表現
7	KAVALLARIS, Faidros	作曲家	キプロス	東京芸術大学	2010.12.01 ~ 2011.11.30	松風とオイディプス王・能と古代ギリシャ劇の歌詞、音楽及び構成
8	CAMPAGNOLA, Francesco	イタリア東方学研究所 共同研究者	スイス	京都大学大学院人間・環境学研究科	2012.02.01 ~ 2013.01.15	近代性の周縁へ—日本におけるイタリア近代思想受容の歴史
9	HAGSTRÖM, Linus Petter	スウェーデン国際問題研究所 上級研究フェロー	スウェーデン	京都大学	2012.01.05 ~ 2012.07.04	国家アイデンティティと日本の外交・安全政策の変化
10	BORGGREEN, Gunhild	コペンハーゲン大学 助教授	デンマーク	東京芸術大学	2011.02.01 ~ 2011.07.31	芸術と技術：日本のロボットの視覚文化
11	DONATH, Diana	ヤギェウオ大学 教授	ドイツ	お茶の水女子大学	2011.09.30 ~ 2012.09.29	日本の高度娯楽文学の潮流：1990年代の各賞受賞の女性作家
12	LISCUTIN, Nicola	ロンドン大学バークベックカレッジ 研究者	ドイツ	東京大学	2011.05.15 ~ 2012.02.14	1950年代から60年代初頭の日本映画におけるトラウマ、記憶、ジェンダー
13	MIDFORD, Paul	ノルウェー科学技術大学 助教授	ノルウェー	同志社大学法学部	2010.07.20 ~ 2011.07.19	東アジアにおける多国間の安全保障協力—安心感を高める論理と日本のリーダーシップ

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
14	TOIVONEN, Tuukka Hannu	オックスフォード大学グリーンテンブルトンカレッジジュニア・リサーチ・フェロー	フィンランド	慶應義塾大学	2011.05.26 ~ 2012.05.25	「社会企業家」になるということー若い大人のモチベーションや変貌する「社会的貢献」について
15	GARDE, Renée	翻訳家	フランス	立教大学文学部	2011.10.01 ~ 2012.09.30	『仁勢物語』の伝語全訳・注・解説のフランスにおける出版
16	ZOUGHARI, Kacem	フランス国立東洋言語文化学院 (INALCO) 研究員	フランス	国際日本文化研究センター	2011.06.14 ~ 2012.03.14	日本古武道の「動き」の人間工学的分析研究
17	JALILOV, Aktam	ウズベキスタン共和国大統領付属国家・社会建設アカデミー 国際学部長	ウズベキスタン	法政大学	2011.08.12 ~ 2012.08.11	新たな超大国が出現するユーラシアにおけるパワーバランスとしての日本の役割
18	PYANOVA, Elena	タシケント国立東洋学大学 歴史学部講師	ウズベキスタン	早稲田大学	2010.10.01 ~ 2011.07.30	近代日本研究：久米邦武の経験に学ぶ宗教、教育と進歩について
19	SALIKHOV, Jasur Shavkatovich	世界経済外交大学 准教授	ウズベキスタン	東京大学	2011.08.24 ~ 2012.08.23	戦後日本における金融・産業システムの統合：経営と成長
20	TUYCHIEV, Muchiddin	タシケント国立東洋学大学 研究員	ウズベキスタン	法政大学	2010.06.10 ~ 2011.05.31	日本と上海協力機構から考える、アフガニスタンの安全保障と安定への道
21	KELIYAN, Maya Bedros	ブルガリア科学アカデミー 准教授	ブルガリア	京都大学	2012.03.01 ~ 2013.02.28	アーバンライフスタイルの多様性：日本とブルガリアの比較研究
22	BATOR-LUKASIEWICZ, Joanna	ポーランド科学アカデミー 上級准教授	ポーランド	東京工業大学大学院社会理工学研究科	2010.10.01 ~ 2011.09.30	おたく文化とそのジレンマ
23	MAJEWICZ, Alfred Franciszek	アダム・ミックェヴィチ大学 正教授	ポーランド	埼玉大学教養学部	2011.01.10 ~ 2011.11.09	B. ビウスツキとW. シェロシェフスキの観た明治期の日本(百年後遠景)
24	CVETKOVIK, Andrijana	日本大学大学院芸術学研究科 客員研究員	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	国際日本文化研究センター	2011.11.25 ~ 2012.11.24	映画表現を通じた文化的イメージと日本の潜在意識の形
25	BAKSHEEV, Evgeny Sergeevich	ロシア連邦文化省国立ロシア文化研究所 主任研究員	ロシア	沖縄国際大学	2011.05.24 ~ 2012.05.23	ネフスキーによる宮古島方言研究の足跡をたどる、「ニコライ・ネフスキー『宮古島方言研究のための資料』(『宮古方言ノート』)の解説・翻訳・整理・研究、ネフスキー『宮古方言辞典』の編纂
26	BOTOEV, Igor	ブリヤート国立大学 准教授	ロシア	北海道大学	2011.07.03 ~ 2012.07.02	日本文学の翻訳における異文化コミュニケーションの諸問題

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
27	KUTAFYEVA, Natalia Vitalievna	ノボシビルスク国立総合大学 准教授	ロシア	早稲田大学大学院 日本語教育研究科	2011.06.01 ~ 2012.02.29	数量という概念を中心に日本語とロシア語世界の言語上の知覚の比較
28	KUZMINKOV, Victor	ロシア科学アカデミー 上級研究員	ロシア	法政大学	2011.06.05 ~ 2012.04.04	ソ連崩壊後の日ロ関係-エリツィン時代1991-2000年
29	GUCHINOVA, Elza- Bair Matsakovna	ロシア科学アカデミー民俗学・人類学研究所上級研究者	ロシア	北海道大学スラブ研究センター	2011.06.15 ~ 2012.04.14	捕虜の記憶のイメージ：強制収容所における戦争捕虜の視覚記録
30	POTAPOVA, Natalia Vladimirovna	サハリン国立総合大学 世界史学部長	ロシア	小樽商科大学	2011.09.07 ~ 2012.09.06	サハリンアイヌ、北方先住民のキリスト教ミッション
31	SHAGLANOVA, Olga	トランスバイカル地域民族・民族学博物館 次長	ロシア	東北大学	2012.03.14 ~ 2013.03.13	北東アジアにおけるモンゴル系移民間の民族的統合
32	BEJARANO, Shalmit	ピッツバーグ大学 博士課程	イスラエル	神奈川大学	2010.09.28 ~ 2011.09.27	伝承とカノン：近代画譜における耕作モチーフの検討
33	IBRAHIM, Walid Farouk	カイロ大学文学部 准教授	エジプト	学習院大学	2011.09.01 ~ 2012.08.31	副詞と文末表現の統語的特徴と意味分析—日本語・アラビア語の対照研究
34	SALEH, Adel Amin	カイロ大学文学部 日本語・日本文学 専任講師	エジプト	早稲田大学	2010.09.01 ~ 2011.08.31	世界における日本型の国語形成の位置づけ—欧米諸言語とアラビア語の対比において—

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ(論文執筆) [欧州・中東・アフリカ]

人文・社会学の研究者で博士論文作成のため来日する必要があるものを招へいする。

合計額 101,233,772 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	WALSH, Dermott	ライデン大学 博士課程	アイルランド	京都大学	2011.01.19 ~ 2012.03.18	「空」の問題と近代日本哲学の倫理
2	CARDI, Luciana	ナポリ東洋大学 博士課程	イタリア	大阪大学日本語日本文化教育センター	2011.10.01 ~ 2012.01.31	現代日本文学におけるギリシア神話
3	CLOSE, Natalie, Frances	オーストラリア国立大学 博士課程	英国	上智大学	2010.07.25 ~ 2011.09.24	日本の都市の共同体による祭のアイデンティティと役割
4	DOBSON, Jill	シェフィールド大学博士課程	英国	早稲田大学	2011.09.01 ~ 2012.08.31	宮本百合子、1927年から30年のソビエト滞在
5	JONES, Gordon Wyn	ロンドン大学キングス・カレッジ 博士課程	英国	政策研究大学院大学	2011.08.01 ~ 2012.02.29	日本の核政策の基軸：依存の力学とディレンマ
6	LEE, Joyman	イェール大学 博士課程	英国	東京大学	2011.12.01 ~ 2012.08.31	日本の経済の思想と中国の経済の経済発展政策、1920~1940年
7	WALSH, Mark James Paul	ロンドン大学 博士課程	英国	早稲田大学	2011.06.01 ~ 2011.09.30	近代日本における英語カリキュラムとナショナルアイデンティティの確立：1947年から2006年の中学校英語教科書の歴史研究
8	KOCH, Angelika	ケンブリッジ大学 博士課程	オーストリア	立命館大学	2011.09.16 ~ 2012.03.12	江戸の指南書に見る近世のセクシャリティと身体
9	DOGLIA, Arnaud	ジュネーブ大学 教員助手/博士課程	スイス	東京外国語大学	2010.09.01 ~ 2011.08.31	現代日本における過去の構築と脱構築：日本の戦争残虐の集会的記憶の形成
10	HUTTER, Roland Ryu	チューリッヒ大学 博士課程	スイス	国立歴史民俗博物館	2010.09.24 ~ 2011.09.20	輪島漆器が「日本一」と呼ばれる理由について
11	WIESER BENEDETTI, Ursula Verena	国立高等社会科学研究院 博士課程	スイス	京都市芸繊維大学	2011.06.19 ~ 2011.10.18	京都の都市空間に現れた歴史—江戸時代と明治時代が混在する空間構造の研究
12	ARMENDARIZ HERNANDEZ, Alejandra	レイ・ファン・カルロス大学 博士課程	スペイン	明治学院大学文学部	2011.09.22 ~ 2012.11.21	日本映画における女性監督。作者、映画表現と受容行為の問題
13	MORENO, Nieves	マドリード自治大学 博士課程	スペイン	早稲田大学	2010.09.01 ~ 2011.08.31	日本映画における活弁の思考と定着(1908~1915)
14	MELZER, Juergen	プリンストン大学 博士課程	ドイツ	東京大学	2010.09.22 ~ 2011.08.07	戦間期における日本の航空開発と、ドイツ
15	POCH, Daniel Taro	コロンビア大学 博士課程	ドイツ	早稲田大学	2011.10.01 ~ 2012.09.30	近代日本に於ける「文学」の再検討：19世紀から20世紀初頭にかけてのジャンルと感情性

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
16	ROTH, Martin Erwin	ライプツィヒ大学 博士課程/助手	ドイツ	東京大学	2011.04.30 ~ 2012.04.29	共同体ゲーム：日本に於けるメディア文化の発展とその意味
17	CASTEL, Coralie Yolande	ナンテル大学 博士課程	フランス	多摩美術大学	2010.09.22 ~ 2011.09.23	日本における自己表現：社会的な視点からの「プリクラ」研究
18	TAJAN, Nicolas	トゥルーズ第二大学 博士課程	フランス	京都大学	2011.04.15 ~ 2011.06.14	日仏ひきこもり比較研究
19	MOSKALYOV, Dmitriy Petrovich	ウクライナ国立科学アカデミー 博士課程	ウクライナ	北海道大学スラブ研究センター	2010.06.21 ~ 2011.07.20	現代日本語におけるモダリティの文末の複合表現
20	NAGORNA, Valentyna	交通・経済・工業国立大学 ウクライナ語・外国語学部 助手	ウクライナ	天理大学国際文化学部	2010.06.01 ~ 2011.05.31	多義語・同音異義語・オノマトペ語から見た日本語の構造と特性(対照的な分析視点から)
21	CULIBERG, Luka	リュブリャナ大学 アシスタント	スロベニア	一橋大学	2011.10.01 ~ 2012.08.30	言語思想史と国民国家の形成：「日本人」のアイデンティティにおける「国語」という概念
22	MATOSEC, Matjaz	ユトレヒト大学 博士課程	スロベニア	立命館大学	2011.01.20 ~ 2011.07.19	オペラのカストラートと歌舞伎の女形の比較：声に着目して
23	JELESIJEVIC, Dunja	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 博士課程	セルビア	名古屋大学	2011.09.01 ~ 2012.07.31	宗教魔力、宗教啓発：中世日本における能楽堂と宗教
24	LOCHMAN, Daniel	チャールズ大学 博士課程	チェコ	東京国際大学	2012.01.31 ~ 2013.03.30	チェコスロバキアと日本戦間期外交関係
25	PLSEK, Ivo	カリフォルニア大学 博士候補	チェコ	東京大学	2010.11.18 ~ 2011.11.17	日本のエリートと戦後和解：1920年代から80年代にかけての政治の連続性
26	TODOROVA, Albena Hristova	ソフィア大学 非常勤講師	ブルガリア	東京大学大学院人文 社会系研究科・文学部現代文芸論研究室	2010.08.01 ~ 2011.09.30	『アンナ・カレーニナ』と『或る女』における女性像の比較研究
27	CITKO, Malgorzata Karolina	ハワイ大学マノア校 博士課程	ポーランド	国文学研究資料館	2012.01.01 ~ 2013.02.28	式子内親王の和歌、間テクスト性、知覚と評価
28	DRZEWIŃSKI, Kamil	ワルシャワ工科大学 博士課程	ポーランド	立命館大学	2011.08.01 ~ 2012.09.30	日本における建築学的オブジェクトの構造形成の論理
29	GLUCH, Dariusz	ワルシャワ大学東洋学研究所 博士課程	ポーランド	東京大学大学院人文社会系研究科	2010.11.01 ~ 2011.12.31	テキストによる言語間的コミュニケーションの実用論：日本語に於ける和文と対照した漢文の問題
30	MILUTIN, Otilia Clara	ブリティッシュ・コロンビア大学 博士課程	ルーマニア	上智大学	2011.09.01 ~ 2012.10.31	平安の「ものがたり」文学にみる問題含みの求愛における性差表現

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
31	DOGADINA, Anastasia	ロシア科学アカデミー東洋学研究所 博士課程	ロシア	法政大学	2011.07.01 ~ 2012.06.29	日本政治エリートの進化 (1869~2010)
32	ERSHOVA, Nina	国立大学高等経済学校 博士課程	ロシア	京都大学経済研究所	2011.10.08 ~ 2012.04.07	ロシアへの投資に関する日本企業アプローチ
33	GINZBURG, Polina Alexandrovna	チュービンゲン大学 博士課程	ロシア	早稲田大学	2011.10.25 ~ 2012.08.24	ヨーロッパの日本研究の文脈におけるアダム・ラクスマンと初期露日関係
34	KLOBUKOVA, Natalia	モスクワ国立音楽院 主席研究員	ロシア	京都市立芸術大学	2012.01.16 ~ 2012.12.15	明治期の伝統音楽文化の保存
35	LEBEDEVA, Ekaterina	ロシア極東国立人文大学 専任講師	ロシア	大阪大学	2010.06.28 ~ 2011.08.27	日本語における慣用表現の発生と発達(通時的研究): 6~8世紀の歴史的記録と文学作品を焦点に
36	MOSTOVAYA, Anna Sergeevna	ロシア科学アカデミー極東支部 博士課程	ロシア	東京理科大学	2011.05.26 ~ 2012.07.31	日本企業海外投資の地理的構造の分析
37	MURASHKIN, Nikolay	ケンブリッジ大学 博士課程	ロシア	早稲田大学	2011.11.07 ~ 2012.04.06	1991年~2010年日本の「シルクロード」外交: 対中央アジア地域ポスト冷戦戦略アプローチ
38	TARAKANOVA, Ekaterina Borisovna	モスクワ州スラブ文化大学 博士課程	ロシア	日本女子大学	2011.06.02 ~ 2012.07.01	現代の異文化間の対話における日本とロシアの若者のサブカルチャー
39	BEN NUN, Yael	パリ第8大学 博士課程	イスラエル	慶應義塾大学	2011.09.01 ~ 2012.08.31	今敏のアニメーション・フィルムに見るリアリズムとファンタジーの混合における美学への挑戦
40	JOSKOVICH, Erez	テルアビブ大学 博士課程	イスラエル	東京大学	2011.07.20 ~ 2012.09.19	「在家禅」: 現代日本における民衆的な禅
41	SAHIN, Esra-Gokce	ハーバード大学 博士課程	トルコ	東京大学	2010.09.01 ~ 2011.10.31	ユーモアの観点から見る社会事情
42	NOUR, Safaa, Mahmoud Mohamed	カイロ大学文学部日本語・日本文学科 助講師	エジプト	東京大学	2010.10.01 ~ 2011.11.30	日本とエジプトにおけるフェミニズム
43	SSEBAGALA, Ralph	ケープタウン大学 博士課程	ウガンダ	早稲田大学大学院公共経営研究科	2011.05.10 ~ 2012.04.09	日本における消費者破産保護と日本の家計における借金・債務不履行の決定要素の背後にある要因

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ(学者・研究者 短期) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 16,888,100 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	NORDEBORG, Martin	ヨーテボリ大学 准教授	スウェーデン	関西大学	2011.10.01 ~ 2011.11.27	日本の若者間の男性らしさの構造
2	HAUPTMANN, Mark	エアフルト大学 講師	ドイツ	—	2011.11.15 ~ 2012.01.14	1945年以降の日米政策の歴史的变化
3	SCHULZ, Evelyn	ミュンヘン大学日本センター 教授	ドイツ		2011.03.01 ~ 2011.04.27	現代日本における都市論—スローシティとコンパクトシティの発想を中心に
4	SPIELMANN, Yvonne Ingeborg	西スコットランド大学 研究教授	ドイツ	—	2011.10.01 ~ 2011.11.28	デジタルな対話：近年の日本のメディア芸術における文化、美学とテクノロジー相互作用
5	JALAGIN, Seija	オウル大学 講師	フィンランド	慶応義塾大学	2011.06.23 ~ 2011.08.24	翻訳的架け橋：第二次世界大戦後日本における異文化能力と外来宗教組織の再文化化
6	OSADCHA, Iuliia	ウクライナ国立科学アカデミー/タラス・シェフチェンコ文学研究所 研究者	ウクライナ	—	2011.06.06 ~ 2011.08.01	近代日本文芸批評における坪内逍遙の小説論
7	VISOCNIK, Natasa	リュブリャナ大学 助手	スロベニア	京都大学	2012.01.10 ~ 2012.02.20	日本とスロベニアにおけるマイノリティーのアイデンティティー表現方法の研究と比較。
8	MAKSIMOVIC, Aleksandar	中央・東ヨーロッパに関する地域環境センター プロジェクトオフィサー	セルビア	京都大学	2011.06.07 ~ 2011.07.16	日本の経験から持続可能的発展の教訓を学ぶ
9	HLASNY, Vladimir	国際経済研究センター/梨花女子大 准教授	チェコ	政策研究大学院	2011.12.24 ~ 2012.01.30	労働市場における疑念：企業の実践、北東アジアの労働法
10	PETRANYI, Zsolt	ミュンヘン美術館 館長	ハンガリー	—	2011.07.11 ~ 2011.08.10	日本の現代美術と建築をめぐる短期研究旅行
11	TAMAS, Csaba Gergely	パーズマーニ・ペーテル大学 非常勤講師	ハンガリー	国際日本文化研究センター	2011.07.09 ~ 2011.08.13	「日本の議会制度」歴史と現代の課題
12	PETKOVA, Gergana Rumenova	ソフィア大学 准教授	ブルガリア	—	2011.07.11 ~ 2011.09.08	埋め込まれた文化的実態を掘り起こす：日本のおとぎ話
13	KOSTOV, Zoran	聖キリル・メトディオス州立大学 准教授	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	—	2011.07.06 ~ 2011.08.25	日本のe-inclusion政策、メカニズムと実践、及び第三セクターの役割
14	BITINAS, Audrius	ミコラスロメリス大学 准教授	リトアニア	神奈川大学	2012.01.17 ~ 2012.02.27	日本におけるソーシャルセキュリティモデル：問題と改革

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
15	DYAKONOVA, Elena Mikhailovna	ロシア国立人文大学 教授	ロシア	—	2011.10.01 ~ 2011.11.28	明治期における俳句の理論
16	GNATOVSKAYA, Yulia Sergeevna	ハバロフスク国立経済法律アカデミー 上級講師	ロシア		2011.06.27 ~ 2011.08.23	日本の社会福祉発展の要因とその日本の経験をロシア社会政策へ適用の可能性
17	ZOHAR, Ayelet	ハイファ大学 講師	イスラエル	北海道大学スラブ研究センター	2011.06.22 ~ 2011.08.19	信伊奈亮正(1868~1933) : 暗黒と夜間の撮影
18	ADIROLE, Emmanuell	ナサワラ州立大学 客員上級講師	ナイジェリア	—	2011.05.10 ~ 2011.07.05	日本のエネルギー安全保障と東アジアの国際関係

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 / (4) 知的リーダー交流(招へい) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育等の各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 40,871,743 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ (事業内容)
1	MAHMUDLU, Jeyhun	カフカス大学ヨーロッパ研究学科 学科長	アゼルバイジャン	北海道大学スラブ 研究センター	2011.09.01 ~ 2011.10.01	エネルギー分野でのアゼルバイジャンと日本の協力と将来の展望
2	ARIPDJANOV, Otabek	ウズベキスタン国立歴史博物館 副館長	ウズベキスタン	独立行政法人 奈良 文化財研究所	2011.10.15 ~ 2011.12.13	骨角器の保存修復に関する基礎的技術の研究
3	NOGOIBAeva, Elmira	シンクタンク ポ リスアジア 所長	キルギス	北海道大学スラブ 研究センター	2012.01.15 ~ 2012.03.14	キルギスと日本の政治エリートの比較分析
4	BOZINA BEROS, Marta	プーラ大学 助手	クロアチア	早稲田大学大学院 ファイナンス研究 科	2012.03.01 ~ 2012.03.31	日本の金融規制と監督制度：クロアチアは学べるのか？
5	TELAKU, MIMOZA	FISNIKETユースセ ンター コンサル タント	コソボ	ピースボート	2011.01.04 ~ 2012.02.19	市民社会・平和教育と暴力紛争の予防
6	BLEHA, Branislav	コメニウス大学 准教授/学科長	スロバキア	岐阜大学 流域環 境研究センター	2011.09.01 ~ 2011.10.01	人口の高齢化：世界的現象のうちの局所的状況(日本とスロバキ アの比較)
7	LUBYOVA, Martina	スロバキア科学ア カデミー 研究者	スロバキア	富山大学	2011.07.20 ~ 2011.08.18	技術変革と知的経済における労働市場
8	POLACKOVA, Zuzana	スロバキア労働・ 社会福祉・家族省 局長	スロバキア	明治大学	2011.10.01 ~ 2011.11.15	社会開発における多様な利害関係のアプローチ
9	ACCETTO, Matej	リュブリアナ大学 准教授	スロベニア	早稲田大学	2011.06.28 ~ 2011.07.09	日本とEU法での裁判所の役割について比較分析
10	HVALC, Luka	ラジオ・スロベニ ア ジャーナリス ト	スロベニア	名古屋産業科学研 究所	2011.10.12 ~ 2011.11.15	世界における日本の技術的かつ科学的な社会現象について
11	KASL KOLLMANNOVA, Denisa	カレル大学 助教 授	チェコ	東京外国語大学	2011.07.19 ~ 2011.09.06	メディア、企業と社会：企業関連の情報、CSRをいかに伝達する か
12	CSEPPENTO, Istvan	ブタペスト大学 准教授	ハンガリー	京都大学大学院文 学研究科	2011.10.01 ~ 2011.10.31	近代初期の日本及びフランスのフィクションに関する比較研究
13	NEMES, Gyula	プラハ芸術アカデ ミー 博士課程	ハンガリー	日本大学大学院芸 術学研究科	2011.05.20 ~ 2011.07.18	日本の実験映画

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ（事業内容）
14	KANDILAROV, Evgeniy	ソフィア大学 非常勤准教授	ブルガリア	青山学院大学国際政治経済学科	2011.05.23 ~ 2011.06.30	日本の技術・産業発展：中東欧諸国のモデルとして
15	PARVANOV, Yonka	ソフィア大学 准教授	ブルガリア	龍谷大学文学部	2012.01.10 ~ 2012.02.10	学校評価制度のアプローチと全体像
16	GRABOWSKI, Marcin Andrzej	ワルシャワ経済学院 准教授	ポーランド	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科	2012.01.18 ~ 2012.03.14	地域協力の核としての日中協力と仏独協力
17	GAVRAN, Igor	海外貿易評議会プロジェクト・マネージャー	ボスニア・ヘルツェゴビナ	東京大学	2011.07.16 ~ 2011.09.16	日本のFTA・EPA政策：ボスニアへの課題
18	PISKER, Lidija	ユナイテッド・ワールド・カレッジ ボスニア・ヘルツェゴヴィナ ディベロップメント・ディレクター	ボスニア・ヘルツェゴビナ	埼玉医科大学	2011.06.30 ~ 2011.08.30	現職教師研修プログラム：日本とボスニアの比較
19	PUTNINA, Aivita	ラトビア大学人文学科人類学 主任	ラトビア	静岡大学人文学部	2012.01.10 ~ 2012.02.20	政治における女性：その軌跡、キャリアそして認知度の日本ラトビア比較
20	REINHOLDE, Iveta	ラトビア大学 助教授	ラトビア	昭和女子大学人間社会学部	2011.11.01 ~ 2011.12.05	日本の行政：その課題と展望
21	AELENEI, Ana-Maria	ドイツマーシャル基金 プログラムアシスタント	ルーマニア	静岡県立大学	2011.09.01 ~ 2011.10.01	弓と矢：黒海地域における日本の影響力
22	PANZARU, Ioan	ブカレスト大学 学長	ルーマニア	—	2011.04.06 ~ 2011.05.06	日本の文化・教育機関の訪問、関係者との意見交換
23	KLEVALINA, Natalya Andreyevna	ソルジェニーツィン記念亡命ロシア研究所 編集者	ロシア	青山学院大学国際政治経済学科	2011.10.19 ~ 2011.12.16	日本におけるロシア人移民：統合と適応、相互文化交流に関して
24	ZAHID, Hidayatullah	大統領府官房長組織 大統領府官房長顧問	アフガニスタン	(財)日本エネルギー経済研究所 中東研究センター	2011.04.06 ~ 2011.05.06	日本の議会と行政システムの研究
25	SAMINI, Naghmeh	テヘラン大学 講師	イラン	筑波大学	2011.07.20 ~ 2011.09.17	日本の現代ドラマにおけるシェイクスピア作品の影響
26	ZAKERI, Ghodratollah	テヘラン大学世界研究学部 助手	イラン	明治学院大学	2011.07.10 ~ 2011.09.07	現代日本映画についての予備調査
27	AL JAHDHAMI, Abdulaziz Ahmed	オマーンオブザーバー紙 副編集者	オマーン	香川大学	2011.05.20 ~ 2011.07.18	ロボットと日本の文化

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ（事業内容）
28	EID, Fatima Hasan Ahmed	バーレーン教育省 科学研究局高等教育 評議会 研究開発 部長	バーレーン	早稲田大学教育総合 科学学術院	2011.06.20 ~ 2011.08.18	日本の研究開発と教育改革：教員教育プログラムとアクションリ サーチの包括的研究
29	HARDAN, Tareq	アルクッズ大学 学術指導員	パレスチナ	神戸大学大学院国際 公共政策研究科	2011.06.02 ~ 2011.07.31	ボランティアに対する社会的・文化的動機：日本とパレスチナの 比較
30	CHOUIKHA, Mustapha	LEAD チュニジア 支部長	チュニジア	バリュー・フロン ティア	2011.06.25 ~ 2011.08.20	日本のエコ・ツーリズム：チュニジアへの教訓
31	TESFAYE, Ermias	エチオピア公務員 大学 講師	エチオピア	放送大学ICT活用・ 遠隔教育センター	2011.06.01 ~ 2011.07.10	日本の遠隔教育導入
32	NGOM, Mbagnick	ワルファジリ新聞 社 編集長補	セネガル	明治学院大学国際 学部	2011.05.20 ~ 2011.07.18	主要な社会問題に対する日本の連帯
33	LOADA, Augustin Marie-Gervais	ワガドゥグ大学 教授	ブルキナファソ	法政大学文学部	2012.02.01 ~ 2012.03.15	日本及びアフリカにおける民主的発展状態：比較的アプローチ
34	中東・北アフリカ グループ招へい		エジプト ヨルダン チュニジア	—	2011.10.07 ~ 2012.03.31	エジプトから6名、ヨルダンから6名、チュニジアから4名の若手 リーダーを招へいし、リーダーシップのあり方、社会秩序のなり たちについて視察・意見交換を実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議(主催) [欧州・中東・アフリカ]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 33,226,685 円

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	インターカルチュラル・シティ	韓国 イタリア 英国 スウェーデン フランス ポルトガル	欧州評議会	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本・韓国・欧州多文化共生都市国際シンポジウム—語り、協働し、作りあげる：明日のコミュニティー 及び関連事業を実施
2	EUNIC共催「日欧絆プロジェクト」	アイルランド イタリア 英国 スペイン ドイツ ポルトガル ブルガリア	EUNIC ジャパン	2011.07.03	欧州の域内多様性とコミュニティの連帯、震災後の日本のコミュニティ再建を取り上げ、「絆」をテーマにしたシンポジウム兼演奏会
3	震災映像上映及び講演会講師派遣	イタリア スペイン		2012.02.01 ~ 2012.03.31	東日本大震災後、被災地に寄せられた世界からの支援に対する感謝を示すドキュメンタリー映像をマドリード及びローマで開催。併せて、講演会を実施
4	ブリティッシュ・カウンシルとの社会起業に関する共同事業	英国	ブリティッシュ・カウンシル	2011.04.01 ~ 2012.03.31	国際シンポジウム「社会イノベーションのためのエコシステムをデザインする—アジアからのメッセージ」の開催
5	ブリティッシュ・カウンシルとのカルチュラル・リーダーシップに関する共同事業	英国	ブリティッシュ・カウンシル	2012.02.01 ~ 2012.03.31	日英の関係者が集い、文化セクターにおけるリーダーについて考えるシンポジウム

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
6	震災とメディアの役割	ドイツ	ベルリン日独センター	2011.07.07	2011年3月11日に発生した東日本大震災を受け、新聞、テレビ、ラジオなどの既存メディアに加え、ツイッターやフェイスブックなどのインターネットメディアも含めた各種メディアが災害時に果たしている役割を検証。更に、日本と海外での報道の差異を社会論・比較文化論の視点から議論し、日欧における災害とメディアの現状と課題を日欧の実務家、専門家が考察
7	日独交流150周年北斎展シンポジウム	ドイツ	ベルリン日独センター	2011.10.01 ～ 2011.12.31	日独交流150周年記念「北斎展」に合わせたシンポジウムを開催。北斎という希代の芸術家を生み出した江戸後期の文化と社会背景、出版文化等を、同時代のヨーロッパ文化・芸術とも比較しながら検証。浮世絵を広い観点から考察
8	ソーシャルファーム	西欧地域区分困難		2011.04.01 ～ 2012.03.31	2011年1月に実施したシンポジウム「ソーシャル・ファームを中心とした日本と欧州の連携」の報告書作成
9	ロシア若手日本研究者短期グループ招へい	ロシア		2012.03.01 ～ 2012.03.10	ロシア国内の20～30代の日本研究者を招へいし、日本でキャリアを積むロシア人研究者、日本人の若手研究者との研究交流を目的に訪日研修を実施。日本研究者を志すロシアの若手を支援
10	日欧知的交流会議(アルザス)	欧州地域区分困難	アルザス・欧州日本学研究所(CEEJA)	2011.04.01 ～ 2012.03.31	欧州域内若手日本研究者による合宿形式のセミナー。アルザス欧州日本学研究所(CEEJA)との共催。欧州内の若手日本研究者のネットワーク構築と、今年度のテーマ「大正／戦前」における汎領域的研究の深化を目指す事業

欧州・中東・アフリカ交流事業費

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議(助成) [欧州・中東・アフリカ]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 75,823,536 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	連続講演会「アショカ・フェロー・スピーカーズ・シリーズ」	インドネシア 米国	アショカ・ジャパン	2011.11.01 ~ 2012.03.31	世界各地で活躍する社会起業家「アショカ・フェロー」をスピーカーに迎えたセミナーシリーズ
2	国際シンポジウム「メディアアートによる文化産業創造と市民参画への挑戦」	オーストラリア 英国 ドイツ フランス	創造都市さっぽろ市民会議	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「メディアアートと創造都市」をテーマに、メディアアートを活用した新たな都市文化・経済の創造、ソーシャルメディアを活用した市民の創造的活動の活性化等を取り上げた国際シンポジウム
3	国際シンポジウム「アートシアター：文化を仲介する映画のための場」	英国	ロンドン大学パークベックカレッジ	2011.04.01 ~ 2011.10.08	文化を生み、普及させるプラットフォームとしての「アートシアター」の役割や可能性について議論する国際シンポジウム
4	国際会議「日本文学と世界文学（フォローアップ会議）」	英国	ウォーリック大学 成城大学	2011.09.17 ~ 2011.09.18	「日本文学と世界文学」をテーマに、2009年にウォーリック大学で開催された国際会議のフォローアップとして日本で開催される国際会議
5	シンポジウム「考古学と文化：3.11が文化遺産に与えた影響」	英国	セインズベリー日本芸術文化研究所	2011.10.01 ~ 2011.12.31	東日本大震災と津波が文化遺産に与えた影響についてのシンポジウム
6	シンポジウム「フクシマ以降の人文科学－危機的/批判的結節点をもたらすポスト核の時代におけるカルチュラル・スタディーズと哲学の対話」	英国	ロンドン大学メディア・カルチュラル・スタディーズ学科	2011.10.27 ~ 2011.12.31	東日本大震災によって起きた原発事故の危機に直面した今、存続の危機に直面した社会における人文科学や知識人の役割について、講演・討論を行うシンポジウム
7	シンポジウム「窮境への対処：津波と原発の被害を受けた東北における民俗学研究」	米国 英国 オーストリア	明治学院大学	2011.11.01 ~ 2012.03.31	東日本大震災の被災地で実地調査を行った各国の民俗学研究者が発表を行う会議。宗教、マスコミ、女性、若者と多岐に渡るテーマにて実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
8	シンポジウム 「4/12から3/11、 タイタニックから 東日本大震災：災 害の記録」	英国	グラスゴー大学	2011. 11. 22 ～ 2012. 03. 31	1912年タイタニック号事故と2011年東日本大震災を取り上げ、カメラやビデオ等のデジタル技術の発達を経て、災害の記録がどう変化したかを比較検討するシンポジウム
9	国際会議「3. 11： 一年を機に」	英国	オックスフォード 大学日産日本問題 研究所	2012. 01. 01 ～ 2012. 03. 31	東日本大震災から1年を機に、日英の専門家が経済・政治・歴史・社会学等の各方面から、震災が日本に与えた影響、震災の教訓などを討論するシンポジウム
10	講演会「3月11日以 降の日本の復興に 向けて」	英国 ベルギー	JIA宮城地域震災復 興委員会	2012. 03. 15 ～ 2012. 09. 30	「3月11日以降の日本の復興に向けて」をテーマに、建築家と被災地のまちづくりを実施する専門家がベルギー、英国にて講演会及びディスカッションを実施
11	国際シンポジウム 「社会イノベー ションのためのエ コシステムをデザ インするーアジア からのメッセー ジ」	英国	ブリティッシュ・ カウンシル	2012. 03. 26 ～ 2012. 03. 31	社会起業分野で次世代のリーダーに成長することが見込まれる中間支援組織の若手2名を英国グラスゴーで開催される「Social Enterprise Exchange」「Argyll Visit Programme」に派遣し、英国の社会起業関係者とのネットワーク構築、日本の社会起業分野の取り組みの紹介、英国での視察内容の発信・報告を実施
12	第11回キネマ倶楽 部会議「日本の映 画館空間と映像環 境」	オーストリア	喫日学術交流会	2011. 07. 01 ～ 2011. 12. 31	「日本の映画館空間」や「上映環境」をテーマに取り上げた国際会議
13	ザルツブルググ ローバルセミナー 「アジアにおける 経済成長と社会保 障」	オーストリア	ザルツブルグ・グ ローバル・セミナー	2011. 11. 06 ～ 2011. 11. 11	「アジアにおける経済成長と社会保障」をテーマにしたセッションに、日本からファカルティ(講師)1名・フェロー(参加者)を派遣
14	国際シンポジウム 「紛争地帯におけ る<食>」	オランダ	ライデン大学	2011. 08. 19 ～ 2011. 12. 31	紛争地帯における食料問題をテーマに、「紛争地帯における兵士の食料」「北朝鮮と韓国の現代における食の比較」「1945年以降の東アジアにおける食」等について取り上げた国際シンポジウム
15	国際シンポジウム 「東京住宅建築か ら学ぶ」	スイス	「東京住宅建築か ら学ぶ」シンポジ ウム実行委員会	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	スイスと日本の都市や空間の文化的認識の差異、住宅と都市の関係性、タイポロジー、住宅の構造と素材等を多角的に扱った国際シンポジウム
16	国際学会「スカン ジナビアにおける 現代日本研究」	スウェーデン	ヨーテボリ大学	2011. 12. 15 ～ 2012. 03. 23	北欧諸国の日本研究者による学会をスウェーデンのヨーテボリ大学にて実施
17	国際会議「東西の 架け橋としての アート創造」	スペイン	コンプルテンセ大 学	2011. 05. 01 ～ 2012. 02. 29	特に若手研究者の育成を目的として、英国より日本美術史の専門家を招へいし、2011年10月にスペインのコンプルテンセ大学にて2日間の会議を実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
18	国際シンポジウム「危機管理におけるICTの社会的利用：2011年3月11日、日本」	スペイン	Casa Asia	2011.11.01 ～ 2012.04.30	「東日本大震災における危機管理と情報伝達について」をテーマに、2012年3月に学者、ジャーナリスト等が集い、国際シンポジウムを実施
19	静岡・ブレーメン国際交流アートプロジェクト「でくわ（出会）す」記念シンポジウム	ドイツ	静岡ブレーメン・アート・プロジェクト2011実行委員会	2011.04.01 ～ 2011.04.05	「日本とドイツ」「静岡とブレーメン」のアートや美術館の状況、街中でのアートプロジェクト、アートの役割、アート国際交流のあり方等を取り上げた国際シンポジウム
20	連続講演会「日本語教育と文化の翻訳：日独学術対話の150年－変転する世界における伝統的な研究社会」	ドイツ	ケルン大学	2011.04.01 ～ 2011.09.30	日・独・米の研究者が学際的な観点から、言語と文化、翻訳をテーマに取り組む国際会議
21	「倫理」に関する会議	ドイツ	現代日本社会科学学会	2011.07.01 ～ 2011.12.31	金融・医学・生命などにわたる「倫理」をキーワードにした、現代日本社会科学学会の年次総会・会議
22	日独修好150周年記念国際シンポジウム「信頼のゆくえ：発展した社会にあって信頼はいかにして構築されるか」	ドイツ	日独修好150周年記念国際シンポジウム組織委員会	2011.08.01 ～ 2011.12.31	日独修好150周年を記念し、日独の社会学研究者が一堂に会して議論を深め、これまでの研究成果を踏まえて、今後の共同研究の方向を探り、具体化するための国際シンポジウム
23	日独シンポジウム「グローバリゼーションの社会的インパクトの日独比較」	ドイツ	デュッセルドルフ・ハインリッヒ・ハイネ大学	2011.08.10 ～ 2011.10.30	金融危機、少子高齢化、ヨーロッパ或いはアジアとの相互関係などを比較文化の観点から分析し、日独の国民の価値観や行動様式にどのような変化がみられるか、将来に対してどのような社会政策を打ち出すべきか議論するシンポジウム
24	国際会議「フクシマとチェルノブイリ：原子力災害における社会的、文化的側面」	ドイツ	ゲーテ大学フランクフルト	2011.10.01 ～ 2012.03.31	福島とチェルノブイリについて、文化社会的な側面から比較、考察。社会の反応・ナラティブの残し方・トラウマとどのように向き合ってゆくか、といったさまざまな論点について、各分野の専門家が討議
25	国際会議「知的障害者への教育に対して災害が与える影響：新しい出発とその方向性」	ドイツ	ミュンヘン大学	2011.11.01 ～ 2012.03.31	日本・ドイツ・スロバキアから参加者が集い、災害や政治的混乱における聴覚障害者支援について討議する会議

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
26	シンポジウム「長期的問題と短期的惨事：震災後の社会政治政策」	ドイツ	デュイスブルグ・エッセン大学	2011.12.15 ～ 2012.03.31	東日本大震災後の日本社会を、政治・経済・社会学等の観点から討議するシンポジウム
27	シンポジウム「舞踏における老いと身体：ポストモダン・ダンスから身体障害及び老いへ」	ドイツ	ベルリン自由大学	2012.03.15 ～ 2012.09.30	日米独の舞踏研究者・舞踏家(大野慶人)等が集う国際シンポジウム
28	【企画参画型】国際シンポジウム「Asahi-SWPシンポジウム(H24)」	ドイツ	科学政治財団(SWP)	2012.03.15 ～ 2012.10.30	現在世界で起きている国家間の「パワーシフト」(米国や欧州の凋落、中国の台頭など)を根底に扱い、G20の世界と日独の関係について扱うシンポジウム
29	国際会議派遣「児童のため、児童と共にある欧州の確立」	フランス	欧州評議会	2011.01.01 ～ 2011.12.01	子どもの権利を主要テーマとする欧州評議会主催の会議に、日本の研究者、実務家を派遣。会議は2011年11月にモナコで実施
30	国際会議「道の宗教性と聖地景観が作り出す想像力の比較研究」	フランス	フランス国立極東学院	2011.04.01 ～ 2012.03.31	巡礼あるいは参詣をテーマとした日欧の民衆の自然認識についての比較研究。日仏の研究者が集まり、2011年9月にフランスからスペインの著名な巡礼地を訪問、それを受けて国際会議を実施
31	国際会議「脱工業化は宿命かー日本と韓国における産業発展からの教訓」	フランス	フランス国立社会科学高等研究院(EHESS)日仏財団	2011.04.01 ～ 2014.03.31	日・韓・ヨーロッパ諸国がたどる「脱工業化」の道筋に関し、中国の台頭を念頭におきつつ、比較研究を行う国際会議をパリで実施
32	国際会議「グローバル時代における新たな文化の生成ー文化的多様性の理解と平和の構築」	フランス	日仏社会学会	2011.05.20 ～ 2012.03.20	グローバリゼーションに伴う人の移動、共同体から個人を中心とした社会への移行とともに、表象される文化が変わりつつあることをテーマとした会議。日仏及びブラジルの研究者が集まり、2011年11月にパリにて実施
33	国際会議「グローバル化における人権をめぐる日本・フランスの対話」	フランス	「グローバル化における人権をめぐる日本・フランスの対話」実行委員会	2011.06.01 ～ 2012.03.31	グローバル・ガバナンスの視点から、人権をめぐる現代的な課題について、日仏の研究者が会議を実施、報告書も作成
34	国際会議「寺社の御札研究」	フランス	フランス国立科学研究所	2012.03.01 ～ 2012.03.02	ギメ美術館にて2011年秋に、故ベルナアール・フランクが収集したお札の展覧会が実施される機会に際し、日欧関係者による国際会議を実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
35	国際シンポジウム「日本の歴史と日本における歴史：継続の力と変化（1853-2012）」	フランス	ツールーズ第2大学	2012.03.15 ~ 2012.09.30	日本の政治、経済、社会、そして「近代」について歴史学的な視点から再考する国際シンポジウムを開催
36	国際会議「途上国の法制度改革における英米法と大陸法の制度的優位比較」	ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学	2011.04.01 ~ 2012.03.31	発展途上国や開発途上国の法制度改革において、経済成長という目的のためには慣習法と制定法のいずれが制度的に優位かを検証。平成20年度に本プログラム助成を受けた会議のフォローアップ会議を2012年3月に実施
37	国際会議「発展する東アジア地域協力における日EU関係」	ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学	2011.05.10 ~ 2011.11.30	投資から犯罪への取組みまで、EUと日本間の共通のテーマに関し意見交換を実施。学者のみならず政治家も参加し、ポリシーペーパーも作成
38	国際会議「国際的安定維持の要素としての中央アジアにおける地域安全保障」	ウズベキスタン	政治研究センター	2011.08.01 ~ 2012.01.31	中央アジアの安全保障に焦点をあて、それが地球規模の国際関係に与えるインパクトについて議論する会議
39	国際会議「グローバル時代における国境の意味：ヨーロッパと日本」	セルビア	ベオグラード大学	2011.04.10 ~ 2012.03.31	日本とセルビアの研究者が、グローバル時代における国境の意味について国際会議を実施
40	二国間会議「世界の美学：第1回ポーランド日本会合、経験の共有」	ポーランド	ポーランド美学協会	2011.04.01 ~ 2011.12.31	日本とポーランドの美学専門家による、初めての会議
41	国際会議「新たな世界秩序の挑戦に対して：日本の展望」	ポーランド	ポーランド国際問題研究所	2011.04.01 ~ 2011.12.30	日本とポーランドの国際政治専門家による、アジア-欧州協力の枠組みにおける日本の役割に関するシンポジウム
42	シンポジウム「リトアニアのアジア研究における日本学：歴史的観点と現在の状況」	リトアニア	ビタウタス・マグヌス大学	2011.05.01 ~ 2012.03.31	バルト諸国におけるアジア研究の中の日本学の位置づけを探るシンポジウム

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
43	国際シンポジウム「日本：前近代、近現代、現代、東から西への回帰－日本で、日本について、日本から学ぶ」	ルーマニア	「ディミトリエ・カンテミル」キリスト教大学	2011.04.01 ～ 2012.03.31	ルーマニアのブカレストで、日本の文学・神話・伝統と現代等をテーマに、日本及び欧州の研究者が集うシンポジウムを開催
44	国際会議「新しい国際秩序と太平洋地域 ウラジオストク・フォーラム」	ロシア	特定非営利活動法人ユーラシア21研究所	2011.04.01 ～ 2011.11.30	日本とロシア極東の各界代表者による国際会議
45	第2回「日露学術報道専門家会議」	ロシア	国際文化研究会	2011.04.01 ～ 2012.03.20	日ロ関係と台頭する中国に焦点を当て、政治学者とジャーナリストが参加する会議
46	日イスラエル修好60周年記念国際シンポジウム	イスラエル	エルサレム・ヘブライ大学	2012.03.15 ～ 2013.02.28	日本とイスラエル：地域的・相互関係的、及び文化的観点より見た両国－日イスラエル修好60周年記念国際シンポジウム
47	ワークショップ「アフリカ×日本×世界 II－暴力を平和に変える空間」	ザンビア モザンビーク	金沢工業大学	2011.05.01 ～ 2012.01.30	平和の空間と暴力の空間に関する理解を含め、暴力を平和化する空間の創造可能性を、学术界・芸術界・建築界・職人集団及び文化人との交流を通じ探求。ザンビアとモザンビークにおけるワークショップの実施後、日本にて成果発表を実施
48	国際会議「グローバルの文脈における中東と東アジア」	中東地域区分困難	日本中東学会	2011.04.01 ～ 2012.02.01	東アジア諸国の中東研究者(特に中国と韓国の中東学会会長及び事務局長)を日本の京都大学に招へいし、東アジアにおける中東イスラーム研究の現状と課題に関する問題提起及び意見交換を実施
49	国際シンポジウム「ビジネス・アーカイブ」	全世界区分困難	財団法人渋沢栄一記念財団	2011.04.01 ～ 2012.03.31	企業資料「ビジネス・アーカイブ」のもつ公共的意義や経営的価値、またその活用のある方についての会議を実施。欧州を中心に専門家を招へいし、2011年5月に公開シンポジウムを実施
50	国際招聘プログラム「FUTURE SKETCH 東京会議」	全世界区分困難	財団法人東京都歴史文化財団	2011.08.01 ～ 2011.12.31	海外から関係者を招へいし、東日本大震災後の現在の東京の文化状況を視察するとともに、文化・芸術の持つ意味と力、そして困難な中から新しい社会のありかたと未来について思索する国際シンポジウムを開催

欧州・中東・アフリカ交流事業費

3. 催し等事業費 / (3) 人材育成グラント [欧州・中東・アフリカ]

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 9,303,230 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	キンダーフィルム特集&ワークショップ 子供のための映画祭	イタリア	大阪ヨーロッパ映像文化振興会	2011.08.01 ~ 2011.12.31	大阪ヨーロッパ映画祭の一環として、イタリアからクリエイターを招へいし、キッズイベントを実施
2	UK-Japan Young Scientist Workshop at Cambridge 2011	英国	公益社団法人日本化学会	2011.07.01 ~ 2011.11.30	ケンブリッジ大学で開催されるサイエンスワークショップに、東日本大震災被災地域代表の高校生が参加
3	日英の若者参画政策に関する意見交換	英国	特定非営利活動法人Rights(ライツ)	2011.08.01 ~ 2011.12.31	英国で若者参画政策・シティズンシップ教育・ユースワークについて先進的実践を重ねている機関を訪問し、意見交換を実施
4	第二回日蘭学生会議	オランダ	日蘭学生会議	2011.08.01 ~ 2012.12.31	「生きるために働く?働くために生きる?」をテーマにオランダのグローニンゲン大学で開催した学生会議
5	スポーツ大会実施を通じたホームレス自立支援事業の担い手育成のための交流プログラム	フランス	NPO法人ビッグイシュー基金	2011.08.19 ~ 2011.08.29	スポーツ大会の実施を通じたホームレス自立支援事業の今後の担い手を育成するため、世界64カ国のホームレスと支援関係者が一堂に集まるホームレスによるストリートサッカーの世界大会「ホームレスワールドカップ・パリ大会」に日本側関係者を派遣
6	グローバル・ネクストリーダーズフォーラム2011東京国際大会	ブルガリア サウジアラビア トルコ チュニジア モロッコ ケニア タンザニア 南アフリカ	グローバル・ネクストリーダーズフォーラム	2011.07.04 ~ 2012.01.31	「国家間関係も一人ひとりの人間関係から」と考え、各国において将来を担うであろう学生と日本の学生間の人間関係を構築することを目的に開催するフォーラム。「資源」をテーマに、天然資源にとどまらず、人材・金融・観光等、さまざまな角度から資源の重要性を考え、今後の取り組み方を共に考察
7	第9回日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議	イスラエル パレスチナ	日本イスラエルパレスチナ学生会議	2011.08.04 ~ 2011.08.23	長引く紛争により現地では交流の機会を持つことが難しいイスラエル・パレスチナ学生を日本に招致し、合宿形式による会議を開催

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
8	第15回日本・トルコ学生会議	トルコ	日本トルコ学生会議	2011.09.20 ～ 2011.09.25	トルコ人学生を日本に招致し、日本人学生と共に政治、宗教、教育などのテーマ別分科会にてディスカッションを行い、更に全体会議を実施
9	日本ルワンダ学生会議第7回本会議	ルワンダ	日本ルワンダ学生会議	2011.12.23 ～ 2012.01.09	ルワンダの大学生を日本へ招致し、東京・大阪・長崎でフィールドワーク・学生会議・ダンスイベント・小学校訪問等を実施

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日米センター運営管理費

1. ニューヨーク日米センター事業費

- (1) ニューヨーク日米センター企画開発事業（主催）
- (2) 日米協会支援プログラム（助成事業）
- (3) 知的交流小規模助成
- (4) 教育アウトリーチ支援小規模助成
- (5) 地域・草の根交流小規模助成

日米センター運営管理費

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (1) ニューヨーク日米センター企画開発事業 (主催)

日米間の知的交流・草の根交流を促進し、米国内での関係団体とのネットワークを形成し、新たなニーズに即した事業を積極的に企画・開発していくために、ニューヨーク日米センターのイニシアティブにより各種事業を実施。

合計額 5,125,251 円

	事業名	協力団体名	期間	事業内容
1	ジャパン・ファンダーズ会合	米国法人 日本国際交流センター(JCIE-USA)、アジア・ソサエティ、国際教育研究所 (IIE)	2011.07.19 ~ 2011.07.23	東日本大震災支援のために支援基金を立ち上げた米国の日本関連団体、日本を助成対象としている財団、震災支援に関心を持つ日米両国のNPO/NGO関係者を招へいし、情報共有とネットワーキング、今後の支援のあり方やニーズとのマッチング方法等を討議する会議をニューヨークで実施

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (2) 日米協会支援プログラム (助成事業)

日米における日米協会のネットワーク化とキャパシティ・ビルディングを図り、日米間の地域・草の根交流の担い手としての日米協会を育成するために支援を実施。

合計額 8,342,586 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	事業開発ディレクター確保を通じたキャパシティ・ビルディング (3年計画事業の3年目)	ジョージア日米協会	2012.07.01 ~ 2013.06.30	事業開発ディレクターを新規に採用することで、キャパシティ・ビルディングの強化を図るプロジェクト。同協会が位置するアトランタ市以外のジョージア州広域における会員数拡大のための活動 (ニーズ調査等)、活動資金獲得のためのキャンペーン実施、会員・一般向けプログラムの開発を実施
2	継続性実現のための3年計画	コロラド日米協会	2012.01.01 ~ 2012.12.31	コロラド日米協会が所在するデンバー以外へ活動範囲を拡大する事業。協会の会員拡大や文化・日本語プログラムの拡充を実施。3カ年事業の1年目
3	フロリダ日本サミット	北西フロリダ日米協会	2012.01.01 ~ 2012.12.31	フロリダ州内の日本関連団体の連携促進のための関係者のネットワーク会議を年1回実施する3カ年計画事業の1年目
4	メンバーシップ形成コミュニティづくり	ボストン日米協会	2012.01.01 ~ 2012.12.31	日米協会の会員拡大のための非常勤スタッフを雇用する他、さくら祭りの新規立ち上げや、米国北東部地方の日本関連イベントカレンダーの作成と共有等を実施

日米センター運営管理費

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (3) 知的交流小規模助成

米国内の新たなニーズに対応した先駆的事业や、米国内の大学・シンクタンク・政府・財団関係のアジェンダ・セッティングやネットワーク会合などに機動的に対応し、通常の助成事業の企画開発へとつなげていくために小規模の助成を実施。

合計額 6,124,226 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	ジャパン・ライジング・カンファレンス	アジア・ソサエティ・南カリフォルニア	2011.10.01 ~ 2011.11.31	東日本大震災後、原発問題など日本のマイナス面が報道されがちであるため、特に日本の「強み」や「ポジティブな側面」の紹介を目的としてカンファレンスを実施。科学技術、食文化、ファッション、映画等の多様な切り口から日本の「今」を紹介、約300名の聴衆が参加
2	東日本大震災前後の日米関係	東西センター	2011.10.01 ~ 2011.11.31	東日本大震災前後での日米関係の変化を考察するため、久保文明（東京大学教授）を招へいし、ハワイ大学や東西センターの研究員・学生を対象としたラウンド・テーブル及び民間関係者も含めた公開の催しを2日間にわたり実施
3	南アジア・中央アジアにおける日本と米国：中国台頭の時代における機会と諸課題	ジョンズ・ホプキンス大学ライシャワーセンター東アジア研究所	2011.12.01 ~ 2012.05.31	従来あまり研究されてこなかった、南アジア及び中央アジアにおける日米協力の可能性、日米の関与が地域の安定にもたらす意味等について、中国の同地域での活動にも留意しつつ検証。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション
4	日本・アジア太平洋・さらにその広域における情報ガバナンスの政治学	ミネソタ州立大学	2011.12.01 ~ 2012.05.31	情報・コミュニケーション技術の発達が社会や各国政府に与えるインパクトと、そのガバナンスのあり方についての諸課題を様々な角度から検証。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション
5	フクシマ後のアジア各国の核エネルギー政策	ヴァンダービルド大学	2011.12.01 ~ 2012.05.31	福島原発事故が、アジア、特に今後経済発展との関係で動向が注目される中国、韓国、インド等の国々の長期的な核エネルギー政策に与えた影響を検証。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション
6	民主党政権2年間の理論面と実践面における評価	カリフォルニア大学サンディエゴ校	2011.12.01 ~ 2012.05.31	民主党が政権の座について以降、その支持母体や所属政治家の特徴、候補者選出方法といった様々な角度から同政党を検証した学術的研究が意外に少ないことから、同政党の設立時から振り返り、その特徴を分析。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション
7	気候変動、有毒物質の流出、エコロジー都市：環境危機に対する日米の対応ぶり	北アリゾナ大学	2011.12.01 ~ 2012.05.31	福島原発事故によって気候変動やエネルギー不足等の危機に対する取り組みが不十分であったことが露呈したのを機に、国境を越えて影響力を及ぼすこれらの問題について特に日本と米国における取り組みを軸に、検証。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション
8	革新か現状維持か：震災後1年の日本の政治経済	コロンビア大学	2011.12.01 ~ 2012.05.31	日本の未来については、金融危機や震災をきっかけに成長すると見る楽観論と、構造的、政治的、イデオロギー的行き詰まりから悲観する声とに二分されるが、この差が生まれる原因について様々な分野の専門家を集めて検証。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
9	気候変動に対するアジアの対応：各国の議論の比較	ミネソタ大学	2011.12.01 ～ 2012.05.31	日・韓・中・台湾・インドについて、各国・地域の新聞が気候変動問題をどのように扱っているかを比較分析することで、各国・地域の温室効果ガス緩和政策の成否に影響を与えると考えられる文化的・政治社会的要素を検証。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション
10	変化か死か：移民、外国人と、日本の政治経済における人的資源開発と国際関係の未来	デュポール大学	2012.01.01 ～ 2012.04.30	高齢化社会、低出生率など日本が直面する様々な課題に対処する方法の一つとして、人的資源開発のための政策転換の必要性について議論。外国人労働者の日本社会・労働市場での位置づけ、それら人材の活用が復興に取り組む日本にとって新たなオプションとなりうるか、といった観点から議論。2012年3月にトロントで開催されたアジア研究学会で実施されたセッション

日米センター運営管理費

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (4) 教育アウトリーチ支援小規模助成

米国内で開催される日本理解に資する教育アウトリーチ事業（日本講座や教育向けセミナー等）に対し、小規模の助成を実施。

合計額 7,636,257 円

事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1 桜祭り	ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校	2011.05.01 ~ 2011.05.31	ニューヨークの都心で行われるフェスティバルとは別に、地域で身近に気軽に参加できる日本関連祭りとして開催。ニューヨーク州ロングアイランド地域のコミュニティと日系アメリカ人を結びつけ、日本文化や芸術への理解を深めることを目指す
2 共に歌う：2011年セントラルパークのジャパン・デイ	ジャパン・デイ	2011.04.01 ~ 2011.05.31	ニューヨークのハーレム地区の青少年が日本のプロの4人組コーラスと一緒に英語と日本語で歌を練習し、共にステージで歌う経験を通して、日本文化のみならずお互いの文化的背景を学び、相互理解を深める事業
3 芸術を通じた日本文化	国際子供美術財団	2011.06.01 ~ 2011.06.30	ワシントンDC公立学校の8歳から16歳までの生徒とその家族に、日本の芸術や文化の歴史を紹介する事業。日本をテーマにした参加型、体験型の一般公開ワークショップを開催
4 七夕：夏の星のお祭り	ボストン子供博物館	2011.08.01 ~ 2011.08.31	来館する子供や家族を対象に、8月に行われる仙台の七夕祭りに合わせて七夕特集の映像を放映するほか、仙台の伝統的な飾りの作成、伝統的な日本の遊びや夏祭りの慣習、音楽や踊り等を紹介するとともに、東日本大震災の被災地や状況について理解を深める事業
5 アメリカ議会図書館桜寄贈関連教育企画	米日カウンスル	2012.03.01 ~ 2012.08.31	アメリカ議会図書館における「東京からワシントンDCへの桜寄贈（1912）」、「日本人から見た桜の美しさとその象徴」、「アメリカ人から見た桜」の三部構成の展示に合わせ、特別ガイドツアーや学生向けの日本語や文化に関する教育プログラムを提供
6 ダンスで日本文化を学ぶ無料教育プログラム	一戸小枝子ダンスカンパニー	2011.08.01 ~ 2011.09.30	子供を対象とした日本の伝統文化に関するワークショップ。着物や扇子を用いたデモンストレーションや日本の子供の遊びや踊りを実際に体験しながら日本の文化に触れる機会を提供
7 被爆者の物語	ユース・アーツ・ニューヨーク	2011.12.03 ~ 2012.05.13	日本等から原爆被爆者4名を招へいし、ニューヨークの公立高校において、軍縮や平和教育をテーマにした授業を実施
8 グローバル教室：日本へのパスポート	ワン・ツー・ワールド	2012.02.01 ~ 2012.12.31	ニューヨークの恵まれない境遇の青少年に、日本や日本文化に接する機会を提供することで、日本を身近に感じ、世界や国際関係に心を向ける契機とする事業。日本からのフルブライト研究者や留学生を教室に招へいし、交流するワークショップを開催
9 『この空の花ー長岡花火物語』（第18回ホノルル・フェスティバル）	ホノルル・フェスティバル財団	2012.03.01 ~ 2012.03.31	新潟県長岡市がホノルルの姉妹都市となることから、第18回ホノルルフェスティバルにて、長岡花火大会と映画『この空の花ー長岡花火物語』を紹介するセミナーを開催
10 春祭り2012	ボストン日本人会	2012.03.29 ~ 2012.04.30	日本から米国への桜寄贈100周年を記念して、ボストンで初めての開催となる春祭りを実施。地域の家族や小中高校生に対し、在ボストン日本人アーティストによる日本の音楽や踊りを紹介

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
11	ジャパン・スーツケース	リビルディング・トゥギャザー オクラホマシティ日米協会	2011.05.01 ～ 2012.03.31	オクラホマシティ日米協会とNPOリビルディング・トゥギャザーが協力し、オクラホマ市及びその周辺地域の子供から大人まで広い対象層に対し、日本文化をテーマとするワークショップを実施
12	ジャパン・コネクション：文化シンポジウム2011	サウスカロライナ弓道連盟	2011.07.01 ～ 2011.09.30	茶道、着物、生け花、根付、建築、歴史等に関する専門家によるマルチメディア・シンポジウムをジョージア州アトランタ市及びサウスカロライナ州グリーンビル市で実施
13	『千羽鶴』	ルース・エッカード・ホール	2011.10.01 ～ 2012.02.29	地方の子供たちを対象に佐々木禎子の実話に基づく『千羽鶴』(A Thousand Cranes)の公演ツアーを実施。芝居を鑑賞後、生徒たちは出演者とともにディスカッションや質疑応答等、子供の年齢に応じたワークショップを実施
14	日本特集ウィーク	ランダー大学	2011.09.01 ～ 2011.09.30	「日本特集ウィーク」と題してサウスカロライナ州グリーンウッド市及び周辺地域を対象に、講演、映画上映、パネルディスカッション、展示、ワークショップなど、複数の切り口から日本文化を紹介するイベントを実施
15	日本文化公演：落語ワークショップ	フィンドレー大学	2011.10.01 ～ 2011.10.31	オハイオ州北西部の学校（幼稚園から大学まで）にて小規模な落語のワークショップを複数回開催。公演及び公演者との交流を直接体験することを通して日本文化理解を促進
16	日本に出会う明るい未来たち	東部ミシガン大学	2011.12.01 ～ 2012.03.31	日本文化と殆ど接点のないミシガン州イプシランティ市において、5週間の日本クラブを開催する事業。小学校3年生から高校生までの生徒達に、日本の食べ物や美術、文学、科学技術などを紹介
17	「つながる」イニシアティブ	バージニア大学	2011.12.01 ～ 2012.05.31	バージニア州の教員に日本語や日本の文学、伝統、時事問題への知識や理解を深めるための「つながるイニシアティブ」事業。幼稚園から高校までの教員向け研修やゲスト講師によるセミナー、バージニア州の学習指導基準に適合するカリキュラム作成等を実施
18	桜植樹記念教育プログラム	オハイオ州立大学	2012.02.01 ～ 2012.05.31	東京都から米国ワシントンDCへの桜贈呈100周年を記念して、日本政府からオハイオ州コロンブス市に20本の桜の木が贈呈される。コロンブス市政200周年記念事業の一環として、植樹先のフランクリン公園植物園とともに様々な教育プログラムや記念イベントを実施
19	桜寄贈友好100周年事業	広域シンシナティ日米協会	2012.03.01 ～ 2012.05.31	日本から米国への桜寄贈100周年を記念して、シンシナティの美術館、植物園、日系企業とも協力し、地元の市民、小中高校生・大学生を対象に、日本文化紹介事業を実施。日本の相撲、太鼓、着物、禪の庭園などを紹介
20	日本の凧プロジェクト：桜寄贈100周年記念イベント	インディアナ日米協会	2012.03.30 ～ 2012.04.30	日本から米国への桜寄贈100周年を記念して、仙台から伝統凧の職人を招へいし、インディアナポリスやシンシナティの周辺地域の小中高校生や大学生を対象に、凧の文化や歴史に関するレクチャーと、凧作りのワークショップを実施
21	アパラチア日本文化紹介週間	ラドフォード大学	2012.03.15 ～ 2012.04.14	ヴァージニア州ラドフォード（アパラチア地域）において、日本の文化を1週間集中的に紹介する事業。日本の古典及び現代映画を3本上映、日本の文化や経済、社会に関する学術レクチャーを3回実施。更に、地域の小学校を訪問し、紙芝居や人形劇を実施

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
22	合気道セミナー（成山哲郎）	トゥレーネ大学	2012. 02. 10 ～ 2012. 04. 30	NPO法人日本合気道協会から成山哲郎を招へいし、地域の小中高校生、大学生や一般熟練者を対象に、日本の精神文化に焦点を当てた合気道のレクチャーやワークショップをニューオーリンズで実施。併せて、日本の武道を研究する研究者との学術シンポジウムも開催

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (5) 地域・草の根交流小規模助成

米国内で開催される日米間の地域・草の根レベルでの交流事業に対し、小規模の助成を実施。

合計額 3,101,452 円

	事業名	助成対象団体名	期間	事業内容
1	グアム日米協会設立に向けて	ハワイ日米協会	2012. 03. 01 ～ 2013. 02. 28	グアム日米協会設立支援を目的として、グアムのビジネス、政府、教育・研究分野、米軍等の各リーダーや関係者のネットワーキングの機会となる二度の交流イベントを実施
2	将来のための資金調達：中西部の日米協会を対象として	ペンシルベニア日米協会	2012. 03. 01 ～ 2012. 03. 31	米国中西部地域の日米協会及びその理事会を対象とする資金調達のノウハウや戦略に関する研修セミナーを開催
3	1920年代の日米友好親善人形交流	タウプマン美術館	2012. 03. 01 ～ 2012. 06. 09	1927年に行われた日米間の人形を通じた友好親善交流に焦点を当て、日米の長い市民レベルの友好を再確認する事業。3体の人形や人形にまつわる小物の展示とともに、地域の図書館との共催で、漫画、折り紙、習字、太鼓などに関する教育プログラムやワークショップを実施
4	若手中堅職業人材アウトリーチプログラム	ケンタッキー日米協会	2012. 03. 15 ～ 2012. 12. 30	ここ数年深刻な会員数の減少に直面している日米協会が、会員拡大を目的に、若手・中堅の職業人材を対象にしたネットワークイベントや、キャリアに関するレクチャー、語学クラス、スポーツ交流イベントを実施

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日米交流推進費

1. 人物交流事業費

- (1) 安倍フェロシップ
- (2) 市民交流支援（日米草の根交流コーディネーター派遣／JOI）

2. 催し等事業費

- (1) 日米交流支援（助成）
- (2) 日米交流支援（主催）

日米交流推進費

1. 人物交流事業費 / (1) 安倍フェローシップ

日米間の知的交流を促進すると同時に、現代の地球規模の政策課題で、緊要の取り組みが必要とされる問題に関する学術的、国際的な調査研究を増進し、日米の専門家間の新しい協働関係とネットワーク形成を支援する。

合計額 162,383,878 円

	氏名	現職	研究テーマ
1	北尾 早霧	ニューヨーク市立大学ハンターカレッジ経済学部 准教授	米国及び日本における人口構造の変化と持続可能な公的年金制度について
2	酒井 理恵	順天堂大学医学部 助教授	小児科医師数の地域偏在に関する基礎的研究－日米比較から－
3	林 容子	尚美学園大学芸術情報学部 准教授	認知症を含む高齢者を対象とする創造性と文化的プログラムの効果とそのための人材育成に関する研究
4	福田 亘孝	青山学院大学社会情報学部 教授	社会経済政策がチャイルド・ケア・サービスに与える効果の日米比較研究
5	吉本 秀子	山口県立大学 国際文化学部准教授	アメリカの広報外交と沖縄のニュースフレーム
6	梶原 みずほ (ジャーナリスト)	『朝日新聞GLOBE』 記者	アクアポリティックスの幕開け－水の安全保障と日米の戦略－「土地争奪」の事例研究から
7	田口 恵美里 (ジャーナリスト)	フリーランス・ビデオジャーナリスト	エネルギーの値段
8	アンドリュー・ティード	シカゴ大学高齢化研究センター 研究員	日米における老年層に広がる鬱症状の社会支援効果の比較研究
9	イアン・ミラー	ハーバード大学歴史学部 准教授	大都会の中の自然：グローバル時代における日本の都市計画
10	ジャネル・ノックス・ヘイズ	ジョージア工科大学公共政策スクール 助教授	アジア・米国・欧州における環境ファイナンスの制度的発展についての比較分析
11	ジョセフ・コールマン	インディアナ大学ジャーナリズムスクール ハワード記念プロフェッショナル	老人とハンマー：将来の高齢労働者層を構築する取組み
12	トーマス・バーガー	ボストン大学 国際関係学部准教授	シャドーボクシングと同盟維持の要領：ヨーロッパとアジアにおける米国の同盟システム
13	メリッサ・メルビー	デラウェア大学文化人類学部 助教授	日米の食習慣問題と原因・解決の理解における専門家と一般市民の違いについて
14	ロン・クラシゲ	南カリフォルニア大学歴史学部 准教授	再度扉を閉じるのか？ 日米移民危機の教訓
15	エリック・ジャフ (ジャーナリスト)	ノンフィクション・ライター	大川周明の汎アジア主義と現代への遺産
16	ドナルド・カーク (ジャーナリスト)	フリーランス・ジャーナリスト	不満足の基地：日本と韓国における米軍のプレゼンス

日米交流推進費

1. 人物交流事業費 / (2) 市民交流支援(日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI)

日本との交流の機会が比較的少ない地域における対日関心の喚起や日本理解の促進、草の根交流の担い手育成を目的に、ボランティアとして草の根交流のコーディネーターを派遣する。コーディネーターは、主に米国南部の日米協会や大学等の地域交流活動の拠点に配置され、学校やコミュニティで、日本の文化、社会、生活、日本語に関する知識や情報を提供し、また日米交流を深めるための活動を展開する。

合計額 30,290,310 円

	氏名	派遣先機関	期間
1	第8期：青木 真子	ウェイク・フォレスト大学 東アジア言語文化学部（ノースカロライナ州）	2009.08.01 ～ 2011.07.31
2	第8期：木幡 陽子	アーカンソー大学 フォートスミス校（アーカンソー州）	2009.08.01 ～ 2011.07.31
3	第8期：森下 佳南	ウェブスター大学（ミズーリ州）	2009.08.01 ～ 2011.07.31
4	第8期：吉本 道子	ウェスタンミシガン大学 曾我日本センター（ミシガン州）	2009.08.01 ～ 2011.07.31
5	第8期：米倉 夏江	フィンドレー大学（オハイオ州）	2009.08.01 ～ 2011.07.31
6	第9期：佐藤 嘉ン奈	ミネソタ日米協会（ミネソタ州）	2010.08.01 ～ 2012.07.31
7	第9期：日高 夢	アイオワ大学（アイオワ州）	2010.08.01 ～ 2012.07.31
8	第9期：光林 瑠美	バルパライソ大学（インディアナ州）	2010.08.01 ～ 2012.07.31
9	第9期：森 文彦	インターナショナル・インスティテュート・オブ・ウィスコンシン（ウィスコンシン州）	2010.07.26 ～ 2011.08.30
10	第10期：大野 麻未	グレーター・シンシナティ日米協会（オハイオ州）	2011.07.26 ～ 2013.07.25
11	第10期：熊代 智恵	テキサス大学サンアントニオ校 東アジア・インスティテュート（テキサス州）	2011.07.26 ～ 2013.07.25
12	第10期：鶴田 孝俊	ヒューストン日米協会（テキサス州）	2011.07.26 ～ 2013.07.25
13	第10期：星野 麻衣	ネブラスカ大学オマハ校 国際プログラム（ネブラスカ州）	2011.07.26 ～ 2013.07.25
14	第10期：松岡 愛美	ウォフオード・カレッジ（サウスカロライナ州）	2011.07.26 ～ 2013.07.25
15	第10期：山田 梓	マーシャル大学（ウェストバージニア州）	2011.07.26 ～ 2013.07.25

日米交流推進費

2. 催し等事業費 / (1) 日米交流支援(助成)

公募助成においては平和で安定的かつ公正な国際秩序の形成に向けた、多様な利害関係者による対話の促進、およびグローバル化が世界各地のコミュニティにもたらす様々な影響を克服するための、多様な境界を越えた連携の促進、を募集対象とする。このほか、日米間の連携・パートナーシップ構築の推進、日米間の基盤強化や知日層の育成・拡大を目的とする事業を企画企画助成にて支援する。

合計額 442,283,727 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	日本グローバルスカラー事業 (3カ年事業の2年目)	オレゴン大学	2011.08.01 ~ 2012.07.31	学部を卒業するまで一環した日本語イマージョン教育を行うコースを新設し、高度な日本語能力を有する専門家庭教育を目指す事業
2	イリノイ日本舞台芸術ネットワーク (IJAPN) (3カ年事業の2年目)	イリノイ大学	2012.01.01 ~ 2012.12.31	イリノイ大学東アジア言語文化部が中心となりNYのジャパンソサエティ、慶応大学と協力して公演事業・講演を行い舞台芸術関係者間のネットワークを図る事業
3	RIPS日米パートナーシッププログラム (2カ年事業の2年目)	一般財団法人 平和・安全保障研究所 (RIPS)	2011.08.09 ~ 2012.08.08	日本と米国との協力関係の維持・発展に学問的、実務的な面から携わり、将来的にリーダーシップを発揮することが期待される人材を集中的に育成することを目的として、通年で各種のセミナーやフィールドトリップ、論文作成のための指導を行う。2年間のプログラム終了時に、各フェローは論文を提出するとともに、プログラムの一環として公開セミナーを開催し、広く一般へ知見を普及
4	台頭する中国とインド：日米にとって 挑戦か好機か (3カ年事業の3年目)	外交問題評議会	2011.03.01 ~ 2012.02.29	グローバルな課題における中国とインドの台頭を分析し、両国が国際関係マネジメントに及ぼす影響を解明。さらに、現代の国際的なパワーシフトと、日米の政策選択のリンクを研究。日米の官民両セクター方針決定者に、協力の機会に関する政策関連指針を提供
5	日・米・韓対話：東アジアにおける軍事抑止と安全保障 (2カ年事業の2年目)	センター・フォー・ナショナル・インタレスト	2011.12.01 ~ 2013.01.31	日・米・韓3国の安全保障及び外交分野の専門家らによる対話事業。中国や北朝鮮に対する外交政策などをテーマに安保分野における3国同盟の重要性についての相互理解を深めることを目的とし、ワシントンと東京で半年ごとに対話セッションを交互に開催
6	国際教育リーダーシップ&交流プログラム (3カ年事業の2年目)	アイダホ人権教育センター	2012.01.01 ~ 2012.12.31	アイダホ、ユタ、ワイオミングの山間部の諸州と日本との交流を促進するため、米国の教育関係者の訪日研修・ワークショップ及び日米両国の学生交流を行う。教育関係者の交流にあたっては、中等教育での日本理解のためのレッスン・プランの開発を目標とする。また、学生交流では、特にリーダーシップ育成、市民教育、市民参加、文化財保護、異文化交流などのテーマについて学習
7	日本伝統芸能インフォメーション・ディレクター (2カ年事業の2年目)	ファイブ・カレッジ東アジア研究センター	2012.02.16 ~ 2012.12.31	米国在住の日本伝統芸能アーティストのディレクトリーを作成し、これをウェブサイト上で公開することにより、米国の地域・草の根レベルでの日本文化紹介活動を促進するプロジェクト。2011年にディレクトリーを作成し、2012年10月にマサチューセッツ大学アムハースト校において、ディレクトリーの紹介及び教育分野での利用方法に関する会議・ワークショップを開催し、ディレクトリーを普及

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
8	日米の市民と軍による防災イニシアチブ (2カ年事業の1年目)	ピース・ウィンズ・アメリカ	2011.04.01 ~ 2012.06.30	災害多発地域であるアジア太平洋において、災害への対応と防災についての対話を通じて、日米のみならず、最近災害対策に重要な役割を果たしつつある韓国やインドネシアとも連携を深める事業。東京とワシントンでワークショップ及びフォーラムを開催し、日本の自衛隊や米軍の果たす役割の重要性を確認すると共に、NGOなどの市民組織が果たす役割を相互に理解し、これからの防災計画に役立てる。成果として政策ペーパーを作成、普及
9	日米姉妹都市交流ネットワーク (3カ年事業の2年目)	シスター・シティーズ・インターナショナル	2012.02.01 ~ 2013.01.31	日米姉妹都市交流の再活性化を目的に、ジャパン・リサーチ・フェローを採用し、ベスト・プラクティスを調査して、ブックレットを作成。また、公募で米国内の姉妹都市交流を募り、20名(特に若手)を日本に派遣するためのコーディネートを行う。年次総会や地域大会で報告会を開催し、姉妹都市モデルを通じた持続可能性や経済的イニシアティブに関してディスカッションも実施
10	国家及び地域レベルの移民：日米における将来の経済成長と地域社会への影響	カリフォルニア大学サンディエゴ校	2011.02.25 ~ 2012.01.31	日本や米国のシビルソサエティの関係者が共同で、米国と日本で計四回の会合を開催。移民や移民政策が、どのように国家、地域レベルの政治、経済、そして社会的政策に影響を及ぼすかを検証し、国際社会に向けたより良い移民政策を作るための分析・対話を実施。事業終了後は、成果物として、ウェブサイトや報告書を通じて広く政策提言を実施
11	民間開発支援の現状とその効果・役割について：日米アジアにおける共通理解を目指して	CSOネットワーク	2011.02.01 ~ 2012.05.31	米国やアジア等海外で年々規模や影響力を増している企業、NGO、財団、大学などの民間による途上国の開発支援(PDA: Private Development Assistance)について、日米やアジアから広く情報を集め、PDAの役割と責任に関する議論・分析を推進し、今後の開発援助の方法に繋げる。海外調査、年5回の研究会を行い、成果発表の場としてシンポジウムを開催
12	国際環境ガバナンスにおける多様な行為主体の効果的参加のための制度設計 (2カ年事業の1年目)	国際環境ガバナンス制度設計研究実行委員会	2011.03.01 ~ 2013.03.31	グローバルな取組みが必要とされている国際環境ガバナンスについて、議論や知見を収斂することを通じて科学的コンセンサスの範囲を導き、効果的制度の方向性を示す2カ年計画事業。1年目は日米で計二度の国際ワークショップ開催を通じて政策担当者、NGO、企業・経済団体等の多様なステイクホルダーとの対話・議論を実施。
13	日米協会ネットワーク支援事業 (3カ年事業の2年目)	全米日米協会連合(NAJAS)	2012.03.01 ~ 2013.02.28	全米日米協会連合(NAJAS)が、特に中小規模の会員メンバーの支援を優先しつつ、日米協会全体の経営基盤の安定と活動の促進を目的として、年次総会の際にメンバー団体の事務局長を対象としたトレーニング・ワークショップを開催、更に新規に採用された事務局長へのオリエンテーションを実施。また、理事会メンバーのサポート、メンバー団体と協力して講演会をシリーズで開催、等の事業を実施

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
14	日本を身近に：教育関係者に対するオンラインを活用したリソース提供プロジェクト (3カ年事業の2年目)	プライマリー・ソース	2012.03.01 ~ 2013.02.28	米国のK-12レベル（幼稚園から高等学校まで）の教員を対象として、日本の歴史や文化に関する大学院レベルの研修や小学校教員向けの教材を開発し、オンラインで提供する事業。完成した研修や教材のアウトリーチ活動のほか、ウェブ上での日米教師交流や研修修了者に対するオンライン・セミナー（ウェビナー）等を実施。2年目は、1年目に開発したオンライン研修を実施するほか、日本の教育関係者との相互交流を目的とした訪日事業を実施
15	J-Center：中西部地域における日米関係強化事業 (3カ年事業の2年目)	米国市民外交センター	2012.03.01 ~ 2013.02.28	米国中西部地域10州と日本の市民レベルでの交流を強化するため、申請機関内に「日本センター」を設置し、日米交流に従事している市民団体やNPO/NGOのディレトリ作成及び関係団体をネットワーク化。更に、大学や初中等教育レベルでの日米交流プログラムの調査及びベスト・プラクティスの共有、日米交流促進のためのアドバイザー・カウンシルの設立、交流強化のための訪日及び日米両国における会議開催、等を実施
16	ジャパン・コネクション (2カ年事業の2年目)	全米舞台芸術ネットワーク(NPN)	2012.03.01 ~ 2013.03.14	日本コンテンポラリー・ダンス・ネットワークと共同で、日米間の幅広い舞台芸術関係者の交流促進のために、相互訪問・視察・意見交換を行うと共に、ウェブサイトやメールマガジンなどの多様な媒体を通じて日米間での情報共有を図る事業
17	ボランティア・リーダーズ・スクエア・プログラム (3カ年事業の2年目)	ユナイテッド・プラネット	2012.03.01 ~ 2013.02.28	将来のNPOリーダーや社会企業家の育成につながるよう、日本とのボランティア交流プログラムを新たに立ち上げ、米国からのボランティア派遣と日本から米国へのボランティア受入を行うプロジェクト
18	ブリュッセルフォーラム2011	ジャーマン・マーシャル・ファンド	2011.03.20 ~ 2011.06.30	ブリュッセルフォーラムは、米国及び欧州を中心としたハイレベルの政府関係者や有識者、グローバル企業経営陣、ジャーナリストが参加する「政治版ダボス会議」を目指した、国際会議。2011年3月25日から27日にブリュッセルで開催。フォーラムのテーマは「米欧関係、経済成長、雇用創出、貿易自由化競争、貿易のための日本円」等
19	東アジアにおける多角的安全保障とガバナンス一次の半世紀に向けて	2011年 5大学連合国際共同研究準備委員会	2011.03.15 ~ 2012.03.31	安全保障研究に実績を有する五大学（東京大学、プリンストン大学、北京大学国際関係学院、高麗大学、シンガポール国立大学リー・クアンユー公共政策大学院）の研究者等から構成される任意グループがアジアの安全保障と中長期的政策構想について共同研究を行い、2011年12月に東京で国際会議を実施
20	シンポジウム「日米関係の新しい枠組みを目指して」	米日カウンシル	2011.04.01 ~ 2011.07.31	日米から政策立案関係者・経営者等を招へいしてシンポジウムを開催し、政財界がリーダーシップをとった東日本大震災後の新しい日米関係のあり方について基調講演を通じて考察。また、グローバルな枠組みのなかでの日本の位置づけについてもパネル・ディスカッションを通じて討議

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
21	総合防災に関する国際会議：災害概念の再構築リスク統治能力不足の克服を目指して	特定非営利活動法人 国際総合防災学会	2011.04.01 ~ 2011.12.31	世界中から自然科学・社会科学の研究者、国際機関、政府、NPO関係者を招へいして、2011年7月14日～16日に南カリフォルニア大学でシンポジウムを開催。災害拡大の背景には貧困や統治能力不足を含めた社会の脆弱性というリスクがあることも視野に入れて、総合的な災害リスクマネジメントに関して議論を実施。成果として、会議の議事録と発表資料をウェブ上で公開し、発表論文をジャーナルに掲載
22	日米の非営利メディアの調査と日本におけるパブリック・ジャーナリズムの実践	特定非営利活動法人 NPO研修・情報センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	地域の課題を市民とともに解決する役割を担うべき存在としての「パブリック・ジャーナリズム」について、米国での実践例を踏まえて日本における普及・実践を図るプロジェクト。2011年8月に米国視察、同年11月23、24日に報告を兼ねた国際シンポジウムを早稲田大学で実施。また、「共働e-news」を発信し、パブリック・ジャーナリズムの実践を行うほか、フォーラムの成果を報告書にまとめ配布
23	米国、日本、中国における社会政策支出と防衛政策支出についての実証研究	同盟研究会	2011.04.01 ~ 2012.03.31	少子高齢化社会における社会政策支出と防衛政策支出に対する一般市民の考えや志向を探ることを目的として、日本、米国、中国における世論調査を通して東アジアの安全保障に対する意味合いを探求する調査研究プロジェクト。2011年秋に東アジアの外交と安全保障を考察する国際ワークショップを開催するほか、世論調査をふまえた分析結果等の報告書を作成
24	創造都市とグローバル・エコノミー—イノベーション社会の原動力はアート、デザイン、想像力—	法政大学キャリアデザイン学部	2011.04.01 ~ 2012.03.31	文化・芸術を活用した創造的な地域振興・都市再生の取り組み例（ハイテク産業関係者とアーティスト・デザイナーとの対話を通して社会的イノベーションを目指した米国サンノゼの取り組みやグッゲンハイム美術館によるイスラム圏での西洋美術館の建設プロジェクト等）を検証しながら、「創造都市」の進むべき方向や大学や文化機関、市民の果たすべき役割を議論。東京での公開シンポジウムではビジネス界、文化機関、市民団体等広範な機関に参加を呼びかけ、広くその成果を普及
25	変化を遂げる日本の人身取引対策—米国と韓国の成功と課題に学ぶ	特定非営利活動法人 ポラリスプロジェクトジャパン	2011.04.01 ~ 2012.06.30	米国や韓国の人身売買対策の成功や課題を共有することを目的として、公開シンポジウムと官民によるクロードセッションを実施する事業。公開シンポジウムの成果を報告書にまとめ、今後の政策提言に利用
26	2011ジュニア・ウィングス・プログラム	社団法人 七尾青年会議所	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日米における人材の育成を目的として、石川県七尾市と米国カリフォルニア州モンレー市で青少年の相互訪問による交流を行う他、2011年10月に日米教育関係者による公開フォーラムを実施
27	21世紀の日米韓中関係	パシフィック・フォーラムCSIS	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本、米国、韓国、中国の外交、安全保障及び協調関係に関する対話とネットワークを目的として、4カ国から専門家を集めて2011年10月と11月にソウルで会合を開催。人材育成を兼ねた10月の会合では若手研究者34名が活発に議論を交わし、成果を報告書にまとめた

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
28	京都上級・古典日本語サマープログラム	京都アメリカ大学コンソーシアム (Kyoto Consortium for Japanese Studies)	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本に留学中の外国人学生からのニーズは高いものの開講数が少ない、上級レベルの現代日本語や古文のコースを設けるためにサマープログラムを開講。京都という立地を生かした文化活動も実施。将来の知日層育成を図る
29	日米印戦略対話 (2カ年事業の1年目)	岡崎研究所	2011.04.01 ~ 2012.03.31	グローバルコモンスの安定利用、地域多国間協力枠組みの強化、核軍縮、不拡散の促進を目的として、日米印の関係者による対話を実施。2011年ニューデリー、2012年ワシントンDCで国際会議を開催。3カ国協力に関する報告書を和英にてとりまとめ、研究者・政策決定者に配布説明
30	「スマートパワー」時代における国際公共財形成の展望と課題～「同盟」概念の深化と拡大をめぐる	公益財団法人 日本国際フォーラム	2011.04.01 ~ 2012.09.30	「スマートパワー」時代の同盟の意味と機能を明らかにした上で、それが自由で開かれた国際秩序の維持にいかなる役割を果たしうるかを検討し、日米同盟の新たなビジョンを提示することを目的として、公開シンポジウム及び非公開の専門家ワークショップを東京にて実施。研究成果は、英文論考として、CSISプレスから商業出版
31	移民と競争力：日米比較 (2カ年事業の1年目)	マイグレーション・ダイアログ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	移民労働力が、ホスト国の労働者や主たる雇用者たる主要産業の競争力にどのような影響を与えるかについてのメカニズム理解促進を目的として、移民労働力の導入と、賃金トレンド、イノベーションや生産性向上率の相関比較、採用や研修システムなどについて分析を行う。成果は、編著としてオックスフォード出版会からの刊行
32	アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター・運営強化事業 (3カ年事業の2年目)	アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター (IUC)	2011.04.01 ~ 2012.03.31	アメリカ・カナダ大学連合日本研究センターの事業運営強化に必要な経費支援を行う3カ年事業の2年目。主に、学生奨学金の支給を支援
33	地域の気候変動適応策推進に向けた日米政策対話 (2カ年事業の1年目)	一般社団法人 イクレイ日本	2012.03.01 ~ 2013.02.28	気候変動の地域レベルでの適応対策の研究を目的に、日米でパイロット自治体を選び、適応策の導入や実施状況をテストする。2012年1～3月、4～6月、7～9月に日本でワークショップを開催し、2012年10～12月に米国でワークショップを行う。2013年6月にボンで開催される国際フォーラムで最終的な事業成果を発表。成果は日米イクレイのウェブサイトやニューズレターで情報発信するほか、政策立案のための参考資料の冊子を作成し、日本の自治体向けに配布
34	アジア太平洋越境ケア人材養成連携 (3カ年事業の1年目)	特定非営利活動法人 アジアン・エイジング・ビジネスセンター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	高齢者介護を担う人材確保と育成が国際的に共通する課題となっている現状において、介護人材の国際化への対応に必要な共通教材や人材育成システムの開発を目的とする3カ年計画事業。日米及びインドネシア、マレーシアの参加者の協力を得てそれぞれの地でスタディツアー、ワークショップ会合を重ねた上で、国際的介護人材養成の共通教材(日本語版・英語版)を発行

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
35	グローバル紛争・協力研究所 (IGCC) による北東アジアの防衛の透明性に関するプロジェクト	カリフォルニア大学サンディエゴ校	2011.04.01 ~ 2012.03.31	各国の防衛白書や防衛に関するウェブサイトなどから情報を収集して、北東アジア地域各国の、防衛に関する情報公開(防衛プログラム、政策、予算、包括的安全保障戦略等)の度合いを調査。7つの領域から成るインデックスを作成して、ウェブサイト上で公開。また、防衛の透明性に対する日本の取り組みをケーススタディとして検証
36	日米青年政治指導者プログラム (訪米プログラム)	公益財団法人 日本国際交流センター	2011.05.01 ~ 2011.09.30	日本の超党派の若手政治家、政策秘書、政党スタッフ等の政治指導者を米国に派遣し、各界のリーダーとのネットワークを形成するプロジェクト
37	金属のライフサイクル分析：衛生、環境および生産性の向上にむけて	ハーバード大学 公衆衛生学部	2011.05.01 ~ 2012.01.31	日本、世界各国の金属リサイクル政策及び取組を研究するため、2011年10月31日から11月2日にかけて東京大学で国際会議を実施。参加者はハーバード大学及び東京大学をはじめとする多様な機関の関係者(計28名)。東日本大震災による環境と健康への影響についても議論
38	ポスト京都議定書の日米中における低炭素建築業セクターの三国間のリサーチネットワーク：革新的なビジネスモデル(ボトムアップ)と効果的な政策フレームワーク(トップダウン)(2カ年事業の1年目)	コーネル大学	2011.05.01 ~ 2012.04.30	日本、米国、中国の建築業界における、気候変動に対応した取り組みについて、文献収集、ケーススタディ、インタビューなどを通じて比較研究。低炭素型のビジネスモデルや新しい形態のステークホルダーの連携、昨今の革新的ビジネスモデル(ボトムアップ)と効果的な政策フレームワーク(トップダウン)の有効な融合、企業のCSRの一環としての環境に配慮した持続可能な開発への取り組みなどを考察。成果として2種類の報告書を作成
39	日米韓フィリピン女性リーダーによる分野横断的的交流：人口移動、人身取引、女性の人權	女性政策研究センター	2011.06.01 ~ 2012.05.31	人身取引をはじめとする女性の人口移動に関わる諸問題の政策立案に寄与することを目的として、日米及び韓国、フィリピンの地方政府、非営利セクター、研究機関のネットワーク形成を促進するプロジェクト。各国の各分野より参加者を得て2012年春にハワイで国際会合を開催し、送出国・中継国・受入国それぞれにおける現状と課題、対策や取り組み、政策に関する検証と議論を実施
40	アジアの統合化：理論・実践・政治(2カ年事業の2年目)	ワシントン大学	2011.10.01 ~ 2012.12.31	アジア地域全体を巻き込んだ制度設計を念頭に、貿易、金融、投資、安全保障、エネルギー、保健、環境、人權等の様々な分野においてアジア統合の理論的方法を明示し、成果を書籍として出版することを目指す事業
41	排出量取引が国際競争力と温暖化国際交渉に与える影響(3カ年事業の3年目)	上智大学	2011.06.01 ~ 2012.05.31	温室効果ガスのリーケージ問題(排出源を他国・地域に移動させることで地球規模での削減が進まないこと)と国境税(新興国からの輸入に課し、温暖化対策を促す税金)が日本、新興国及び国際関係に与える影響を、欧米での聞き取り調査や経済理論を用いて分析する3年間プロジェクトの3年目
42	日米次世代パブリック・インテレクチュアルネットワーク事業(第2期。3カ年事業の1年目)	モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団	2011.06.01 ~ 2012.05.31	米国の次世代の担い手の中で、多様な領域で日米関係を語る人材、及び日米が主導的役割を果たすことが期待される領域の専門家、日本にも関心を有する若手・中堅世代の人材との間に緊密なネットワークを形成し、相互啓発の機会の提供を目指す。日米パートナーシップの維持発展に貢献することを企図した事業

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
43	日米同盟の使命としての平和構築 (2カ年事業の2年目)	外交政策分析研究所(IFPA)	2011.06.01 ~ 2012.11.30	日米がアフガニスタンやソマリア地域における平和構築への貢献に向けた新たな方策を検討する時機において、平和構築分野での日米協働のアジェンダを模索する研究プロジェクト
44	日米加3極会議 (3カ年事業の3年目)	ジョンズ・ホプキンス大学ライシャワーセンター東アジア研究所(SAIS)	2011.09.01 ~ 2012.08.31	日本、米国、カナダの国際問題等の専門家が集い、地球温暖化、エネルギー問題、安全保障、アジア太平洋地域の平和構築等について三国間対話を行う3カ年事業。3年目となる今年度は、三国間協力や北極圏を巡る各種課題をテーマにワシントンDCで対話を実施
45	日米青年政治指導者プログラム(訪日プログラム)	公益財団法人 日本国際交流センター	2011.08.01 ~ 2011.11.30	米国の超党派の若手政治家、政策秘書、政党スタッフ等の政治指導者を日本に招へいし、各界のリーダーとのネットワークを形成するプロジェクト
46	JETプログラム同窓会国際会議	JETプログラム同窓会ニューヨーク支部	2011.08.01 ~ 2012.03.31	日米をはじめとする数カ国のJETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)同窓会支部の役員が日本に集まり、9月4日から6日にかけて同窓会の現状や運営方針(役員改選や約款の改訂等)に関する会議を開催。併せて、東北で現役のJETと共に復興支援活動を実施。更に、外務省、文部科学省、自治体国際化協会(CLAIR)と共同で9月8日にシンポジウムを開催し、今後のJETプログラムと同窓会のあり方について討議
47	日米復興市民対話―東日本大震災から一年、日本の声を伝えよう	一般社団法人 KIP知日派国際人育成プログラム	2011.12.01 ~ 2012.03.31	東日本大震災から1周年を迎える2012年3月に、東北の学生10名を含む大学生30名が訪米し、震災後の日本の状況を伝えるとともに、米国の大学生、日本関係専門家、日系アメリカ人、ビジネス関係者等と対談する機会をもつことによって、グローバルな人材の育成を目指す事業
48	人間の安全保障：日米ネットワークの構築 (2カ年事業の1年目)	北東イリノイ大学	2011.09.01 ~ 2012.08.31	日米両国間の安全保障研究者のネットワークを築くことを目的として、情報共有、共同調査及び成果普及を行う2カ年プロジェクト。人間の安全保障分野において、認知が不十分な日本の役割を検証して広めるとともに、米国における研究や対話の促進を目指す。1年目の今年は2011年秋にシカゴで公開シンポジウムを実施
49	被災地復興ネットワーク・特別国際ワークキャンプ	特定非営利活動法人 NICE(日本国際ワークキャンプセンター)	2011.08.01 ~ 2012.03.31	ワークキャンプやフォーラムを通じて、東日本大震災被災地の復興を物心両面で応援し、生活基盤の再建等を進める。日米を中心にアジア太平洋地域の被災経験地が復興のノウハウを交換し、連携・協力を広げるネットワークを創出・発展させる事業
50	比較・グローバル保健医療研究への日本の融合 (3カ年事業の2年目)	ユタ大学	2011.10.01 ~ 2012.09.30	日本の保険医療政策の比較研究を扱う教員ポストを新設するとともに、調査・コース・資料拡充等の関連事業を実施
51	複合的災害から何を学べるか：自然・原子力災害に関わる法制度の日米比較研究	明治大学法と社会科学研究所	2011.10.01 ~ 2012.09.30	東日本大震災の被害について法学・政治学の社会科学的観点から分析し、被害防止のシステムと損害補填の仕組みについて、国際的な研究グループを立ち上げて政策的提言を行うため、第1回目国際ワークショップを2011年10月末にパークレーにて、第2回目ワークショップ及び国際会議を2012年3月に明治大学にて、第3回目会議を2012年6月にハワイでの法社会学国際大会にて実施し、その後参加者は論文を執筆し図書として刊行するプロジェクト

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
52	日本との架け橋プロジェクト (3カ年事業の1年目)	サンフランシスコ・アジア美術館	2011.10.01 ~ 2012.09.30	サンフランシスコ・アジア美術館が、カリフォルニア大学パークレー校や東京国立博物館の協力を得て、同美術館所有のデジタル情報を、K-12（幼稚園から高等学校まで）の教師が授業でより有効に活用可能となるようシステムを整備し、教師向けのオンライン研修を実施するプロジェクト
53	ナショナル・ジャパン・ボウル・ネットワーク (3カ年事業の1年目)	ワシントンDC日米協会	2011.10.01 ~ 2012.09.30	日本語を学習する高校生向けの全米クイズ大会「ジャパン・ボウル」を毎年主催するワシントンDC日米協会が、各地域レベルで新たにジャパン・ボウルを開始しようと考えている日米協会や学校への立ち上げ支援と共に、既にジャパン・ボウルを実施している団体とのネットワークングを行う事業
54	ライシャワー奨学プログラム (3カ年事業の1年目)	スタンフォード大学国際異文化教育プログラム (SPICE)	2011.10.01 ~ 2014.09.30	スタンフォード大学国際異文化教育プログラムが、全米から選抜された25名の高校生を対象に、日本の政治・経済・文化・歴史等の遠隔教育を行うプロジェクト。開始から8年が経過した本事業の同窓会ネットワーク化も併せて実施
55	カート (CART: 日米両国の共通課題) プロジェクト	カートプロジェクト事務局	2011.11.01 ~ 2012.05.31	日本、米国、中国、東南アジアから第一線のジャーナリスト、メディア関係者、研究者が一堂に会し、日米関係の強化に資する重要な政策課題や問題領域に関して、トラックツアー形式で議論を実施。中国やインドの台頭を念頭にアジアを舞台にした日米共通の課題を見出し、その解決についてジャーナリスト的な視点で討議
56	教師向け日本理解促進セミナー全米同時中継プロジェクト	コロンビア大学	2011.11.01 ~ 2012.10.31	コロンビア大学が、National Consortium for Teaching about Asia (NCTA) ネットワークを活用し、アジア理解教育に関心を有する中等教育の教師を対象に、日本理解を深めるための専門家によるプレゼンテーションをサイマルキャストを通じて行うプロジェクト。全10回のプレゼンテーションを通じて、日本の歴史、社会、文化に対する総合的な理解を深めることを目的とする事業
57	テイラーアンダーソン記念プロジェクト (5カ年事業の1年目)	ランドルフ・メーコン・カレッジ	2011.12.01 ~ 2012.08.31	岩手県石巻市赴任中に東日本大震災の犠牲となった、米国JET（語学指導等を行う外国青年招致事業）参加者のテイラー・アンダーソン（バージニア州出身）の遺志を継ぎ、同氏の出身校であるランドルフ・メーコン・カレッジにおいて日本理解促進を図る5カ年事業。1年目は、日米交流の担い手となる学生の対日関心を高め、日本理解を深める機会を提供するために、教員を対象とした訪日研修やワークショップ、奨学事業、研究員ポストや記念ライブラリーの設置、公開セミナーを実施
58	日本の危機への対応力：第二次世界大戦から複合的大災害まで（学部学生招へい）	ワシントン・カレッジ	2012.01.01 ~ 2012.05.31	日本の危機への対応力を研修テーマに、ワシントン・カレッジの学生18名が8日間にわたり東京、松島を訪問し、日本人学生、教授、政府関係者、NGO関係者と交流及び被災地でのボランティア体験を通して、対日理解を深める事業
59	日本女性の神話と現実（学部学生招へい）	スペルマン大学	2012.01.01 ~ 2012.06.30	2012年春季学期の「日本社会における女性」という講座の一環として、スペルマン大学の学生および随伴教員計10名が東京、千葉、横浜、京都、奈良を訪問。日本の社会、文化、歴史に触れ、日本女性に関するレクチャーを受けることによって、授業での学びと対日理解を深める事業

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
60	知的伝統から構築された現代日本（学部学生招へい）	ネブラスカ大学オマハ校	2012.01.01～2012.05.31	「知的遺産、伝統から構築された現代日本」を研修テーマに、ネブラスカ大学の学生及び随伴教員計11名が約1週間にわたり東京、鎌倉、静岡、広島を訪問し、対日理解を深める事業
61	日本語・日本文化学習（学部学生招へい）	ハワイ大学リーワード・コミュニティーカレッジ	2012.01.01～2012.05.31	日本語の取得と日本の文化理解を研修テーマに、ハワイ大学リーワードコミュニティーカレッジの学生及び随伴教員計37名が約1週間にわたり名古屋と京都を訪問し、愛知大学での講義や豊橋でのホームステイを通じて日本語や日本文化に対する理解を深める事業
62	日本研究フェローシップ（3カ年事業の1年目）	東西センター	2012.01.01～2012.03.31	日本及び日米パートナーシップ(特に経済分野)を専門にする、アメリカ在住の日本人またはアメリカ人の若手研究者やアナリストに対し、3カ月または6カ月のフェローシップを提供。期間中、フェローはワシントンDCにおいて政策関係者や研究者との交流機会を持ち、東西センターの出版物に論文・研究ペーパーを発表するほか、公開のイベントでの報告を実施
63	東日本大震災デジタル・アーカイブ	ハーバード大学ライシャワー日本研究所	2012.01.01～2014.12.31	東日本大震災直後からハーバード大学がネット上で集積し続けている震災に関するあらゆる記録、資料、情報(画像、動画、政府・自治体等のウェブサイト、個人ブログや体験談などのデジタルアーカイブ)に関し、日本の協力団体とともに整備・蓄積を続け、研究者や一般市民が利用可能なリソースとして保存・公開。ワークショップやシンポジウムも併せて行う事業
64	東京のまちづくりと都市計画（学部学生招へい）	プラット・インスティテュート	2012.02.01～2012.08.31	日本の研究者、学生、建築家やプランナーとの対話を通じて、日本のまちづくりや都市デザインのアプローチを理解することを研修テーマに、プラット・インスティテュートの学生17名が東京、京都、鎌倉、筑波を訪問し、対日理解を深める事業
65	変遷するワシントン：米国の外交パートナーによる <i>Washington Idea Industry</i> を通じた米国外交政策へのアプローチ手段の考察とそれが日米関係に与える影響（3カ年事業の1年目）	ジョンズ・ホプキンス大学ライシャワーセンター東アジア研究所（SAIS）	2012.02.01～2013.02.13	日本以外の米国の友好同盟国のパブリックディプロマシー及び米国の対外政策へのアプローチ手法について、シンクタンク等の <i>Washington Idea Industry</i> を通じた分析・研究を行い、当該国への実地調査研究も実施。その上で、諸外国の動きが日米関係に与える影響及び日本がとるべき外交政策のあり方について考察を行う事業。1年目は年間21回の会合が行われ、ベトナム、韓国、日本への渡航調査と関係者訪問、ワシントンでのセミナー（14回のミニ会合）を実施
66	東日本大震災復興支援のための日米協力：シビル・ソサイエティの協力促進（3カ年事業の1年目）	米国法人 日本国際交流センター（JCIE/USA）	2012.02.01～2013.01.31	東日本大震災の復興支援に関する情報クリアリングハウスを日米共同で構築しようとする3カ年事業。支援活動のための資金調達を必要とする日本の団体と、支援先を探す米国の団体を結びつけ、米国から日本への効率的な資金供給の仕組みを確立することを目指す。主に、日本の市民団体に関する情報を英語で発信することで対日支援を促進するほか、日米の中間支援組織の強化や、災害時の支援活動・資金調達の仕組みについてケーススタディを分析
67	日米青年政治指導者プログラム（訪米プログラム）	公益財団法人 日本国際交流センター	2012.02.15～2012.07.31	日本の超党派の若手政治家、政策秘書、政党スタッフ等の政治指導者を米国に派遣し、各界のリーダーとのネットワークを形成するプロジェクト

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
68	広島平和学習（学部学生招へい）	インディアナポリス大学	2012.03.01～2012.07.31	平和学習を研修テーマに、広島・長崎に投下された原子力爆弾とその影響について学ぶことを目的として、インディアナポリス大学の学生及び随伴教員計14名が約2週間にわたり広島、長崎、京都、大阪を訪問する事業
69	現代日本とそのルーツ（学部学生招へい）	マウント・セント・ジョセフ・カレッジ	2012.03.01～2012.07.31	2012年春学期の「現代日本とそのルーツ」という講座の一環として、日本の文化芸術、社会、歴史に触れ、学び、現代日本がいかにして形成されているのか、授業で学んだことをより深く理解することを目的とした訪日研修旅行。マウント・セント・ジョセフ・カレッジの学生12名が14日間にわたり東京、箱根、多治見、犬山、京都を訪問し、対日理解を深める事業
70	大阪の伝統的な日本の演劇（学部学生招へい）	グランド・バレー州立大学	2012.03.01～2012.07.31	日本の伝統的な演劇の歴史について学習し、能・歌舞伎・文楽を実際に見て理解を深めることを目的とした事業。グランドバレー大学の学生15名と教員1名が約1か月間にわたり、大阪、京都、奈良等を訪問し、対日理解を深める
71	震災後日本のポップ・カルチャー2012（学部学生招へい）	ジョン・キャロル大学	2012.03.01～2012.08.31	2012年春学期の「日本のポップ・カルチャー」という講座の一環として、実際に訪日研修旅行をして日本の社会、文化、歴史に触れ、更に日本社会をより深く理解することを目的に、震災後の日本についてレクチャーを受け被災地でボランティア活動を行う。ジョン・キャロル大学の学生12名が21日間にわたり東京、京都、大阪、石巻を訪問
72	東京三極フォーラム：転換期における日米欧の協力	ジャーマン・マーシャル・フアンド	2012.02.20～2012.09.30	日米欧の研究者、政策担当者、ジャーナリスト等による東京での公開国際フォーラム及び東日本大震災の被災地域への視察等を通じて、日米欧3カ国(地域)の政策コミュニティ間のネットワークの強化と相互理解を目指す事業
73	自然エネルギーを利用した快適な建築物を目指して	カリフォルニア大学バークレー校	2012.03.01～2013.02.28	東日本大震災による原発事故をきっかけに従前のエネルギー利用についての見直しの動きが高まる中、効率的なエネルギー利用(具体的には省エネと自然エネルギーの利用)を可能にする技術を建築デザインに取り入れることを目的に、日米の研究者や建築家、政策担当者等によるワークショップを実施する事業
74	国際環境ガバナンスにおける多様な行為主体の効果的参加のための制度設計(2カ年事業の2年目)	国際環境ガバナンス制度設計研究実行委員会	2012.03.01～2013.03.31	グローバルな取組みが必要とされている国際環境ガバナンスについて、議論や知見を収斂することを通じて科学的コンセンサスの範囲を導き、効果的の制度の方向性を示す2カ年事業。1年目は日米で計2度の国際ワークショップ開催を通じて政策担当者、NGO、企業・経済団体等の多様なステイクホルダーとの対話・議論を実施。2年目には2012年5月の「持続可能な発展に関する国連会議(Rio+20)」に成果を反映させるための提案の形成のほか、出版物を刊行

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
75	アジア太平洋の災害対策と復興力をテーマとしたジャーナリズム・フェローシップ事業	東西センター	2012.03.01 ~ 2013.03.31	米国、日本、中国、インドネシア、フィリピン及びニュージーランドのジャーナリスト13名が2012年3月13～27日に日米両国を訪問。災害対策及び復興に携わる政府関係者、会社幹部、科学者、学者、ジャーナリスト、環境活動家、その他関係者と接見、会合を実施。各国の協力体制の構築へ寄与し、広義での災害報道のあり方について見識を深め、更に社会の認識を高めることを目指す事業
76	日米同盟マネジメント：在日米軍との自然災害対処協力（2カ年事業の1年目）	特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター	2012.03.01 ~ 2014.02.28	沖縄での在日米軍を取り込んだ地域レベルでの災害対処ネットワークの構築と仕組作りを通して、日本と在日米軍間の災害対処協力体制の強化に寄与し、日米同盟を草の根から補完することを目指す事業。これまで政治問題として捉えがちだった在日米軍との協力体制を災害対処政策の観点から捉え直し、日米両政府や米軍基地が所在する自治体等に政策提言として発表、成果普及に努める
77	見て学ぶ日本の文化研究プログラム（学部学生招へい）	ケンタッキー大学	2012.03.09 ~ 2012.03.18	「見て学ぶ日本の文化」を研修テーマに、ケンタッキー大学の学生12名が2012年3月に7日間にわたり東京と日光を訪問し、対日理解を深める事業
78	福島原発事故の海洋への影響調査	ウッズホール海洋学研究所	2012.03.20 ~ 2013.08.31	福島原発事故の海洋へのインパクト（具体的には海洋の生態系と人間の健康に与える影響）について科学的調査を行った上で、一般市民や政策担当者に対して調査の成果発表を行う。東京での2日間のシンポジウム（招待者ベース）のほか、日本及び米国での公開コロキウムを実施することで、研究成果の情報共有を図り、紙媒体とウェブで政策提言に向けた成果普及を実施
79	MIT ジャパン3/11イニシアチブ	マサチューセッツ工科大学	2012.03.01 ~ 2013.06.30	東日本大震災復興支援の一環として、宮城県南三陸町のメモリアルコミュニティセンターの建築・都市デザイン計画をテーマに日米の学生に対する共同ワークショップを実施するとともに、長期的な災害復興計画を扱った教育カリキュラムの共同開発を行う。コミュニティセンターとカリキュラムに関する国際シンポジウムを実施し、その成果普及に努める事業
80	東日本大震災の創造的復興に向けた被災地の人々同士の直接対話を通じた経験・教訓の共有化	財団法人 都市防災研究所	2012.03.09 ~ 2013.11.30	ハリケーン・カトリーナ等の世界の過去の巨大災害からの復興の経験や教訓を東日本大震災の復興に活かすため、米国をはじめとする世界の被災地の関係者同士が直接対話を行う機会を設ける。更に、東日本大震災の復興の取り組みを今後の防災や復興に活かすために経験や教訓の情報を整理し、英訳して海外に提供
81	日本の政治変容と日米同盟（3カ年事業の1年目）	外交問題評議会	2012.03.01 ~ 2013.02.28	日本における政治の変化が、日米同盟にどのような影響を及ぼすかを分析する研究プロジェクト。ワシントンにおける比較研究のためのワークショップと、日本における実地調査を実施。1年目は、プロジェクト・ディレクターのシーラ・スミスが7月～8月にかけて来日し、民主党、自民党の政治家や防衛省、外務省の政策関係者等に聴き取り調査を行ったほか、7月と9月に研究者や実務家等を招へいしてワークショップを開催

日米交流推進費

2. 催し等事業費 / (2) 日米交流支援(主催)

日米間の知的交流を推進するために、セミナー・シンポジウム等を開催する。

合計額 36,243,284 円

	事業名	共催・協力機関	期間	事業内容
1	日米次世代パブリック・インテレクチュアル・ネットワーク事業(3カ年事業の3年目)	モーリーン・アンド・マイク・マンフィールド財団	2009.04.01 ~ 2012.03.31	次代の米国を担うパブリック・インテレクチュアル(グローバルな課題に取り組み、米国の世論形成に影響力を有す、あるいは今後有することが期待される人材)、特に多様な領域で日米関係を語る人材、日米が主導的役割を果たすことが期待される領域の専門家と日本にも関心を有する若手・中堅世代の人材との間に緊密なネットワークを形成し相互啓発の機会を提供することを目指す3カ年事業の3年目。日米パートナーシップの維持発展に貢献することを企図した事業
2	米国アジア専門家招へい	—	2011.03.01 ~ 2011.12.31	2011年11月のAPECにおける日米首脳会談で提唱された「日米同盟深化のための日米交流強化」を支える新規イニシアティブとして米国のアジア研究専門家の招へいが挙げられ、その一環として企画されたアジアそして世界における日米パートナーシップの強化を期する事業。米国におけるアジア観・日本観の形成に大きな影響を及ぼしうる日本になじみの薄い米国のアジア専門家をグループで招へいし、ネットワーク形成及び相互理解の醸成を目的に、日本のアジア政策関与者・研究者やパブリック・インテレクチュアル等との対話・交流や関係機関への訪問、日本文化体験等を実施
3	米国国際関係専攻大学院生招へいプログラム	米国国際関係大学院連合(APSIA)	2011.04.01 ~ 2011.10.31	米国の国際関係論を専攻する大学院生14名を招へい。日本の学者、研究者、政治家、財界人、NPO、文化人との懇談、関係機関への視察を通じて、日本の外交や社会政策の背景にある文化的・歴史的経緯にも触れる機会を供することで、親日家・知日家となるきっかけを提供し、より強固で多角的な日米関係の発展に寄与することを目指す
4	日系アメリカ人リーダーシップ・シンポジウム	米日カOUNシル (US-Japan Council) せんだい・みやぎNPOセンター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	多様な分野で活躍する日系米国人(主として3世・4世)を日本に招へいし、各界との対話、公開シンポジウム、報告書等出版を通じて、日米相互理解の深化と米国日系人コミュニティとの長期的関係を強化する事業。平成23年度は日系人10名が来日し、東京及び仙台を訪問するのに併せて、震災からの復興と市民社会の役割をテーマにしたシンポジウム「震災復興から日本再生へ：明日を拓く市民社会」を仙台市で開催
5	東日本大震災被災地と米国をつなぐ「元気メール」プロジェクト	エマーソン・カレッジ 米日カOUNシル アジア・アフリカ環境協力センター(ACEC)	2011.06.26 ~ 2011.07.04	過去に国際交流基金日米センターの助成事業「米国ジャーナリズム大学院生招へい」で訪日した米国の若手ジャーナリスト4名(及び指導教官1名)が来日し、米国の子供たちが被災者のために作成した「元気メール」を被災地(陸前高田市、気仙沼市)に届けるとともに、NPO関係者との意見交換、ボランティア活動などを行い、震災後の日本に関する認識を深める事業

調査研究及び情報提供事業等に必要な経費

情報センター事業費

1. 催し等事業費

- (1) 国内連携促進

2. 文化資料事業費

- (1) 広報（情報センター）
- (2) 年次報告
- (3) ウェブサイト・メールマガジン

3. 調査研究費

- (1) JFIC事業
- (2) 国際交流顕彰事業（基金賞）
- (3) 国際交流顕彰事業（地球市民賞）

4. その他

- (1) 後援名義の付与（情報センター）

情報センター事業費

1. 催し等事業費 / (1) 国内連携促進

国内の国際文化交流活動の振興のための情報提供、セミナー開催及び国際文化交流に関する相談窓口業務をおこなう。

合計額 2,750,690 円

	事業名	期間	事業内容
1	ウェブサイト「AIR-J」の運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本国内のアーティスト・イン・レジデンス事業をデータベースとして取りまとめ、日英バイリンガルで情報の提供を行う

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 / (1) 広報(情報センター)

基本的なパンフレット等の広報資料作成、その他広報用資料の印刷作成および事業広報のための報告会等の実施。

合計額 15,598,004 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	広報活動	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	プレスリリースなどを発信する広報・メディアリレーション業務を実施したほか、国際交流基金を国内外の方に紹介するパンフレットの制作（和文・英文）等を実施

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 / (2) 年次報告

年度ごとに総括を報告する年報を発行する。

合計額 10,387,755 円

	事業名	事業内容
1	年報(和文・英文)	国際交流基金の2010年(平成22年度)事業に関する和文年報(2,500部)および英文年報作成(1,500部)の作成、送付
2	事業実績	平成20年度に国際交流基金が実施した事業の一覧を「平成20年度(2008年度)事業実績」(PDFファイル版)として作成。国際交流基金ウェブサイトで公開

2. 文化資料事業費 / (3) ウェブサイト・メールマガジン

国際交流基金事業の広報と国際交流に関する情報提供のため、ウェブサイト・メールマガジン等を運営する。

合計額 28,931,689 円

	事業名	事業内容
1	ホームページ	国際交流基金の事業に関する情報、公募事業の案内および申請書類、その他お知らせ等をインターネット上で提供 URL: http://www.jpff.go.jp/
2	ウェブマガジン	国際文化交流や国際交流基金事業に関する一般向けの読み物を、ウェブマガジン「をちこちMagazine」としてインターネットで提供。各号ごとにテーマを設定して特集を組み、国際交流基金事業をベースに対談や寄稿、報告等を掲載。平成23年度のテーマは、「いま、日本語でつながる。」(4月)「韓国を、想う。」(5月)「3.11後の社会」(6月)「地域を結ぶデザイン、世界をつなぐデザイン」(7月)「フェスティバル! (をちこちMagazine 1周年記念)」(8月)「ビエンナーレ/トリエンナーレ」(9月)「ドイツで北斎に出会う」(10月)「Japan Foundation Award 特別号 先駆者たちの横顔」(11月)「2012年クールジャパンの今」(12月)「時代と空間を越える文学」(2月)「3.11から1年 文化は社会に貢献出来たのか」(3月)
3	メルマガ	国際交流基金の事業に関する情報をメールマガジン(和・英)で配信
4	ブログ・ソーシャルメディア	国際交流基金の事業に関する告知や報告をブログ、ツイッターで公開 ブログ「地球を、開けよう。」 URL: http://d.hatena.ne.jp/japanfoundation/ Twitter URL: https://twitter.com/Japanfoundation Facebook URL: https://www.facebook.com/TheJapanfoundation
5	動画配信	ウェブサイト上で国際交流基金の実施した公演、展覧会、セミナー・シンポジウム等の映像ファイルを公開

情報センター事業費

3. 調査研究費 / (1) JFIC事業

国際交流に関する情報の提供のため、ライブラリーとイベントスペースをそなえるJFIC（ジェイフィック）を運営する。

合計額 58,920,269 円

	事業名	期間	事業内容
1	JFICイベント	2011.04.01 ~ 2012.03.31	<p>イベント・スペース（JFIC）の利用促進と国際交流基金の情報発信を目的としたイベント・シリーズ</p> <p>第1回 記録映像で見るアジア現代演劇（2011.05.21~06.11）※東日本大震災の影響により、平成23年度事業に移行</p> <p>第2回 をちこちMagazineオープン収録 —3.11後の若者の行動から社会・文化を考える—（2011.05.26）</p> <p>第3回 公開対談「日本工房と国際文化振興会」（2011.06.18）</p> <p>第4回 国際交流基金×AAF世界ネットワーク・プロジェクト「文化で未来を切り開く—東北の心、アジアの声—」（2011.08.19）</p> <p>第5回 AIR! AIR! AIR! 海外でステップアップを目指せ!〈ノウハウ編〉/3回シリーズの第2回（2011.11.15）</p> <p>第6回 AIR! AIR! AIR! 海外でステップアップを目指せ!〈ノウハウ編〉/3回シリーズの第3回（2011.12.20）</p> <p>第7回 災害情報はどのように伝えられたか（2012.02.25）</p>

	事業名	蔵書数・利用状況	事業内容
2	図書館運営	<p>①所蔵資料合計：（視聴覚資料等を含む）：38,031点+428タイトル （内訳：図書 35,530点、視聴覚資料 684点、マイクロ資料 1,817点） （内訳：雑誌類 420タイトル、新聞 8紙）</p> <p>②利用者数（年間）：21,704名</p> <p>③貸出点数（年間）：2,803点</p> <p>④レファレンス件数（年間）：775件</p>	<p>国際交流基金の実施事業に関する出版物や映像資料、国際文化交流・文化政策に関する図書資料、外国語で書かれた日本関係図書・映像資料等を収集し、研究者や国際文化交流に関心のある幅広い利用者に情報資料を提供する図書館を運営</p>

3. 調査研究費 / (2) 国際交流顕彰事業(基金賞)

国際文化交流により、我が国に対する諸外国の理解あるいは日本人の対外理解を深め国際相互理解の促進に特に顕著な貢献があった個人、団体等に対しその功績を顕彰する。

合計額 30,374,154 円

	種別	受賞者	現職	授賞理由
1	国際交流基金賞 (文化芸術交流部門)	タンブッコ パーカッション アンサンブル	パーカッショングループ	メキシコ人打楽器奏者4名によるグループ。大太鼓や締太鼓など日本の楽器を多用し、世界各国にて質の高い日本の現代音楽及び日本人作曲家による作品を披露。箏、尺八、マリンバ、バイオリンなどの著名な日本人演奏家とのコラボレーションも積極的に行い、日本文化の理解及び促進に大きく貢献
2	国際交流基金賞 (日本語部門)	カイロ大学文学部日本語 日本文学科		中東・アフリカ地域で最初に発足した日本語・日本研究分野の重要拠点であり、長年にわたり日本語・日本文化研究者の育成及び日本語の普及活動に従事。文学から政治に至るまで、同学科の卒業生により数多くの日本に関する書籍・翻訳書が出版され、アラビア語圏における円滑かつ効果的な日本文化理解に大きく貢献
3	国際交流基金賞 (日本研究・知的交流部門)	オギュスタン・ベルク	フランス国立社会科学高等 研究院退任教授	日本各地の文化や風土に造詣が深く、独自の風土論を確立したフランスの著名な日本研究者。和辻哲郎『風土』に出会ったことを契機に、単なる自然環境ではない「風土」に関する画期的な研究に取り組む。地理学、哲学、人類学、そして日本研究の分野において大きく貢献

情報センター事業費

3. 調査研究費 / (3) 国際交流顕彰事業(地球市民賞)

国内各地で行われている地域に根ざした国際交流活動を振興するために、この分野で活躍している国内団体、個人を顕彰する。

合計額 16,991,655 円

	受賞者	都市	授賞理由
1	特定非営利活動法人かものはしプロジェクト	東京都渋谷区	カンボジアの児童教育や技術研修、人身売買阻止のための現地警察研修、コミュニティ・ビジネスによる自立支援などの活動を実践。活動資金を賄うためIT事業の受託で起業した点もアントレプレナー・モデルとして評価
2	特定非営利活動法人ブラジル友の会	岐阜県美濃加茂市	日本在住のブラジル人が直面する各種の困難や課題解決のための自助組織として設立された。日本での生活にまつわる相談や情報提供、地域の人材育成、就労支援、起業家支援なども積極的に展開し、美濃加茂市から定住外国人支援センターの運営を受託するまでに発展
3	特定非営利活動法人鳥の劇場	鳥取県鳥取市	演劇がもつ力や、地域社会における演劇上演、劇場の新たな可能性を引き出すべく、国際共同制作を含めた現代劇の創作・上演、ワークショップやレクチャーなどを実施。また、演劇に限定しない多様な芸術活動で地域のアート・センターとしての役割も果たす
4	陸前高田市国際交流協会 (理事長特別賞)	岩手県陸前高田市	日本語教室や国際文化交流イベントを通じて、地域の国際化に貢献。東日本大震災後は、行政と連携し、安否確認を始めとした生活相談、物資調達を通じて被災した在住外国人を支援
5	国際交流協会 ともだちin名取 (理事長特別賞)	宮城県名取市	在住外国人と市民が交流を通じ、「地球市民」として共生することを目指して活動。外国人が地域で孤立せず社会参画できるように支援する様々な取り組みに加え、東日本大震災後は、名取市の避難所の運営も支援
6	特定非営利活動法人 ザ・ピープル (理事長特別賞)	福島県いわき市	各地域の問題を、居住者自身が考え、その解決のため主体的に行動することを目的として設立。古着のリサイクルを通じて海外の恵まれない地域の自立支援や資源のリユースを実施

情報センター事業費

4. その他 / (1) 後援名義の付与(情報センター)

一定の要件を満たす国際交流事業に対して、国際交流基金の後援名義の使用を承認し、当該事業の実施を支援する。

合計額 0 円

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
1	第23回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 (APCC)	日本 アジア地域区分困難 米国 フランス	特定非営利活動法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡	2010.10.01 ~ 2011.09.30	アジア太平洋諸国・地域の子供たちが交流体験を通してお互いの国や地域、文化について考える機会を提供し、相互理解を促進、異文化体験を通じて、国際感覚あふれる青少年を育成する事業。 【派遣事業】では春休み期間中に、日本の子供たちを海外（モンゴル、インドネシア、シンガポール、スリランカ、モルディブ、ハワイ、ニューカレドニア）に派遣し、現地でのホームステイや学校訪問などを通じて生活文化を直に体験させ 【招へい事業】は、夏休み期間中に、アジア太平洋地域から「子ども大使」を招へいし、福岡でホームステイや交流キャンプ等を行うことで、海外の子供たちに日本に対する理解を深めてもらうと同時に、未来を担う子供たちにアジア太平洋の文化の多様性と異文化理解の大切さを実感させることを目的として実施
2	kids' ISO14000 プログラムの普及と国際交流	日本 フランス	特定非営利活動法人国際芸術技術協力機構	2011.07.01 ~ 2012.03.31	環境をテーマに、「現状分析、目標設定、実行、結果の振り返り（PDCA）」というプロセスを体験させることにより、子供達に問題解決能力をつけさせ、同時にプログラムを実施した海外の子供達とのネットワークを構築することで、子供同士が国際理解を深める機会を提供
3	第52回海外日系人大会	日本	海外日系人協会	2011.10.26 ~ 2011.10.28	海外在住日系人が母国で一堂に会し、居住国の実情を日本に知らせ、併せて国際交流、国際理解、国際親善を深め、世界の対日理解の促進と強化を図る事業
4	2011東アジア児童青少年舞台芸術フェスティバル	日本	日本国際児童青少年舞台芸術フェスティバル実行委員会	2011.07.22 ~ 2011.07.29	東アジアをはじめ海外の優れたアーティストに出会い、生の舞台芸術を体験することにより、子供たちの国際的理解・感性を養う。更に日本文化の理解・習得も支援。舞台芸術を通して21世紀を担う子供たちの創造・表現力を培う事業
5	世界コスプレサミット2011	日本	世界コスプレサミット実行委員会	2011.08.05 ~ 2011.08.08	常滑市での撮影会(8月5日)、コスプレパレード、日本代表選考会(8月6日)、世界コスプレチャンピオンシップ(8月7日)、国際シンポジウム、コスプレ撮影会inお菓子の城(8月8日)等を通じて、新しい国際交流の創造、また愛知県への海外旅行者の増加を図る事業
6	第14回京都東山文化振興会 in福井吉崎御坊建立記念日「蓮如イスマ」文化講演会	日本	本願寺文化興隆財団	2011.07.27	日本人の精神の基底を築いた宗教家であり、思想家の蓮如上人の伝統文化が連綿と受け継がれる、あわら市にて、「蓮如イスマ」と名付けた上人の思想や精神を昂揚する講演とパネルディスカッションを開催。全国からの参加者とともに、地元在住の交換留学生や外国人労働者を招致し、北陸が育んだ文化を国内外へ発信し、日本文化の発展にも資する事業
7	丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば2011	日本	丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば実行委員会	2011.09.03 ~ 2011.11.12	丹波地域からシューベルトのやさらかな音楽がこだまし、地域を越えて広く共感呼んだ前年度の「丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば2010」の成果をふまえ、音楽を通じた地域交流・国際交流のなご一層の推進を図る事業
8	第6回中国語スピーチコンテスト	日本	立命館孔子学院	2011.09.30 ~ 2011.10.30	中国語教育の促進、中国文化の理解の促進及び奨学生派遣のための選考の機会として第6回中国語スピーチコンテストを開催。中国語学習者の持続的な努力を奨励し、中国語運用能力の一層の向上に寄与。本年は、高校生以下の部はスピーチと漢詩暗誦、大学生を含む一般の部ではスピーチとその内容に関する質疑応答を実施

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
9	2011金沢工業大学・米国図書館・情報振興財団 図書館・情報科学に関する国際ラウンドテーブル会議	日本	金沢工業大学	2011.07.07 ~ 2011.07.08	電子出版物の閲覧環境の急速な充実と、これに伴った図書や雑誌、新聞などの「電子出版」の拡充が教育・研究に及ぼしている現状を先端的な事例と共に紹介し、意見交換・討論を実施
10	第7回武蔵野市国際オルガンコンクール	日本	武蔵野市国際オルガンコンクール組織委員会	2011.08.01 ~ 2012.09.30	広く日本及び海外の優秀なオルガン奏者を見出し、その育成と国際交流の進展に寄与することを目的とするパイプオルガンの国際コンクール
11	第24回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)	日本	宇部市	2011.09.24 ~ 2011.11.13	UBEビエンナーレは、山口県宇部市で1961年(昭和36年)から行われている野外彫刻展。新人彫刻家の登竜門として、全国の彫刻家に認知され、新進・新鋭彫刻家の発掘に大きく寄与している。また、現在では、海外作家の応募も多数を占め、芸術における国際交流の役割も果たしている。本年度は、市制施行90周年・野外彫刻展50周年記念事業として実施。選考された実物制定指定作品20点から、入賞作品を選考、更に、実物制定指定作品を公開展示。広く県民・市民に対して彫刻鑑賞の機会を提供
12	第16回カナガワビエンナーレ国際児童画展	日本	青年海外協力協会	2011.07.02 ~ 2012.03.31	絵画を通じて児童の夢と想像力を育み、多文化共生社会の実現に向けて、お互いの生活や文化を理解しあうために、神奈川県内及び世界各地から児童画を募集し、展覧会を開催
13	第33回中学高校英語教員による英語弁論大会	日本	国際教育振興会	2011.11.20	学校教育を通じて「英語の使える日本人」を育成し、小学校での英語教育の導入、高校での英語授業を英語で行う新方針に対応し、現場で教員に英語を発信するための実力開示の場を提供することなどを目的に、中学・高校教員による英語弁論大会を実施
14	全香港日本事情クイズ大会2011	中国	香港日本文化協会	2011.10.23	香港日本語学習者の日本に対する理解と関心を深め、学習意欲を高めることを目的に、日本事情に関するクイズ大会を実施
15	36th Japanese Language Speech Contest	中国	香港日本文化協会	2011.07.17	香港の日本語学習者の日本語能力を高め、香港市民の日本語学習に対する意識と関心を高めることを目的に、スピーチコンテストを実施する事業に対して後援名義を付与
16	ぎふアジア映画祭実行委員会	日本	ぎふアジア映画祭実行委員会	2011.08.20 ~ 2011.12.25	アジア各国の映画を上映することで、その国の文化風習などに触れる機会を提供し、アジア文化交流を深める場とする。岐阜文化センター、岐阜市民会館、CINEXで上映
17	吉増剛造賞第3回高校生小論文コンテスト	日本	城西国際大学 国際人文学部国際文化学科	2011.08.22 ~ 2011.11.05	高校生の年代の若者に、国際的な問題や文化交流に目を向け、自分自身の考えを持ち、文章で表現・発信する力をつけてもらうことを目的として、「地球市民として生きる」をテーマに、小論文のコンテストを実施
18	在日留学生音楽コンクール	日本	財団法人 国際文化交流事業財団	2012.01.08	国内での在日留学生などに対する関心が高まり留学生と日本人の相互理解が深まることを目指し、また、留学生を通じて各国における日本人及び日本文化に対する理解が深まり、国際文化交流の推進に役立つことを願い、日本に滞在している留学生及び研修生を対象とした、歌唱・楽器演奏・舞踊のコンクールを実施
19	漆の発見(Re-discovery of Lacquer)	日本	韓国漆文化研究院	2011.11.01 ~ 2011.11.05	従来注目されてこなかった漆の実用性や漆の天然原材料としての未来価値性に焦点を当てたデザイン展。漆工芸及びデザイン分野において、漆の現代化を牽引している韓国と日本の漆芸作家やデザイナーの作品を集めて、「漆」という両国の伝統に根ざし、かつ未来志向的なデザインを紹介する事業

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
20	第48回全国国際教育研究会 和歌山大会	日本	全国国際教育研究協議会	2011.08.18 ~ 2011.08.19	「つながりあい、学びあい、響きあい—近畿からつれもて世界へ—」を大会テーマに、第31回高校生英語弁論大会、第11回留学生日本語弁論大会を開催する事業に対して後援名義を付与
21	シンポジウム「神戸大学国際交流促進事業／北京外国語大学創立70周年記念事業—現代日本サブカルチャーをめぐる現代中国との対話—」	日本	神戸大学	2011.09.02	現代日本のサブカルチャー(マンガやアニメ等)については、世界中では大きな存在感を持つことが知られながら、これまで学問的な対象としては深められてこなかった。神戸大学と北京外国語大学は、神戸大学に設立されている「日本サブカルチャー研究会」の研究資源を活用し、北京外国語大学創立70周年事業の一環として、現代中国の若者と現代日本文化をめぐる学問的対話を深める目的でシンポジウムを開催
22	東日本大震災支援チャリティーコンサート「ウィーンフィルのプリンシパル ワルター・アウアーと仲間たち」	日本	特定非営利法人 自然生クラブ	2011.08.27	障害者と共に芸術活動を行っている、自然生クラブ(じねんじょクラブ)の活動に共鳴し、同クラブとの交流を続けているウィーンフィルハーモニーの首席フルート奏者ワルター・アウアーが、賛同する日本人音楽家と共に、東日本大震災支援チャリティーコンサートを開催
23	第18回多文化間精神医学会学術総会 市民公開シンポジウム	日本	多文化間精神医学会学術総会	2011.09.30 ~ 2011.10.01	多文化間精神医学会では東日本大震災発生後、被災した外国人、その支援者へのメンタルヘルス支援として「多文化災害支援委員会」を立ち上げ、情報の収集、情報の提供、支援提供の三本柱で活動を行っている。被災地の外国人からの報告等を中心に、メンタルヘルスの側面からの国際支援、交流を目的とした取り組みを市民公開シンポジウムで発表する事業
24	第16回海外高校生による日本語スピーチコンテスト	日本	特定非営利活動法人 エデュケーション・ガーディアンシップ・グループ	2011.07.22 ~ 2011.07.31	海外12カ国(国と地域)で日本語を学習している高校生が出場する、日本語のスピーチコンテスト国際大会。コンテスト出場者は、日本滞在中に、日本の青少年との交流活動を通じて、それぞれの国や文化、お互いのことを理解し合い、友情を育む「異文化交流プログラム」や、コンテスト出場者と日本の青少年が日本語を用いながら、現代社会の様々な問題を青少年の立場から意見交換する「日本語イマージョンプログラム」にも参加
25	陰陽師朗読コンサート	英国	オープンミュージック	2011.09.23	国際交流基金の助成を受けて、2010年秋に夢枕獏(作家)がフランスで講演会「陰陽師を通じてみる日本」を開催したのに続き、本年はKy(仲野麻紀、ヤン・ピタール)が来日して日本で朗読コンサートを実施
26	吉左衛門X Audela 言語の彼方へ 楽吉左衛門フランスでの作陶／花入+Bruno Mathon ドローイング	日本	公益財団法人 佐川美術館	2011.08.27 ~ 2012.04.08	楽吉左衛門は2007年以降、4年間にわたり毎夏フランス南西部のルビニャック村に滞在し、茶碗、花入、水指など多くの作品を制作。その中から花入を中心に選定、パリ在住の洋画家ブルーノ・マトン(Bruno Mathon)の絵画作品と共に展覧する事業を実施
27	世界のおりがみ展「護ろう世界遺産」企画展	日本	日本折紙協会	2011.08.11 ~ 2011.08.17	日本の伝統大衆文化であるおりがみの普及を目的に、日本折紙協会の全国支部が作成したジオラマ作品や国内外の個人作品を一堂に展示し、一枚の紙が織りなす芸術的作品を展覧

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
28	ワールド・コロボ・フェスタ2011	日本	ワールド・コロボ・フェスタ実行委員会	2011.10.22 ~ 2011.10.23	国際交流、国際協力、多文化共生の重要性を学ぶことで、持続可能な社会の実現を目指し、中部地域を発信地とする「学び、考え、行動する場」を市民、NGO・NPO、企業、行政が協力して作り上げることを目的に、国際機関やNPO・NGO、主催者による国際交流、国際協力、多文化共生など多種多様なテーマでステージやブースを展開する「世界交流祭」を開催
29	第14回京都国際学生映画祭 (KISFVF2011)	日本	大学コンソーシアム京都	2011.11.19 ~ 2011.11.26	世界各国の学生映画を募集し、入選した作品を上映。また、国内外から入選した学生監督やプロとして第一線で活躍している映画関係者を招へいし、国際的な映画制作の場を設ける事業
30	渋沢栄一賞実施事業	日本	埼玉県	2011.08.01 ~ 2012.03.31	渋沢栄一の業績をたたえ、渋沢栄一の精神を今に受け継ぐ健全な企業活動を営むとともに、国際交流・協力などの分野で社会貢献活動が顕著な全国の企業経営者に渋沢栄一賞を贈る事業
31	第24回 JAPAN TENT—世界留学生交流・いしかわ2011—	日本	ジャパン・テント開催委員会	2011.08.18 ~ 2011.08.24	国際社会の明日を担う外国人留学生を石川県に招致し、県民との交流の中から日本の文化や社会、生活を肌で感じてもらい、真の日本と日本人を知ってもらえる場を提供する事業
32	第36回ジャパンウィーク 2011年 フランクフルト・アム・マイン	日本	国際親善協会	2011.11.05 ~ 2011.11.11	市民レベル、地域レベルでの文化・スポーツをはじめとする多岐にわたる交流を通じて、日本と開催国との間の友好親善、相互理解を促進し、更に両国の地域社会づくりに貢献する事業
33	第24回東京国際映画祭	日本	公益財団法人ユニジャパン	2011.10.22 ~ 2011.10.30	国際映画製作者連盟(International Federation of Film Producers Associations)公認の国際映画祭としてアジア最大規模の映画祭。映像コンテンツ分野における国際交流の促進や次代の映画界を担う才能の発掘と育成及び日本の映画・映像産業の振興と世界市場へ向けてのプレゼンスの発信等を目的に、毎年度開催。「コンペティション」部門、「アジアの風」部門、「日本映画・ある視点」部門、「特別招待作品」部門等の上映企画に加え、映画・映像に関連する多くのセミナーやシンポジウム等を実施
34	第15期日本インド学生会議	日本	日本インド学生会議	2011.09.10 ~ 2011.09.19	日本とインドにそれぞれ現存、伏在する問題、二国間における問題について議論する分科会を行うと共に、文化交流会と企業・NGOを訪問するフィールドワークを行うことで、日本とインドの学生の交流を図り、相互理解を深め、よりよい日印関係を築くきっかけを作り、社会に発信していく事業。今回の会議では、原子力を始め様々なエネルギー問題を取上げ、未来の創造について考え、検証
35	第13回語学留学生の祭典「進学・就職・国際フェア」	日本	日本語学校ネットワーク	2011.10.25	日本語の普及、日本語学校卒業後の進路紹介、国際交流及び日本理解の場を提供することを目的とし、大学・専門学校紹介のブース・企業ブース・各国文化紹介のブース等を設営し、国際交流の集いを開催
36	朴順雅 カヤグム リサイタルin東京	日本	有限会社ハン・コーポレーション	2012.01.13	日本で育ち、現在韓国を拠点に日本、ヨーロッパなどで多彩な演奏活動を展開している朴順雅のカヤグム(伽耶琴)リサイタル
37	ウズベキスタン日本学生学術フォーラム2011	日本	筑波大学	2011.10.29 ~ 2011.10.30	筑波大学国際化促進事業の一環として、ウズベキスタンの留学生と日本人学生との知的学術交流を図り、学生たちの知的好奇心を一層高めるとともに、国際的信頼醸成の大切さを直に体感できる場を実現する。また、公開講演会などを開催することで、一般市民にもウズベキスタン、中央アジア諸国を知る機会を提供し、草の根のレベルでの交流への足掛かりをつくる事業

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
38	国際都市新宿 踊りの祭典2011	日本	新宿未来創造財団	2011. 11. 05	「国際都市新宿」「文化芸術創造のまち新宿」をアピールするために、世界の民族舞踊の紹介を中心に、各国の名産品や物産品・歴史・文化等を紹介する事業。第3回を迎える本イベントでは、民族舞踊を中心に音楽演奏や出店ブースを大幅に増やし、規模を拡大
39	アース・ビジョン 第20回地球環境映像祭	日本	アース・ビジョン組織委員会	2012. 03. 16 ~ 2012. 03. 18	1992年にアジア初の国際環境映像祭「アース・ビジョン第1回地球環境映像祭」を開催。以来、アジア・オセアニア・ポリネシア地域の作品を公募し上映。環境映像の普及と制作者に作品発表の場の提供及び交流・支援を目的としてきた。第14回の映像祭以降、新たに「子どものための環境映像部門」を設けて全世界から作品を募集し、優秀作品を紹介することで、次世代を担う子ども、若者が、環境映像を通して地球環境や世界の社会、文化に触れ、考える機会を広げることを目指す
40	第12回NHKアジア・フィルム・フェスティバル	日本	日本放送協会(NHK)	2011. 10. 15 ~ 2011. 10. 19	アジア各国の新進気鋭の監督が制作した最新の映画から優れた作品を精選して上映。各国の文化や歴史に対する理解を深めるために識者の解説も交え、アジアの映像文化の振興に寄与することを目的に実施する映画祭。1995年に映画生誕100年、放送開始70周年の記念事業としてスタートし、隔年で実施、2006年からは毎年開催となる。本年は12回目の開催
41	日本現代書 チェコ・ボヘミア国際交流展	日本	東洋書人連合	2011. 10. 19 ~ 2011. 10. 22	「日本の現代書を世界の芸術に」という目的で、チェコで書展を開き、会場で席書揮毫のデモンストレーションや講演会を行い、現地の人々と意思疎通をはかると同時に現代の日本、日本の芸術文化の啓蒙宣伝と国際文化交流並びに国際親善に努める事業
42	第1回アジア民族服飾文化展	日本	日本インドネシア服飾文化協会	2011. 09. 08 ~ 2011. 09. 12	東アジア・東南アジア諸民族の服飾の展示、ファッション・ショーの開催、講演会、シンポジウム等を行い、アジアの伝統服飾を通して諸民族のアイデンティティの現状を考える事業
43	「障害者週間」東欧音楽家支援 国際親善交流特別演奏会	日本	日本音楽文化交流協会	2011. 11. 07 ~ 2012. 03. 26	毎年、世界各国の演奏家を日本に招へいし、国際親善交流とお互いの文化の発展向上を目標に開催。また、日頃演奏会を楽しむ機会の少ない視覚障害者や身体障害者、ボランティア団体・母子家庭・養護施設の子供たち、高齢者等を招待し、健常者と共に一流の音楽を堪能し文化の振興をはかるもので、社会貢献の一環として継続実施
44	文化遺産国際協力コンソーシアムシンポジウム「文化遺産を危機から救えー緊急保存の現場からー」	日本	文化遺産国際協力コンソーシアム	2011. 10. 16	我が国の文化遺産国際協力内容及び効果を国民に周知し、国際協力の重要性について国民の理解を促進する事業。今回は特に、被災し消滅の危機にある文化財の緊急支援について紹介。一般の人々に、文化遺産が直面している具体的な課題を理解し、支援の意味や重要性を考えてもらう事業
45	第33回国際学生シンポジウム運営委員会	日本	第34回国際学生シンポジウム運営委員会	2011. 12. 26 ~ 2011. 12. 28	世界で起こる諸問題に対して主体的に行動し、問題解決の原動力となる人材を育成するため、問題解決の契機となる議論の場を提供する事業。約200名の学生が9つの分科会に分かれ、3日間にわたってディスカッションを行い、最終日に報告会を開催
46	第35回福澤杯争奪全日本学生英語弁論大会	日本	慶應義塾大学英語會	2011. 10. 22	大学生の将来的な国際社会での活躍を視野に入れ、英語によるコミュニケーション能力の向上を目的に、全国の大学生を対象とした英語弁論大会を開催。事前に考えてきたテーマで行う7分間のスピーチと、その場で与えられたテーマについて3分間で行うスピーチの2種類の結果により、優勝者を決定

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
47	東京TVフォーラム	日本	社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟	2011.12.12 ~ 2011.12.14	日本発のコンテンツ展開を促進していくために、東京TVフォーラムを開催。日本の課題について検討する「国際シンポジウム」、国際市場をリードしている国内外のプロデューサーを招へいしての「国際テレビ番組提案会議」「ピッチング・セッション」を実施。海外のコンテンツ・マーケットの実情を知るための「ワークショップ」も開催
48	2011日本・中国アニメ・フェスティバル／中国映画テレビ週間	日本	日中友好映画祭実行委員会	2011.10.22 ~ 2011.10.30	日中両国相互の理解と友好を深めることを目的に、東京国際映画祭の期間中の提携企画として、東京、札幌の2都市にて日中映画テレビ週間アニメ・フェスティバルを開催
49	第25回国際交流祭 in ブレーメン	ドイツ	株式会社NHK文化センター	2011.11.18 ~ 2011.11.20	民間の草の根による相互理解と友好親善を目的とした国際交流を図るため、日本文化を紹介する展示・実演や音楽や舞踏などの舞台公演を開催。今回は「日独交流150周年」という記念の年でもあり、開催地の特徴を生かしたメルヘン街道企画や現地カルチャーセンター講師・受講生と開催地の一般の人々との音楽祭や展示会を開催し文化の交流、友好を促進
50	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2011—タイタンたち—	日本	株式会社東京国際フォーラム	2011.04.28 ~ 2011.05.05	クラシック音楽愛好者の裾野を広げ、素晴らしさをあらゆる人々で分かち合うことを目的に開催。特に、子供たちにクラシック音楽の素晴らしさと感動を伝えると同時に、海外と日本の音楽家たちの交流を通じて国際文化交流を促進し、更に、東京、日本の魅力を世界に発信することで、海外からの観光客誘致も図る。東京国際フォーラムと地元企業等が連携して音楽祭を開催。本年は、「タイタンたち」をテーマに後期ロマン派(1850～1950年)の巨人(タイタン)の作品を取り上げ、クラシック音楽祭を開催
51	平成23年度日本語教育能力検定試験	日本	日本国際教育支援協会	2011.10.23	日本語教員となるために学習している者、日本語教員として教育に携わっている者を対象として、日本語教育の実践につながる体系的な知識が基礎的な水準に達しているかどうか、また、同知識を状況に応じて関連づけ、多様な現場に対応する能力が基礎的な水準に達しているかどうかを検定する事業
52	第12回大阪国際音楽コンクール	日本	大阪国際音楽振興会	2011.04.01 ~ 2011.10.09	世界平和と相互理解に貢献することを希求し、関西で国際規模のコンクールを開催することにより、芸術、文化を発信するとともに、全世界へ羽ばたく数多くの若い音楽家を見出すことを目的とする事業。ピアノ、弦楽器を学ぶ小学3年生以上、管楽器・声楽を学ぶ中学生以上の者を対象とした音楽コンクール
53	第32回霧島国際音楽祭	日本	ジェスク音楽文化振興会	2011.07.22 ~ 2011.08.07	日本及びアジアの音楽家を目指す学生たちを対象とし、世界一流のアーティストを講師に招へいし、マスタークラスと演奏会を開催することにより、地域、日本国内ひいてはアジアの音楽文化の発展に資する事業
54	第7回香港中高生日本語スピーチコンテスト	中国	香港日本語教育研究会	2011.04.10	香港の中高生に日本語学習を奨励するために開催する日本語スピーチコンテスト。自由題の「スピーチの部」に加え、初級学習者の参加を促すために課題詩「暗誦の部」を設けて行う事業
55	第32回世界アマチュア囲碁選手権戦 島根大会	日本	公益財団法人 日本棋院	2011.05.26 ~ 2011.06.03	日本伝統文化である囲碁を通じて国際親善、国際交流を深め、世界平和に寄与することを目的とする事業。競技を通じて囲碁技術の向上や各国囲碁組織の強化発展を図る。71の国と地域から71名の代表選手が参加。スイスシステムによる個人対局、8回戦を行い、世界アマチュアナンバーワンを決定

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
56	「ふじのくに せ かい演劇祭2011」 (英題：Theatre Festival Shizuoka under Mt. Fuji 2011)	日本	財団法人 静岡市 舞台芸術センター (SPAC)	2011.06.04 ～ 2011.07.03	2011年から、従来「Shizuoka春の芸術祭」として行われてきたフェスティバルの名称を改め、「ふじのくにせかい演劇祭」として再スタート。静岡県の文化政策である「ふじのくに芸術回廊」と連携しながら、世界最先端の演劇、ダンス、ミュージカル、優れた古典芸能などを招へいし、静岡で世界中のアーティストが出会い、交流する、ダイナミックな「ふじのくにと世界の交流」の実現を理念として実施している事業
57	日本語教育学会シン ポジウム「活気 ある社会づくりと 日本語教育」	日本	(社)日本語教育学 会	2011.06.26	日本語教育は、外国人のみならず、日本人や日本社会にとっても身近で具体的な効果や長期的で広範な波及効果を生み出し、今まさに日本が必要とするものであるという観点で、専門家や経済人が議論。日本語教育政策の現状を踏まえ、長期的で包括的な視野に立った政策のあるべき姿について、この課題と真剣に向かつてきた与野党の国会議員が議論を交わすシンポジウムに対して後援名義を付与
58	第6回中国日本語ス ピーチコンテスト	日本	株式会社日本経済 新聞社	2011.04.01 ～ 2011.07.25	日本語を学ぶ中国全土の大学生の中から、8カ所の地区予選を通過した16名を選抜、日本に招致して本選を開くとともに、日本の財政界の人々や大学生と交流を行う催し。中国人学生の日本語学習意欲を高めると同時に、日本人との交流を通じて、日本理解を深めてもらうことを目的とした事業
59	第7回ルーマニア国 際音楽コンクール	日本	日本ルーマニア音 楽協会	2011.08.24 ～ 2012.01.24	音楽を通じた国際交流と若手アーティストの演奏活動支援を目的として開催する国際音楽コンクール
60	アジア芸術家交流 展—京都からの出 発—	日本	アジア芸術家交流 会実行委員会	2011.06.04 ～ 2011.07.03	これまで芸術活動や研究を通じて対話を重ねてきたアジア5カ国のメンバーが中心となってアジアの芸術文化をつなぐネットワークを広げ、展覧会、シンポジウム、レジデンス、出版物等を通じて次世代へ継承することを目指す。日本発の芸術文化をアジアから世界へ広げ、次世代へと受け継ぐ交流展を行う事業
61	第37回全国語学教 育学会年次国際大 会	日本	全国語学教育学会	2011.11.18 ～ 2011.11.21	第二言語・外国語としての言語教育の理論と実践をさまざまな角度から考え、日本における言語教育の向上を図るため、国内外の語学教育関係者による講演、研究発表や教材の展示等を行う事業
62	文学賞「第十二回 蓮如賞」第2部記念 行事	日本	本願寺文化興隆財 団	2011.12.10	日本の精神文化・伝統文化を宗教、文学、思想、哲学、芸術などの面から多角的に論じて、その興隆を期すシンポジウム。混迷の世界情勢にこそ求められる日本の文化を、京都から世界へ伝えるべく、関西在住の外国人研究者を招へい
63	第18回陝西省大学 生日本語弁論大会 ／第8回日本語教育 セミナー	日本	全国日本学士会	2011.11.04 ～ 2011.11.07	中国・西北地域で日本語弁論大会を通じ日本語普及事業を実施。国際交流と日本語普及を目的に、西安の著名大学数校の学生代表者の参加を得て、陝西省政府との共催で実施。併せて前日に、派遣教授による日本語教育セミナーを開催し、西安における日本語教師の日本語研修も実施
64	第10回 全養協 フォーラム「日本 語教師の実践力一 現状を打破するス キルアップのため に！」	日本	全国日本語教師養 成協議会	2011.11.20	日本語教師のスキルアップを目的とした基調講演及びパネルトークの実施

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
65	桜美林学園創立90周年記念 「J.F. Oberlinとそのレガシー」—世界における教育思想の継承—	日本	桜美林学園	2011. 10. 29 ~ 2011. 11. 25	桜美林学園の前身である北京の崇貞学園創立から90周年を記念し、創立者の教育における精神的・思想的根源となっているJ.F. オベリンの理解を深めるため、記念展示「未来に満ちた物語」を開催。併せて、オベリンの名を持つ日米仏独の機関の代表者を集めて記念シンポジウム・パネルディスカッション「J.F. Oberlinとそのレガシー」を実施する事業
66	あーすフェスタかながわ2011	日本	あーすフェスタかながわ2011・2012実行委員会	2011. 11. 26 ~ 2011. 11. 27	地域社会と外国籍県民がより交流を深め、相互の協力関係を作り上げていくための機会として、外国籍県民やNGO等の企画・協力により、参加者が「多文化共生」や「国際理解」についてともに考え、ともに語らい、ともに楽しむ催しを開催
67	「大震災から未来へ」世界のポスター展	日本	日本国際ポスター美術館	2011. 10. 22 ~ 2011. 12. 22	東日本大震災に寄せる各国のアーティストのポスターを展示。被災地の一日も早い復興への願望と被災者への支援の気持ちを発信。世界で活躍するアーティスト32名(11カ国)から東日本大震災へ寄せられた作品48点を一挙展示。ホームページにも掲載し世界へ向けて情報発信
68	アサヒ・アート・フェスティバル(AAF)2011報告会	日本	アサヒ・アート・フェスティバル実行委員会	2011. 11. 19 ~ 2011. 11. 20	アサヒ・アート・フェスティバル2011(2011年6月18日~9月11日)に参加した全国26のアート・プロジェクト関係者が一堂に会し、各プロジェクトの成果を発表し、地域におけるアートの今後の課題と可能性についてディスカッションを行う事業。AAF10周年特別企画として開催した「AAF世界ネットワーク・プロジェクト」スタディーツアー(2011年8月実施、国際交流基金が共催)の被招へい者のうち、Kim Kang(韓国/LAB39・Centre for Art & Urban Society代表)及び Lew Pik-Svonn(マレーシア/Chow Kit Kitaプロジェクト・マネージャー)がゲスト参加し、海外のアーティストと交流
69	紛争地域から生まれた演劇シリーズ3 動乱と演劇	日本	国際演劇協会	2011. 12. 02 ~ 2011. 12. 04	国際演劇協会は、毎年、世界各国の一年間の動向をまとめた『国際演劇年鑑』を発行しており、その一環として、H21年度から「紛争地域に生まれた演劇」を特集企画し、リーディングやレクチャー・シンポジウムを開催している。H23年度は時代と体制が引き起こす社会の軋轢や、それが個人に与える過酷な現実を扱った作品のリーディング及びシンポジウムを開催
70	第5回21世紀ミュージアムサミット 「100人で語るミュージアムの未来—人々をつなぐミュージアムのこれから」	日本	かながわ国際交流財団	2012. 02. 04 ~ 2012. 02. 05	地域の文化の重要な拠点であるミュージアムの課題と将来に向けての展望を、ミュージアムの実務者を中心に文化政策担当者、市民グループ、企業関係者、研究者、マスメディア関係者など多様な関係者が議論
71	東京外国語大学留学生日本語教育センター附属日本語学校と教材開発センター統合20周年記念企画国際シンポジウム	日本	東京外国語大学留学生日本語教育センター	2012. 03. 02	附属日本語学校と教材開発センターの統合20周年を節目として、今後の教育研究開発について考え、語り合い、より深い研究へ掘り下げていく機会とするために、「これからの教材開発・教育リソース研究を考える」をテーマにシンポジウムを開催

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
72	マクヴェイン没後百周年記念国際シンポジウム「工部省測量司長マクヴェインと明治初期日本」	日本	豊橋技術科学大学大学院	2012. 02. 18	コリン・アレクサンダー・マクヴェインはスコットランド出身の土木技術者で、幕府に雇われ、燈台建設に従事し、明治維新後、工部省の立ち上げに尽力したお雇い外国人。同氏は、業務と生活の様子を日記や写真などに詳細に記録。今回、イギリス人を含む関連分野研究者が集まり、同氏の業績を検証、顕彰するとともに、今後、貴重な同氏の記録資料の一層の学術的解明を促進することを目的に国際シンポジウムを開催
73	第8回日本語学校合同スピーチ大会	日本	第8回日本語学校合同スピーチ大会実行委員会	2012. 02. 10	東京の日本語学校8校が共同で実施する日本語スピーチ大会の第8回大会(2005年開始)。参加8校の学生が構成する学生実行委員会が企画運営し、学校間交流に加えて、企業等の各界との交流も実施
74	第8回クールシュヴェール国際音楽アカデミーinかさま	日本	クールシュヴェール国際音楽アカデミーinかさま実行委員会	2012. 03. 16 ~ 2012. 03. 20	フランスで毎年開催される世界国有数の音楽家によるアカデミー「クールシュヴェール夏季国際音楽アカデミー」のカリキュラムに従って、国際的に活躍する音楽家を育成することを目指し、ヴァイオリンとピアノのマスタークラスを開催
75	第27回北方圏国際シンポジウムーオホーツク海と流氷ー	日本	北方圏国際シンポジウム実行委員会	2012. 02. 19 ~ 2012. 02. 24	流氷と氷海に関わりを持つ全ての分野での研究技術情報の交換や海洋環境の保全を目的とした研究発表、オホーツク海に接する北方民族文化に焦点を当て、オホーツク海文化圏における豊かで個性的な生活・文化の構築を目指しシンポジウムを開催
76	日豪経済委員会50周年記念懸賞論文	日本	日豪経済委員会	2012. 02. 21 ~ 2012. 10. 10	日豪関係をテーマとした懸賞論文を募集することにより、日豪両国関係の重要性についての認識を高め、今後の日豪関係のあるべき姿を考える契機とする趣旨で、論文テーマ「これからの日豪関係を考える」を募集。日豪経済委員会会長賞、審査委員長賞各1名の入賞者を2012年10月初旬にシドニーで開催される表彰式において表彰
77	シンポジウム「未来を生き抜くための外国語教育に挑む」一つながりを実現するアクションプランー	日本	国際文化フォーラム	2012. 03. 03	多様なことばや文化的背景をもつ人びとが共生し協働するグローバル社会自体の担い手育成の要として外国語教育を位置づけ、そのあり方を見直すとともに、その意義と使命をアピールし、さまざまなつながりを実現する新たな外国語教育の方策と行動計画を参加者とともに考えるシンポジウムを開催
78	第24回アジア太平洋子ども会議・イン福岡	日本	アジア・太平洋子ども会議イン福岡実行委員会	2012. 03. 25 ~ 2012. 03. 31	アジア・太平洋諸国、地域の相互理解を促進するため、日本の子供たちを海外に派遣し、現地でホームステイや学校訪問などを実施。また、アジア・太平洋各地から子ども大使を招へいし、日本でホームステイや学校登校、交流キャンプなどを実施
79	言語文化教育研究会シリーズ研究会第10回研究集会	日本	言語文化教育研究会	2012. 03. 02	言語文化教育研究会シリーズ研究会研究集会第10回の記念としてフランスにおいて開催するもので、ヨーロッパの言語教育関係者に広く声をかけ、「言語教育とアイデンティティ」をテーマに議論

調査研究及び情報提供事業等に必要経費

企画・評価費

1. 調査研究費

- (1) 調査研究
- (2) 事業評価（企画評価）

企画・評価費

1. 調査研究費 / (1) 調査研究

国際交流の促進に資する各種調査研究を行い、この成果を広く内外に公開する。

合計額 3,244,621 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	評価調査	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	事業実施による成果を把握するため、社会調査等の手法を用いた調査を実施

企画・評価費

1. 調査研究費 / (2) 事業評価(企画評価)

国際交流の促進に資する各種調査研究を行い、この成果を広く内外に公開する。

合計額 1,224,270 円

	事業名	期間	事業内容
1	専門評価	2011.04.01 ~ 2011.06.30	平成22年度業務実績報告書の客観性と信頼性を高め、改善事項を把握するため、事業プログラムごとに外部専門家による評価を実施
2	評価に関する有識者委員会	2011.04.01 ~ 2011.06.30	国際交流基金の業務について、各年度終了後に行う自己評価の妥当性、評価方針、方法並び評価結果を踏まえた業務の改善について、有識者に諮るための委員会を開催

調査研究及び情報提供事業等に必要経費

文化事情調査費

1. 調査研究費

(1) 文化事情調査

文化事情調査費

1. 調査研究費 / (1) 文化事情調査

国際交流基金の総合的企画立案機能強化の一環として、相手国別に文化事情を調査し、また、当該国と日本との文化交流において当基金が果たすべき役割等につき、方針を策定する。

合計額 4,046,538 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	ミャンマー文化交流ミッション	ミャンマー	2012.02.01 ~ 2012.04.30	2012年度に実施するミャンマーへの文化関係者派遣に係る準備

調査研究及び情報提供事業等に必要経費

国際文化交流調査研究費

1. 調査研究費

(1) 機関連携事業

(2) 調査研究

国際文化交流調査研究費

1. 調査研究費 / (1) 機関連携事業

大学等の機関と連携して行う国際文化交流講座等の事業。

合計額 138,650 円

	事業名	共催機関	期間	事業内容
1	大学連携国際文化交流講座	上智大学	2011.04.01 ~ 2012.03.31	上智大学と連携して、同大学の秋期公開講座の一つとして国際文化交流講座「国際文化交渉学の構築を目指して—国際文化の発信によりモデルなき時代の波をつかむ—」を開講(全11講義)。国際文化交渉の最前線に陣取り、政治・経済の対話と衝突の現場から、また、文化活動の舞台から、文化交流の先に見える「国際文化交渉学」の理論構築が可能かどうか、新しいコンセプトを提案していくことを目的として実施

国際文化交流調査研究費

1. 調査研究費 / (2) 調査研究

「平和のための文化イニシアティブ」「地域活性化と国際交流」「各国文化機関の比較研究」等のテーマによる研究プロジェクト、紀要の発行等。

合計額 11,194,045 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	平和構築と文化	全世界区分困難	2011.05.01 ~ 2012.03.31	平和構築と文化に関する情報収集、翻訳等を実施
2	国際交流共同研究センター事業	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	青山学院大学との連携により創設した国際交流共同研究センターにおいて、「平和と文化」「多文化共生と国際交流」等をテーマに調査研究事業を実施
3	国際文化交流政策情報収集	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	諸外国の広報・文化外交に関する報告書、文化関係機関の年報、政府や文化関係者による記者発表等を翻訳・情報収集し、国際文化交流の動向を調査

調査研究及び情報提供事業等に必要経費 事業開発戦略室事業費

1. 催し等事業費

(1) 事業開発 (催し)

2. 文化資料事業費

(1) 事業開発 (文化資料)

事業開発戦略室事業費

1. 催し等事業費 / (1) 事業開発(催し)

企業等と連携した新規事業及び従来の枠組みや発想にとらわれない部門横断型事業の開発と実施。

合計額 48,664,695 円

	事業名	実施国	都市	共催・協力機関	期間	事業内容
1	日韓パッケージデザイン交流	韓国 日本	ソウル 東京23区	株式会社ロッテ 社団法人日本パッケージデザイン協会 大日本印刷株式会社 日韓学生パッケージデザイン交流プロジェクト実行委員会	2011.05.26 ~ 2012.03.31	平成24年度に実施する第2回日韓学生パッケージデザインコンテストに向けて、今年度は事前告知事業と位置付け、日本及び韓国にて学生向けのフォーラムを実施し、両国の学生に対してプロのデザイナーによるレクチャー・ワークショップの場を提供すると共に、「日韓学生パッケージデザイン交流プロジェクト」の概要やコンテストに関する広報活動を実施
2	コンテスト事業(ロゴマーク)	韓国 中国 日本 ブラジル イスラエル	ソウル 北京 東京23区 サン・パウロ テルアビブ	日本デザイナー学院 日本工学院専門学校 日本電子専門学校	2012.02.01 ~ 2012.03.31	国際交流基金設立40周年を記念して、次年度に実施される各種事業に使用するロゴマークデザインを決定するため、世界中の学生を対象としたデザインコンテストを実施
3	先駆的・創造的事業(新宿区プロジェクト)	日本	東京23区 石巻市	しんじゅくアートプロジェクト みんなのおうち	2011.04.01 ~ 2012.03.31	平成22年度に採用となった先駆的・創造的事業「新宿区との連携事業」に関して、総括的な事業報告会を開催。大田区他5機関の協力を得て映像巡回上映・体験ワークショップを広報活動として7回実施。その他石巻市において、住民参加型の「石巻仮設住宅アートプロジェクト」を実施
4	商品開発事業	日本 ドイツ	東京23区 ケルン	在ドイツ大使館 杉野学園ドレスメーカー学院 日本デザイナー学院 日本工学院専門学校	2011.04.25 ~ 2012.03.31	ドイツと日本の今後のデザイン界を担う大学生・専門学校生向けに「ふるしきデザインコンテスト」を開催。両国から選ばれたデザイン(計2点)は、2011年日独交流150周年記念グッズのふるしきとして製品化し、ドイツと日本の交流深化を図る 【日独交流150周年記念事業】

事業開発戦略室事業費

	事業名	実施国	都市	共催・協力機関	期間	事業内容
5	商品開発事業	日本 イスラエル	東京23区 テルアビブ	ホロン・デザイン美術館 在イスラエル大使館 杉野学園ドレスメーカー学院 日本デザイナー学院 日本工学院専門学校	2011.05.19 ~ 2012.03.31	イスラエルと日本のこれからのデザインを担う大学生・専門学校生向けに「ふろしきデザインコンテスト」を開催。また、生活文化チーム主管「平成23年度日本文化紹介派遣(主催)」プログラムにて、実施されるふろしきに関するレクチャー・デモンストレーション事業と関連付けてイスラエルにて実施。ふろしきによる日本の伝統的な「包む文化」をより広い範囲・対象者に対し、様々な観点から紹介 【日本イスラエル外交関係樹立60周年記念事業】(2012年)
6	東日本大震災に関する映像上映会及びシンポジウム	インドネシア ベトナム マレーシア 米国 メキシコ ブラジル イタリア スペイン ドイツ フランス ハンガリー エジプト	ジャカルタ ハノイ ホー・チ・ミン クアラルンプール ロサンゼルス メキシコシティ クリティーバ サン・パウロ ローマ マドリード ケルン パリ ブダペスト カイロ	財団法人アジア太平洋観光交流センター(APTEC)	2011.04.01 ~ 2012.03.31	東日本大震災を支援し注目してきた各国に対して、東日本大震災を乗り越えた日本の現状を伝え、今までの支援協力に対する感謝の気持ちを示す意味から、各国の海外拠点において東日本大震災に関する映像の上映会とシンポジウム等を開催。財団法人アジア太平洋観光交流センターとの共催契約に基づき映像作品を制作、国際交流基金海外拠点の要望に基づき映像作品の上映会を実施。イタリア、及びスペインでは建築家及び震災復興の現状を伝える専門家を派遣
7	CSR連携事業	マレーシア	クアラルンプール	特定非営利活動法人 パブリックリソースセンター	2011.08.18 ~ 2012.03.31	海外の日系企業の現地での社会貢献活動への取り組み状況やその背景を把握し、国際交流基金と現地日系企業との連携の可能性を探ると共に、現地日系企業の社会貢献活動への取り組みの広報活動として、調査結果を公開。当基金と現地日系企業との関係強化を図る

事業開発戦略室事業費

	事業名	実施国	都市	共催・協力機関	期間	事業内容
8	にほんのうた紹介事業	ブラジル	サン・パウロ ロンドリーナ	サンパウロ新聞社 にほんのうた実行委員会 株式会社ブルボン	2011.09.22 ~ 2012.03.31	海外で生活する日系人や日本語学習者等に対して「美しい日本語」を再認識してもらうことを目指して、またあらゆる層に対して日本語への関心を高め、日本語学習者を増やすことを目的とする事業。日本国内で同プロジェクトを主催している「にほんのうた実行委員会」を共催機関とし、ブルボン社、サンパウロ新聞の資金・業務協力を得て、企業連携事業として実施。関連映像作品の上映と八代亜紀の派遣による公演活動、交流事業を実施
9	日本のマンガ教室	スペイン フランス	マドリード パリ	京都国際マンガミュージアム 京都精華大学国際マンガ研究センター	2011.04.11 ~ 2011.04.24	マンガ家の指導による描き方教室、専門家による日本のマンガに関する文化講演会、マンガを利用した日本語教室等のさまざまな切り口から、さまざまな対象層に日本のマンガを紹介することにより、日本のマンガ理解及び日本理解につながることを目的とした事業
10	商品開発事業	ポーランド	ワルシャワ	ワルシャワ美術大学 学校法人杉野学園 在ポーランド大使館 杉野学園ドレスメーカー学院 日本デザイナー学院 日本工学院専門学校	2011.07.26 ~ 2012.03.31	ポーランド、日本間の文化交流事業の一環として、ポーランドと日本の今後のデザイン界を担う大学生、専門学校生向けに「ふろしきデザインコンテスト」を開催。また、生活文化チーム主管「平成23年度日本文化紹介派遣(主催)」プログラムにて行われる、ふろしきに関するレクチャー・デモンストレーションと関連付けて実施。ふろしきによる日本の伝統的な「包む文化」をより広い範囲・対象者に対し、さまざまな観点から紹介
11	日本のマンガ教室	ハンガリー フランス	ブダペスト パリ	フランス国立近代美術館ポンピドゥーセンター こどものアトリエ 京都国際マンガミュージアム 京都精華大学国際マンガ研究センター	2011.09.20 ~ 2012.03.31	4月に実施した日本のマンガ教室のフォローアップ事業として、パリのポンピドゥー・センターと共催でマンガのワークショップ及び展示等の各種事業を実施。また、ブダペストにおいては、「マンガの描き方教室」「マンガの日本語教室」及び「マンガに関する講演会」を開催

事業開発戦略室事業費

2. 文化資料事業費 / (1) 事業開発(文化資料)

国際交流基金広報グッズの開発及び調査報告書等出版物の制作。

合計額 7,134,919 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	商品開発事業(北斎展)	ドイツ	2011.05.13 ~ 2012.03.31	日独交流150周年記念の主催事業として、ベルリンにて開催される「北斎展」の広報用グッズとして北斎富嶽三十六景(凱風快晴<赤富士>)図柄のオリジナルふろしきを製作し、ドイツの文化人、有識者などへ無償頒布することで、日本の伝統文化(浮世絵、日本の包む文化)の再認識、日本文化への理解の深化と共に、国際交流基金及び日独交流150周年記念に対する認知度を高めることを目的とする
2	商品開発事業(既存基金グッズ作成費等)	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	過去に実施してきた交流事業(デザインコンテスト他)の成果物である広報物の追加制作及び各国関連機関等への無償頒布を実施
3	CSR連携事業(既存冊子増刷経費)	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	過去に実施してきたCSR調査事業の成果物である報告書を外部からの要望に沿って図書館・大学・研究機関等に配布、また必要に応じて増刷
4	食文化紹介事業	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	過去に実施してきた食文化を通じた日本紹介事業成果物の頒布、また、外部連携による「ドイツの食と文学」をテーマにしたレクチャーを実施
5	非言語コミュニケーション関連冊子の作成	全世界区分困難	2011.06.14 ~ 2012.03.31	世界に先駆けて「非言語コミュニケーション」の冊子を作成し、日本を代表する国際交流機関としての責任を示すとともに海外におけるプレゼンスを高める効果を目的として、英語版の冊子を作成。配布先は国際交流基金職員(海外拠点ローカルスタッフを含む)、当基金協力関係団体(海外の団体を含む)海外拠点図書館(保管用)、国内主要図書館(保管用)

東日本大震災復旧・復興文化交流事業に必要な経費

東日本大震災復旧・復興文化交流事業費

1. 催し等事業費

- (1) 展示事業 (東日本大震災復旧・復興)
- (2) 公演事業 (東日本大震災復旧・復興)
- (3) 映像事業 (東日本大震災復旧・復興)

東日本大震災復旧・復興文化交流事業費

1. 催し等事業費 / (1) 展示事業(東日本大震災復旧・復興)

日本文化の積極的な発信により、海外での風評被害によるイメージダウン等の回復を目的として展示事業を行う。

合計額 58,917,720 円

	事業名	実施国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	写真展「東北—風土・人・暮らし」	中国 イタリア	北京 ローマ	中華世紀壇世界芸術館 ローマ日本文化会館		2012. 03. 10 ~ 2012. 03. 16 2012. 03. 30 ~ 2012. 05. 12	美しく豊かな風土と文化が根付き日本の原風景が生き続けている東北本来の姿を見つめ続けた、東北ゆかりの、世代も表現も様々な10組の写真家たちによる作品展。被災地として、その被害の大きさが世界中で大きく報道される東北地方の本来の魅力を世界に伝える。キュレーターは、写真評論家の飯沢耕太郎
2	建築展「3.11—東日本大震災の直後、建築家はどうか対応したか」	フランス	パリ	パリ日本文化会館		2012. 03. 06 ~ 2012. 03. 31	東日本大震災からの復興に向けて日本の建築家たちが展開している様々な活動を、写真パネルや模型を使って紹介。震災直後の避難所、次段階としての仮設住宅、最終段階には災害に強い家と街づくりと、段階ごとに整理してアイデアを展開する。本展監修者の五十嵐太郎（東北大学大学院教授）による講演会も併せて実施

東日本大震災復旧・復興文化交流事業費

1. 催し等事業費 / (2) 公演事業(東日本大震災復旧・復興)

日本文化の積極的な発信により、海外での風評被害によるイメージダウン等の回復を目的として公演事業を行う。

合計額 181,925,683 円

事業名	実施国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1 「東北民俗芸能と鬼太鼓座&Musicians」 米国・フランス・中国巡回公演	中国	北京	国家大劇院	バンブーオーケストラ	2012. 03. 14	沿岸被災地支援の拠点となった遠野市の湧水神楽、津波被害を受けた宮古市の黒森神楽、大槌町の臼澤鹿子踊が、地元の思いを携え世界に感謝の気持ちと復興に向かう姿を示す。これら東北民俗芸能に、鬼太鼓座(和太鼓)、ジャズ・ミュージシャンや沖縄三線、女流義太夫等が加わった音楽ユニットが、国連総会議場他でコンサートを実施。各公演に先立ち、各地の子供たちを対象に竹楽器作りワークショップを行い、コンサートには子供たちも共演者として参加
		上海	大寧劇院	臼澤鹿子踊	2012. 03. 16	
		重慶	重慶大劇院 中劇場	越智ブラザース	2012. 03. 20	
		広州	広州大劇院 実験劇場	株式会社ステーション	2012. 03. 22	
		広州	広州大劇院 実験劇場	株式会社鬼太鼓座	2012. 03. 23	
	香港	九龍湾国際展貿中心	黒森神楽保存会	2012. 03. 26		
	米国	ロサンゼルス	ミュージック・センター・アーمانソン・シアター	梅津ちびブラス	2012. 03. 02	
		ニューヨーク	国際連合総会議場	湧水神楽	2012. 03. 05	
		ニューヨーク	リンカーン・センター・ローズ・シアター		2012. 03. 06	
	フランス	パリ	パレ・デ・コングレ		2012. 03. 10	
パリ		サン・ジェルマン・アン・レイ国際高校		2012. 03. 11		

東日本大震災復旧・復興文化交流事業費

1. 催し等事業費 / (3) 映像事業(東日本大震災復旧・復興)

日本文化の積極的な発信により、海外での風評被害によるイメージダウン等の回復を目的として映像事業を行う。

合計額 89,133,953 円

	事業名	実施国	期間	事業内容
1	震災復興・再生をテーマとする映画・ドキュメンタリー DVD配布・上映	全世界区分困難	2011.12.09 ~ 2012.03.31	甚大な震災被害からの再生ドキュメンタリーや自然災害等からの復興をテーマに選んだ劇映画計7作品に、英・仏・西・葡・露・中・韓・アラビア・インドネシア語字幕を付け、世界中の国際交流基金海外拠点と在外公館計126カ所に送付して上映。作品は、『東北 夏祭り～鎮魂と絆と～』、『ガレキの中からの再出航』、『がんばっぺ フラガール!』、『ロック～わんこの島～』、『カルテット!』、『春との旅』、『エクレール・お菓子放浪記』等
2	記録・評価(全体)		2012.01.01 ~ 2012.03.31	平成23年度東日本大震災復旧・復興文化交流事業「震災を乗り越えて～日本から世界へ～」事業につき、記録作成と評価を実施

在外事業に必要な経費

支部

1. 京都支部

海外拠点

1. ローマ日本文化会館
2. ケルン日本文化会館
3. パリ日本文化会館
4. ソウル日本文化センター
5. 北京日本文化センター
6. ジャカルタ日本文化センター
7. バンコク日本文化センター
8. マニラ日本文化センター
9. クアラルンプール日本文化センター
10. ニューデリー日本文化センター
11. シドニー日本文化センター
12. トロント日本文化センター
13. ニューヨーク日本文化センター
14. ロサンゼルス日本文化センター
15. メキシコ日本文化センター
16. サンパウロ日本文化センター
17. ロンドン日本文化センター
18. マドリード日本文化センター
19. ブダペスト日本文化センター
20. モスクワ日本文化センター
21. カイロ日本文化センター
22. ベトナム日本文化交流センター

海外拠点

京都支部

合計額 13,105,435 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本文化体験プログラム	京都市	楽紙館 京都市国際交流会館第4会議室 京都市美術館 丸益西村屋 藤平陶芸 京都市国際交流会館イベントホール 京都迎賓館	公益財団法人 京都文化コンベンションビューロー 財団法人 毎日書道会関西支部	2011.06.10 ~ 2012.02.14	国際交流基金フェロー等日本研究に取り組んでいる外国人に対し、日本文化の成り立ちや背景を肌で感じることができる機会を提供する体験型プログラム。紙漉き・木版画・友禅染の体験、清水焼の登り窯見学や、京都支部の後援名義付与事業である「第63回毎日書道展関西展 国際交流デー」での書道体験、京都迎賓館の見学会参加等を実施
2	トラディショナル・シアター・トレーニング 2011	京都市	大江能楽堂	京都芸術センター	2011.08.12	京都芸術センターは、日本の伝統芸能を象徴する能、狂言、日本舞踊の習得を志して京都を訪れる、海外の演劇分野の日本研究専門家や学生を対象に、毎年夏に日本の伝統芸能集中講座を実施している。3週間の集中的な稽古・指導を受けた参加者たちが成果を市民に披露する発表会を、京都支部が同センターと共催
3	日本映画上映会	京都市	京都市国際交流会館イベントホール	国際京都学協会 財団法人 京都市国際交流協会 第26回国民文化祭 京都府実行委員会	2011.10.06 ~ 2011.11.11	国際交流基金フェロー、関西国際センター研修生に加えて、京都を拠点に活動する外国政府機関の代表者・研究者・留学生等を対象に、日本文化理解を深めることを目的として、英語字幕付き日本映画を精選して計6回（『西陣の姉妹』10月6日、『生れてはみたけれど・・・』10月13日、『めし』10月20日、『雨月物語』10月27日、『序の舞』11月4日、『恍惚の人』11月11日）上映
4	国際交流のタペー能と狂言の会	京都市	金剛能楽堂	公益財団法人 金剛能楽堂財団	2011.10.31	京都をはじめとする関西地域に滞在中の外国人（国際交流基金フェロー、関西国際センター研修生、海外からの留学生、関西の各国総領事館員等）に、日本の伝統文化にふれてもらう機会を提供することを目的に、毎年秋に開催。1974年から実施し、平成23年度で第38回目。演目は、狂言：茂山千五郎（大蔵流狂言師）「鎌腹」、能：金剛永謹（金剛流能楽師）「雪」

海外拠点

5	外国語字幕付き 日本映画上映会	大阪市	大阪国際交流センター	財団法人 大阪国際交流センター	2012.02.11 ~ 2012.02.25	映画を通して日本の生活や文化を外国人に紹介することを目的に、日本映画の名作を英語等外国語字幕付きで、上映。作品は、『剣岳 点の記』（12.02.11）、短編アニメ特集『おんぼろフィルム』『展覧会の絵』『ジャンピング』『おこんじょうり』（12.02.18）『かもめ食堂』（12.02.25）
---	--------------------	-----	------------	-----------------	-------------------------	--

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	第1回 フェロー講演会	京都市	立命館大学 諒友館	立命館大学国際関係学部	2011.06.27	国際交流基金フェローのアレックス・ベイツ（米国／平成22年度フェロー）が講演会を開催。本件は立命館大学との連携事業であり、国際関係学部の授業に組み込む形で、海外における日本研究の事例紹介という位置づけで実施。テーマは「災害と文学：関東大震災」
7	第2回 フェロー講演会	京都市	立命館大学 諒友館	立命館大学国際関係学部	2011.07.04	国際交流基金フェローのフロリアン・ザイレ（米国／平成22年度フェロー）が講演会を開催。本件は立命館大学との連携事業であり、国際関係学部の授業に組み込む形で、海外における日本研究の事例紹介という位置づけで実施。テーマは「日本の仏教研究への新しいアプローチ」
8	フェローの集い	京都市	京都市国際交流会館特別会議室	財団法人 京都市国際交流協会	2011.11.25	国際交流基金フェロー同士ならびに関係諸機関（外務省関西担当大使、大学、文化・芸術機関、報道関係者）とのネットワーク構築をめざし、簡易な茶話会形式での会合を開催。フェローの出席率はほぼ100%となりネットワーク構築に有益な事業を実施
9	第3回 フェロー講演会	京都市	立命館大学 恒心館	立命館大学国際関係学部	2011.12.06	国際交流基金フェローのマーク・デヴィッド・メツェラー（米国／平成23年度フェロー）が講演会を開催。本件は立命館大学との連携事業であり、国際関係学部の授業に組み込む形で、海外における日本研究の事例紹介という位置づけで実施。テーマは「After the Bubbles: A View in the Historical Long Run」
10	第4回 フェロー講演会	京都市	立命館大学 恒心館	立命館大学国際関係学部	2011.12.13	国際交流基金フェローのパク・キョンミン（韓国／平成23年度フェロー）が講演会を開催。本件は立命館大学との連携事業であり、国際関係学部の授業に組み込む形で、海外における日本研究の事例紹介という位置づけで実施。テーマは「Foreign Residents in the Neighborhood: from a Field Research in a Small Town of Japan」
11	第5回 フェロー講演会	京都市	読売京都ビル	国際京都学協会	2012.03.26	国際交流基金フェローのギータ・A・キニ（インド／平成23年度フェロー）による講演会を開催。国際京都学協会との連携事業であり、国際京都学研究会に組み込む形で実施。講演テーマは「京都の暮らしで得た貴重なこと」

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
12	『国際交流基金 (ジャパンファウンデーション) 京都支部ニューズレター』の発行	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	国際交流基金京都支部の事業を紹介するニューズレター。年4回発行 (季刊)

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
13	第6回京都国際木版画展 (KIWA展)	京都国際木版画協会 (KIWA)	2011. 03. 29 ~ 2011. 04. 03	「世界の木版画を発掘・紹介し、木版画芸術への理解を深めていく」ことを目的に開催されるKIWA展。第6回は世界45カ国300名の作品より約200点を展示。主催者である京都国際木版画協会 (KIWA) に対し、国際交流基金京都支部の後援名義を付与
14	第63回毎日書道展関西展 国際交流デー	財団法人 毎日書道会関西支部	2011. 08. 06	京都市美術館等は、日本を代表する書家の作品や、関西で入賞等の作品を展示する第63回毎日書道展関西展を開催 (11. 08. 03~11. 08. 07)。期間中の8月6日の「国際交流デー」に、京都支部担当の国際交流基金フェローたちが日本の伝統文化の一つである書を実際に体験。東日本大震災被災地に向けての応援メッセージを全員で書き上げ、毎日新聞社を通じ被災地に届けた。同事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与
15	YOUNGER ARTIST 11th 発想のゼロ地点	特定非営利活動法人 京都藝際交流協会	2011. 08. 09 ~ 2011. 08. 21	関西にある芸術系及び芸術コースに在籍する、芸術創作活動を志す学生たちの呼びかけに賛同し、自主的に企画実行する6名の作家グループ (ヤンガーアーティスト) の連合展に対して、国際交流基金京都支部の後援名義を付与。参加大学は京都市立芸術大学他計4大学。今年が第11回目の開催
16	2011一日韓国国際交流展	特定非営利活動法人 京都藝際交流協会	2011. 08. 22 ~ 2011. 08. 31	2009年及び2010年にヘイリー芸術村のイベントに日本の作家を派遣したことによりスタートした芸術交流プロジェクト。共通点も多いアジアの隣国として注目される韓国アーティスト13名を迎えて開催された展覧会に対して、国際交流基金京都支部の後援名義を付与
17	立体造形2011	特定非営利活動法人 京都藝際交流協会	2011. 09. 06 ~ 2011. 09. 18	京都を中心とする現代彫刻作家12名による、従来の形にとらわれない自由な立体造形表現のあり方を探る作品展 (陶芸彫刻・音楽と彫刻・泡による造形・植物による彫刻・仏像彫刻等) に対して、国際交流基金京都支部の後援名義を付与

海外拠点

18	平成23年度（第34回）京都国際文化協会エッセーコンテスト「私の見た日本と世界」	財団法人 京都国際文化協会	2011. 10. 02	日本在住の日本語を母語としない人々から「私の見た日本と世界」をテーマに、日本の文化・社会・習慣・世界との交流などについて、自らの文化・社会との対比、あるいは経験に基づいて論考したエッセーを全国から募集。言語は日本語あるいは英語。審査委員会（京都支部長も審査に参加）によって選ばれた日英各々3編の作者を京都に招いて、登壇発表と質疑応答などを通して一般参加者との交流を深化。同事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与
19	国際情勢講演会「これから、中国とどう付き合うか—新たな時代を開く日中関係—」	財団法人 京都府国際センター	2011. 12. 10	地域の国際化を巡る諸課題や海外事情、海外文化など世界情勢や国際関係についての講演会を開催し、府内の地域国際化の促進と次代の国際社会を担う人材の育成を図る事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与。講演会テーマ「これから、中国とどう付き合うか」、講師：宮本雄二（前駐中華人民共和国大使館特命全権大使／外務省顧問）、講演会テーマ「企業の中国展開 成功例と失敗例」、講師：藤原次郎（京都府上海ビジネスサポートセンター主席代表）、コーディネーター：須藤眞志（京都産業大学名誉教授）
20	第12回LAMP展—富者の万灯より貧者の一灯—	特定非営利活動法人 京都藝際交流協会	2011. 12. 13 ～ 2011. 12. 25	「富者の万灯より貧者の一灯」の主旨に賛同した作家の作品を一同に集め「光の祭典」として開催するLAMP展に対し、国際交流基金京都支部の後援名義を付与。第12回目の今回は東日本大震災の復興をイメージさせる作品が多く出品。まいづる智恵蔵との共同同時開催
21	第9回「書と非書の際（きわ）」展	特定非営利活動法人 京都藝際交流協会	2012. 01. 10 ～ 2012. 01. 22	現代の書芸術を「書とは何なのか」「書と文字はどう関わっているのか」「書家と画家の線・点はどう違うのか」等々、展覧会・シンポジウムを通して検証することを目的に2003年から企画開催。「書」と「非書」の際を探る中に新しい芸術誕生のヒントがひそんでいるのではないかと、という趣旨のもと、日本、中国、アイルランド、英国、フランスと東洋、西洋の視点から作家による検証・ワークショップを実施する事業に対し、国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援

ローマ日本文化会館

合計額 90,407,872 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	Giappone900 ローマ日本文化会館所蔵作品展	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.03.14 ~ 2011.05.02	ローマ日本文化会館の所蔵する美術品を第1部（版画）、第2部（陶器・絵画・その他）に分けて展示。主な作者は、棟方志功、草間弥生、李禹煥、前田青邨、山口蓬春、加藤土師萌等
2	新着映画上映会	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.05.03 ~ 2011.05.26	新たにイタリア語フィルムライブラリー入りしたイタリア語字幕付き作品（『雲のむこう、約束の場所』新海誠監督、『映画ちびまる子ちゃん 大野君と杉山君』芝山努監督ほか）の特集上映を実施
3	ラクイラにおける災害地復興支援事業	ラクイラ	ラクイラ音楽院	イタリア防災省 ラクイラ音楽院 在イタリア大使館	2011.05.07	坂茂設計の紙のコンサートホールのオープニング記念事業として、指揮者・西本智実、ラクイラ音楽院学生オーケストラの演奏によるコンサートを実施
4	映像と音楽によるコンサート	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.05.19	ギター、ヴィオラ、ライブ・エレクトロニクス、ビデオアートを組み合わせたコンサートを実施
5	「日本の世界遺産」展	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.05.23 ~ 2011.06.30	ローマ日本文化会館所蔵・貸し出し用セットの、三好和義撮影の写真63点を「日本の世界遺産」展として展示
6	俳句賞授賞式及び講演会	ローマ	ローマ日本文化会館	イタリア俳句友の会	2011.05.27	イタリア俳句友の会主催、Edizioni Empiria協力により、第25回俳句賞授賞式を開催。併せて、過去の俳句賞受賞者でEdizioni Empiria出版社が開催する俳句教室の講師を務める、Fabrizio Virgiriによる俳句に関する講演等を実施
7	吉田友昭 ピアノコンサート	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.05.31	前年マリア・カラス国際グランプリ最高位等の数々の賞を受賞したピアニスト吉田友昭によるピアノ室内楽コンサートを実施
8	映画の中の日本文学	ローマ	ローマ日本文化会館	ローマ市 在イタリア大使館	2011.06.07 ~ 2011.06.10	映画の中の日本文学をテーマに、第一部は三島由紀夫特集、第二部はイタリアで翻訳されている作品を中心に、映画の中で描かれた日本の文学に焦点を当てる
9	三島由紀夫に関する講演	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.06.10	没後40周年を2010年に迎えた三島由紀夫をテーマに、ヴィルジニア・シーカ（ミラノ大学教授）による講演を実施。「映画の中の日本文学」第一部との関連企画
10	イゾラ・デル・チネマ	ローマ	イゾラ・デル・チネマ	イゾラ・デル・チネマ 在イタリア大使館	2011.07.06 ~ 2011.07.07	ローマの映画祭イゾラ・デル・チネマにおいて日本特集イベントを実施。北野武監督『座頭市』、三池崇史監督『13人の刺客』を上演

海外拠点

11	「日本庭園」展	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.09.01 ~ 2011.10.01	ローマ日本文化会館所蔵・貸し出し用セットの、写真約30点からなる「日本庭園」展の実施
12	綿矢りさ講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.09.20	翻訳家のアントニエッタ・パストーレを進行役に迎え、綿矢りさによる現代日本文学に関する講演会を実施（本部日本文化紹介主催事業）
13	日本アートシアターギルド（ATG）特集	ローマ	ローマ日本文化会館	ヴェネチア大学	2011.10.04 ~ 2011.11.17	非商業主義的なアート系映画の製作・配給により、1960年から80年代にかけて日本映画界に大きな影響を与えた日本アートシアターギルドの作品を、映画研究者の平沢剛のキュレーションにより特集上映。また上映に併せ、同氏による講演会をローマ及びヴェネチアで実施
14	長澤英俊プレゼンテーション	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.10.10	イタリアを拠点に世界で活躍する彫刻家・長澤英俊の活動の様態を収めたDVDの上映、及び昨年カストロレーレにて実施したワークショップの様子を紹介。同氏及びニーノ・ソッティエーレ・ズンボ（キュレーター）による講演等も実施
15	隈研吾講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.10.18	日本を代表する建築家隈研吾による講演会を実施
16	「戦後日本の変容」展（本部巡回展）	ローマ	ローマ日本文化会館	ローマ国際写真フェスティバル	2011.10.20 ~ 2012.01.14	木村伊兵衛、土門拳、細江英公ら、戦後日本の写真界を代表する11名の写真家によるモノクロ写真123点を展示。戦後日本の変容を物語る内容
17	琉球舞踊	ローマ	テアトロ・オリンピコ	沖縄県芸能関連協議会 文化庁	2011.11.02	沖縄県芸能関連協議会による琉球舞踊公演。ケルン、パリ、ローマ巡回
18	活動弁士・澤登翠のサイレント映画上映会	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.11.22	活動弁士の第一人者である澤登翠が、ナント三大陸映画祭（フランス）に出演する機会をとらえ、ローマ日本文化会館で同氏の活弁による無声映画『子宝騒動』『折鶴お千』を上映
19	写真家の見た戦後日本 多田亜生講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.11.29	「戦後日本の変容」展（本部巡回展）関連事業として、監修者の多田亜生（キュレーター、編集者）による講演会を実施
20	音楽会「ボーダーライン」	ローマ	ローマ日本文化会館	ハンガリーアカデミー	2011.12.07	日本の能の謡とクラリネット・フルートの競演
21	山本薩夫監督特集（巡回パッケージ）	ローマ	ローマ日本文化会館		2012.01.10 ~ 2012.01.31	日本映画上映（主催）巡回パッケージより、山本薩夫監督特集を実施
22	日欧文化交流50年野尻命子講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2012.01.27	チェントロ裏千家（裏千家淡交会ローマ出張所）代表の野尻命子による、在伊40年を超える自身の活動をふまえた日伊交流に関する講演会を実施

海外拠点

23	凧・独楽展	ローマ	ローマ日本文化会館		2012. 01. 30 ～ 2012. 02. 18	ローマ日本文化会館所蔵・貸し出し用セットの中から「凧・独楽」展を展示。日本でもあまり見ることができない様々な凧と独楽を通して日本の職人の創造性を紹介
24	山根和仁ヴァイオリンコンサート	ローマ	ローマ日本文化会館		2012. 02. 24	前年度の日本音楽コンクールバイオリン部門第一位の若手ヴァイオリニスト・山根和仁によるコンサートを実施
25	震災復興写真展	ローマ	ローマ日本文化会館	在イタリア大使館	2012. 03. 01 ～ 2012. 03. 14	震災復興関連事業として、外務省の企画による復興写真展「WILL — one year ago, one year after—」をローマ日本文化会館展示ホールにて実施 【東日本大震災復興支援事業】
26	震災に関するDVD上映会	ローマ	ローマ日本文化会館		2012. 03. 01 ～ 2012. 03. 14	外務省による震災復興写真展「WILL — one year ago, one year after—」の開催に併せ、震災に関連したドキュメンタリー作品ならびに劇映画計4作品を上映 【東日本大震災復興支援事業】
27	日本映画特集第2弾開幕上映	ローマ	ローマ日本文化会館	文化協会「国境なき映画」	2012. 03. 05	イタリアの映画愛好者団体の実施する日本映画特集の実施に当たり、開幕上映（『日本の悲劇』木下恵介監督）をローマ日本文化会館で実施
28	震災に関する講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2012. 03. 14	旅行作家の宮田麻未、建築家の針生承一による、東日本大震災に関する講演を実施。本部主催派遣事業
29	東北一風土・人・暮らし展	ローマ	ローマ日本文化会館		2012. 03. 30 ～ 2012. 05. 12	東北にゆかりのある9名の写真家と1グループによる作品展。被災状況や復興の様子をレポートするものではなく、写真作品を通して、東北の風土、人、暮らしを伝える。飯沢耕太郎（写真評論家）監修 【東日本大震災復興支援事業】

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
30	マルコ・デル・ベーネ 日本の戦争映画 講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2012. 02. 06	元国際交流基金フェローのマルコ・デル・ベーネ（ローマ大学）による、日本の戦争映画に関する講演会を実施。国際交流基金フェローフォローアップ事業
31	ファビオ・マンゴリーニ 能 講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2012. 02. 27	元国際交流基金フェローのファビオ・マンゴリーニ（フェッラーラ市立歌劇場ジェネラルコーディネーター）による、能についての講演会を実施。国際交流基金フェローフォローアップ事業
32	フランチェスコ・パオロ・チェラーゼ 日本の経済と社会 講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2012. 03. 23	元国際交流基金フェローのフランチェスコ・パオロ・チェラーゼ（ナポリ・フェデリーコ二世大学元教授）による、東日本大震災から一年を経た日本の経済と社会に関する講演を実施。国際交流基金フェローフォローアップ事業

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
33	広報・図書館運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 4,067名 (2) レファレンス数 669件 (3) 貸出点数 2,390点</p> <p>2. 情報発信への取り組み ローマ日本文化会館の紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 (1) ニュースレター発行部数 12,000部 (イタリア語) (2) メールマガジン配信数 44,960件 (3) ホームページアクセス件数 113,963件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
34	現地文化事業協力	<p>在イタリア語圏スイス日本人団体 カ メリア会</p> <p>国立トリノ映画博物館</p>	2011.04.01 ~ 2012.03.31	<p>国立トリノ映画博物館の日活100周年記念特集映画上映、ならびにルガーノ (スイス) での日本映画上映会に対し協力。トリノでは『洲崎パラダイス赤信号』『幕末太陽傳』(共に、川島雄三監督)の字幕作成費を協力。スイスでは『映画ちびまる子ちゃん 大野君と杉山君』(芝山努監督)、『ヴィヨンの妻一夜桃とタンポポー』(根岸吉太郎監督)を共催上映</p>

海外拠点

ケルン日本文化会館

合計額 112,147,012 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本の建築文化講演会（桂離宮―石元泰博写真展オープニング事業）	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.04.08	海外巡回展「桂離宮」の実施に当たり、ベルリン在住の建築評論家のウルフ・マイヤー（ネブラスカ大学リンカーン校教授）による日本の建築文化に関する講演会を実施
2	桂離宮―石元泰博写真展	ケルン アイヒェンツェル ランゲン ミュンヘン ベルリン	ケルン日本文化会館 ファゼナリー城 ヴォルフスガルテン城 建築ギャラリー ベルリン・バウハウス資料館	ファゼナリー城 ヘッセン家財団 ヴォルフスガルテン城 建築ギャラリー ベルリン・バウハウス資料館	2011.04.08 ～ 2011.06.03 2011.08.20 ～ 2011.09.11 2011.09.16 ～ 2011.09.18 2011.10.18 ～ 2011.11.12 2012.01.18 ～ 2012.03.12	日本を代表する写真作家のひとりである石元泰博が撮影した「桂離宮」の写真作品（海外巡回展）を展示
3	新着アニメ映画特集	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.06.06 ～ 2012.07.30	ケルン日本文化会館フィルムライブラリー所蔵作品の中から、大人から子供まで楽しめる近作アニメ映画を特集上映
4	日独歌曲とピアノの夕べ	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.06.08	日本からピアニスト、松山元・優香とバリトン歌手、河野克典を迎え、日独音楽交流の歩みを振り返るコンサートを開催する。ベルリン日独センターとの連携事業
5	講演会「ヴィジュアル・ポップカルチャー：子供の心と社会に及ぼすマンガの影響」	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.06.15	海外巡回展「キャラクター大国・ニッポン」の開催に際し、徳雅美（カリフォルニア大学チコ校助教授）による講演会を実施
6	講演会「ヴィジュアル・ポップカルチャー：子供の心と社会に及ぼすマンガの影響」	ビーティヒハイム・ビッシンゲン	ビッシンゲン市庁舎	ビーティヒハイム・ビッシンゲン市 在ミュンヘン総領事館	2011.06.16	海外巡回展「キャラクター大国・ニッポン」の開催に際し、徳雅美（カリフォルニア大学チコ校助教授）による講演会を実施
7	日本の世界遺産展	シュトゥットガルト	シュトゥットガルト市庁舎	シュトゥットガルト市 在ミュンヘン総領事館	2011.06.16 ～ 2011.06.30	ケルン日本文化会館所蔵写真展「日本の世界遺産」をシュトゥットガルト市庁舎で展示し、幅広い一般市民に日本の魅力を紹介

海外拠点

8	日独対話展「実現不可能性の悲劇—渡辺環とヴァルター・ツルボルク」	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.06.17 ~ 2011.07.30	日独両国の若手アーティストが共通のテーマを設定して対話しながら作り上げる日独対話展。渡辺環とヴァルター・ツルボルクの両アーティスト（サウンドアート）が、テーマ「実現不可能性の悲劇」を表現
9	SHANTIケルン公演	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.06.22	日本で若い世代に人気のボーカリスト、SHANTIの公演を行うバリ日本文化会館、マドリッド日本文化センターとの連携事業
10	尾高尚忠・安部幸明生誕100周年記念コンサート	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.06.29	日独音楽交流の歩みを振り返るコンサートの第二弾として、今年生誕100周年を迎える作曲家、尾高尚忠と安部幸明の作品を中心に紹介するコンサートを開催。在ドイツ大使館との連携事業
11	夏が来た！ケルン夏の文学祭	ケルン	ケルン文学館	ケルン文学館	2011.07.10	ケルン文学館のイニシアチヴにより、一般市民を対象に、野外で開かれる国際文学祭に各国文化交流機関とともに参加
12	黒澤明回顧特集	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.09.01 ~ 2012.01.28	本部主催日本映画上映会として、ケルン日本文化会館及びドイツ6都市のシネマテークとの共催により、黒澤明回顧特集を開催
		ベルリン	アルゼナール映画・ビデオアート研究所	アルゼナール映画・ビデオアート研究所	2011.09.05 ~ 2011.10.31	
		ミュンヘン	ミュンヘン映画博物館	ミュンヘン映画博物館	2011.09.09 ~ 2011.12.18	
		デュッセルドルフ	デュッセルドルフ映画博物館	デュッセルドルフ映画博物館	2011.09.13 ~ 2011.12.18	
		フランクフルト・アム・マイン	ドイツ映画博物館	ドイツ映画博物館	2011.11.02 ~ 2011.11.30	
		ニュルンベルク	ニュルンベルク・フィルムハウス	ニュルンベルク・フィルムハウス	2011.11.18 ~ 2012.01.04	
ハンブルク	キネマテーク・ハンブルク	キネマテーク・ハンブルク	2011.12.04 ~ 2012.01.29			
13	現代日本ブックデザイン展	ケルン	ケルン日本文化会館	ライプツィヒ印刷美術博物館	2011.09.09 ~ 2011.11.19	ライプツィヒ印刷美術博物館で展示した「現代日本のブックデザイン」展の一部を、エディトリアル財団の協力を得て展示。監修は東京の印刷博物館学芸員の寺本美奈子
		オッフェンバッハ	クリングスポール美術館	クリングスポール美術館		

海外拠点

14	ベルリン国際文学祭	ベルリン	ベルリン国際文学祭	ベルリン国際文学祭	2011.09.16	日独交流150周年及びアジア太平洋週間に際し、ベルリン国際文学祭で日本特集が組まれるにあたり、芥川賞作家の綿矢りさの講演会を開催 【日独交流150周年記念事業】
15	ハンブルク・ハーバーフロント文学祭	ハンブルク	ハーバーフロント文学祭	ハーバーフロント文学祭	2011.09.18	日独交流150周年に際し、ハンブルク・ハーバーフロント文学祭で日本特集が組まれるにあたり、芥川賞作家の綿矢りさの講演会を開催 【日独交流150周年記念事業】
16	飯沢耕太郎講演会「日本現代写真の一断面—日本写真協会賞新人賞受賞者を中心に」	ケルン	ケルン・メディア芸術大学	ドイツ写真協会 日本写真協会	2011.09.22	日本を代表する写真評論家、飯沢耕太郎が日本写真協会の派遣でベルリンおよびケルンで講演会を実施
17	梅津和時KIKI Bandケルン公演	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.09.27	梅津和時KIKI Bandによるジャズ・ロックのコンサートを実施
18	藤井郷子カルテットケルン公演	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.11.18	藤井郷子カルテットによるジャズ・コンサートを実施
19	フランクフルト国際図書見本市関連事業	フランクフルト・アム・マイン	フランクフルト・メッセ会場	フランクフルト国際図書見本市	2011.10.12 ~ 2011.10.16	世界最大級の国際図書見本市がフランクフルトで開催されるにあたり、国際交流基金、PACE（出版文化国際交流会）共同ブースで日本文化理解促進ワークショップを実施
20	「ミュージック&リズムス」ケルン公演	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.10.13	デュッセルドルフ日本デーのメインアクトを務める鬼太鼓座を中心とするグループ「ミュージック&リズムス」がケルンに立ち寄り、大人から子どもまで楽しめるコンサートを実施
21	沖縄芸能関連協議会「琉球伝統芸能」ケルン公演	ケルン	ケルン日本文化会館	沖縄芸能関連協議会	2011.10.31	人間国宝を含む沖縄芸能関連協議会のグループによる琉球舞踊公演。パリ日本文化会館との連携事業
22	ケルン美術館の長い夜	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン市 StadtRevue誌	2011.11.05 ~ 2011.11.06	ケルン市の美術館・博物館を中心とする文化施設が深夜3時まで開館し、一般市民に特別プログラムを提供するフェスティバルに参加
23	村上春樹大朗読会	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン文学館	2011.11.08	日独交流150周年を記念し、ケルン文学館との共催により、現代日本文学の夕べを開催。ドイツ人俳優が村上春樹著『1Q84』（ドイツ語訳）を朗読し、同作品のドイツ語翻訳者等により村上春樹作品の魅力とドイツの文学界に与えた影響等に関するトークを実施 【日独交流150周年記念事業】
24	ケルン・ジュニア大学	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン大学	2011.11.12	ケルン大学との共催で、青少年向け現代日本文化一日体験講座を実施

海外拠点

25	日独対話展「サインとサインー菅野麻衣子とガブリエレ・ホーンダッシュ」	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.12.09 ～ 2012.02.29	日独両国の若手アーティストが共通のテーマを設定して対話しながら作り上げる日独対話展。菅野麻衣子とガブリエレ・ホーンダッシュの両アーティストが、「サインとサイン」をテーマに、言葉と記号を現代的に表現
26	日活100周年特集	ケルン	ケルン日本文化会館		2012.02.02 ～ 2012.03.31	国際交流基金本部主催日本映画上映会として、戦前の時代劇、戦後のアクション、ロマンポルノ等、創立100周年を迎える「日活」映画特集を開催
27	「戦後日本の変容」展	ベルリン	ベルリン写真美術館	ベルリン写真美術館	2012.03.08 ～ 2012.06.17	ベルリン写真美術館との共催により、海外巡回展「戦後日本の変容」展を開催
28	東日本大震災から一年後～復興記念の集い	ケルン	ケルン日本文化会館		2012.03.12	ケルン日本文化会館において、東日本大震災に際してのドイツからの支援に感謝の念を示すとともに、日本の復興の様子を紹介する特別イベントを開催 【東日本大震災復興支援事業】
29	ライプツィヒ図書見本市関連事業	ライプツィヒ	ライプツィヒ・メッセ会場 ライプツィヒ大学図書館	ライプツィヒ図書見本市 ライプツィヒ大学 ライプツィヒ独日協会 在ドイツ大使館	2012.03.15 ～ 2012.03.18	旧東独地域における本のメッカ、ライプツィヒの図書見本市で現代日本文化紹介事業を実施
30	「美しい東北の手仕事」展開幕記念イベント	ケルン	ケルン日本文化会館		2012.03.23	新規巡回展「美しい東北の手仕事」展を開催するにあたり、開幕記念イベントとして、ハイケ・パチケ（ケルン大学日本研究学科講師）による講演会「東北の文学世界への誘いー宮沢賢治と石川啄木」とアニメ映画『注文の多い料理店』の上映を実施
31	ケルン子供大学	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン大学	2012.03.30	ケルン大学が主催する「ケルン子供大学」の一環として、同大学日本研究学科と協力し、8歳から12歳の児童・生徒を対象に「日本まるごと体験講座」を提供 【日独交流150周年記念事業】

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
32	日本メディア芸術の現在（小規模助成）	オスナブリュック・ヨーロッパ・メディア芸術祭	2011.04.27 ～ 2011.05.01	「オスナブリュック・ヨーロッパ・メディア芸術祭」において、文化庁日本メディア芸術祭参加アーティストを中心に、アニメ、漫画からテクノ音楽に至る日本の最新のメディア芸術を紹介。同芸術祭の開催に際し、旅費の一部を支援

海外拠点

33	藤本壮介『ガーデン・ギャラリー』 (小規模助成)	ケルン彫刻公園財団	2011.05.15 ~ 2012.03.31	ケルン彫刻公園で建築家の藤本壮介の作品「ガーデン・ギャラリー」を展示。展示に際し、アーティスト旅費の一部を支援
34	「空豆」展 (小規模助成)	ハンス・ペーター・ツィンマー財団	2011.05.20 ~ 2011.06.18	日独交流150周年及びデュッセルドルフ日本週を記念し、ドイツで活躍する若手日本人美術作家のグループ展を開催。展示に際し、カタログ印刷経費の一部を支援
35	キミ色マトイ書ト歌う (小規模助成)	日本美術工芸「おと」	2011.06.07	日独交流150周年を記念し、欧州在住の若手アーティストが在ドイツ大使館で書・映像・音による総合芸術パフォーマンスを実施。パフォーマンスに際し、旅費及び広報経費の一部を支援
36	多和田葉子と高瀬アキ『水の中の声／水の中のピアノ』 (小規模助成)	ハンブルク大学	2011.06.29	芥川賞作家の多和田葉子がベルリン在住ジャズピアニストの高瀬アキと共に音と言葉のパフォーマンスを実施。パフォーマンスに際し、アーティストの旅費及び謝金の一部を支援
37	日独映画交流史シンポジウム	ボン大学	2011.08.17 ~ 2011.08.18	日独交流150周年を記念し、ボン国際無声映画週間及びボン大学夏期アカデミーの一環として、日独映画関係に関するシンポジウムを開催。日本からの参加者の渡航費を支援
38	ベルリン・アジア映画祭「想像の親族」 (小規模助成)	ベルリン・アジア映画祭	2011.10.26 ~ 2011.10.30	ベルリン・アジア映画祭で瀧川あや監督『祝の島』、奥秀太郎監督『USB』を上映。映画上映に際し、上映権料及び旅費の一部を支援
39	第8回オスナブリュック新作日本映画祭 (小規模助成)	社団法人・社会文化的ダイアログ	2011.11.01 ~ 2011.11.08	オスナブリュックで新作日本映画 (細田守監督『サマーウォーズ』、是枝裕和監督『奇跡』等) を上映。映画上映に際し、上映権料の一部を支援
40	デュッセルドルフ童話週間「日本の童話と昔話」 (小規模助成)	社団法人エアツェールツァイト	2011.11.18 ~ 2011.12.01	日独交流150周年を記念し、デュッセルドルフ童話週間の一環として日本の童話と昔話をドイツ語で紹介。広報経費の一部を支援
41	倉知久美子「アウフ・ディ・フラーゲ」展 (小規模助成)	ミース・ファン・デル・ローエ・ハウス	2011.12.04 ~ 2012.03.04	日独交流150周年及びミース・ファン・デル・ローエ生誕125周年を記念し、日本の間とモダニズムの関係を考察する倉知久美子の展覧会を開催。展示に際し、印刷・広報経費の一部を支援
42	展覧会「Sharing as Caring: Presence for the Future」	ハイデルベルク美術協会	2012.03.09 ~ 2012.05.20	東日本大震災で失われた「表現と対話の場」を人々の日常に取り戻すために、宮城県女川町で始まった、様々な分野のクリエイターと地元の人々との対話工房の活動を紹介する展覧会を開催。展示に際し、コンセプト設計謝金及び旅費の一部を支援
43	日本デー (「春の日本」展)	レーヴァークーゼン美術協会	2012.03.11	レーヴァークーゼン美術協会「春の日本」展の関連企画として「日本デー」を開催。日本デーに際し、旅費及び広報経費の一部を支援

海外拠点

44	「竹岡雄二 彫刻のゼロ地点」展	ゲルハルト・マルクス彫刻美術館	2012.03.11 ～ 2012.06.10	長年にわたり日独美術交流に尽力してきた竹岡雄二（ブレーメン芸術大学教授）の回顧展を開催。展示に際し、冊子作成経費の一部を支援
45	マンガ・フェスティバル2012	ライプツィヒ日本の家	2012.03.15 ～ 2012.03.31	ライプツィヒ図書見本市に合わせ、マンガ・フェスティバルを開催。マンガ・フェスティバルに際し、展示設営及び広報経費の一部を支援
46	プラットフォーム・プロジェクト—東日本大震災一周忌に際しての芸術的イベント	シュヴァルツェンベルク協会	2012.03.26 ～ 2012.03.31	東日本大震災一周忌に当たり、仙台市出身の美術作家タノイガとベルリン在住アーティストのディスカッションを行う等、日独両国の芸術家の視点から何ができるかを考える複合的なイベントを開催。イベントに際し、旅費の一部を支援

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
47	カロリーネ・ライマース講演会「日独通商関係のあけぼの」	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.06.21	ケルン大学、ケルン独日協会、ケルン東洋美術館等と連携し、日独交流150年の歴史を振り返り、今後の日独関係を考える連続講演会を開催する。第一回は、ブレーメンの商人ヒンリッヒ・ライマースの活動に焦点を当て、初期日独通商関係についてカロリーネ・ライマースの講演会を開催 【日独交流150周年記念事業】
48	日独交流150周年記念国際シンポジウム「変転する世界における伝統的な研究社会」	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン大学	2011.09.08 ～ 2011.09.10	ケルン大学との共催により、日独学術交流150周年記念事業シンポジウム「変転する世界における伝統的な研究社会のダイナミクス」と題する国際シンポジウムを開催。日本の16大学の学長・副学長をはじめとする研究者が参加し、経済・社会科学、法学、日本語学、文化研究、数学・自然科学の5つのワークショップを通して、ドイツの研究者と日独学術協力のあり方、両国の学術交流の将来について議論 【日独交流150周年記念事業】
49	青木保講演会「グローバル化する現代日本文化と東アジア文化圏の挑戦」	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.09.23	ケルン大学、ケルン独日協会、ケルン東洋美術館等との連携による連続講演会の第二回として、青木保（青山学院大学教授／前文化庁長官）の講演会を開催 【日独交流150周年記念事業】
50	日独交流150周年記念論文集刊行			ケルン大学	2011.11.01 ～ 2012.03.31	日独交流150周年に行われた記念シンポジウム、各種講演会の記録を出版 【日独交流150周年記念事業】

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
51	広報・図書館運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、劇映画・アニメDVD、日本語教材を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 5,084名 (2) レファレンス数 461件 (3) 貸出点数 6,496点</p> <p>2. 情報発信への取組み ケルン日本文化会館の紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 (1) メールマガジン 配信数 66,669件 (2) ホームページアクセス件数 308,438件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
52	「ドイツの大学における日本週間」開幕記念行事	ドイツ大学長会議 ハンブルク大学	2011.04.12 ~ 2011.04.14	「ドイツの大学における日本週間」開幕記念行事において、ケルン日本文化会館の職員が就職前の学生を対象に、職業としての日独文化交流について自らの経験を発表する。また、会場にブースを設置し、日本研究フェロウシップ等、国際交流基金プログラムの広報を実施
53	オスナブリュック専門大学学生の訪問受入	オスナブリュック専門大学	2011.05.05	「ドイツの大学における日本週間」の一環として来館したオスナブリュック専門大学学生20名に対し、ケルン日本文化会館の活動を紹介
54	フライブルク大学日本デー	フライブルク大学 名古屋大学	2011.06.09	「ドイツの大学における日本週間」の一環としてフライブルク大学と名古屋大学との共催により開かれる日本デーにおいて、ケルン日本文化会館の職員が国際交流基金事業について紹介を行う。また、会場にブースを設置し、日本研究フェロウシップ等、国際交流基金プログラムの広報を実施
55	ハレ大学日本デー	ハレ・ヴィッテンベルク大学	2011.06.30	「ドイツの大学における日本週間」の一環としてハレ・ヴィッテンベルク大学で開かれる日本デーにおいて、ケルン日本文化会館の職員がパネルディスカッション「日本で博士号を取得し研究する」に参加し、国際交流基金事業について紹介を行う。また、会場にブースを設置し、日本研究フェロウシップ等、国際交流基金プログラムの広報を実施
56	「小金沢健人：パーティクル・ティクトル」展及び「ヴィジュアル・ストーリーズー日本の絵を語る」展	ランゲン・ファウンデーション	2011.07.17 ~ 2011.11.06	デュッセルドルフ近郊、ノイス市の安藤忠雄が設計した美術館、ランゲン・ファウンデーションにおいて、日独交流150周年を記念し、日本関係の2つの企画展が開催されるに当たり、主に広報、翻訳作業の面で協力

海外拠点

57	「アニメ！ ハイアーターポップカルチャー」展	ドイツ連邦共和国芸術展示館	2011.07.29 ～ 2012.01.08	ボンのドイツ連邦共和国芸術展示館において、日独交流150周年を記念し、日本のアニメに関する特別展が開催されるに当たり、広報面や日本語お試し講座等の関連プログラムの提供により協力
58	文化庁メディア芸術祭ドルトムント展	NHKインターナショナル ハートウェア・メディア美術協会 文化庁	2011.09.09 ～ 2011.10.02	「日独交流150周年」にあたる平成23年度に文化庁メディア芸術祭ドルトムント展が開催されるに当たり、協力名義を付与し、主に広報面で連携を図る
59	ケルン大学学生の訪問受入	ケルン大学	2011.09.30	ケルン大学日本学科新入生に対し、ケルン日本文化会館の活動を紹介
60	日本学術振興会主催「日本における研究留学」説明会	日本学術振興会ボン研究連絡センター	2011.10.21	ドイツの学生・研究者に対し、国際交流基金日本研究フェローシップ等、当基金プログラムを紹介
61	平井康三朗、丈一郎父子の日本歌曲のタベ	戸張 通子	2011.11.19	日独交流150周年を記念し、ミュンヘン在住の音楽家、戸張通子による日本歌曲のタベが開かれるに当たり、後援名義を付与
62	ルール大学フォーラム日本週間	ルール大学フォーラム	2011.11.23	ルール大学フォーラムで開催される日本週間においてブースを設置し、ドイツの学生・研究者に対して、日本研究フェローシップ等、国際交流基金プログラムの広報活動を実施
63	「サンシャイン・フォー・ジャパン」展（デュッセルドルフ）	社団法人c:tive	2011.12.02 ～ 2011.12.16	東日本大震災からの復興に取り組む日本を応援するポスター展を開催する
64	ボン大学早稲田デー	ボン大学	2011.12.07	ボン大学で開催される早稲田デーにおいて、ブースを設置し、ドイツの学生・研究者に対し、基金プログラム、ケルン日本文化会館の文化プログラム・日本語講座の広報を行う
65	「サンシャイン・フォー・ジャパン」展（ケルン）	社団法人c:tive	2012.03.08 ～ 2012.03.12	東日本大震災からの復興を支援するために開かれた国際ポスター・コンクール「サンシャイン・フォー・ジャパン」の優秀作品を展示
66	ロジャー・ゲッパ ケルン東アジア美術館前館長追悼式典	ケルン東アジア美術館 ケルン大学美術史学科 ケルン独日協会 東アジア美術振興のためのオリエント財団	2012.03.10	ケルン東アジア美術館前館長、ロジャー・ゲッパの追悼記念式典に共催者として参加し、協力
67	展覧会「Back from Japan」	ハンス・ペーター・ツィンマー財団	2012.03.10 ～ 2012.03.30	東日本大震災一周年忌に当たり、日独両国の若手美術作家がグループ展を開催

海外拠点

68	日本特集の日	ラウテンシュトラウフ＝ヨースト民族学博物館	2012. 03. 18	ラウテンシュトラウフ＝ヨースト民族学博物館において、ひな祭りにちなみ、子供から大人まで楽しめる「日本の日」（日本語体験講座及び日本語名刺作成ワークショップ）を開催
69	新作アニメ映画上映会	ディーツ市立図書館	2012. 03. 28	ラインラント・プファルツ州の小都ディーツにおける日本週間の一環として、新海誠監督『秒速5センチメートル』を上映

海外拠点

パリ日本文化会館

合計額 453,287,424 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	「出汁の使い方」デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館 厨房/レセプション ホール	味の素ヨーロッパ 社	2011.04.01 ~ 2012.03.31	味の素社主催の家庭料理デモンストレーションシリーズ。「出汁の使い方」をテーマに、出汁の様々な種類と旬の素材のよさを引き出す出汁の使い方を紹介
2	「誰でも絶対作れる！調理体験ワークショップ」	パリ	パリ日本文化会館		2011.04.01 ~ 2012.03.31	平成22年度からスタートし好評を得ている体験ワークショップ。巻き寿司やお好み焼き作り等を参加者が実際に体験
3	「和のおやつ」デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館		2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本の食材を使ったお菓子や和風おやつを紹介する食文化デモンストレーション。毎期1,2回実施
4	「茶道」デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館	裏千家パリ駐在所 裏千家本部	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本文化の代表の一つである茶道・お茶席の一部を茶室にて見学した後、抹茶とお茶菓子を実際に味わう
5	茶道入門教室	パリ	パリ日本文化会館	裏千家パリ駐在所 裏千家本部	2011.04.01 ~ 2012.03.31	茶道の基本となる立ち居振る舞い、道具の扱いを学びつつ、茶道の精神に触れ、実際にお点前を茶室にて学ぶ。毎期2カ月、2コース（17時15分、18時）実施
6	書道教室	パリ	パリ日本文化会館	HIMAWARI アソシエーション	2011.04.01 ~ 2012.03.31	漢字を基本とした指導を行い、書を通じた日本文化に触れてもらう機会とする
7	初級・上級囲碁教室	パリ	パリ日本文化会館	イル・ド・フランス 囲碁リーグ フランス囲碁連盟 公益財団法人 日本棋院	2011.04.01 ~ 2012.03.31	フランス囲碁連盟、イル・ド・フランス囲碁リーグ、日本棋院の協力の下継続している囲碁教室。平成17年度秋期より単発受講ではなく10回コース制にしてから、受講者数が大幅に増加。特に、子供・青少年の登録が多い
8	生花教室	パリ	パリ日本文化会館	イケバナ・インターナショナル・パリ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	小原・草月・池坊流から講師を迎え、生花を通じた日本文化を体験。毎期初めに館内での展示会・デモンストレーションを開催。展示会では広く一般に生花を鑑賞して貰い、デモンストレーションではそれぞれの流派の特徴を理解し、流派選択の一助とする
9	水曜日のミニコンサート	パリ	パリ日本文化会館	東芝国際交流財団	2011.04.01 ~ 2012.03.31	欧州及びパリ在住の日本人ミュージシャン（岩佐鶴丈、斉藤鶴竜、邦楽聖会、泊、中村天平、中野真帆子、ロンドン沖縄三線会、Ensemble Trace du Géant、中井正子）を中心に招へいし、小ホールでコンサートを実施

海外拠点

10	「日本人とキャラクター」展 関連講演会	パリ	パリ日本文化会館		2011.04.07	04.07～05.21の期間に開催される「日本人とキャラクター」展の周辺事業。展覧会の監修者である相原博之が講演
11	『銀河鉄道の夜』公演	パリ	パリ日本文化会館		2011.04.07 ～ 2011.04.09	宮沢賢治原作の『銀河鉄道の夜』を原案とした、平田オリザ脚本・演出による現代演劇の公演
12	キャラクター大国ニッポン展	パリ	パリ日本文化会館		2011.04.07 ～ 2011.05.21	サブカルチャーの重要なジャンルである「キャラクター」をテーマとした巡回展。1950～60年代から現在までの日本社会を振り返りつつ、日本人なら誰でも知っているキャラクター（ウルトラマン、ハローキティ、機動戦士ガンダム等）を分かりやすく解説するとともに、模型を展示。キャラクターの魅力を文化人類学的に分析するとともに、そのデザイン性も紹介。前年に引き続き、Nuits des Museesに参加（5月14日）
13	平田オリザ講演会	パリ	パリ日本文化会館		2011.04.09	04.07～09の期間にパリ日本文化会館大ホールで『銀河鉄道の夜』を公演する平田オリザによる講演会。同公演の内容も踏まえながら、同氏の昨今の演劇作品についてふれる
14	「キャラクター弁当」親子ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホール		2011.04.16 ～ 2011.05.14	04.07～05.21の期間に開催される「キャラクター大国ニッポン」展の周辺事業。親子でキャラクター弁当を作るワークショップ
15	日本のマンガ教室派遣事業	パリ	パリ日本文化会館 小ホール／教室	京都国際マンガミュージアム	2011.04.19 ～ 2011.04.21	京都国際マンガミュージアム及びマドリッド日本文化センターの協力により、「マンガ文化講演会」「マンガの描き方教室」「マンガの日本語教室」の3事業の専門家派遣を受け入れ、3日間の集中事業を実施
16	知られざる監督シリーズ第11弾：渋谷実監督特集	パリ	パリ日本文化会館		2011.04.27 ～ 2011.05.05	昭和30年代の松竹黄金期を支えた巨匠の一人である渋谷実の作品7点を紹介
17	「Jホラーの世界」	パリ	パリ日本文化会館		2011.05.06 ～ 2011.06.01	戦前の化け猫映画からスタジオシステム黄金期、ここ数年の世界的ヒット作まで、日本ならではの創造性と多様性に溢れたジャンルであるホラー映画について、大規模な特集を実施。計39作品を上映。関連企画として、モダンホラー舞踏家として活動する東陽子によるパフォーマンス・コンサートを2回実施（05.10～05.11）
18	前田司郎『understandable?』	パリ	パリ日本文化会館		2011.05.14	五反田団を主宰する前田司郎（演出家・脚本家）と、メッスの劇団Artrovの演出家Jean de Pangeによる共同制作
19	無外流居合道パリ演武会	パリ	パリ日本文化会館 大ホール	財団法人無外流	2011.05.21	無外流による居合いのレクチャーデモンストレーション。居合形、居合組太刀、剣術組太刀、試斬、居合形体験を実施。真剣による試技も披露
20	京都写真展	パリ	パリ日本文化会館 地上階スペース		2011.05.31 ～ 2011.06.24	京都写真展を四季に分けて展示

海外拠点

21	地唄舞公演周辺事業 渡辺保講演会「歌舞伎とは」	パリ	パリ日本文化会館 小ホール		2011.06.03	地唄舞の公演のために来仏する渡辺保による関連講演会。タイトルは「歌舞伎とは」
22	神崎流 地唄舞公演	パリ	パリ日本文化会館		2011.06.03 ~ 2011.06.04	神崎流家元神崎えんによる地唄舞公演
23	地唄舞公演周辺事業 渡辺保講演会「三味線音楽と日本の舞踊」	パリ	パリ日本文化会館 小ホール		2011.06.04	地唄舞の公演のために来仏する渡辺保による関連講演会。タイトルは「三味線音楽と日本の舞踊」
24	日本アート・シアター・ギルド特集	パリ	パリ日本文化会館	La Femis (フランス国立視覚音響技術高等学院)	2011.06.07 ~ 2011.07.23	国際交流基金所蔵及び他社・他機関所蔵の日本アート・シアター・ギルド(ATG)映画と併せて、フランスで初めて大規模なATG特集を実施
25	近藤良平・坂東扇菊 舞踊公演 GENJI	パリ	パリ日本文化会館		2011.06.10 ~ 2011.06.11	コンテンポラリーダンスの振付家である近藤良平と日本舞踊家である坂東扇菊による異色のコラボレーション企画。源氏物語の「葵の上」をテーマとした作品
26	日本酒セミナー・試飲会	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホール及び地下3階フォワイエ	栞田酒造店	2011.06.16	毎年恒例事業である日本酒セミナー・試飲会。有志の蔵元が数十軒集い、自慢の日本酒を披露
27	音楽の日 コンサート SHANTI	パリ	パリ日本文化会館	SACEM	2011.06.21	フランスで毎年、夏の到来を祝って街中の様々な場所で無料コンサートが開催される音楽の日のイベント。今年はゴダイゴのドラマーとして著名なトミー・スナイダーの娘で、歌手のSHANTIによるコンサートを開催
28	日本の美容に関するセミナーシリーズ	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホール	Shiseido Europe	2011.06.23 ~ 2012.02.16	Shiseido Europe SASによる日本の美容シリーズ。第1回「体も心もリラックス お風呂とその効用」(6/23)、第2回「肌老化 そのメカニズム」(9/29)、第3回「アイメーキャップと日本女性」(2/16)の3回を実施
29	JAPAN EXPOへの参加	パリ	パリ・ノール・ヴィルパント展示会会場		2011.06.30 ~ 2011.07.03	日本のエンターテインメントの祭典である第12回「JAPAN EXPO」に、国際交流基金/パリ日本文化会館として参加。ブースにおける日本語学習サイト体験など、日本語事業の紹介を中心に、若手ミュージシャンSHANTIの公演、ブースにおける伝統玩具小展示、JAPAN EXPOメインステージにおける短編映像作品上映など、多彩な日本文化の総合的紹介を実施
30	漫画夏季集中講座	パリ	パリ日本文化会館		2011.07.05 ~ 2011.07.09	漫画家 JM・ケン・ニイムラによる漫画集中講座。今回のテーマは「イラスト」。1日5時間×5回実施

海外拠点

31	「東日本からの声」	パリ	パリ日本文化会館 地上階スペース	株式会社東京デザインセンター	2011.09.08 ～ 2011.11.05	東日本大震災の被災地となった東北地方の伝統工芸品の実物及びパネルによる展示。展示品は以下の通り。 津軽塗（青森）、ブナコ（青森）、まげわっぱ（秋田）、樺細工（秋田）、こけし（宮城、山形）、鉄瓶（岩手、山形）、会津塗（福島）、結城紬（茨城） 【東日本大震災復興支援事業】
32	現代日本映画番外編 「関西からの声」	パリ	パリ日本文化会館		2011.09.24 ～ 2011.10.27	近年注目されている、関西の映画発信地（横浜聡子を輩出したC02、河瀬直美が立ち上げた奈良映画祭、石井裕也他多数の若手作家を輩出する大阪芸術大学等）と、強烈な個性と独特な歴史を持つ関西文化が生み出した映画・作家を紹介する企画。日本から、熊切和嘉、横浜聡子、和田淳、杉田真一を招へい
33	マノスコレクション浮世絵版画展	パリ	パリ日本文化会館	セイNZベリー日本藝術研究所 ギリシャ国立コルフ・アジア美術館	2011.09.27 ～ 2011.12.17	ギリシャ国立コルフ・アジア美術館に「マノスコレクション」として所蔵されている日本美術品のうち浮世絵版画約150点を選定の上展示。本コレクションはフランスでは初めての公開。企画監修者は浅野秀剛（大和文華館館長）
34	浮世絵展関連シンポジウム	パリ	パリ日本文化会館 大ホール		2011.09.28	2011.09.28から開催される浮世絵展のオープニングシンポジウム
35	日本茶テイスティングセミナー	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホール	寿月堂	2011.10.08	丸山海苔寿月堂が日本茶に関するセミナーを開催。タイトルは「日本茶の味くらべ」。レクチャー後にはさまざまな日本茶をテイスティング
36	剣術・能ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホール	アソシエーション・ドゥ・スピラル	2011.10.11 ～ 2011.12.03	H22年度秋期に実施し大変好評だった剣術・能ワークショップのH23年度版。居合いと立居振る舞いを指導。10/11、11/22、12/13（剣術）、12/3（能の動きを知る）
37	コンテンポラリーダンス（BATIK）	パリ	パリ日本文化会館		2011.10.13 ～ 2011.10.15	黒田育世率いるコンテンポラリーダンスカンパニー「BATIK」による公演
38	郷土料理セミナー 羽黒山伏「精進料理の世界」	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホール		2011.10.13 ～ 2011.10.20	日本の食文化への関心が高まっているフランスにおいて、食を通して一般市民・調理専門家及び有識者に対して日本文化に対する認識と共感を一層深めることを目的とし、山形・出羽地方の専門家が来仏。同地方の食文化に関するレクチャー・デモンストレーションを実施するとともに精進料理をはぐくんだ出羽三山地方の修験道文化を紹介
39	折り紙アトリエ	パリ	パリ日本文化会館		2011.10.25 ～ 2011.10.27	月1回ペースで年10回、水曜日に実施。客層の若年化の必要が課題とされている中、折り紙アトリエ事業は同課題解決策の1つであり、多くの子供たちの参加があり、好評価を得ている
40	琉球舞踊公演	パリ	パリ日本文化会館	沖縄県芸能関連協議会	2011.10.27 ～ 2011.10.29	沖縄県芸能関連協議会との共催により、三線等、沖縄音楽の生演奏に合わせて沖縄の舞踊を披露

海外拠点

41	郷土料理セミナー ー琉球料理デモン ストレーション	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホー ル		2011. 11. 05	琉球料理研究家の山本彩香他4名が沖縄の文化・芸能、そし て郷土料理を紹介
42	第6回KINOTAYO映画 祭	パリ	パリ日本文化会館	KINOTAYO映画祭	2011. 11. 09 ~ 2011. 11. 26	過去1~2年以内に発表された最新の日本映画をデジタル素材 で紹介するKINOTAYO映画祭を共催実施
43	舞踏公演（大駱駝 艦）	パリ	パリ日本文化会館		2011. 11. 17 ~ 2011. 11. 26	歴史ある舞踏カンパニー大駱駝艦による2週間に渡る公演。1 週目はジョセフナジなどフランスの振付家とも親交のある若 手振付家の田村一行、2週目は大駱駝艦の主宰である鷹赤兒 による公演
44	子供茶の湯ワーク ショップ	パリ	パリ日本文化会館 茶室/レセプション ホール/厨房	裏千家パリ事務所 裏千家本部	2011. 12. 07	裏千家パリ事務所との共催イベント。8歳~16歳頃の子供、 青少年を対象にした茶の湯ワークショップ
45	和菓子デモンスト レーションとワー クショップ	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホー ル/厨房	末富 裏千家パリ事務所 裏千家本部	2011. 12. 08	子供茶の湯イベントのために来仏する末富（京菓子司）が、 和菓子の説明と和菓子作りのデモンストレーションを実施。 参加者は、和菓子作りも体験
46	コンサート 日本の 若き才能	パリ	パリ日本文化会館	YAMAHA	2012. 02. 16 ~ 2012. 02. 17	ヨーロッパ在住の若手クラシック演奏家によるコンサート。 2日間で4組（阪本琢磨、倉澤杏菜、大谷加奈、茂木健人）の コンサートを実施
47	JAZZ IN JAPAN	パリ	パリ日本文化会館		2012. 03. 01 ~ 2012. 03. 03	2000年から毎年継続しているシリーズ企画。三晩連続で、毎 晩異なる3組のジャズグループ（渡辺香津美×吉田美奈子、 田中信正×林正樹、寺井尚子×Richard Galliano）によるコ ンサートを実施
48	2012年開館15周年 記念企画 春季展 「パリに笑壺を運 ぶ」現代映像作品 展	パリ	パリ日本文化会館 展示ホール		2012. 03. 28 ~ 2012. 06. 23	開館15周年となる2012年の前半の展示企画。現代日本の 「ユーモア」「パロディ」をテーマに、日本人アーティスト 9名による映像作品展示と、6つのグループによるシアタープ ログラムの上映。更に、講演会等も実施し、日本人と笑いの 文化について考察を深める。作家・作品選定は原久子（大阪 電気通信大学）、シアタープログラム企画は、澤隆志（映像 クリエイター）が担当

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
49	講演会シリーズ 「日本の政治、外 交リーダーシップ の行方」	パリ	パリ日本文化会館	アルザス・欧州日 本学研究所(CEEJA) パリ政治学院	2011. 05. 31	客員教授派遣事業によってパリ政治学院（Japan Chair）へ 来仏している研究者による講演会

海外拠点

50	講演会シリーズ 「日本美術における 葦手：曖昧の詩学」	パリ	パリ日本文化会館	読売新聞 日仏会館 渋沢栄一記念財団	2011. 06. 18	フランス在住の研究者による講演会。フランス在住の研究者をディスカッサントとする等、フランスの機関と協力してフランスのカウンターパートを発掘。また会館における日仏知的交流を対外的にアピール
51	講演会シリーズ 「東日本大震災後の 日本はどうか？～関東大 震災の歴史的な比較 の視点から～」	パリ	パリ日本文化会館		2011. 09. 09	フランス在住の研究者による講演会。フランス在住の研究者をディスカッサントとする等、フランスの機関と協力してフランスのカウンターパートを発掘。また会館における日仏知的交流を対外的にアピール
52	文化発信ラウンド テーブル	パリ	パリ日本文化会館	東芝国際交流財団	2011. 11. 15	パリ日本文化会館から、フランスに向けて、ひいては欧州全体に向けて、どのように日本文化・日本語を発信していくかを検討するサロン方式の会議

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
53	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方、日本研究者を対象に、日本に関する図書、映画／芸術・芸能／ドキュメンタリーDVDを多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 13,666名 (2) レファレンス数 2,727件 (3) 貸出点数 1,899点</p> <p>2. 情報発信への取組み パリ日本文化会館の紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) ニュースレター発行部数 56,000部（フランス語） (2) メールマガジン配信数 109,256件 (3) ホームページアクセス件数 232,575件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
54	JET参加者オリエンテーション、壮行会	在フランス大使館	2011. 07. 08	本年日本へ出発するJET（語学指導等を行う外国青年招致事業）参加者へのオリエンテーション及び過去参加者とのレセプションの会場として施設提供

海外拠点

55	ロベール・ギラン賞受賞記念レセプション	在フランス大使館	2011.09.13	ジャーナリスト顕彰のため日仏記者協会が主催する「ロベール・ギラン賞」の受賞記念レセプションの会場として施設を提供。9月13日（火）17時半～19時半にて実施
----	---------------------	----------	------------	--

【その他】

	事業名	都市	場所名	関連機関名称	期間	事業内容
56	海外拠点現地助成 (アングレーム国際漫画フェスティバルへの協力)	アングレーム	アングレーム国際漫画フェスティバル内 Espace MangAsie	アングレーム国際漫画フェスティバル	2012.01.26 ～ 2012.01.29	第39回を迎えるアングレーム国際漫画フェスティバルが会場で実施する日本関連小展示企画「漫画 笑いの感覚」に対し展覧会関連費用を助成

海外拠点

ソウル日本文化センター

合計額 134,952,121 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本映画地方上映会	ソウル 仁川 大邱 富川 坡洲 江原道	韓国漫画博物館 仁川大学校 大邱嶺南工業高校 大邱嶺南大学校 ソウル女子大学校 ソウルアートシネマ 韓国映像資料院 弘益大学校 江原情報文化振興院 江原情報文化振興院 仁川大学校日本語教育学科 大邱嶺南工業高校 大邱嶺南大学校 日文日語学科	社団法人 富川国際学生アニメーションフェスティバル組織委員会 EPS(Essential People's Space) シーナスAT9 ソウル女子大学校 韓国シネマテーク協議会 韓国映像資料院 弘益大学校 江原情報文化振興院 仁川大学校日本語教育学科 大邱嶺南工業高校 大邱嶺南大学校 日文日語学科	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ソウル日本文化センター所蔵の韓国語フィルム・ライブラリー作品を活用し、ソウルをはじめ地方都市での日本映画上映会を開催。溝口健二の名作から、アニメーション、2000年以降に製作された作品まで幅広く上映
2	ソウル日本文化センター事業紹介ビデオ制作	ソウル	ソウル日本文化センター		2011.04.01 ~ 2011.10.31	平成21年度に実施した移転及び平成22年度に実施した「日韓新時代：未来へのコラボレーション」事業を踏まえて、ソウル日本文化センターの新しい広報用ビデオ（DVD）を制作し、事業紹介を行うとともに広報活動を展開

海外拠点

3	『折り梅』無料上映会	始興 ソウル	去毛老人デイケアセンター 崇義女子大学家族福祉学科 親孝行シニアケアセンター 陽川区痴呆支援センター 龍山区痴呆支援センター 龍山老人療養院 中浪老人専門療養院 西大門区痴呆支援センター 九老区痴呆支援センター 蘆原区痴呆支援センター 区立松坡老人療養センター 祥明大学校	韓国痴呆家族協会 祥明大学校教養学部	2011.04.29 ～ 2011.05.27	韓国痴呆家族協会の全国ネットワークと連携し、認知症をテーマとしたソウル日本文化センター所蔵の映画『折り梅』を上映。高齢化社会に対する認知度や映像による日本文化理解を深化
4	いわさきちひろ展(金海)	金海市	金海文化会館	財団法人いわさきちひろ記念事業団	2011.05.01 ～ 2011.06.12	韓国における日本文化紹介事業の一環として、地方都市・金海でいわさきちひろ作品の展示会を開催
5	三橋貴風 尺八ワークショップ	ソウル	ソウル日本文化センター	三橋 貴風	2011.05.18	尺八演奏家の三橋貴風(元文化庁文化交流使)が、日本語講座受講生を対象としたワークショップを開催
6	いわさきちひろ展(済州)	済州	済州現代美術館	財団法人いわさきちひろ記念事業団	2011.06.18 ～ 2011.07.26	韓国における日本文化紹介事業の一環として、地方都市・済州でいわさきちひろ作品の展示会を開催
7	日本が生んだ巨匠3K特集映画祭	ソウル 光州	韓国映像資料院 光州シネマテーク	韓国映像資料院(Korean Film Archive) 光州シネマテーク	2011.07.01 ～ 2011.08.19	国際交流基金が上映権を取得した小林正樹、木下恵介、木村威夫監督作品の35mmフィルムを活用し、韓国側機関(ソウル及び光州)と連携して映画祭を実施

海外拠点

8	慶北大学校美術館 「Painting for Joy 1990s」展	大邱	慶北大学校美術館	慶北大学校美術館	2011.07.05 ～ 2011.07.30	2011年4月から7月にかけてソウル、釜山、済州で開催される巡回展（90年代日本の絵画展）を大邱でも開催
9	いわみせいじとその友だち展	ソウル	ソウル日本文化センター	いわみ せいじ	2011.07.08 ～ 2011.07.16	いわみせいじ（漫画家、文化庁文化交流使）の協力により、同氏の作品と韓国の漫画家の作品を併せて展示する日韓合同カートゥーン展とワークショップを開催
10	センター・コレクション地方展（光州ロッテギャラリー浮世絵展）	光州	光州ロッテギャラリー	光州ロッテギャラリー	2011.08.04 ～ 2011.08.28	地方における日本文化紹介のため、ソウル日本文化センター所蔵の「浮世絵」復刻版を活用した展示会を光州ロッテギャラリーと共催で実施
11	日韓アート交流フェスティバル	ソウル	KT&Gサンサンマダン、オープンスペース・ドア	So Creative	2011.08.16 ～ 2011.08.21	日韓それぞれの都市で毎年1回ずつ開催されているアートフェスティバル「イーピース」の開催に協力。ソウル日本文化センター所蔵フィルム・ライブラリーの中から『あんによんキムチ』『かたつもり』を上映するとともに、永井一正（グラフィックデザイナー）のポスターを展示
12	日韓交流おまつり関連展示「浮世絵展」	ソウル	韓国工芸デザイン文化振興院		2011.08.31 ～ 2011.09.19	「日韓交流おまつり」は日韓合同で行われる大規模な交流行事。同おまつりの開催時期に併せて日韓の文化交流を促進するため、浮世絵の展示会を開催。韓国の風景を浮世絵で描いた川瀬巴水の作品も韓国で初展示
13	日本映画地方上映会（小津安二郎回顧展）	光州 大邱	光州劇場 大邱東城アートホール	光州シネマテーク 大邱慶北シネマテーク	2011.09.15 ～ 2011.11.01	日本映画地方上映会の一環として、国際交流基金所蔵のフィルム・ライブラリーの中から小津安二郎監督作品を活用し、光州市及び大邱市において日本映画上映会を実施
14	日韓交流おまつり「東日本大震災報道写真展」&「がんばれ日本！韓国児童画展」	ソウル	ソウル広場	日韓共同開催文化交流事業「日韓交流おまつり」実行委員会	2011.09.25	「日韓交流おまつり」は日韓合同で行われる大規模な交流行事。日韓の文化交流を促進するため、同おまつりの一環として東日本大震災報道写真展と日本を応援する主旨の韓国児童画展を開催
15	日韓若手音楽家交流演奏会	ソウル	セラミックパレスホール	日韓若手音楽家交流実行委員会	2011.09.29	スイスで学んだ日韓の若手音楽家が共同公演するクラシックコンサート（ピアノリサイタル）を実施
16	センター・コレクション地方展—清州Japan Week2011／日韓世界遺産写真パネル展	清州	国立忠北大学校開新文化館	国立忠北大学校 在韓国大使館	2011.11.07 ～ 2011.11.13	在韓国大使館主催の清州ジャパンウィークの一環として、ソウル日本文化センター所蔵の日韓世界遺産写真パネルを用いた展示会を開催し、日本文化を紹介
17	日本映画地方上映会—清州Japan Week2011／日本映画傑作選上映会	清州	国立清州博物館情報資料室小講堂 清州大学校新千年館AV室	国立清州博物館 在韓国大使館 清州大学校	2011.11.07 ～ 2011.11.13	ソウル日本文化センター所蔵の韓国語フィルム・ライブラリー作品を活用し、清州ジャパンウィークの一環として日本映画上映会を開催。溝口健二監督『雨月物語』『山椒大夫』、新海誠監督『秒速5センチメートル』『雲のむこう、約束の場所』等を上映

海外拠点

18	センター・コレクション地方展—清州Japan Week2011／浮世絵展	清州	国立清州博物館	国立清州博物館 在韓国大使館	2011.11.08 ～ 2011.11.13	在韓国大使館主催の清州ジャパンウィークの一環として、ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵復刻版を用いた展示会を開催し、日本文化を紹介
19	センター・コレクション地方展—清州Japan Week2011／永井一正グラフィックポスター展	清州	清州文化会館	在韓国大使館	2011.11.08 ～ 2011.11.13	在韓国大使館主催の清州ジャパンウィークの一環として、ソウル日本文化センター所蔵の永井一正のグラフィックポスターを用いた展示会を開催し、日本文化を紹介
20	岡本喜八監督特集映画祭	ソウル	韓国映像資料院 KOFA第1館	韓国映像資料院	2011.12.01 ～ 2011.12.31	戦後日本映画界を代表する映画監督でありながら、韓国でも紹介されることがなかった岡本喜八の特集を、韓国映像資料院と連携して上映
21	ヨントン図書館多文化資料室開館記念浮世絵展	水原	水原市ヨントン区 ヨントン図書館多文化資料室	水原市ヨントン区 ヨントン図書館	2011.12.03 ～ 2011.12.16	水原市ヨントン図書館の多文化資料室開館記念事業として浮世絵展を実施。図書館を訪れる地域住民と外国人、多文化家庭に日本文化を紹介
22	日本映画地方上映会-ひな祭り展／日本映画傑作選上映会	ソウル	在韓国大使館公報文化院	在韓国大使館公報文化院	2012.02.01 ～ 2012.02.28	在韓国大使館公報文化院の定期事業である「ひな祭り展」の一環として、ソウル日本文化センターが所蔵している韓国語フィルム・ライブラリー作品を活用した上映会を共催し、映像を通じた日本文化紹介事業を実施
23	山本薩夫&新藤兼人監督特集映画祭	ソウル 釜山	韓国映像資料院 シネマテーク釜山	韓国映像資料院 (Korean Film Archive) シネマテーク釜山	2012.02.07 ～ 2012.03.18	国際交流基金が上映権を持つ山本薩夫及び新藤兼人の監督作品の35mmフィルムを活用し、韓国内諸機関（釜山及びソウル）と連携して映画祭を実施
24	「浮世絵で見る日韓風景」展	大田	大田ロッテギャラリー（大田広域市）	大田ロッテギャラリー	2012.02.09 ～ 2012.03.07	ソウル日本文化センターが所蔵している浮世絵復刻版を活用し、大田ロッテギャラリーと共催で展示会を開催。映像資料も活用し、日韓両国の風景を紹介
25	辰巳満次郎能楽ワークショップ	ソウル 大田	ソウル日本文化センター 順天郷大学校 韓南大学校	順天郷大学校 韓南大学校	2012.03.03 ～ 2012.03.29	辰巳満次郎（能楽師／文化庁文化交流使）の協力により、日本語学習者と演劇関係者を対象とした能及び伝統楽器のワークショップを実施
26	全北道立美術館永井一正展	全州	全北道庁企画展示室	全北道立美術館	2012.03.12 ～ 2012.03.23	ソウル日本文化センターが所蔵する永井一正のポスターを用いた展示会を開催
27	平澤ジャパンデイ浮世絵展	平澤	平澤文化芸術会館	在韓国大使館	2012.03.14 ～ 2012.03.21	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵復刻版を用いて展示会を開催。安藤広重、葛飾北斎が描いた日本の風景画を展示

海外拠点

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
28	ソウルバロックチェンバーホール古楽フェスティバル	ソウルバロックチェンバーホール	2011. 04. 25 ～ 2011. 04. 30	ソウルバロックチェンバーホールのリニューアルオープンに併せて、日韓を代表する演奏家とヨーロッパの新鋭によるバロックチェンバーフェスティバルを開催。ソウル日本文化センターは桐山建志など4名の演奏者に対する渡航費を助成
29	第11回 南北子どもと日本子どもマダン	南北子どもと日本子どもマダン実行委員会	2011. 07. 11 ～ 2011. 07. 18	東アジア子ども交流プログラムの一環として日韓子供交流ワークショップを開催。韓国の子供たちが大阪の小学校への訪問、ホームステイなどを通じて日本を理解することで、将来の東アジア和平定着のための民間ネットワークの拡大を目指す。ソウル日本文化センターは韓国の子供たちの日本への渡航費を助成
30	韓日ボランティア・フォーラム	韓日社会文化フォーラム	2011. 07. 11 ～ 2011. 07. 18	韓日社会文化フォーラムが震災復興のために青少年とともに行ったボランティア活動を報告するフォーラムを開催。震災関係者及び専門家も参加して第三国の貧困や災難を支援する方策も議論。ソウル日本文化センターは韓国側参加者の渡航費を助成
31	ソウル国際漫画・アニメーションフェスティバル2011	ソウル国際漫画・アニメーションフェスティバル組織委員会	2011. 07. 20 ～ 2011. 07. 24	韓国最大の漫画・アニメーションフェスティバル。展示部門では『深夜食堂』で知られる安部夜朗と『桜蘭高校ホスト部』で知られる葉鳥ビスコ、そして折り紙作家の山口まことが参加。ソウル日本文化センターは作家3名の渡航費を助成
32	Nostalgia, East Asia Contemporary Art Exhibition	韓国国際交流財団	2011. 07. 29 ～ 2011. 08. 27	日中韓文化シャトルの一環として韓国国際交流財団が企画・主催した展示事業。「ノスタルジア」をテーマに日中韓3カ国のアーティストの作品を紹介。ソウル日本文化センターは日本人アーティストの渡航費を助成
33	韓日学生会議(ソウル会議)	朝日学生会議	2011. 08. 04 ～ 2011. 08. 18	日韓の大学生が「世界の中のアジア、飛躍する日韓関係」というテーマの下、両国の歴史、政治、経済、文化などの多様なテーマをもって討論や意見交換を行う学生交流プログラムを開催。ソウル日本文化センターは日本人学生の渡航費を助成
34	Museum beyond museum project 2—Takashi Kuribayashi in between展	Museum. People	2011. 08. 05 ～ 2011. 11. 16	「Sensibility is Possibility」というテーマの下、環境問題を文化・芸術的な側面で考察する展示会シリーズの一つ。現代美術作家の栗林隆を招へいし、環境をテーマとした展示会を開催。ソウル日本文化センターは栗林隆の渡航費を助成
35	第7回堤川国際音楽映画祭	堤川国際音楽映画祭組織委員会	2011. 08. 11 ～ 2011. 08. 16	国内外の映像と音楽をテーマとする映画の上映と音楽公演を行う韓国で唯一の音楽映画祭。ソウル日本文化センターは小津安二郎の監督作品上映経費及び塩屋俊（『ふたたび』監督）の渡航費を助成
36	第5回シネマデジタルソウル映画祭	社団法人シネマデジタルソウル組織委員会	2011. 08. 17 ～ 2011. 08. 23	アジア新人監督を対象としたデジタル映画中心のコンペ映画祭。ソウル日本文化センターは審査委員として招へいされた崔洋一とコンペに参加した新人監督の渡航費を助成

海外拠点

37	EPS2011 KOREAコンサート	EPS(Essential People's Space)	2011.08.19	EPSは日本と韓国で開催される展示、公演、映画上映、パフォーマンス、作家トークからなる総合芸術祭。公演部門では日韓アーティストがそれぞれ4組ずつ出演。ソウル日本文化センターは日本側アーティストの渡航費を助成
38	『ライブテープ』上映会	雨乃日珈琲店	2011.08.20	松江哲明の監督作品『ライブテープ』を上映するとともに、主演のミュージシャン・前野健太を招へいし、映画と音楽を通じた日韓交流事業を実施。ソウル日本文化センターは前野健太の渡航費を助成
39	タイポジャンチ2011：ソウル国際タイポグラフィビエンナーレ	韓国工芸デザイン文化振興院	2011.08.30 ～ 2011.09.14	ソウルタイポグラフィビエンナーレ開催10周年を記念して、日中韓3カ国のデザイナーが集まり、タイポグラフィの芸術的な価値と可能性を追求。ソウル日本文化センターは日本側参加者の渡航費を助成
40	劇団態変『ファン・ウンド潜伏記』韓国公演	劇団態変	2011.09.06 ～ 2011.09.07	体の不自由な役者で構成される劇団「態変」が一般障害者の役者募集を韓国で行い、日韓両国の障害者で構成された演劇『ファン・ウンド潜伏記』をソウルで上演。ソウル日本文化センターは劇団員の渡航費を助成
41	『折り梅』特別試写会	映画社チョア	2011.09.14 ～ 2011.09.16	『折り梅』の韓国正式公開に伴い、監督の松井久子と女優の吉行和子が来韓し、観客との対話を実現。ソウル日本文化センターは両名の渡航費を助成
42	インディ・アニメフェスタ2011	韓国独立アニメーション協会	2011.09.22 ～ 2011.09.27	韓国の独立アニメーターを中心としたアニメーションの祭典。海外特別展を開催し、文化庁メディア芸術祭にも選ばれたアニメーターの水江未来を招へい。和田淳、トーチカ、大山慶の作品も紹介。ソウル日本文化センターは日本のアニメーターの渡航費を助成
43	2011 D. FESTA	韓国小劇場協会	2011.09.24 ～ 2011.11.27	韓国小劇場協会が主催する2011D. FESTAのうち、「OUT DOOR」のプログラムの一環として日本のサブリミット、コモト喜劇マイム、ムシマル舞踏、コジヤマ&ハットリ、タイスケサーカス等のチームが参加。ソウル日本文化センターは同参加者の渡航費を助成
44	第8回日本歌謡大会	釜山韓日文化交流協会	2011.10.08	釜山韓日文化交流協会が対馬市と在釜山総領事館と共催で嶺南地域の市民を対象に日本歌謡のど自慢大会を開催。ソウル日本文化センターは、大会に招へいされた演歌歌手、前田有紀の渡航費を助成
45	韓日文化交流事業「WITH」	西大門文化会館	2011.10.10	日韓の伝統舞踊家である藤間信乃輔とパク・ジョンピルによる単独公演及びコラボレーション公演を実施。ほかに韓国民謡や「民族衣裳源流会」による「源氏物語」と題した日本の伝統衣装の紹介事業も実施。ソウル日本文化センターは日本側参加者の渡航費を助成

海外拠点

46	広島-狭川：二つの都市をめぐる展覧会	韓国公演芸術センター	2011. 10. 14 ~ 2011. 10. 15	ソウル国際公演芸術祭と日本のマレビトシアターカンパニーが演劇「広島-狭川：二つの都市をめぐる展覧会」を共催。原子爆弾の被爆地である広島と、当時広島で被爆し帰国した韓国人が集団で居住する狭川を背景とした物語を展覧会形式で表現し公演。ソウル日本文化センターはマレビトシアターカンパニーの渡航費を助成
47	第4回ソウル国際バッハフェスティバル	漢陽大学校音楽研究所	2011. 10. 23 ~ 2011. 10. 31	漢陽大学校音楽研究所主催の「第4回ソウル国際バッハフェスティバル」に日本から桐山建志（ヴァイオリニスト）と櫻井茂（コントラバス奏者）が参加し、韓国の鄭ロッキ（漢陽大学校教授）とともに「コレギウム・ムジクム・漢陽」を結成。ソウル日本文化センターは日本からの参加者の渡航費を助成
48	バリアフリー映画祭	バリアフリー映画設立推進委員会	2011. 10. 28 ~ 2011. 10. 31	韓国初のバリアフリー映画祭。身障者も楽しめるような環境づくりを目指して専門家を招へいし、シンポジウムを開催。また、バリアフリー映画の先進国である日本の作品『酔いがさめたら、うちにかえろう』を韓国語版で上映。ソウル日本文化センターは同映画の東陽一（映画監督）及びバリアフリー専門家の大河内直之（東京大学 先端科学技術研究センター研究員）の渡航費を助成
49	日韓競技かるた交流	日韓競技かるた交流プログラム実行委員会	2011. 11. 04 ~ 2011. 11. 06	全日本かるた協会主催の「小倉百人一首かるた競技全国大会」に全南大学日本文化研究センターの学生が参加。日韓の学生が世界中の人達とかるたを通じて交流。ソウル日本文化センターは韓国人学生の日本への渡航費を助成
50	韓日地域芸術交流プロジェクト	ソンミサンマウル	2011. 11. 11 ~ 2011. 11. 17	韓国の代表的な芸術共同体地域であるソンミサンマウルが日本の類似団体である天人（あまんど）関係者を招へいし、市民社会を基盤とした芸術共同体交流を実施。ソウル日本文化センターは天人関係者の渡航費用を助成
51	『奇跡』特別試写会	ミロ・ビジョン	2011. 12. 12 ~ 2011. 12. 14	映画『奇跡』の韓国正式公開に伴い、是枝裕和（映画監督）が来韓し、観客及び韓国の映画人と交流。ソウル日本文化センターは同氏の渡航費を助成
52	2012シネマテーク友達映画祭	韓国シネマテーク協議会	2012. 01. 12 ~ 2012. 02. 26	シネマテークを支持する監督及び俳優たちが見たい映画を選定してプログラムを作っていく映画祭。日本作品として船橋淳の監督作品『Big River』、『谷中暮色』も上映。ソウル日本文化センターは同監督の招へい費用を助成
53	Yukari Jazz Flute Concert	コスモス楽器	2012. 02. 11 ~ 2012. 02. 12	コスモス楽器がニューヨークで活動しているジャズフルーティストのYUKARI（渡辺ゆかり）を招へい。ソウル日本文化センターは同氏の渡航費を助成
54	韓日予備クリエイター交流展	etteda	2012. 02. 21 ~ 2012. 02. 28	卒業を目前に控えた日韓のデザイン関連学生による作品交流展を「間」というタイトルで開催。共同展示を通じて、両国のデザインの流れを共有。ソウル日本文化センターは韓国側クリエイターの日本渡航費用を助成

海外拠点

55	『マイ・バック・ページ』特別試写会	映画社ジャミ	2012.03.05 ~ 2012.03.07	映画『マイ・バック・ページ』の韓国正式公開に伴い、山下敦弘（映画監督）が来韓し、観客及び韓国の映画人と交流。ソウル日本文化センターは同監督の渡航費を助成
56	2012統営国際音楽祭	統営国際音楽祭	2012.03.23 ~ 2012.03.29	財団法人統営国際音楽祭が主催する「2012統営国際音楽祭」に世界的に活躍するアーティストが参加（日本からは細川俊夫、倉本裕基を招へい）。ソウル日本文化センターは細川俊夫の渡航費を助成

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	期間	事業内容
57	国際交流基金日本研究フェロー・フォローアップ事業「JFとともに」連載	ソウル	ソウル日本文化センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	国際交流基金の日本研究フェローに対するフォローアップを兼ねて、ソウル日本文化センターのウェブサイト連載企画である「JFとともに」の執筆を韓国人元フェローに依頼し、年5回掲載
58	日本研究・知的交流分野動向調査活動	ソウル	ソウル日本文化センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	韓国内で発行される学術誌などに発表された日本関連論文・記事等を翻訳し、韓国における日本研究・知的交流分野の動向を調査

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
59	韓国児童学会2011春季学術大会	韓国児童学会	2011.05.07	「より幸せな児童期のための韓国社会の課題—Making Better Childhood—」という主題で、日本、フランス、韓国の学者が一堂に会し発表・討論する学術大会。ソウル日本文化センターは発表者の渡航費等を助成
60	2011年韓日民族問題学会学術大会—韓日合同学術セミナー	韓日民族問題学会 (The Association of Korean-Japanese Nation Studies)	2011.08.05 ~ 2011.08.06	日本から在日韓国人の権益保護運動などで活躍している知識人を招へい。日本社会での韓国関連運動の思想的現況を考察し、今後の友好増進のための方法を模索するセミナー。ソウル日本文化センターは発表者の渡航費等を助成
61	国際学術シンポジウム「言語類型論と個別言語研究—TAMシステムを中心に」	韓国外国語大学校日本研究所	2011.08.19	韓国外国語大学校日本研究所が毎年行う学術シンポジウムの一つで、2011年は言語類型論をテーマに専門家を招へいし、日韓両国における同学問について議論。ソウル日本文化センターは発表者の渡航費等を助成
62	韓国日本語学会 第24回学術発表会及びシンポジウム	韓国日本語学会	2011.09.17	日本語文法と社会言語学の融合領域というテーマで渋谷勝己（大阪大学教授）を招へいしてシンポジウムを開催するとともに、日本語学と日本語教育に関する分科会を実施。ソウル日本文化センターは被招へい者の渡航費等を助成
63	2011年韓国日語日文学会秋季国際学術大会 「現代日本の格差問題—歴史的展開と現在の構造」	韓日日語日文学会	2011.10.15	「日本の格差問題」を日本語、日本文学、政治（社会）学の側面から議論するシンポジウム及び、個別発表からなる学術大会。ソウル日本文化センターは日本側発表者の渡航費等を助成

海外拠点

64	第26回檀国大学校日本研究所学術シンポジウム「東アジアにおける漢文と近代」	檀国大学校	2011. 10. 21	日中韓の3カ国が近代に入り相互交流する中で、従来の漢文と国語が影響し合い、変化する様相を重点的に探るシンポジウム。ソウル日本文化センターは日本側発表者の渡航費等を助成
65	韓国日本近代文学会	韓国日本近代文学会	2011. 11. 05	「主題」を取り上げる春大会と「作家」を取り上げる秋大会の、年2回の定期学術大会を実施。秋大会は、生誕100周年を迎える太宰治をテーマに、日本近代文学会関西支部と共同で開催。ソウル日本文化センターは日本側発表者の渡航費等を助成
66	国際著作権技術カンファレンス2011	国際著作権技術カンファレンス(ICOTEC)組織委員会 韓国著作権団体連合会	2011. 11. 17 ~ 2011. 11. 18	著作権保護技術の発展に寄与し、関連国際専門学会と連携することで最新の研究動向を把握し、技術交流の拡大を目指す国際会議。ソウル日本文化センターは日本から参加した専門家の渡航費等を助成するとともに、所長が諮問委員として協力
67	2012年高麗大学校日本研究センター国際学術シンポジウム「3. 11東日本大震災の教訓：複合危機とリスク管理」	高麗大学校日本研究センター	2012. 03. 02	3. 11東日本大震災から学ぶべき教訓を日韓が共に考察しようとする国際シンポジウムの開催にあたり、参加者旅費及びシンポジウムに併せた書籍（翻訳版）の出版費用を助成

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
68	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、劇映画・アニメDVD、日本語教材を多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 18,162名 (2) レファレンス数 1,237件 (3) 貸出点数 20,690点</p> <p>2. 情報発信への取組み ソウル日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報を発信</p> <p>(1) メールマガジン配信数 277,208件 (2) ホームページアクセス件数 2,182,687件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
69	東日本大震災チャリティーコンサート	Rockin Korea	2011. 04. 22	東日本大震災からの復興途中にある日本を応援する、日韓の若手アーティストによるチャリティーコンサート。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し広報に協力

海外拠点

70	劇団風の子九州『にっこりぼっかり座』公演	国立劇場	2011.05.10 ～ 2011.05.11	国立劇場が4月27日～5月29日にかけて実施する「青少年公演芸術祭」に劇団風の子九州が招へいされ、『にっこりぼっかり座』を公演。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し広報に協力
71	日本留学総合説明会	株式会社ライセンスアカデミー 大学新聞社	2011.05.20 ～ 2011.07.17	日本への留学に関心のある青少年を対象に、ソウル、大邱、釜山で留学説明会を開催。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し、広報に協力
72	韓日クリエイター交流展	ETTEDA KOREA	2011.08.24 ～ 2011.08.29	2011年で5回目を迎える作品展。大学卒業を前にした日韓のデザイン専攻学生やクリエイターの作品を展示。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し、広報に協力
73	第9回 日韓カラオケ大会	ソウルジャパンクラブ	2011.08.27 ～ 2011.10.23	2012年で9回目を迎える日韓合同のカラオケ大会。日本語を母語とする人は韓国の歌を、韓国語を母語とする人は日本の歌を歌い、賞を競うもの。ソウル日本文化センターは予選会場を提供
74	韓日日語日文学会2011年学術大会	韓日日語日文学会	2011.09.03	韓日日語日文学会が定期的で開催する学術大会。学術発表、森洋久（国際日本文化研究センター准教授）による招へい講演（「日本の大学院の現状と課題」）、「日本関連大学院の現状と課題」をテーマとするシンポジウムを実施。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し、広報に協力
75	平成23年度（2011年）日本留学フェア（韓国）	日本学生支援協会	2011.09.17 ～ 2011.09.18	日本への留学に関心のある層を対象に、ソウルと釜山で留学説明会を開催。ソウル日本文化センターでは、「協力」名義の発出とともに、事前広報への協力及びブースを設置
76	日本酒で乾杯、元気な日本発信事業	韓国外国語大学校日本語学部 宮城県ソウル事務所 財団法人自治体国際化協会ソウル事務所 山形県ソウル事務所 新潟県ソウル事務所 静岡県ソウル事務所 北東北3県・北海道ソウル事務所	2011.10.25	韓国外国語大学校日本語学部創立50周年を記念し、日本研究者及び日本語教育関係者を対象に日本酒に関する講演を行い、日本酒試飲会を開催。ソウル日本文化センターは広報に協力
77	アジア未来フォーラム2011「アジアの危機を超えて：責任と共生」	ハンギョレ経済研究所	2011.11.15 ～ 2011.11.16	韓・中・日3カ国の企業間の交流を通じて企業の持続可能な成長動力と核心モデルを模索し、東アジアの企業がアジアの経済と社会に寄与できる方法について議論。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し、広報に協力

海外拠点

78	2011CLAIR—KRILA共同セミナー	財団法人自治体国際化協会 (CLAIR) 韓国地方行政研究院 (KRILA) 国立防災研究所 国会行政安全委員会 ネイル新聞	2011. 11. 17	防災をテーマに日韓両国の行政関係者・実務者が一堂に会し、セミナーを開催。発表者を含め230名が参加。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し、広報に協力
79	『眠れない夜なんてない』公演	斗山アートセンター	2011. 11. 29 ~ 2011. 12. 31	斗山アートセンターが平田オリザ作の演劇『眠れない夜なんてない』を公演。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し広報に協力
80	『再／生 (Re/Play) 』公演	第12言語演劇スタジオ	2011. 12. 22 ~ 2011. 12. 31	韓国の劇団「第12言語演劇スタジオ」と日本の劇団「東京テスロック」が日韓両国の都市で生きていく若者が経験する現実的な不満と不安を題材にした多田淳之介演出の作品『再／生 (Re/Play) 』を公演。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し広報に協力
81	『革命日記』公演	斗山アートセンター	2012. 01. 12 ~ 2012. 01. 15	日本の劇作家・平田オリザの作品『革命日記』を韓国の斗山アートセンターと日本の劇団「青年団」が共同で制作し、ソウルにて上演。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し広報に協力
82	第8回日本映画祭	CGV (映画館) 映画の殿堂 文化庁	2012. 01. 26 ~ 2012. 02. 06	文化庁がCGV、映画の殿堂と共催した「日本映画祭」に対し、ソウル日本文化センター独自のネットワークを活かして広報に協力
83	「春&猫をお願い」(映画上映会)	韓国映像資料院	2012. 03. 09 ~ 2012. 03. 25	猫をテーマとした長編・短編映画を集めた特集上映。ソウル日本文化センターは事業全体に後援名義を付与し広報に協力。また、所蔵フィルムライブラリーの中から『長靴をはいた猫』、『ながぐつ三銃士』、『長靴をはいた猫—80日間世界一周』を共催上映
84	韓国における東北大学入学試験	東北大学理学部化学専攻AMC (Advanced Molecular Chemistry) 入試実行委員会	2012. 03. 21	東北大学理学部化学専攻に新たに作られた英語コースの入試をソウルで実施するにあたり、ソウル日本文化センターが施設を貸与

海外拠点

北京日本文化センター

合計額 132,860,958 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	現代日本探索 シリーズ第1回 北川フラム講演会	北京	中央美術学院 美術館 北京日本文化 センター	中央美術学院美術 館	2011.04.17 ~ 2011.04.18	様々な分野で活躍する日本のトップランナーを中国に招へいし、特に大学生を中心とする若者を対象に講演会を実施する「現代日本探索シリーズ」の1回目。日本に対する理解を深めてもらうとともに、対話の機会を設けることを目指す。なお、今期の総合テーマは「アートで繋がる社会」とし、アートディレクターの北川フラムを招へい
2	細江英公講演会	北京	北京日本文化 センター	草場地春の写真祭 2011	2011.04.25	中国でも日本を代表する写真家として知られ、2010年には文化功労賞も受賞した細江英公を北京に招へい。写真芸術や日本文化に興味のある中国の人々を対象とした講演会を実施
3	春の映画上映会	北京	北京日本文化セン ター多目的ホール		2011.04.27 ~ 2011.05.07	「旅立ちの春」をテーマに、在外フィルムライブラリーから3作品を上映。『秒速5センチメートル』（4月27日）、『100万円と苦虫女』（5月4日）、『おくりびと』（5月7日）
4	第20回留華ネット ミーティングin延 辺ふれあいの場	吉林	延辺大学	延辺ふれあいの場	2011.05.27 ~ 2011.05.29	留華ネット（国際交流基金が主催する学生ネットワーク）の各都市代表メンバーたちが、延辺ふれあいの場にて現地学生との交流会を企画・運営。また、メンバーによるミーティングも行い、それぞれが留学する地方での日中交流事業に関する情報、意見交換を実施
5	初夏の映画上映会	北京	北京日本文化セン ター多目的ホール		2011.05.31 ~ 2011.06.07	「さわやかな人気男優」をテーマに、在外フィルムライブラリーから3作品を上映。『春の雪』（5月31日）、『雪に願うこと』（6月2日）、『サッドヴァケイション』（6月7日）
6	山田洋次監督映画 特集	北京	中国電影資料館	在中国大使館 中国電影資料館 日中映画祭実行委 員会	2011.06.04 ~ 2011.06.07	在中国大使館、中国電影資料館、日中映画祭実行委員会と共催で、山田洋次の監督作品を上演。同氏は、中国でも日本を代表する監督として著名で、本年監督として50周年を迎える
7	野村万作 狂言レ クチャーデモン ストレーション	北京	日本大使公邸 ホール	在中国大使館	2011.06.14	中国芸術院での狂言講演会及びワークショップ開催（本部助成事業）のため来訪する野村万作が、同活動以外の時間に、学生や専門家以外を対象にレクチャーデモンストレーションを実施。この事業は、同氏の希望により行われたもので、在中国大使館広報文化センターの協力のもと実施

海外拠点

8	現代日本探索 シリーズ第2回 川崎和男講演会	北京	中央美術学院 美術館 北京日本文化 センター	中央美術学院美術 館	2011.06.27 ~ 2011.06.29	様々な分野で活躍する日本のトップランナーを中国に招へいし、中国の若者を対象に講演会を実施する「現代日本探索シリーズ」の2回目。「アートで繋がる社会」という総合テーマのもと、中国で関心の高い日本のデザイン分野で、車椅子や人工臓器のデザイン、地域の伝統工芸を生かすデザイン等、デザイナーという立場からより良い社会作りに取り組む川崎和男を講師として招へい
9	消夏文化祭（折り紙教室、山水画ワークショップ）	北京	北京日本文化センター多目的ホール		2011.07.11 ~ 2011.08.27	夏休み期間中、主に学生や親子連れを対象として、折り紙のワークショップと、山水画のワークショップを実施
10	夏の映画上映会	北京	北京日本文化センター多目的ホール		2011.08.01 ~ 2011.08.18	夏休み期間中、主に学生や親子連れを対象として、学園・青春モノやSFなどの8作品を上映。『ブタがいた教室』（8月1日）、『森の学校』（8月3日）、『キッズ・リターン』（8月3日、18日）、『スウィングガールズ』（8月8日）、『ウォーターボーイズ』（8月10日）、『ガメラ大怪獣空中決戦』（8月10日、16日）、『がんばっていきまっしょい』（8月12日）、『どこまでもいこう』（8月16日）
11	北京音楽祭への日本人アーティスト招へい（九門ジャズフェスティバル 本田雅人バンド公演）	北京	朝陽公園中心島劇場 愚公移山ライブハウス 北京現代音楽研修学院	九門ジャズフェスティバル	2011.09.11 ~ 2011.09.15	北京で開催される九門ジャズフェスティバルにサクソ奏者として著名な本田雅人率いる本田雅人バンドを招へい、公演・ワークショップを実施
12	第21回留華ネットミーティング	北京	日本文化センター会議室		2011.09.17 ~ 2011.09.18	留華ネット（国際交流基金が主催する学生ネットワーク）の各都市代表メンバーによるミーティングを実施。それぞれが留学する地方での日中交流に関する情報共有と、意見交換を実施
13	J-popコンサート	成都 西寧 青島 北京	成都東区音楽主題公園 青海民族大学内ホール 青島人民会堂 北京外国語大学	ソウルボッサ・プロダクション 北京外国語大学 在青島総領事館 青島市人民政府外事弁公室 成都ふれあいの場 西寧ふれあいの場	2011.10.22 ~ 2011.10.31	日中交流センターと共同で、ふれあいの場のある都市（成都、西寧）、及び青島、北京での巡回コンサートを実施。招へいアーティストは日本で活躍する中国人歌手aminと、中国でも「桜」で有名な河口恭吾

海外拠点

14	日本ドキュメンタリー映画祭	北京	中央戯劇学院北劇場	中央戯劇学院北劇場	2011.12.02 ~ 2011.12.04	2011年3月11日の東日本大震災（原発事故問題を含む）を背景に、今の日本を中国の人々に知ってもらおうと同時に、「揺れる現実の中の揺らがない真実は何か」を中日両国の人々が共に考え、交流する場を創造する。『祝の島』『大きな家』『私たちの時代』『タイムグラバあちゃん』『大津波のあとに』を上映。併せて、監督の瀬戸あや、森元修一、澄川嘉彦を招へいし、アフタートークを実施
15	在外日本文化専門家第三国派遣	ウランバートル	在モンゴル大使館	在モンゴル大使館	2011.12.09 ~ 2011.12.11	中国から百人一首専門家2名を派遣し、日本語学習者を対象に百人一首に関するデモンストレーションを実施
16	第22回留華ネットミーティング	武漢	華中科技大学	華中科技大学 湖北省人民政府外事弁公室	2012.03.24 ~ 2012.03.25	留華ネット（国際交流基金が主催する学生ネットワーク）の各都市代表メンバーによるミーティングを実施。それぞれが留学する地方での日中交流に関する情報共有と、意見交換を実施

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
17	桂勘日本舞踏ワークショップ	蓬萊舞社	2011.05.04 ~ 2011.05.08	長年海外で活躍している舞踏家の桂勘が、北京にて舞踏のワークショップ、講演会、公演を実施し、中国での舞踏の普及と中国の若手アーティストとの交流を図る。会場費と旅費を助成
18	北京大学日中文化祭	北京大学日本人留学生会	2011.05.06 ~ 2011.05.20	北京大学構内において、華道パフォーマンスや講演会など、日本文化を紹介する事業を行うほか、オリエンテーリングやカラオケ大会など、日中の学生の交流を図る。会場費と横断幕制作費を助成
19	重慶大学学生第三回日本語文化祭文芸公演	重慶大学外国語学院	2011.05.22	重慶大学学生第三回日本語文化祭の一環として、重慶大学外国語学院の学生が日本語で演劇、舞踊、歌唱、朗読を含む総合公演を実施し、日本語学習の成果を披露。会場設備費と広報物制作費を助成
20	中日学生手話交流～南京交流事業～	中日学生手話交流会・北京チーム	2011.06.03 ~ 2011.06.04	北京大学に留学する早稲田大学の学生12名が、南京市内の老人ホーム及び聾啞学校にて、手話を使った歌の披露、並びに浴衣、剣玉、独楽、折り紙といった日本文化の紹介を通じ、中国の人々と交流。学生の旅費を助成
21	2011年夏MATSURI	北京日本人留学生社団（BJSA）	2011.06.11	広く中国の人々に対し、日本の「祭り」を体験する機会を提供すべく、北京の日本人留学生が中心となり、飲食店の協力を得て屋台や、留学生たちによる遊びのブース、ステージパフォーマンスなどを実施。会場施設費を助成
22	『2011日中合作～トラックとらすけ（中国児童戯劇節）』公演	中国児童芸術劇院	2011.06.25 ~ 2011.08.14	劇団道化（日本）と、中国児童芸術劇院（中国）の日中合作による児童演劇作品の制作（『トラックとらすけ』）とその上演。通訳謝金を助成

海外拠点

23	北京大学－京都大学 跨文化学生交流項目 (PUKU)	北京大学中日交流協会	2011.09.02 ～ 2011.09.12	北京大学と京都大学の学生44名が、京都と北京で約1週間寝食をともにし、議論を通じて相互理解を深めることを目的としたプログラム。2010年に始まり本年が2回目。「伝統」「環境」「社会福祉」の3グループに分かれて英語で議論を実施。宿泊費と設備費を助成
24	京論壇	京論壇北京大学実行委員会	2011.09.16 ～ 2011.09.22	北京大学と東京大学の学生約40名が、北京と東京で約1週間寝食をともにし、英語での議論を通じて相互理解を深めることを目的としたプログラム。2006年に始まり本年で6回目。今回のテーマは「ジェンダー」「インターネット」「国家イメージ」。宿泊費と設備費を助成
25	上海 ジャパンウィーク「玉置成実J-POPコンサート」「城南海J-POPコンサート」	上海漫步創媒广告有限公司	2011.09.23	中国の青少年の間でも人気の高いJ-POP歌手によるライブコンサート。歌手は玉置成実と城南海。公演謝金と旅費等を助成
26	2011南京国際ジャズ・世界音楽フェスティバル	江蘇省文化館	2011.10.14 ～ 2011.10.18	南京で行われる音楽フェスティバルに、日本の若手ジャズアーティスト徳田雄一郎と同氏のバンドメンバー計5名を招へいし、南京市内の大学やバーなどで公演を実施。謝金を助成
27	藤間万恵 北京 日本舞踊の会	北京日本舞踊の会	2011.10.20 ～ 2011.10.25	文化庁文化交流使として北京で活動してきた日本舞踊藤間流師範の藤間万恵と、同氏が指導してきた日中の学生たちによる、日本舞踊及び舞踊劇の公演。会場費を助成
28	ファースト・フィルム・フェスティバル	河北伝奇影視文化伝播有限公司	2011.10.26 ～ 2011.11.16	中国において新世代の監督に着目する唯一の映画祭の新人監督処女作品部門において、橋本直樹の長編第1作『臍帯』を上映するとともに、観客との交流会を実施。同氏の旅費を助成
29	DigiCon6大賞-日本動画大師交流座談会	香港デジタル娯楽協会	2012.02.10 ～ 2012.02.11	アニメーションの専門家である佐藤順一、井上幸一を招へいし、アニメーション制作に関する技術指導、討論会及びQ&Aセッションを実施。討論会の謝金を助成
30	Nostalgia-東亜当代芸術展 (東アジア現代芸術展)	上海当代美術館	2012.02.17 ～ 2012.03.25	韓国のキム・ソンヒをキュレーターに迎え、「ノスタルジア」をテーマに、各国の現代美術家及びその作品を紹介する国際芸術展。同氏の旅費を助成
31	ジブシークイーン交流会	湖北省人民対外友好協会	2012.03.22 ～ 2012.03.25	湖北・武漢ジャパンウィークにおける、日本のロックバンド・ジブシークイーンのコラボレーションコンサート開催経費の一部を助成
32	貴州大学日本文化祭GYPSY QUEEN LOVE ASIA CONCERT	貴州大学 在重慶総領事館	2012.03.26	貴州大学が日本からロックバンド・ジブシークイーンを招へいし、貴州大学日本文化祭 (重慶総領事館との共催イベント) においてコンサートを実施。招へい者の旅費を助成
33	西華大学第2回日本文化祭	在重慶総領事館 西華大学	2012.03.28 ～ 2012.03.30	四川省成都市に所在する西華大学が開催する日本文化祭。2回目となる本年は、大学生レベルの日中友好を目指して、一週間でコンサート、日本式の学園祭、日本語スピーチコンテスト、日本の伝統芸能のワークショップ、講演などを実施。会場施設費と旅費等を助成

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
34	講演会「近代史における日中関係」	北京	北京日本学研究中心	北京日本学研究中心	2011.06.19	西原春夫（元早稲田大学総長）を講師に迎え、北京日本学研究中心と北京日本文化センターが共催して行う講演会。主に、北京日本学研究中心、北京外国語大学、北京大学の大学院生が対象
35	日本研究フェロー、日本学研究中心事業OB等との懇親会	北京	亮馬河飯店会議場		2012.03.10	日本研究フェローや北京日本学研究中心、北京大学現代日本研究所等の過去の参加者、卒業生を集め、業績発表会、意見交換などを通じネットワークの維持拡大を図る
36	政権交代後の日本、中国、アジア	北京	北京大学国際関係学院	北京大学国際関係学院	2012.03.22	「ガバナンスと市民社会」セミナーのために来訪する専門家が、主として行政管理学を研究する大学院生や若手研究者を対象に、政権交代後の日本政治外交に関する講演会を実施

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
37	『従大相撲到小一休一拡大と縮小の日本』出版	湖北人民出版社有限公司	2011.05.01 ～ 2012.03.15	湖北人民出版社有限公司が『従大相撲到小一休一拡大と縮小の日本』（高等教育出版社国際漢語出版センター主任祝大鳴執筆）を2012年3月20日までに、出版する。初版は5000冊。印刷製本費の一部及び校正デザイン費を助成
38	日本切絵学術会議、デモンストレーション	陝西乾県剪紙協会	2011.05.11 ～ 2011.05.13	陝西乾県剪紙協会が日中の共同創造を促進させるために、日本東京切絵美術会元会長、会長、切り絵の専門家等を西安へ招へい。日中の専門家、学者による民間芸術に関する学術交流を実施。併せて、中国の大学生、美術者、剪紙専門家に切絵のデモンストレーションを行い、切絵の歴史、制作、材料などを全面的に紹介。開催費用の一部を助成
39	西原春夫講演会	中国社会科学院法学研究所	2011.05.17 ～ 2011.06.21	中国社会科学院法学研究所が、著名な法学者／社会活動家／早稲田大学元総長である西原春夫を招へいし、日中関係、日中学術交流等のテーマで六回にわたる講演会を開催。併せて、中国社会科学院近代史研究所、法学研究所、研究生院、日本研究所、アジア・太平洋研究所、マルクス主義研究院に属する研究者との議論を実施。通訳・翻訳謝金の一部を助成
40	『日本の文学概念』（鈴木貞美著、作品社、1988）翻訳出版事業	中央編訳出版社	2011.06.01	『日本の文学概念』は、日本文学研究の新たな一段階を築いたと海外で評価が高く、これまで英語や韓国語に翻訳されているが、中国語訳ははまだ出版されていない。訳者に、日本近現代文学研究の中堅研究者である清華大学日本語学部の新王成をむかえ、中国国内の文学・文化研究者、知識人に新しい学術研究の方法論を提示。印刷製本費の一部を助成

海外拠点

41	「日本文化の表象と深層」	アモイ大学日本語学部	2011.07.01 ~ 2011.09.30	大学設立90周年を祝うために、アモイ大学日本語学部が「日本文化の表象と深層」をテーマとするシリーズ学術イベント（2011年福建省日本語スピーチ・コンテスト、日本映画広報イベント、日本文化講座）を開催する。日本人学者5名がそれぞれ日中古典文学比較、日本思想史、日本哲学史、言語学、日本文学といった分野の講演を実施。開催経費の一部を助成
42	中日韓語言・文化研究国際学術会議	中国日本文学研究会	2011.08.01 ~ 2011.08.05	中国日本文学研究会が日本解釈学会、韓国日本学会と共同で、「語言・文化に見る中国、日本、韓国」をテーマにする国際学術シンポジウムを開催。日本から21名、韓国から10名、中国から20名の研究者（文学、言語学、歴史学、考古学、比較文化学）が参加。比較文化の視点・方法から、東アジア三カ国の学術研究の成果、共通性・連帯性を表し、新たな研究視点、研究方法と研究対象を発見することを目的とする。開催費用の一部を助成
43	第二回中日韓朝言語文化比較研究国際シンポジウム	延辺大学日本学研究所	2011.08.22 ~ 2011.08.25	東アジア地域を視野に入れた日本学研究を中心とする学術交流を活性化させるため、中日韓三カ国の日本研究を専門とする学者が一堂に集まり、政治、経済、社会、歴史、教育、文化、文学、言語広範囲にわたる日本研究・比較研究の学術交流を実施。講師謝金、旅費、印刷製本費のそれぞれ一部を助成
44	第6回国際芥川龍之介学会「芥川龍之介の文学の現代性と国際化」	国際芥川龍之介学会	2011.10.08 ~ 2011.10.09	国際芥川龍之介学会は、2006年に発足した芥川龍之介研究のための国際的学術団体。会長は宮坂覚（日本フェリス女学院大学・学長）。現在世界各国で正規会員が約300名にのぼり、会誌『芥川龍之介研究』を刊行している。発足後、韓国、イタリア、台湾等で国際シンポジウムを開催。第六回の本年は、北京外国語大学日本学研究センターにおいて開催。開催費用の一部を助成
45	鈴木貞美北京講演会	清華大学外国語学部	2011.10.27	清華大学外国語学部が学者の鈴木貞美を招へい。清華大学と北京日本学研究センターで二回にわたり、「日本の親中国派百年の動き」と「日本近代思想文化の再編」をテーマに講演会を実施。開催費用の一部を助成

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
46	広報・図書館運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 13,576名 (2) レファレンス数 27件 (3) 貸出点数 10,008点</p> <p>2. 情報発信への取組み 北京日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信のためのウェブサイト運営すると同時に、ニューズレター「てふてふ」を発行 (1) ホームページアクセス件数 188,418件</p>

【協力後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関	期間	事業内容
47	ニッポン塾	ニッポン塾	2011.04.16 ~ 2012.03.31	日中ダブルの子供達に日本の言葉と文化に触れてもらう教室を開催するにあたり会場を提供
48	五縁会	五縁会	2011.04.16 ~ 2012.03.31	中国語を学ぶ日本人と、日本語を学ぶ中国人との相互学習及び交流会を実施するにあたり会場を提供
49	第4回小倉百人一首かるた北京大会	北京鵲橋かるた会	2011.05.14	北京在住のカルタ有段者が主催する、日中の参加者による小倉百人一首かるた大会。競技の他、有段者によるデモンストラレーションも実施するにあたり会場を提供
50	九州知事会・中国観光プロモーション	九州知事会 九州運輸局	2011.06.10	九州知事会及び九州運輸局が、東日本大震災後の中国からの観光客の回復に向け、九州観光の安全・安心メッセージを発信するため現地メディア向けの記者会見を共同で実施するにあたり会場を提供
51	3.11東日本大震災 中国人研修生20名を救った佐藤充の物語と報道写真展	河北新報社 三陸河北新報社	2011.08.29 ~ 2011.09.03	河北新報社と三陸河北新報社が主催し、地震発生時から被災地、特に石巻市・女川町を中心に被災の様子を追った写真約50点と新聞紙面、被災地マップ、取材ルボ等をパネル化したものを展示するにあたり会場を提供
52	第6回SGRAチャイナ・フォーラム 「Sound Economy ～私がミナマタから学んだこと～」	渥美国際交流財団関ログローバル研究会 (SGRA)	2011.09.23	渥美国際交流財団関ログローバル研究会 (SGRA) の主催、北京大学日本語文化学部、内モンゴル大学モンゴル学研究会センター共催の講演会。元 (財) 水俣病センター相思社事務局長の柳田耕一が、グローバルな視点から、水俣で起きた人類史的な事件の事実と意味について、北京及びフフホトで講演。開催にあたり会場を提供

海外拠点

53	ポプラ社主催 宮西達也講演会	ポプラ社北京	2011.09.28	日本の絵本作家・宮西達也を招へいし、朗読を交えた講演会を実施するにあたり会場を提供
54	「日本東北地区復興観光視察団」写真展	交通公社新紀元国際旅行社	2011.10.24 ~ 2011.11.25	JTBグループの中国における旅行会社「交通公社新紀元国際旅行社」が主催し、東北6県の観光地で撮影された写真の展示会を開催するにあたり会場を提供
55	池坊華道講習会	池坊北京	2011.11.14 ~ 2011.11.17	中国在住の華道愛好者のための講習会を開催するにあたり会場を提供
56	村里サロン	村里サロン	2011.12.24 ~ 2012.12.24	日本留学経験を持つ中国人による同窓会的交流会を開催するにあたり会場を提供
57	阿刀田高 読者・メディアとの交流会	上海訳文出版社	2012.01.09	中国で新たに著書が翻訳出版される阿刀田高と北京の読者・メディアとの交流会を開催するにあたり会場を提供
58	池坊華道講習会	池坊北京	2012.03.12 ~ 2012.03.16	中国在住の華道愛好者のための講習会を開催するにあたり会場を提供

【その他】

	事業名	都市	会場	関連機関	期間	事業内容
59	「ガバナンスと市民社会」に関するセミナー（「日本研究ネットワーク強化事業」）	北京	中国共産党中央編訳局	在中国大使館政治部 中国共産党中央編訳局	2012.03.22 ~ 2012.03.24	「ガバナンスと市民社会」と題し、日中両国の専門家がセミナーを開催。テーマは、非政府組織等の活動、市民社会の形成、市民社会と中央・地方政府とのあるべき協力、行政と民主等

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	囲碁教室（第1四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・多目的室	ジャカルタ囲碁クラブ	2011.04.01 ～ 2011.06.30	インドネシア人を対象とした囲碁教室を実施。ジャカルタ囲碁クラブのメンバーが、インドネシア人参加者と自由対局を行い技能向上を図る
2	日本映画上映 ジャカルタ日本文化センター定期上映会（第1四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2011.04.01 ～ 2011.06.30	ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用し、日本映画上映会を実施。『怖がるひとびと』『回路』『それから』『つぐみ』等を上映
3	日本映画上映 ジャカルタ日本文化センター定期上映会（第2四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2011.07.01 ～ 2011.09.30	ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用し、日本映画上映会を実施。『みんなのいえ』『遠き落日』『アカシアの道』を上映
4	日本映画上映 地方での映画上映会	スカブミ	スカブミ第3高校		2011.04.05	「シネマ・キャラバン」の事業名称にて、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用して、日本映画上映会を実施
5	茶道教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・多目的室	裏千家淡交会ジャカルタ支部	2011.04.12 ～ 2011.07.26	裏千家淡交会ジャカルタ支部より教諭（日本人）を招へいし、インドネシア人を対象に茶道教室を実施。全15回、14名が参加
6	いけばなインターナショナル展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール	いけばなインターナショナル	2011.04.13 ～ 2011.04.15	いけばなインターナショナル・ジャカルタ支部と共催でいけばな展を開催し、日本の伝統文化である華道を紹介。池坊・一葉式・小原流・桂古流・草月・未生流・松風花道会の所属全7派の作品約70点を展示。今年は <i>Soul of Orchid</i> と題し、インドネシアの代表的な花であるランを用いたインドネシア人による作品を展示
7	華道教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・多目的室	池坊インドネシア支部	2011.05.01 ～ 2011.09.29	池坊インドネシア支部より教諭（インドネシア人）を招へいし、インドネシア人を対象に華道教室を実施。全16回、22名が参加
8	日本研究フェローによる講演会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール	ヘリテージ・ソサエティ	2011.05.26	インドネシアの代表的な日本研究者であるバクティアル・アラム（インドネシア大学理事/元国際交流基金日本研究フェロー）による在留邦人向け講演会をインドネシア・ヘリテージ・ソサエティと共催で開催、インドネシアと日本の関係について理解を深める機会を提供
9	ふろしき展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ミニギャラリー		2011.05.26 ～ 2011.06.28	JF（国際交流基金）オリジナル風呂敷の新作（「第2回学生のための風呂敷デザインコンテスト」2010年入賞作品4点）を含む計9点を展示し、JFオリジナル風呂敷を紹介すると同時に、風呂敷ワークショップを開催し、エコプロダクツでもある風呂敷の簡単な活用方法も紹介

海外拠点

10	第8回インドネシア・フレンドシップ囲碁大会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール	ジャカルタ囲碁クラブ	2011.06.26	ジャカルタ囲碁クラブと共催で、フレンドシップ囲碁大会を開催。フレンドシップ囲碁大会は、囲碁を通じて日本とインドネシアの友好親善を図る目的で2004年から始まり、今年で8回目。インドネシア人・韓国人・中国人・日本人囲碁愛好家による個人トーナメントを3つのクラスに分けて開催するほか、自由対局も開設
11	囲碁教室（第2四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・多目的室		2011.07.01 ～ 2011.09.30	インドネシア人を対象とした囲碁教室を実施。ジャカルタ囲碁クラブのメンバーが、インドネシア人参加者と自由対局を行い技能向上を図る
12	日本映画上映 ジャカルタ日本文化センター定期上映会（第3四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2011.10.01 ～ 2011.12.31	ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用し、日本映画上映会を実施。『のんちゃんのみ』『典子は、今』『シコふんじやった。』等を上映
13	ごみの音（ごみリサイクル楽器演奏会、ワークショップ、展覧会）	ジャカルタ バンドン	ジャカルタ日本文化センター・ミニギャラリー スラサール・スナルヨ・アート・スペース	スラサール・スナルヨ・アート・スペース	2011.07.08 ～ 2011.08.05	バンドンのスラサール・スナルヨ・アート・スペースと共催で、ドドン・コディル（Dodong Kodir）による、環境問題を意識した、ごみを利用して作る楽器ワークショップを開催。また、ごみから作成した楽器の展示と、楽器を用いた演奏会も開催。演奏会にはドドン・コディル（Dodong Kodir）や、作曲家／演奏家の野村誠等が参加
14	てまり展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール	インドネシアてまり協会	2011.07.21 ～ 2011.08.04	インドネシアてまり協会と共催でてまり展を開催し、ジャカルタ在住のてまり愛好家による作品を展示。併せて、てまり作成のワークショップを開催し、インドネシアの人々に、より身近に日本の伝統文化に触れる機会を提供
15	インドネシア人による俳句作品集出版記念会及び展示	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール・ミニギャラリー	Danau Angsa(白鳥の湖) 俳句会	2011.08.10 ～ 2011.09.09	インドネシア人による俳句作品集出版記念会を開催し、作品を展示。多くの人々がインドネシア人による俳句に触れ、日本の俳句とはひと味違う作品を味わう機会を提供
16	茶道修了生による月例稽古会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	裏千家淡交会ジャカルタ支部	2011.09.01 ～ 2012.03.31	既存の茶道教室の修了生を対象に、受講内容維持のための月1回の定例稽古会を実施
17	クローラ財団からの研修生受入及び成果発表事業	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	クローラ財団	2011.09.12 ～ 2011.12.12	クローラ財団（ジャカルタの主要文化財団）との共同事業「Magang Nusantara」（文化芸術に関心のある若手を「研修生」として関連団体が受け入れる事業）の2011年研修生に、国際交流基金事務所で2カ月程度インターンとして職務経験を積ませ、研修の成果として、同研修生が企画する文化事業を実施
18	押し花展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ミニギャラリー	押し花愛好団体	2011.09.13 ～ 2011.09.27	日本の生活文化の一つである押し花を紹介する展覧会を開催。会期中に日本で押し花作りを学んだ講師を招き、押し花ワークショップを開催、実際に押し花作りをインドネシア人が体験できる機会を提供

海外拠点

19	林英一 出版記念講演会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2011.09.14	インドネシア残留元日本兵のライフ・ヒストリーのインドネシア語書籍の出版を記念して、著者の林英一による出版記念講演会を開催。インドネシア人のディスカッサントも招へいし、ある残留日本兵のライフ・ヒストリーを通して、その存在を日本とインドネシアの関係や歴史といった観点から見つめる
20	目黒雅堂門下生書道展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2011.09.21 ~ 2011.09.28	ジャカルタ日本祭りの事業の一環として、ジャカルタで11年来書道教室を開いている目黒雅堂の門下生（インドネシア人・日本人）による書道展を開催
21	劇画についてのディスカッション 一辰巳ヨシヒロ『劇画漂流』より	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2011.09.22	平成22年度の出版・翻訳助成プログラムによりインドネシア語に翻訳された辰巳ヨシヒロ作の『劇画漂流』を取り上げ、劇画の紹介と劇画についてのディスカッションを行う。スピーカーには日本のマンガやアニメに造形の深いジャーナリストのヒクマツト・ダルマワンを迎える
22	日本料理ワークショップ『日本とインドネシアの食文化交流』	ジャカルタ	日本料理レストランbasara	NPO日本料理文化交流協会 レストランbasara	2011.09.24	「ジャカルタ日本祭り2011」イベントの一環として、NPO法人日本料理文化交流協会及びレストランbasara（バサラ）と共催で、高井大樹（バサラシェフ）による日本料理セミナーを開催
23	「池坊」華道教室修了展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	池坊インドネシア支部	2011.09.29 ~ 2011.10.01	5月～9月まで、ジャカルタ日本文化センターで実施する華道教室の受講生と教授によるいけばな展
24	囲碁教室（第3四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・多目的室	ジャカルタ囲碁クラブ	2011.10.01 ~ 2011.12.31	インドネシア人を対象とした囲碁教室を実施。ジャカルタ囲碁クラブのメンバーが、インドネシア人参加者と自由対局を行い技能向上を図る
25	日本映画上映 ジャカルタ日本文化センター定期上映会（第4四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2012.01.01 ~ 2012.03.31	ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用し、日本映画上映会を実施。『千利休 本覺坊遺文』『リンダ リンダ リンダ』『魂萌え！』等を上映
26	NEOPion事業 Cosplay The Series展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール	Q-Cosushinkai Project	2011.10.04 ~ 2011.10.21	バンドンとマランのコスプレ・グループQ-Cosushinkai Projectが作成したコスチュームやコスプレのショートフィルム、コスプレヤーの写真を展示する、Cosplay The Seriesを開催。インドネシアの若手芸術家支援を目的としたNEOPion事業の一環として実施
27	OK Video Flesh — 第5回ジャカルタ国際ビデオフェスティバル	ジャカルタ	ギャラリー・ナショナル・インドネシア	ruapngrupa	2011.10.06 ~ 2011.10.24	国内外の新進気鋭のアーティストのビデオ作品を紹介する第5回ジャカルタ国際ビデオフェスティバルをインドネシアの現代美術を扱う団体ruapngrupaと共催で開催。インドネシアのアーティストのほか、日本人アーティスト小泉明朗（こいずみめいろう）の作品等を、ギャラリー・ナショナル・インドネシアにて上映
28	NEOPion事業 Wayang Beber展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ミニギャラリー		2011.10.11 ~ 2011.10.28	インドネシアの若手画家Wisnu IsmoyoによるWayang Beber（ワヤン・ベベル/インドネシアの伝統芸能・芸術）作品展覧会を開催。インドネシアの若手芸術家支援を目的としたNEOPion事業の一環として実施

海外拠点

29	日本映画上映 地方での映画上映 会	ブルウォクト	ジェンデラル・ス ディルマン大学	ジェンデラル・ス ディルマン大学	2011. 10. 17	「シネマ・キャラバン」の事業名称にて、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用して、ジャカルタ首都圏内インドネシア各地で、日本映画上映会を実施
30	日本映画上映 地方での映画上映 会	ジャカルタ	ナショナル大学	ナショナル大学	2011. 11. 01	「シネマ・キャラバン」の事業名称にて、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用して、ジャカルタ首都圏内、インドネシア各地で、日本映画上映会を実施
31	『ボランティアが とらえた東日本大 震災』写真展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文 化センター・ミニ ギャラリー		2011. 11. 07 ～ 2011. 11. 18	東日本大震災で被災した東北にボランティアとして参加したKen Istiによる活動記録写真展を開催
32	第9回国際親善囲碁 大会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文 化センター・ホー ル	インドネシア囲碁 協会 ジャカルタ囲碁将 棋クラブ 韓国囲碁協会	2011. 11. 13	インドネシア人・在留の邦人・韓国人・中国人の囲碁愛好家一堂に集まり、囲碁の国別対抗団体戦、個人トーナメント戦を実施
33	日本映画上映 地方での映画上映 会	東カリマンタン州 サマリダ	SMP Vidatra(中学 校) ムラワルマン大学	SMP Vidatra ムラワルマン大学	2011. 11. 25 ～ 2011. 11. 26	「シネマ・キャラバン」の事業名称にて、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用して、ジャカルタ首都圏内、インドネシア各地で、日本映画上映会を実施
34	第16回日本インド ネシア児童画展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文 化センター・ホー ル	ジャカルタ・ジャ パン・クラブ ジャカルタ日本人 学校	2011. 12. 01	「楽しかった思い出」というテーマで、インドネシア人とジャカルタ在住日本人児童の絵画展を開催。ジャカルタ近郊の幼稚園、小中学校から推薦された346作品を審査し、うち220点を展示。開会式では、審査の結果選出された1位～3位、佳作受賞者に対する表彰式を実施
35	囲碁教室（第4四半 期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文 化センター	インドネシア囲碁 協会	2012. 01. 01 ～ 2012. 03. 31	インドネシア人を対象とした囲碁教室を実施。ジャカルタ囲碁クラブのメンバーが、インドネシア人参加者と自由対局を行い技能向上を図る
36	KARA OK COMPE	ジャカルタ	ジャカルタ日本文 化センター・ホー ル		2012. 01. 15 ～ 2012. 03. 16	若い世代のインドネシア人・日本人を対象に、ジャカルタ日本文化センターのFacebookを利用した、日本語歌謡曲のカラオケ・コンペティションを開催
37	山形国際ドキュメン タリー映画祭受 賞作品『監獄と楽 園』上映会及び アーティスト・ トーク	ジャカルタ	ジャカルタ日本文 化センター・ホー ル		2012. 01. 20	山形国際ドキュメンタリー映画祭2011にて日本映画監督協会賞を受賞したダニエル・ルディ・ハリヤントの監督作品『監獄と楽園』を上映。来日経験や山形国際ドキュメンタリー映画祭における反響や評価をふまえたアーティスト・トークを同時開催

海外拠点

38	アジア次世代キュレーター会議 フォローアップ事業 (Aminuddin Siregar)	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2012. 01. 27	第7回アジア・次世代キュレーター会議に参加したAminuddin Siregarを招へいし、日本で得た知見をインドネシア社会に還元するディスカッションを開催
39	HelloFest8 ANIMA EXPO	ジャカルタ	バライカルティニン・アカデミー	ハローモーショ ン・アカデミー	2012. 02. 04	ハローモーション・アカデミーと共催でインドネシア最大級のポップカルチャーイベントHELLOFEST8 ANIMA EXPOを開催
40	JENESYSクリエイター招へいプログラム フォローアップ事業 (Endang Lestari)	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2012. 02. 14 ~ 2012. 03. 16	JENESYSクリエイター招へいプログラムにて来日した陶芸家 Endang Lestariのフォローアップ事業として、陶芸作品の展覧会を開催
41	震災復興関連映画上映会	デポック	P4TK (EPA研修所)		2012. 03. 17	震災復興関連映画上映会の一環として、EPA予備教育事業で日本語を学習しているインドネシア人介護士・看護師研修生を対象に、震災復興関連映画上映会を開催 【東日本大震災復興支援事業】
42	Hara-Shibu-Bara: Tokyo Street Fashion Paradise	ジャカルタ		Grasindo	2012. 03. 19	インドネシア人研究者ヘスティ・ヌルハヤティ著の東京・ストリート・ファッションに関する書籍出版を機に、日本のファッションやコスプレをインドネシアの若い世代に紹介
43	着物・浴衣1日体験教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2012. 03. 19	日本の伝統衣装である着物や浴衣の着付けを体験することで、より身近に日本の伝統文化に親しんでもらい、理解深化を図る
44	茶道1日体験教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	裏千家インドネシア淡交会	2012. 03. 20	茶道教室に通うほどではないが、気軽に茶道体験をしたい人を対象に、お点前の体験教室を実施

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
45	日本元気プロジェクト東日本大震災鎮魂行事「天灯」	インドネシア日本友好協会	2011. 08. 20	2011年3月11日の東日本大震災の犠牲者の鎮魂、被災者の心の癒し、被災地への応援を目的に、熱気球の原理を利用した灯籠を天高く上げる行事。山本寛齋が企画し、インドネシア、ウクライナ、日本（相馬市）で8～9月にかけて実施。インドネシアでは、バリ州にてインドネシア日本友好協会を主催者として実施
46	写真展「素晴らしきインドネシア・日本」	じゃかるた新聞	2011. 09. 18 ~ 2011. 09. 25	インドネシアの風景・人物を撮影したインドネシア在留邦人の写真、日本の風景・人物を撮影したインドネシア人の写真などを展示する写真展。ジャカルタの邦字紙「じゃかるた新聞」が、第3回ジャカルタ日本祭り事業として主催する同事業に、備品貸与及び広報面で協力

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
47	国際シンポジウム 「震災と継続する 復興」	デポック	インドネシア大学	インドネシア大学	2012. 03. 28	世界と日本における防災への取り組み事例を踏まえて、より良い復興の在り方について専門的な討議を実施。会場外では災害復興のために活動するインドネシアのNGOが展示を行い、政策レベルでの議論に加えて、現場における市民による復興への取り組みも紹介
48	日本のポップカルチャーに関する ディスカッション・ セミナー	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2011. 10. 24	コスプレを中心に日本のポップカルチャーに関するディスカッションセミナーを実施
49	震災復興に関する ラウンドテーブル・ ディスカッション	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	ルジャック都市研究センター	2012. 02. 12	アーキエイド（建築家による復興支援のネットワーク）の設立発起人の一人、小野田泰明（東北大教授）と、都市計画、コミュニティ・デザインを専門とし、災害復興に関与経験を持つインドネシアの行政官、研究者、NGO職員、建築家、ジャーナリストを招へい。日本とインドネシアの知見・経験を共有し、災害復興期の都市計画とコミュニティ・デザインについて議論

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
50	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	日本語学習者や日本の文化や社会に関心を持つ人々に対して、日本語教育・日本研究関連の図書・資料を中心に提供する専門図書館を運営。また、ジャカルタ日本文化センターの事業広報のためウェブサイトとメールマガジンを運営。併せて、日本語教育関係者向けに、日本語教育関連催事の広報及び教材情報等を掲載したニューズレターを発行 1. 図書館利用実績 (1) 延べ来館者数 12,5491名 (2) レファレンス数 94件 (3) 貸出点数 10,185点 2. 情報発信への取組み (1) ニューズレター発行部数 39,600部 (インドネシア語) (2) メールマガジン配信数 449,856件 (3) ホームページアクセス件数 215,356件

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
51	日本ポップカルチャーフェスティバル	日本ポップカルチャーフェスティバル実行委員会	2012. 02. 25 ~ 2012. 02. 26	ポップカルチャーを通じた日伊交流を促進する目的で開催される日本ポップカルチャーフェスティバルの実行委員として、広報協力や情報提供を積極的に実施

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	関連機関	期間	事業内容
52	文化備品貸出 (第1四半期)	総領事館及び日本語教育機関等	2011. 04. 01 ~ 2011. 06. 30	インドネシア国内の総領事館及び日本語教育機関等が実施する日本文化紹介事業のために、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリーの映画、写真パネル等を貸出し
53	文化備品貸出 (第2四半期)	総領事館及び日本語教育機関等	2011. 07. 01 ~ 2011. 09. 30	インドネシア国内の総領事館及び日本語教育機関等が実施する日本文化紹介事業のために、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリーの映画、写真パネル等を貸出し
54	文化備品貸出 (第3四半期)	総領事館及び日本語教育機関等	2011. 10. 01 ~ 2011. 12. 31	インドネシア国内の総領事館及び日本語教育機関等が実施する日本文化紹介事業のために、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリーの映画、写真パネル等を貸出し
55	文化備品貸出 (第4四半期)	総領事館及び日本語教育機関等	2012. 01. 01 ~ 2012. 03. 31	インドネシア国内の総領事館及び日本語教育機関等が実施する日本文化紹介事業のために、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリーの映画、写真パネル等を貸出し

バンコク日本文化センター

合計額 71,608,917 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	AUN和太鼓・三味線公演	バンコク	日本大使公邸 ルンピニー公園 Vic Hua Hin マヒドン大学等		2011.01.21 ~ 2012.02.27	日本文化庁が指名する平成23年度文化交流使として来泰する邦楽ユニットAUNによるバンコク公演。タイ国王陛下84歳の祝賀記念、及び、ともに大災害を受けた日タイの復興と絆をアピールするための公演を行うと共に、教育機関での学生向けワークショップも実施
2	JF（国際交流基金）シアター	バンコク	バンコク日本文化センター	J-bics Entertainment	2011.04.01 ~ 2012.03.31	毎月テーマを定め、毎週金曜日及び第1・第3土曜日の18:30から定期的に開催する日本映画の上映会。原則として、タイ語字幕付きで上映
3	「現代日本文化発信スペース」展示事業	バンコク	バンコク日本文化センター		2011.04.01 ~ 2012.03.31	平成21年度のオフィスの改装に際し設置された「現代日本文化発信スペース」において、効果的に日本文化を発信していくことを目的とした展示を年に4回程度実施。若手アーティストやアートを学ぶ学生、日本語学習者などに作品発表の場を提供
4	チェンマイ生け花紹介（日本文化紹介キャラバン）	チェンマイ	セントラル・エア ポートプラザ・ チェンマイ		2011.05.19 ~ 2011.05.20	いけばな池坊550周年を記念して来泰した、佐々木康人（華道家元池坊特派講師／平成22年度文化庁文化交流使）による生け花レクチャー・デモンストレーション及び体験事業を、タイ北部チェンマイにて実施。デモンストレーションでは、東日本大震災の被災者に対する「鎮魂」「応援」、更に、タイの支援に対する「感謝」をテーマとした生け花を実演。体験コーナーでは、レクチャー・デモンストレーション参加者の中から各回15名程度を対象に、紙コップを使った生け花を紹介
5	「地震ITSUMO展 in バンコク」事前調査	バンコク	バンコク日本文化センター タイ政府防災省 TCDCチュラロンコン大学等		2011.07.12 ~ 2011.07.16	東日本大震災関連事業として2012年に実施する「地震ITSUMO展 in バンコク」のための、専門家による事前調査
6	日本留学フェア・折り紙文化紹介（日本文化紹介キャラバン）	チェンマイ バンコク	インペリアル・メ ピン・ホテル(チェ ンマイ) アジアホテル(バ ンコク)		2011.09.02 ~ 2011.09.04	日本留学希望者（高校生、大学生等）、現地教育機関の国際交流担当者等を対象に日本学生支援機構（JASSO）が主催する留学説明会において、「折り紙」の文化紹介を実施

海外拠点

7	空手専門家ミャンマー派遣	ヤンゴン	ミャンマー国立競技場	ミャンマー空手道連盟 在ミャンマー大使館	2012.01.18 ~ 2012.01.22	バンコク在住の空手家・大村藤清他1名を、ミャンマーの首都ヤンゴンに派遣。2012年1月19・20日にミャンマー空手道連盟と在ミャンマー大使館共催で開かれる「空手道ジャパンカップ」においてデモンストレーションを実施し、21日にはミャンマー空手道連盟にて選手に対する実技指導を実施
8	空手専門家カンボジア派遣	プノンペン	カンボジア日本人材開発センター (CJCC)	カンボジア空手道連盟 カンボジア日本人材開発センター 在カンボジア大使館	2012.02.17 ~ 2012.02.19	バンコク在住の空手家・大村藤清他1名をプノンペンに派遣し。在カンボジア大使館等が主催する「Japan Cambodia KIZUNA Festival 2012」の関連事業として空手演武を実施するほか、カンボジア空手道連盟で実技を指導
9	ドキュメンタリー映画『めぐる』上映会及びレクチャー	バンコク	キングモンクット工科大学ラッカバン校講義室	キングモンクット工科大学ラッカバン校	2012.03.01	織物などの日本の伝統・現代工芸の美を伝えるドキュメンタリー映画『めぐる』の上映会、及び、監督の石井かおりとタイ人テキスタイルデザイナーによるレクチャー
10	バンコク・デザイン・フェスティバル 建築デザインセミナー <i>Designer's Saturday</i>	バンコク	Bangkok Art and Culture Center	art4d	2012.03.01 ~ 2012.03.04	バンコクのデザイン雑誌『art4d』との共催により、ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞受賞の建築家 石上純也を招へいし、「バンコク・デザイン・フェスティバル」の一環として、タイの若手クリエイター向けにセミナーを実施
11	タイ小学校向け「夢の教室」	バンコク	キング・モンクット工科大学ラッカバン校講義室	Zenritsu Inter Co., Ltd. 株式会社トヨタモーター・タイランド 日本サッカー協会	2012.02.09	日本サッカー協会 (JFA) 主催「JFAこころのプロジェクト」を2月9日、タイの東北地方プラム県の小学校で実施。Jリーグの現役選手やOB等のサッカー関係者を夢先生として小学校に派遣し、夢を持つ大切さを伝える
12	日タイ合同アンドロイド演劇『さようなら』公演	バンコク	チュラロンコン大学文学部演劇学科ホール	チュラロンコン大学 劇団「青年団」 大阪大学	2012.03.11 ~ 2012.03.18	チュラロンコン大学、大阪大学、劇団「青年団」の協力により、平田オリザの最新のアンドロイド (ロボット) 演劇『さようなら』をタイで共同制作。俳優をオーディションで選出し、タイ語 (ダブルキャスト) ・日本語で上演。3月11日から合同稽古を行い、本公演は3月15日から18日にかけて、チュラロンコン大学文学部演劇学科ホールにて上演。併せて、平田オリザ、及びロボットを開発した石黒浩による講演会を実施

海外拠点

13	「11.3.11絆」 東日本大震災一周年復興映画上映会	バンコク	パラゴン・メジャー・シネプレックス	ワールド・フィルム・フェスティバル・オブ・バンコク パラゴン・メジャー・シネプレックス	2012.03.11	東日本大震災から1年、タイの洪水発生から約半年にあたる2012年3月11日に、両国の被災者の追悼及び被災地応援、災害に立ち向かい復興する日本のイメージ発信を目的として、映画上映及び追悼会を実施。協力は、在タイ大使館。『がんばっぺフラガール』『ロック〜わんこの島』『Light up Nippon』の3点を上映 【東日本大震災復興支援事業】
----	-----------------------------	------	-------------------	--	------------	--

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
14	Creativity of Ceramics	タイ芸術局伝統技術部	2011.05.01 ~ 2011.06.12	伝統文化としての陶芸に関する日タイ交流を促進することと、人材育成を目的として、タイ芸術局伝統技術部が陶芸家の鯉江良二を招へいし、1か月間のレジデンスと技術指導、意見交換を実施。伝統的に陶芸が盛んな地方都市の陶芸家を中心に約40名が参加。6月に成果作品の展示を実施。渡航費及び会場施工費を助成
15	Dream, Dreaming us	100トンソン・ギャラリー	2011.07.14 ~ 2011.08.21	タイと日本を往復しながら活躍する日本人現代アーティスト、小林孝宣の個展。バンコクでの展覧会は10年振り、3回目。同氏がこの10年に、日本とタイを行き来するうちに感じた目に見えない感覚を、独特の繊細な色使いと光の作用の絶妙な表現を用いて描き出した作品を展示。渡航費、通訳費、作品輸送費の一部を助成
16	Degicon6 デジタルクリエイターズセミナー	コンピューター・グラフィック・プラス	2011.08.02	ガンダムなどのCGを手がける宮原洋平によるセミナー。アニメーションの技法やCGの作り方について、アニメーションを学ぶタイの学生等を対象にレクチャーを実施。渡航費、宿泊費、謝金、通訳費を助成
17	Crossing Cultures, Creating Change — The Reunion Exchange and People's Theatre Forum	マカンボン財団	2011.09.28 ~ 2011.10.10	野田秀樹（演出家）をはじめ国際的なアーティストとともに、タイの地方都市を中心に現代演劇のワークショップを積極的に推進してきたマカンボン財団の設立30年を記念して、10日間のレジデンス型演劇交流プログラム及び3日間の国際フォーラムを、タイ北部チェンダオ地区のマカンボン・リビング・シアターにて開催。タイ、日本、オーストラリア、シンガポール等25カ国からアーティストが参加し、チェンダオのコミュニティの子供たち200名強を巻き込んでパフォーマンス及びワークショップ、フォーラムを実施。バンコク日本文化センターは国際フォーラム及びワークショップ実施にかかる経費の一部を助成
18	パパ・タラフマラ チェンマイ公演	チェンマイ・アート・コネックス	2011.11.03 ~ 2011.11.13	日本の舞台芸術公演が実施される機会が限られるタイの地方都市において、作品の上演とワークショップを実施。世界的な評価を得ている劇団パパ・タラフマラを招へい。渡航費、広報費、会場借料、通訳費を助成

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	「フェローセミナー2011—日本文学」	チェンマイ	チェンマイ大学	チェンマイ大学	2011.07.14 ～ 2011.08.19	元国際交流基金日本研究フェローによる2回シリーズのセミナー。第1回は「日本文学の歴史」で、奈良時代から江戸時代までを概観。第2回は「日本文学のなかのタイ」で、日本文学に表れるタイのイメージや面影などを探る
20	JENESYSフォローアップ事業	ウボンラーチャターニー バンコク	ウボンラーチャターニー大学 チュラロンコン大学	ウボンラーチャターニー大学 チュラロンコン大学	2011.10.21 ～ 2011.10.25	JENESYS（21世紀東アジア青少年大交流企画）事業のフェローや日本研究者等を対象にした講演会。東日本大震災後の日本の在り方や行く末をテーマに、小熊英二（慶應義塾大学教授）が東北地方ウボンラーチャターニー及びバンコクで講演

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
21	ブラパー大学東アジア国際会議	ブラパー大学人文社会科学部	2011.08.18	タイ東部地域の拠点ブラパー大学が日中韓から専門家を招へいし、「第1回東アジア異文化間研究・マネジメント国際会議」を開催。日本から招へいされた北原淳（龍谷大学教授）の渡航費（航空賃、滞在費）を助成
22	タマサート大学政治学部国際セミナー	タマサート大学政治学部	2012.01.28 ～ 2012.01.29	日本から専門家を2名招へいし、タイのさまざまな分野の専門家と情報交換や討議を行う国際セミナー「日タイ間で自然災害の経験を共有する」を実施。講師渡航費、謝金、日当を助成
23	日本漢文学入門書『Kanbun: Chinese Styled Japanese Japanese Styled Chinese』の出版	チュラロンコン大学文学部	2012.03.25 ～ 2012.05.25	タイで初の日本の漢文学への入門書となる『Kanbun: Chinese Styled Japanese Japanese Styled Chinese』の出版に対し、その印刷費の一部等を助成

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
24	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 日本語学習者や日本の文化や社会に関心を持つ人々に対して、日本語教育・日本研究関連の図書・資料を中心に提供する専門図書館を運営 (1) 延べ来館者数 71,938名 (2) レファレンス数 77件 (3) 貸出点数 14,212点</p> <p>2. 情報発信への取組み バンコク日本文化センターの事業広報のためウェブサイトの運営とニュースレターの発行を実施 (1) ニュースレター発行部数 6,500部 (英語・タイ語) (2) ホームページアクセス件数 38,886件</p>

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	期間	事業内容
25	文化備品貸出	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	日本文化紹介や日タイ交流促進を目的とした、非営利の事業に対し、事業主催者からの要望に基づきバンコク日本文化センター所蔵の文化備品 (浴衣など) を貸出し

マニラ日本文化センター

合計額 50,341,904 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	Rap in Tondo 2	ダバオ マニラ	ミンダナオ国際大学 ムセオ・パンバタ (Museo Pambata) ビーサイド (B-side)	アリアンス・フランセーズ ゲーテ・インスティテュート 在フィリピン・フランス大使館	2011.05.15 ~ 2011.05.29	貧困や不公正によって社会的弱者の立場におかれている若者に対し、ヒップホップ音楽を通じて、夢や希望を表現し実現することの大切さを伝える事業。日、独、仏、比のヒップホップアーティストが、マニラ市内の貧困地区及びミンダナオ島の紛争地域等に暮らす若者を対象としたワークショップと公演を実施
2	折り紙飛行機ワークショップ	マニラ	アヤラ・トライアングル	アヤラ・ランド	2011.06.11	アヤラ・ランドが実施するフィリピン独立記念日の祝賀目的の文化事業 <i>Colors of Freedom</i> に際し、折り紙ヒコーキ協会の西原良典を招へいし、折り紙飛行機のワークショップと滞空時間・デザインを競うコンテストを実施
3	いいむろなおき・パントマイム公演	マニラ	カルロス・ロムロ劇場	フィリピン国家芸術委員会	2011.06.12 ~ 2011.06.16	パントマイム・アーティストのいいむろなおきを招へいし、マニラにおいて2回公演。及びダンスを専攻する学生等を対象にしたワークショップを1回開催
4	日本映画祭	セブ ダバオ マニラ	アヤラセンター・セブ ガイサノ・グランドシティモール シャングリラ・プラザモール フィリピン大学フィルムセンター	シャングリラ・プラザモール 在フィリピン大使館 セブ出張駐在官事務所 ダバオ出張駐在官事務所	2011.06.21 ~ 2011.08.20	日比友好の日（7月23日）を記念する日比友好月間関連事業のオープニング事業として、日本映画祭をマニラ、セブ、ダバオの3都市で実施し、日本映画を通じた日本理解の促進に努める。オープニングにて『おくりびと』を上映
5	日本映画キャラバン	バギオ	コールディエラ大学 セント・ルイス大学 バギオ市立博物館 バギオ大学 フィリピン大学バギオ校	コールディエラ大学 セント・ルイス大学 バギオ市立博物館 バギオ大学 フィリピン大学バギオ校	2011.06.27 ~ 2011.11.21	日比友好月間の一環として、日本文化紹介の機会の少ない北ルソンの中核都市であるバギオ市内及びトゥゲガラオ市において、日本映画の上映会を実施。『のんちゃんのみりや』等を上映

海外拠点

		トゥゲガラオ	ベンゲット州立大学 メディカル・カレッジ・オブ・ノーザン・フィリピン	ベンゲット州立大学 メディカル・カレッジ・オブ・ノーザン・フィリピン		
6	海外巡回展「キャラクター大国、ニッポン」	マニラ	メトロポリタン美術館	メトロポリタン美術館 在フィリピン大使館	2011.07.07 ~ 2011.08.20	7月の日比友好月間の一環として、巡回展「キャラクター大国、ニッポン」をメトロポリタン美術館と共催で実施。「日本人とキャラクター」をテーマに、これまで日本社会でブームを引き起こした国民的キャラクターを画像やパネルで紹介し、そのキャラクターが日本社会に与えた影響を検証するとともに、その世界を幅広く紹介
7	日比交流写真展	バギオ	GECKO カフェ・アートギャラリー バギオ市立博物館	北ルソン日本人会	2011.07.08 ~ 2011.07.30	日比友好月間の一環として、バギオ市立博物館等において日比両国の写真家による作品展を実施
8	第7回シネマラヤ <i>Focus Asia</i>	マニラ	グリーンベルト3 フィリピン文化センター	フィリピン文化センター	2011.07.17 ~ 2011.07.23	フィリピンにおけるデジタルシネマ最大の祭典、シネマラヤ内でアジア諸国のインディペンデント映画を特集する <i>Focus Asia</i> において、『ジャーマン+雨』を上映。フィリピン国内の映画関係者を中心に、日本のインディペンデント映画に対する理解をより深めてもらうことを目指す
9	AKI&KUNIKO公演	マニラ	カルロス・P・ロムロ劇場 Conspiracy Garden Cafe フィリピン大学音楽学部	フィリピン大学音楽学部 在フィリピン大使館	2011.07.18 ~ 2011.07.22	日比友好月間の目玉事業として、ギターと琴のユニット・AKI&KUNIKOを招へいし、公演とワークショップを実施
10	Jポップ・アニメ歌唱コンテスト	マニラ	SMメガモール	在フィリピン大使館	2011.07.23	日比友好の日（7月23日）を記念して、在フィリピン大使館と共催で日本のアニメソングやJポップ音楽の歌唱コンテストを実施。また、「日比友好」をテーマに、同コンテストのマスコットキャラクター「トララ」の登場するマンガ・コンテストも同時に実施し、優秀作品をイベント会場内に展示
11	「新次元：マンガ表現の現在」	マニラ	アヤラ美術館		2011.08.15 ~ 2011.10.02	国際交流基金本部が主催する「新次元：マンガ表現の現在」展に合わせて、京都精華大学ジャクリーヌ・ベルント教授によるレクチャーを実施し、当地における現代日本文化に対する理解を促進

海外拠点

12	第5回国際サイレント映画祭	マニラ	シャングリラ・プラザモール	フィルム・デベロップメント・カウンシル・オブ・ザ・フィリピン インスティテュート・セルバンテス ゲーテ・インスティテュート シャングリラ・プラザモール 在フィリピン・イタリア大使館 在フィリピン・ギリシア大使館 在フィリピン・スペイン大使館	2011.08.26 ~ 2011.08.28	ドイツ、イタリア、ギリシア、スペイン、フィリピン、日本、計6カ国の文化交流機関等との共催による映画祭。フィリピンとギリシアは今回が初参加。各国のサイレント映画に、フィリピンのバンドによる生演奏をつけて上映。日本の上映作品は『明け行く空』（斎藤寅次郎監督）
13	移動マンガ図書館	マニラ	SMXコンベンションセンター	SMXコンベンションセンター	2011.09.17 ~ 2011.09.18	現地のアニメ、マンガ愛好団体などが主催するイベントに、図書館のマンガ、アニメ関連書籍及び什器を持ち込み、移動式のマンガ図書館を出展
14	Animehenasyon 2011	マニラ	イーストウッド・デ・ラ・サール大学	フィリピン・アニメーション協議会	2011.11.22 ~ 2011.11.25	日本からアニメーターの栗津順を招へいし、フィリピン・アニメーション・カウンシル主催のアニメ・フェスティバル Animehenasyon2011 において講演やワークショップ、作品の上映会を実施
15	UNIT ASIAマニラ公演	マニラ	SMシティ・ノース・エドサ・スカイドーム	SMシティ・ノース・エドサ	2012.02.13	日本、タイ、マレーシア3カ国のミュージシャン5名で編成されるUNIT ASIAによる東南アジアツアーのマニラ公演。フィリピン国家芸術委員会が中心となって実施する2月の芸術月間及びフィリピン・ジャズソサイエティが主催するマニラ国際ジャズフェスティバルの一環として、更には2月末にマニラ日本文化センターが主催する日本語フィエスタのプレ・イベントとして実施

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
16	日比ダブル児童を対象とした演劇ワークショップ	女性のための行動ネットワーク (Development Action for Women Network (DAWN))	2011.03.26 ~ 2011.04.30	フィリピンで生活するジャパニーズ・フィリピン・チルドレン (JFC) の支援を行うDAWNが実施する、JFCを対象とした演劇ワークショップ。JFCの創造力・表現力の育成や問題・経験の共有だけではなく、JFCを取り巻く諸問題について広く一般の理解を促進することを目的に実施。ワークショップ実施経費の一部を助成

海外拠点

17	第1回アジア体重別極真空手道選手権	極真空手道フィリピン支部	2011.05.26	極真空手道フィリピン支部が主催する第1回アジア体重別極真空手道選手権で、フィリピン、シンガポール、インド、インドネシア、イランなどから約200名が参加。実施経費の一部を助成
18	TAMA2011：ニパフ・アジアツアー	Tupada Action and Media Art Inc	2011.11.03 ～ 2011.11.11	日本国際パフォーマンス・アート・フェスティバル(ニパフ)のアジアツアー。日本を含むフィリピン内外の、パフォーマンス・アートに関わるアーティストを招へいし、パフォーマンスや作品発表を実施。実施経費の一部を助成
19	手漉き和紙職人のアーティスト・イン・レジデンス	Our Lady of Lourdes College Foundation (OLLCF)	2011.11.14 ～ 2011.12.15	OLLCFが実施するアーティスト・イン・レジデンス・プログラムに、ルソン島北部で活動中の手漉き和紙職人のシムラアサオを招へいし、滞在制作や学生を対象としたワークショップを実施。滞在費の一部を助成。
20	ハウス・オブ・コンフォート美術展及びワークショップ	ハウス・オブ・コンフォート	2011.11.16 ～ 2012.01.01	アルマ・キント（フィリピンのアーティスト）が主宰するハウス・オブ・コンフォートは、災害や虐待、紛争などで心に傷を負った女性や子ども達と共同制作を行うアートプロジェクト。今回は日比のアーティスト等が参加し、ジャパニーズ・フィリピン・チルドレンたちを対象にアートワークショップを実施し、児童たちの作品を展示。更に、アーティストによるトークセッションも開催。実施経費の一部を助成
21	日本の現代演劇講演会	タンハラン・アテネオ	2012.02.21 ～ 2012.02.25	アテネオ大学の劇団タンハラン・アテネオが、演出家/劇作家の鈴江俊郎作『髪をかきあげる』を公演するにあたり、同氏を招へいし、日本の現代演劇に関する講演会等を実施。実施経費の一部を助成
22	被災コミュニティの癒しと復興のためのクリエイティブ・ラーニング	ハウス・オブ・コンフォート	2012.03.16 ～ 2012.03.21	アルマ・キント（フィリピンのアーティスト）が主宰するハウス・オブ・コンフォートは、災害や虐待、紛争などで心に傷を負った女性や子ども達と共同制作を行うアートプロジェクト。今回は、前年12月に台風センドンで大きな被害を受けた、カガヤン・デ・オロ及びイリガンの居住者を対象に、トラウマと向き合い癒すためのアート・ワークショップを実施。実施経費の一部を助成

(2) 日本研究・知的交流事業

日本研究・知的交流（助成）

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
23	UPアジア・センター国際会議：アジア地域の安全保障に関する国際会議	フィリピン大学アジア・センター	2011.08.13 ～ 2011.08.14	UP（フィリピン大学）アジア・センターで学ぶ大学院生グループの「バランガイ」が主催するアジアの安全保障（食料、防災、公害、気候変動、エネルギーなど多岐にわたる分野の安全保障）に関する国際会議。実施経費の一部を助成
24	東南アジア音楽国際会議「東南アジア諸国を形づくる音楽の影響について」	フィリピン大学音楽学部	2011.09.02 ～ 2012.03.01	UP（フィリピン大学）音楽学部が主催する東南アジア諸国の民族音楽に関する国際会議のうち、寺田吉孝（国立民俗学博物館教授）の招へい旅費を助成

海外拠点

25	緑化都市開発に関する国際会議	フィリピン環境計画学会	2011. 10. 18 ~ 2011. 10. 20	フィリピン大学が気候変動への対応策として主催する緑化都市開発に関する啓発と、それに携わる研究者や行政官、NGO等、多様なステークホルダーのネットワーク形成・強化を目的とした国際会議。日本人研究者2名の招へい旅費を助成
26	能を通して日本文化を伝える	フィリピン大学国際地域研究センター	2012. 01. 28 ~ 2012. 03. 06	フィリピン大学国際地域研究センターの学生が、梅若猶彦（静岡文化芸術大学教授）の協力を得て、高校生等を対象にした能に関する講演やワークショップを実施

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
27	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 日本語教材や、アニメ関連の雑誌・書籍や漫画といった日本の現代文化に関する蔵書を備えた図書館を運営。フィリピン最大の日本語教育及び日本文化に関するリソースセンターとしての役割を果たす (1)延べ来館者数 3,448名 (2)レファレンス数 3,093件 (3)貸出点数 543点</p> <p>2. 情報発信への取組み 広報活動として、マニラ日本文化センターのイベント、公募事業等を紹介するサイトと、文化・芸術交流、日本研究・知的交流に関するニューズレターを運営 (1)ニューズレター発行部数 14,000部（英語・日本語） (2)ホームページアクセス件数 37,018件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
28	Takbo Para Sa Japan	フィリピン大学国際研究センター	2011. 07. 23	東日本大震災の被災者支援を目的に、フィリピン大学国際研究センターや学生有志らが主催したチャリティ・マラソン大会。入賞者への賞品20個を提供
29	アジア太平洋大学東アジア映画祭	アジア太平洋大学	2012. 02. 26	アジア太平洋大学が主催する東アジア映画祭において、『ブランゼット』他日本のアニメ作品3作品を上映

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	定期日本映画上映会	クアラルンプール	FINAS (マレーシア映画振興公社)		2011.05.07 ~ 2012.01.07	クアラルンプール日本文化センターが永年定期的に行っている映画上映事業。本年度はFINASにて上映。5月7日『雲のむこう、約束の場所』、6月11日『百万円と苦虫女』、7月2日『ホテルハイビスカス』、9月10日『バッテリー』、10月1日『座頭市物語』、11月12日『魂萌え!』、12月7日『めがね』、1月7日『青い鳥』
2	文化体験ワークショップ	クアラルンプール	UTAR Solaris Dutamas		2011.04.01 ~ 2012.03.31	UTAR、Solaris Dutamasでイベント実施時に、折り紙や浴衣のワークショップを併せて開催。更に、文化備品の貸し出し、フィルムの貸し出し、日本語事業での協力、センターへの学生訪問等の機会にも併せて実施
3	「日本の世界遺産」展、「こけしの世界」展	プタリン・ジャヤ ペナン	Taylor's University Gallery ペナン州立博物館		2011.05.18 ~ 2012.07.31	5月18日~6月にかけて、Taylor's University Galleryで「こけしの世界」展を開催。伝統こけしを中心に木地玩具、創作こけし等を展示。更に7月1日~7月31日にかけて、ペナン州立博物館で「日本の世界遺産」展を実施。更に、写真家の三好和義が撮影した日本の世界遺産の写真パネルを展示
4	日本映画特集上映—KK国際映画祭	コタキナバル	Golden Screen Cinemas	コタキナバル国際映画祭	2011.06.04 ~ 2011.06.09	東マレーシアボルネオ島サバ州の州都コタキナバルで行われるKK International Film Festivalにて日本映画を上映。作品は、『秒速5センチメートル』『百万円と苦虫女』『おくりびと』
5	Shigeri Kitsu Tour	プタリンジャヤ クアラルンプール クチン	Dewan Sivik BMPJ Malaysia Tourism Centre (MaTiC) UNIMAS大学	Dewan Sivik BMPJ Malaysia Tourism Centre (MaTiC) UNIMAS大学	2011.07.09 ~ 2011.07.16	日本より木津茂理（民謡歌手／太鼓奏者）を招へいし、マレーシア3都市を巡回する邦楽公演を実施。クアラルンプールでは、マレーシア政府主催のKL Festivalの一環として実施
6	日本映画祭2011	クアラルンプール ペナン	Golden Screen Cinemas (GSC Mid Valley, GSC 1 Utama, GSC Pavilion KL) GSC Gurney Plaza	Golden Screen Cinemas 在マレーシア大使館 ペナン総領事館 松竹株式会社	2011.09.13 ~ 2011.09.25	平成23年度で8回目を迎える日本映画祭。9月13日の映画祭オープニングでは、マレーシアで撮影された『セカンドバージン』（当地でのタイトル『Second Chance』）が、松竹（株）との共催でワールドプレミアとして上映され、出演者及び監督がセレモニーに登場。映画祭期間中は『それでもボクはやってない』（2007）、『ハッピーフライト』（2008）、『不灯港』（2008）、『歓喜の歌』（2008）、『きみの友だち』（2008）、『川の底からこんにちは』（2009）、『マイマイ新子と千年の魔法』（2009）、『49歳で電車の運転士になった男の物語』（2010）、『おとうと』（2010）を上映

海外拠点

7	夢絃塾（三味線） ツアー	クアラトレンガヌ クアラランプール ペナン	マレーシア・トレ ンガヌ大学（UMT） マレーシア国立芸 術文化遺産大学 （ASWARA） マレーシア科学大 学（USM）	ペナン総領事館 マレーシア・トレ ンガヌ大学（UMT） マレーシア国立芸 術文化遺産大学 （ASWARA） マレーシア科学大 学（USM）	2011. 10. 30 ～ 2011. 11. 05	在ペナン総領事館企画案件。三味線を中心とした邦楽グルー プ、夢絃塾によるマレーシア国内ツアー。3都市を巡回
8	国際シンポジウム 「新しい世界ネッ トワークの可能 性」参加者報告会	クアラランプール	ファイブ・ アーツ・センター	ファイブ・ アーツ・センター	2011. 11. 08	アサヒ・アート・ネットワークとの共催で日本で開催された 国際シンポジウム「新しい世界ネットワークの可能性」にマ レーシアから参加したLew Pik-Svonn（フリーランス・ア ートワーカー）による報告会。タイトルは <i>REBUILDING COMMUNITIES THROUGH ART-An observation of post- earthquake community projects in Japan</i> とし、東日本大 震災の被災地で行われているコミュニティ・アート・プロ ジェクトへのスタディーツアーや他国からの参加者との意見 交換によって得た具体例を報告。クアラランプールにおいて コミュニティ・プロジェクトを企画・運営している各団体や 個人のほか、一般参加者も参加
9	Hanamas（和洋楽ユ ニット）ツアー	バンドルスリブガ ワン（ブルネイ） クアラランプール ペナン	Arts Centre Auditorium at Jerudong International School ペトロナスホール マレーシア科学大 学（USM）	在ブルネイ大使館 ペナン総領事館 Jerudong International School ペトロナスホール マレーシア科学大 学（USM）	2011. 12. 06 ～ 2011. 12. 16	和洋楽ユニットHanamasによるマレーシア・ブルネイツ アー。クアラランプールでは、当地のシンボリック的存在でツイ ンタワーに位置するDewan Filharmonik Petronasとの共催。 コンサートの前にショッピングセンターにて、プロモーショ ンイベントも2回実施。ペナン、ブルネイでは天皇誕生日レ セプションにも登場
10	日馬コラボレー ション『時の夢』 公演	クアラランプール ペナン	クアラランプ ール・パフォーミン グ・アーツ・セン ター 国立テキスタイル 博物館 ペナン・パフォー ミング・アーツ・ センター	クアラランプ ール・パフォーミン グ・アーツ・セン ター 国立テキスタイル 博物館 ペナン・パフォー ミング・アーツ・ センター	2011. 12. 08 ～ 2011. 12. 20	2010年度に開催された舞台衣装展「時の夢」展オープニング セレモニーで実験的に行われたパフォーマンスを公演として 再構成。「和」と「アジア」の美を追求しつつ、独特の世界 を作り上げる衣装デザイナー時広真吾のコスチュームを身に まとい、役者、歌手、音楽家、ダンサーが四季を、衣装から インスピレーションを受けながら表現。演出は同氏と、共催 者であるクアラランプール・パフォーミング・アーツ・セン ターのJoe Hasham、Faridah Merican。パフォーマーは全て 当地で選出された、マレーシア人若手アーティスト達。併せ て、国立テキスタイル博物館にて講演会も開催

海外拠点

11	曼陀羅りえ個展	クアラルンプール	12 Art Space	12 Art Space	2012.01.01 ~ 2012.02.01	紙や布を使ったコラージュ作品を制作しているバリ島在住日本人アーティスト、曼陀羅りえの個展。ペナンでのレジデンスに参加後、その期間中に制作した作品を発表。素材はマレーシアのものを使用。開催最終日に、中・高校生を対象としたワークショップを開催。30名の学生が参加
12	Unit Asiaライブ	クアラルンプール	KL Live Centre		2012.02.07 ~ 2012.02.10	2008年国際交流基金本部主催事業で誕生したジャズユニット、Unit Asia。同ユニットの誕生の地でもあり、再公演を期待する声も高いクアラルンプールにて公演を実施
13	日本文化紹介派遣「和菓子」	クアラルンプール	日本料理レストラン勘八 (Kampachi Restaurants at Pavilion)		2012.02.13 ~ 2012.02.16	日本から3名の和菓子職人を招へいし、レクチャー・デモンストレーションを2月14日、15日に実施。専門家は、明神宜之 (広島県呉市・蜜屋本舗)、吉橋慶祐 (石川県金沢市・吉はし菓子所)、小泉直哉 (栃木県足利市・香雲堂本店)
14	クラシックコメディ映画祭	クアラルンプール	FINAS (マレーシア映画振興公社)		2012.03.01 ~ 2012.03.15	1950~60年代に制作された日本のクラシックコメディ作品の特集上映
15	publikaスクリーニング	クアラルンプール	publika	publika 在マレーシア大使館	2012.03.01 ~ 2012.03.31	クアラルンプール日本文化センターが永年定期的に行っている映画上映事業。FINAS (マレーシア映画振興公社) にて実施してきたが、改装工事のため、2、3月実施が出来ないことに伴い、代替事業として3月の毎週火曜日夜にpublikaにて上映会を開催。上映作品は3月6日『ハッピーフライト』、13日『のんちゃんのり弁』、20日『雲のむこう、約束の場所』、27日『カルテット!』
16	震災復興ドキュメンタリー上映会	クアラルンプール	Black Box MAP, Solaris Dutamas		2012.03.05 ~ 2012.03.07	震災復興ドキュメンタリーDVDの特集上映会及びLIGHT UP NIPPON関連イベントの実施 【東日本大震災復興支援事業】
17	歌舞伎デモンストレーション&パフォーマンス	クアラルンプール	マレーシア国立芸術文化遺産大学 (ASWARA)	マレーシア国立芸術文化遺産大学 (ASWARA)	2012.03.05 ~ 2012.03.08	日本伝統芸能振興会による公演。歌舞伎の化粧・着付け等のデモンストレーション、舞踊『助六』の披露に続き、歌舞伎舞台『あんまと泥棒』を披露
18	Dream of Time-Shingo Tokihiro Costume Exhibition	クアラルンプール	Kuala Lumpur Performing Arts Centre (KLPac)		2011.05.01 ~ 2011.05.31	平成22年度事業 (2月~3月実施) として、「和」の美しさを前面に打ち出した衣装を制作する衣装デザイナー時広真吾の衣装展覧会、ワークショップ、及びパフォーマンスを実施。展示終了 (3月13日) 直後は、日本への輸送事情に東日本大震災の影響が見られたため、日本への衣装返却は震災から時間を置いた今年度 (平成23年度) に実施。(日本への衣装返却にかかる輸送費を支出)

海外拠点

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
19	小規模助成プログラム(マレーシア)	MyDance Alliance Switch On Music	2011.04.01 ~ 2012.03.31	現地のイニシアチブによる文化芸術交流事業を積極的に支援。対象事業の要件は、日本（日本文化）に関する案件であること、申請者とのコスト・シェアリング事業であること、非営利事業であること。本年度は、MyDance Alliance主催「Contact Festival Kuala Lumpur」、Switch On Music主催「Kazuhisa Uchihashi Kuala Lumpur Meeting」へ、日本人アーティストの渡航費や滞在費などの助成を実施
20	小規模助成（シンガポール）	T. H. E. Dance Company	2011.04.01 ~ 2012.03.31	現地のイニシアチブによる文化芸術交流事業を積極的に支援。対象事業の要件は、日本（日本文化）に関する案件であること、申請者とのコスト・シェアリング事業であること、非営利事業であること。本年度は、T. H. E. Dance Company主催「Singapore Contact 2011-A Week of Dance」へ日本人アーティストの渡航費や滞在費などの助成を実施

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	場所名	期間	事業内容
21	日本研究講演会	クアラルンプール	マラヤ大学 マレーシア日本研究学会 (MAJAS)	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本研究講演会の実施。当国マレーシア人専門家による、英語もしくはマレーシア語による講演。対象者は日本研究者（学者）、学生を主対象とするが、講演内容に関心を寄せる一般参加者の参加も歓迎 第1回「An Aspect of Soft Power: Comparing the China and Japan Models for Malaysia」／講師：Lee Poh Ping（マレーシア日本研究学会会長）（2011.09.29） 第2回「Japan Studies in Malaysia」／講師：Md Nasrudin Md Akhir（マラヤ大学アジア欧州研究所長）（2012.03.27）

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
22	小規模助成	マレーシア・サラワク大学 (UNIMAS)	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本との知的交流事業を実施する上で経費的な支援を求める者に対し、事業内容の審査に基づき、小規模助成を行う事業（社会科学、人文科学、文化の領域に限定）。本年度は、UNIMAS主催「Sustainable and Community-Based Tourism in Bario Malaysia and Yufuin, Japan」へ助成

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
23	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 7,232名 (2) 貸出点数 15,279点</p> <p>2. 情報発信への取組み クアラルンプール日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 (1) ニュースレター発行部数 12,500部 (英語) (2) メールマガジン配信数 138,736件 (3) ホームページアクセス件数 65,788件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
24	日仏馬Jazzワークショップ&コンサート	アリアンス・フランセーズ (AFKL) マレーシア国立芸術文化遺産大学 (ASWARA)	2011. 04. 01	クアラルンプール日本文化センターとアリアンス・フランセーズ (AFKL)、マレーシア国立芸術文化遺産大学 (ASWARA) の三者共催にて、Tae Nabatame (日本人ピアニスト) と Arnito (フランス人ギタリスト) をマレーシアに招へいし、ASWARA 音楽学科の学生を対象としたワークショップ、学生参加のコンサートを共同企画。東日本大震災により日本人アーティストの渡航が事業直前に中止となったことから、フランス人アーティストのみで実施。当センターは広報等を協力

ニューデリー日本文化センター

合計額 119,090,090 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	茶道レクチャー・デモンストレーション	ニューデリー	インド国際センター ニューデリー日本文化センター	インド国際センター	2011.04.01 ~ 2011.04.04	デンマーク出身京都在住の茶人宗園・スアーン・ビスゴー (Sren Michael Christian Bisgaard) による、英語での茶道のレクチャーデモンストレーションを実施。対象は、生け花や盆栽の協会メンバーから日本語学習を取り入れている中等教育機関まで幅広く設定し、関心の高い日本の茶道文化を紹介
2	定期映画上映会 (第1四半期)	ニューデリー	ニューデリー日本文化センターオーディトリウム	在インド大使館	2011.04.01 ~ 2011.06.30	ニューデリー日本文化センターのオーディトリウムにおいて、同センター保有の16mm映写機を活用した定期映画上映会を実施。第1四半期は『Always 3丁目の夕日 1』『Always 3丁目の夕日 2』『シコふんじゃった』『どついたるねん』『ヒノキオ』『ロボコン』の6作品を上映
3	定期映画上映会 (第2四半期)	ニューデリー	ニューデリー日本文化センターオーディトリウム	在インド大使館	2011.07.01 ~ 2011.09.30	ニューデリー日本文化センターのオーディトリウムにおいて、同センター保有の16mm映写機を活用した定期映画上映会を実施。第2四半期は『武蔵野鉄塔線』『みんなの家』『阿修羅のごとく』『微笑みを抱きしめて』『菊次郎の夏』『キッズ・リターン』の6作品を上映
4	『水の駅』演劇創作及びインド巡回公演	ベンガルール (バンガロール) ムンバイ デリー アムリトサル トリシュール コーシッコード (カーリーカト)	ランガ・シャンカル劇場 プリトウヴィー・シアター 第14回バーラト・ラング・マホートサヴ会場 第4回ケーララ国際演劇祭会場	シアター・ルーツ・アンド・ウィングス(Theatre Roots & Wings)	2011.08.01 ~ 2012.02.08	日本の演出家/劇作家である太田省吾の代表作、沈黙劇『水の駅』を、インドのシアター・ルーツ・アンド・ウィングスがプロデュースした日印共同制作。インドで注目されている若手演出家シャンカル・ヴェンカテシュワランが同作を演出し、インド各地のオーディションで選出した気鋭の俳優を起用。8月にデリー等でキャスティング・オーディションを行い、10月にトリシュールでリハーサルを実施。11月からベンガルール、ムンバイ等で公演
5	ANIME CONVENTION 2	ニューデリー	ノイダ・フィルムシティ内 マールワー・スタジオ	シネ・ダルバール 在インド大使館	2011.09.09 ~ 2011.09.11	昨年に引き続き、日本のマンガやアニメをテーマにした大規模な大会を開催。アニメーション映画上映、漫画、ゲームの3分野を柱に実施。日本食、コスプレ、漫画・アニメや日本食のワークショップやマスタークラスを通じて日本文化を紹介

海外拠点

6	紫音（和太鼓）公演	ベンガルール（バンガロール） ムンバイ（ボンベイ）	ドクター・エイチ・エヌ・カラークシェートラ（Dr. H. N. Kalakshetra） ラヴィンドラ・ナーティヤ・マンディル（Ravindra Natya Mandir）	ベンガルール国際芸術祭（Bengaluru International Arts Festival） 在ベンガルール出張駐在館事務所 在ムンバイ総領事館	2011.09.17 ～ 2011.09.23	女性和太鼓奏者グループ紫音によるインド巡回公演。ベンガルール公演は、ベンガルール国際芸術祭の招待枠での公演
7	スパイスアーサー702『新しひ紙芝居』公演	マサーリー デリー	ウッドストック・スクール（Woodstock School） インディア・ハビタット・センター（India Habitat Center）	スパイスアーサー702	2011.09.26 ～ 2011.09.30	日本独自の文化である「紙芝居」に音楽や漫画を取り入れて現代的なアレンジを加えた、スパイスアーサー702による『新しひ紙芝居』インド公演を共催。デリー（国際ストーリーテリング祭（International Storytellers Festival）からの招へい）及びウッタラカンド州の州都デーラドゥーン近郊のマサーリーで公演
8	書道ワークショップ及び映画上映会	デリー パロ（ブータン） ティンプー（ブータン）	アピージャイ・スクール（Apeejay School） デリー公立学校（アール・ケー・プラム DPS R. K. Puram） パロ教育大学（Paro College of Education） ブータン国立図書館（National Library of Bhutan） ユース・ディヴェロップメント・ファンド・ホール（Youth Development Fund Hall） 時計台広場	在インド大使館 JICAブータン事務所	2011.11.01 ～ 2011.11.10	日ブータン国交樹立25周年及びブータン国王の御成婚のタイミングに併せて、ブータンの首都ティンプー及びパロで書道家によるデモンストレーション、ワークショップ、日本映画上映会を開催。ブータンでの開催後、書道のワークショップを、デリー（インド）で実施 【日ブータン国交樹立25周年事業】

海外拠点

9	定期映画上映会 (第3四半期)	ニューデリー	ニューデリー日本文化センターオーディトリウム	在インド大使館	2011. 10. 01 ~ 2011. 12. 31	ニューデリー日本文化センターのオーディトリウムにおいて、同センター保有の16mm映写機を活用した定期映画上映会を実施。第3四半期は『転校生』『きらきらひかる』『砂の上のロビンソン』『ハッシュ』『東京タワー オカンとボクと、時々オトン』『橋のない川』の6作品を上映
10	桂歌蔵英語落語巡回公演	デリー コルカタ ブバーネシュワル ムンバイ カールヤーン プネー ベンガルール チェンナイ	インド国際センター (India Habitat Centre) カラー・クンジ (Kala Kunj) ホテル・サンタナ (Hotel Santana) ソーマイヤー・経営研究所 (Somaiya Institute of Management Research Studies) ザ・ケー・アー・カーマー東洋研究所 (The K. R. Cama Oriental Institute) ビルラー・カレッジ (Birla College) ティラク・スマーラク寺院 (Tilak Smark Mandir) シンボシス研究所 (Symbiosis Institute) 州立ヤワニカー・ユース・センター (Yavanika State Youth Centre) ナガアキ・ヤマモト・セミナーホール (Nagaaki Yamamoto-Seminar Hall)	在インド大使館 在コルカタ総領事館 在ムンバイ総領事館 在ベンガルール出張駐在館事務所 在チェンナイ総領事館	2011. 11. 01 ~ 2011. 11. 22	落語家の桂歌蔵による英語落語のインド・スリランカ巡回公演

海外拠点

		コロンボ (スリランカ)	サバラガムワ大学 社会科学・言語学 部 (Faculty of Social Sciences & Languages Sabaragamuwa University of Sri Lanka)			
11	折り紙ワーク ショップ及び展覧 会「Oriental Exhibition 2011 Love and Peace」	デリー	ニューデリー日本 文化センター	オリガミ・オリタ イ・インド (Origami Oritai, India)	2011. 11. 05 ~ 2011. 11. 12	ニューデリー日本文化センターを拠点に活動をしている折り紙サークルOrigami Oritaiが毎年秋に実施している作品発表会の機会に、日本より折り紙の専門家である川崎敏和を招へいし、ワークショップを開催。その成果発表の機会として作品発表会を実施
12	「8人の日本人ア ーティストー東洋の 交感」展	ニューデリー シャンティニケー タン	ニューデリー日本 文化センター SSUAD(シャンティ ニケートン視覚デ ザイン・文化研究 所)	東洋の交感実行委 員会 (岩田 草平、 小林 史子、 戸田 祥子)	2011. 10. 30 ~ 2011. 11. 27	文化庁プログラムにてシャンティニケートンに滞在し作品制作を行っているアーティストの岩田草平を中心とした、8名の若手日本人アーティスト等による現代美術展。10月30日～11月19日にかけてシャンティニケートンのSSVAD (シャンティニケートン視覚デザイン・文化研究所)での滞在制作と展示後、ニューデリー日本文化センターのギャラリースペースで展示とアーティストトーク等を実施
13	生け花デモンスト レーション・ワー クショップ	デリー	インド国際セン ター	デリー・生け花・ インターナシヨナ ル	2011. 11. 22	生け花インターナショナル・デリー支部設立45周年を記念し、シンガポールより生け花師範のクリストファー・リムを招へいし、デモンストレーション及びワークショップを実施
14	ガティ・ダンス・ フォーラム「イエ ロー・ライン・プ ロジェクト(Yellow Line Project)」	グルガオン デリー	デビ・アート・ ファウンデショ ン(Devi Art Foundation) ガティ・ダンス・ フォーラム(コー ジ)	ガティ・ダンス・ フォーラム	2011. 11. 28 ~ 2011. 12. 18	デリーの都市空間をテーマにメディアアートとコンテンポラリーダンスのコラボレーション作品を制作。6組の参加者のうち日本からはメディアアーティストの古舘健を招へい。インド人のダンサーとの3週間にわたるアーティストインレジデンスを通じて作品を制作し、デリー及びグルガオンで成果を発表
15	定期映画上映会 (第4四半期)	ニューデリー	ニューデリー日本 文化センター	在インド大使館	2012. 01. 01 ~ 2012. 03. 31	ニューデリー日本文化センターのオーディトリウムにおいて、同センター保有の16mm映写機を活用した定期映画上映会を実施。第4四半期は『虹をつかむ男』『蒲田行進曲』『翔んだカップル』『Wの悲劇』『夢千代日記』『序の舞』を上映

海外拠点

16	東北の凧揚げ専門家によるデモンストレーション及びワークショップ	アーメダバード コルカタ デリー	サーバルマ ティール・リヴァー フロント (Sabarmati River Front) イースタン・ゾー ナル・カルチャー ル・センター (Eastern Zonal Cultural Centre) ラームジャース・ スクール (アー ル・ケー・プラ ム) デリー公立学校 マールティール・ク ンジュ		2012.01.10 ~ 2012.01.18	東日本大震災復興支援事業として、東北の凧揚げ専門家「仙 台風の会」によるデモンストレーション及びワークショップ を開催。グジャラート州アーメダバードで開始される、イン ド国内唯一の国際凧揚げフェスティバルへ参加した後、デ リー及びコルカタでワークショップを実施 【東日本大震災復興支援事業】
17	オノ・ヨーコ パ ブリック・アー ト・プロジェクト	デリー	ニューデリー日本 文化センター バデラ・アート・ ギャラリー他市内 20カ所以上の公共 空間	バデラ・アート・ ギャラリー (Vadehra Art Gallery)	2012.01.13 ~ 2012.03.10	オノ・ヨーコがインドで初めて実施する個展「OUR BEAUTIFUL DAUGHTERS (私たちの美しい娘たち)」展、 「SEEDS」展 (バデラ・アート・ギャラリー主催) と併せ て、オノ・ヨーコ パブリック・アート・プロジェクトを開 催。プロジェクトの一つ「WISH TREES (木に願いを込め て)」は、観客参加型アートで、通り過ぎる人々が自由に短 冊に願いを込めて木に吊るす仕組み。開催期間中に、現地の クリエイターや教育者を交えてのワークショップも実施
18	Wall Art Festival 2012	デリー ブッダガヤー	ニューデリー日本 文化センター ブッダガヤー・ス ジャータ村	特定非営利活動法 人ウォールアート プロジェクト	2012.02.19 ~ 2012.03.04	ブッダガヤーの農村部で開催される日印美術作家による展覧 会Wall Art Festival 2012を共催。現代美術作家による、地 域開発的視点を取り入れたプロジェクト。ブッダガヤーでの 展示の後、ニューデリー日本文化センターでのアーティスト トーク及び記録展示を実施
19	アジア女性映画祭 での日本人監督祭 集上映	デリー	インド国際セン ター	国際女性ラジオ・ テレビ協会インド 支部 (International Association of Women in Radio and Television, India Chapter) サンガト (Sangat A South Asian Feminist Network)	2012.03.06 ~ 2012.03.08	国際女性ラジオ・テレビ協会インド支部が実施する女性映画 祭において、日本が特集国として取り上げられるのに際し、 女性監督作品を8作品上映。一部作品に関しては、監督によ る講演会を上映後に実施。上映された日本映画は、『不惑の アダージョ』(井上都紀)、『ミツバチの羽音と地球の回 転』(鎌仲ひとみ)、『玄牝』(河瀬直美)、『GAKI 琵琶 法師』(横須賀令子)、『SPONCHOI Pispochoi』(杉殿育 恵、西尾都)、『The Dream in the dream』(杉殿育恵)、 『Üks Üks』(米正万也)、『Vestige of Life』(佐竹真 紀)

海外拠点

				インド国際センター (India International Centre) アリアンス フランセーズ (Alliance Franeaise de Delhi)		
20	日印交流の歴史写真展及びパネル・ディスカッション	デリー	インド国際センター	財団法人日印協会	2012. 03. 13 ~ 2012. 03. 20	日印国交樹立60周年を記念し、日印交流にまつわる写真80点の展示及び日印両国の関係者を交えたパネルディスカッションを開催

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象者・機関	期間	事業内容
21	GATI Dance Forum (Summer Residence Program)	ガティ・ダンス・フォーラム (GATI Dance Forum)	2011. 04. 01 ~ 2011. 06. 30	デリーを拠点に活動する現代舞台芸術のネットワーク組織ガティ・ダンス・フォーラム (GATI Dance Forum) による、若手パフォーマー育成を目的としたレジデンスプログラム。公募で選ばれた6名の参加者のうち、オディッシー・ダンスとクラシックバレエの経歴を持つダンサー・上野まゆかが選出され、同氏の滞在制作にかかる経費の一部を助成。更にリハーサルスペースとしてニューデリー日本文化センターギャラリースペースの長期貸出を実施
22	Finding Mario	シュバンク・マウリア (Shubhank Mauria)	2011. 04. 01 ~ 2011. 08. 31	日本のゲーム文化のインドにおける受容と浸透の状況について、ムンバイ、デリー、ベンガルールなどの主要都市と、ダージリン、シリグリーなど北東州の数都市を含む、計9都市を回ってインタビューやビデオリサーチを行い、最終的な成果を雑誌やウェブで発表。その成果を発表する展示も実施。アーティストへの謝金、8都市間の交通費、研究材料費（文房具、写真・ビデオ機器のレンタル費）を助成
23	Cinephilia and Beyond	シネ・ダルバル・ウェルフェア・ソサエティ (Cine Darbaar Welfare Society)	2011. 07. 22 ~ 2011. 07. 24	映画批評及びキュレーションに関するレクチャー及びワークショップ。講師にはインドを代表する映画監督の一人であるブダデーブ・ダースグプター (Buddhadeb Dasgupta)、カメラマンのサニー・ジョセフ (Sunny Joseph)、その他映画祭関係者を招へい。ワークショップの題材として日本映画に焦点を当てる。同監督、カメラマンのデリー往復渡航費、滞在費、プリンティング費用を助成

海外拠点

24	<i>PIX: A Photography Quarterly</i>	ラーハブ・アッラーナー (Rahaab Allana, PIX: A Photography Quarterly)	2011.09.01 ~ 2012.03.31	写真専門の財団であるアルカジ芸術基金(Alkazi Foundation for the Arts)のキュレーターのラーハブ・アッラーナー(Rahaab Allana)が主宰する、南アジア初の非営利写真専門雑誌 <i>PIX</i> の発行及びその関連展覧会。芸術表現としての観点のみならず、社会批評的切り口や他ジャンル(詩、グラフィックアートなど)出身作家による実験的な作品発表の機会ともなっており、写真を通じたあらゆる表現のためのプラットフォーム作りをサポート。写真作品2点のプリンティングと、それに対する謝金を助成
25	<i>Punctum Magazine</i>	パンクタム・マガジン (Punctum Magazine)	2011.10.01 ~ 2012.03.31	アジアの現代写真表現に焦点を当てた雑誌 <i>Punctum Magazine</i> の第2号、第3号、及び10月にデリーで開催されるフォト・アートフェアの開催を支援。日本人作家を含む10名以上の写真家の作品と、各国のライターによるテキストからページが構成されており、アジア発写真表現のためのプラットフォーム作りをサポート
26	Celebrity Concert by the Bombay Chamber Orchestra Presenting a Japanese Conductor	ボンベイ室内楽団 (The Bombay Chamber Orchestra Society)	2011.11.27	ボンベイ室内楽団(The Bombay Chamber Orchestra)から招へいを受けた指揮者小林恵子の渡航費を助成
27	Indo-Japan Deaf Artists Art Exhibition	ムトゥクリシュナン・ラーマリンガン (Muthukrishnan Ramalingam)	2012.01.12 ~ 2012.01.22	日印の耳の不自由な芸術家による展覧会に、日本から八木道夫が招へいされて参加。同氏の渡航費、滞在費及び会場借料を助成
28	Tradition is creation- The Suiboku NOW	ユリコ・ローチャン (Yuriko Lochan)	2012.12.10 ~ 2012.02.29	水墨によるペインティング作品を制作するアーティスト、ローチャン由理子がチェンナイ、ベンガルールで展覧会及びワークショップを実施。同氏の渡航費及び滞在費を助成
29	長谷川祐子講演会 (India Art Fair)	インドニア・アートフェア (India Art Fair)	2012.01.29	India Art Fairでのスピーカーズ・フォーラムに招へいされた長谷川祐子(東京都現代美術館チーフキュレーター)の渡航費を助成
30	Japan Habba 2012 (ジャパン・ハッパ、ベンガルール日本フェスティバル)	ベンガルール日本語教師会 (Bengaluru Nihongo Kyoshi-kai)	2012.02.19	ベンガルールで開催される日本フェスティバル「ジャパン・ハッパ」の広報費、照明・バナーなどにかかる費用を助成
31	Harmony	イケバナ・インターナショナル・グルガオン・チャプター (Ikebana International Gurgaon Chapter)	2012.03.10 ~ 2012.03.11	生花インターナショナル(グルガオン支部)年次総会の会場借料及びテーブル・カバーにかかる費用を助成。草月流・小原流とそれぞれに展示し、東日本大震災の被災者への追悼を実施

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	日本研究者による講演会	バラナシ ベンガルール	バラナシ・ヒンドゥー大学 ベンガルール大学	バラナシ・ヒンドゥー大学 ベンガルール大学	2011.09.10 ～ 2011.09.17	小川直之(ネルー大学客員教授/国学院大学教授/民俗学者)による出張講演会「日本の聖水信仰」。バラナシ、ベンガルールの2都市で実施。同氏は、国際交流基金日本研究機関支援プログラムにて、ネルー大学で講義(8～9月)のため訪印
33	言葉の力：追悼と復興への祈り—東日本大震災六カ月記念 印日詩歌の会	デリー	インド国際センター	「あこがれ」の会(石川啄木学会インド支部)	2011.09.11	詩歌という言葉霊にのせて被災者と被災地を追悼する、日印詩の朗読会。日本側は東北在住の歌人や俳人計5名、インド側は20名の参加。インド側の参加者は、ウニタ・サチタナンド(デリー大学教授/詩人)、クンワル・ナーラーヤン(詩人)、マングレーシュ・ダブラール(詩人)、ブラヤーグ・シュクラ(詩人)、スレーシュ・サリル(詩人)、ワルヤーム・シン(詩人)、ギリダル・ラーティエ(詩人)、アンワル・パーシャ(詩人)、ダナンジェー・シン(詩人)、ランジート・サーハー(詩人)、ヴィノード・パールドワージ(詩人)、イッパール・ラッビー(詩人) ショエーブ・ラザー・ファートミー(詩人)、サンディーブ・クマール・バーンデーイ(詩人)、ウペンドラ・クマール(ネルー大学研究者、ロシア学科)、クマリー・スィーマ(ネルー大学研究者 ヒンディー語文学)、プラティークシャー・クマール(IP大学学部生)、スナイナー・B・パーンデー(フリーランス)、プリトヴィー・バリハール(記者)、ウツジャワル(ヒンディー語研究者) 【東日本大震災復興支援事業】

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	助成機関名称	期間	事業内容
34	第21回アジア太平洋ソーシャルワーク会議	デリー大学	2011.07.15 ～ 2011.07.18	ビシュヌ・モハン・ダス(デリー大学ソーシャルワーク学部助教授)が、第21回アジア太平洋ソーシャルワーク会議(於東京:早稲田大学)に、発表者として参加するにあたり、ニューデリー日本文化センターが渡航費の一部を助成
35	絆フェスティバル	ネルー大学	2012.03.17 ～ 2012.03.18	インドの日本研究機関であるネルー大学による日本の祭典。ネルー大学の学生だけでなく、デリー大学及び民間の日本語学校の学生も参加し、太鼓演奏や盆踊り、日本映画上映会、折り紙ワークショップ、活け花ワークショップなどを実施。併せて日本の専門家を招へいし、日本の震災をテーマとしたセミナーも開催

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
36	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 日本語学習者向けの教材や日本研究者向けの和英資料の充実を図りつつ、同時に現代日本を紹介するための関連資料 (図書、参考書籍、視聴覚資料) を配架する専門図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 6,585名 (2) レファレンス数 801件 (3) 貸出点数 2,601点</p> <p>2. 情報発信への取組み ニューデリー日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) メールマガジン配信数 7,668件 (2) ホームページアクセス件数 23,076件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関・個人名称	期間	事業内容
37	折り紙サークルの定期活動 (第1四半期)	origami oritai	2011. 04. 01 ~ 2011. 06. 30	デリー在住のインド人や日本人等による折り紙サークル origami oritai にて行われている毎週2回の定期活動に対し、会場を提供し協力
38	生花サークルの定期活動 (第1四半期)	生け花インターナショナル 草月スクール 小原スクール	2011. 04. 01 ~ 2011. 06. 30	デリー在住のインド人や日本人等による生花サークルの定期活動に対し、会場を提供し協力
39	「もう一度巣を作ろう」展—東日本大震災被災者追悼展覧会	Indo Japan Association for Literature and Culture(IJALC)	2011. 06. 13 ~ 2011. 06. 18	Indo Japan Association for Literature and Culture主催による、東日本大震災被災者追悼のための展覧会。被災地の写真とそれに合わせて作られた詩のフレーズをヒンディー語、英語、日本語で展示、その他にペインティング作品も10点前後展示。開催に当たり協力を実施
40	生花サークルの定期活動 (第2四半期)	生け花インターナショナル 草月スクール 小原スクール	2011. 07. 01 ~ 2011. 09. 30	デリー在住のインド人や日本人等による生花サークルの定期活動に対し、会場を提供し協力
41	折り紙サークルの定期活動 (第3四半期)	origami oritai	2011. 10. 01 ~ 2011. 12. 31	デリー在住のインド人や日本人等による折り紙サークル origami oritai にて行われている毎週2回の定期活動に対し、会場を提供し協力

海外拠点

42	生花サークルの定期活動（第3四半期）	生け花インターナショナル 草月スクール 小原スクール	2011. 10. 01 ～ 2011. 12. 31	デリー在住のインド人や日本人等による生花サークルの定期活動に対し、会場を提供し協力
43	留学生フェア	立命館インド・オフィス	2011. 10. 31 ～ 2011. 11. 01	立命館インド・オフィス主催の留学生フェアのために、ニューデリー日本文化センターのギャラリースペース及びオーディトリウムを貸出
44	日印こどもの絵を通じた国際交流『みんな友だち ぼくの絵わたしの絵』インド・ニューデリー展	日印こどもの絵展実行委員会（主管・NPO法人国際教育情報交流協会） 立命館インド・オフィス	2011. 12. 06 ～ 2011. 12. 12	名古屋市の小中学校、ニューデリー日本人学校及び、デリー近郊の8つの小学校の児童・生徒の絵画計321点を、ニューデリー日本文化センター事務所ホールで展示。更に鈴木弘之（NPO法人市民芸術活動推進委員会理事長）、辻政博（前東京都図画工作研究会会長）の指導による、「墨絵で挑戦する地球環境『ガンジス川』」と題したワークショップと、パネリストに鈴木洋一、辻政博、角田恵里、マドゥー・ジェイン、サスミタ・トリパティ、リトゥ・プラサードを迎えた国際フォーラム「環境教育と国際協力」を実施。約1,000名が来場
45	折り紙サークルの定期活動（第4四半期）	origami oritai	2012. 01. 01 ～ 2012. 03. 31	デリー在住のインド人や日本人等による折り紙サークル origami oritaiにて行われている毎週2回の定期活動に対し、会場を提供し協力
46	生花サークルの定期活動（第4四半期）	生け花インターナショナル 草月スクール 小原スクール	2012. 01. 01 ～ 2012. 03. 31	デリー在住のインド人や日本人等による生花サークルの定期活動に対し、会場を提供し協力
47	タゴールの故郷を訪ねて～生誕150周年祭のインドへ	Indo Japan Association for Literature and Culture(IJALC)	2012. 02. 03 ～ 2012. 02. 04	中村道夫（俳人）他34名がタゴールの足跡を辿りながら、タゴールとゆかりのある機関及び日印の文化関係機関との交流を通じて、今後の日印文化交流について考える事業。会場を提供し協力
48	日本研究セミナー（文学）	ネルー大学 国文学研究資料館	2012. 02. 19	日本研究セミナー（文学）の実施。東日本大震災で被災した日本文学に関する資料群の収集、復元に関する報告。更にインドにおける日本文学の活性化に関する意見交換（源氏物語の翻訳を中心に）も実施。会場を提供し協力
49	平岡達子展覧会	平岡達子	2012. 02. 20 ～ 2012. 02. 25	日本画家の平岡達子がバラナシを舞台に描いた絵画の展覧会をニューデリー日本文化センターギャラリーにて開催。会場を提供し協力
50	観光展・物産展における日本文化紹介デモンストレーション	在インド大使館	2012. 03. 10 ～ 2012. 03. 25	日本政府及び関係機関の実施する物産展、観光展の開催に際して企画された日本文化紹介プログラムに対する実施協力。具体的にはニューデリー日本文化センターで活動する origami oritai（折り紙サークル）の活動支援、同センターの活動紹介等

海外拠点

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
51	文化備品貸出	Jawaharlal Nehru University 等	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本文化紹介等の事業実施を行う団体に対し、法被や浴衣等の文化備品を貸出し

海外拠点

シドニー日本文化センター

合計額 214,495,429 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	大洋州フィルムライブラリー	シドニー キャンベラ ウェリントン オークランド トンガ	シドニー日本文化センター オーストラリア国立大学 在ニューージーランド大使館 在オークランド総領事館 在トンガ大使館	在オーストラリア大使館 在ニューージーランド大使館 在オークランド総領事館 在トンガ大使館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	大洋州各地において、在外公館との共催により、大洋州フィルムライブラリー所蔵の作品を用いた日本映画上映会を開催。平成23年度は『Always三丁目の夕日』『ハウルの動く城』等を上映
2	日本伝統工芸講座（追加）	メルボルン	オーストラリア・アカデミー・オブ・デザイン	オーストラリア・アカデミー・オブ・デザイン	2011.04.16 ~ 2011.04.21	メルボルンのオーストラリア・アカデミー・オブ・デザインの学生を対象に日本の伝統工芸の技術・技法を継承する講座を開設。日本の伝統工芸の美意識を伝え、日豪間の新たな美術交流を促進する。現代感覚に共鳴する物創りを展開し、将来、伝統技術を踏まえて、豪州の新しいアート基盤を形成し得るアーティストを育成
3	日本の世界遺産写真展	シドニー	シドニー日本文化センター ギャラリー		2011.06.16 ~ 2011.07.15	シドニー日本文化センター所蔵の展示品を活用し、日本の世界遺産（文化及び自然）を広く知らせ、一般層に日本の魅力をより広く深く伝える
4	川上典李子（21_21 DESIGN SIGHT）講演会	シドニー	シドニー日本文化センター ギャラリー		2011.08.05	シドニー日本文化センター内で開催中の本部巡回展「現代日本デザイン展」に合わせて「What's Next? Japanese Design: The Shape of things to come」と題し、21_21 DESIGN SIGHTのアソシエイト・ディレクター川上典李子が日本のデザインの現状及びトレンドを紹介する講演会を開催
5	荒了寛 仏画展及び声明	シドニー	シドニー日本文化センター ギャラリー		2011.09.26 ~ 2011.10.05	荒了寛（天台宗ハワイ開教総長）による仏画展。同氏は、文化教室での日本画、書道等の指導を通して、日本文化及び日本語を紹介、普及している。また、併せて天台宗の「声明」のデモンストレーションを実施
6	日本映画チラシデザイン展	シドニー	シドニー日本文化センター ギャラリー		2011.11.09 ~ 2011.12.09	シドニー日本文化センター主催「日本映画祭」15周年の事業一環として、世界ではあまり例をみない「映画チラシ」に焦点をあてたデザイン展を開催

海外拠点

7	第15回 日本映画祭	シドニー メルボルン	Event Cinema ACMI		2011.11.17 ~ 2011.12.06	第15回日本映画祭を開催し、新旧交えた日本映画109作品を49日間に渡り上映、約20,000名を動員。平成23年度は、同映画祭の15周年にあたり、シドニー及びメルボルンで関連イベントも開催。竹之内豊（俳優）、平山秀幸（映画監督）、松根広隆（撮影監督）、井上剛（映画監督）、京田光広（プロデューサー）の5名を日本から招へい
---	------------	---------------	----------------------	--	-------------------------	--

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
8	ローカルグラント 日豪交流コンサート「Concert for Japan」	Concert for Japan	2011.05.04	オーストラリア国内で開催される文化・芸術分野における日本関連事業・イベントに対して小規模の助成を実施。東日本大震災後の5月4日に、オーストラリアで活躍する和太鼓アンサンブルT a i k O z、尺八演奏家ライリー・リー、澤井琴アンサンブル及びオーストラリア室内オーケストラのメンバーにより、日豪交流コンサート「Concert for Japan」を開催。開催経費の一部を助成
9	ローカルグラント 招へい：大野 慶人	ニューサウスウェールズ州立美術館	2011.05.09 ~ 2011.05.14	オーストラリア国内で開催される文化・芸術分野における日本関連事業・イベントに対して小規模の助成を実施。NSW州立アートギャラリーで、5月12日から8月7日まで開催された「細江英公展Eiko Hosoe: Theatre of Memory」でのオープニング事業に大野慶人を招へい。同氏の渡航費の一部を助成

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	レクチャーシリーズ：Exploring the Kingdom of Characters1 <i>Understanding Anime and Manga character design of the magic kingdom</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.04.13	専門家を招へいし、日本のアニメやマンガ、キャラクターに関する講演会シリーズを一般を対象に開催。巡回展「キャラクター大国ニッポン」がシドニー日本文化センターで開催されるのに併せ、マイケル・ヒルを招へいし、最新のアニメ映像等を用いたキャラクターデザインに関する講演を実施
11	第5回井上靖賞授賞式	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.04.15	オーストラリア及びニュージーランドで発表された日本文学に関する優れた研究を顕彰する「井上靖賞」の受賞式、関連イベントを開催

海外拠点

12	レクチャーシリーズ: Exploring the Kingdom of Characters2 <i>From Empire of Signs to Kingdom of Characters: from kanji to kyara</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.04.27	専門家を招へいし、日本のアニメやマンガ、キャラクターに関する講演会シリーズを一般を対象に開催。巡回展「キャラクター大国ニッポン」がシドニー日本文化センターで開催されるのに併せ、岡山恵美子を招へいし、マンガやアニメにおいて日本語のテキストと絵がいかに融合して効果を生み出すかについて講演
13	レクチャーシリーズ: Exploring the Kingdom of Characters3 <i>Manga: Empathetic media expressing the pain of the individual</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.05.13	専門家を招へいし、日本のアニメやマンガ、キャラクターに関する講演会シリーズを一般を対象に開催。巡回展「キャラクター大国ニッポン」がシドニー日本文化センターで開催されるのに併せ、ミオ・ブライスを招へいし、いじめや虐待等、社会問題を扱うメディアとしてのマンガの役割について講演
14	レクチャーシリーズ: Exploring the Kingdom of Characters4 <i>Cult media pilgrimages to Japan's kingdom of characters</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.05.25	専門家を招へいし、日本のアニメやマンガ、キャラクターに関する講演会シリーズを一般を対象に開催。巡回展「キャラクター大国ニッポン」がシドニー日本文化センターで開催されるのに併せ、クレイグ・ノリスを招へいし、日本のアニメ、マンガに関わりの深いロケーションや同地を巡るツーリズムを取り上げ、ビデオ等も多数用いながら解説
15	レクチャーシリーズ: Living Histories 1 <i>Christina Wilcox and Peter Rushforth</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.08.17	日豪交流の歴史を築いてきた人々を取り上げて解説する講演会シリーズを一般を対象に開催。平成22年度に実施して好評を博したシリーズの第2回として企画。日本の陶芸技術を用いているオーストラリアの陶芸家Peter Rushforth及び、同氏に関するドキュメンタリー映画を制作したChristina Wilcoxを招へいし、映画上映を行った後、インタビューと質疑応答を実施
16	レクチャーシリーズ: Living Histories 2 <i>SAYUKI</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.08.17	日豪交流の歴史を築いてきた人々を取り上げて解説する講演会シリーズを一般を対象に開催。平成22年度に実施して好評を博したシリーズの第2回として企画。花柳界史上初の外国籍の芸者でオーストラリア出身のSAYUKIをゲストに迎え、イアン・マッカーサーによるインタビューを実施
17	レクチャーシリーズ: Living Histories 3 雁屋哲	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.08.31	日豪交流の歴史を築いてきた人々を取り上げて解説する講演会シリーズを一般を対象に開催。平成22年度に実施して好評を博したシリーズの第2回として企画。漫画『美味しんぼ』原作者でシドニー在住の雁屋哲をゲストに迎え、イアン・マッカーサーによるインタビューを実施

海外拠点

18	多和田葉子講演会	メルボルン	メルボルン大学 モナシュ大学		2011.09.01 ~ 2011.09.02	ドイツ在住の芥川賞作家、多和田葉子がメルボルン文学フェスティバルとブリスベン文学フェスティバルに招へいされ訪豪するに際し、メルボルン大学において一般聴衆を対象とした講演会(9月1日)を、モナシュ大学において日本学、ドイツ学、文学、翻訳の教師・学生を対象としたセミナー(9月2日)を開催
19	レクチャーシリーズ: Living Histories 4 <i>Dr Christine de Matos & Kathy Wray</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.09.07	日豪交流の歴史を築いてきた人々を取り上げて解説する講演会シリーズを一般を対象に開催。平成22年度に実施して好評を博したシリーズの第2回として企画。占領期に日本に駐屯したオーストラリア兵士と日本人女性(いわゆる戦争花嫁)の恋愛をつづった書籍『Love Under Occupation』の共著者であるChristine de Matos(ウーロンゴン大学教授)及び、彼らの間に生まれたKathy Wrayをゲストに迎え、イアン・マッカーサーによるインタビューを実施
20	レクチャーシリーズ: Living Histories 5 <i>Walter Hamilton & Alan Stokes</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.09.14	日豪交流の歴史を築いてきた人々を取り上げて解説する講演会シリーズを一般を対象に開催。平成22年度に実施して好評を博したシリーズの第2回として企画。ABCラジオ・テレビの東京特派員を務め、石油危機や阪神大震災、地下鉄サリン事件等の大事件をレポートしたWalter Hamilton, The Australian紙の東京特派員を務めたAlan Stokesをゲストに迎え、イアン・マッカーサーによるインタビューを実施
21	レクチャーシリーズ: Living Histories 6 Paul Glynn神父	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.09.28	日豪交流の歴史を築いてきた人々を取り上げて解説する講演会シリーズを一般を対象に開催。平成22年度に実施して好評を博したシリーズの第2回として企画。日本に20年滞在したカトリック教マリスト会の司祭で、戦後の日豪の和解に尽くしたPaul Glynn神父をゲストに迎え、イアン・マッカーサーによるインタビューを実施
22	レクチャーシリーズ: Glimpses of Japan 1 『School Days』(1970's)	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.11.16	シドニー日本文化センターの所蔵する大洋州フィルムライブラリーの中から、1960年代~70年代頃に当時の日本の文化・社会を伝えるために製作されたドキュメンタリー・フィルムを選出し、上映。併せて、専門家が当時の文化社会情勢や、現在に至るまでの継続・変化につき解説を加える、映画上映とレクチャーのシリーズ。中学生の学校生活や家庭生活、価値観等をつづったドキュメンタリーフィルム『School Days』(1970's)を上映し、その後比較教育学の専門家である池田俊一(オーストラリア国立大学教授)によるレクチャーを実施

海外拠点

23	レクチャーシリーズ：Glimpses of Japan 2 『Understanding the Japanese』 (1970's)	シドニー	シドニー日本文化センター		2011. 11. 28	シドニー日本文化センターの所蔵する大洋州フィルムライブラリーの中から、1960年代～70年代頃に当時の日本の文化・社会を伝えるために製作されたドキュメンタリー・フィルムを選出し、上映。併せて、専門家が当時の文化社会情勢や、現在に至るまでの継続・変化につき解説を加える、映画上映とレクチャーのシリーズ。日本在住の外国人数名による、日本社会や文化等に関するパネルディスカッションを収録したフィルム『Understanding the Japanese』 (1970's) を上映し、その後Hugh Clarke (シドニー大学名誉教授) がレクチャーを実施
24	『New Voices』 第5号の刊行	シドニー			2011. 12. 01	2006年に創刊した若手日本研究者育成のための学術ジャーナル『New Voices』の第5号を刊行。オーストラリア及びニュージーランドの大学において、日本について書かれた優等学士 (Honours)、修士 (Master) の学位論文の中から優れた論文を公募し、オンラインと印刷媒体の両方で刊行
25	レクチャーシリーズ：Glimpses of Japan 3 『Women's Life』 (1975)	シドニー	シドニー日本文化センター		2011. 12. 08	シドニー日本文化センターの所蔵する大洋州フィルムライブラリーの中から、1960年代～70年代頃に当時の日本の文化・社会を伝えるために製作されたドキュメンタリー・フィルムを選出し、上映。併せて、専門家が当時の文化社会情勢や、現在に至るまでの継続・変化につき解説を加える、映画上映とレクチャーのシリーズ。複数の女性の生活をつづったフィルム『Women's Life』 (1975) を上映し、その後、現代日本女性のライフスタイルを専門とするLaura Dales (西オーストラリア大学准教授) によるレクチャーを実施
26	レクチャーシリーズ：Glimpses of Japan 4 『Graying of Japan』 (1981)	シドニー	シドニー日本文化センター		2011. 12. 14	シドニー日本文化センターの所蔵する大洋州フィルムライブラリーの中から、1960年代～70年代頃に当時の日本の文化・社会を伝えるために製作されたドキュメンタリー・フィルムを選出し、上映。併せて、専門家が当時の文化社会情勢や、現在に至るまでの継続・変化につき解説を加える、映画上映とレクチャーのシリーズ。日本の高齢化社会及び高齢者の生活についてつづった『Graying of Japan』 (1981) を上映し、その後日本の高齢化社会やジェンダーを専門とするKatrina Moore (ニューサウスウェールズ大学教授) によるレクチャーを実施

【日本研究・知的交流 (助成)】

	事業名	助成機関名称	期間	事業内容
27	ローカルグラント「Enhancing cultural Understanding via International Study Tours: Learning from the Japanese Experience」	クイーンズランド工科大学	2011. 10. 13 ~ 2011. 12. 13	2011年7月に明治学院大学で行われた国際シンポジウム「Enhancing cultural Understanding via International Study Tours: Learning from the Japanese Experience」の成果をCDにまとめて豪・日・米の教育機関等に配布する事業に対し、CD制作費の一部を助成

海外拠点

28	ローカルグラント「Promotion in Europe of understanding of rakugo and the Australian-born storyteller」	シドニー大学	2011.10.24 ~ 2011.11.09	落語家「快樂亭ブラック」についての研究者、Ian McArthur (シドニー大学日本研究学科名誉研究員) によるフランス (パリ)、ドイツ (ハイデルベルグ、ベルリン)、英国 (シェフィールド) 巡回講演に対し、旅費及び滞在費の一部を助成
29	ローカルグラント「Interactive Strategies for Global Competitiveness: The Japanese Experience」	モナシュ大学メルボルン日本研究センター	2012.03.09	2012年3月9日にモナシュ大学で行われる、日本のグローバル人材育成について検証するセミナーに対し、日本から招へいする講師の国際航空賃及び謝金の一部を助成

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
30	広報・図書館運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、劇映画・アニメDVD、日本語教材を多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 17,070名 (2) レファレンス数 128件 (3) 貸出点数 10,590点</p> <p>2. 情報発信への取組み シドニー日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) メールマガジン配信数 89,900件 (2) ホームページアクセス件数 398,084件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
31	北川フラム講演会	在京オーストラリア大使館 ニューサウスウェールズ州立美術館	2011.05.27	越後妻有アート・トリエンナーレのディレクター北川フラムの講演会を在京オーストラリア大使館、NSW(ニューサウスウェールズ)州立美術館との協力により開催

【その他】

	事業名	都市	場所名	関連機関名称	期間	事業内容
32	ポップカルチャーイベントへの出展	シドニー	Convention Centre	SMASH Inc	2011.07.16	シドニーで開催される日本のポップカルチャーイベント「SMASH!」に参加し、特に若い世代を中心とした来場者に国際交流基金の事業を紹介

海外拠点

33	「アンナ・オネスティによるイタリア三色旗」展	メルボルン	メルボルンイタリア文化会館	メルボルンイタリア文化会館	2011.08.28 ～ 2011.09.30	イタリア統一150周年記念に、イタリア人作家が和紙を使った美術展を開催
34	Emergency Shelter Exhibition 展	シドニー	Customs House	Emergency Shelter Exhibition	2011.09.01 ～ 2011.09.25	シドニー在住の日本人建築家の働きかけにより、日本をはじめとした建築家の「仮設住宅」のアイデアを模型で表す展覧会の実施
35	ポップカルチャーイベントへの出展	シドニー	Convention Centre	Aurora Entertainment Pty Ltd	2011.09.17 ～ 2011.09.18	シドニーで開催される日本のポップカルチャーイベント「ANIMANIA」に参加し、特に若い世代を中心とした来場者に国際交流基金の事業を紹介

海外拠点

トロント日本文化センター

合計額 120,812,373 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関・個人	期間	事業内容
1	伊勢神宮写真展	トロント	トロント日本文化センター	中野 晴生	2011.03.09 ～ 2011.07.29	中野晴生（写真家）及び滋賀県立琵琶湖博物館より作品約50点の無償貸与を受け、写真展を開催。また日本政府観光局（JNTO）トロント事務所の協力により、三重県や日本への観光促進パンフレットを併せて来館者に配布。写真は伊勢和紙にプリントされ、神宮の宮城林の木材で作られた額で展示。写真作品を中心に、神宮司庁の協力によるDVDも常時上映して、伊勢神宮をめぐる自然や文化を総合的に紹介
2	トロント・コミック・アート・フェスティバル（TCAF）作家トークと映画上映	トロント	トロント日本文化センター アンダー・グラウンド・シネマ	トロント・コミックアート・フェスティバル	2011.05.07 ～ 2011.05.09	トロント・コミック・アート・フェスティバル（TCAF）に参加した漫画家、オノナツメと古屋兎丸によるトークショー及びサイン会を開催。更に、古屋兎丸が脚本を担当した映画『Zoo』の上映とトークショーを市内映画館にて実施
3	伊勢神宮写真展開連写真家 中野晴生講演会 1	トロント	トロント日本文化センター	中野 晴生	2011.05.09 ～ 2011.07.11	トロント日本文化センターで2011年2月から開催した伊勢神宮写真展の開催期間中に写真家の中野晴生を招へいし、当センターにおいて講演会を開催
4	からくり人形師・玉屋庄兵衛によるからくり人形デモンストレーション	オタワ	カナダ文明博物館	カナダ文明博物館 在カナダ大使館	2011.05.20 ～ 2011.05.22	カナダ文明博物館が2011年5月～10月に、日本の江戸期から現代にいたる伝統とイノベーションに焦点を当て、大規模日本特別展「日本：伝統とイノベーション」を開催。オープニングに際し、玉屋庄兵衛（からくり人形師）による、ロボットの原型とも言える江戸時代のからくり人形のデモンストレーションを実施
5	からくり人形デモンストレーション	トロント	トロント日本文化センター		2011.05.24	カナダ文明博物館における大規模日本特別展のオープニングに際し、玉屋庄兵衛（からくり人形師）が、ロボットの原型とも言える江戸時代のからくり人形のデモンストレーションを開催。その関連事業として、トロント日本文化センターにて、2回のデモンストレーションを実施
6	トロント市大規模文化紹介イベントへの参加（ドアーズオープントロント）	トロント	トロント日本文化センター		2011.05.28 ～ 2011.05.29	トロント市が主催し、市内の文化施設を市民に無料開放する大規模文化イベント「ドアーズオープントロント」に参加。トロント日本文化センターの図書館と展示を紹介し、当センター事業のPRと新規利用者開拓を実施
7	デービット・ペッパー 和紙レクチャー	トロント	トロント日本文化センター	和紙専門店ジャパニーズペーパープレイス	2011.06.07	ロイヤル・オンタリオ・ミュージアムの元学芸員で、日本美術専門家のデービット・ペッパーを招へいし、作品や資料から和紙の広範な活用例を探る講演会を開催

海外拠点

8	オタワ国際ジャズフェスティバル 梅津和時 KIKI BAND	オタワ	ナショナル・アーツ・センター	オタワ国際ジャズフェスティバル	2011.06.30	オタワ国際ジャズフェスティバルに際して、1970年来ニューヨークを中心に活躍し、日本のファンキー・ジャズバンドとして人気の梅津和時率いるKIKI BANDがコンサートを実施
9	クラシック音楽コンサート (バイオリン・ピアノ)	オタワ	ナショナルギャラリー	在カナダオーストリア大使館 在カナダ大使館	2011.06.30	バイオリニスト・ザイラーまゆみとピアニスト・橋本京子による、クラシック音楽コンサート。在加公館「日本週間」等支援事業
10	ジェン・プレイフォードによる風呂敷デモンストレーション	オタワ	カナダ文明博物館	カナダ文明博物館	2011.07.12 ~ 2011.07.14	風呂敷デザイナーのジェン・プレイフォードをオタワに派遣し、風呂敷の利用方法などについて、カナダ文明博物館でデモンストレーションを実施
11	現代アートデモンストレーション	オタワ	カナダ文明博物館	カナダ文明博物館	2011.07.18 ~ 2011.07.24	日本の現代アーティスト高橋信雅をオタワに派遣し、カナダ文明博物館日本特別展会場で壁画を制作。更に、子供向けワークショップも実施
12	音楽学専門家 (平間充子) による日本の4大古典芸能に関する講演会	オタワ トロント	在カナダ大使館講堂 トロント日本文化センター	在カナダ大使館	2011.07.20 ~ 2011.07.22	音楽学専門家で日本の古典芸能を研究している平間充子による、日本の4大古典芸能 (雅楽、能、歌舞伎、文楽) に関する講演会をオタワ (1日の講演会) 及びトロント (2日間の連続講演会) で開催
13	『高校野球』ドキュメンタリーDVD 上映会・ディスカッション	トロント	トロント日本文化センター		2011.08.25	日本の高校野球及び甲子園 (全国高校野球選手権大会) を題材としたドキュメンタリーDVD『高校野球』を通じて、日本のスポーツ文化を紹介
14	トロント国際映画祭アジア・フィルム・ナイトレセプション	トロント	トロント日本文化センター	韓国映画振興公社 (KOFIC) 公益財団法人ユニジャパン	2011.09.12	トロント国際映画祭は、世界三大映画祭のひとつで、毎年300本を超える映画の上映が行われる北米最大の映画祭である。世界各国の映画祭関係者、配給会社関係者、映画製作者、監督、俳優等がトロントに集まるこの機会に、日本から参加する映画監督、映画関係者を招へい (UNI JAPANと連携)。更に、韓国映画振興公社 (KOFIC) との連携により韓国の映画関係者も招へいし、各国及びカナダの映画産業関係者と日韓の映画関係者との交流及びネットワーク作りの機会を提供
15	水引アート作品展示 (図書館展示)	トロント	トロント日本文化センター図書館	水引千雅流師範「美雅」 円谷 仁美	2011.09.14 ~ 2011.11.07	水引千雅流師範「美雅 (みやび)」 円谷仁美 (つむらやさとみ) による水引アート作品11点を、図書館閲覧室の壁面に展示
16	トロント市大規模文化紹介イベントへの参加 (ニューイ・ブロンシュ)	トロント	トロント日本文化センター		2011.10.01 ~ 2011.10.02	トロント市が開催する全市的な大規模文化イベント「ニューイ・ブロンシュ」に参加し、トロント日本文化センターの図書館と展示の紹介、当センター事業のPR・新規利用者開拓を実施

海外拠点

17	シネマ歌舞伎	トロント バンクーバー	スコシア・バンク・シアター シネプレックス・オデオン・インターナショナル・ビレッジ・シネマ	松竹株式会社 マーティグロス・フィルム・プロダクションズ	2012. 02. 22 ～ 2012. 02. 26	日本の伝統的な総合舞台芸術である歌舞伎を、ハイデフィニション映像・6チャンネル音響システムにより上映するシネマ歌舞伎から、トロントで2月22日に『身替座禅』と『女殺油地獄』、バンクーバーで2月26日に『女殺油地獄』と『鷲娘』を上映
18	石井眞木作品デモンストレーション・講演会	トロント	トロント日本文化センター	エスプリ・オーケストラ	2011. 11. 22	エスプリ・オーケストラにより石井眞木作曲の打楽器協奏曲がトロントで演奏される機会に併せて、ライアン・スコット（打楽器奏者）、アレックス・ポウク（指揮者）、アレクシナ・ロウイ（作曲家）によるデモンストレーションと、石井眞木作曲作品を紹介するトークイベントを開催
19	「3.11肖像写真プロジェクト」写真家小林伸幸トークイベント	トロント	トロント日本文化センター	NPO法人まちあそび内「3.11肖像写真プロジェクト」事務局 資生堂カナダ	2012. 01. 06	「3.11肖像写真展」のオープニングイベントとして、「3.11肖像写真プロジェクト」の代表である、写真家の小林伸幸によるトークイベントを開催
20	3.11肖像写真展	トロント	トロント日本文化センター	NPO法人まちあそび内「3.11肖像写真プロジェクト」事務局 資生堂カナダ	2012. 01. 06 ～ 2012. 01. 27	「3.11肖像写真展」をトロント日本文化センターにて開催。東日本大震災により被災した人々の肖像写真を、プロのカメラマン・ヘアメイク有志がボランティアで撮影、額装して応援メッセージとともに届けるという「3.11肖像写真プロジェクト」の活動を、パネルやNHK番組上映などにより紹介するとともに、その肖像写真約120点を展示
21	MANGA：江戸から現代まで一マンガ・浮世絵・ダンスの夕べ	トロント	トロント日本文化センター	Across Oceans	2012. 01. 16	ダンス・カンパニー「Across Oceans」による日加共同制作ダンス作品「My Heart is Spoon」（国際交流基金パフォーミング・アーツ・ジャパン助成事業）が、1月19日～22日にトロントで公演される機会に併せ、同団体との共催により、ジェフリー・グレイグ（Yamaアニメ・マンガ協会）によるマンガについての講演、キャロル・ドーマン（浮世絵専門家、スチュワード・ジャクソン・ギャラリー）による近世木版画とマンガの発展についての講演、マクシン・ヘップナー（振付家）と瀬川貴子（ダンサー）によるアニメとマンガに影響されたダンスについての講演とダンスデモンストレーションを実施
22	写真展示Gentle Wind（図書館展示）	トロント	トロント日本文化センター図書館	森 陽子	2012. 01. 16 ～ 2012. 02. 24	岡山、広島、瀬戸内海の小島の路地で見かけた日常の風景を撮影した、森陽子による写真作品の展示
23	坂東玉三郎ポスター展	トロント	トロント日本文化センター	松竹株式会社	2012. 02. 01 ～ 2012. 06. 22	在トロントの個人コレクションと松竹株式会社からの提供により、歌舞伎俳優坂東玉三郎のポスターを数十点展示。過去20年以上の間に制作されたポスターを一挙展示し、更に、題材も歌舞伎のみならず、西洋古典演目や三島作品などの現代劇など幅広くコレクションされており、歌舞伎や日本の演劇の多様性と豊かさを紹介

海外拠点

24	切り絵アート展示 「Nikko Kirie」 (図書館展示)	トロント	トロント日本文化 センター図書館	マーク・ユングブ ラット	2012.03.03 ~ 2012.04.14	オンタリオ州ウォーターロー在住の切り絵アーティスト、 マーク・ユングブラットによる、日光東照宮をさまざまな角 度からとらえた切り絵作品7点を図書館閲覧室に展示し、日 本の「切り絵アート」の魅力を紹介
----	--------------------------------------	------	---------------------	-----------------	-------------------------	--

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
25	バンクーバー・キバツ映画祭（文芸現 地助成）	パウウェル・ストリート・フェスティ バル協会	2011.05.27 ~ 2011.05.29	バンクーバーの日本人ストリートとしてかつて栄えたパウ ウェルストリートを再活性化するためのフェスティバル、パ ウウェルストリート・フェスティバルが主催する日本映画祭 に対し、上映料の一部を助成
26	Suoni Per Il Popolo 音楽祭への灰野敬 二の参加（文芸現地助成）	Suoni Per Il Popolo音楽祭事務局	2011.06.08 ~ 2011.06.13	モントリオールで開催されるSuoni Per Il Popolo音楽祭に 招へい参加する、灰野敬二（音楽家）の旅費の一部を助成。 モントリオール及びトロントでコンサートを開催
27	アイヌ・トリングット交流（文芸現地 助成）	ユーコン・アボリジナル・ウィメン ズ・カウンスル	2011.07.26 ~ 2011.07.30	アイヌの音楽グループ「アネサラ シネウブソロ」が、ホワ イトホース、アトリン、バンクーバー（以上ブリティッシュ・ コロンビア州）、テスリン、カークロス（以上ユーコン準 州）を訪れ、コンサートや交流会などを実施する事業に対 し、旅費の一部を助成
28	サン・アンジェ音楽コンサートにおけ る青木早希オルガンコンサート	コンサート・ラシーン	2011.09.25	モントリオール近郊で開催されるサン・アンジェ音楽コン サートに招へい参加する、青木早希（オルガニスト）の旅費 の一部を助成
29	LIVE2011パフォーマンス・アート・ビ エンナーレにおけるクボタノブオ公演	センターA バンクーバー現代アジア アート国際センター	2011.09.19 ~ 2011.09.26	バンクーバーで開催されるLIVE2011パフォーマンス・ア ート・ビエンナーレに招へい参加する、トロント在住のクボ タノブオ（即興音楽家）の旅費の一部を助成
30	第12回モントリオール写真月間におけ る川内倫子作品展示	モントリオール写真月間事務局	2011.09.08 ~ 2011.10.09	第12回モントリオール写真月間において、川内倫子（写真 家）の作品展示が開催されるのに対し、作品輸送費の一部を 助成
31	「スポットライト・ジャパン」日本関 係演劇祭関係者訪日調査（文芸現地助 成）	カナディアン・ステージ・カンパニー	2011.10.06 ~ 2011.10.15	トロントを代表する劇場であるカナディアン・ステージ・カ ンパニーが、2012年に日本をテーマにした舞台芸術祭を実施 するための訪日調査費用の一部を助成
32	嵐太鼓によるコンサートとワーク ショップ（文芸現地助成）	嵐太鼓	2011.11.07	カナダ巡回日本映画祭・フレデリクトン上映に併せて実施さ れる、和太鼓パフォーマンスグループ・嵐太鼓による無料コ ンサートとワークショップに対し、旅費等の一部を助成
33	『Eatrip』上映会（文芸現地助成）	日系ナショナル・ミュージアム&ヘリ テージ・センター	2011.11.08	ドキュメンタリー映画『Eatrip』（野村友里監督）の上映 と、地元の日本料理店提供の和食試食会に対し、上映料の一 部を助成

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
34	日本研究・知的交流セミナー「日加文学者対話事業」	トロント	トロント日本文化センター ヨーク大学 日系文化会館	JCCC Japanese Canadian Culture Centre (JCCC 日系文化会館) ヨーク大学	2011.09.08 ～ 2011.09.14	日本から、川上弘美（作家）、古川日出男（作家）、小澤實（俳人）、柴田元幸（翻訳家・東大文学部教授）の4名を招へいし、カナダの作家2名及び日本文学研究者との対話を行う（当初、カナダ国内、日本等から、研究者を招へいし、セミナーを開催する予定であったが、4名の作家・研究者のカナダ訪問の機会に際し、多角的な知的対話プロジェクトを開催するもの）
35	国立歴史民俗博物館研究員による連続講演会	トロント	トロント日本文化センター	国立歴史民俗博物館	2011.10.05	国立歴史民俗博物館の研究員のカナダ訪問に際し、同博物館と共催で、「江戸時代の女性のキモノ模様と身分・階層」（澤田和人准教授）、「変化朝顔にみる江戸の園芸文化」（岩淵令治准教授）の2件の講演会を実施
36	ケン・コーツ講演会 <i>Digital Japan: Digital Content and the Extension of Japan's Innovation Econ</i>	トロント	トロント日本文化センター		2012.01.20	元国際交流基金フェローのケン・コーツ（現JSAC（日本研究者協会）会長／ウオーターール大学人文学部長／ウェスタンオンタリオ大学教授）による、デジタルコンテンツに関する講演会を実施
37	ブックローンチ『The Reading List』	トロント	トロント日本文化センター	Variety Crossing Press	2012.02.14	日系カナダ人Leslie Shimotakaharaの処女作『The Reading List』の出版記念ブックローンチを開催
38	JETAAスピーカーシリーズ「東北パネルディスカッション」	トロント	トロント日本文化センター	トロントJET Alumni Association (JETAA)	2011.12.02	JETAAとの共催による、東北大震災でのJET参加者のボランティア活動についてのパネルディスカッションを実施。東北大震災及び震災後現地でボランティアを経験した6名のパネリストが震災の様子や復興活動について討論し、更に聴衆との質疑応答を実施
39	グローバルジェネレーションセミナー「グローバルビジネスシーンでの銀行の役割」	トロント	トロント日本文化センター	新企会青年部	2012.01.18	新企会青年部が企画するセミナーシリーズ「グローバルジェネレーションセミナー」シリーズの第2回目。講師は、トロント日本商工会会長／みずほコーポレート銀行トロント支店長の武上和人。銀行の機能や役割、ギリシャの債務問題を含む現在の金融業界の状況、人材育成などについて、グローバルな観点で講演を実施
40	ワード・オン・ザ・ストリートThe Word On The Street (WOTS)	トロント	トロント市クイーンズパーク通り トロント日本文化センター	トロント市	2011.09.25	トロント市が主催するイベント「The Word On The Street : Toronto Book & Magazine Festival」に参加し、会場にトロント日本文化センターのブースを出展すると同時に、当センター図書館を臨時開館

海外拠点

41	巡回展『ストラグリ ング・シテイ ズ』関連連続講演 会	トロント	トロント日本文化 センター		2011. 11. 09 ~ 2011. 11. 30	本部巡回展『ストラグリ ング・シテイ ズ』の開催を機に、 カナダの都市論研究者、建築家、都市計画ジャーナリスト等 4名が、テーマである都市計画に関する連続トークイベント を実施
42	河野さつき講演会 『自然葬：現代日 本における新しい お葬式の試み』	トロント	トロント日本文化 センター	ゲルフ大学	2012. 02. 13	河野さつき（ゲルフ大学社会学・文化人類学部助教授）によ る「Nature's Embrace: Creating a New Mortuary Ceremony in Contemporary Japan」（原文）と題した講演会。ジョ ン・トラファガン博士（米国テキサス州オースティン大学） をディスカッサントとして迎え、質疑応答を実施
43	原喜美恵講演会 『サンフランシ スコ講和条約から60 年：アジア太平洋 地域の諸問題』	トロント	トロント日本文化 センター	ウォータールー大 学	2012. 02. 12 ~ 2012. 02. 29	原喜美恵（ウォータールー大学）による講演会を実施。討論 者として下斗米伸夫（法政大学教授）を迎え、アジア太平洋 地域における領土主権と領土に関する諸問題をサンフランシ スコ講和条約に注目し、解説
44	JFIパネルディス カッション『3. 11 東日本大震災から1 年：わたしたちは何 をすべきか？』	トロント	トロント日本文化 センター	ウォータールー大 学 渋沢栄一記念財団 ジャパン・フュー チャー・イニシア ティブ	2012. 03. 15	3月14・15日開催のJFIジャパン・フューチャー・イニシア ティブ・シンポジウムのフォローアップ、一般公開パネルイ ベントを開催。同シンポジウム参加の日米加の政治経済の研 究者、実務専門家による日本の震災復興とエネルギー問題に ついてのパネルディスカッションと質疑応答を実施
45	筑波大学からの図 書館インターン生 受け入れ	トロント	トロント日本文化 センター	筑波大学	2011. 09. 19 ~ 2011. 10. 01	筑波大学情報学群知識情報・図書館学類に在学中で国際イン ターシップを受講している学生から選出された1名をイン ターン生として図書館で受け入れ、図書館・情報業務を体験 する機会を提供
46	光山清子現代美術 講演会	トロント	トロント日本文化 センター		2012. 03. 14	光山清子（現代美術研究者／キュレーター）による、戦後日 本における現代美術の海外での受容と理解の進展についての 講演会を実施
47	CJS『サバイビン グ・カナダーカナ ダで暮らす・就 職・移民につい て』	トロント	トロント日本文化 センター	カナダ・ジャパ ン・ソサエティ	2011. 04. 08 ~ 2011. 04. 28	トロントの生活、カウンセリング、ビザ・法律、カナダ文化 への適応などの情報について移民に関する専門家3名を招へ いし、トークと質疑応答を実施

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
48	UBCと一橋大学の知的交流事業：模擬 FTA交渉	ブリティッシュコロンビア大学	2011. 08. 15 ~ 2011. 08. 26	ブリティッシュコロンビア大学（UBC）の「カナダ・日本貿易 コース」の大学院生が訪日し、自由貿易協定（FTA）に関する 関係機関、研究者などとの対話、一橋大学との模擬FTA交渉 などを通じた知的対話、外務省及び経産省の代表者との面 会、国会訪問などを実施

海外拠点

49	ジャパン・フューチャー・イニシアティブ (JFI) 支援	JFIジャパン・フューチャー・イニシアティブ	2011. 12. 05	在カナダ大使館にて開催されるJFIシンポジウムに際し、Lee Seung Hyokが東京を訪問。JFIの事業開発及びネットワーキングの機会を模索し、将来、JFI事業に対して、支援・参加の可能性がある関係者と面談。シンポジウム参加者の参加旅費を助成
50	APFラウンドテーブルディスカッション「アジア太平洋地域におけるイノベーションの興隆」	アジア太平洋財団	2012. 03. 27	アジア太平洋財団がトロント大学を会場にして行うパネル討論を支援。世界のイノベーションの中心になりつつあるIT、バイオ、医薬品等先端技術・産業分野において、アジアの発展がカナダに与える影響や同機会を生かせる政策、ビジネス・ストラテジー等、カナダが貢献できることを模索
51	ブリティッシュコロンビア大学「再考、再話、復興」イベント	ブリティッシュコロンビア大学	2012. 02. 20 ~ 2012. 04. 30	ブリティッシュ・コロンビア大学図書館が実施した3.11東日本大震災1周年に際する「2011日本大震災 再考、再話、そして復興 disasters in Japan. Retell, Rethink, Recover」と題した展覧会とコンフェレンス (2012. 03. 10) を支援
52	モントリオール美術館学芸員訪日	モントリオール美術館	2012. 02. 18 ~ 2012. 02. 26	モントリオール美術館において、江戸時代の芸術品を展示する日本ギャラリーの新設に際して、同美術館学芸員のローラ・ビゴの訪日研究に対し支援

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
53	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、劇映画・アニメDVD、日本語教材を多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 29,511名 (2) レファレンス数 1,836件 (3) 貸出点数 30,162点</p> <p>2. 情報発信への取組み トロント日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) メールマガジン配信数 337,500件 (2) ホームページアクセス件数 120,901件</p>

海外拠点

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
54	パネルディスカッション「クライシス・イン・ジャパン：東北大震災後の展望」	主催／会場 トロント大学	2011. 05. 05	東北大震災後の日本の社会情勢を考えるパネルディスカッション。トロント大学及びヨーク大学の様々な分野の専門家をパネリストに迎え、3月11日に何が起こったのか、復興の可能性と問題点について等を検証。その後、質疑応答を実施。イベントは一般公開され、トロント日本文化センターは広報活動を支援
55	リアルアジア映画祭・プレスローンチ	主催／リアルアジアフィルムフェスティバル事務局 会場／トロント日本文化センター	2011. 10. 11	トロント日本文化センターイベントホールにて、カナダの映画関係者や、アジアコミュニティの有力者を招へいし、リアルアジア映画祭のプレスローンチを開催。会場を提供
56	天皇誕生日レセプションでの広報活動	会場／トロント日系文化会館	2011. 12. 06	在トロント総領事館主催の天皇誕生日祝賀レセプションにてブースを出展し、トロント日本文化センターの広報活動を実施
57	グローバルジェネレーションセミナー「グローバルビジネスシーンでの銀行の役割」	主催／新企会青年部 会場／トロント日本文化センター	2012. 01. 18	グローバルな視点でとらえたビジネス講演会において、会場を提供

【その他】

	事業名	都市	場所名	関連機関名称	期間	事業内容
58	図書館ブックリーディングプロジェクト	トロント	トロント日本文化センター	ロイヤルオンタリオ博物館 ガーディナー陶器博物館 アートギャラリーオブオンタリオ	2011. 06. 20 ～ 2011. 09. 09	図書館の貸し出し促進のためのブックリーディングプロジェクトとして、5冊以上の本を借りた利用者に、5冊ごとに抽選券を1枚配布し、期間終了後に抽選会を行い、当選者に賞品を授与

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本現代文学紹介事業 WORD FROM ASIA: Contemporary Writing from Japan	ニューヨーク	Asia Society	Asia Society	2011.04.30	日米作家の交流・対話会をAsia Societyと共催。日本からは、作家の川上弘美、俳人の小澤實、翻訳者の柴田元幸が参加。米国からは、小説家のRebecca Brown、詩人のJoshua Beckmanが参加
2	中西部大学巡回日本映画上映	アイオワ・シティ イサカ セント・ルイス マンシー ミドルタウン ミドルベリー	アイオワ大学（アイオワ州） コーネル大学（ニューヨーク州） ワシントン大学（ミズーリ州） ボールステート大学（インディアナ州） ウェスリアン大学（コネチカット州） ミドルベリーカレッジ（バーモント州）	アイオワ大学 コーネル大学 ワシントン大学 ボールステート大学 ウェスリアン大学 ミドルベリーカレッジ	2011.09.14 ～ 2011.11.16	隔年で、南部及び中西部の大学と共催で、日頃、日本映画を見る機会の少ない地方の大学生・一般市民を対象に、日本映画の特集上映会を実施。今年度は、「Young Starlets of Japanese Cinema」と題し、20代の女性俳優に焦点を当て、2000年以降に公開された映画を米国中西部3大学と北東部3大学にて上映。上映作品は、宮崎あおい主演『害虫』、深田恭子主演『下妻物語』、蒼井優主演『百万円と苦虫女』及び麻生久美子主演『夕風の街 桜の国』
3	在米日本文化専門家中南米派遣事業（キューバ）	ハバナ	サン・フランシスコ・デ・アシス教会 高等芸術学院ISA 国立劇場	在キューバ大使館	2011.09.19 ～ 2011.09.26	在キューバ大使館の要請に基づき、ボストン交響楽団オーボエ奏者の若尾圭介をキューバに派遣。キューバ国立交響楽団、ソリストス・デ・ラ・ハバナと共演のほか、高等芸術学院ISAにてワークショップを実施
4	在米日本文化専門家中南米派遣事業（ジャマイカ、ボリビア、ペルー）	キングストン ラパス リマ	各国国立劇場等	ペルー日系人協会 在ジャマイカ大使館 在ペルー大使館	2011.10.21 ～ 2011.11.05	山田流木村伶香能と金子純恵による、邦楽（箏・三味線・唄）コンサート3回及びワークショップ6回を各国劇場や学校施設等で実施

海外拠点

				在ボリビア大使館		
5	在米日本文化専門 家中南米派遣事業 (ブラジル)	ブラジリア レシフェ	ユニベルサ財団劇 場 ペルナンブコ音楽 院 第15回日本市野外 ステージ (レシ フェ)	在ブラジル大使館 在レシフェ出張駐 在館事務所	2011. 11. 21 ~ 2011. 11. 28	沢井流石樽雅代、太宰満木、尺八のマルコ・リーンハートに よる、邦楽(箏・三味線・尺八) コンサートを劇場、音楽 院、第15回日本市野外ステージにて実施
6	在米日本文化専門 家中南米派遣事業 (エルサルバド ル・ベリーズ)	ベリーズシティ サンサルバドル サンタアナ ベルモパン	ブリスセンター ステラマリス養護 学校 国立プレジデンテ 劇場 国立サンタアナ劇 場 ジョージプライス センター	在エルサルバドル 大使館 在ジャマイカ大使 館	2012. 02. 12 ~ 2012. 02. 21	在エルサルバドル大使館、在ジャマイカ大使館の要請に基づ き、邦楽グループ(ケニー遠藤と息子マイルズ遠藤の和太鼓 デュオ)を派遣、公演のほかミニコンサートやワーク ショップを実施
7	桜100周年記念事業 及び邦楽ショー ケースフォロー アップ事業(舞台 芸術公演)	ニューヨーク ボストン	アジア・ソサエ ティー メトロポリタン美 術館 MIT(マサチュー セッツ工科大学)	アジア・ソサエ ティー ジュリアード音学 院 マサチューセツ 工科大学 メトロポリタン美 術館	2012. 02. 22 ~ 2012. 03. 02	桜100周年記念及び邦楽ショーケースフォローアップとして 昨年度ショーケースに参加した琵琶奏者・櫻井亜木子を中心 に、米国内の複数都市において舞台芸術公演を共催。日本か ら舞踏家の向雲太郎、薩摩琵琶奏者の櫻井亜木子、サズ奏者 の大平清を招へいし、舞踏・演奏・語りによる舞台『耳なし 芳一』公演をアジア・ソサエティー及びマサチューセッツ工 科大学にて実施。ジュリアード音楽院では各アーティストに よるワークショップを実施。また、メトロポリタン美術館で は屏風絵の特集展示に併せSunday at the Metシリーズ内 にて、櫻井亜木子が『平家物語』から那須与一の段を披露

【文化芸術交流(助成)】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
8	日本の大女優シリーズ	フィルムフォーラム	2011. 04. 01 ~ 2011. 04. 21	JapanNYCフェスティバル(小澤征爾が芸術監督を務める日本 芸術祭)の一環として、『5 Japanese Diva』と題した日本 映画黄金期を代表する女優5名の出演作23点を3週間に渡り上 映。上映作品は、『西鶴一代女』(田中絹代主演)『浮き 雲』(高峰秀子主演)『白痴』(原節子主演)など。フィル ム輸送に対し助成
9	ヒューストンジャパンフェスティバル 2011	ヒューストン日米協会	2011. 04. 09 ~ 2011. 04. 10	第18回目となるヒューストンジャパンフェスティバルにおい て、津軽三味線の小山×新田デュオの公演を実施。開催費用 の一部(演奏家への謝金、交通費及び宿泊費の一部)を助成

海外拠点

10	Wave Upon Wave	インターナショナルハウス・フィラデルフィア	2011.04.14 ~ 2011.04.17	笙の佐藤尚美と琴の菊地奈緒子を迎え、三日間に渡ってフィラデルフィアでジーン・コールマン率いるEnsemble N_JPとのコラボレーション公演を実施。演奏家の渡航費の一部を助成
11	日本映画祭	ニューヨーク市立大学 シティ・カレッジ	2011.04.28 ~ 2011.05.05	シティ・カレッジ校図書館にて『ビルマの堅琴』『大阪ストーリー』など4作品の日本映画上映、及び、日本研究者による上映後のディスカッションを実施。フィルム輸送費を助成
12	村松卓矢とピロポラス：コラボレーション	アメリカン・ダンス・フェスティバル	2011.06.30 ~ 2011.07.02	ダンスカンパニーのピロポラスと村松卓矢（大駱駝鑑所属）のコラボレーションによる新作『Korokoro』をアメリカン・ダンス・フェスティバルで公演。村松卓矢の渡航費及び広報費を一部助成
13	ニューヨーク・アジア映画祭2011	ニューヨーク・アジア映画祭	2011.07.01 ~ 2011.07.14	10回目となるニューヨーク・アジア映画祭において、『忍たま乱太郎』『世界最後の日々』を世界初上映。山田孝之（俳優）、石橋義正（監督）、山中アラタ（俳優）、坂口拓（俳優/監督）、山口雄大（監督）も映画祭に参加。フィルム輸送費を助成
14	リフレクション：蟬の夏	シカゴ・モダン・オーケストラ	2011.08.13 ~ 2011.08.20	在米日本人ダンサー橋本真奈とシカゴ在住アーティストによるダンスと音楽のコラボレーション、ワークショップ及びトークセッションを実施。専門家の旅費及び謝金を助成
15	マイナー・ミュージックス	イシュウ・プロジェクト・ルーム	2011.09.16 ~ 2011.09.17	即興音楽家の杉本拓、宇波拓、川口貴大とドイツ人ギター奏者Annette Krebs、オーストリア人トロンボーン奏者Radau Malfattiのコラボレーションによる演奏を、『マイナー・ミュージック』と題した実験音楽発表の機会と文化交流を目的としたシリーズにて披露。演奏家の謝金を助成
16	5×8 日本の新しい陶芸	クレイ・スタジオ	2011.09.23 ~ 2011.10.30	フィラデルフィアで、日本人陶芸家8名の展覧会を開催。併せて、出展者の一人、小枝真人の1か月間のレジデンシー及びワークショップも行われ、キュレーターの真木まき子がレクチャーを実施。印刷費を助成
17	辻井伸行リサイタル	アーツ・サン・アントニオ	2011.10.13	2009年ヴァン・クライバーンコンクールで優勝した辻井伸行のソロリサイタル及びトークセッションを実施。演奏家の謝金を助成
18	伊藤さちよ30周年記念コンサート	伊藤さちよ舞踊団	2011.10.23	1972年以来、全米各地で日本舞踊や沖縄舞踊の公演と創作活動を続けている伊藤さちよの30周年記念コンサートを実施。広報費を助成
19	禅の書・原田正道によるデモンストレーション	森上美術館・日本庭園	2011.10.23 ~ 2011.10.25	フロリダ州森上美術館で禅の書・画・陶器の展覧会を開催。岡山県曹源寺住職の原田正道による書道のレクチャーとデモンストレーションを実施。専門家の旅費を助成
20	プリンティング・ショー	アパチャー・ギャラリー	2011.11.04 ~ 2011.11.05	近年アメリカで注目を浴びている戦後日本美術時代の著名写真家、森山大道が、1974年にシミズ画廊で行った「プリンティング・ショー」を再演。専門家の旅費を助成

海外拠点

21	日本文学と映画における高齢化に関する会議	タフツ大学	2011. 11. 04 ~ 2011. 11. 06	タフツ大学が大江健三郎を招へい。日本の高齢化が文学や映画においてどのような捉えられ方をしているかについてパネル議論を実施した他、教授や学生との昼食会やQ&Aセッションに参加。専門家の旅費を助成
22	俵有作展	インディアナポリス美術館	2011. 11. 11 ~ 2012. 06. 10	インディアナポリス美術館において、2004年に没した俵有作の中西部での個展を開催。カタログ制作費を助成
23	市藤会50周年記念公演	市藤会	2011. 12. 14	長年ニューヨークで日本舞踊の普及に尽力してきた宗家藤間流市藤会の50周年祝賀舞踊会を実施。プログラム制作・印刷費を助成
24	英語で狂言	ノース・ダコタ大学	2012. 01. 05 ~ 2012. 03. 04	女性狂言師十世三宅藤九郎を招へい。ノース・ダコタ大学の演劇部の学生と狂言プロダクション制作を実施。その他レジデンシー期間中、狂言の演技法、衣装、舞台装置に関する指導や、地元の高校生を対象にしたワークショップを実施。専門家の旅費と謝金の一部を助成
25	全米桜寄贈100周年記念事業（小規模現地文化事業支援）	ウエストフロリダ大学 ジョージア州メーコンさくら祭 ピッツバーグ・サクラ・プロジェクト等	2012. 02. 01 ~ 2012. 03. 31	全米桜寄贈100周年にちなみ、米国内の各種文化団体が実施する日本文化紹介・日本理解促進事業に1件5000ドルを上限に資金支援を実施。対象は、公演、展示、映画上映、及び講演会やレクチャー・デモンストレーション等。実施助成数8件
26	『太平洋序曲』公演	ブラックバードシアター	2012. 02. 02 ~ 2012. 02. 18	テネシー州ナッシュビルの劇団がソンドハイムの『太平洋序曲』を桜100周年ナッシュビル桜祭の一部として上演。その他、一般観客への作品のテーマに関する教育プログラムや、俳優に対する日本演劇スタイルのレクチャーを実施。出演者謝金を助成
27	『トキオ・コンフィデンシャル』公演	The Field	2012. 02. 05 ~ 2012. 02. 19	19世紀末の日本を舞台にした、能と浮世絵に強く影響された作品の公演を実施。広報印刷費を助成
28	Mu太鼓コンサート	Theatre Mu	2012. 02. 10 ~ 2012. 03. 03	ミネソタ州のアジア系アメリカ人によるパフォーマンスアーツ団体Theatre Muの結成15周年記念公演。日本から鼓童のメイン奏者である藤本吉利と鼓童から派生したユニット花結も参加。専門家の旅費を助成
29	ミュージック・フロム・ジャパン・フェスティバル2012	ストロング・ジョン・トムソン公立小学校 スミソニアン美術館 マーキン・コンサートホール	2012. 02. 14 ~ 2012. 02. 24	1975年より雅楽や日本の現代音楽普及に努めているミュージック・フロム・ジャパンの第37シーズンの幕開けを飾る4公演をニューヨークとワシントンDCで実施。広報印刷費を助成
30	矢野颯子コンサート	ヒューストン美術館	2012. 02. 15 ~ 2012. 02. 17	ヒューストン美術館ジャパンギャラリーのオープニングを祝してのイベントに矢野颯子を招へい、公演を実施。広報印刷費を助成
31	吉田穂高展と吉田亜世美レクチャー	セント・オラフ・カレッジ美術館	2012. 02. 17 ~ 2012. 04. 01	ミネソタ州においてアーティスト吉田穂高の個展に合わせ、娘で同じくアーティスト/デザイナーの吉田亜世美が一般向けの講演と実技講座を開催。専門家の謝金を助成

海外拠点

32	アート・オブ・ガマン	ユダヤ人歴史博物館	2012.02.19 ~ 2012.05.31	アトランタのユダヤ人歴史博物館にて、アート・オブ・ガマン展を開催。1942年～1946年の間に、日本人キャンプに収容されていた人々による芸術作品を紹介、レクチャーやフィルム上映なども併せて実施。広報費を助成
33	能の音楽の夕べ	シアター・能楽	2012.03.19	バージニア州Hampden-Sydney Collegeにおいて、米国における能普及第一人者リチャード・エマートによる、能の音楽のワークショップ、レクチャー・デモンストレーション、及びパフォーマンスを学生向けに実施。専門家の旅費を助成
34	ケニー遠藤・桜100周年ツアー	ワシントンDC桜祭り	2012.03.29 ~ 2012.04.12	太鼓奏者ケニー遠藤と笛・琴・三味線のアンサンブルによる桜寄贈100周年にちなんだ演奏ツアー。ワシントンDCで公演の他、ボストン、ニューヨーク市、ストーニーブルック、ワシントンDCでワークショップも実施。専門家の旅費を助成

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	関連機関	期間	事業内容
35	全米アジア学会	トロント	シェラトン・センター・トロント・ホテル		2012.03.15 ~ 2012.03.18	全米アジア学会において、日本研究者・日本語教育関係者・国際交流基金関係者を対象にしたレセプションを開催するとともに、東日本大震災後1周年を悼悼して『Light Up Nippon』のフィルム上映を実施

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
36	日本研究小規模助成	イリノイ大学	2011.09.01 ~ 2012.04.30	イリノイ大学が、日本の社会、歴史、経済、文化、音楽、宗教等の幅広い分野及びトピックについて、全米から日本研究者や専門家を講師として招へいし、計8回の一般公開を連続して実施。講師の旅費を助成
37	日本研究小規模助成	ハワイ大学	2011.12.17 ~ 2012.01.31	ハワイ大学沖縄研究センターが、米国における沖縄研究の発展を目的に、沖縄県教育委員会による『概説：沖縄の歴史と社会』の英訳版を作成し、大学の講義で活用することを目的とした事業。翻訳編集費を助成
38	日本研究小規模助成	テキサス大学オースティン校	2012.02.17	テキサス大学オースティン校が、東アジア近現代史の複層的側面に焦点を当て、日本の植民地時代韓国（1910年～1945年）の日系・韓国系キリスト教の展開をテーマにしたシンポジウムを、松谷基和（早稲田大学教授）他を招へいして実施。講師の旅費、謝金等を助成
39	日本研究小規模助成	アイオワ大学	2012.03.31 ~ 2012.04.14	アイオワ大学が、グローバルな文脈における日本のサイエンス・フィクション映画をテーマにした国際シンポジウムを3日間に渡り開催。日本の映画メディア研究で知られるトーマス・ラマール（マギル大学教授）他による基調講演、パネル、押井守監督作品『攻殻機動隊』の上映会を実施。講師の旅費や謝金等を助成

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
40	広報活動	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	1. 情報発信への取組み 米国向けに国際交流基金及びニューヨーク日本文化センターの活動を紹介するため、ウェブサイトの運営とメールマガジンの発行を実施 (1) メールマガジン 配信数 57,920件 (2) ホームページアクセス件数 68,150件

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関	期間	事業内容
41	日本のポップ・カルチャー紹介事業	ニューヨーク・コミック・コンベンション	2011. 10. 13 ~ 2011. 10. 16	ニューヨークで開催されるニューヨークアニメフェスティバルに日本から、伊藤博之 (クリプトン・フューチャーメディア株式会社代表取締役)、福岡俊弘 (週刊アスキー総編集長)、まさたかP (ビデオクリエイター) を招へいし、初音ミクに関するパネルディスカッションを開催

海外拠点

ロサンゼルス日本文化センター

合計額 113,341,763 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	Jポップ・サミット・フェスティバル2011	サンフランシスコ	サンフランシスコ日本町	在サンフランシスコ総領事館	2011.08.27 ~ 2011.08.28	サンフランシスコ最大のJ-POPカルチャーの祭典に主要スポンサーとして参加し、ブースを設置。ロサンゼルス日本文化センター所蔵品の鎧兜2セットを準備し、展示用と、来場者の試着用に分けて展示。併せて、職員が来場者の名前を日本語で書くサービスや日本文化・日本語学習への関心や理解を促す資料配布なども実施。更に、山口碧生による書道パフォーマンス（大書の揮毫）も実演。在サンフランシスコ総領事館、日本政府観光局(JNTO)、日本貿易振興機構(JETRO)と協力体制を取り、広報活動も実施
2	ARIGATO: 震災支援感謝の集い	ロサンゼルス	日米文化会館(ガーデンルーム、ノグチプラザ)	在ロサンゼルス総領事館	2011.09.07	東日本大震災発生から6カ月経た時期をひとつの区切りとして、日本での救援活動の様子や復興状況を伝え、また地酒や日本の食品の提供、日本人音楽アーティストの公演を通し、あらためて日本の文化に触れる機会を提供
3	日本の「道（どう）」に関する文化交流事業	レドンドビーチ	レドンドビーチ・パフォーマンス・アーツ・センター(ロサンゼルス郡)	全米武道委員会	2011.11.05	日本文化「道」の精神を紹介する文化事業。世界の武道を紹介するパフォーマンス、「日本の武道」の文化理念についてのパネルディスカッション、及び茶道・華道・書道の文化展示の3つの要素で展開

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
4	文化芸術ミニグラント	カリフォルニア大学ロサンゼルス校テラサキ日本研究センター オレゴン州立大学外国語文学部 南カリフォルニア大学日本宗教文化センター 南加日米協会 南加日系商工会議所基金 日米文化会館 全米日系人博物館 ハワイ日本文化センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	地域・草の根レベルでの日米交流・相互理解を促進するため、ロッキー山脈より西13州で開催される質の高い日本文化紹介事業に対する助成。本年度は18件実施

海外拠点

		アメリカン・フィルム・インスティテュート 等		
5	「花びらの舞」	UCLA日系学生協会	2011. 05. 07	UCLA日系学生協会の日本舞踊クラブが行う年次リサイタル（日本舞踊）の開催経費を一部助成。UCLAの学生やコミュニティ向けの文化イベントで、地元の日系日本舞踊団体の協力を得て開催する
6	『風』	日韓協会	2011. 07. 29 ～ 2011. 08. 11	日本から日光江戸村等で活躍している劇団LOSTKIDSを招へいし、殺陣の基本を用いた時代劇デモンストレーション公演『風』を実施。ロサンゼルス日本文化センターは、開催経費の一部を助成
7	「京の会」	米国歌舞伎研究会	2011. 09. 18	日本から坂東八大（ばんどうやひろ）、藤間豊広（ふじまよひろ）を迎えて第5回「京の会」公演を行い、歌舞伎を紹介。「京の会」は公演名称で、歌舞伎の本公演ではなく、歌舞伎役者による演舞の披露。米国で日本舞踊を学ぶ学生に、日本から来た歌舞伎役者の演舞を鑑賞できる貴重な機会を提供
8	日本凧ワークショップ	南加日米協会	2011. 10. 06 ～ 2011. 10. 14	2001年より実施されているカイト・ワークショップ。土岐幹男（日本凧職人）を日本から招へいし、ロサンゼルス市内の小学校にて年間600～1000人の子供たちを対象に和凧作りを指導。ロサンゼルス日本文化センターは、開催経費の一部を助成
9	日米カイトフェスティバル	南加日米協会	2011. 10. 09	毎年シールビーチで行われるカイトフェスティバルの開催経費を一部助成。日米カイトフェスティバルとして開催されるようになり、2011年は15回目
10	漫画ポスターコンテスト	南加日米協会	2011. 11. 01 ～ 2012. 04. 31	桜寄贈100周年告知用マンガポスターのデザインを公募するコンテストにおいて、実施経費の一部を助成
11	インターナショナル・フィルム・フェスティバル	オレゴン州立大学 外国語文学部	2011. 11. 07 ～ 2011. 11. 11	オレゴン州立大学の外国語文学部で学べる各言語の映画作品を上映し、学生の文化理解の促進及び地元コミュニティへの文化紹介を行う国際映画祭。対象国は、フランス、ドイツ、スペイン、中国、日本の5カ国。ロサンゼルス日本文化センターは、開催経費の一部を助成
12	AFIフェスト2011	アメリカン・フィルム・インスティテュート (AFI)	2011. 11. 08 ～ 2011. 11. 09	アメリカン・フィルム・インスティテュート主催の映画祭において日本関連映画上映の経費を助成
13	『鶴の恩返し』	ボルダー・カウンティ・アート・アライアンス	2011. 12. 03 ～ 2012. 01. 21	地域コミュニティの子供達向けの人形劇公演。今回は『鶴の恩返し』をテーマに文楽・能・歌舞伎の手法を利用し、人形劇として再現する舞台公演を実施。開催経費の一部を助成
14	お正月・イン・リトル東京	南加日系商工会議所基金	2012. 01. 01	リトル東京にて日本の伝統的な新年の雰囲気再現するイベント。ロサンゼルス市警ヘリコプターの祝賀飛行、鏡開き、獅子舞、餅つき、書初め、着物ショー、折り紙体験、日本食屋台が立ち並び、ステージでは空手演舞や太鼓演奏を実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成

海外拠点

15	新年オハナ祭り	ハワイジャパニーズカルチュラルセンター	2012. 01. 08	1993年以来ハワイ日系コミュニティの象徴的な正月イベントである「新年オハナ祭り」。日本やハワイのハンドクラフトやフードブース、着物の着付けなど、数多くの企画が催される。ロサンゼルス日本文化センターは、開催経費の一部を助成
16	事始「初風」	日米文化会館	2012. 01. 08	リトル東京で行うコミュニティーのための新年行事。本年度のテーマは「初風」。日本舞踊や弓を使ったパフォーマンスに加え、長唄（杵屋）、音楽学校のコルバーンスクールのモダンダンス、韓国系ダンス学校の韓国舞踊の公演等が実施された。ロサンゼルス日本文化センターは、開催経費の一部を助成
17	茶会：精神・美・儀式の体現	サンタクラリータバレーシニアセンター	2012. 01. 18	サンタクラリータの介護老人施設にてお茶会、レクチャー、質疑応答を実施。開催経費を一部助成
18	ワイメア桜祭り太鼓2012	タイコ・アーツ・センター	2012. 02. 04	ワイメア桜祭りで桜寄贈100周年を祝って開催される、ケニー遠藤率いるTaiko Center of the Pacific (TCP：太鼓学校)の太鼓パフォーマンスとワークショップイベントの開催経費を一部助成
19	シーズンコンサート1：エキゾチックバロック	サンタクルーズ・バロック・フェスティバル	2012. 02. 11	西洋と東洋の音楽コラボレーション公演。カリフォルニア琴アンサンブルが「四季(ビバルディ)」を演奏し、音楽の融合芸術を探求。開催経費の一部を助成
20	桂歌蔵の英語落語	カリフォルニア大学ロサンゼルス校テラサキ日本文化センター 羅府睦会	2012. 02. 17	桂歌丸の弟子、桂歌蔵による英語落語の開催経費を一部助成
21	もの派アーティストの声：1970年代現代アート	南カリフォルニア大学日本宗教文化センター	2012. 02. 24	南カリフォルニア大学が実施するBlum & Poe Art Galleryの <i>Requiem for the Sun: The Art of Monoha</i> 展とのコラボレーション企画のディスカッションイベントの開催経費の一部を助成
22	アリゾナ祭り―桜寄贈100周年記念プロモーション	アリゾナ祭り実行委員会	2012. 02. 25 ~ 2012. 02. 26	27年間、毎年開催されている日本の祭りイベント。本年は桜寄贈100周年にちなみ、「桜」をテーマにして、会場のデコレーションや広報物のデザインをすべて桜で統一。オープニングセレモニーにはフェニックス市長、ロサンゼルス総領事、在アメリカ合衆国大使も招へいし、桜寄贈100周年をプロモート。更に、パレードには姉妹都市の姫路市から踊りのグループを招へいし、桜をテーマに舞踊と和太鼓演奏を披露
23	ピアノの旅：ゲーム音楽のピアノ曲	オキシデンタル・カレッジ	2012. 03. 03	日本文化がどのように日本の近現代の音楽に影響を与えたかをテーマとしたイベント。滝廉太郎から植松伸夫のゲーム音楽まで、幅広い時代を考察。上野淳子ギャレット（カワイアーティスト）を招へい。同事業の実施経費の一部を助成。

海外拠点

24	東日本大震災巡回展	カリフォルニア大学ロサンゼルス校テラサキ日本文化センター	2012.03.04 ~ 2012.04.15	東日本大震災の状況を伝えるために急遽企画された写真展において、河北新報から提供された68点の東日本大震災写真、被災者のインタビュー映像やコメントを展示。災害そのものを表現するのではなく、被災者の協力し合って生きる姿に焦点を当て、未来に向かうポジティブな展覧会として開催。同事業の実施経費を一部助成
25	フォルディングペーパー：折り紙の無限の可能性	全米日系人博物館	2012.03.10 ~ 2012.08.26	日本の折り紙文化を中心に紙を使用した世界のアート展を開催するにあたり、経費の一部を助成
26	第37回シアトル桜祭り・日本文化祭：祝米国百年桜—地球温存世界平和のシンボル—	シアトル桜祭り・日本文化祭実行委員会	2012.04.13 ~ 2012.04.15	日本文化祭イベント「シアトル桜祭り」における山崎直子(宇宙飛行士)講演会の開催経費を一部助成
27	桜コンサート	日本語学園協同システム	2012.03.24	日本から招へいた邦楽演奏家と地元演奏家によるコンサート。日米のアーティストが共演し、日本古来の楽器とバイリンガルの歌詞を用いた音楽により、子供たちに日本文化を紹介。演奏はジョージ・カメダ(和太鼓)とアサモト・タカシ(篠笛)、ボーカルは縁ブラック。同事業の開催経費の一部を助成
28	春の茶会と着物ファッションショー	ウェナチバレー美術館	2012.03.31	裏千家シアトル支部から専門家2名を招へいし、春の茶会と着物ファッションショーを開催するにあたり、経費の一部を助成

(3) その他の事業(広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
29	広報・図書館運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 426名 (2) レファレンス数 183件 (3) 貸出点数 1,325点</p> <p>2. 情報発信への取組み ロサンゼルス日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) ニュースレター発行部数 7,690部(英語) (2) メールマガジン配信数 16,536件 (3) ホームページアクセス件数 180,724件</p>

海外拠点

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
30	アニメエキスポ2011	在ロサンゼルス総領事館 日本貿易振興機構（JETRO） ロサンゼルス事務所 日本政府観光局（JNTO） ロサンゼルス事務所	2011.07.01 ～ 2011.07.04	2011年で20回目を迎える「アニメ・エキスポ」において、在ロサンゼルス総領事館等と共同でブースを出展。来場者に対し日本語や伝統日本文化に触れる機会を提供するとともに、観光や産業情報等各種情報提供を実施

海外拠点

メキシコ日本文化センター

合計額 28,145,554 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本映画上映「大島渚監督特集」	メキシコ	メキシコ国立シネマテーク	メキシコ国立シネマテーク	2011.05.10 ～ 2011.06.15	国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵作品を中心とした、大島渚映画作品の特集上映。東日本大震災発生の当日に開幕したが、3日間上映したところで中止としていたものの再実施。メキシコ国立シネマテークとの共催事業
2	メキシコ市友好文化フェアへの参加	メキシコ	レフォルマ大通り路上	メキシコ市	2011.05.14 ～ 2011.05.29	メキシコ市政府が各国大使館や文化交流機関に呼びかけて実施される国際フェアへのテント出展。世界62カ国が参加。メキシコ市長の呼びかけにより、「SOS日本」と名付けられた特設テントも設けられ、義援金募金が行われた。国際交流基金メキシコ日本文化センターは、折り紙、書道、ふるしきラッピング、墨絵などのワークショップを実施
3	和太鼓公演(ベラクルス日本文化週間)	ベラクルス	ベラクルス芸術文化院	ベラクルス芸術文化院	2011.07.18	ベラクルス州にて実施される日本文化週間の開会式典の一環として、和太鼓公演を実施。小林なほこほかを招へい
4	日本映画上映 篠田正浩監督作品特集	メキシコ	メキシコ国立シネマテーク	メキシコ国立シネマテーク	2011.09.13 ～ 2011.09.25	国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵作品を中心とした、篠田正浩映画作品の特集上映。メキシコ国立シネマテークとの共催事業
5	日本「食」レクチャー・デモンストレーション	サン・ペドロ・スラ テグシガルパ	アラブ文化センター インターコンチネンタル・ホテル	在ホンジュラス大使館	2011.11.04 ～ 2011.11.09	日本の食文化に関するレクチャーとデモンストレーション。「すし」をテーマにしたメキシコ在住日本人専門家による講演・実演と試食。寿司の起源、日本での発展とその多様性の紹介、寿司提供店の形態及び海外での発展などに関する講演。棒寿司、箱寿司、稲荷寿司、握り寿司、伝統巻き寿司及びカリフォルニア風巻き寿司の調理実演

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
6	INJERTO 2011 言葉の星座（移動ドキュメンタリー映画祭2011）	アンブランテ（移動ドキュメンタリー映画祭）事務局	2011.04.01 ～ 2011.05.06	「移動ドキュメンタリー映画祭2011」のセクションの1つ「INJERTO（移植）」は、実験的映画を専門に取り上げる部門。日本の実験映像作家、伊藤高志の8作品をメキシコ国内12都市で上映するほか、上映都市の一つであるオアハカに同氏を招へいし、講演を実施。同氏の渡航費を助成
7	遠藤公義舞踊ワークショップ	トラテロルコ大学文化センター芸術家団体 メキシコ国立自治大学	2011.04.11 ～ 2011.04.15	ドイツに本拠を置きつつ世界各国で活動している日本人舞踏家遠藤公義（ただし）による5日間、30時間の舞踏ワークショップ。ワークショップには、主にプロのダンサーが参加。通訳を交えず、英語にて実施。ワークショップ後、メキシコ国立ダンス学校講堂にて、同氏のソロ公演「生きる」を実施。同氏の滞在費を助成

海外拠点

8	「ユートピアとディストピアの間で」展	メキシコ国立自治大学付属現代美術館	2011.06.30 ~ 2011.11.27	タイ人キュレーターLaeb Gridthiya Gaweewongによる「ユートピアとディストピアの間で」展への助成。日本、バングラデシュ、インド、ネパール、タイ、ベトナム、インドネシアといったアジア各国の作家との協働の中に「ユートピアとディストピアの間」の概念化された空間を見出そうとする企画。日本から小沢 剛を招へいし <i>Vegetable Weapons</i> を制作、展示、上映。同氏渡航費を助成
9	「幻想組曲」の制作・展示(はぎのみほ)	グアナファト市中央劇場 グアナファト市立文化センター グアナファト大学付属文化局アートギャラリー部 ポリバンテ・ギャラリー	2011.08.15 ~ 2011.09.20	フェリペ・エレンバーグ(メキシコ人美術家)の視覚楽譜(指示)をもとに、はぎのみほ(メキシコ在住の日本人アーティスト)が独自の解釈を加えて制作したアクション、及び作品群。グアナファト市の高齢者、炭坑の村の子供たちを対象に、地元の若いアーティスト達がワークショップを開催し、写真、映像にて記録。更に同記録をもとに、ロベルト・モラレス(音楽家/グアナファト大学教授)が即興演奏を実施。すべての作品と記録、即興演奏を楽譜に起こした五線譜はグアナファト大学のギャラリーに展示。舞台技術料、展示品運搬、滞在費を助成
10	第6回 メキシコ・ショート・ショート・フィルム・フェスティバル	メキシコ・ショート・ショート・フィルム・フェスティバル メキシコ国立シネマテーク	2011.09.01 ~ 2011.09.09	2006年から続くメキシコにおけるショート・ショート・フィルム・フェスティバルの6回目。メキシコにおける短編映画の振興とともに、6月に東京で開催された東京ショート・ショート・フィルム・フェスティバルにて上映された日本、アジア、その他の国々の最新短編映画の上映を目的とするもの。上映技術料と日本のショートフィルムの上映権料を助成
11	ルイス・バラガン邸 ガイドブック日本語版作成	バラガン基金	2011.11.01 ~ 2012.03.31	ルイス・バラガンは20世紀メキシコを代表する建築家。ルイス・バラガンの邸宅と仕事場は世界遺産で、訪れる外国人の大半が日本人という「両国建築交流の最先端」となっている。バラガン基金への助成によりガイドブック日本語版を作成し、建築分野における日本とメキシコとの交流を後押しする
12	南バハカリフォルニア州企業セミナー	文化芸術審議会	2011.12.09 ~ 2011.12.18	南バハカリフォルニア州の地元企業を対象とした、日本の経営理念とそれを支える文化的風土についてのセミナーとイベント。地元NPOが主催する参加無料の事業で、連邦経済相、同文化芸術審議会や開催各都市の文化局が助成。参加者交通費、滞在費、事業広報費を助成
13	「Unión de...」	ルイス・バラガン美術館	2012.03.01 ~ 2012.03.31	マルチアーティスト平川典俊(ひらかわのりとし)による、スペースと人間のハーモニーをテーマとした、写真とコンテンポラリーダンスによるイベント。メキシコ人のモデルや衣装を使った新しい作品を、メキシコの代表的建築家故ルイス・バラガンの邸宅美術館の中で表現することで、同氏とのコラボレーションを試みる。パフォーマンスで使用する額の作成費を助成

(2) 日本研究・知的交流事業

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
14	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 1,663名 (2) レファレンス数 834件 (3) 貸出点数 7,312点</p> <p>2. 情報発信への取組み メキシコ日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) ニュースレター発行部数 1,500部（スペイン語） (2) ホームページアクセス件数 251,562件</p>

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	陶芸専門家アーティストインレジデンス	サンパウロ	クーニャ市	クーニャ市陶芸協会	2011.04.01 ~ 2011.05.30	日系・非日系の陶芸家が多く所在し、陶芸の町として知られるクーニャ市において、日本人陶芸家の請願敏之によるアーティスト・イン・レジデンスを通じた創作活動及び現地陶芸家との交流を実施。5月29日の「陶芸の日」に合わせ実施される陶芸フェスティバルで、製作した作品を展示。更に、在伯公館等からの要請に基づき、各地での講演・ワークショップも開催
2	紙芝居読み聞かせ	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2011.04.01 ~ 2011.10.01	日本に古くからある紙芝居の読み聞かせを通じて、日本の民話や昔話を紹介。毎月1回、日本人・ブラジル人ボランティアによる日本語とポルトガル語の読み聞かせを各2回ずつ（計4回）実施。また、近隣小学校からの要請に応じ出張紙芝居も実施
3	Gambare Japao	サンパウロ	ガゼタ劇場(Teatro Gazeta)	Teatro Gazeta ブラジル赤十字社等	2011.04.17	2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災者支援のため、チャリティー公演を実施するTeatro Gazetaに対し、広報やアーティストとの調整等の支援を実施
4	Pecha Kucha Night (ぺちやくちャナイト)	サンパウロ	SENAC (国立商業学習サービス) ラバシピアン	SENAC, Grupo elefante	2011.05.28	若手デザイナー、クリエイターの交流や関係構築の場として、2003年に東京で始まった「ぺちやくちャナイト」の8回目。参加者は各自20枚のスライドを持ち、テーマに沿ってプレゼンテーションを実施。今回は東日本大震災の支援を目指し、「インスパイア・ジャパン」をテーマに開催
5	日本映画上映会「リベルダージ地区単館4映画館へのオマージュ」	サンパウロ	SESC (商業連盟社会サービス) ピニェイロス	SESC (商業連盟社会サービス) ピニェイロス	2011.06.02 ~ 2011.07.17	1960~80年代にサンパウロ市リベルダージ地区日本人街にて日本映画の上映活動をしていた4映画館 (Cine Joia, Cine Niteroi, Cine Nippon, Cine Tokio) へのオマージュ。当時の上映作品ポスター及びインタビュー・ビデオのインスタレーション展示。オープニングイベントとして、講演、揮毫及び邦楽公演を実施
6	アニメーション映画上映会	サンパウロ	サンパウロ大学映画館	サンパウロ大学映画館	2011.07.04 ~ 2011.07.29	サンパウロ大学映画館 (CINUSP) で一般向けに実施される日本のアニメーション映画の特別上映会。主要配給会社とのタイアップにより、『AKIRA』『Animatrix』『ハウルの動く城』『崖の上のポニョ』『千と千尋の神隠し』『エヴァンゲリオン』『時をかける少女』『Tekkon-Kinkreet』など日本の高度成長期から今日に至るまでの代表作11作品を上映
7	紙芝居読み聞かせ (パラチ国際文学祭)	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	パラチ国際文学祭	2011.07.06 ~ 2011.07.10	南米最大規模の国際文学祭であるパラチ国際文学祭で実施される児童向けイベントで、日本に古くからある紙芝居『一寸法師』等の読み聞かせを通じて、日本の民話や昔話を紹介

海外拠点

8	陶芸作品展覧会	パラティール	ダルシル工房	ダルシル工房 パラチ国際文学院	2011.07.07 ~ 2011.07.24	日本人陶芸家の請閑敏之、サンパウロ市在住日系陶芸家のキミ・ニイ、パラチ市在住ブラジル人陶芸家のダルシル・ハミロによる陶芸作品の合同展示会。バックグラウンドの異なる各アーティストの作品をコントラストさせて展示することにより、それぞれの特徴を浮かび上がらせる企画
9	舞踏レクチャー・デモンストレーション、ワークショップ	サンパウロ	サラ・クリザンテンポ		2011.07.12 ~ 2011.07.13	日本人舞踏家の桂勘と京都在住の若手アメリカ人舞踏家及びブラジル在住の舞踏家2名の計4名による舞踏・コンテンポラリーダンス公演。併せて、戦後日本の前衛芸術運動としての舞踏に関するビデオレクチャー並びに少人数制の舞踏ワークショップを実施
10	第14回ジャパンフェスティバル（東京ファッションフェスタ/ブース出展）	サンパウロ	イミグランテス展示センター SENAC（国立商業学習サービス）ラパファウスト	在サンパウロ総領事館 Madame Killer JBC出版社 SENAC（国立商業学習サービス）ラパファウスト	2011.07.15 ~ 2011.07.17	ブラジル日本都道府県人会連合会が主催する複合的日本紹介イベント「ジャパンフェスティバル」で、在サンパウロ総領事館と共同でブースを出展し、和食の写真パネルや食品サンプルを展示。イベントスペースでは「東京ファッションフェスタ」（ファッションショー）を実施し、日本の若者ファッションを紹介。併せて、ファッション講演会も別途実施
11	short short stories	サンパウロ	サラ・クリザンテンポ		2011.08.27	クリチバ現代音楽ビエンナーレに招待されている、日本人ピアニストの山本純子とフランス人チェリストのセリーヌ・パピオンによる演奏会。日本人アーティスト等の映像作品に合わせた映像と音楽を調和させた演奏会を実施
12	日本映画上映会・山田洋次監督特集	サンパウロ	ブラジル・シネマテカ	ブラジル・シネマテカ	2011.09.13 ~ 2011.09.25	2011年9月13日で生誕80周年を迎える山田洋次の作品特集。国際交流基金海外フィルムライブラリーから『男はつらいよ』（1969年）、『たそがれ清兵衛』（2002年）、『母べえ』（2008年）など幅広い年代の12作品を上映
13	日本文学セミナー	サンパウロ	マリオデアンドラーデ図書館	マリオデアンドラーデ図書館 サンパウロ市文化局	2011.09.24	日本文学のパノラマとポルトガル語への翻訳出版について紹介することを目的としたセミナー。内容は、「日本文学の概観」「ブラジル・ポルトガル語への翻訳」「ブラジルにおける出版」。併せて、サンパウロ大学教授や翻訳家、ジャーナリストによる講演に加え、一般参加者との討論会を実施。更に、セミナーのイベントとして日本の紙芝居を紹介
14	講演会「日本庭園の魅力」	サンタマリア ポルトアレグレ	サンタマリア連邦大学 ウニヒッテル大学	在ポルトアレグレ出張駐在館事務所	2011.09.29 ~ 2011.09.30	大学講師で建築家のサルキス・カルロスチアンによる「日本の庭園」（日本庭園の魅力）についての講演会。同氏が文部省留学生時代に、研究対象の京都の庭園を建築家の視点で撮影した400枚に及ぶ写真と解説を交えての日本庭園紹介
15	日本食パネル展示会	クイアバ	サントス・ドゥモン広場	クイアバ市日系協会	2011.09.30 ~ 2011.10.02	クイアバ市で開催される日本文化祭りに合わせ、サンパウロ日本文化センター所蔵の日本食パネルの展示会を実施

海外拠点

16	空手デモンストレーション	ブラジル	レナート・ルソン文化会館	在ブラジル大使館	2011. 10. 04	ブラジル日本文化月間において、ブラジル在住の元世界チャンピオンを含む有名極真空手家6名による演舞等のデモンストレーションを実施。模範武芸を披露することで日本武道を紹介
17	茶道具展示及び茶道デモンストレーション	サンパウロ	在サンパウロ総領事公邸	在サンパウロ総領事公邸	2011. 10. 07	在サンパウロ総領事館に新しく届いた茶道具のお披露目と、ブラジル裏千家による茶道デモンストレーションを、サンパウロの各国総領事館等の要人やサンパウロ州知事及びサンパウロ市長等を対象に実施。サンパウロ日本文化センター所蔵の茶道具も併せて展示
18	アニメーション映画祭	サンベルナルド・ド・カンポ	エリス・レジーナ劇場	ゲーテ・インスティテュート サンベルナルド・ド・カンポ市文化局	2011. 10. 07 ~ 2011. 10. 21	サンベルナルド・ド・カンポ市文化局主催イベント「Animacao nao e so para Crianca」（子供も大人もアニメーション）の一環としてサンパウロ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品から『雲のむこう約束の場所』を上映
19	アニメパネル展示会	マナウス	西部アマゾン日伯協会	在マナウス総領事館 西部アマゾン日伯協会 アマゾン高拓会	2011. 10. 25 ~ 2011. 11. 13	高拓生（日本高等拓殖学校卒業生）入植80周年を記念し、マナウス市で実施される日本文化週間に合わせ、サンパウロ日本文化センター所蔵の、日本の代表的なアニメ作品を紹介したパネルの展示会を実施
20	浮世絵パネル展示会	ボツカツ	ボツカツ市現代美術館	ボツカツ市現代美術館	2011. 10. 28 ~ 2011. 10. 30	ボツカツ市で開催される日本文化祭りに合わせ、サンパウロ日本文化センター所蔵の浮世絵パネルの展示会を実施
21	講演会「ブラジルにおける日本のポップカルチャー」	ポルトアレグレ	リオ・グランデ・ド・スルブックフェア開催会場	在ポルトアレグレ出張駐在館事務所 リオ・グランデ・ド・スル州書籍協会	2011. 11. 03	日本のポップカルチャーに詳しいSonia Bibe Luyten（プレジデンテ・アントニオ・カルロス大学教授）による講演会。インターネットなどを通じて海外に発信されている日本のポップカルチャーについて、ブラジルにおける広まりや若者への影響について講演
22	内田吐夢監督特集講演会	サンパウロ	ブラジル・シネマテカ(CINEMATECA)	ブラジル・シネマテカ(CINEMATECA)	2011. 11. 23	内田吐夢監督作品特集を実施するにあたり、オープニング作品『人生劇場飛車角と吉良常』を上映後、ブラジルで著名な映画監督でもあり、演出家でもあるカルロス・ヘイシェンバッハによる、内田吐夢監督作品の特徴や当時の日本の時代背景、日本映画の作風や技法がブラジル映画に与えた影響等に関する講演会を実施
23	にほんのうた、ブラジルのうた	サンパウロ	サンパウロ美術館大ホール	サンパウロ大学音楽学科 サンパウロ美術館	2011. 12. 11	サンパウロ大学リベロンプレット校音楽学科の講師や教授等によって構成される楽団『メンテマヌーケ・アンサンブル』（Ensemble Mentemanuque）による日本、ブラジルの歌の公演。『さくら、さくら』、『赤とんぼ』、『荒城の月』、『椰子の実』など日本を代表する歌を紹介し、両国の音楽交流を図る

海外拠点

24	日本映画上映会 「クラシック映画 特集」	サンパウロ	ブラジル・シネマ テカ	ブラジル・シネマ テカ	2012. 01. 11 ～ 2012. 02. 26	日本の代表的な映画監督5人の作品を上映。上映作品は『山椒大夫』（監督：溝口健二/大映/1954）、『赤い殺意』（監督：今村昌平/日活/1964）、『腹切』（監督：小林正樹/松竹/1962）、『ソナチネ』（監督：北野武/松竹/1993）、『静かなる決闘』（監督：黒澤明/角川大映/1945）
25	沖縄琉球国太鼓公 演	ベロオリゾンテ	EXPOMINASコンベン ションホール	ベロオリゾンテ日 本祭り実行委員会 在リオデジャネイ ロ総領事館	2012. 02. 04	ベロオリゾンテ市で開催される日本祭りにおいて、沖縄琉球国太鼓ブラジル支部グループの35名の奏者によるエイサー和太鼓演奏を実施
26	震災復興写真展	サンパウロ	パンデイランチス 宮（サンパウロ州 政庁）	サンパウロ州政府 フジフィルム・ ド・ブラジル 在サンパウロ総領 事館	2012. 03. 02 ～ 2012. 03. 18	東日本大震災当時の被災状況から復興に向けた歩みの様子を写した写真展。サンパウロでは震災から1年を迎える2012年3月を日伯友好連帯月間と称し、各種事業を実施。本写真展はそのオープニングイベントとして、サンパウロ州政府協力のもとサンパウロ州政庁内で開催。期間中、月曜日を除き、毎時ガイド付観覧を実施
27	日本文化紹介書籍 調達・配布	ブラジル全域		かまくら春秋社	2012. 03. 11 ～ 2012. 03. 31	対日関心を高めるとともに、総合的な対日理解を効果的に促進するため、日本の地理、気候、産業等各分野についてポルトガル語で分かりやすく紹介した書籍を350冊調達し、日本語講座を有する初等・中等・高等教育機関や公立図書館等に設置
28	日本食レクチャー・ デモンストレー ションー東北の郷 土料理紹介ー	サンパウロ	SENACアクリマソン （アクリマソン商 業職業訓練セン ター） ブルーツリーホテ ル 在サンパウロ総領 事公邸	SENAC大学 ブラジル日本文化 福祉教会和食普及 委員会 在サンパウロ総領 事館	2012. 03. 12 ～ 2012. 03. 16	仙台在住の蕎麦職人を招へいし、蕎麦を中心とした日本食及び東北地方の郷土料理を、蕎麦打ち等の実演及び試食会を通じて紹介。また、日本料理の味わい方や作法に関するレクチャーも実施
29	日本の元気発信事 業DVD上映会	サンパウロ	ブラジル日本文化 福祉協会小講堂	ブラジル日本文化 福祉協会 在サンパウロ総領 事館	2012. 03. 17 ～ 2012. 03. 24	震災をテーマとした映画『ロック～わんこの島～』（中江功監督/2011年制作）、東日本大震災被災地が舞台となった映画『カルテット!』（三村順一監督/2011年制作）、及び東日本大震災をテーマとしたNHKドキュメンタリー作品『東北夏祭り～鎮魂と絆と～』『ガレキの中からの再出航 漁業の町で復興へと舵を切る若者たち・岩手県大船渡』計4作品を上映 【東日本大震災復興支援事業】

海外拠点

30	和太鼓及びブラジル打楽器公演	サンパウロ	ガゼタ劇場	サンパウロ州教育局 在サンパウロ総領事館	2012. 03. 18	サンパウロ在住の和太鼓グループ（木下節夫主宰）及びブラジル打楽器のゲスト奏者による公演。ブラジルのカーニバルでも有名なサンバに見られる打楽器・パーカッションの演奏に、迫力ある和太鼓の演奏を加えることにより、ダイナミックな音楽の融合を見出すとともに、伝統音楽・民謡公演などにとどまらない和太鼓の可能性を紹介
31	折り紙ワークショップ	ベレン	パラ州立タンクレド・ネベス文化財団	パラ州文化局 パラ州立タンクレド・ネベス文化財団 在ベレン総領事館	2012. 03. 19	招へいする折り紙講師が、難易度の高い作品の実演を行うと共に、参加者に対するワークショップを開催
32	天野喜孝作品展示・講演会	サンパウロ	レイ・カネカ・コンベンションセンター アニエンビ・モルンビ大学	JBC出版社 アニエンビ・モルンビ大学 タンボル社	2012. 03. 28 ～ 2012. 04. 02	ソニー、任天堂、コナミ、ハドソンなど日本のゲーム関連企業が出展している「EXPO GAMEWORLD」に参加し、天野喜孝による日本のキャラクターデザインについての講演会を実施するとともに同氏の作品を展示。併せて、ゲームデザイン学科を持つアニエンビ・モルンビ大学において、学生を対象に講演会を実施

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
33	ワールド・コスプレ・サミット2011	JBC出版社	2011. 07. 17	毎年世界各国からコスプレイヤーが集い愛知県で決勝大会が実施される、ワールドコスプレサミットの地方予選である、ブラジル全国大会への運営資金を一部助成するほか、広報協力も実施。更に、審査員としても参加
34	第8回メルコスール・ビエンナーレ	メルコスール・ビジュアル・アート・ビエンナーレ財団	2011. 09. 10 ～ 2011. 11. 15	第8回メルコスール・ビエンナーレ-Ensaio de Geopoetica（ジオポエティックの実験）はメルコスール（南米南部共同市場）の国々の協力により、34カ国から107名のアーティストが参加した南米芸術祭。同芸術祭において日本の現代アーティストの作品紹介及び日本と各国の芸術交流を目的とし、日本の招待アーティストである柳幸典の作品輸送費を助成
35	日系文芸賞	ブラジル日本文化福祉協会	2011. 11. 12	ブラジル・サンパウロの主要日系団体の一つであるブラジル日本文化福祉協会が主催する日系文芸賞の運営諸経費を一部助成

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	場所名	関連機関名称	期間	事業内容
36	カトリック大学、サン・マルコス大学との意見交換	リマ	カトリック大学 サン・マルコス大学 日秘文化会館	カトリック大学 サン・マルコス大学 日秘文化会館	2011.06.15 ～ 2011.06.17	在ペルー大使館からの要請により、現在アジア研究修士コース設立に向け準備中の私立カトリック大学及び東洋研究所の設立に向け活動中の国立サン・マルコス大学に、森幸一(サンパウロ大学日本文化研究所所長)を派遣し、修士課程立ち上げ等に関する意見交換を実施。併せて、ブラジルにおける日本食文化をテーマに一般対象の講演会を実施
37	講演会「世界史における近代日本」	サンパウロ ブラジル	ラテンアメリカ・メモリアル ブラジル大学 (生物学研究所講堂)	ラテンアメリカ・メモリアル ブラジル大学	2011.09.27 ～ 2011.09.30	国際関係分野における日本研究の活性化及び対日理解促進の一助とするため、ブラジル大学及びラテンアメリカ・メモリアル(サンパウロ)において北岡伸一(東京大学教授)による、「世界史における近代日本」をテーマとした講演・パネルディスカッションを実施

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
38	ブラジル日本研究会運営経費支援	ブラジル日本研究会	2011.04.01 ～ 2011.09.30	ブラジル内外における日本研究の振興を目的として、ブラジル日本研究会のWEBサイト・リニューアルを支援する。これにより、ブラジル国内における日本研究の情報がいち早く閲覧可能になるほか、同学会が実施する学術イベントの議事録なども効果的に発行が可能。内外の日本研究機関との情報共有を活性化させる
39	サンパウロ大学日本文化研究所図書館蔵書目録カタログ化事業	サンパウロ大学哲学・文学・人間科学部附属日本文化研究所	2011.04.01 ～ 2012.03.31	サンパウロ大学哲学・文学・人間科学部附属日本文化研究所図書館の蔵書カタログ化を行い、大学中央図書館のオンライン蔵書検索システムにデータ・インプットを実施。同研究所図書館が所蔵する蔵書へのアクセシビリティを改善
40	第3回セアラ州立大学日伯集会	セアラ州立大学	2011.05.05 ～ 2011.05.06	2011年5月3日から5月6日までセアラ州立大学で実施される第3回ブラジル日本集会(テーマは「日本語専攻講座の設立に向けて」)に、サンパウロ大学及びリオデジャネイロ連邦大学の日本研究者(言語学)を派遣して、講義及びディベートを実施
41	日本研究図書出版助成	Annablume Comunicacao出版社	2011.06.01 ～ 2012.03.31	「日本のイメージ」をテーマとして、複数の日本研究者が各自の研究分野の視点から共同執筆する共著への出版助成。記号学・身体芸術を専門とするクリスチーネ・グライナー(サンパウロ・カトリック大学教授)による編著

海外拠点

42	漫画・ポップカルチャー研究発表会	アラゴアス連邦大学 ペルナンブコ連邦大学	2011.07.29 ～ 2011.07.31	ペルナンブコ連邦大学のコンヴェンションセンターにて毎年実施されるポップカルチャーイベント「スーパー・ヒーロー・コン」のプログラムの一つとして、ブラジル各地のJ-pop研究者達が、漫画、アニメ、オタク、コスプレなどを主題とした研究成果を発表。J-popファン層に対し、同テーマに関する学術研究に触れる機会を提供するとともに、各発表者間のネットワーク構築にも寄与。研究者の旅費を助成
43	サンパウロ大学客員教授巡回講演	サンパウロ大学哲学文学人間科学部付属日本文化研究所 リオデジャネイロ連邦大学 パラナ連邦大学 ブラジリア大学	2011.08.24 ～ 2011.09.06	安室知（神奈川大学准教授／サンパウロ大学客員教授）の専門である日本の民俗学に関する講演を、正規日本語講座を持つブラジル国内各地の大学で実施。講演テーマは「水田稲作文化と自然観」。専門家の旅費、宿泊費、通訳経費等を助成
44	神奈川大学日本常民文化研究所公開セミナー	サンパウロ大学哲学文学人間科学部付属日本文化研究所 ブラジル日本文化協会	2011.09.08	サンパウロ大学日本文化研究所との共同研究の予備調査のため来伯した神奈川大学日本常民文化研究所の佐野賢治ほか3名と、安室知（神奈川大学准教授／サンパウロ大学客員教授）の計5名による公開セミナー。民俗学的視点から、日本の常民（普通の日本人）の生活や営みを考察し、「日本とは何か」を問いかける。広報経費や会場借料に対し助成
45	若手研究者発表会	ブラジル日本研究学会 サンパウロ大学哲学文学人間科学部付属日本文化研究所	2011.09.28 ～ 2011.09.29	ブラジルの大学院修士・博士課程講座を終了して間もない若手研究者による研究発表会。特にサンパウロ市外の遠方の大学に在籍する若手研究者に研究発表とネットワーク構築の場を提供することにより、日本研究の裾野を広げる事業。サンパウロ日本文化センターは発表者の旅費・滞在費を助成
46	サンパウロ大学日本文化研究所マルチメディア教室開設記念連続セミナー	サンパウロ大学哲学文学人間科学部付属日本文化研究所	2011.11.10 ～ 2011.12.15	日本政府「草の根文化無償資金協力」（プロジェクト名：「サンパウロ大学日本文化研究所日本語学習機材整備計画」）の助成を受けて完成したサンパウロ大学哲学・文学・人間科学部付属日本文化館のマルチメディア教室の開設記念事業として日本の研究者による連続セミナーを実施。通訳経費及び広報印刷物作成経費を助成。講演者は上川通夫（愛知県立大学教授）、丹野清人（首都大学東京准教授）
47	講演会「日本芸術を読む：空間、表象および媒介」	サンパウロ連邦大学 サンパウロ大学哲学文学人間科学部付属日本文化研究所 サンパウロ美術館	2011.11.17 ～ 2011.11.20	日本の芸術学を専門とする佐藤守弘（京都精華大学デザイン学部准教授）による講演会。更に、橋本マダレーナ（サンパウロ大学教授）及び岡野道子（サンパウロ連邦大学助教授）による発表も併せて実施

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
48	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 13,050名 (2) レファレンス数 146件 (3) 貸出点数 24,998点</p> <p>2. 情報発信への取組み サンパウロ日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) ホームページアクセス件数 309,706件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
49	出版記念会『日本庭園』	Livraria Cultura Shopping Villa Lobos	2011. 04. 26	2010年にサンパウロ日本文化センターが出版助成した『日本庭園』の出版記念会への広報協力。本記念会では、同書の著者であるブラジル人建築家サルキス・カロースチアンによる記念講演を実施
50	日本研究図書出版記念会	Anablume出版社	2011. 04. 26	2010年に当センターが助成し、Anablume出版社より出版された『日本のイメージ』（クリスチーネ・グライナー他共著）と、別途同社よりポルトガル語に翻訳出版された『Bodies of Memory』（五十嵐義邦・著）の合同出版記念会への広報協力
51	第23回箏曲演奏会	ブラジル箏曲宮城会	2011. 06. 05	ブラジル箏曲宮城会創立30周年記念公演及び東日本大震災支援チャリティー公演として実施された箏曲演奏会に対し、後援名義付与及び広報協力を実施
52	国際漫画プレ大会	クリチバ市文化財団 ジビテカ クリチバ市 在クリチバ総領事館	2011. 07. 15 ~ 2011. 07. 17	2012年に大規模な国際漫画大会がクリチバにおいて実施されるにあたり、プレ大会を実施。クリチバ市と在クリチバ総領事館の共催で市内3カ所にて漫画ワークショップ、展示会等を開催。サンパウロ日本文化センターは所蔵のアニメパネルを在クリチバ総領事館に供与

海外拠点

53	第4回イーリャ・グランジ日本文化祭り	バナナウ宿泊所協会 アングラ・ドス・レイス観光協会	2011.07.22 ～ 2011.07.24	リオデジャネイロ州のイーリャグランジで毎年開催されている日本文化祭りに、所有する浮世絵展の展示パネルを貸出。同祭りでは3日間に渡って、空手や古武道の実演、琉球国祭り太鼓、箏・尺八・三味線などの和楽器演奏、書道・墨絵や切り紙・漫画のワークショップなど様々な日本文化を紹介
54	善のスキヤキ	アトリエ・ヒデコ・ホンマ	2011.07.23	「善のスキヤキ」は、事業発案者であるサンパウロ在住の陶芸家、ヒデコ・ホンマとその生徒が制作した器に、当地有名シェフによるスキヤキが盛られ提供される、福祉団体への支援を目的としたチャリティ夕食会（器は持ち帰り可能）。サンパウロ日本文化センターは活動の趣旨に賛同し、広報協力を行うほか、参加者に対して日本文化への理解を深めてもらうため、ヨサコイ・ソーランの実演を実施
55	第9回ブラジル・ヨサコイ・ソーラン祭	クニト・ミヤサカ財団 ラジオ・バンザイ	2011.07.31	サンパウロで2003年から毎年実施されているヨサコイ・ソーラン祭への後援名義付与及び広報協力。同祭にはブラジル全国から参加があり、コンクール形式で実施され、表現力や創造性などが競われる。サンパウロ日本文化センターからも職員が審査員として参加。また、同祭は入場無料であるが、社会貢献の一環として、来客は入場の際に2キログラムの保存食（米など）を寄付し、集まった保存食は慈善団体に寄付される
56	第22回マリンガ日伯文化祭	マリンガ文化体育協会	2011.09.03 ～ 2011.09.11	パラナ州マリンガ市のマリンガ文化体育協会主催の日伯文化祭に対する後援名義付与
57	第2回和紙絵展	Kei Espaco de Arte	2011.09.24 ～ 2011.09.25	14人の作家の貼り絵（和紙）の展覧会。サンパウロ日本文化センターは後援名義付与及び広報協力を実施
58	「ゲスト・スピーカーを迎えて」	日伯文化連盟	2011.10.01	サンパウロにおいて日本語講座を実施している日伯文化連盟による講演会。サンパウロ日本文化センターは施設を提供
59	講演会「経済大国になりつつあるブラジルに対する投資の好機」	日伯文化連盟	2011.10.01	サンパウロにおいて日本語講座を実施している日伯文化連盟による講演会。日伯文化連盟日本語コースのうち上級・中級（最終コース）に所属する学習者向けに、元バーレ・ド・リオ・ドーセ極東地区社長のエリアス・アンツォネスが講演。サンパウロ日本文化センターは施設を提供
60	第5回文協大総合美術展	ブラジル日本文化福祉協会	2011.10.08 ～ 2011.10.16	サンパウロで2007年から毎年実施されている文協大総合美術展への後援名義付与。様々な美術作品を広く募り、日系社会における芸術家の育成に寄与するもの
61	水墨画展「笹川春艸」－Sumie da artista japonesa Shunso Sasagawa	ブラジル新潟県人会 Grafica Mil Folhas ブラジル日本文化福祉協会	2011.10.19 ～ 2011.10.23	日本において文部科学大臣賞や外務大臣賞など数々の賞を受賞している笹川春艸（水墨画家）による展覧会。サンパウロ日本文化センターは広報協力を実施
62	日伯シンポジウム2011	ブラジル日本研究者協会	2011.10.23 ～ 2011.10.26	ブラジル日本研究者協会（SBPN）が主催する日伯シンポジウムへの広報協力。同シンポジウムでは、同協会東京支部長の竹中平蔵（慶応大学教授）等が講演するほか、西陽子による箏のコンサートも実施

海外拠点

63	第4回サントス日本文化祭	サントス日本人協会	2011. 11. 05 ～ 2011. 11. 06	サントス市で開催される日本文化祭りに合わせ、サンパウロ日本文化センター所蔵の世界遺産パネルの展覧会を実施するとともに後援名義を付与
64	3.11復興支援コンサート	サンパウロ大学 パウリスタ州立大学 カンピナス州立大学	2011. 11. 13	東日本大震災からの復興を目的としたチャリティーコンサートに対する後援名義付与。サンパウロ大学、パウリスタ州立大学、カンピナス州立大学の三大学に在籍する音楽学生及びプロの演奏家により構成された特別オーケストラによる演奏会を実施
65	ブラジルを知る会 総会	ブラジルを知る会	2011. 11. 18	「ブラジルを知る会」（ブラジル在住の女性達が、ブラジルの歴史や文化を勉強する会）の総会の実施。サンパウロ日本文化センターは施設を提供
66	クールジャパン海外展開事業ブラジルプロジェクト「CONNECT JAPAN」	クールジャパン・プロジェクト・ブラジル運営事務局	2012. 02. 28	デザイン性を高めた日本の魅力ある地域産品（食器、インテリア雑貨など）の展示会。経済産業省平成23年度クール・ジャパン戦略推進事業（海外展開支援プロジェクト）採用事業。サンパウロ日本文化センターは、後援名義付与及び広報協力を実施

海外拠点

ロンドン日本文化センター

合計額 153,735,034 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	英国内日本映画上映に関する情報提供		英国内各地		2011.04.01 ~ 2012.03.31	平成22年度に構築した海外日本映画祭用WEBサイトの保守・運営を行い、必要に応じて改修を行う
2	想田和弘アーティストトーク	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.06.10 ~ 2011.06.11	シェフィールドドキュメンタリー映画祭で新作『Peace』がプレミア上映される想田和弘を招へいし、同氏の映画制作手法や作品のアイデアなどに関するアーティストトークを実施。過去の作品『選挙』『精神』の他、新作『Peace』のクリップも用いて、ドキュメンタリー映画監督としての軌跡を広く紹介
3	高嶺格アーティストトーク	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.06.20	近年、舞台芸術、映画、音楽という各分野で講座シリーズを行ってきたが、2011年は今まで紹介できなかった現代美術に焦点をあて、英国及び日本から専門家を招へいし、英国の美術専門家や一般向けにセミナー等を実施。第1回目は、国内外で活躍する現代美術作家の高嶺格を招へいし、作品とアーティストとしての活動や思想に関するトークイベントを実施。同氏の画像を用いてのプレゼンテーションの後に、ダムタイプ研究が専門のFran Lloyd (キングストン大学教授) との対談を加え、同氏の活動を掘り下げて紹介
4	石上純也アーティストトーク	ロンドン	ロンドン日本文化センター	Barbican Centre	2011.06.28	国際交流基金本部助成による、ロンドン日本文化センターでの展覧会 <i>Junya Ishigami: Architecture as Air</i> とタイアップした講演会を開催
5	大森克巳アーティストトーク	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.08.16	日本人写真家大森克巳の個展に合わせ、同氏の活動や作品を広く紹介するアーティストトークを実施。スライドを用いた作品紹介の他、ロンドンのヴィクトリア・アンド・アルバート博物館の写真部長Martin Barnesならびに大森克巳展のキュレーター、中原紗代子を交えて、写真におけるドキュメンタリーの問題や日本の写真の傾向などについて討論
6	Art Weapons: 小沢剛アーティストトーク	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.09.20	美術館やギャラリーの枠組みを越えて、日本内外で作品を発表する美術作家小沢剛のアーティストトークを実施。同氏本人による画像を用いた作品紹介のプレゼンテーションの他、パリ大学の教授で日本の現代美術展評を執筆するエイドリアン・ファーベル (Adrian Favell) との対談を通して、同氏の作家としての立ち位置や現代美術の新しい潮流となっているリレーショナル・アートの問題などを検討

海外拠点

7	Bye Bye Kitty!!! Beyond kitsch, Kawaii and otaku in Japanese Contemporary Art	ロンドン	Chelsea College of Art and Design, Banqueting Hall	TrAIN Research centre Chelsea College of Art and Design	2011. 10. 17	森美術館元館長であり、現在フリーランスアートコンサルタントとして世界で活躍するデービッド・エリオット (David Elliott) が、自身が企画したニューヨークでの日本の現代美術展「Bye Bye Kitty!!!」展の内容をもとに、日本のカワイイ文化とは趣を異にする日本の現代美術について検証。パリ大学の教授で日本の現代美術展評を執筆するエイドリアン・ファーベル (Adrian Favell) とも対談
8	A Message from Tohoku 上田聡に よるランチタイム トークと展覧会	ロンドン	ロンドン日本文化 センター		2011. 11. 21 ~ 2011. 11. 22	東日本大震災で甚大なる被害を受けた地区の一つ、陸前高田出身の写真家上田聡のランチタイムトークと震災後の写真展示を実施。被災者の声を伝えると同時に東北復興に向けての取り組みと被災者の不屈の姿勢を紹介
9	Getting Lost 『迷 子になるわ』英語 台本のプレイリー ディング+関連劇 作家トーク	ロンドン	ロンドン日本文化 センター		2011. 11. 24	日本の現代演劇界で活躍する若手劇作家/演出家の前田司郎作『迷子になるわ』を、英国の若手演出家ベッキー・ミルズ (Beckie Mills) の演出ならびに英国人俳優を起用してのプレイディングの形で紹介。リーディング後には、同氏との質疑応答を実施。併せて前日に、関連事業として同氏の活動を紹介する劇作家トークを、英国の演劇専門家William Drewとの対談形式にて実施
10	Creating New from Old: Reviving the Design and Techniques used in the Maki-e Laquer at Kodai- ji Temple (高台 寺蒔絵復元調度事 業に関する講演 会)	ロンドン	ロンドン日本文化 センター		2011. 11. 29	蒔絵技術とデザイン研究をもとに復元された高台寺蒔絵屏風がヴィクトリア・アンド・アルバート博物館で展示されるのに合わせ、蒔絵の歴史と海外に与えた影響ならびに今回の復元研究の成果を紹介する講演会を実施。講師は、下出祐太郎 (高台寺蒔絵技術等保存伝承会代表理事) 他
11	Japan: Kingdom of Character (相原博 之による日本の キャラクターにつ いての講演会)	ロンドン	ロンドン日本文化 センター		2011. 12. 02	2月4日から英国ノーリッチ市の美術館Sainsbury Centre for Visual Arts (セインズブリーセンター・フォー・ビジュアルアーツ) で開催される巡回展「キャラクター大国、日本」のオープニングを前に、日本社会とキャラクターの関係を検証する講演会を実施。講師は、同展のアドバイザーを務めた相原博之 (キャラクター研究所代表取締役)
12	Art, Performance and Activism	ロンドン	ロンドン日本文化 センター	キングストン大学	2012. 01. 27	美術やパフォーマンスといったジャンルの領域を超え、文化的アイデンティティや社会問題をテーマに創造活動を行う二名の芸術家、嶋田美子と琴仙姫 (クム・ソニ) を招へいし、活動紹介を行うと同時に、女性と芸術活動の関わりについて意見交換の場を設ける。二名の作家に加え、フラン・ロイド (キングストン大学教授) とレベッカ・ジェニソン (京都精華大学教授) も討論に参加

海外拠点

13	日本文化紹介のための無料映画上映会 (A Season of Contemporary Japanese Film 2012)	グラスゴー	The Gilmorehill Centre (グラスゴー大学内)	Japan Desk Scotland	2012. 02. 03 ~ 2012. 02. 24	地方都市グラスゴー大学のホールにて、欧州フィルムライブラリーの16mm作品の中から劇映画と文化映画を各4点ずつ選出し無料上映。上映作品は『Hotel Hibiscus』『Penguins in the Sky』等
14	Masayuki Suo in conversation (周防正行監督トーク)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2012. 02. 09	平成23年度主催映画巡回上映事業を前に『Shall We Dance?』で当地でも評価の高い映画監督、周防正行の監督としてのキャリアならびに映画制作に対する姿勢を紹介するトークを実施。ジャスパー・シャープ (日本映画専門家) とこれまでの作品紹介の他、映画オリジナル作品を制作する意味や難しさ等について対談
15	Katsumi Sakaguchi in conversation (坂口香津美監督トーク)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2012. 02. 13	平成23年度主催映画巡回上映会実施期間中に、坂口香津美の監督としてのキャリアや映画制作に対する姿勢を紹介するトークを実施。ドキュメンタリー制作とフィクションの劇映画制作の違いのほか、シネマオリジナル作品を制作する意味などについてトークを展開
16	Japan/Design	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2012. 03. 07	近現代デザイン史の第一人者である柏木博 (武蔵野美術大学教授) が、日本のデザインの特質について、「カワイイ」「シンプル」などいくつかの項目に分類し、その歴史と文化的背景とともに解説。後半には、英国のデザイン研究者 Sarah Teasleyとのミニ対談も実施
17	震災とアートに関するセミナー (震災報道写真展、虎舞実演)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	アジアハウス クロスカルチャー	2012. 03. 07 ~ 2012. 03. 18	南畠宏 (女子美術大学教授) による、東日本大震災後のアーティストの対応についての講演会。被災地の写真やアーティストの作品画像を紹介しながら、同氏の見解を交えて解説。講演では、チェルノブイリ災害後の欧州のアーティストの対応も比較検証の例として取り上げた。更に関連事業として、アジアハウスにて実施された日経新聞社の震災報道写真の展覧会を共催事業として実施。同氏の講演後には、大槌町から招へいされた虎舞グループの実演も行い、震災関連事業として震災後の日本について幅広い観点から紹介 【東日本大震災復興支援事業】
18	Too Kawaii- The Power of the Super Cute (日本のカワイイ文化についてのシンポジウム)	ノリッジ	Sainsbury Centre for Visual Arts	Sainsbury Centre for Visual Arts SISJAC	2012. 03. 09	2012年2月4日から開催されている国際交流基金巡回展「キャラクター大国ニッポン」の関連事業として、南畠宏 (女子美術大学教授) 及び柏木博 (武蔵野美術大学教授) を招へいし、英国の日本文化専門家数名とともに日本の「かわいい」文化のコンセプトについて、ミニシンポジウムを実施

海外拠点

19	Ismene/Underground 『イスマネ』と 『地下鉄』英語台 本のプレイリー ディング+関連 トーク/パネルディ スカッション	ロンドン	ロンドン日本文化 センター	一座	2012.03.20 ~ 2012.03.21	60年代のアンダーグラウンド演劇の急先鋒であった劇作家佐藤信による『イスマネ』と『地下鉄』の英語版台本のリーディングを、英国の演出家Beckie Millsならびに英国人俳優を起用して実施。翌日には同氏によるトークと、日英の演劇専門家をパネリストに迎えた60年代演劇を考えるミニディスカッションの会を開催
----	--	------	------------------	----	-------------------------	--

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
20	日英アーティストのコラボレーションによる青森プロジェクト(Aomori Project - Of Landscapes Remembered)	Chapter Arts Centre	2011.04.08 ~ 2011.04.21	英国人ダンサー／振付家、ショーネッド・ヒューズと日本の現代舞踊家、木村玲奈や青森の音楽家、長谷川裕二等によるコラボレーション作品を、カーディフ、ロンドンなど英国3都市で発表。公演の演目は、ショーネッド・ヒューズが約3年にわたり青森に滞在し、ダンサー、伝統芸能、また地域の人々との交流の中から生まれた意欲的な作品となった。日本からの招へいアーティスト、木村玲奈の謝金の一部を助成
21	高嶺格個展(Tadasu Takamine)	Ikon Gallery	2011.05.04 ~ 2011.07.17	さまざまなジャンルで活躍する日本人作家、高嶺格を招へいし、これまでに制作されたビデオ作品5作品を個展の形で紹介。高嶺格の謝金の一部を助成
22	東アジア諸国映画祭(Terracotta Festival 2011)	Terracotta Festival	2011.05.05 ~ 2011.05.08	中国、韓国、日本など東アジア諸国の最新映画を集めて上映する年次映画祭Terracotta Festivalにて、『ヘル・ドライバー』、『Karate Girl』等4作品を上映。また『Karate Girl』の主演女優、武田梨奈と『Yakuza Weapon』の監督、坂口拓を招へいし、上映後のトークセッションも合わせて実施。両名の滞在費の一部を助成
23	想田和弘作品上映<シェフィールドドキュメンタリー映画祭>(UK Premiere of 'Peace' by Kazuhiro Soda at Sheffield International Documentary Festival)	Sheffield International Documentary Festival Ltd	2011.06.08 ~ 2011.06.12	ドキュメンタリー映像作家の想田和弘の新作『Peace』を、ドキュメンタリー映画を専門とする映画祭、シェフィールドドキュメンタリー映画祭にて上映。更に同監督への質疑応答も実施。ロンドン日本文化センターは同氏の航空運賃の一部を助成
24	招へい：岩崎貴宏(Constellations)	Cornerhouse	2011.06.25 ~ 2011.09.11	マンチェスターのアーツセンター、コーナーハウスで実施されたグループ展に、日本の現代美術作家岩崎貴宏が招へいされ、作品を発表。岩崎貴宏の航空運賃ならびに宿泊費の一部を助成
25	小曽根真&トミー・スミス ジャズコンサート(Japan and Scotland Jazz Concert)	Japan Society of Scotland	2011.07.16	日本を代表するジャズピアニストの小曽根真及び、スコットランドを代表する国立スコットランド・ジャズ・オーケストラのリーダー兼サクソ・プレイヤーのトミー・スミスが共演するジャズコンサートを実施。小曽根真の謝金の一部を助成
26	小野悦郎&木村俊介公演(Shunsuke Kimura & Etsuro Ono WOMAD Performance and workshop)	Mu:Arts	2011.07.30 ~ 2011.07.31	英国で毎年開催される著名な野外音楽フェスティバルで、津軽三味線演奏家の小野悦郎及び木村俊介のデュオが公演を実施。両名の航空運賃の一部を助成

海外拠点

27	招へい：粉川哲夫(Full of Noise Festival (FON) 2011)	Octopus Collective LTD	2011.08.01 ~ 2011.08.06	英国北西部の港町、バロー・イン・ファーネスで毎年行われる「音」をテーマとする芸術フェスティバルに、日本から粉川哲夫が招へいされ、1週間のレジデント期間に作品を制作、発表。更に地元アーティストなどに、トランスミッターに関わる制作指導を実施。同氏の航空運賃ならびに宿泊費の一部を助成
28	大森克巳展示会(Katsumi Omori: Everything happens for the first time)	198 Contemporary Arts and Learning	2011.08.19 ~ 2011.09.02	日本人写真家の大森克巳が過去10年にわたり撮影した日本各地の桜の風景写真を、ロンドンのギャラリーにて展示。同氏の航空運賃の一部を助成
29	『ハルシオン・デイズ』英語版上映 (Production of Shoji Kokami's Halcyon Days)	W-Squared Productions LLP	2011.08.22 ~ 2011.09.18	劇作家鴻上尚史作の『ハルシオン・デイズ』の英語版を、同氏の演出にて英国人俳優を起用し、ロンドンの劇場で上演。同氏の航空運賃の一部を助成
30	東日本大震災復興支援展覧会(Wa' - Japan Cultural Exchange)	Slack Space	2011.08.24 ~ 2011.09.10	日本人カメラマン馬場龍一郎が撮影した、東日本大震災の被災住民のポートレートや、復興支援のロゴが入ったポスターなどを展示し、震災からの復旧の様子を紹介。更に、ミニジャパンデーを開催。ロンドン日本文化センターは、ポスターや写真パネル作成費及び日本からの輸送費の一部を助成
31	荒川医&Sergi Tcherepnin共同制作(Be a speaker. So be it...)	The Showroom	2011.09.03 ~ 2011.09.17	日本の現代美術作家、荒川医が、サイト・スペシフィックなサウンドワークを、ニューヨーク在住の作家Sergi Tcherepnin との共同で制作、発表。同氏の渡航費ならびに滞在費の一部を助成
32	招へい：小沢剛(Nasubi Gallery by Tsuyoshi Ozawa, for the group exhibiton Museum Show)	アルノルフィーニ(Arnolfini)	2011.09.24 ~ 2011.11.20	ブリストルのアートセンターアルノルフィーニで実施された美術館と美術の関係をテーマとした企画展(グループ展)に小沢剛が出品作家として招へいされ、「なすび画廊」を展示。同氏の航空券の一部を助成
33	安積朋子&クワハタ・アキコ作品展示 (Women Work in Wood -WOWOWO)	Walford Mill Education Trust	2011.09.24 ~ 2011.12.20	女性デザイナーの活動を紹介した企画展に、英国在住の安積朋子、デンマーク在住のクワハタ・アキコの作品が選出され、出展。ロンドン日本文化センターは、両名の作品の輸送費の一部を助成
34	東北&英国アーティストグループ展 (Tohoku - Scotland)	TACT (Tohoku Art and Community Trust)	2011.10.17 ~ 2011.10.26	東日本大震災で被災した東北地方のアーティスト20名と英国のアーティスト10名を招へいし、ポストカードサイズの作品をグループ展の形でエジンバラで紹介。カタログの制作費の一部を助成
35	招へい：菱川勢一 (Onedotzero_adventures in motion 2011)	onedotzero	2011.11.23 ~ 2011.11.27	デジタル映像作品の紹介を専門とする年次映画祭にて、日本のデジタル最新動画作品を「J-STAR」という特別プログラム枠で紹介。併せて、映画祭に日本人クリエイターの代表として菱川勢一を招へいし、作品上映時に質疑応答を実施。同氏の航空運賃ならびに宿泊費の一部を助成

海外拠点

36	招へい：後藤英(Cymatics (Watermans International Festival of Digital Art 2012))	Watermans Arts Centre	2012.01.07 ~ 2012.02.19	ロンドンのアートセンター、ウォーターマン・アートセンターで開催されたデジタル芸術祭の第一弾として、フランス在住のデジタル映像作家、後藤英を招へいし個展を開催。同氏は、ロンドンのゴールドスミスカレッジの学生に対するワークショップなど教育事業も実施。同氏の宿泊費ならびに日当の一部を助成
37	山城千佳子他グループ展(Art, Performance and Activism)	Kingston University	2012.01.20 ~ 2012.02.26	嶋田美子や山城千佳子など、社会に対して強力なメッセージ性を持つ作品を制作し、ダムタイプの系統に連なると考えられる日本人アーティストの作品を、ロンドンのパンプハウスギャラリーにてグループ展の形で紹介。山城千佳子の航空券の一部を助成
38	『The Bee』再演(The Bee)	Soho Theatre Company	2012.01.24 ~ 2012.02.11	2006年にロンドンにて初演され好評を博した、野田秀樹と英国の俳優、劇作家との共同制作『The Bee』の再演。野田秀樹の日当の一部を助成
39	東日本大震災復興映画上映会(The Day after the Tsunami: sharing people's stories)	The Day After The Tsunami Committee	2012.03.05 ~ 2012.03.10	東日本大震災1周年を記念して、震災を考え被災者の復興を支援するための映画上映会と関連トークを実施。上映作品は、オスカー賞にノミネートされた『The Tsunami and the Cherry Blossom』他。広報物作成費、上映権料(作品輸送費含む)、講師謝金(旅費含む)、PA機材借用費の一部を助成

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流(主催)】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
40	日本研究フェローによる講演会 Consumer Ethics in Japan: the morality of grocery industry managers by Dr Sigmund Wagner-Tsukamoto	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.05.05	国際交流基金元フェローを招へいしての講演会シリーズの平成23年度1回目(通算4回目)。Wagner-Tsukamoto(レスター大学)を講師に迎え、「日本における企業行動・倫理と消費者倫理に関する分析」をテーマに開催。ディスカッサントは、Chris Cowton(ハダーズフィールド大学教授)。分析対象や課題について有意義なディスカッション及び質疑応答が展開された
41	「デフレ」の正体と震災後日本の針路	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.05.17	藻谷浩介(日本政策投資銀行地域振興グループ参事役/東日本大震災復興構想会議検討部会専門委員)が、日本を見舞う長期(少子高齢化)、中短期(震災)の2つの試練の影響を解説。かかる課題への挑戦と克服が国を超えての普遍性を持つことも論じ、日本経済社会の現状理解と経済社会政策論の知的交流に資する。ディスカッサントはジャネット・ハンター(ロンドンスクールオブエコノミクス教授)
42	英国における日系企業のCSR活動に関するワークショップ	ロンドン	ロンドン日本文化センター	Links Japan	2011.07.01 ~ 2012.03.31	英国におけるCSR活動調査報告に基づき、文化・教育等公益団体と企業がCSR活動をより活発に、効果的に連携推進するためのワークショップシリーズを開催。全体のコーディネータはPhilida Purvis(Links Japan)、アドバイザーは、下田屋毅(サステナビジョン社社長)

海外拠点

43	日本研究フェローによる講演会 Rewriting Meiji Women's History: The New Woman, Modernity and Hasegawa	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.07.20	国際交流基金元フェローを招へいしての講演会シリーズの5回目。Mara Patessioを講師に迎え、劇作家・小説家であった長谷川時雨の生涯を通して、明治期及び大正期の女性像を再検討。ディスカッサントは、Naoko Shimazu (ロンドン大学バークベックカレッジ教授)
44	What are Japanese people learning from the 3.11 disaster? - A Lecture by Prof. Takehiko Kariya, University of Oxford	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.11.02	教育社会学の専門家である荻谷剛彦 (オックスフォード大学教授) によるレクチャー。震災から半年を経て、日本は震災から何をどのように学びつつあるのか。主に教育現場の復興過程に着目し、日本社会にとっての震災の意味を考察
45	COP 17 and Beyond: Japan-UK and Global Action for Addressing Climate Change	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.11.11	南アフリカダーバンにて開催されるCOP17 (締約国会議) に向けて、日英ひいては国際的枠組をいかに交渉すべきかに関する非公開型の専門家討論会を実施。日本人専門家による一般公開の講演会も実施。COP16実施時の日本の態度や今後の目標等について英国市民に正確な情報提供を実施
46	Challenges for energy sustainability and innovation in Japan after Fukushima - in search of the best energy policy mix	ロンドン	インペリアルカレッジロンドン レクチャーシアター	インペリアルカレッジロンドン	2011.11.22	福島原発事故以降の原子力の使用及びエネルギー政策に関する日英専門家のエネルギー政策セミナー。チェアパーソンは、ロバート・グロス (インペリアルカレッジロンドン)。スピーカーは、有馬純 (JETROロンドン)、マルコム・グリムストーン (チャタムハウス)、マイケル・リーブリッヒ (ブルームバーグ)
47	Tengu: The Shamanic and Esoteric origins of the Japanese Martial Arts by Roald Knutsen	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.12.06	長年日本のマーシャルアーツを研究してきたRoald Knutsen 著『Tengu』の出版記念トーク。ディスカッサント及び刀剣の説明をClive Sinclairが担当。弟子によるパフォーマンスも実施
48	Post-Graduateワークショップ	ロンドン	ロンドン日本文化センター	英国日本研究協会	2012.01.12	比較的経験の浅い若手日本研究者を対象にしたノウハウ提供ワークショップ。英国日本研究協会とともに開催。基調講演者として北田暁大 (東京大学准教授)、Chris Hughes (ウォーリック大学教授/英国日本研究協会会長)、その他シェフィールド大学から研究者を招へい。若手研究者のネットワーク及び博士課程後のキャリア形成に至るまで幅広く意見交換を行う機会を提供

海外拠点

49	Video Games in Japan: Past, Present and Future	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2012. 02. 21 ~ 2012. 02. 22	日本のゲーム文化に関する会議。ゲーム産業やアーカイブ化の現状及び今後の見通しについて議論。ゲームアーカイブのスピーカーは馬場章（東京大学教授）、ディスクサントはJames Newman（ポーツマス大学教授）。ゲーム産業のスピーカーは馬場章（東京大学教授）及び遠藤琢磨（株式会社ACQUIRE社長）、ディスクサントはSteve Boxer（フリーランスジャーナリスト）
50	Literature & Disaster in Japan: Reflections from History and the Present Day	ロンドン	ロンドン日本文化センター	ロンドン大学アジア・アフリカ研究所 (SOAS)	2012. 03. 13	震災が文学に与える影響をテーマとした会議。スピーカーはステイブン・ドッド（ロンドン大学SOAS博士）、大本泉（仙台白百合女子大学教授）及び黒瀬珂瀾（歌人）。ステイブン・ドッド及び大本泉が関東大震災と文化への影響に関する発表を行い、黒瀬珂瀾は大震災以降の歌人の動向、発表された和歌とその受容について発表

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
51	日本研究者旅費支援プログラム (Hayo Krombach)	ロンドンスクールオブエコノミクス	2011. 03. 24 ~ 2011. 06. 22	Hayo Krombach（ロンドンスクールオブエコノミクス研究員）の訪日研究に対する旅費助成。研究タイトル: Epistemological Approaches to the Experience of Selfhood and World Reality in the Kyoto School of Philosophy
52	日本研究・知的交流事業助成プログラム Discover Japanese Studies CD Project	英国日本研究協会	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	中等教育向け日本研究紹介プロジェクトのうち、特に頒布用DVD製作 (Discover Japanese Studies CD Project) に対する支援
53	日本研究者旅費支援プログラム (Jeremy Bidgood)	ロンドン大学ロイヤルホロウェイカレッジ	2011. 08. 01 ~ 2011. 08. 15	Jeremy Bidgood（ロンドン大学ロイヤルホロウェイカレッジ博士課程）の訪日研究に対する旅費助成。研究タイトル: A practice led investigation into contemporary uses of Japanese Bunraku and other ningyo forms
54	日本研究者旅費支援プログラム (Angela Perri)	ダーラム大学	2011. 10. 01 ~ 2011. 12. 13	Angela Perri（ダーラム大学博士課程）の訪日研究に対する旅費助成。研究タイトル: Jomon Dog Burials: Exploring Hunting Adaptations and Early Holocene Climate Change
55	日本研究・知的交流事業助成プログラム Global Asia and the Environment 2010-11	ロンドン大学パークベックカレッジ	2011. 11. 24	アジア史の視点から「環境」について検討する研究会に対する支援。公害問題等を含む発表を行うブレット・ウォーカー（モンタナ州立大学教授）を招へいする費用の一部を助成
56	日本研究・知的交流事業助成プログラム Rekishi to Wakai: War Memory, War History and Reconciliation - the Experiences of Japan, China, Korea and the UK	Links Japan	2011. 11. 24 ~ 2011. 11. 25	戦後の和解問題に関し、日英間のみではなく、中国・韓国の専門家を含む研究者・実務家が集って議論を行う研究会議に対する助成。参加者の旅費の一部に対する支援

海外拠点

57	日本研究・知的交流事業助成プログラム Major 'Booms' and Minor Trends in Modern Religious Practices: A Workshop in Honour of Ian Reader	マンチェスター大学	2012. 02. 27 ~ 2012. 02. 28	日本宗教の研究者であるイアン・リーダー（マンチェスター大学教授）の退官記念ワークショップ。クラーク・チルソン（ピッツバーク大学准教授）、ウィラ・タナベ（ハワイ大学講師）、イアン・アストリー（エディンバラ大学上級講師）等の研究者が参加。ロンドン日本文化センターは、英国内交通費等の一部を助成
58	日本研究・知的交流事業助成プログラム The Thirty-Six Immortals of Waka: A Symposium in honour of Dr. Phillip Harries	オックスフォード大学	2012. 03. 16 ~ 2012. 03. 17	三十六歌仙を題材とした展覧会に合わせ、同様の題材をテーマとする学術会議を開催。スピーカーとして、鈴木淳（国文学研究資料館）、白根治夫（コロンビア大学）、Clare Pollard（アシュモレアン博物館）、Gian-Piero Persiani（オックスフォード大学）等を招へい。招へい専門家の国際航空賃等の一部を助成

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
59	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 1,224名 (2) レファレンス数 698件 (3) 貸出点数 1,250点</p> <p>2. 情報発信への取組み ロンドン日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) メールマガジン配信数 54,861件 (2) ホームページアクセス件数 178,863件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
60	Taste Japan! Help Tohoku!	酒サムライ教会	2011. 06. 17	東日本大震災復興支援のチャリティイベント。日本食・日本酒の試飲を通して寄付を募る活動に対して、会場を提供
61	Guilt, Nostalgia, and Victimhood: Korea in the Japanese Theatrical Imagination (Carol Sogenfrei)	Asia Performing Arts Forum	2011. 12. 01	UCLA所属の日本の現代演劇の専門家が、画像を用いながら、在日韓国人や日本と韓国との関係を描いた劇作家を取り上げ、その描き方と時代性について検証。同事業に対し、会場を提供

海外拠点

62	Japanese Embroidery Exhibition by Shizuka Kusano	エディンバラ総領事館 エディンバラ市	2011.05.20 ～ 2011.05.21	エディンバラ総領事館及びエディンバラ市が主催する草乃しずかの刺繍作品展示に対する後援名義の付与
63	Hyper Japan 2011	Cross Media Ltd	2011.06.22 ～ 2011.06.24	日本のポップカルチャー及び食を中心に総合的に日本文化を紹介するイベントに対する後援名義の付与
64	Yet I Still Dare to Hope写真展	Tohoku Earthquake Relief Project London and Seven Beach Aid	2011.06.22 ～ 2011.09.18	写真を中心として東日本大震災被災地の様子を伝える企画に対する後援名義の付与。6月22日～24日（ハイパージャパン内）、9月18日（ジャパン祭り内）で実施
65	Okinawa Day 2011	英国沖縄県人会 ロンドン沖縄三線会	2011.06.25	沖縄音楽の演奏、エイサー演舞等、多面的に沖縄を紹介するイベントに対する後援名義の付与
66	Japan Matsuri 2011	日本クラブ 英国日本人会 ジャパン・ソサエティ 在英日本商工会議所	2011.09.18	本年度3回目となる日本文化を紹介する大規模イベント。日本食の屋台や、日本舞踊、和太鼓、のど自慢大会等のパフォーマンスを実施。同事業に対して、後援名義を付与
67	Hyper Japan 2012 Spring	Cross Media Ltd	2012.02.24 ～ 2012.02.26	日本のポップカルチャー及び食を中心に総合的に日本文化を紹介するイベントに対する後援名義の付与

【その他】

	事業名	都市	場所名	期間	事業内容
68	芸術事業視察・調査	英国内都市各地	英国内各地	2011.04.01 ～ 2012.03.31	国際交流基金主催・共催事業、助成事業の視察のほか、将来的な事業案件形成に必要な視察（出張）及び会議を実施
69	日本研究・知的交流情報交流（出張、WEBサイト運営、会議開催・参加等）	英国内都市各地	英国内各地	2011.04.01 ～ 2012.03.31	「英国日本研究機関調査」のWEBサイトの立ち上げ、運営を実施。併せて、国別方針及び新規事業発掘に関する情報収集を目的とした出張や会議開催を実施し、外部団体企画事業に参加

マドリード日本文化センター

合計額 51,048,599 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	定期映画会	マドリード	アテネオ	アテネオ	2011.04.01 ~ 2012.03.01	現地映画祭主催団体の協力のもと、スペインまたは欧州諸国の配給会社が所蔵するプリント（DVD・スペイン語字幕つきのもの）及び本部フィルムライブラリーの作品から、毎月2回、定期上映会を実施。上映作品は、『ナイン・ソウルズ』（Toshiaki Toyoda, 2003）、『仁義なき戦い』（Kinji Fukasaku, 1973）、『千年女優』（Satoshi Kon, 2001）等
2	定期映画会中南米巡回	パナマ	サンティアゴ・アロセメナ師範学校 多目的教室 ショッピングセンターマルチプラザ内「サンボーンズ」 国立図書館多目的サロン	在パナマ共和国大使館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	中南米スペイン語圏の公館からの要望に応え、定期映画会で使用した本部フィルムライブラリー作品を公館所在地において上映。上映作品は、『Go!』（Isao Yukisada, 2001）、『山椒大夫』（Kenji Mizoguchi, 1954）等
3	五味太郎ワークショップ	バルセロナ	Mon Llibreフェスティバル会場内		2011.04.03 ~ 2011.04.10	バルセロナ市主催の「Mon Llibre(本の世界)児童文芸フェスティバル」において五味太郎を招へいし、子供向けのワークショップを開催。25メートルもの長さの大きな紙に参加者が自由に絵を描き展示
4	マドリードABCミュージアムにおける「侍の眼差し—黒澤明スケッチ展」	マドリード	ABC美術館アロンディガ・ビルバオ		2011.04.07 ~ 2011.06.12	黒澤明が映画製作資金獲得のため、スポンサーにプレゼンテーションした際に描いた絵コンテ120点を展示
5	「怪獣映画と日本文化」シンポジウム	バルセロナ	カイシャ・フォーラム		2011.04.13 ~ 2011.05.31	カイシャ・フォーラム財団バルセロナと共催でディノサウルスを原型にした日本の怪獣映画『ゴジラ』を中心に、「怪獣映画と日本文化」と題したシンポジウムを開催
6	SHANTI公演	マドリード アビレス リスボン	シルクロ・デ・ベジャス・アルテス ニューマイヤー文化センター リスボン東洋美術館	シルクロ・デ・ベジャス・アルテス ニューマイヤー文化センター リスボン東洋美術館	2011.05.01 ~ 2011.06.01	マドリードを代表する音楽・演劇の祭典であるフェスティバル・デ・オトーニョに参加。ニュージャズの旗手であり、NHKなどのメディアでも活躍する新進歌手SHANTIのコンサートをマドリード、アビレス、リスボンの3都市において実施

海外拠点

7	能装束展示会及び講演会	アリカンテ パルマ・デ・マ リョルカ バレンシア	アリカンテ大学 バレアレス大学 バレンシア市付 属ガレリアトサル	アリカンテ大学 バレアレス大学 バレンシア市付 属ガレリアトサル	2011.05.09 ~ 2011.05.16	文武両道の精神を開花させた武家の教養・美意識と、その美意識が体现された能楽について紹介するための展示会及び講演会の実施。「能装束と日本の美学」というテーマで、山口明（山口能装束研究所所長）が講演
8	PHOTO ESPANA	マドリード バルセロナ	マドリード日本文化センター カサ・アジア (Casa Asia)	カサ・アジア Photo Espana	2011.05.30 ~ 2011.06.05	マドリードにおいて毎年開催される大型写真フェスティバルPHOTO ESPANAに、南條史生(森美術館館長)、笠原美智子(東京都写真美術館企画課長)を招へい。また、同氏がキュレーターとなった巡回展「Out of the Ordinary/Extraordinary」を受け入れたことのあるカサアジアにおいても講演会を実施
9	バーチャル・バンブー・スクール	マドリード	カサ・アジア (ウェブサイト)	カサ・アジア	2011.06.01 ~ 2012.03.31	カサ・アジアが実施する青少年向けアジア文化理解ワークショップ「バンブー・スクール」のためのリソースを、ウェブ上に公開し、各地の初等・中等学校の教師が自身でアジア文化理解ワークショップを実施できる環境を整備
10	デル・スル映画祭への参加	グラナダ	イサベル・ラ・カトリカ劇場	デル・スル映画祭	2011.06.02 ~ 2011.06.10	グラナダ市で開催される第5回デル・スル映画祭に共催参加し、小林政広（映画監督）を招へい、同監督の最新作『春との旅』を上映するとともに、同監督の舞台挨拶及びQ&Aセッションを実施
11	Pe'zスペイン公演	バルセロナ バレンシア マドリード ビルバオ アビレス	アジア・フェスティバル会場 レアル広場 バレンシア・ロコ・クラブ マドリード白夜祭会場 アシア・コン・フシオン アロンディガ・ビルバオ ニーマイヤー文化センター	カサ・アジア バレンシア・ロコ・クラブ ホテル・ルームメイト アロンディガ・ビルバオ ニーマイヤー文化センター	2011.09.15 ~ 2011.09.28	マドリード日本文化センターが年間の主要事業の一つとして位置づけているマドリード白夜祭、バルセロナ・アジア・フェスティバルにおいて、日本からジャズインストゥルメンタルバンドのPe'zを招へいし、コンサートを実施。併せて、地方都市においても公演を実施
12	山本薩夫映画特集	サラゴサ マドリード	サラゴサフィルムセンター マドリード芸術サークル	サラゴサフィルムセンター マドリード芸術サークル	2011.10.01 ~ 2011.11.01	マドリード及びサラゴサで開催する山本薩夫映画週間の広報効果を高め、一層多くの集客を得ることを目的として、会場建物外壁バナー及び広報ポスターを作成するほか、映画の理解の一助とするべく各映画の解説を加えたプログラムを作成

海外拠点

13	Asia Geek	マドリード バルセロナ	ヨーロッパ・デザイン学校 バルセロナ高等デザイン・技術学校 (ELISAVA)	カサ・アジア ヨーロッパ・デザイン学校 バルセロナ高等デザイン・技術学校 (ELISAVA) クリック・クラック	2011.10.24 ~ 2011.11.01	カサ・アジアが主催するアジアのビデオ・ゲームやデジタル・デザインを紹介する祭典「Asia Geek」に共催参加
14	映画批評ワークショップ	マドリード	アルカラ31	マドリード自治州文化局	2011.10.25	マドリード自治州文化局が実施する「映画批評ワークショップ」に共催参加し、宮崎駿監督の『崖の上のポニョ』を上映。上映後、スペインの映画批評家2名による批評と会場との意見交換を実施
15	大駱駝艦『壺中天』公演	バルセロナ マドリード	花市場劇場 カナル劇場	マドリードダンスフェスティバル 花市場劇場 カナル劇場	2011.11.02 ~ 2011.11.13	第4回バルセロナBUTOHフェスティバルにおいて、日本を代表する舞踏グループ「大駱駝艦」の舞踏家による公演『壺中天』を行うと共に、マドリード国際ダンスフェスティバルにおいても公演を実施
16	からくり人形実演・講演会	ビルバオ リスボン ポルト マドリード バジャドリッド	Pantzerkiビルバオ人形劇保存修復センター オリエント博物館 ポルト市図書館 マドリード・コンプルテンセ大学 カスティージャ・イ・レオン観光見本市会場	Pantzerkiビルバオ人形劇保存修復センター オリエント博物館 ポルト市図書館 マドリード・コンプルテンセ大学 在スペイン大使館	2011.11.17 ~ 2011.11.29	2011年11月末に開催されるビルバオ人形劇フェスティバルに招へいされる、からくり人形師の半屋春光が、ポルトガルやスペインの他地方において実演・講演会を実施
17	第21回マドリード実験映画祭	マドリード	シネゴレム サラ・ベルランガ	実験映画祭	2011.11.18 ~ 2011.11.25	例年11月にマドリード市において開催される実験映画祭の日本映画特集に共催参加。『イエローキッド』（真利子哲也 2010年）、『春との旅』（小林政広 2011年）等を上映
18	コンテンポラリー・テキスタイル・アート展	マドリード	コンプルテンセ・アート・センター (Museo de Traje 内)	コンプルテンセ大学 World Textile Art (organization)	2011.11.18 ~ 2012.01.08	自然との調和をテーマに、16名の日本人作家の作品で構成されたコンテンポラリー・テキスタイル・アート展 <i>Nature Spirit</i> をマドリードにおいて実施

海外拠点

19	日本酒レクチャー・デモンストレーション	バリャドリッド バルセロナ マドリード	観光見本市Intur会場 レストラン『やしま』 レストラン・ボカード 大使公邸	Agencia Nacional de Impuestos de Japón 在スペイン大使館 トウキョウ屋 サルビオニ&アロマル	2011.11.24 ~ 2011.11.28	日本酒をはじめとする日本の発酵文化を研究している「発酵リンク」主宰の藤田千恵子が、マドリード、バリャドリッド、バルセロナで日本酒についてのレクチャー・デモンストレーションを実施
20	「日本人とキャラクター展」における講演会	マドリード	ABC美術館	ABC美術館	2011.11.30 ~ 2011.12.05	巡回展「日本人とキャラクター」のマドリードにおけるオープニングに合わせて、同展コミッショナーの相原博之を迎え、記者会見、講演会等を実施して同展への関心を高める
21	キャラクター弁当実演・ワークショップ	マドリード	ABC美術館	マドリードABCミュージアム 日本食材店みや	2011.11.30 ~ 2011.12.18	巡回展「日本人とキャラクター」の実施会場において、キャラクター弁当の実演・ワークショップを実施
22	篠田正浩映画特集	バルセロナ マドリード	カタロニア・フィルムセンター マドリード芸術サークル	カタロニア・フィルムセンター マドリード芸術サークル	2012.01.01 ~ 2012.03.31	マドリード及びバルセロナで開催する篠田正浩映画特集の広報効果を高め、一層多くの集客を得ることを目的として、会場建物外壁バナー及び広報ポスターを作成するほか、映画の理解の一助とするべく各映画の解説を加えたプログラムを作成
23	マドリード観光見本市 (FITUR)におけるポップカルチャー紹介	マドリード	IFEMA国際博覧会会場日本ブース	在スペイン大使館	2012.01.18 ~ 2012.01.22	マドリード国際観光見本市 (FITUR)の日本ブースにおいて、コスプレサミットの優勝者によるプレゼンテーションを行うと共に、スペインのアニメ・マンガ専門家による秋葉原や原宿などのオタクカルチャースポットの見所、歩き方についてのレクチャーを実施
24	Proto Anime展における小倉宏昌講演会	バルセロナ	カハ・マドリード・文化スペース	カハ・マドリード	2012.01.25 ~ 2012.03.25	バルセロナで開催される、アニメの背景画と日本の現代都市の影響にフォーカスした展覧会Proto Anime展のオープニングに、同展で紹介される6名の作者の一人 (小倉宏昌) 及び日本のアニメ漫画批評家である氷川竜介を招へいし、オープニング式典、記者会見等に列席してもらうほか、特別講演会を実施
25	ARCO現代アート国際見本市における長谷川祐子講演会	マドリード	マドリード国際見本市会場	ARCO カサ・アジア	2012.02.15 ~ 2012.02.18	世界的に注目されるARCO現代アート国際見本市において、長谷川祐子 (東京都現代美術館チーフキュレーター) による講演会を実施

海外拠点

26	震災関連ドキュメンタリー映画上映会『3.11 日本、復興への道』『日本からの手紙』	バルセロナ マドリード	カサ・アジア マドリード州文化庁	カサ・アジア マドリード州文化庁	2012.03.07 ~ 2012.03.17	東日本大震災が日本の社会に与えたインパクトや被災の経験から見えてきたことをさまざまな監督の視点から検証。困難を乗り越えて復旧・復興、支援活動に取り組む人々の姿を紹介することで、犠牲者への追悼とスペインからの支援への感謝を示す。被災地への連帯を表すための企画として、「第1部：大震災のインパクト」「第2部：復興への取り組み」という2つのテーマに分けてドキュメンタリー映画を上映し、関連する人々によるトークセッションを実施
----	---	----------------	---------------------	---------------------	-------------------------	---

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
27	文化芸術小規模助成	アラゴン=日本協会 美術・武道・コミュニケーションセンター マンガ・アソシエーション（バレンシア） 日本アート・カルチャーセンター 等	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本理解の促進や知日派の育成に資する優良案件に対し小規模助成を実施。本年度は、日本文化週間、合気道セミナー、マンガ・サロン、生け花展示等、計9件の助成を実施

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	日本研究連続講演会	マドリード	マドリード日本文化センター	スペイン日本研究協会	2011.06.09 ~ 2011.11.15	スペインの日本研究者協会との協力のもと、日本研究者の研究成果の社会還元と次世代研究者の育成、日本研究の一般への認知度向上のため、日本研究講演会を実施。夏の講演として「近代日本の美と伝統」をテーマに全3回の講演を実施（2011年6月9日、15日、22日）。秋には「日本の伝説と御伽噺」と題し、全3回の講演を実施（2011年10月20日、11月3日、15日）
29	日本研究巡回講演会	バジャドリッド バルセロナ マドリード	バジャドリッド大学 バルセロナ自治大学 バルセロナ大学 マドリード自治大学 マドリードコンプレテンセ大学	バジャドリッド大学 バルセロナ自治大学 バルセロナ大学 マドリード自治大学 マドリードコンプレテンセ大学	2012.02.27 ~ 2012.03.02	日本において第1線で活躍する社会科学分野の研究者を招へいし、東アジア研究学士課程を有する大学を中心に各地を巡回講演。佐々木雅幸（大阪市立大学特任教授）が「創造的都市の発展：日本の経験」をテーマに講演。講演回数は全5回（2012年2月27日、28日、29日、3月1日、2日）

海外拠点

30	日本研究講演会中南米巡回	<p>カラカス</p> <p>キト</p> <p>サンティアゴ</p> <p>ブエノス・アイレス</p> <p>ボゴタ</p> <p>ラパス</p> <p>リマ</p>	<p>カラカス市内BOD コーパンカ文化 センター</p> <p>エクアドル国家高 等教育研修所</p> <p>ディエゴ・ポルタ レス大学経済学部 アジア太平洋セン ター</p> <p>カトリカ大学人文 学部哲学科</p> <p>ブエノスアイレス 大学社会博物館大 学</p> <p>国立マンガ・デザ イン学院</p> <p>マロカ科学技術館</p> <p>フィルモテカ・ボ リビア</p> <p>リマ大学</p> <p>インカ・ガルシラ ソ・デ・ラ・ベガ 大学</p> <p>国立工科大学</p> <p>日秘文化会館</p>	中南米地域スペ イン語圏在外公館	2011. 10. 11 ~ 2012. 02. 27	<p>中南米スペイン語圏の公館からの要望に応え、日本研究者の研究成果の社会還元と次世代研究者の育成、日本研究の一般への認知度向上のため、中南米スペイン語圏の公館所在地において日本研究講演会を実施</p> <p>【2011年秋実施】 実施期間：2011年10月11日～18日 講演者：ハビエル・ビジャルバ（元フェロー／現サラマンカ大学客員教員） 講演テーマ：禅に関する講演 実施都市：キト、ブエノス・アイレス、サンティアゴ 講演回数：全4回</p> <p>【2012年冬実施】 実施期間：2012年2月16日～27日 講演者：マルク・ベルナベ（マンガ研究者／翻訳家） 講演テーマ：マンガに関する講演 実施都市：リマ、ボゴタ、ラパス、カラカス 講演回数：全10回</p>
----	--------------	--	---	---------------------	-----------------------------	---

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
31	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、劇映画・アニメDVD、日本語教材を多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 1,065名 (2) レファレンス数 218件 (3) 貸出点数 681点</p> <p>2. 情報発信への取組み マドリード日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) メールマガジン配信数 44,000件 (2) ホームページアクセス件数 140,316件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
32	第11回サラゴサ大学日本文化週間における日本文化紹介	サラゴサ大学	2012. 03. 27 ~ 2012. 03. 31	サラゴサ大学で開催される日本文化週間に共催参加。第11回目の開催となる本年は、「明治時代(1868-1912)日本と西洋の邂逅」と称し、講演会、ワークショップ、展覧会、映画上映会を実施

ブダペスト日本文化センター

合計額 37,634,026 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	文化交流使 津村 禮次郎による能 ワークショップ	ブダペスト	メルリン劇場 (Merlin Theatre)	メルリン劇場 (Merlin Theatre)	2011.04.01 ~ 2011.04.07	平成22年度文化庁文化交流使である能楽師・津村禮次郎が、ハンガリーの演劇、身体表現専攻の学生を対象とした能のワークショップ及びその成果発表としての一般公開プレゼンテーションを実施
2	日本映画上映	ブダペスト	ウルクモズゴ映画館 (Örökmuzgó Filmmuseum)	ハンガリー国立 フィルムアーカイブ (The Hungarian National Digital Archive and Film Institute)	2011.04.01 ~ 2012.03.31	欧州フィルムライブラリーの16mmフィルムを用いて、市民向けの定例映画上映会をブダペスト市内の映画館で18回実施。729名が参加。上映作品は、『東京物語』（小津安二郎監督 1953年）、『スウィング・ガールズ』（矢口史靖監督 2004年）、『ハチ公物語』（神山征二郎監督 1987年）等
3	ブダペスト日本文化センター所蔵巡回展示セット巡回展	リュブリャーナ セーチェーニ ブラチスラバ セーケシュフェ ヘールヴァール ブダペスト ザグレブ	オトン・ジュパン チッチ図書館 (Oton Župančič Library)	オトン・ジュパン チッチ図書館 (Oton Župančič Library)	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ブダペスト日本文化センターが所蔵する6種類の展示セット<写真パネル4セット（「日本建築展」「京都展」「日本人の日常生活展」「日本の世界遺産展」）、凧・独楽展、日本人形展>を、希望する外部団体に貸し出し、巡回展を実施

海外拠点

		エニンブ	ティノーディ・ラントシュ・セベスティエン小学校 (The Tinódi Lantos Sebestyén Reformed School)	ティノーディ・ラントシュ・セベスティエン小学校 (The Tinódi Lantos Sebestyén Reformed School)		
4	文化講演会「日本の写真美術」	ブダペスト	マイ・マノハンガリー写真美術館 (Mai Mano Hungarian House of Photography)	マイ・マノハンガリー写真美術館 (Mai Mano Hungarian House of Photography)	2011.06.02	東京都写真美術館学芸員で、写真専門家の鈴木佳子を講師に迎え、ハンガリーの一般市民を対象に、日本の写真美術について概説する講演会を実施
5	巡回展『ウィンター・ガーデン』における日本人若手作家招へい	ブダペスト	エルンスト美術館 (Ernst Museum)	ミューチャルノク現代美術館(Műcsarnok)	2011.06.08 ~ 2011.06.15	国際交流基金主催の巡回展『ウィンター・ガーデン』の実施に合わせ、出展作家の一人である八木良太をブダペストに招へい。展覧会オープニングでのトーク、及び同氏によるインスタレーション作品の特別展示を実施
6	「少女マンガ家三人展：星と月と太陽と」及び講演会	ジュール ブダペスト	ジュール市立美術館(Gyor's City Art Museum) ブダペスト日本文化センター(Japan Foundation, Budapest) エトヴェシュ・ロラーンド大学(Eötvös Loránd University)	エトヴェシュ・ロラーンド大学(Eötvös Loránd University)	2011.06.10 ~ 2011.11.15	徳雅美(カリフォルニア州立大学チコ校准教授)の企画による、日本の少女マンガ作家3名の複製原画展を開催。併せて、同准教授が、マンガをテーマとする講演会を1回開催。展示の地方巡回も実施
7	若手現代音楽家による現代音楽公演／サウンドインスタレーション展示	ブダペスト	エルンスト美術館 (Ernst Museum) ルードヴィグ美術館 (Ludwig Museum)	エルンスト美術館 (Ernst Museum) ルードヴィグ美術館 (Ludwig Museum)	2011.06.18 ~ 2011.06.25	新進気鋭の日本人若手音楽家で、サウンドインスタレーション等も手がけるKUJUNをブダペストに招へいし、現代美術館においてパフォーマンス(音楽と映像)を実施
8	ハンガリー俳句コンテスト	ブダペスト	エトヴェシュ・ロラーンド大学 (Eötvös Loránd University)	エトヴェシュ・ロラーンド大学 (Eötvös Loránd University)	2011.09.01 ~ 2011.11.30	平成22年度に初めて実施し好評を博した、ハンガリー語による俳句コンテストの2回目を開催。公募、審査を経て、優秀者表彰式を兼ねた講演会を実施
9	文化講演会「日本現代美術の最新の動向」	ブダペスト	ルードヴィグ美術館 (Ludwig Museum)	ルードヴィグ美術館 (Ludwig Museum)	2011.09.21	ハンガリー最大規模の現代美術館ルードヴィグ美術館の館長で、平成22年度に文化人短期招へいプログラムで訪日したBencsik Barnaba、及び、平成23年度日本研究フェローであるPetranyi Zsolt(ミューチャルノク現代美術館前館長)による講演会を実施

海外拠点

10	東欧巡回映画祭	ブダペスト	ウルクモズゴ映画館 (Örökmozgó Filmmuseum)	ハンガリー国立フィルムアーカイブ (The Hungarian National Digital Archive and Film Institute)	2011. 11. 16 ~ 2011. 11. 19	国際交流基金フィルムライブラリー所蔵の35mmフィルムを利用して、ハンガリー国立フィルムアーカイブと共催で日本映画7作品を上映。上映作品は『檜山節考』（今村昌平監督 1983年）、『赤いハンカチ』（舛田利雄監督 1964年）等
11	国際共同制作 <i>Laodameia</i> に向けた能楽ワークショップ	ブダペスト	メルリン劇場 (Merlin Theatre)	メルリン劇場 (Merlin Theatre)	2012. 01. 04 ~ 2012. 01. 11	日本・ハンガリー・英国の能楽師・ダンサー・俳優が集い、ギリシア悲劇 <i>Laodameia</i> を題材とした演劇作品の共同制作に向け、約1週間のワークショップを実施。最終的な成果を関係者に公開
12	田中伸子講演会 「震災後の現代日本演劇」	ブダペスト	ブダペスト市6区文化センター (Eötvös 10)	ブダペスト市6区文化センター (Eötvös 10)	2012. 01. 27	ジャパントイムス紙などに寄稿する演劇批評家の田中伸子による、日本の現代演劇に関する講演会を実施
13	文化講演会「日本建築の美と造形原理」	ブダペスト	ブダペスト工科経済大学 (Budapest University of Technology and Economics) バーリント・ハーズ (Bálint Jewish Community Center) ブダペスト建築センター (FUGA Budapest Center of Architecture)	ブダペスト工科経済大学 (Budapest University of Technology and Economics)	2012. 03. 01 ~ 2012. 03. 02	日本文化紹介派遣プログラムにより派遣された建築専門家の松崎照明を講師に迎え、「日本建築の美と造形原理」と題し、ブダペスト工科経済大学建築学部の協力による学生向け講演会を1回、一般向け講演会を2回実施
14	日本のマンガ教室	ブダペスト	ミューチャルノク現代美術館 (Műcsarnok) バーリント・ハーズ (Bálint Jewish Community Center) ブダペスト日本文化センター (Japan Foundation, Budapest)	京都国際マンガミュージアム (Kyoto International Manga Museum) 京都精華大学 (Kyoto Seika University)	2012. 03. 05 ~ 2012. 03. 09	京都精華大学、京都国際マンガミュージアムと国際交流基金との共催で、「日本のマンガ教室」を開催。マンガ家の竹宮恵子他同大学・ミュージアム関係者による「マンガに関する講演会」、3日間にわたる「マンガの描き方教室」、更にブダペスト日本文化センター派遣専門家による、「マンガを通じて学ぶ日本語講座」という3本立ての事業を実施

海外拠点

15	Ganbatte Nippon! 東日本大震災関連 映画上映(日本の元 気発信事業)	ブダペスト	トルディ映画館 (Toldi Art Cinema)	ブダペストフィル ム(Budapest Film)	2012.03.11	「日本の元気発信事業」と題して、震災から一周年を迎える 3月11日当日、ブダペスト市内の映画館で東日本大震災及び 東北地方に関連する映画の上映会を実施。劇映画2作品 (『春との旅』『カルテット』)、ドキュメンタリー3作品 (『がんばっぺ!フラガール』『ガレキの中からの再出航』 『東北 夏祭り〜鎮魂と絆と〜』)を上映 【東日本大震災復興支援事業】
----	---	-------	----------------------------------	------------------------------	------------	---

【文化芸術交流(助成)】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
16	助成事業「和太鼓コンサート」	ヴォイノヴィチ・フサル・ヴィラ文 化会館 (vojnovich-huszár villa Culture Center)	2011.06.18	ブダペスト市内の文化会館で実施された地元の和太鼓グルー プによるコンサートに対し、謝金及び交通費の一部を助成
17	助成事業「MIZU-VIZ:ハンガリー・日本 のアーティストによる現代美術展」	A38	2011.06.29 ~ 2011.07.19	ドナウ川に浮かぶ船上の複合文化施設「A38」が企画する、 日本人とハンガリー人の現代美術家によるグループ展に対 し、人件費、機材費、広報費の一部を助成
18	助成事業「小津映画に関する研究書翻 訳出版」	Francia új hullám出版社 (Francia új hullám Publisher)	2011.09.01 ~ 2011.12.31	Paul Schrader著の映画評論『Transcendental Style in Film (Ozu/Bresson/Dreyer)』のハンガリー語訳出版に関 し、印刷経費の一部を助成
19	助成事業「ザラエゲルセグ日本の日 における日本の伝統衣装展示」	Players Studio Debrecen Independent Theater	2011.09.09 ~ 2011.09.30	ハンガリー西部の地方都市ザラエゲルセグ市で開催された 「日本の日」における日本の伝統衣装展示に関し、広報宣 伝費及び機材輸送費の一部を助成
20	助成事業「Homma Meridian:アーティ スト本間かおりによる展覧会・ワーク ショップ」	Intercultural Dialogue Foundation	2011.11.02 ~ 2011.11.12	ブダペスト市の非営利文化団体が実施する、ロンドン在住の 日本人現代美術アーティスト・本間かおりによる展覧会・ ワークショップに対し、講師航空賃、会場借料及び技術経 費の一部を助成。また支援の一環として、ブダペスト日本文 化センターで同氏によるアーティストトークを実施
21	助成事業「こととかおり:コンテンポ ラリーダンス公演」	Forte Dance Company	2012.03.08 ~ 2012.03.09	ブダペストで活動するコンテンポラリーダンスのForte Dance Companyが、日本人若手ダンサーとの共同制作で『こ ととかおり』を公演するに際し、通訳経費、広報費の一部を 助成
22	助成事業「International Women's Club 日本の日」	International Women's Club Budapest	2012.03.19	世界各地で社会貢献活動を行っている女性団体International Women's Clubのブダペスト支部が主催する日本文化紹介事 業に対し、謝金と資材費の一部を支援
23	助成事業「福島コダーイ合唱団ブダ ペスト公演」	パトロナ・フンガリエ財団 (Patrona Hungariae Foundation)	2012.03.24 ~ 2012.03.28	福島を拠点に全国的に活動する「福島コダーイ合唱団」のブ ダペスト公演に対し、交通費を助成

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	期間	事業内容
24	中東欧日本研究博士論文執筆者ワークショップ	ブダペスト	K+K オペラホテル 会議場 (K+K Opera Hotel Conference room)	2012. 02. 20 ~ 2012. 02. 21	中東欧諸国の日本研究機関に、博士課程学生として在籍する若手研究者10名及び日本研究者8名をブダペストに招へい。学生の個別発表とディスカッションから成る1日半のワークショップを実施
25	知的交流フェローOB講演会「日本とフランスの文学比較」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター (Japan Foundation, Budapest)	2012. 03. 30	平成23年度知的交流フェローで、ELTE大学で仏文学の教授を務めるIstvan Cseppentoを講師に迎え、フェローシップの研究テーマである「18世紀の日本とフランス(西欧)の文学比較」について講演を実施

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
26	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 5,157名 (2) レファレンス数 133件 (3) 貸出点数 3,824点</p> <p>2. 情報発信への取組み ブダペスト日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) ニュースレター発行部数 3,000部（ハンガリー語） (2) ホームページアクセス件数 33,002件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
27	協力事業「渋沢栄一記念財団ブックプロジェクト」	財団法人渋沢栄一記念財団 (The Shibusawa Eiichi Memorial Foundation)	2011. 08. 22 ~ 2011. 08. 23	渋沢栄一記念財団が主催する歴史研究プロジェクトに関し、セミナー室の提供、関係者の講演手配、宿舍手配等の面で協力
28	協力事業「オーストリア文化院における日本人ピアニスト秋山のぶ子コンサート」	オーストリア文化院ブダペスト支部 (Austrian Cultural Forum Budapest)	2012. 02. 23	ウィーン在住の日本人ピアニスト秋山のぶ子のブダペストでのクラシックピアノコンサート（オーストリア文化院主催）に、会場装飾用のいけばなを提供

海外拠点

【その他】

	事業名	都市	場所名	関連機関名称	期間	事業内容
29	「European Language Cocktail Bar」参加	ブダペスト	グドゥルクラブ (Gödör Klub)	EUNIC Hungary cluster	2011.09.22	EUNIC Hungary cluster（在ハンガリーの欧州各国文化機関のアソシエーション）が主催する、多言語主義への理解を促進するための事業「European Language Cocktail Bar」に参加

海外拠点

モスクワ日本文化センター

合計額 99,225,105 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	写真パネル巡回展	ノヴォロシースク オレンブルク ドミトロフ オムスク チェリャービンスク トムスク イルクーツク エカテリンブルク	ノヴォロシースクホテル オレンブルク国立大学 ドミトロフ市立図書館 ギャラリー「ROBA」 チェリャービンスク美術館 トムスク州立美術館 スカチョフ記念イルクーツク美術館 エカテリンブルク州立博物館	ノヴォロシースクホテル オレンブルク国立大学 ドミトロフ市立図書館 ギャラリー「ROBA」 チェリャービンスク美術館 トムスク州立美術館 スカチョフ記念イルクーツク美術館 エカテリンブルク州立博物館 エカテリンブルク情報文化センター「日本」	2011.04.01 ~ 2012.03.31	写真パネル巡回展「日本の世界遺産展」及び「京都写真展」を実施
2	折り紙講座：第1四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.04.02 ~ 2011.06.18	モスクワの子供折り紙センターよりゾーヤ・チャシヒナを講師として招へいし、毎週土曜日にモスクワ日本文化センターにて、折り紙講座を実施。希望者は登録なしで、随時参加可能
3	将棋講座：第1四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.04.02 ~ 2011.05.28	ロシア棋士連盟から講師を招へいし、将棋講座を実施。希望者は、随時参加可能
4	刺し子講座(伝統美術・工芸講座)	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.04.02 ~ 2011.06.18	アンナ・コスチューヒナを講師に迎え、登録制で、5回コースの刺し子講座を実施。15名をサイトで募集
5	茶道講座：第1四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.04.03 ~ 2011.06.23	裏千家、表千家の現地講師に依頼し、各月2回ずつ講座を実施。受講者は登録制とし、参加者の状況を見て、適宜、追加募集する

海外拠点

6	生け花講座：第1四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.04.06 ～ 2011.06.22	草月流及び池坊流の現地講師が毎月2回ずつ生け花講座を実施。希望者は随時参加可能
7	日本映画上映会（東洋美術館）：第1四半期	モスクワ	国立東洋美術館	国立東洋美術館 国立中央映画博物館	2011.04.12 ～ 2011.05.31	国立東洋美術館及び国立中央映画博物館と共催で、東洋美術館のレクチャーホールにて、露語フィルムライブラリーの作品を上映。4月12日『パッチギ』（2005年、井筒和幸監督）、4月19日『ロボコン』（2003年、古厩智之監督）、5月10日『リンダ、リンダ、リンダ』（2005年、山下敦弘監督）、5月17日『学校の怪談』（1995年、平山秀幸監督）、5月31日『ウォーターボーイズ』（2001年、矢口史靖監督）を上映
8	日本文化出前講座：第1四半期	モスクワ	モスクワ市及び周辺の学校		2011.04.20 ～ 2011.05.21	初中等教育機関を対象に、現地の日本文化関係者や在留邦人、留学生に講師を依頼して、日本文化のデモンストレーション、ワークショップを実施。5月11日：茶道（第1950番学校）、5月12日：伝統の遊び（第1753番学校）、5月17日：折り紙（第1652番学校）、5月20日：茶道（第192番学校）、5月21日：伝統の遊び（第648番学校）を実施
9	表千家デモンストレーション・ワークショップ（文化デモンストレーション）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.05.17	日本文化紹介（助成）プログラムで採用された花月会（表千家・池坊）の大友和子による茶道のデモンストレーションとワークショップを実施
10	日本の歌講座：第1四半期	モスクワ	第1535番学校 外国文献図書館大ホール		2011.05.23 ～ 2011.05.28	第1535番学校にて、モスクワ在住の日本人オペラ歌手・曾又ひとみが、一般を対象に、日本の歌講座を毎月各3回実施。継続して通うことを前提に、希望者は随時参加可能。成果を初中等機関の日本語弁論大会などで発表するほか、3月にコンサートも実施
11	子供絵画展（共催小規模文化事業）	モスクワ	ギャラリー「リストック」	ギャラリー「リストック」	2011.05.25 ～ 2011.06.24	昨年度実施した子供絵画コンクールの入賞作品の一部を、ギャラリー「リストック」で学ぶ子供たちの絵画と一緒に展示
12	現代日本映画上映会（大ホール）：第1四半期	モスクワ	外国文献図書館		2011.05.27	月に一度、外国文献図書館の大ホールにて、館内上映可のDVDを上映。5月27日は『いつものように』（1998年、けんもち聡監督）を上映
13	水墨画ワークショップ	モスクワ	全ロシア工芸民芸博物館	全ロシア工芸民芸博物館	2011.06.04	水墨画家の王子江を講師に招へいし、水墨画のワークショップを実施。
14	茶道レクチャー・ワークショップ（文化デモンストレーション）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.06.22	日本文化紹介（助成）プログラムで採用された茶道の西川宗篤による、茶道のレクチャー及びデモンストレーションを実施

海外拠点

15	卒業記念合同イベント	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.06.25	各種講座の参加者を対象に、成果の発表会を実施。日本語講座の受講生による日本語スピーチコンテスト、茶道講座の受講生によるお茶会、生け花講座の受講生による生け花デモンストレーションを実施。折り紙・将棋は、終日、参加を受付。更に希望者を対象にカラオケ大会を実施
16	着付け講座（文化デモンストレーション：夏休み企画）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.07.05 ～ 2011.07.14	モスクワ裏千家のアナスタシア・クドリャショヴァに講師を依頼し、3回シリーズで着付け講座を実施。自由参加制
17	紙芝居（文化デモンストレーション：夏休み企画）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.07.07 ～ 2011.08.24	6歳から8歳の児童に、ロシア語にて日本昔話紙芝居を紹介。7月7日には『一寸法師』、7月27日には『かぐや姫』、8月11日『かずことのぼるのひなまつり』、8月24日『鶴の恩返し』の紙芝居を上演。10名の登録制とし、サイトにて希望者を募集
18	子供日本文化体験講座（文化デモンストレーション：夏休み企画）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.07.12 ～ 2011.07.16	9歳から11歳の児童とその両親を対象に、日本文化の体験講座を5回シリーズで実施。登録制（児童10名と両親）とし、サイトで募集。モスクワ日本文化センター職員のアナスタシア・プシュコーワが講師を務め、子供とその保護者を対象に、日本語及び日本文化について、日本の伝統的な遊び等の体験を交えた講座を実施
19	墨絵講座（伝統美術・工芸講座：夏休み企画）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.07.19 ～ 2011.07.23	日本の水墨画コンクールで入賞経験のあるオリガ・セリヴァノヴァを講師に迎え、登録制にて5回コースの墨絵講座を実施。サイトにて15名を募集
20	武道入門講座（文化デモンストレーション：夏休み企画）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.07.30 ～ 2011.08.27	剣道、弓道、合気道、空手、柔道の各専門家に講師を依頼し、これから武道を始めたい人のための入門講座を実施
21	俳句コンクール		外国文献図書館精円ホール（入賞者授賞式）	俳句愛好家雑誌『ハイクメナ』	2011.08.01 ～ 2011.12.10	俳句愛好家雑誌『ハイクメナ』と共催で、インターネット上で俳句コンクールを実施し、授賞式で入賞作品を発表、その後応募作品を出版
22	小物講座（伝統美術・工芸講座：夏休み企画）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.08.02 ～ 2011.08.06	オリガ・フォミチョヴァを講師に迎え、登録制で5回コースの小物講座を実施。サイトで15名を募集。和の小物、キーホルダー、ブローチ、針刺し、ふるしき、巾着袋を作成
23	夏休み日本映画上映会	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.08.16 ～ 2011.08.20	前年、現代日本映画上映会で上映した館内上映可のDVDをロシア語字幕付きで再上映。8月16日『長州ファイブ』（2006年）、8月17日『いつか読書する日』（2005年）、8月18日『アヒルと鴨のコインロッカー』（2006年）、8月19日『ウィニング・パス』（2004年）、8月20日『遠くの空に消えた』（2007年）を上映

海外拠点

24	折り紙講座：第2、3 四半期	モスクワ	モスクワ日本文化 センター		2011.09.03 ～ 2011.12.24	モスクワの子供折り紙センターよりゾーヤ・チャシヒナを講師として招へいし、毎週土曜日にモスクワ日本文化センターにて、折り紙講座を実施。希望者は登録なしで、随時参加可能
25	茶道講座：第2～4 四半期	モスクワ	モスクワ日本文化 センター		2011.09.06 ～ 2012.03.25	裏千家、表千家の現地講師に依頼し、各月2回ずつ講座を実施。受講者は登録制とし、各流派各20名、全10回（5カ月間）のコースを実施。表千家は第1、3水曜日、裏千家は第1、3日曜日に実施
26	書道講座：第2、3四 半期	モスクワ	モスクワ日本文化 センター		2011.09.07 ～ 2011.12.07	モスクワ在住の書道講師・石嶋かおりに依頼し、書道講座を実施。昨年度5回コースのうち、中止となった第5回を実施するとともに、登録制で、初心者を対象に、1クラス15名で計2クラス、全10回のコースを実施
27	モスクワ現代美術 館国際展 <i>Impossible community</i> （共催 小規模文化事業）	モスクワ	ロシア芸術アカデ ミー国立現代美術 館	ロシア芸術アカデ ミー国立現代美術 館	2011.09.08 ～ 2011.11.06	ベルリン在住芸術家の島袋道浩が、モスクワ現代美術館で開催される国際展に参加。同氏の出展作品は「ラッキーな日」。モスクワ滞在中に、街頭で物を売っていた一人の老人から全てを買い上げ、同品々を展示
28	生け花講座：第2～ 4四半期	モスクワ	モスクワ日本文化 センター		2011.09.08 ～ 2012.03.28	登録制とし、草月流、池坊流各流派20名ずつ募集。各5カ月間の10回コースとし、コース終了後に、サイトにて生け花展を実施。草月流は第2、4水曜日、池坊流は第2、3木曜日に実施
29	将棋講座：第2、3四 半期	モスクワ	モスクワ日本文化 センター		2011.09.10 ～ 2011.12.10	ロシア棋士連盟から講師を招へいし、将棋講座を実施。登録制として、初心者を対象に20名希望者を募集。10月8日、9日に、第3回日本大使杯将棋大会を実施
30	日本の歌講座：第 2、3四半期	モスクワ	モスクワ日本文化 センター		2011.09.10 ～ 2011.12.17	モスクワ在住の日本人オペラ歌手・曾又ひとみに講師を依頼し、一般を対象に、月3回の、1年間コースで日本の歌講座を実施。秋から登録制として20名を募集。コース終了後、6月にコンサートを実施
31	東日本大震災写真 展（文化デモン ストレーション）	モスクワ	モスクワ日本文化 センター	在ロシア大使館	2011.09.16	日本理解講座で名越健郎（拓殖大学名誉教授）が「東日本大震災と大津波」というテーマで講義をするのに併せ、大使館より東日本大震災写真パネルを借り受け、展示
32	海外巡回展出展作 家によるギャラ リートーク&ワー クショップ	モスクワ	国立現代芸術セン ター	国立現代芸術セン ター	2011.09.22 ～ 2011.09.26	海外巡回展「ウインターガーデン」の出展作家・青木陵子が、モスクワでの展覧会開会式に併せて、ギャラリートーク及びワークショップを実施
33	ヒカシュー・モスク ワ公演（文化デ モンストレーショ ン）	モスクワ	「ドム」文化セン ター	「ドム」文化セン ター	2011.09.23	巻上公一を中心とするバンド「ヒカシュー」が平成23年度海外公演助成事業で訪露するに際し、現代音楽コンサートを実施

海外拠点

34	巡回展「ウィンター・ガーデン」	モスクワ	国立現代美術センター	国立現代美術センター 在ロシア大使館	2011.09.24 ~ 2011.10.23	1990年代後半から2000年代前半にかけて現れてきた日本の若いアーティスト14組によるドローイング、絵画、映像作品など35点から構成される展覧会。美術評論家の松井みどりが企画し、出展アーティストの共通点として、断片を組み合わせて独自の世界観を表現したり、時代遅れのものや凡庸なものに新たな用途や意味を与える「マイクロポップ」（同氏による造語）的表現が顕著に見られる
35	池坊家督レクチャー&デモンストレーション(文化デモンストレーション)	モスクワ	外国文献図書館大ホール	池坊ロシアCIS支部	2011.10.04	小林義子(池坊特別派遣教授)及び山田みどり(池坊ロシアCIS支部顧問)による、生け花のレクチャーとデモンストレーションを実施
36	墨絵講座：第3四半期(伝統美術・工芸講座)	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.10.06 ~ 2011.12.08	日本の水墨画コンクールで入賞経験のあるオリガ・セリヴァノヴァを講師に迎え、登録制にてサイトで募集した15名を対象に、5回コースの墨絵講座を実施
37	第3回将棋在ロシア日本国大使杯(将棋講座)	モスクワ	モスクワ日本文化センター	在ロシア大使館 ロシア棋士連盟	2011.10.08 ~ 2011.10.09	2009年から開催している将棋大会の3回目。国籍や将棋のレベルに関係なく参加可能で、2日間にわたり実施。経験者部門と初心者部門で、それぞれ入賞者を表彰
38	伝統美術・工芸講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.10.08 ~ 2011.12.10	刺し子専門家のアンナ・コスチューヒナを講師に迎え、刺し子講座を計5回実施。希望者を募集し、登録制とする
39	日本映画上映会(東洋美術館)：第3四半期	モスクワ	国立東洋美術館	国立東洋美術館 国立中央映画博物館	2011.10.11 ~ 2011.12.20	国立東洋美術館及び国立中央映画博物館と共催で、東洋美術館のレクチャーホールにて、露語フィルムライブラリーの作品を上映。11月15日『顔』(2000年、阪本順治監督)、11月29日『みんなの家』(2001年、三谷幸喜監督)、12月13日『連弾』(2001年、竹中直人監督)、12月20日『風花』(2001年、相米慎二監督)を上映
40	オレンブルク邦楽コンサート(共催小規模文化事業)	オレンブルク	オレンブルク国立大学	オレンブルク国立大学	2011.10.12	オレンブルク国立大学で実施された「日本デー」の一環として、ロシアの邦楽アンサンブル「和音」が邦楽コンサートを実施
41	日本文化出前講座：第3四半期	モスクワ	モスクワ市及び周辺の学校		2011.10.12 ~ 2011.12.16	初中等教育機関を対象に、現地の日本文化関係者や在留邦人、留学生に講師を依頼して、日本文化のデモンストレーション、ワークショップを実施。10月12日：将棋(第613番学校)、10月20日：折り紙(第65番学校)、10月21日：生け花(第1257番学校)、11月15日：着付け(第11番学校)、11月18日：伝統の遊び(第1409番学校)、11月23日：伝統の遊び(第661番学校)、11月25日：折り紙(第641番学校)、12月6日：伝統の遊び(モスクワ国際ギムナジウム)、12月15日：伝統の遊び(第414番学校)、12月16日：伝統の遊び(第1679番学校)を実施
42	坂田明ジャズ公演	モスクワ	ドラマ芸術学院劇場	ドラマ芸術学院劇場	2011.10.25	ジャズサクソフォーン奏者坂田明、アメリカ人ジャズミュージシャン2名及びロシア人ミュージシャン、セルゲイ・レトフによる、ジャズ公演を実施

海外拠点

43	日本式マナー講座 (文化デモンストレーション)	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011. 10. 26	ファッションアドバイザーの西本裕美を講師に迎え、日本式のマナーについての講演会を実施
44	映画監督講演会	モスクワ	映画館「35mm」 脚本家・監督養成専門学校	映画館「35mm」 脚本家・監督養成専門学校	2011. 11. 08 ～ 2011. 11. 12	第45回日本映画祭の実施に併せ、映画監督中江裕司と脚本家中江素子を招へい。オープニングでの舞台挨拶、同監督の3作品（『真夏の夜の夢』『ホテルハイビスカス』『ナビィの恋』）上映後に質疑応答を実施。更に、脚本家・監督養成専門学校で、『ナビィの恋』上映後、ナウム・クレイマン(国立中央映画博物館館長)と対談を実施
45	作家講演会	モスクワ	中央芸術家会館 モスクワ大学ジャーナリズム学部	モスクワ大学ジャーナリズム学部	2011. 11. 29 ～ 2011. 12. 02	映画『リング』の原作者として著名で、著書が多数翻訳され、ロシアの若者の間で人気の鈴木光司を招へいし、図書展会場及びモスクワ大学ジャーナリズム学部で講義を実施
46	オペラ『お夏』 ニージニノブゴロド公演（共催小規模文化事業）	ニージニノブゴロド	国立現代芸術センター沿ボルガ支部	モスクワ音楽院「世界音楽文化」センター 創作イニシアチブ発展財団 国立現代芸術センター沿ボルガ支部	2011. 12. 18	著名な人形浄瑠璃・歌舞伎の作家・近松門左衛門（1653年～1724年）の作品『お夏と清十郎』（1707年出版）をもとにした作曲家・塚本一成によるオペラ『お夏』の公演。芸術監督・指揮はアレクサンドル・ソロヴィヨフ、演出はスヴェトラナ・グリゴルツァ、企画はマルガリータ・カラティギナ、コンサルタントは曾又ひとみ
47	雅楽の調べ 笙のコンサート	モスクワ	中央音楽学校ホール モスクワ音楽院	中央音楽学校 モスクワ音楽院「世界音楽文化」センター	2011. 12. 19 ～ 2011. 12. 20	作曲家かつ笙の演奏家で、文化交流使として欧州来訪中の真鍋尚之によるコンサート及びワークショップの開催
48	尺八コンサート(共催小規模文化事業)	モスクワ	モスクワ国立音楽院ラフマニノフホール	在ロシア大使館 モスクワ音楽院「世界音楽文化」センター	2011. 12. 23	モスクワ国立音楽院と在ロシア大使館が実施している第13回国際邦楽フェスティバル「日本の心」のクロージングコンサートとして、尺八奏者・中村明一によるコンサートを実施
49	日本映画上映会 (東洋美術館) : 第4四半期	モスクワ	国立東洋美術館	国立中央映画博物館 国立東洋美術館	2012. 01. 10 ～ 2012. 03. 20	国立東洋美術館及び国立中央映画博物館と共催で、東洋美術館のレクチャーホールにて、露語フィルムライブラリーの作品を上映。1月31日『阿修羅のごとく』（2003年、森田芳光監督）、2月14日『わたしのグランパ』（2003年、東陽一監督）、2月21日『化粧』（1984年、池広一夫監督）、3月13日『蒲田行進曲』（1982年、深作欣二監督）、3月20日『クイール』（2004年、崔洋一監督）を上映

海外拠点

50	折り紙講座：第4四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2012.01.14 ～ 2012.03.31	モスクワの子供折り紙センターよりゾーヤ・チャシヒナを講師として招へいし、毎週土曜日にモスクワ日本文化センターにて、折り紙講座を実施。希望者は登録なしで、随時参加可能
51	将棋講座：第4四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2012.01.14 ～ 2012.03.31	ロシア棋士連盟から講師を招へいし、将棋講座を実施。登録制として、初心者を対象に1月に希望者を20名募集
52	書道講座：第4四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2012.01.18 ～ 2012.03.28	モスクワ在住の書道講師・石嶋かおりを招へいし、書道講座を実施。登録制とし、初心者を対象に、1クラス15名、全10回のコースを実施
53	日本の歌講座：第4四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2012.01.21 ～ 2012.03.24	モスクワ在住の日本人オペラ歌手・曾又ひとみを招へいし、一般を対象に、月3回の1年コースで、日本の歌講座を実施。秋から登録制として、20名を募集。コース終了後の、6月にコンサートも実施
54	日本文化出前講座：第4四半期	モスクワ	モスクワ市及び周辺の学校		2012.01.21 ～ 2012.03.30	初中等教育機関を対象に、現地の日本文化関係者や在留邦人、留学生に講師を依頼して、日本文化のデモンストレーション、ワークショップを実施。1月21日：折り紙（リハビリセンター）、2月1日：折り紙（第1361番学校）、2月9日：墨絵（第199番学校）、2月15日：茶道（第1576番学校）、2月24日：折り紙（第859番学校）、2月28日：墨絵（ドミートロフ市図書館）、2月29日：墨絵（第996番学校）、3月1日：折り紙（第1311番学校）、3月2日：生け花（教育センター「リーチノスチ」）、3月14日：茶道（第654番学校）、3月15日：書道（第828番学校）、3月16日：茶道（第1530番学校）、3月21日：着付け（第34番学校）、3月22日：茶道（第1505番学校）、3月29日：和楽器（第315番学校）、3月30日：小物（第1771番学校）を実施
55	新人写真展 <i>Crown on the Earth</i>	モスクワ	古典写真ギャラリー	日本写真協会 古典写真ギャラリー	2012.01.25 ～ 2012.02.05	2007年から2009年の間に「日本写真協会賞新人賞」を受賞した7名（北野謙、石川直樹、前川貴行、小川康博、佐藤信太郎、屋代敏博、吉村和敏）の写真家による作品展
56	カザンにおける生け花デモンストレーション(共催小規模文化事業)	カザン	ショッピングセンター「コリツォ」特設ステージ	カザン連邦大学	2012.02.22	生け花池坊の山田みどりを派遣し、生け花デモンストレーションを実施
57	青少年向け生け花・折り紙ワークショップ及び献花	エレバン (アルメニア) モスクワ	エレバン国立大学 在ロシア大使館前特設会場	エレバン国立大学 アルメニア・日本文化教育センター「ヒカリ」 在ロシア大使館	2012.03.11 ～ 2012.03.25	山田みどり(池坊CIS支部顧問/池坊総華督)が、在ロシア大使館正面玄関前にて、3月11日に震災1周年の献花を実施。更にエレバン(アルメニア)にて、3月23～25日に、生け花・折り紙の市民向けワークショップ及び華展等を実施 【東日本大震災復興支援事業】

海外拠点

58	日露文化芸術関係交流会（共催小規模文化事業）	モスクワ	モスクワ市近代美術館	モスクワ市近代美術館	2012.03.13	モスクワ市近代美術館との共催により、日露芸術家、文化人、芸術愛好家の交流会を実施
59	「日本文化の元気発信事業」震災・復興関連映像上映会	モスクワ	外国文献図書館大ホール		2012.03.19 ～ 2012.03.23	平成23年度『日本文化元気発信事業』として、震災・復興関連DVDのうち、『カルテット！』『エクレーヌ・お菓子放浪記』『がんばっぺフラガール！～フクシマに生きる。彼女たちの今』『ロック～わんこの島～』を1回ずつ上映 【東日本大震災復興支援事業】
60	邦人音楽家レクチャー&デモンストレーション	エカテリンブルグ モスクワ	ラヴロフ記念コンサートホール モスクワ日本文化センター	エカテリンブルグ情報文化センター「日本」	2012.03.20 ～ 2012.03.23	日本のポップミュージックの分野で活躍する音楽家（木下ときわ等）をモスクワとエカテリンブルグに招へいし、現地の青少年を対象にレクチャー&デモンストレーションを行い、最新の日本のポップカルチャーを紹介
61	津村禮次郎×森山開次コラボレーション公演	サンクト・ペテルブルグ モスクワ	俳優の家 マールイ劇場別館	俳優の家 在サンクトペテルブルグ総領事館 マールイ劇場	2012.03.22 ～ 2012.03.23	能楽師・津村禮次郎とコンテンポラリーダンス・森山開次のコラボレーション公演を実施
62	ダゲスタン児童絵画展「再び桜が咲きますように」日本文化デー（共催小規模文化事業）	モスクワ	第147番児童図書館	第147番児童図書館	2012.03.23	ダゲスタン共和国在住の女子学生が、3月11日の東日本大震災の後、日本を応援するために企画した児童コンクール「再び桜が咲きますように」に送付されてきた子供たちからの作品の展示会場で、日本文化紹介事業を実施。折り紙、生け花、日本の歌、日本舞踊、着付けなどを紹介

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
63	日本文学セミナー：第1四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.04.01 ～ 2011.06.24	『源氏物語』の翻訳で著名な日本文学者であるタチヤナ・ソコロヴァ＝デリュシナを講師に迎え、古典から現代までのさまざまな文学テキストを購読。日本語の知識は必要となるが、初級者も参加可能
64	日本理解講座：第1四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター 外国文献図書館楯円ホール		2011.05.18 ～ 2011.06.01	さまざまな分野の日本研究者を講師に迎えて、月に1、2回程度、日本に関する講演会を実施。5月18日にはエレナ・ディヤコノワ（ロシア国立人文大学教授）が「短歌は『悲しき玩具』：石川啄木の作品」をテーマに講演、5月21日には芦田直人（陶芸家）が陶器をテーマに講演、6月1日にはユリヤ・ストノギナ（ジャーナリスト）が「地震と日本：『諦観』から『自粛』まで」をテーマに講演

海外拠点

65	日本映画講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.05.19 ～ 2011.06.02	モスクワ日本文化センターにて、ナウム・クレイマン（国立中央映画博物館館長）及び日本専門家を講師に迎え、若手日本研究者、映画大学学生などを対象に、日本映画について講義を行うとともに、日本研究者と座談会を実施。テーマは、5月19日は『雨月物語』（溝口健二監督、1953年）、6月2日は『山の音』（成瀬巳喜男監督、1954年）
66	日本文学セミナー：第2、3四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.09.02 ～ 2011.12.30	『源氏物語』の翻訳で著名な日本文学者であるタチヤナ・ソコロヴァ＝デリュージナを講師に迎え、古典から現代までのさまざまな文学テキストを購読。日本語の知識は必要となるが、初級者も参加可能
67	日本理解講座：第2、3四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.09.16 ～ 2011.12.22	さまざまな分野の日本研究者を講師に迎えて、月に1、2回程度、日本に関する講演会を実施。9月16日「東日本大震災と大津波」名越健朗（前時事通信支社長、拓殖大学客員教授）、9月21日「地蔵の形象と機能」サドコワ・アナスタシア（モスクワ大学アジア・アフリカ諸国大学教授）、10月11日「デザインと日本美術」シーシキナ・ガリーナ（国立東洋美術館上級学芸員）、11月8日「北斎漫画」シュタイナー・エヴゲニー（文化学研究所日本文化研究センター主任研究員）、12月20日「現代日本における徳川の時代の足跡」レシェンコ・ネリー（ロシア科学アカデミー東洋学研究所主任研究員）、12月22日「日本近代美術におけるロシア美術の影響」福間加容（千葉大学非常勤講師）の内容で実施
68	若手研究者ジャパン・レポート「新視点」	モスクワ	モスクワ日本文化センター モスクワ大学 アジア・アフリカ諸国大学	日本研究者協会	2011.10.15 ～ 2011.10.16	若手研究者を対象にした研究発表会。若手研究者に発表の場及び交流の場を提供するとともに、研究者間のネットワーク構築も目指す。発表後は論文集を作成、出版
69	ロシア日本研究者協会研究会（研究セミナー共催事業）	モスクワ	モスクワ国立国際関係大学	ロシア日本研究者協会	2011.12.15 ～ 2011.12.16	ロシア日本研究者協会による研究会の実施。テーマは、12月15日第1セッション「ロシア及び日本の社会経済発展の一般的问题」、第2セッション「日本社会の問題」、12月16日第3セッション「外交政策・国際経済問題」、第4セッション「その他—東日本大震災の際のロシアの反応、北東アジアにおける日米ミサイル防衛発展問題など」
70	日本文学セミナー：第4四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2012.01.13 ～ 2012.03.30	『源氏物語』の翻訳で著名な日本文学者であるタチヤナ・ソコロヴァ＝デリュージナを講師に迎え、古典から現代までのさまざまな文学テキストを購読。日本語の知識は必要となるが、初級者も参加可能

海外拠点

71	日本理解講座 ：第4四半期	モスクワ	モスクワ日本文化 センター 国立高等経済大学 数学部	国立高等経済大学	2012. 01. 24 ～ 2012. 02. 28	さまざまな分野の日本研究者を講師に迎えて、月に1, 2回程度、日本に関する講演会を実施。1月24日「アーティスト丹羽良徳が語るー自身の芸術活動と日本の現代芸術の展開」丹羽良徳（アーティスト）、2月21日「17～19世紀の日本における数学（和算）入門」長谷川浩司（東北大学大学院理学研究科数学専攻）、2月28日「日本の古典文学と現在のロシアの読者」アレクサンドル・ドーリン（秋田国際大学）の内容で実施
72	日本文学翻訳者会 議	モスクワ	外国文献図書館楯 円ホール	雑誌『外国文学 誌』	2012. 03. 01	日本文学の翻訳者を集め、日本文学の翻訳出版の現状、問題点、今後出版すべき書籍等について話し合うとともに、モスクワ日本文化センターと翻訳者間の関係を強化し、ネットワークを構築

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
73	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 2,855名 (2) レファレンス数 1,831件 (3) 貸出点数 3,895点 2. 情報発信への取組み モスクワ日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 (1) ホームページアクセス件数 164,202件

海外拠点

カイロ日本文化センター

合計額 43,472,929 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	囲碁講座	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2011.04.01 ~ 2012.03.31	カイロ日本文化センター図書室を基会所として開放、在留邦人から講師を招へいし、囲碁・将棋講座を実施
2	生け花講座	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2011.04.11 ~ 2012.02.27	在留邦人の講師を招へいし、有料の生け花教室を開講。1期5回の講座を計4期実施
3	お茶会	カイロ	カイロ日本文化センター日本語教室	カイロ茶道同好会	2011.04.19 ~ 2012.03.13	カイロ茶道同好会と共催で、2011年4月、10月、2012年3月の計3回、エジプトの対日関心層を招待してお茶会を実施
4	折り紙講座	カイロ	カルチャーパレス サウィー文化センター		2011.05.01 ~ 2012.02.29	文化省傘下のカルチャーパレスの運営員向けに折り紙指導ワークショップを実施。更に、サウィー文化センターの国際文化紹介デーやアレキサンドリアの折り紙フェスティバルに参加し、折り紙ブースを出展
5	講演会シリーズ： 津島佑子「光の領分」公演及び対話	カイロ	タウンハウスギャラリー		2011.05.15	2000年に出版翻訳助成プログラムでアラビア語化された津村佑子作『光の領分』を元に、エジプト人演出家が舞台をエジプトに置き換えて公演。更に、演出家・脚色家、翻訳者を交えて討論会を実施
6	講演会シリーズ： カイロ日本文化センター職員による講演	カイロ	在エジプト大使館多目的ホール カイロ日本文化センター図書館	NGOオンム・ドニヤ	2011.05.26 ~ 2011.07.04	「お米から学ぶ日本文化」と題し、食育をテーマにカイロ日本文化センター職員がJapan Egypt Networkオープンサロンにて、おにぎりデモンストレーションを実施。更に、NPOオンム・ドニヤ主催の講演会において日本文化に関する講演を実施
7	凧ワークショップ	アレクサンドリア	エジプト農業省前広場	NGOマスターピース	2011.09.16	NGOマスターピースが主催するストリートフェスティバルにブース出展し、ブース内にて折り紙ワークショップと凧ワークショップを並行して実施
8	講演会シリーズ： 日本映画週間関連講演会	カイロ	カイロ日本文化センター アーティスティック・クリエイティブティ・センター		2011.11.17 ~ 2011.12.11	日本映画週間「日本の戦後復興」関連イベントとして講演会を実施 11月17日：イサム・ハムザ（カイロ大学教授）「戦後日本の歴史」 12月10日：ワーエル・オラービー（カイロ大学専任講師）「『キューポラのある街』の魅力」 12月11日：小泉堯による日本映画週間オープニングトークショー

海外拠点

9	講演会シリーズ： 芥川短編集出版記念 関連講演会	カイロ	カイロ日本文化センター		2012. 02. 09 ～ 2012. 03. 01	出版翻訳助成プログラムにてアラビア語化された芥川短編集の出版を記念し、関連イベントを実施 2月9日：ワーエル・オラービー（カイロ大学専任講師）「芥川龍之介とその時代」 2月12日：訳者ワヤ・ワーエル（アインシャムス大学助手）による出版記念講演会 2月16日・3月1日：アフマド・ファトヒー（カイロ大学准教授）「日本の近現代文学」 2月27日：『羅生門』をベースにする芝居『Angeles』上演
10	末永匡・カイロ交響楽団公演	カイロ	カイロオペラハウス	カイロオペラハウス カイロ交響楽団	2012. 02. 20 ～ 2012. 02. 26	国内外で活躍しているピアニストの末永匡とイタリア在住の音楽監督／指揮者の吉田裕史をカイロに招へいし、カイロオペラハウスでカイロ交響楽団と公演。併せて関連イベントも実施
11	カイロジャズフェスティバル	カイロ	サウィー文化センター カイロジャズクラブ	The Jazz Society of Egypt	2012. 03. 15 ～ 2012. 03. 17	4回目を迎えるカイロジャズフェスティバルに、日本から安達久美クラブパンゲア（Kumi Adachi club PANGAEA）を招へいし、ジャズコンサートを実施

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
12	小規模助成（ジャナドリア祭）	ジャナドリア祭準備実行委員会	2011. 04. 13 ～ 2011. 04. 29	サウジアラビア在住日本人音楽家前田清光がジャナドリア祭でシンセサイザー公演を実施するにあたり、謝金の一部を助成
13	小規模助成（世界「絆」写真展）	Ankara KIZUNA Photograph Exhibition Executive Committee	2011. 11. 20 ～ 2011. 11. 25	アンカラの土日基金文化センターにおいて開催された世界「絆」写真展の実施に係る経費の一部を助成

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	講演会シリーズ： 今井雅晴講演会	カイロ	カイロ日本文化センター図書館		2011. 04. 14 ～ 2011. 11. 03	アインシャムス大学での論文指導のため、客員教授として訪埃した今井雅晴（筑波大学名誉教授）による、日本語と言語に関連する日本文化の講演会全3回をカイロ日本文化センターにて実施
15	講演会シリーズ： 藤原帰一・福元健太郎講演会	カイロ	カイロ・アメリカン大学 カイロ日本文化センター	在エジプト大使館	2012. 02. 04 ～ 2012. 02. 07	日本から藤原帰一（東京大学大学院教授）及び福元健太郎（学習院大学教授）を招へいし、カイロ日本文化センターにて日本政治に関する講演会を開催。併せて、最高裁判所、カイロ・アメリカン大学等を訪問し、エジプトの有識者と意見交換を実施

海外拠点

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
16	小規模助成(広島被爆者とのウェブ会議)	NGOマスターピース	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	マスターピースが主催した8日間にわたる文化イベントの内、広島被爆者とのウェブ会議の実施に係る経費の一部を助成

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
17	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 2,753名 (2) レファレンス数 53件 (3) 貸出点数 1,099点</p> <p>2. 情報発信への取組み カイロ日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 (1) メールマガジン配信数 5,560件 (2) ホームページアクセス件数 85,936件</p>

海外拠点

ベトナム日本文化交流センター

合計額 65,574,446 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	『窓ぎわのトットちゃん』ベトナム語版出版記念記者会見	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター	ニャーナム出版社	2011.05.13	ニャーナム出版社が黒柳徹子著『窓ぎわのトットちゃん』のベトナム語翻訳本を出版するに際し、同出版記念として、同翻訳本の内容紹介及びニャーナム社の今後の日本文学の翻訳出版予定を広報する記者会見を共同で開催
2	いいむろなおき『マイムの時間』パントマイム公演	ハノイ ホー・チ・ミン	青年劇場 IDECAF劇場		2011.06.05 ～ 2011.06.13	マイム俳優いいむろなおきを招へいし、ハノイの青年劇場及びホーチミンの世界青年劇場にてソロ作品集『マイムの時間』を上演するとともに、各都市の学生、俳優に対し、ワークショップを実施
3	「ちひろとトットちゃん」展	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター展示ホール	いわさきちひろ美術館 ニャーナム出版社	2011.08.09 ～ 2011.08.31	黒柳徹子著『窓ぎわのトットちゃん』日本語版刊行30周年と、ベトナム語版出版を記念し、トットちゃんの表紙絵、挿絵に使われた作品を含むいわさきちひろの絵画30点、その他の図書資料等を展示。「トットちゃん」の世界観と、いわさきちひろ作品の魅力を多角的に紹介
4	ホイアン日本祭り2011	ホイアン	ホイアン市内（複数）	ベトナム日本人材協力センター（VJCC） ホイアン市 国際協力機構（JICA）ベトナム事務所 在ベトナム大使館	2011.08.20 ～ 2011.08.21	2003年より毎年夏に実施されている日本祭りを共催。野外ステージでの日越のパフォーマンス、浴衣体験、折紙教室など日本文化を多角的に紹介
5	「アートドール：沈黙が語るもの」展（Young Talent Series 01）	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター		2011.09.07 ～ 2011.10.07	「Emerging Artist Series」事業の第一弾。アートドールアーティストとしてFacebookで話題のチャン・トゥ・ハン（ベトナム美術大学卒）の初の個展を開催。日本文化にインスピレーションを受けた新作8点と過去のアートドール作品12点、計20点を展示。初の個展となる作家のため、「Young Talent Series」として実施
6	オフ・ニブロール×ティファニー・チュン マルチメディア演劇&ダンス公演（日越共同制作）	ホー・チ・ミン	レー・タイン劇場	アラベスク・ダンス・カンパニー	2011.09.15 ～ 2011.09.16	気鋭の振付家・矢内原美邦（ニブロール主宰）率いるオフ・ニブロール（映像+振付ユニット）とベトナム人アーティスト・ティファニー・チュン（ホーチミン在住）の共同制作による、身体表現と映像表現を組み合わせたマルチメディア演劇とダンス公演を実施

海外拠点

7	「NOWHERE」展 (JENESYSクリエイターフォローアップ事業)	ハノイ		ニャーサン・スタジオ	2011.10.01 ~ 2011.11.20	グエン・アイン・トゥアン (パフォーマンス/第3期JENESYS Programme 21世紀東アジア青少年大交流計画 クリエーター招へい者) × 奥野翼 (サウンド) × 下道基行 (写真) によるインスタレーション&ワークショップを実施
8	キャラクター大 国、ニッポン展	ハノイ	ベトナム美術大学 アートギャラリー	ベトナム美術大学 アートギャラリー	2011.10.06 ~ 2012.10.23	サブカルチャーの重要なジャンルである「キャラクター」をテーマとした新しい巡回展。1950~60年代から現在までの日本社会を振り返りつつ、日本人なら誰でも知っているキャラクター (ウルトラマン、ハローキティ、機動戦士ガンダム等) を分かりやすく解説するとともに、模型を展示。キャラクターの魅力を文化人類学的に分析するとともに、そのデザイン性も紹介
		フエ	フエ市ホーチミン 博物館	フエ市ホーチミン 博物館	2011.11.02 ~ 2012.11.13	
		ホー・チ・ミン	ホーチミン市博物 館	ホーチミン市博物 館	2011.11.25 ~ 2012.12.04	
9	Japanese Film Festival 2011 - LOVE -	ホー・チ・ミン ファンティエット ハノイ ダナン	4月19日劇場 BHDスターシネマ 国立映画センター レー・ド・シネマ		2011.10.20 ~ 2011.11.24	『パラダイス・キス』『川の底からこんにちは』『マイマイ新子と千年の魔法』等計8作品を各1~2回ずつ上映
10	讃岐うどんをつく ろう！ワーク ショップ	ハノイ	シルクパス・ホテル	シルクパス・ホテル 香川県デザイン協 会 かがわ産業支援財 団	2011.11.06 ~ 2011.11.07	日本の食文化を代表する「うどん」の作り方を学ぶワーク ショップを実施
11	御諏訪太鼓公演 (第1回国際お茶 フェスティバル参 加)	ハノイ タイグエン	ベトナム軍隊文化 芸術大学 ヴィエット・バク 文化芸術大学 8月20日広場		2011.11.11 ~ 2011.11.14	ベトナム政府及びタイグエン省主催「第1回国際お茶フェス ティバル」に際し、御諏訪太鼓を招へいし、野外ステージに おいて公演を行うとともに、ベトナム軍隊文化芸術大学等 で大学生に対し、和太鼓ワークショップを実施
12	ゴー！ゴー！ジャ パン・ロックコン サート	ハノイ	ヴァンホー展示セ ンター (野外ス ペース)	CAMA	2011.12.03	震災への支援に対する感謝の気持ちを込めて、音楽イベント 企画団体「CAMA」とともに、日本からロックグループの Okamoto's、Electric Eel Shock、Moliceを招へいし、ベト ナムのNgu Cung、Rosewoodと共にライブコンサートを実施。 また、コンサートに合わせて、震災から復興過程にある日本 の姿をステージバックスクリーン等で紹介 【東日本大震災復興支援事業】

海外拠点

13	UNIT ASIA公演	ハノイ ホー・チ・ミン	青年劇場 ベントイン劇場	在ホーチミン総領事館	2012.02.03 ~ 2012.02.05	アジアのミュージシャンで結成されたジャズグループ「UNIT ASIA」と、ゲストのベトナム人歌手によるコンサートをハノイ、ホーチミンで実施。コンサート会場では、各劇場スタッフを対象に、音響システムに関するワークショップを開催
14	「パラモデルのプラモデルはパラモデル」展	ハノイ	ベトナム日本交流センター		2012.02.16 ~ 2012.03.11	アート・ユニット「パラモデル」（林泰彦&中野裕介）の個展を開催。日本では馴染みのあるおもちゃ「プラレール」を大量に用いた、ポップなグラフィティ作品を会場で制作
15	「がんばっぺ東北」映画上映会	ハノイ	国立映画センター		2012.03.16 ~ 2012.03.18	東日本大震災から一周年となる機会に、『がんばっぺフラガール』『カルテット!』『ロックわんこの島』等、震災及び日本の自然災害に直接・間接に関係のある映画4作品を上映 【東日本大震災復興支援事業】
16	「女性とマンガ：日本を超え、つながりゆく文化」（展覧会、講演会、ワークショップ、国際会議）	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター ベトナム女性博物館	アジアンビート・福岡 女性MANGA研究プロジェクト	2012.03.21 ~ 2012.04.15	女性少女漫画家の草分け的存在の水野英子、数々の賞を受賞し、「少女マンガの神様」とも評される萩尾望都の複製原画を中心に、萩岩睦美、シンガポールの漫画家FS cの原画・グッズを紹介する展覧会を開催し、萩岩睦美、FS cによる講演会・ワークショップも実施。また、本事業に合わせて、気鋭のマンガ研究者が一堂に会し、国際会議を開催

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
17	videologue 展	ゼロステーション	2011.05.15 ~ 2011.05.31	インドネシアのオルタナティブスペース「ルアングルパ」の協力のもと、東京ビデオアートセンター所蔵の日本のビデオアート7作品を上映するとともに、各作品についてのディスカッションを実施。更に、同作品に関するカタログも制作。カタログ印刷経費、展示機材レンタル経費等を助成
18	ベトナム国立交響楽団 ニューヨーク公演	ベトナム国立交響楽団	2011.10.23 ~ 2011.10.24	ベトナム国立交響楽団のニューヨーク、ボストン公演に際し、首席指揮者の宿泊費、航空賃の一部を助成
19	IN:ACT2	ニャーサン・スタジオ	2011.12.14 ~ 2011.12.18	第2回国際パフォーマンスアート祭（IN:ACT）の開催にあたり、日本人パフォーマー2名の国際航空賃、資料作成費を助成
20	「Human Opera: Meiro Koizumi」展	サン・アート	2012.02.07 ~ 2012.03.16	小泉明朗の展覧会実施にあたり、作家滞在費、展示経費の一部等を助成

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	関連機関	期間	事業内容
21	『人魚の唄』ベトナム語出版記念・小野正嗣作家講演会	ハノイ ホーチミン	チュン・グエン・カフェ ホアセン大学	チェー出版社	2012. 02. 22 2012. 02. 23	小野正嗣の作品集『人魚の唄』のベトナム語翻訳出版にあわせ、著者を招へいし、自身の創作の背景についての講演を実施した他、ベトナム人文芸評論家との対談も実施
22	蜂飼耳 講演会	ハノイ フエ ホーチミン	ベトナム文學院 フォンナム書店 ホーチミン人文社会科学大学		2012. 03. 20 2012. 03. 22 2012. 03. 24	蜂飼耳(詩人/ライター/エッセイスト)による「現代日本の文学―詩を中心に」と題した講演会を開催。併せて、現地の作家、日本研究者、評論家を中心とする有識者との意見交換会も実施

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	関連機関	期間	事業内容
23	翻訳出版助成『人魚の唄』（小野正嗣）	チェー出版社	2011. 12. 01 ～ 2012. 03. 31	小野正嗣の小説2点（『人魚の唄』『にぎやかな湾に背負われた船』）を所収した作品集『人魚の唄』のベトナム語版翻訳出版に対し、翻訳料、印刷製本経費の一部を助成

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
24	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 6,555名 (2) レファレンス数 16件 (3) 貸出点数 2,362点 2. 情報発信への取組み ベトナム日本文化交流センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 (1) ホームページアクセス件数 321,556件

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関	期間	事業内容
25	茶道レクチャーデモンストレーション	茶道倶楽部「竹葉」	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	茶道倶楽部「竹葉」による茶道教室に際し、畳ルームを年間を通して会場として提供

海外拠点

26	第1回ハノイ日本語うたのまつり	ハノイ児童宮	2011.04.03	日本語を学習するベトナム人中高生による日本語の歌のコンテストを実施するにあたり、歌指導、審査員協力にて支援
27	にっぽん元気祭りinベトナム2011	Japan Vietnam Connectivity Co., Ltd.	2011.04.16 ~ 2011.04.17	日本の屋台や縁日、企業ブースを通じた日本の文化・最新技術紹介のほか、ステージにおける舞台公演、ストリートパフォーマンス等を通じて日本文化を総合的に紹介するフェスティバルを実施するにあたり、後援名義を付与
28	絵本寄贈事業	山口南ロータリークラブ	2011.05.30	山口南ロータリークラブによる絵本寄贈に際し、翻訳協力、中等教育機関等への仲介協力を実施
29	「子どもたちがみた戦争と平和」展	沖縄・ベトナム友好協会	2011.06.20 ~ 2011.06.21	沖縄県平和祈念資料館が沖縄全県から募集する「児童・生徒の平和メッセージ（絵画・詩・作文）コンクール」の入賞作品から選定された作品を展示。ベトナム日本文化交流センターは開催会場を提供
30	東日本大震災チャリティーイベント「小さい想いで、でっかい”ワ”」	2011年東北地方太平洋沖地震ベトナム募金活動実行委員会	2011.07.03	ハノイ在住邦人による被災地への支援活動のこれまでの歩みを振り返り、関係者（及びベトナム人）に報告するとともに、オークション、ライブコンサート（日越アーティスト）を通じ、引き続き、被災地への支援が必要であることを確認。ベトナム日本文化交流センターは開催会場を提供
31	日本語ディベート教室	日本語サークル にほんいろ	2011.10.09 ~ 2012.02.25	日本人教師、ベトナム人学生の有志による日本語ディベート教室の開催に際し、教室を会場として提供（全3回：10.09/11.27/02.25）
32	越南写真倶楽部「ベトナムの力」展	越南写真倶楽部	2011.11.27 ~ 2011.12.03	ハノイ在住者を中心に2006年に発足した「越南写真倶楽部」の写真家たちが「ベトナムの力」をテーマとした写真展覧会を実施するにあたり、会場を提供
33	Colors of Tokyo	ベトナム・トウディ誌	2011.12.11	ベトナム・トウディ誌主催「Colors of Tokyo」イベントにおいて、ベトナム日本文化交流センター所長が東京文化紹介講演を実施
34	茶道体験教室	ハノイ児童宮	2011.12.18	ハノイ児童宮主催「茶道体験教室」に際し、畳ルームを会場として提供
35	ハノイ歴史研究会 講演会シリーズ	ハノイ歴史研究会	2012.01.13 ~ 2012.03.16	ハノイ歴史研究会主催講演会シリーズの開催にあたり、教室を会場として提供（全3回：01.13/02.17/03.16）
36	アーティスト・トーク（荒木悠）	ハノイ・ドック・ラボ	2012.02.12	メディアアーティストの荒木悠の来越に合わせ、ハノイ・ドック・ラボにて実施されたアーティストトークに対し、広報協力を実施
37	AUN公演	在ベトナム大使館 AUN（文化庁文化交流使）	2012.02.14	文化交流使「AUN」のハノイ公演に際し、ベトナム人伝統楽器奏者の共演者の選定等コーディネートの協力を実施

文化交流施設等協力事業に必要な経費

文化交流施設等協力事業費

1. 文化交流施設等協力事業費
 - (1) 人物交流特定寄附
 - (2) 日本研究特定寄附
 - (3) 日本語特定寄附
 - (4) 催し等特定寄附
 - (5) 文化交流施設等特定寄附

文化交流施設等協力事業費

1. 文化交流施設等協力事業費

海外の公益団体等が実施する国際文化交流事業に対して寄附を計画している場合に、国際交流基金の業務目的に合致するものに限り当基金が寄附金を受入れ、対象となる団体に援助する。

合計額 249,982,496 円

	事業名	寄附申込者	対象国	対象機関	期間	事業内容
(1) 人物交流特定寄附						
1	日米交流財団フェローシッププログラム	日米交流財団	米国	日米交流財団	2010.07.01 ~ 2013.06.30	米国から日本への留学生数を増加させ、将来の日米友好関係の増進を目指すため、日本への留学を希望する米国人大学生に奨学金を支給
(2) 日本研究特定寄附						
2	日米研究インスティテュート	日米研究インスティテュート	米国	日米研究インスティテュート	2009.04.14 ~ 2012.03.31	京都大学、慶應義塾大学、東京大学、立命館大学、早稲田大学が共同でワシントンに設立した同インスティテュートにおいて、日米間の現実的な問題について学術研究を基盤とした政策的含意を持つ研究を実践し、その成果の発信やコミュニティの形成、将来の日米の意思決定を担う人材の育成等を実施
3	「故石川吉右衛門教授記念・比較日本法基金」の設立	ハーバード・ロースクール・アソシエーション・オブ・ジャパン	米国	ハーバード・ロー・スクール	2010.01.01 ~ 2011.12.31	故石川吉右衛門（東京大学名誉教授）の功績を記念する日本研究促進のための恒久基金を設置し、その運用益にて日本法を専門とする客員教授の招へいや日本法を学ぶ学生・研究者への資金援助等を実施
4	長島・大野・常松法律事務所奨学金（コロンビア・ロー・スクール）	長島・大野・常松法律事務所	米国	コロンビア・ロー・スクール	2012.07.01 ~ 2013.06.30	コロンビア・ロー・スクールにおいて、日本法への関心や日本語の知識を持ち、将来的に日米間の協力や日本法学に関連する経歴を積む明確な意欲を示す学生に対し、奨学金を支給
5	長島・大野・常松法律事務所：日本法・文化プログラム（デューク・ロー・スクール）	長島・大野・常松法律事務所	米国	デューク・ロー・スクール	2012.07.01 ~ 2013.06.30	デューク・ロー・スクールにおいて、日本法・文化の研究と理解を促進のため、JD（3年制）課程日本法紹介コースへの日本からの客員教授招へい、日本法図書購入、香港での夏期講座への日本法教授招へい、夏期講座参加学生への奨学金支給、司法研究センターへ日本から参加する裁判官への援助、を実施
6	コロンビア・ロー・スクール日米交流事業	コロンビア・ロー・スクール在日同窓生寄付実行委員会	米国	コロンビア・ロー・スクール	2010.06.01 ~ 2015.05.31	コロンビア・ロー・スクールにおいて、東京でのセミナー開催、日本人同窓生向け行事の開催、客員教授として招へい費用補助、日本のNGO活動に参加する学生への奨学金支給、日本法研究センターでのワークショップ開催費補助、日本法研究センター所長の日本への調査旅行費用補助を実施
(3) 日本語特定寄附						
7	エルエスエイチアジア奨学金	特定非営利活動法人 エルエスエイチアジア奨学会	アジア地域区分困難	特定非営利活動法人 エルエスエイチアジア奨学会	2011.04.01 ~ 2014.03.31	2001年に新大久保駅の事故で亡くなった韓国人青年李秀賢の勇気ある行動を称え、同氏の国際交流の理念を実現するため、国内の日本語教育機関に在籍するアジア諸国からの留学生に奨学金を支給

文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	対象国	対象機関	期間	事業内容
8	ドイツ語圏大学日本語教育研究会紀要出版	大坂靖彦	ドイツ	社団法人ドイツ語圏大学日本語教育研究会	2010.09.01 ~ 2011.05.31	ドイツ語圏大学日本語教育研究会会員の日本語教育、特に日本語教授法に関する研究成果を内外の日本語教育関係者・日本語教育機関等に広く発表するため、論文を取りまとめた紀要を出版
9	ドイツ社団法人日本語普及センターの事業資金	日本語普及センター国内募金委員会	ドイツ	ドイツ社団法人日本語普及センター	2011.04.01 ~ 2015.04.30	ドイツでの日本語普及と日独の文化交流促進のため、フランクフルト大学への日本語担当講師派遣、日独交流150周年を記念した桜の木植樹、ドイツの高校生を対象とした日本に関する作文コンクールを実施
10	ジャパン・リターン・プログラム 2011年「希望と平和」日本語サミット	ジャパン・リターン・プログラム募金委員会	全世界区分困難	特定非営利活動法人 ジャパン・リターン・プログラム	2010.10.01 ~ 2012.03.31	世界各国の日本語を学ぶ青少年を日本に招へいし、「希望と平和」をテーマに日本語で意見発表を行う「日本語サミット」を大阪・東京にて開催するとともに、日本の高校生・大学生とのディスカッションやホームステイ、伝統文化体験等のプログラムを実施
(4) 催し等特定寄附						
11	日韓交流おまつり 2011	日韓交流おまつり実行委員会	韓国	日韓交流おまつり実行委員会	2011.04.01 ~ 2012.02.29	2005年の日韓友情年より毎年ソウルにて開催され、2009年からはソウルと東京両都市での開催となった日韓合同のおまつりの東京行事として、六本木ヒルズにおいて、日韓の伝統文化や民族芸能のステージ公演、地域まつり公演、地域広報ブースや文化体験ブース設置等を実施
12	四天王寺ワッソ	NPO法人 大阪ワッソ文化交流協会	韓国	NPO法人 大阪ワッソ文化交流協会	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本と韓国、及び東アジア諸国との文化交流促進のため、大阪市の史跡なにわの宮跡において、古代の東アジアとの交流儀式や巡行の再現、現代韓国の文化を紹介するステージ公演等を行う祭りを開催
13	バルカン室内管弦楽団ウィーン公演	バルカン室内管弦楽団事務局	オーストリア	バルカン室内管弦楽団事務局	2011.05.14 ~ 2011.05.19	バルカン半島の民族共栄を願って柳澤寿男(日本人指揮者)により2007年に設立されたバルカン室内管弦楽団の公演を、ウィーン楽友協会(ムジークフェライン)ブラームスホールにて開催
14	ミュージック・フロム・ジャパン 2012年音楽祭	ミュージック・フロム・ジャパン・インク	米国	ミュージック・フロム・ジャパン・インク	2011.05.01 ~ 2012.03.31	日本の優れた音楽を米国に紹介するため、ニューヨーク市及びワシントンDCにおいて、『佐々木冬彦:箏篋の響き』及び『室内楽委嘱曲世界初演コンサート』の二つのコンサートを開催
15	新国際版『マダマバタフライ』世界初演	NPOみんなのオペラ	イタリア	NPOみんなのオペラ	2009.10.29 ~ 2011.08.31	第57回ブッチェーニ・フェスティバルにて、オペラ『マダマバタフライ』原作における日本文化への誤認等を修正した公演を行うため、日本国内での告知と啓蒙のためのシンポジウム、12名の日本人役歌手を選考する国際オーディション、日本側スタッフ及び日本人歌手の現地への派遣等を実施。(2011年は、派遣事業を助成)
16	日独交流150周年日独友好賞	大坂靖彦	ドイツ	日独友好賞 実行委員会	2010.07.01 ~ 2012.01.31	日独交流150周年記念事業として、これまで日独交流強化に貢献のあった、あるいは将来日独友好を積極的に担う個人60名に功労賞及び奨励賞を授与し、副賞としてドイツ訪問のための往復航空券を贈呈する顕彰・奨励事業を実施

文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	対象国	対象機関	期間	事業内容
17	国際犯罪学会第16回世界大会	日本犯罪関連学会連合会	全世界区分困難	日本犯罪関連学会連合会	2010.03.18 ~ 2011.12.31	「グローバルな社会・経済的危機と犯罪統制政策—地域・国家間の比較」を全体テーマとして、世界の犯罪学研究者が一堂に会し、犯罪諸科学の最新の研究成果について討論や発表を行う「国際犯罪学会第16回世界大会」を日本で初めて開催
18	文化経済学会〈日本〉20周年記念事業	文化経済学会〈日本〉	全世界区分困難	文化経済学会〈日本〉	2010.10.01 ~ 2013.03.31	文化経済学会〈日本〉の創立20周年記念事業として、「クリエイティブ・エコノミクスの国際化に向けて」を統一テーマとし、2011年11月に東京にて「2011年文化経済学会〈日本〉秋の講演会」、2012年6月に京都にて「第17回国際文化経済学会(2012年)・世界大会」を実施
19	とやま世界こども舞台芸術祭2012	とやま世界こども舞台芸術祭実行委員会	全世界区分困難	とやま世界こども舞台芸術祭実行委員会	2011.04.01 ~ 2013.03.31	子どものための舞台芸術作品を公演する優れた団体を富山県に招へい。舞台公演、アジア諸国の舞台芸術活動をDVDで紹介・解説する「アジア舞台芸術映像祭」、及び芸術研修等を行う舞台芸術祭を開催
(5) 文化交流施設等特定寄附						
20	日英博覧会日本庭園修復事業	特定非営利活動法人 環境再生	英国	特定非営利活動法人 環境再生	2009.01.01 ~ 2011.12.31	1910年5月の日英博覧会に出展され、ロンドン市ハマースミス・フラム区のハマースミス公園の一部として保存されている日本庭園の修復を日英共同で行う計画のうち、日本側が担当する基本設計及び実施設計・工事の技術指導を実施
21	アジア女子大学	アジア女子大学の設立を支援する会	アジア地域区分困難	アジア女子大学支援財団	2009.11.01 ~ 2012.10.31	2008年にバングラデシュのチッタゴン市に設立されたアジア女子大学において、学部生およびアクセスアカデミー(1年間の大学入学準備プログラム)の学生に対して奨学金を支給

プログラム名索引 (五十音順)

あ	アニメ文化大使	152	サンパウロ日本文化センター	524
	安倍フェローシップ	371	し	
い	EPA 研修 (交付金)	220	JFIC 事業	389
	EPA 研修 (受託)	221	JF 講座運営	173
	E ラーニング開発事業	257	JF 講座現地講師訪日研修	235
	李秀賢氏記念韓国青少年招へい研修	250	事業開発 (文化資料)	413
う	ウェブサイト・メールマガジン	388	事業開発 (催し)	410
え	映像事業 (東日本大震災復旧・復興)	417	事業評価 (企画評価)	403
	映像出版情報交流 (招へい)	135	試験問題作成・分析評価	223
	映像出版情報交流 (文化資料)	162	指導的日本語教師の養成 (海外日本語教師上級研修)	226
	映像出版情報交流 (催し)	153	指導的日本語教師の養成 (日本語教育指導者)	225
か	海外展助成	68	シドニー日本文化センター	495
	海外日本語教育機関等調査	172	市民交流支援 (日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI)	372
	海外日本語教師研修 (国別)	231	市民青少年映像・文芸交流助成	154
	海外日本語教師研修 (短期)	228	市民青少年美術交流助成	83
	海外日本語教師研修 (長期)	226	ジャカルタ日本文化センター	462
	カイロ日本文化センター	567	受託研修 (関西国際センター)	251
き	企画展	56	受託研修 (関西国際センター) [アセアン]	252
	機関連携事業	407	受託研修 (関西国際センター) [サーク]	253
	基金巡回展	59	受託研修 (日本語国際センター)	232
	教育アウトリーチ支援小規模助成	367	受託研修 (日本語国際センター) [アセアン]	233
	京都支部	419	受託研修 (日本語国際センター) [サーク]	234
く	クアラルンプール日本文化センター	479	受託事業 (アセアン)	39
け	ケレン日本文化会館	427	受託事業 (アセアン)	53
こ	公演事業 (東日本大震災復旧・復興)	416	受託事業 (アセアン)	295
	公演 (主催)	86	受託事業 (アセアン 第三期)	178
	公演 (助成・海外公演 [市民青少年交流])	129	受託事業 (日中交流センター)	259
	公演 (助成・海外公演 [舞台芸術])	96	人材育成 Grant [アジア・大洋州]	334
	公演 (助成・PAJ 欧州)	122	人材育成 Grant [欧州・中東・アフリカ]	361
	公演 (助成・PAJ 北米)	119	人材育成 Grant [米州]	281
	後援名義の付与 (情報センター)	392	人物交流特定寄附	576
	広報 (情報センター)	387	せ	
	国際交流顕彰事業 (基金賞)	390	専門日本語研修 (外交官)	240
	国際交流顕彰事業 (地球市民賞)	391	専門日本語研修 (公務員)	243
	国際展	56	専門日本語研修 (文化・学術専門家)	244
	国際図書展参加	160	そ	
	国内連携による日本語普及支援 (招へい)	254	造形美術情報交流 (招へい)	55
	国内連携による日本語普及支援 (派遣・助成)	194	造形美術情報交流 (催し)	77
	国内連携促進	386	ソウル日本文化センター	443
さ	さくら中核事業 (基金海外拠点)	204	ち	
	さくら中核事業 (非基金海外拠点)	207	地域・草の根交流小規模助成	369
			地域交流研修 (関西国際センター)	251
			地域交流研修 (日本語国際センター)	234
			知的交流会議 (企画参画助成) [アジア・大洋州]	329
			知的交流会議 (主催) [アジア・大洋州]	331

知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕	353	日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米州〕	272
知的交流会議（主催）〔米州〕	278	日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）	245
知的交流会議（助成）〔アジア・大洋州〕	318	日本語学習者訪日研修（高校生）（関西国際センター）	250
知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕	355	日本語学習者訪日研修（大学生）（関西国際センター）	248
知的交流会議（助成）〔米州〕	278	日本語教材・教授法等開発・普及	236
知的交流小規模助成	365	日本語専門家派遣（日本語指導助手）	201
知的リーダー交流（招へい）〔アジア・大洋州〕	317	日本語専門家派遣（日本語シニア専門家）	203
知的リーダー交流（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕	350	日本語専門家派遣（日本語上級専門家）	182
中国高校生の招へい事業	260	日本語専門家派遣（日本語専門家）	188
中国「ふれあいの場」事業（共同設置）	263	日本語特定寄附	576
中国「ふれあいの場」事業（助成）	264	日本語能力試験実施	222
調査研究	402	日本語普及活動助成	211
調査研究	408	日本文化紹介（主催）招へい	10
て テレビ番組交流促進	155	日本文化紹介（主催）派遣	11
展示事業（東日本大震災復旧・復興）	415	日本文化紹介（助成）	24
と ドキュメンタリー制作助成	163	日本理解促進出版・翻訳（助成）	165
図書館運営（関西国際センター）	239	ニューデリー日本文化センター	484
図書館運営（日本語国際センター）	237	ニューヨーク日米センター企画開発事業（主催）	364
トロント日本文化センター	502	ニューヨーク日本文化センター	510
に 日本映画上映（主催）	136	ね ネットワーク整備事業（ウェブサイト構築・運営）	265
日本映画上映（助成）	146	ネットワーク整備事業（交流担い手ネットワーク構築）	265
日米協会支援プログラム（助成事業）	364	ネットワーク整備事業（派遣・招へい）	261
日米交流支援（主催）	384	年次報告	388
日米交流支援（助成）	373	は パリ日本文化会館	436
日本研究機関支援〔アジア・大洋州〕	290	バンコク日本文化センター	469
日本研究機関支援〔欧州・中東・アフリカ〕	340	ふ フィルムライブラリー運営（海外）	159
日本研究機関支援〔米州〕	268	フィルムライブラリー運営（本部）	157
日本研究特定寄附	576	舞台芸術情報交流	125
日本研究ネットワーク強化（主催）〔アジア・大洋州〕	283	舞台芸術情報交流（内田奨学金フェローシップ）	85
日本研究ネットワーク強化（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕	338	ブダペスト日本文化センター	551
日本研究ネットワーク強化（主催）〔米州〕	267	文化協力（主催）	2
日本研究ネットワーク強化（助成）〔アジア・大洋州〕	293	文化協力（助成）	6
日本研究ネットワーク強化（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕	339	文化交流施設等特定寄附	578
日本研究ネットワーク強化（助成）〔米州〕	268	文化事情調査	405
日本研究フェローシップ（学者・研究者 短期）〔アジア・大洋州〕	314	へ 米国若手日本語講師派遣	177
日本研究フェローシップ（学者・研究者 短期）〔欧州・中東・アフリカ〕	348	北京日本学研究センター研究支援（北京外国語大学）	289
日本研究フェローシップ（学者・研究者 短期）〔米州〕	276	北京日本学研究センター研究支援（北京大学）	289
日本研究フェローシップ（学者・研究者 長期）〔アジア・大洋州〕	305	北京日本学研究センター招へい（北京外国語大学）	287
日本研究フェローシップ（学者・研究者 長期）〔欧州・中東・アフリカ〕	342	北京日本学研究センター招へい（北京大学）	288
日本研究フェローシップ（学者・研究者 長期）〔米州〕	270	北京日本学研究センター派遣（北京外国語大学）	285
日本研究フェローシップ（高砂熱学工業）	316	北京日本学研究センター派遣（北京大学）	286
日本研究フェローシップ（論文執筆者）〔アジア・大洋州〕	311	北京日本文化センター	454
日本研究フェローシップ（論文執筆）〔欧州・中東・アフリカ〕	345	ベトナム日本文化交流センター	570

ま	マドリード日本文化センター	544
	マニラ日本文化センター	474
め	メキシコ日本文化センター	521
も	モスクワ日本文化センター	557
	催し等特定寄附	577
ろ	ローマ日本文化会館	423
	ロサンゼルス日本文化センター	516
	ロンドン日本文化センター	534